大泉村埋蔵文化財調査報告書　16集

平成４年度埋蔵文化財発掘調査報告

古林第４遺跡Ⅱ

2002. 3

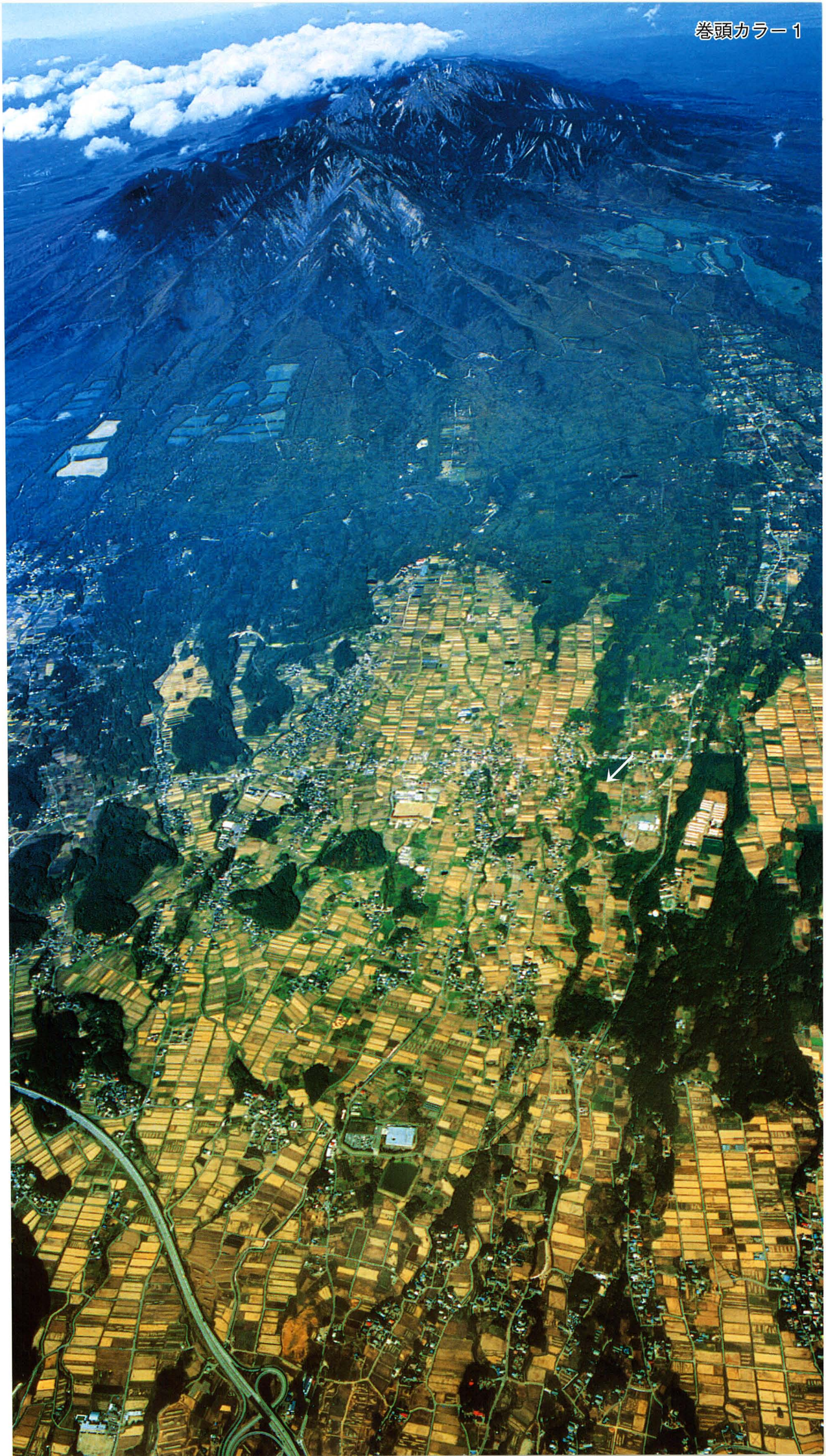
大泉村教育委員会

平成４年度埋蔵文化財発掘調査報告

古林第４遺跡Ⅱ

2002.3

大泉村教育委員会



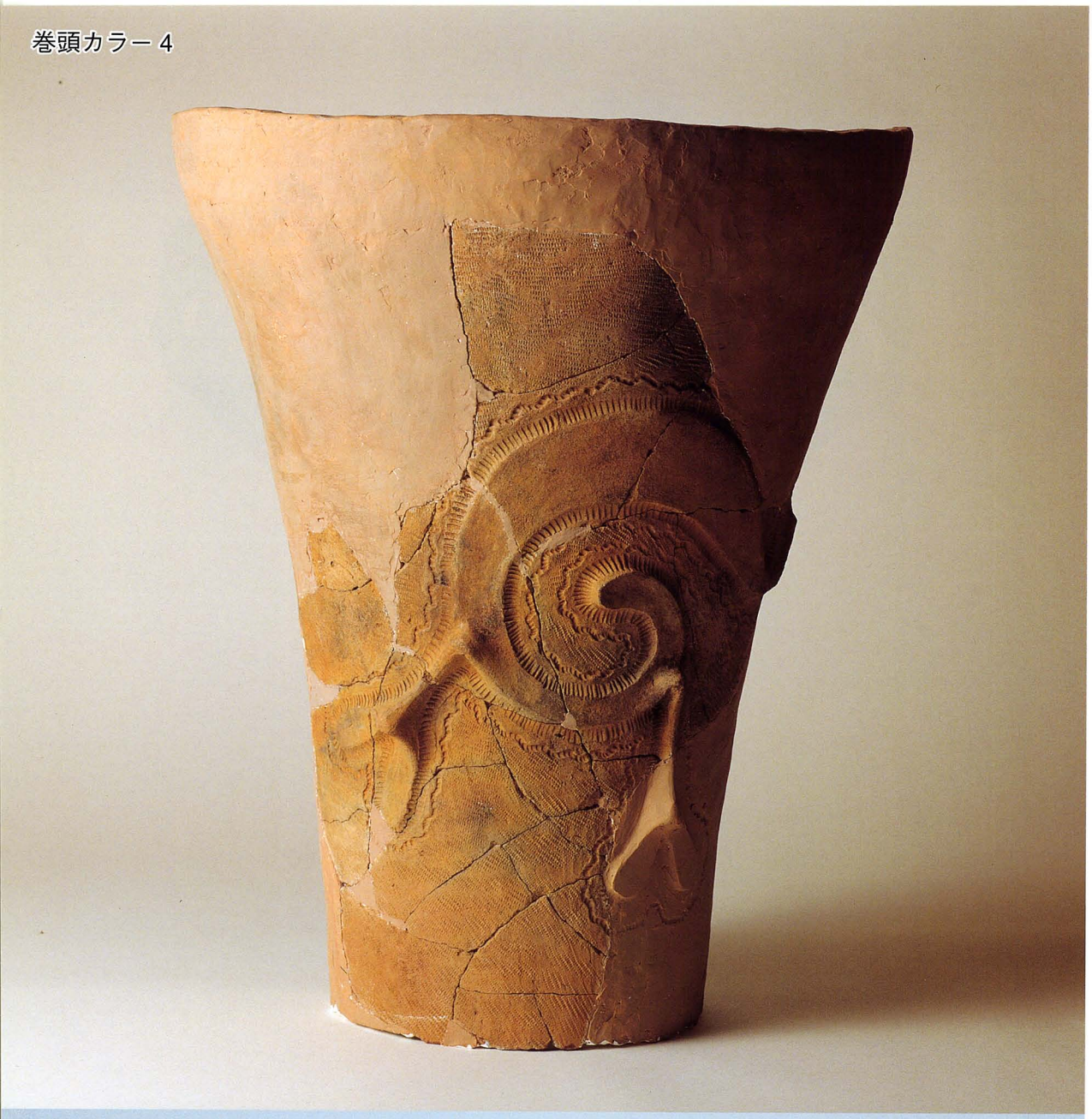
八ヶ岳鳥瞰
（矢印は古林第4遺跡）

１号住居跡
出土状況

12号住居跡
出土状況

09001

14008



05001

15018

例　言

1．本書は平成４年度県営圃場整備事業に伴う古林第４遺跡の報告で、平成10年度発行の『古林第４遺跡Ⅰ（石器編）』で報告した部分を除く全ての報告である。なお、遺構出土の石器については図面のみを縮小して再録した。観察所見等は前報告を参照願いたい。

2．本書所収の遺構図のトレース、製版、編集は（有）アルケーリサーチに委託し、計測、事実記載の一部及び本書全体の編集を同じく（有）アルケーリサーチに委託している。また、遺物の実測用写真、報告用スナップ及び展開写真撮影を小川忠博氏に委託し、遺物実測の一部を（株）アルカに委託している。その他遺物の実測を山下及び伊藤が、03054、0054を除く土偶については櫛原功一氏が作図したものを伊藤がトレースし、遺物写真撮影の一部を渡邊が担当した。

3．本書の編集は伊藤が担当した。

4．本報告整理作業に山下大輔（信州大学卒）が参加している。

5．その他については『古林第４遺跡Ⅰ』を参照のこと。

凡　例

1．遺構の名称は調査時のものをそのまま使用している。

2．遺構・遺物の縮尺は以下のとおりである。

　住居跡－1／60　炉－1／30　土坑－1／30　溝－1／100

　遺物実測図　縄文土器－1／4　縄文土器拓影－1／2、1／4　土製品－1／2

　　上記以外のもの、特殊なものについてはその都度縮尺を表記した。

3．遺構断面図中の基準線脇の数字は標高を表し、特に指示のないものは同一図版中では同一の標高であることを示している。

4．遺構平面図中の網がけは被熱赤変部分を表す。

5．土層注記の色調は黒みの強いものから黒色→黒褐色→暗褐色→褐色→暗黄褐色→黄褐色を用いた。

6．縄文土器実測図中の網がけは胎土に繊維を含むことを表している。

7．遺物図版中○－○Ｇと表記したものは出土グリッドを表す。

8．その他必要に応じてそれぞれ表記しておいた。

目　　次

目　次

例　言

凡　例

1　調査の概要 …… 1

2　遺構と遺物 …… 8

遺構観察所見 …… 8

住居跡 …… 8

土　坑 …… 13

溝状遺構 …… 22

竪穴状遺構 …… 22

遺構挿図 …… 23

住居跡 …… 23

土　坑 …… 80

溝状遺構 …… 117

竪穴状遺構 …… 122

遺物挿図 …… 123

遺構外出土縄文時代遺物 …… 123

住居跡出土遺物 …… 124

土坑・遺構外出土遺物 …… 217

近世遺物 …… 230

遺構別石器組成表 …… 231

時期別遺構分布図 …… 232

3　調査の成果と課題 …… 235

参考文献 …… 239

写真図版

1　調査の概要

古林第４遺跡の調査の概要については『古林第４遺跡Ⅰ（石器編）』（以下『石器編』という。）(1) において述べたところであるが、そこに述べたのは発掘調査時の所見を中心にしたもので、その後の一連の整理作業により若干の修正を要する部分が生じている。

まず調査時には気が付かなかったが『石器編』において報告したとおり、村内で初めて旧石器時代の遺物が得られているほか、縄文時代前期前葉、後葉の遺物の存在が明らかになっている。これらは遺構に伴うものではなかったが、当時の人々をまさしく跡付けるものとして注目される。これらの遺物は第130図に示しておいたが、0001～0010までが前期前葉のものであり0011～0013は前期後葉の遺物である。

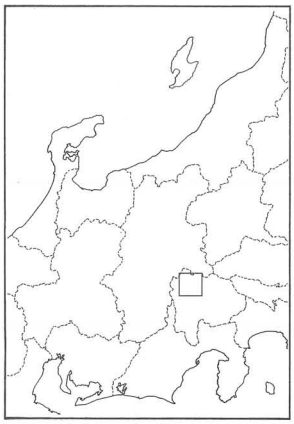
0001～0009は土器胎土に繊維を含むもので、0010は胎土に繊維が確認されなかった。0001は口縁部の資料で、無文。0006、0007は単節縄文の施文が見られる。0008は条痕の施文が見られる。0011は単節ＬＲを地文としその上に沈線文を施す。口縁部の突起は剥落している。0012は沈線文系のもので、0013は結節沈線文。

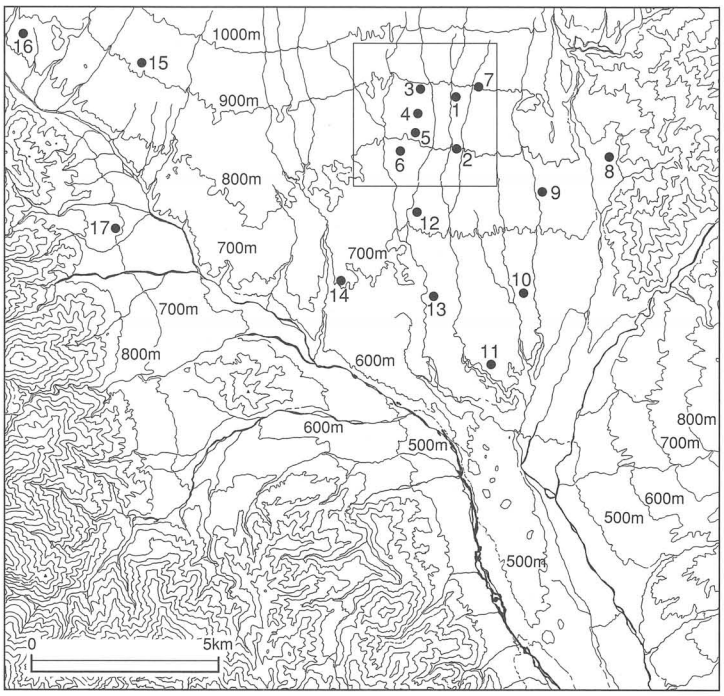
中期中葉の集落は『石器編』で触れたとおり、環状もしくは馬蹄形状の集落と判断されるもので、土坑については覆土の残りに良好なものはないものの遺物の出土状態等から墓坑と判断されるものを含み、集落の纏まりがモデル的に捉えられる。これらの時期的変遷については『石器編』で既に触れたところであるが、その後の資料整理により若干の修正を加えておきたい。

『石器編』では中期中葉の遺物を６時期に細分しているが、その内容、概念的なものに大きな変更はないが細部において見直しが必要と考えている。例えば、『石器編』においてⅠ期としたものの細分の可能性を指摘しておいたが、現在では別校(2)で分析したとおり２段階に細別できるものと考えている。即ち『石器編』でⅠ期として５、８、12号住居跡を挙げておいたが、このうち12号住居跡を古い段階に位置付けておきたい。また、６、７、10号住居跡についてはその後の整理作業によりⅣ期としたものを主な出土遺物からⅡ期に組み入れたい。既にこの集落の変遷については『石器編』以外に『山梨県史』(3) においても紹介されている。混乱を来した部分については深謝し、訂正を請うものである。なお、出土遺物から同一時期と判断される遺構間でも近接しすぎていて同時存在し得ないものとしてⅡ期の９、16号住居跡が挙げられるが、ここでは後に記載のとおり09040の接合関係から９号住居跡の埋没が先行するものと判断している。更にⅤ期としたものの時間幅の問題が挙げられる。『石器編』で提示したものに前後の時期の混在が見られるが、曽利Ⅰ式と共伴し得ない井戸尻式の新しい部分を念頭に置いた時間幅で設定したものである。今後、更に遺物の編年研究、あるいは遺構間接合関係の分析等を通して集落分析の深化を図る必要を感じている。

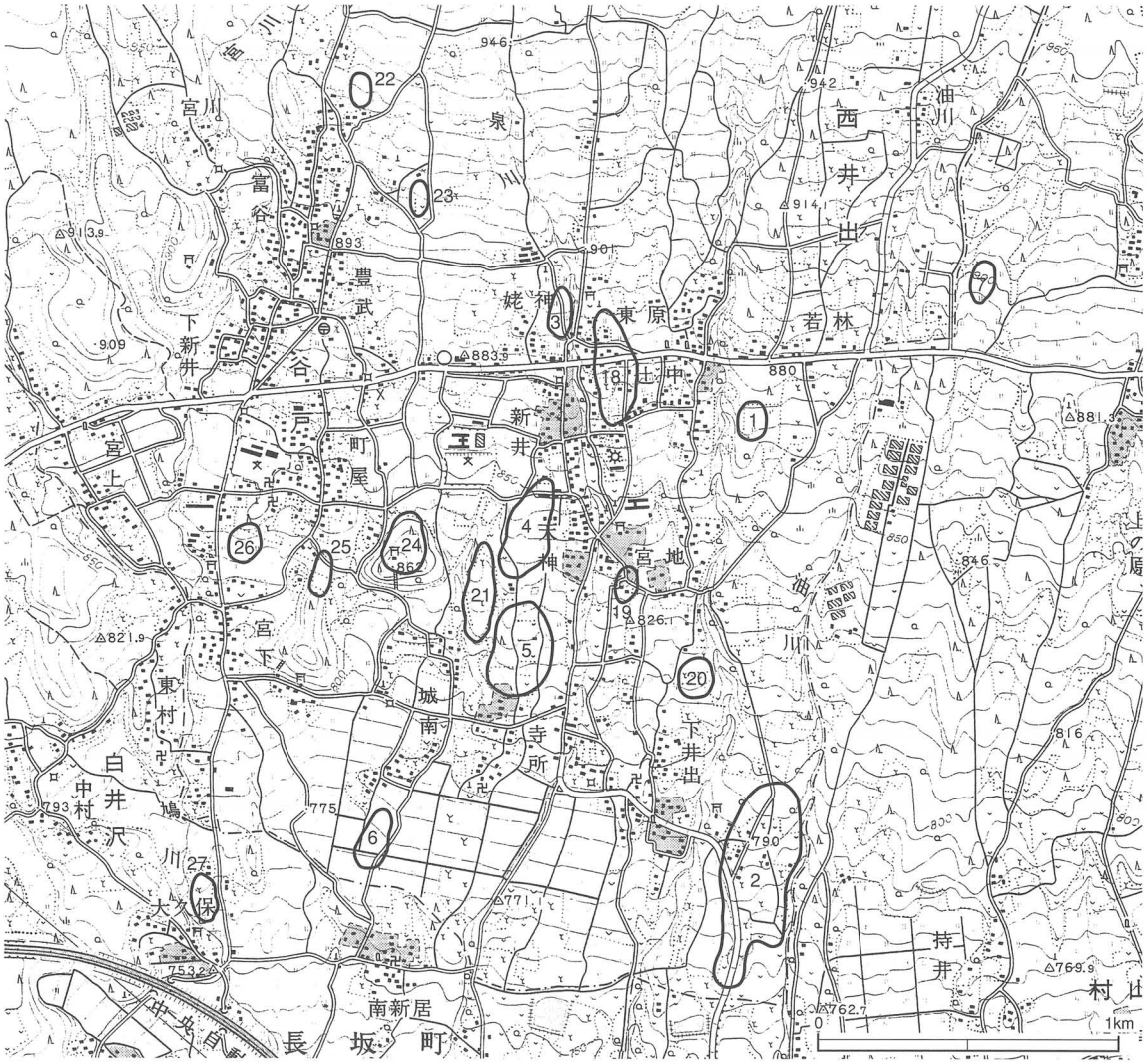
中期後葉の遺構は土坑のみが単独で検出されている。これらの土坑は遺物の出土状況等より土坑墓と考えられるが、墓域のみを集落（居住）域から離れて形成する例は村内では甲ツ原遺跡第５地点でも確認され、時期的にも同時期の中期終末に該当している。今後注目していく必要があろう。

中近世の集落はＥ～Ｈ－７～９グリッドを中心に展開しているが、石組み井戸がＤ・Ｅ－５グリッドから検出されていることや、明らかに縄文時代以降の土坑が他の地点から検出されていることから更に同時期の遺構が広がりを見せる可能性が高い。ただし、遺物の含まれた土坑はほとんどないことから、その帰属を明らかにすることは困難である。



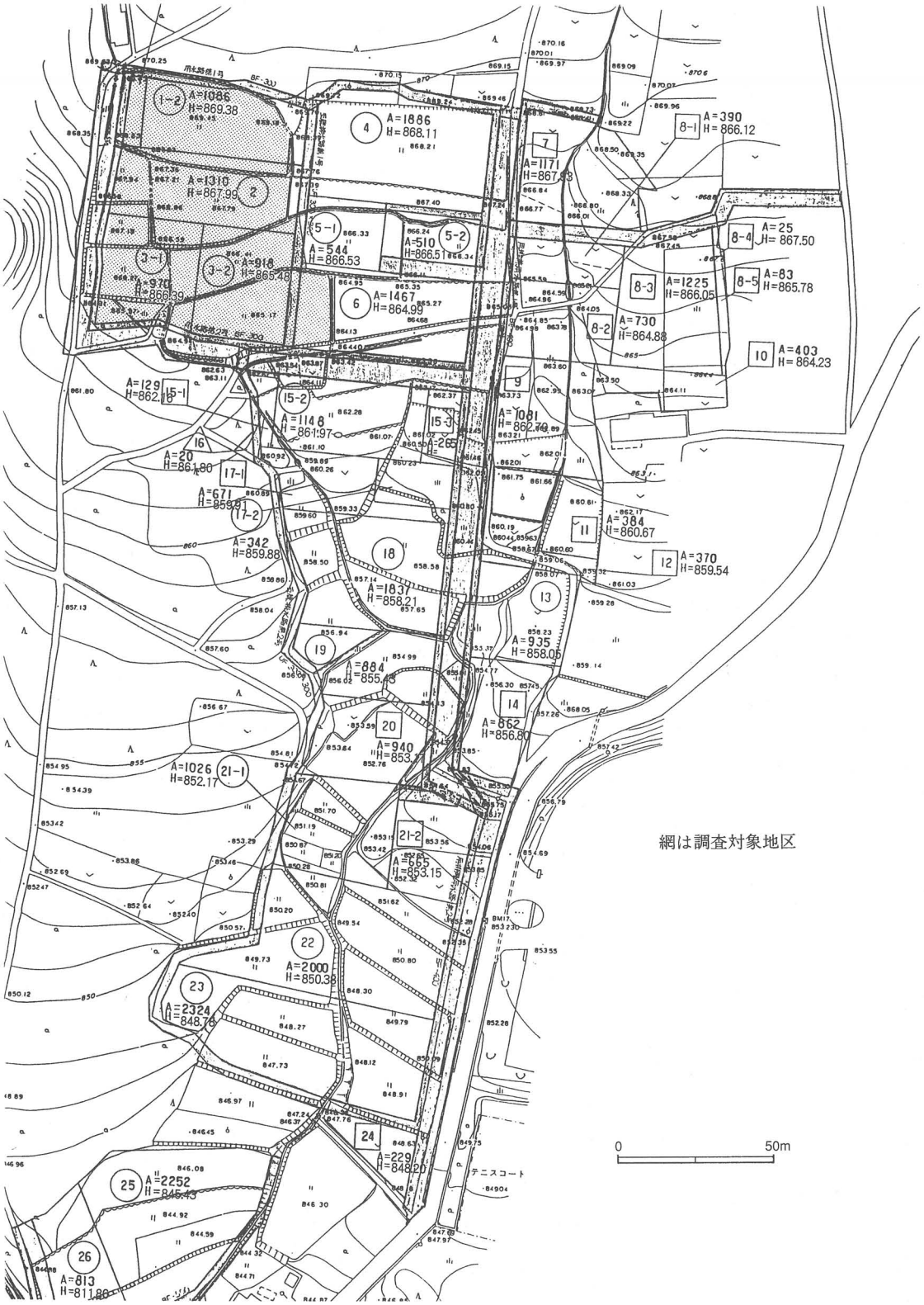


1　古林第４遺跡　2　甲ッ原遺跡　3　姥神遺跡　4　天神遺跡　5　寺所第２遺跡　6　金生遺跡　7　石堂Ｂ遺跡　8　御所前遺跡　9　社口遺跡　10　宮の前遺跡　11　次郎構遺跡　12　柳坪遺跡　13　頭無遺跡　14　酒呑場遺跡　15　中原遺跡　16　井戸尻遺跡　17　上小用遺跡　18　東姥神遺跡　19　宮地第２遺跡　20　宮地第３遺跡　21　山崎第４遺跡　22　大和田遺跡　23　方城第１遺跡　24　城山遺跡　25　御所遺跡　26　谷戸氏館跡　27　別当遺跡



第１図　周辺の地形と遺跡の分布

(1) 大泉村教育委員会　1999　『古林第４遺跡Ⅰ（石器編）』大泉村埋蔵文化財調査報告書第12集
(2) 伊藤公明　2001　「寺所第２遺跡Ｔ地区37号住居跡出土の遺物について」『八ヶ岳考古－平成12年度年報－』北巨摩市町村文化財担当者会
(3) 櫛原巧一　1999　「第３章　２　縄文時代の住居と集落」『山梨県史　資料編２　原始古代２』　山梨県

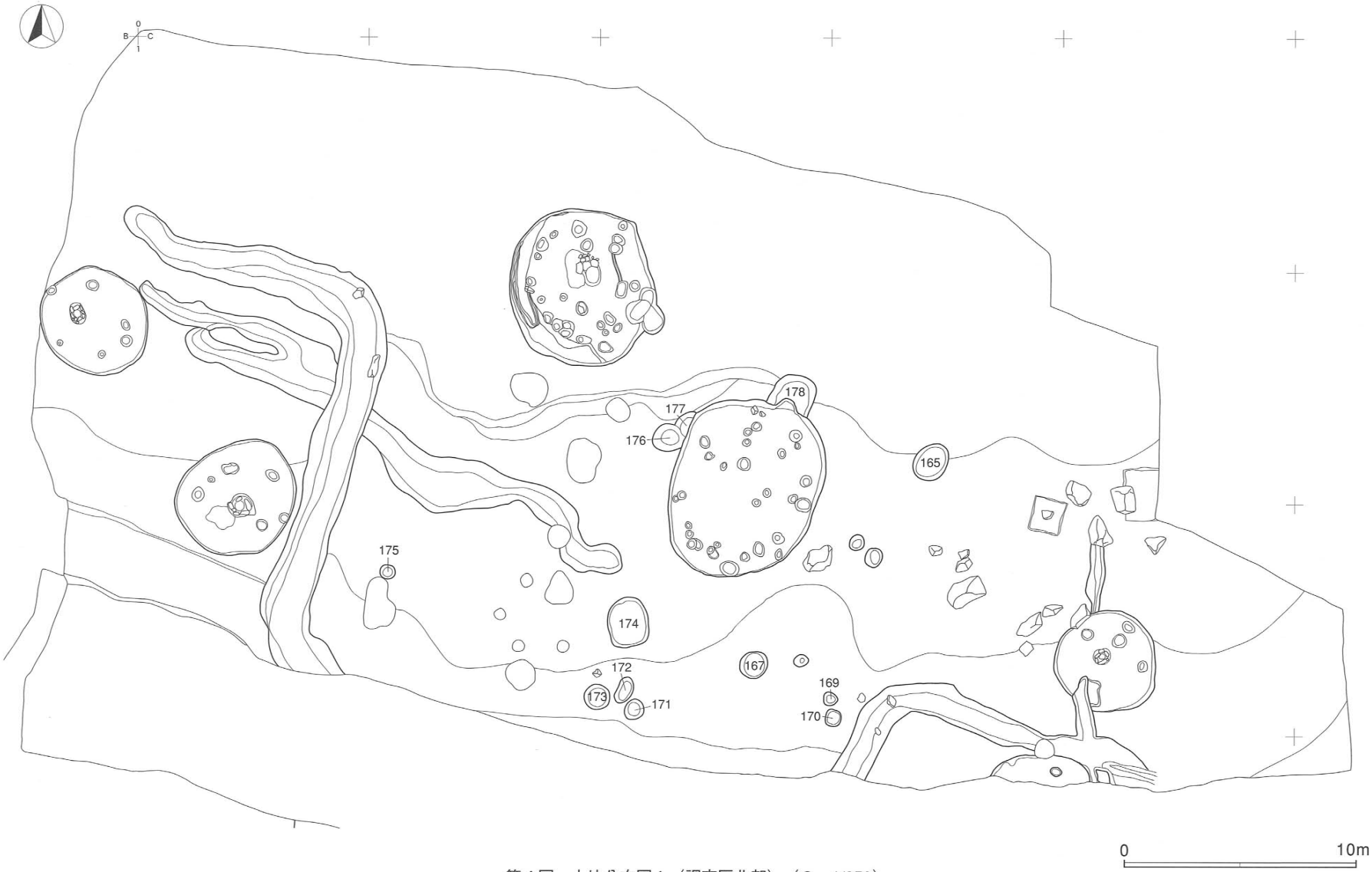


第２図　調査対象地区と施工計画図（Ｓ＝1/2,000）

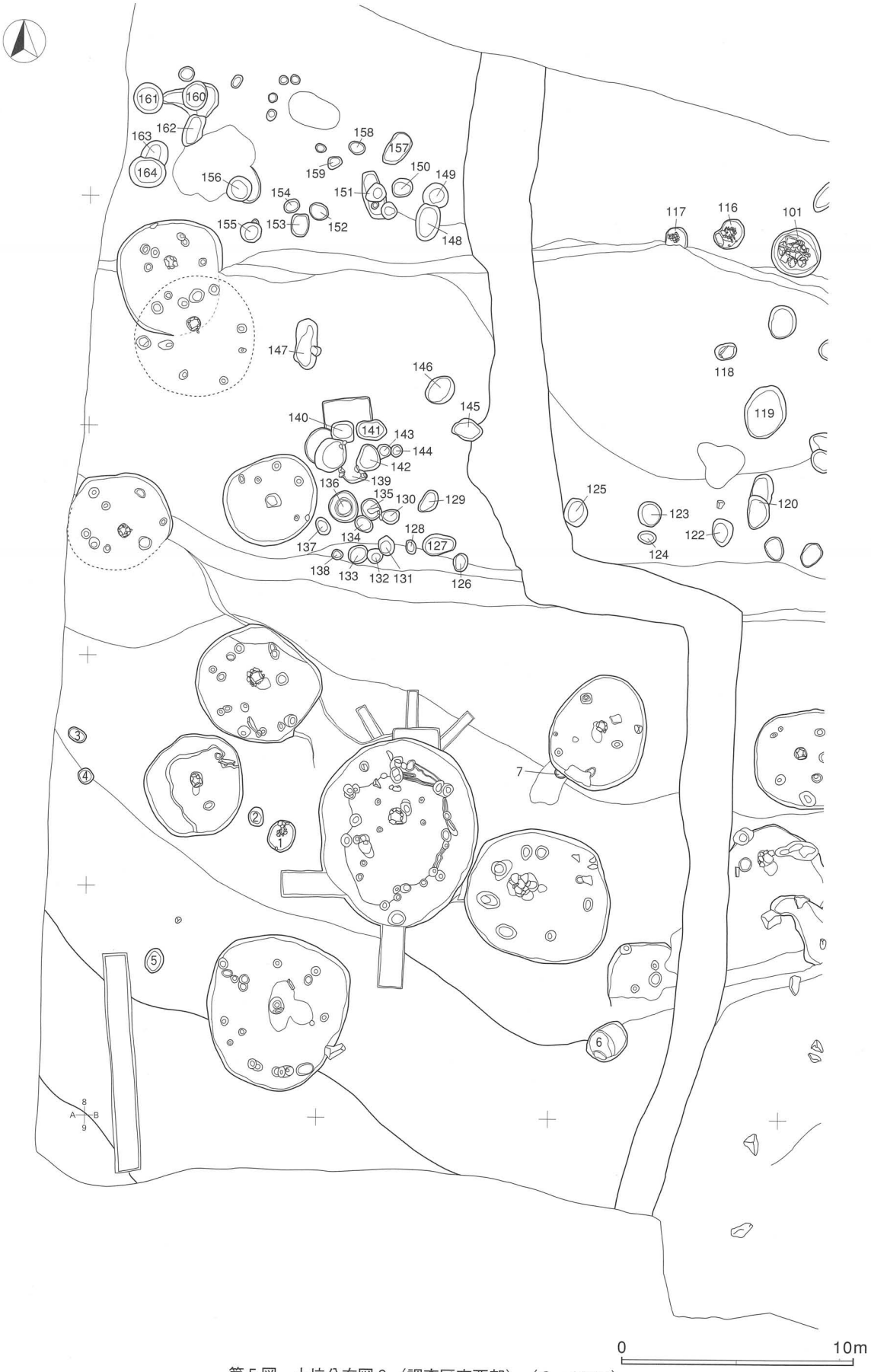
測点　No.1　B・C－3・4　X=-15760.000　Y=-8870.000
　　No.2　E・F－2・3　X=-15750.000　Y=-8840.000
　　No.3　A・B－7・8　X=-15800.000　Y=-8880.000
　　No.4　G・H－7・8　X=-15800.000　Y=-8820.000

＊座標値は日本測地系による。

第３図　調査全体図（Ｓ＝1/500）



第４図　土坑分布図１（調査区北部）（Ｓ＝1/250）



第５図　土坑分布図２（調査区南西部）（S＝1/250）

第６図　土坑分布図３（調査区南東部）（Ｓ＝1/250）

2　遺構と遺物

遺構観察所見

住居跡

1号住居跡

位置　D・E－1・2グリッド。調査区内最北に位置する。南東4mに19号住居跡が存在する。　**形態**　楕円形　**規模**　長軸6.90m、短軸6.06mを測る。壁高は18~24cmを測る。　**主軸**　N－15°－W　**床面**　斜面に沿って北東から南西に穏やかに傾斜する。　**周溝**　西側住居壁及び住居北側に部分的にみられる。　**炉**　住居中央部よりやや北側に偏して110×75cm、深さ24cmを測る石囲い炉が検出された。炉石は扁平な幅広の礫が使用されている。　**柱穴**　21本検出されている。　**その他の遺構**　住居南西部に地山造り出しによりベッド状遺構を構築する。また、住居北東部に一部柱穴間を結ぶ溝が検出されている。　**遺物出土状況**　住居中央やや南側に偏して覆土中にレンズ状に多量の遺物が出土。01006、01013は2号住居跡と、01001、01003、01008、01017は19号住居跡と接合関係を持つ。また、住居南側出土の石柱はベッド状遺構直上、01018は住居西側床直出土。

2号住居跡

位置　B・C－2グリッド。南東5.3mに3号住居跡が存在する。　**形態**　ほぼ円形　**規模**　長軸5.16m、短軸4.38mを測る。壁高は9～12cmを測る。　**主軸**　N－5°－W　**床面**　緩やかな斜面に沿って北東から南西に穏やかに傾斜する。　**周溝**　なし。　**炉**　住居西側に偏して87×75cm、深さ28.5cmを測る石囲い炉が検出された。炉石は25~30cm前後の均一的な礫で、方形に配置されている。　**柱穴**　6本検出されている。　**遺物出土状況**　住居中央～西側に偏して覆土中から多量の遺物が出土。先述の1号住居跡との接合関係の他、02018が1号住居跡と、02021が3号住居跡と接合関係を持つ。また、住居南東部床直から無頭の石棒が出土している他、ヒスイ製の石笛（？）が住居跡北東部、床面より若干浮いて出土している。

3号住居跡

位置　C－2・3グリッド。北西5.3mに2号住居跡が存在する。　**形態**　楕円の長軸の一部がやや突出した形のプラン　**規模**　長軸5.28m、短軸4.68mを測る。壁高は15~30cmを測る。　**主軸**　N－86°－E　**床面**　斜面に沿って北から南に傾斜する。　**周溝**　なし。　**炉**　住居ほぼ中央部に114×96cm、深さ15cmを測る方形の石囲い炉が検出された。北側は一部のみ石が残っている。他三方は60~40cm前後の石柱状の巨礫が配置されている。　**柱穴**　6本検出されている。この内ピット5、6は遺物出土状況より貯蔵穴状の機能が想定されようか。位置関係から南東部で掘り足らずか。　**遺物出土状況**　住居東側から西側へ流れ込むような形で多量の遺物が出土。03013はピット3、4、5、炉内、覆土中から出土したものが接合。03004、03054は遺構外か。

4号住居跡

位置　B－5グリッド。南東部で5号住居跡を切っている。　**形態**　住居東南部を削平されているため詳細

は不明であるが、残存部から考えて楕円形のプランを呈するものであろう。 **規模** 長軸4.98m、短軸4.38mを測る。壁高は24cmを測る。 **主軸** N－5°－W **床面** 斜面に沿って北から南に穏やかに傾斜する。 **周溝** なし。 **炉** 住居北側に偏して57×54cm、深さ10.5cmを測る方形の石囲い炉が検出された。幅広の扁平な礫が東西の炉石となっている。北側の炉石は残っていない。 **柱穴** 7本検出されている。 **遺物出土状況** 住居跡北側から南側へ流れ込むように遺物が出土。

5号住居跡

位置 B－5グリッド。北西部を4号住居跡により切られている。南東3.2mに6号住居跡が存在する。 **形態** 住居全域を削平されているため詳細は不明であるが、ピットの配列や炉跡の位置から考えてほぼ円形のプランであろうと想定される。 **規模** 現存部で長軸5.22m、短軸5.16mを測る。壁はほとんど残存していない。 **主軸** N－64°－E **周溝** 不明。 **炉** 住居推定中央部よりやや北側に偏して57×57cm、深さ7.5cmを測る石囲い炉が検出された。南西隅は長さ26cmと31cmの細長状の礫により正角が形成されているが、他は弧を描くように小ぶりの礫が配置されている。 **柱穴** 9本検出されている。この内、ピット5を入口施設と仮定すると5本主柱穴で住居主軸、入口方向、炉正面観がほぼ一致する形態となるが、覆土の状況や掘上がりの形状、規模から他の主柱穴としたものと隔たりはない。ここでは6本主柱穴の構造を想定したい。 **遺物出土状況** 住居跡推定プランの南側に偏して出土。05003は遺構外か。

6号住居跡

位置 B－6グリッド。北西3.2mに5号住居跡、西2.1mに7号住居跡、南3.4mに13号住居跡が存在する。 **形態** 北東部が扁平な円形 **規模** 長軸4.02m、短軸3.78mを測る。壁高は12～18cmを測る。 **主軸** N－87°－E **床面** 斜面に沿って北から南に穏やかに傾斜する。炉を挟み南北で高低差がある。 **周溝** なし。 **炉** 住居中央部に73×63cm、深さ10cmを測る炉が検出された。堀方の観察から地床炉と判断される。 **柱穴** 5本検出されている。 **遺物出土状況** 住居跡中央、覆土下層を中心に遺物が分布。06007は16号住居跡と接合関係を有する。

7号住居跡

位置 A・B－6グリッド。東2.1mに6号住居跡、南東4.8mに13号住居跡が存在する。 **形態** 住居南西半分を削平されており詳細は不明であるが、ピットの配列や炉跡の位置から考えてほぼ円形のプランが想定される。 **規模** 現存部で長軸4.32m、短軸3.99mを測る。壁高は18cmを測る。 **主軸** N－90°－E **周溝** なし。 **炉** 住居南東側に偏して57×51cm、深さ10.5cmを測る方形の石囲い炉が検出された。 **柱穴** 7本検出されている。 **遺物出土状況** 住居跡北側から南側への遺物の流れ込みが想定される。

8号住居跡

位置 D－7グリッド。南西3.6mに16号住居跡、南2.3mに14号住居跡、東4.8mに12号住居跡が存在する。 **形態** 楕円形の長軸側の一部がやや突出したプラン。住居南側プラン内に地山の巨礫が露出している。 **規模** 長軸4.80m、短軸4.02mを測る。壁高は18cmを測る。 **主軸** N－27°－E **床面** 緩やかな斜面に沿って北から南に穏やかに傾斜する。住居跡中央部が若干低くなる。 **周溝** なし。 **炉** 住居中央部よりやや北側に偏して51×45cm、深さ9cmを測る石囲い炉が検出された。東側では炉石の代わりに

土器片が炉壁に沿って見つかっている。北側は石が残っていない。 **柱穴** 4本検出されている。 **遺物出土状況** 住居中央、覆土中位に遺物が集中。

9号住居跡

位置 B・C－8グリッド。調査区最南端に位置する住居跡であり、北西4.6mに15号住居跡、北東2.1mに16号住居跡が存在する。 **形態** 不整円形 **規模** 長軸6.78m、短軸6.06mを測る。壁高は24～48cmを測る。 **主軸** N－3°－W **床面** 北壁から炉までは穏やかに傾斜して下り、炉以南ではほぼ水平に構築されている。 **周溝** なし。 **炉** 住居ほぼ中央部に69×60cm、深さ12cmを測る炉が検出された。本来掘方の形状から石囲い炉と考えられるが炉石は北側に18cm前後の石が残るのみで、他は抜き取られている。炉掘方全面が被熱赤変する他、炉周辺に大きく地床炉状に地山の被熱赤変部分が広がる。 **柱穴** 15本検出されている。放射状に分布する部分があることから、住居の拡張が行われたものと判断される。 **遺物出土状況** 住居中央、覆土中位から多量の遺物が出土。総出土量は整理箱で5箱程度であった。09009、09010、09040が16号住居跡と接合関係を有する。この内09040の土偶は頭部のみこの住居跡から出土し、体部が16号住居跡から出土している。この頭部が9号住居跡南壁近く、住居埋没の1次堆積層と考えられる三角形の土層中からの出土であるのに対し、体部は16号住居跡の覆土中位からの出土であることからこの住居に帰属させた。また、住居北東部床直から石柱が出土している。

10号住居跡

位置 D－8グリッド。北西0.8mに14号住居跡、北東2.7mに11号住居跡が存在する。 **形態** 東・南側を削平されているため詳細は不明である。 **規模** 現存部で長軸2.94m、短軸2.46mを測る。壁はほとんど残存していない。 **主軸** 不明。 **床面** 斜面に沿って北から南に傾斜する。 **周溝** なし。 **遺物出土状況** 住居中央部から出土。

11号住居跡

位置 D・E－7・8グリッド。南西2.7mに10号住居跡、北0.8mに12号住居跡が存在する。 **形態** 西・南側を若干削平されているが、残存部の形状から考えてほぼ円形のプランが想定されよう。南東部は4号溝により切られている。 **規模** 現存部で長軸4.74m、短軸4.68mを測る。壁高は3cmを測る。 **主軸** N－30°－W **床面** 斜面に沿って北から南に穏やかに傾斜する。 **周溝** なし。 **炉** 住居北側に偏して63×60cm、深さ15cmを測る方形の石囲い炉が検出された。炉石は北と西側で残っている。北側は炉石として有頭石棒が利用されている。炉南側に地床炉状の地山被熱赤変部が広がる。 **柱穴** 4本検出されている。 **遺物出土状況** 住居北西部床直から石柱出土している他、11001が炉東側床直から出土。

12号住居跡

位置 D・E－7グリッド。西4.8mに8号住居跡、南0.8mに11号住居跡が存在する。 **形態** 一隅が丸みの強い隅丸方形のプラン **規模** 長軸4.32m、短軸3.96mを測る。壁高は12cmを測る。 **主軸** N－5°－W **床面** ほぼ水平に構築される。 **周溝** なし。 **炉** 住居中央部よりやや北側に偏して54×51cm、深さ12cmを測る方形の石囲い炉が検出された。炉石は細長い礫が使用されている。 **柱穴** 7本検出されている。この内ピット4は形状及び遺物出土状況から貯蔵穴としての機能が想定される。 **遺物出土状況**

住居中央、覆土中～下位から集中して出土。

13号住居跡

位置　B・C－6・7グリッド。北3.4ｍに6号住居跡、北西4.8ｍに7号住居跡、南西0.25ｍに15号住居跡、南東2.5mに16号住居跡が存在する。　**形態**　円形の北東部が突出したプラン　**規模**　長軸5.10m、短軸4.86mを測る。壁高は12～18cmを測る。　**主軸**　N－36°－W　**床面**　緩やかな斜面に沿って北から南に穏やかに傾斜する。　**周溝**　なし。　**炉**　住居中央部よりやや北側に偏して84×78cm、深さ15cmを測る方形の石囲い炉が検出された。内側は細長い形状の礫で囲み、その外側に20cm～拳大の礫を配している。また、南東部に接して地床炉状の地山赤変部が広がる。　**柱穴**　14本検出されている。　**遺物出土状況**　住居跡中央、覆土下層から集中して遺物が出土。

14号住居跡

位置　C・D－7・8グリッド。北2.3mに8号住居跡、西に近接して16号住居跡、南東0.8ｍに10号住居跡が存在する。　**形態**　円形の南東側が張り出した形のプラン　**規模**　長軸6.42ｍ、短軸5.82ｍを測る。壁高は12～36cmを測る。　**主軸**　N－55°－W　**床面**　ほぼ水平に構築される。　**周溝**　なし。　**炉**　住居中央部よりやや北西側に偏して72×66cm、深さ15cmを測る方形の石囲い炉が検出された。炉石は扁平で幅広の礫が使われている。炉の東側に接して地床炉状の浅い掘り込みが存在する。炉の改変によるものと考えられる。　**柱穴**　8本検出されている。　**遺物出土状況**　住居プラン外縁部からの出土が多く、他の住居跡の遺物出土状況とは大きく異なる。14008は住居奥壁寄りから完形で正位で出土。床直に置かれた石の上に置かれた状況か。　**特記事項**　炭化材や焼土の分布から焼失家屋の可能性あり。覆土堆積、遺物出土状況も他の住居跡とは異なり、いわゆる吹上パターンとは考えられない。また、出土土器中二次焼成を受けているものが目立つ。当時の日常の土器の管理状況を考える時、示唆的である。

15号住居跡

位置　B－7グリッド。北東0.25ｍに13号住居跡、東3.6ｍに16号住居跡、南東4.6ｍに9号住居跡が存在する。　**形態**　不整円形　**規模**　長軸4.44m、短軸4.14mを測る。壁高は12～24cmを測る。　**主軸**　N－6°－W　**床面**　ほぼ水平に構築されるが、北～西壁に沿って造り出しによるテラスが存在し段差を生じさせている。1号住居跡と同様、ベッド状の遺構と判断したい。　**周溝**　なし。　**炉**　住居ほぼ中央部に66×51cm、深さ18cmを測る石囲い炉が検出された。　**柱穴**　2本検出されている。　**遺物出土状況**　住居中央、覆土中位からの出土が多い。また、住居北東部床直から石柱が出土している他、15003は住居南東部壁際からほぼ完形で床直から出土している。また、15021は炉の南西部床直からの出土である。15018は破片となって覆土中の出土。

16号住居跡

位置　C－7・8グリッド。北西2.5mに13号住居跡、西3.6mに15号住居跡、南西2.1mに9号住居跡、南西に近接して14号住居跡、北東3.6mに8号住居跡が存在する。　**形態**　楕円形　**規模**　長軸8.16m、短軸6.60mを測る。壁高は24～42cmを測る。調査区内最大の規模をなす。　**主軸**　N－0°－W　**床面**　ほぼ水平に構築される。　**周溝**　なし。　**炉**　住居中央部よりやや北側に偏して81×73.5cm、深さ15cmを測

る方形の石囲い炉が検出された。この炉を一部壊す形で柱穴状のピットが存在するが、この住居に伴うものか不明。また、この炉の周囲に左右対称の位置に小ピットが4本検出されている。炉に伴う何らかの施設であろうか。 **柱穴** 19本を調査時に認識していたが、完掘状態で32本存在していた。規模、配置にバラつきが見られ、改修等も想定されるが、概ね8本主柱穴と2本の出入口施設として捉えられようか。 **その他の施設** 住居址北側から東南側に柱穴間を結ぶ間仕切状の溝がみられる。北側では小規模の1本を含め3本並行して確認されている。また溝は掘られていないが、これと連結して間仕切状の段差が全周する。 **遺物出土状況** 住居中央、覆土上～中位から多量の遺物が出土。総出土量は整理箱10箱程度で、本集落跡中最多の出土量である。16023が14号住居跡と、16043、16051が15号住居跡と、16076が3号住居跡と接合関係、もしくは同一個体片が出土している。09040の出土状況については前述。

17号住居跡

位置 F・G－3グリッド。南西2.1mに18号住居跡、北西12mに19号住居跡が存在する。 **形態** ほぼ円形。南東側を10号溝に切られている。 **規模** 長軸4.38m、短軸4.35mを測る。壁高は15～18cmを測る。 **主軸** N－12°－W **床面** 北から南に若干傾斜する。 **周溝** なし。 **炉** 住居ほぼ中央部に78×67.5cm、深さ18cmを測る石囲い炉が検出された。 **柱穴** 4本検出されている。 **遺物出土状況** 床直～覆土下層を中心に遺物が分布。

18号住居跡

位置 F・G－4グリッド。北東2.1mに17号住居跡が存在する。 **形態** 北側を除いて削平されているため詳細は不明である。 **規模** 現存部で長軸5.22m、短軸1.32mを測る。壁高は6cmを測る。 **主軸** 不明。 **床面** 残存部ではほぼ水平に構築されている。 **周溝** 現存部では検出されていない。 **炉** 現存部では検出されていない。 **柱穴** 1本検出されている。 **遺物出土状況** 18001は住居北側床直から出土。

19号住居跡

位置 E－2・3グリッド。北西4mに1号住居跡、南東12mに17号住居跡が存在する。19号住居跡北寄り3分の2を占めて20号住居跡が内在する。 **形態** 楕円形 **規模** 長軸7.93m、短軸6.37mを測る。壁高は18～36cmを測る。 **主軸** N－36°－E **床面** ほぼ水平に構築される。 **周溝** なし。 **炉** 住居ほぼ中央部に66×45cm、深さ12cmを測る石囲い炉が検出された。北東側に露出する巨礫を炉石として利用している。他の炉石は抜き取られている。 **柱穴** 調査時に16本を認識していたが、最終的に19本検出している。この内1、2、3、4、5、6、12、13、16が主柱穴、7は入口施設であろうか。 **遺物出土状況** 覆土上～中位を中心に遺物が出土。1号住居跡出土遺物と接合関係を有する。

20号住居跡

位置 E－2・3グリッド。19号住居内に存在する。 **形態** 胴張りの隅丸方形。 **規模** 長軸4.38m、短軸4.08mを測る。壁はほとんど残存していない。 **主軸** N－52°－W **周溝** 住居東側を除いて断続的に周溝が巡る。 **炉** 住居中央部よりやや北側に偏して78×57cm、深さ13cmを測る方形の石囲い炉が検出された。 **柱穴** 9本検出されている。 **遺物出土状況** 床面を19号住居跡と共有することから炉直上の20001のみ。

土坑

調査時の混乱のため、一部欠番のものもあるが以下調査時の番号順に記述を進める。形状的に本来複数の土坑から構成されるものと想定できるものもあるが、調査時の認定に依った。また、調査区北側のD・E－2・3区を中心に主に2号溝の影響によると考えられる多数のシミ状の落ち込みが確認されているが、最終的には掘り上がりの形状、遺物の出土状態から土坑の認定を行った。

1号土坑　B－7区に位置する。長軸138cm、短軸114cmの楕円形の土坑である。深さは30cmを測る。1層中より0055出土。

2号土坑　B－7区に位置する。長軸80cm、短軸66cmの不整円形のプランを呈している。深さは22cmを測る。

3号土坑　A－7区に位置する。長軸79cm、短軸56cmの楕円形のプランを呈している。深さは9cmを測る。

4号土坑　A・B－7区に位置する。径62cmのほぼ円形のプランを呈し、深さは11cmを測る。

5号土坑　B－5区に位置する。長軸107cm、短軸74cmの楕円形のプランを呈している。深さは33cmを測る。

6号土坑　D－8区に位置する。長軸186cm、短軸145cmの楕円形のプランの土坑である。深さは36cmを測る。底面に若干の段差がみられる。調査前に石造物が設置された付近にあり（図版2参照）、関連施設を想定して調査に当ったがその関連性については不明。

7号土坑　D－7区に位置する。長軸55cm、短軸42cm、深さ21cmを測る。南東側は巨石が土坑の一部となり、開口部と壁面の一部を形成している。8号住居跡構築以前の遺構と考えられる。

8号土坑　F－9区に位置する。長軸128cm、短軸114cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは19cmを測る。

9号土坑　G－9区に位置する。長軸138cm、短軸68cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは18cmを測る。底部南東隅には長さ60cmにわたり礫が露出している。

10号土坑　G・H－8区に位置する。長軸147cm、短軸141cmの楕円形のプランの土坑である。深さは34cmを測る。

11号土坑　F－7区に位置する。長軸74cm、短軸66cmの不整円形のプランを呈している。深さは36cmを測る。

12号土坑　F－7区に位置する。長軸69cm、短軸67cmの不整円形のプランを呈している。深さは81cmを測る。

13号土坑　F－7区に位置する。北側で14号土坑と複合しているが先後関係不明。長軸102cm、短軸76cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは56cmを測る。南東部に礫（47×33cm）が露出している。

14号土坑　F－7区に位置する。南側を13号土坑と複合しているが先後関係不明。残存部で長軸54cm、短軸44cm、深さは56cmを測る。

15号土坑　F－7区に位置する。北東側を16号土坑と複合しているが先後関係不明。残存部で長軸108cm、短軸58cmを測る。

16号土坑　F－7区に位置する。南西側で15号土坑と複合しているが先後関係不明。長軸96cm、短軸71cmの楕円形のプランを呈している。楕円形の両端内側にそれぞれピットが穿たれている。

17号土坑　E－7・8区に位置する。長軸180cm、短軸151cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは119cmを測る。壁面、底部に礫4個（長さ16～78cm）が露出している。

18号土坑　F－7区に位置する。20号土坑と複合しているが先後関係不明。残存部で長軸84cm、短軸69cm、深さは24cmを測る。

19号土坑　H－7区に位置する。長軸96cm、短軸90cmの楕円形のプランの土坑である。深さは126cmを測る。土坑底部の南側に偏して小ピットが穿たれている。

20号土坑　F－7区に位置する。北側で18号土坑と複合しているが先後関係不明。南側も21号土坑と切り合うが、先後関係は明確でない。長軸132cm、短軸114cmの楕円形のプランの土坑である。深さは63cmを測る。壁面、底面にはおよそ40~80cm大の礫5個が露出している。

21号土坑　F－7区に位置する。北側で20号土坑と接し、南側で22号土坑と切り合うが、先後関係は不明。残存部で長軸81cm、深さは60cmを測る。底面に直径35cmほどの礫が露出している。

22号土坑　F－7区に位置する。北側で21号土坑と切り合う（先後関係不明）。残存部で長軸99cm、深さは67cmを測る。65×50cmほどの礫が露出し、底面を形成している。

23号土坑　F－7区に位置する。北側で24、25号土坑と複合しているが先後関係不明。長軸135cm、短軸111cmの不整楕円形プランを呈し、深さは42cmを測る。底部北側は60×80cmほどの礫が露出して底面を形成し、全底面の半分以上を占めている。

24号土坑　F－7区に位置する。南側を23号土坑と、東側で25号土坑と切り合っている（先後関係不明）ため、残存部分はわずかである。残存部で長軸108cm、短軸48cmを測る。

25号土坑　F－7区に位置する。南側を23号土坑と、東隅部分を26号土坑と、更に西側で24号土坑と切り合うが、いずれも先後関係は不明。残存部で長軸138cm、短軸123cm、深さは30cmを測る。

26号土坑　F・G－7区に位置する。南西側で25号土坑と複合しているが先後関係は不明。形態から考えて、3基の土坑により構成されている土坑である。そのため底部には段差がみられる。長軸78cm、短軸66cmの不整形を呈し、深さは42cmを測る。

27号土坑　F・G－7区に位置する。北側で28号土坑と切り合うが、先後関係は不明。壁面はほぼ垂直に立ち上がっている。底部には27・28号両土坑にわたって礫（99×54cm）が露出している。残存部で長軸96cm、短軸75cm、深さは54cmを測る。

28号土坑　F・G－7区に位置する。南側で27号土坑と切り合うが、先後関係は不明。壁面はほぼ垂直に立ち上がっている。底部には27・28号両土坑にわたって礫（99×54cm）が露出している。残存部で長軸84cm、短軸75cm、深さは75cmを測る。

29号土坑　G－7区に位置する。東側で30号土坑と、北側で31号土坑と切り合うが、先後関係は不明。壁面から底部にかけて礫（66×48cm）が露出している。残存部で長軸93cm、短軸84cm、深さは72cmを測る。

30号土坑　G－7区に位置する。西側を29号、北側を31号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸87cm、短軸72cmを測る。

31号土坑　G－7区に位置する。西側で29号土坑と、南側で30号土坑と切り合うが、先後関係は不明。壁面に礫が露出している。

32号土坑　G－7区に位置する。北東側で44号土坑と複合しているが先後関係は不明。2基の土坑から成るものと考えられるがその先後関係は不明。北側のものが深く、深さ30cmほどの段差が確認されている。長軸57cm、短軸45cm、深さは51cmを測る。

33号土坑　欠番

34号土坑　G－7区に位置する。西側で44号土坑と切り合う（先後関係不明）。土坑内には礫が露出している。残存部で長軸99cm、短軸75cm、深さは36cmを測る。

35号土坑　G－7区に位置する。東側土坑外周部を36号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸99cm、短軸96cmのほぼ円形のプランを呈している。

36号土坑　G－7区に位置する。東南隅をピットと、西側で35号土坑と複合しているが先後関係は不明。底部に30cmほどにわたり礫1個が露出している。残存部で長軸120cm、短軸111cm、深さは42cmを測る。

37号土坑　G－7区に位置する。北側で45号土坑と複合しているが先後関係は不明。底部及び底部付近で礫5個が露出している。長軸123cm、短軸96cm、深さは117cmを測る。

38号土坑　F・G－7区に位置する。東側で45号土坑と複合しているが先後関係は不明。底部は、90×90cmの範囲で礫が突出しており、底面のほぼ全域を占めている。径114cmの円形を呈し、深さは51cmを測る。

39号土坑　G－6・7区に位置する。土坑中に多量の6～20cm大の礫がみられる集石土坑である。長軸96cm、短軸87cmの不整円形を呈し、深さは12cmを測る。

40号土坑　G－7区に位置する。長軸83cm、短軸46cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは41cmを測る。底部に段差がある。

41号土坑　G－7区に位置する。南側で42号土坑と切り合い（先後関係不明）、42号土坑の方が浅く、41号土坑に対してテラス状を呈している。残存部で長軸111cm、短軸60cm、深さは93cmを測る。

42号土坑　G－7区に位置する。北側で41号土坑と切り合う（先後関係不明）。残存部で長軸105cm、短軸75cm、深さ45cmを測る。

43号土坑　G－7区に位置する。北東側土坑外周部にかかって礫（84×57cm）が露出している。南側に小ピット2基が穿たれている。径159cmの円形のプランを呈している。深さは24cmを測る。

44号土坑　G－7区に位置する。東側で34号土坑と切り合う（先後関係不明）。東南隅には直径40cmほどのピットが穿たれている。残存部で長軸148cm、短軸84cmを測る。残存底部中央部分に礫が突出している（長さ84cm、高さ42cm）。

45号土坑　G－7区に位置する。南、東側をそれぞれ37号、38号土坑と複合しているが先後関係は不明。底部には、表面の平坦な礫（108×51cm）が傾斜して露出している。残存部で長軸168cm、短軸129cmを測る。

46号土坑　F－5区に位置する。長軸75cm、短軸59cmの不整形のプランを呈している。深さは37cmを測る。2基の土坑で構成されているものと考えられ南北で底部に段差がある。

47号土坑　F－5区に位置する。長軸113cm、短軸68cmの不整形のプランを呈している。深さは31.5cmを測る。2基の土坑で構成されているものと考えられ南北で底部に段差がある。

48号土坑　F－5区に位置する。長軸82cm、短軸72cmの不整方形のプランを呈している。深さは23cmを測る。

49号土坑　F－5区に位置する。南側を50号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸95cm、短軸88cm、深さ17cmを測る。

50号土坑　F－5区に位置する。北側で49号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸95cm、短軸90cmの不整円形のプランを呈し、深さは20cmを測る。

51号土坑　F－5区に位置する。南西側を52号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸90cm、短軸45cm、深さ18cmを測る。

52号土坑　F－5区に位置する。北東側で51号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸126cm、短軸117cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは9cmを測る。土坑東側、確認面近くより0014出土。

53号土坑　F－5区に位置する。南東側で62号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸

170cm、短軸151cmの不整形のプランを呈し、深さは35cmを測る。底部中央より南東に偏して小ピットが穿たれている。

54号土坑　F－5区に位置する。長軸107cm、短軸80cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは12cmを測る。

55号土坑　F－5区に位置する。長軸118cm、短軸89cmの不整形のプランを呈し、深さは15cmを測る。

56号土坑　F－5区に位置する。南側を57号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸63cm、短軸51cm、深さ12cmを測る。

57号土坑　F－5区に位置する。北、南側でそれぞれ56号、58号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸144cm、短軸84cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは27cmを測る。

58号土坑　F－5区に位置する。北側土坑外周部を57号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸99cm、短軸78cmの不整円形のプランを呈し、深さは27cmを測る。

59号土坑　F－5区に位置する。径108cmの円形のプランを呈し、深さは27cmを測る。

60号土坑　F－5区に位置する。長軸108cm、短軸72cmの楕円形のプランを呈している。深さは15cmを測る。土坑東側、覆土中位から0015出土。

61号土坑　F－5区に位置する。長軸54cm、短軸48cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは11cmを測る。

62号土坑　F－5区に位置する。北側で53号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸99cm、短軸66cm、深さ37cmを測る。

63号土坑　F－5区に位置する。長軸68cm、短軸56cmの楕円形のプランを呈している。深さは15cmを測る。

64号土坑　F－5・6区に位置する。長軸86cm、短軸60cmの楕円形のプランを呈し、深さは7cmを測る。

65号土坑　F－5・6区に位置する。長軸210cm、短軸168cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは35cmを測る。土坑外周部北西隅及び底部南側に長さ46～50cmほどの礫4個が露出している。

66号土坑　F－6区に位置する。長軸174cm、短軸100cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは11cmを測る。

67号土坑　E－5区に位置する。長軸99cm、短軸60cm、深さ6cmの不整楕円形のプランを呈している。南西側で小ピットと接している。深鉢大型破片（0018）外面を上位に出土。

68号土坑　F－5区に位置する。西側土坑外周部分を69号土坑により切られている。残存部で長軸90cm、短軸90cmの不整形のプランを呈している。深さは15cmを測る。試掘調査時に検出。深鉢（0019）が横倒しで出土。耕作によりその上部を欠損するがこれ以外略完形。

69号土坑　F－5区に位置する。東側で68号土坑を切っている。長軸81cm、短軸75cm、深さ18cmを測り、円形のプランに西側が突出する形を呈している。試掘調査時に検出。

70号土坑　F－5区に位置する。東側で71号土坑と切り合うが、先後関係は不明。残存部で長軸87cm、短軸60cm、深さ15cmを測る。

71号土坑　F－5区に位置する。西側で70号土坑と切り合う。東側で9号溝外周部分に切られている。残存部で長軸108cm、短軸66cm、深さ21cmを測る。

72号土坑　E－5区に位置する。長軸99cm、短軸90cmのほぼ円形のプランを呈している。深さは12cmを測る。深鉢大型破片（0020）外面を上位に出土。

73号土坑　E－5区に位置する。長軸234cm、短軸117cmの不整楕円形のプランを呈している。底部は西側で最深を測り、東側へなだらかに傾斜している。深さは36cmを測る。

74号土坑　E－4・5区に位置する。南側土坑外周部分を75号土坑と複合しているが先後関係は不明。残

存部で長軸99cm、短軸63cm、深さ15cmの楕円形のプランを呈している。

75号土坑　E－4・5区に位置する。北側で74号土坑と複合しているが先後関係は不明。径57cm、深さ15cmの円形のプランを呈している。

76号土坑　E－5区に位置する。南側で77号土坑と接している。長軸114cm、短軸105cmの不整円形のプランを呈している。深さは24cmを測る。

77号土坑　E－5区に位置する。北及び南東側でそれぞれ76号、78号土坑と接している。それぞれ若干の切り合い関係にある（先後関係不明）。長軸75cm、短軸69cm、深さ15cmのほぼ円形のプランを呈している。

78号土坑　E－5区に位置する。西側で77号土坑と接している。長軸111cm、短軸105cmのほぼ円形のプランを呈している。深さは18cmを測る。

79号土坑　E－5区に位置する。長軸154cm、短軸123cm、深さ11cmの不整楕円形のプランを呈している。

80号土坑　E－5区に位置する。径81cmの円形のプランを呈している。深さは18cmを測る。

81号土坑　E－5区に位置する。長軸120cm、短軸114cm、深さ24cmの不整円形のプランを呈している。

82号土坑　E・F－5区に位置する。長軸144cm、短軸114cm、深さ12cmの楕円形のプランを呈している。

83号土坑　E－5区に位置する。長軸99cm、短軸78cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは19cmを測る。

84号土坑　E－5区に位置する。長軸120cm、短軸78cm、深さ7cmの不整楕円形のプランを呈している。

85号土坑　E－5・6区に位置する。長軸129cm、短軸90cmの隅丸方形のプランを呈し、深さは18cmを測る。土坑外から北東隅土坑外周部分にかかって地山の上面に平坦な礫が露出している。

86号土坑　E・F－6区に位置する。長軸105cm、短軸99cmの方形のプランを呈している。深さは21cmを測る。

87号土坑　F－5区に位置する。長軸62cm、短軸60cmの不整円形のプランを呈している。

88号土坑　F－6区に位置する。長軸85cm、短軸64cm、深さ16cmの不整形のプランを呈している。

89号土坑　F－6区に位置する。長軸74cm、短軸51cm、深さ23cmの不整楕円形のプランを呈している。

90号土坑　E－6区に位置する。長軸109cm、短軸98cm、深さ15cmの不整形のプランを呈している。

91号土坑　E－6区に位置する。径123cmの円形のプランを呈している。深さは15cmを測る。

92号土坑　E－6区に位置する。長軸201cm、短軸139cmのほぼ方形のプランを呈している。底部は北西から南東側に傾斜し下っている。深さは21cmを測る。略完形土器0021出土。

93号土坑　E－6区に位置する。長軸108cm、短軸83cm、深さ16cmの不整形のプランを呈している。

94号土坑　E－5・6区に位置する。長軸120cm、短軸105cmの不整円形のプランを呈している。深さは21cmを測る。

95号土坑　E－5区に位置する。長軸77cm、短軸64cm、深さ15cmの不整楕円形のプランを呈している。

96号土坑　E－5区に位置する。長軸117cm、短軸102cmの不整円形のプランを呈している。深さは33cmを測る。

97号土坑　E－5区に位置する。南東側を98号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸231cm、短軸138cm、深さ24cmを測る。

98号土坑　E－5区に位置する。北西側で97号土坑と複合しているが先後関係は不明。北側以外は攪乱の影響で壁面を削り取られている。残存部で長軸130cm、短軸114cm、深さ18cmを測る。

99号土坑　E－5区に位置する。長軸135cm、短軸97cmの楕円形のプランを呈している。深さは18cm

を測る。

100号土坑　E－5・6区に位置する。長軸210cm、短軸192cmの不整円形のプランを呈している。深さは6 cmを測る。底面が地山よりも硬化している。馬屋状の施設であろうか。

101号土坑　D・E－5区に位置する。径212cmの円形のプランを呈している。石組井戸であることが確認されたが、石組の崩落が顕著であり、調査の安全確保ができなかったことから途中までの調査となった。

102号土坑　E－4・5区に位置する。長軸237cm、短軸93cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは36cmを測る。

103号土坑　E－4・5区に位置する。長軸197cm、短軸180cm、深さ21cmの不整台形のプランを呈している。北西部壁面から底部にかけて礫（50×27cm）が露出している。

104号土坑　D・E－5区に位置する。長軸138cm、短軸117cmの楕円形のプランを呈している。深さは27cmを測る。

105号土坑　E－6区に位置する。南側を106号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸111cm、短軸69cm、深さ24cmを測る。

106号土坑　E－6区に位置する。北側で105号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸108cm、短軸99cmの不整円形を呈し、深さは33cmを測る。

107号土坑　E－6区に位置する。東側で108号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸126cm、短軸82cm、深さ30cmを測る。

108号土坑　E－6区に位置する。西側で107号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸108cm、短軸95cm、深さ34cmを測る。

109号土坑　E－6区に位置する。西側で110号土坑と切り合っている（先後関係は不明）。残存部で長軸180cm、短軸85cm、深さ46cmを測る。

110号土坑　E－6区に位置する。東側で109号土坑と切り合っている（先後関係は不明）。残存部で長軸100cm、短軸52cm、深さ29cmを測る。北側にテラスを設けている。

111号土坑　E－6区に位置する。長軸57cm、短軸44cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ15cmを測る。

112号土坑　E－6区に位置する。南西側で113号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸104cm、短軸80cm、深さ26cmを測る。

113号土坑　E－6区に位置する。北東側で112号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸111cm、短軸98cm、深さ24cmを測る。

114号土坑　E－6区に位置する。長軸114cm、短軸79cmの楕円形のプランを呈している。深さは6 cmを測る。

115号土坑　E－6区に位置する。長軸102cm、短軸84cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは21cmを測る。

116号土坑　D－5区に位置する。長軸138cm、短軸108cm、深さ30cmを測る。西側に58×27cmを測る礫を据え、土坑中央部に多量の拳大～人頭大の礫を投入した集石土坑である。

117号土坑　D－5区に位置する。南側を田普請による攪乱により消失している。残存部中央には、拳大の礫が多量にみられる。壁面はなだらかに立ち上がっている。残存部で長軸93cm、短軸78cm、深さ12cmを測る。

118号土坑　D－5区に位置する。長軸90cm、短軸72cm、深さ18cmを測る。土坑上に扁平な礫（66×54×6cm）が蓋状に据えられていた。

119号土坑　D・E－5・6区に位置する。長軸228cm、短軸180cmの楕円形のプランを呈している。深

さは24cmを測る。

120号土坑　D－6区に位置する。2基の土坑から構成されると考えられるが先後関係は不明。底部に段差がみられ、南側のものがわずかに底部を低く構築している。長軸237cm、短軸93cm、深さ42cmを測る。

121号土坑　D・E－6区に位置する。長軸104cm、短軸77cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ7cmを測る。

122号土坑　D－6区に位置する。長軸111cm、短軸90cmの不整円形のプランを呈し、深さ33cmを測る。

123号土坑　D－6区に位置する。径108cmの円形のプランを呈し、深さ27cmを測る。

124号土坑　D－6区に位置する。長軸81cm、短軸54cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは18cmを測る。

125号土坑　D－6区に位置する。長軸117cm、短軸99cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ15cmを測る。底部から確認面までだらだら立ち上がる。覆土上層から0025、0026、0032が出土。

126号土坑　C－6区に位置する。長軸78cm、短軸60cmの楕円形のプランを呈し、深さ26cmを測る。

127号土坑　C－6区に位置する。長軸139cm、短軸96cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ10cmを測る。

128号土坑　C－6区に位置する。長軸59cm、短軸42cmの楕円形のプランを呈し、深さ13cmを測る。

129号土坑　C－6区に位置する。長軸105cm、短軸67cmの楕円形のプランを呈し、深さ9cmを測る。

130号土坑　C－6区に位置する。長軸74cm、短軸60cmの楕円形のプランを呈し、深さ8cmを測る。西側で135号土坑と接している。

131号土坑　C－6区に位置する。南西側で132号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。長軸88cm、短軸72cm、深さ13cmを測る。

132号土坑　C－6区に位置する。北東側で131号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸65cm、短軸59cm、深さ16cmを測る。

133号土坑　C－6区に位置する。長軸90cm、短軸82cmの不整円形のプランを呈し、深さ10cmを測る。

134号土坑　C－6区に位置する。北東側を135号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸82cm、短軸60cm、深さ9cmを測る。

135号土坑　C－6区に位置する。南西側で134号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸95cm、短軸80cmの楕円形のプランを呈し、深さ15cmを測る。底部中央から東側壁面にかけて細長く礫（58×22cm）が露出している。

136号土坑　C－6区に位置する。長軸138cm、短軸122cmのほぼ円形のプランを呈し、深さ26cmを測る。開口部から約10cmの深さに幅20cmのテラスが一巡し、底部では幅10cm、深さ2～3cm程の溝が周囲を巡っている。桶状の圧痕であろうか。下肥等が考えられようか。

137号土坑　B・C－6区に位置する。長軸80cm、短軸54cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ9cmを測る。

138号土坑　C－6区に位置する。長軸52cm、短軸44cmの楕円形のプランを呈し、深さ14cmを測る。

139号土坑　C－6区に位置する。北東側を142号土坑と複合しているが先後関係は不明。北西側は攪乱を受けている。残存部で長軸130cm、短軸64cm、深さ13cmを測る。西側外周部にピットが穿たれている。

140号土坑　C－5・6区に位置する。南側を攪乱により一部破損している。残存部で長軸98cm、短軸85cmの不整形のプランを呈し、深さ25cmを測る。

141号土坑　C－5・6区に位置する。長軸123cm、短軸85cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ22cmを測る。

142号土坑　C－6区に位置する。南側で139号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸110cm、短軸100cmの不整形のプランを呈し、深さ25cmを測る。

143号土坑　C－6区に位置する。西側を142号土坑と、東側で144号土坑と若干の切り合いがある（先後関係は不明）。残存部で長軸58cm、短軸58cm、深さ12cmを測る。

144号土坑　C－6区に位置する。西側で143号土坑と切り合っている（先後関係は不明）。残存部で長軸51cm、短軸45cm、深さ9cmを測る。

145号土坑　C－5・6区に位置する。東側で1号溝に切られている。長軸133cm、短軸94cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ16cmを測る。

146号土坑　C－5区に位置する。長軸145cm、短軸114cmの不整形のプランを呈し、深さ22cmを測る。土坑壁面、底部に粘土の貼付けがみられる。

147号土坑　B－5区に位置する。長軸214cm、短軸110cmの不整形のプランを呈し、深さ44cmを測る。東側外周部中央付近にピットが穿たれている。

148号土坑　C－5区に位置する。北側で149号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸153cm、短軸99cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは15cmを測る。

149号土坑　C－4・5区に位置する。南側を148号土坑と複合しているが先後関係は不明。径111cmのほぼ円形のプランを呈し、深さは69cmを測る。

150号土坑　C－4・5区に位置する。長軸85cm、短軸76cmの隅丸方形のプランを呈し、深さ16cmを測る。

151号土坑　C－4・5区に位置する。長軸207cm、短軸99cmの不整形のプランを呈し、深さ26cmを測る。基本形態は隅丸長方形を呈しており、南東隅に不整円形の掘り込み（別土坑）を有する。土坑底部中央に円形の掘り込み（別土坑）があり、底部南北部分はテラス状になっている。南側テラス状平坦部に小ピットが穿たれている。以上から底部施設を有する隅丸長方形の土坑と2基の別土坑の複合したものが想定される。

152号土坑　B・C－5区に位置する。長軸78cm、短軸72cmの不整円形のプランを呈し、深さは13cmを測る。土坑底部から底部打欠きの0031、浅鉢大型破片0033が出土。

153号土坑　B－5区に位置する。長軸100cm、短軸79cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは21cmを測る。

154号土坑　B－5区に位置する。長軸69cm、短軸53cmの楕円形のプランを呈し、深さは12cmを測る。

155号土坑　B－5区に位置する。長軸93cm、短軸85cm、深さは54cmを測る。円形プランの北東部に小テラスを設けている。土坑中より六道銭（0116、0117）が出土しており、近世の墓坑と考えられる。

156号土坑　B－4・5区に位置する。長軸111cm、短軸105cmのほぼ円形のプランを呈し、深さは75cmを測る。

157号土坑　C－4区に位置する。長軸144cm、短軸93cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは9cmを測る。土坑北側、覆土下位から0034が出土。

158号土坑　C－4区に位置する。長軸70cm、短軸59cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは5cmを測る。

159号土坑　C－4区に位置する。長軸63cm、短軸54cmの不整円形のプランを呈し、深さは17cmを測る。

160号土坑　B－4区に位置する。南側で162号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸153cm、短軸150cmの不整円形のプランを呈している。深さは75cmを測る。東～南部でテラス状に段差が検出されている。土坑中央、覆土下位に人頭大の礫を投入し、その上に完形土器（0056）を埋置、その上に板状の石を蓋状に設置している。再葬墓であろうか。完形土器以外に同時期土器片が覆土上位から出土している。

161号土坑　B－4区に位置する。径126cmの円形のプランを呈し、深さは48cmを測る。土坑南西部に偏して覆土中～上位に160号土坑と同様に拳大～人頭大の礫を投入している。遺物は土器小片が覆土下位から出土している。

162号土坑　Ｂ－４区に位置する。北側を160号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸144cm、短軸81cm、深さは24cmを測る。

163号土坑　Ｂ－４区に位置する。南側を164号土坑により切られている。残存部で長軸111cm、短軸81cm、深さは39cmを測る。

164号土坑　Ｂ－４区に位置する。北側で163号土坑を切っている。長軸147cm、短軸129cmの不整円形のプランを呈し、深さは51cmを測る。土坑中央、覆土下～中位より土器片（0078、0083、0085、0089、0100）出土。

165号土坑　Ｆ－２区に位置する。長軸162cm、短軸138cmの楕円形のプランを呈している。深さは27cmを測る。

166号土坑　欠番

167号土坑　Ｅ－３区に位置する。長軸117cm、短軸105cmの不整円形のプランを呈し、深さは30cmを測る。覆土中位から完形土器0036出土。同じく覆土中位から0037が大きく２つに割れて出土。

168号土坑　欠番

169号土坑　Ｅ・Ｆ－３区に位置する。長軸60cm、短軸57cmの不整円形のプランを呈し、深さは33cmを測る。覆土上位から0057が大型破片で出土。

170号土坑　Ｅ・Ｆ－３区に位置する。長軸75cm、短軸66cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは33cmを測る。底部は南側で最深を測り、北側へ傾斜して上がっている。

171号土坑　Ｅ－３区に位置する。長軸89cm、短軸80cmの不整円形のプランを呈し、深さは32cmを測る。0041が覆土下位から出土しているが、上側半分を欠落している。攪乱（田普請）によるものと考えられる。

172号土坑　Ｅ－３区に位置する。長軸111cm、短軸66cmの不整形のプランを呈し、深さは15cmを測る。

173号土坑　Ｄ・Ｅ－３区に位置する。径109cmの円形のプランを呈し、深さは21cmを測る。

174号土坑　Ｅ－３区に位置する。長軸206cm、短軸177cmの隅丸方形のプランを呈し、深さは63cmを測る。

175号土坑　Ｄ－３区に位置する。長軸69cm、短軸63cmのほぼ円形のプランを呈し、深さは12cmを測る。

176号土坑　Ｅ－２区に位置する。北東側で177号土坑と切り合う（先後関係不明）。また、東側で19号住居と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸135cm、短軸112cm、深さ32cmを測る。

177号土坑　Ｅ－２区に位置する。南西側で176号土坑と切り合う（先後関係不明）。また、東側で19号住居と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸108cm、短軸63cm、深さは31cmを測る。

178号土坑　Ｅ－２区に位置する。東側で19号住居と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸190cm、短軸159cm、深さは27cmを測る。

溝状遺構

実際に近年まで水路として用いられていたものと、機能が特定できずいわゆる溝状を呈するものの２者があるが、ここでは同様に溝状遺構として扱うこととした。

１号溝　調査区の西側、Ｂ～Ｄ－１～９区に位置する。やや東西方向から南北方向にほぼ直角に曲がり、南方向に延びる。調査区域外を挟んで、Ｄ－６区で再び東に曲がり、更に南に曲がって調査区域外に続く。南側は最近まで水路として使用されていた。残存部で90.1ｍを測る。

２号溝　調査区の北西、Ｂ～Ｅ－２・３区に位置する。１号溝の北端部分に並行し、南北方向に曲がった１号溝に切られる。西側の一部が２本に分かれ、25.2ｍを測る。

３号溝　調査区の南東、Ｈ－８・９区に位置する。南北方向に延び、南端は調査区域外に続く。残存部で13.2ｍを測る。

４号溝　調査区の南側、Ｅ－８区に位置する。北端がわずかに西に曲がり、南側を段差によって切られる。残存部で3.9ｍを測る。

５号溝　調査区の南側、Ｅ－７・８区に位置する。わずかにくの字形に曲がるが、ほぼ南北に延びる。中央部に細く東に延びる突出部、南端に落ち込みがあり、段差によって切られる。残存部で8.1ｍを測る。

６号溝　調査区の南側、Ｅ・Ｆ－６～８区に位置する。17号土坑を切り、南端を段差によって切られる。残存部は13.2ｍを測る。

７号溝　調査区の東端、Ｇ・Ｈ－６・７区に位置する。中央部で曲がり、残存部は9.6ｍを測る。

８号溝　調査区の中央部、Ｆ－６区に位置する。二又に分かれたような形状で、南端を段差によって切られる。残存部は7.9ｍを測る。

９号溝　調査区の中央部、Ｆ－５・６区に位置する。両端を土坑に切られ、残存部は9.6ｍを測る。

10号溝　調査区の東端、Ｇ－３・４区に位置する。南端は二又に分かれ、調査区域外に延びる。中央部で17号住居跡を切る。残存部推定長は10.3ｍを測る。

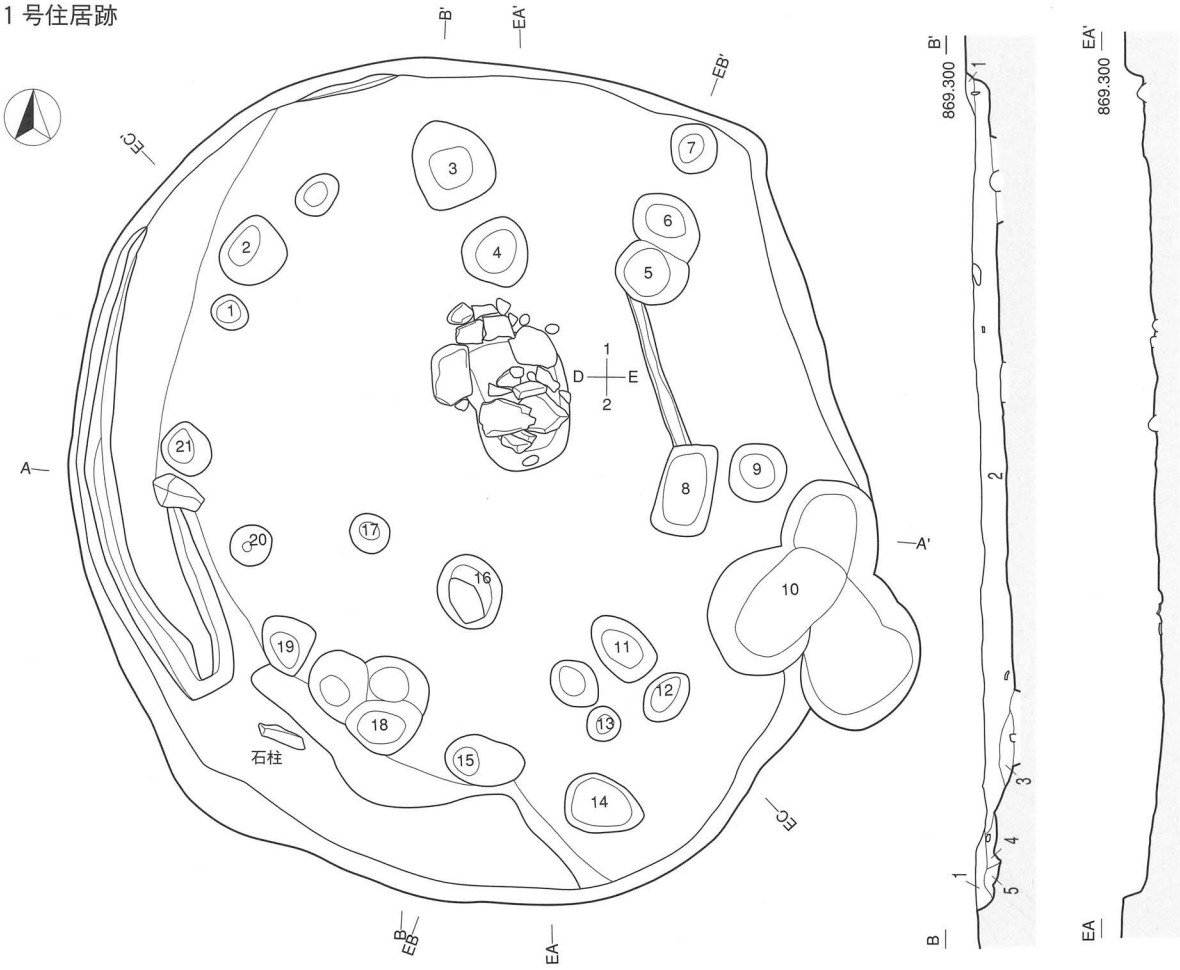
11号溝　調査区の東端、Ｆ・Ｇ－３・４区に位置する。東側でほぼ直角に曲がっているため、両端が調査区域外に続き、10号溝と直交する。残存部は15.1ｍを測る。

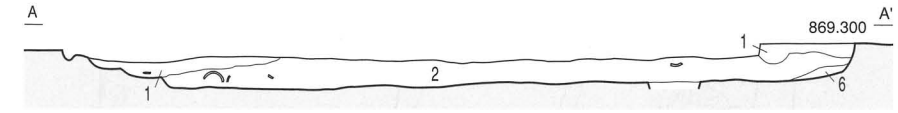
竪穴状遺構

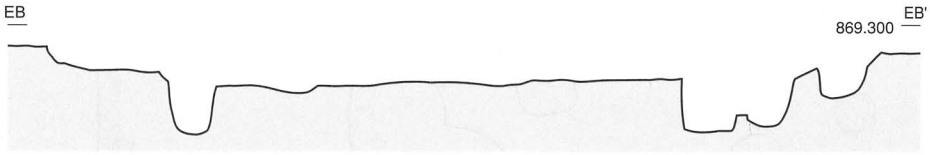
いわゆる土坑として認識する規模のものよりも大型で機能の明確でないものが１基だけ存在している。その形状からは土坑との複合の可能性もあるが、周囲に土坑がほとんど分布しないことから、ここでは遺構内の施設として認識して調査を進めている。

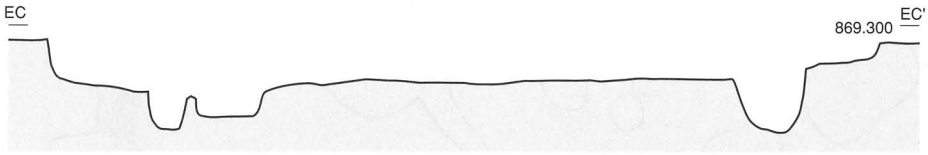
１号竪穴　調査区の南側、Ｆ－９区に位置する。長軸486cm、短軸318cmの東西方向に長軸を持つ方形のプランを呈し、深さは69cmを測る。内部から礫が出土。

1号住居跡





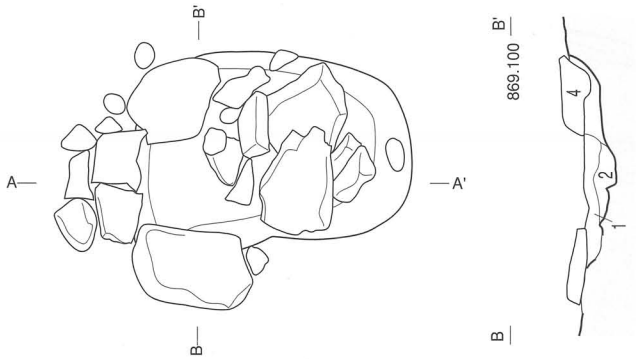


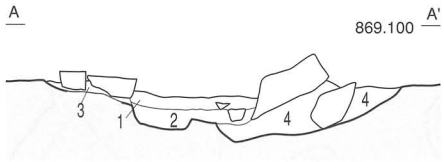


1層	褐色土	粘性強い	締まり強い	炭化物少量含、ローム粒多量含
2層	黒褐色土	粘性やや強い	締まり強い	炭化物含、ローム粒含、ロームブロック稀
3層	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含、（2層より黒み弱い）
4層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
5層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
6層	黄褐色土	粘性強い	締まりやや弱い	炭化物少量含

0　2m

第7図　1号住居跡（S＝1/60）

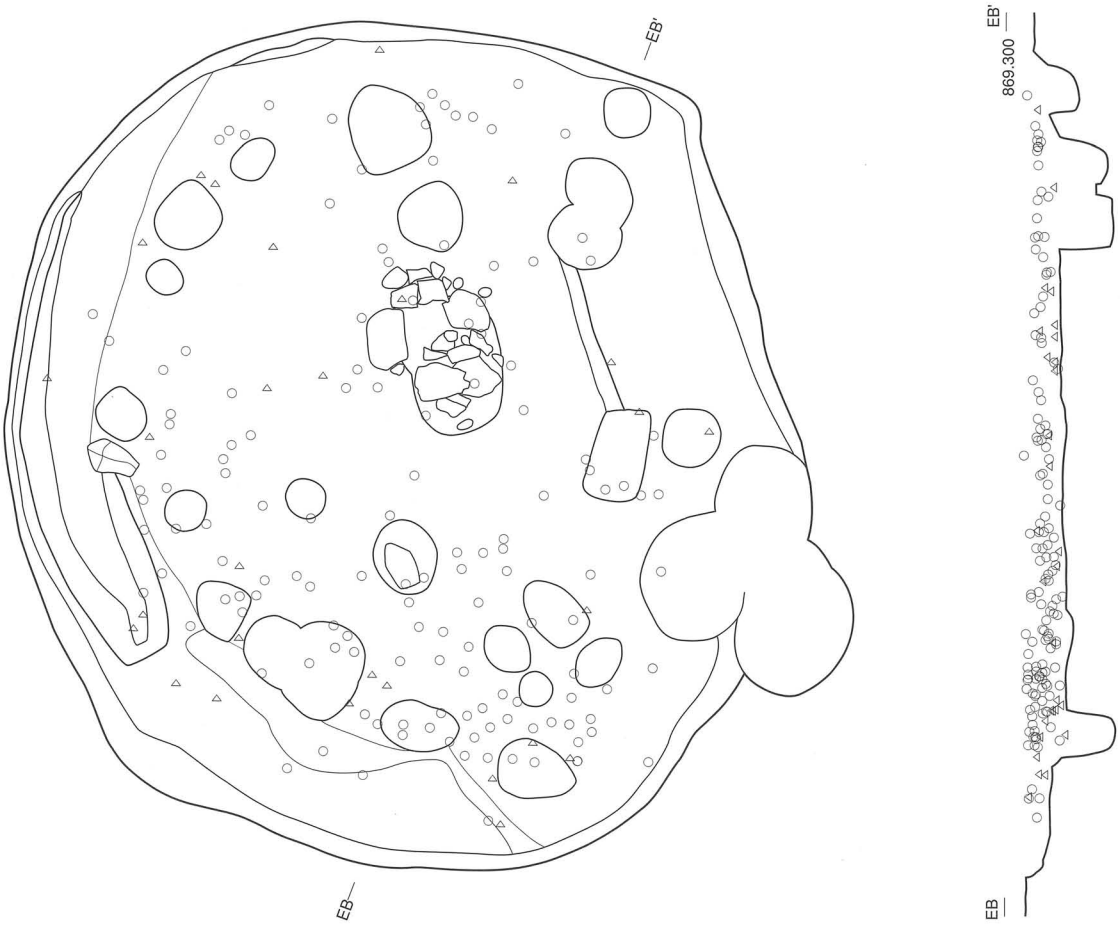




1層　黒褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒少量含
2層　暗褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒含
3層　暗褐色土　粘性やや弱い　締まり普通
炭化物少量含、焼土粒含
4層　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

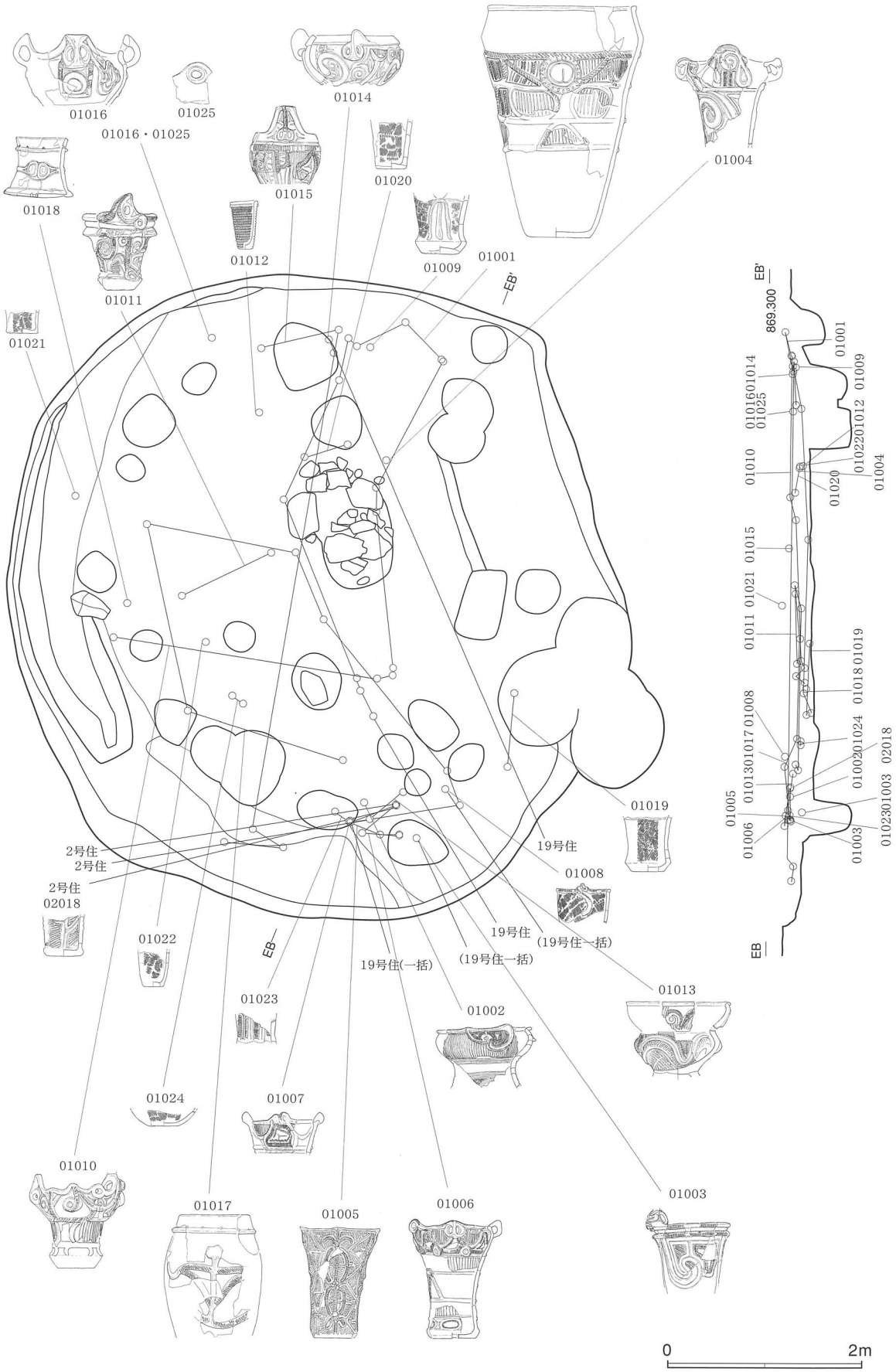
0　1m

第8図　1号住居跡　炉跡（S＝1/30）



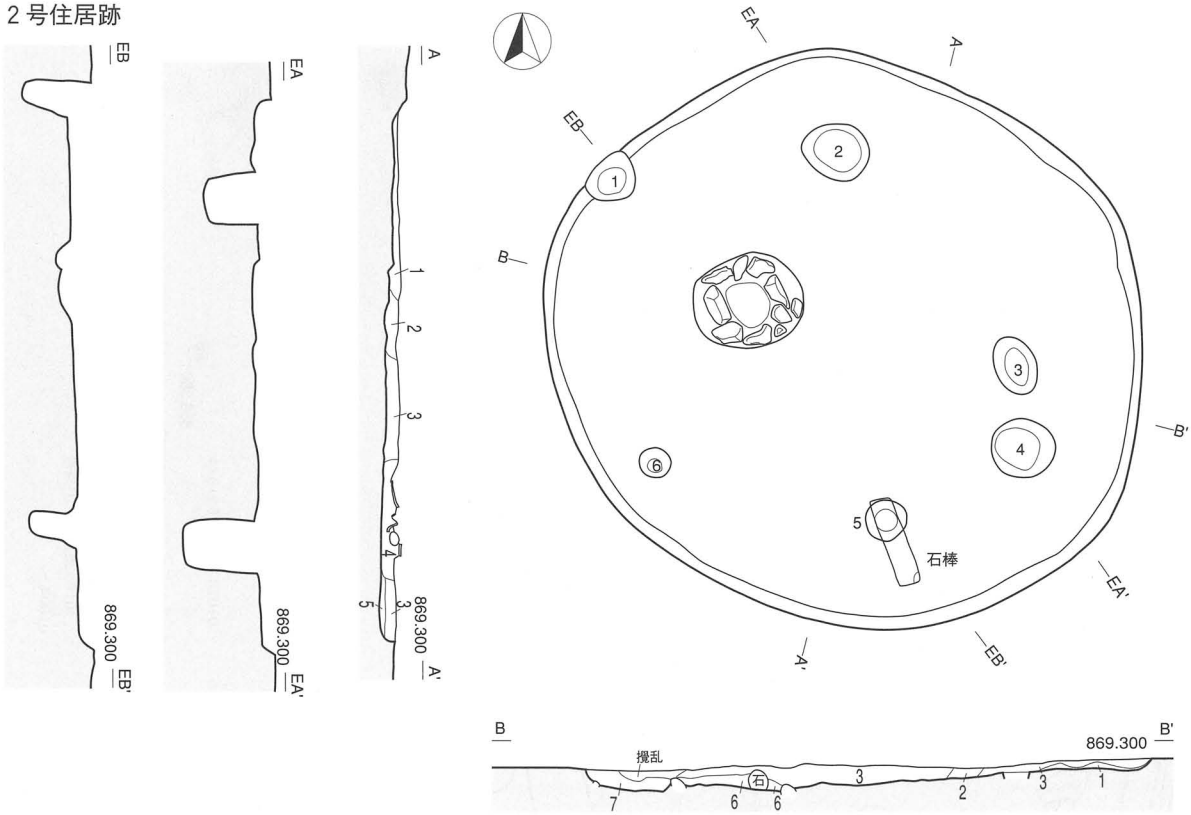
0　2m

第9図　1号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



第10図　1号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）

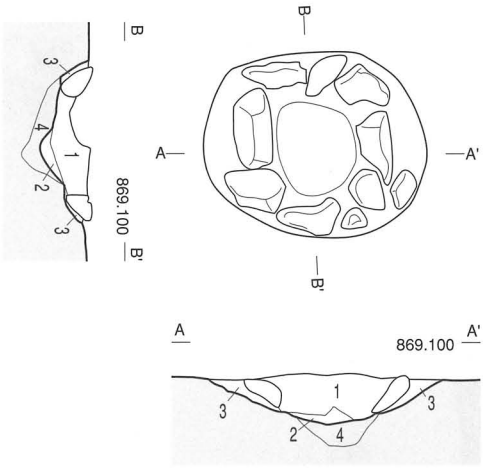
2号住居跡



1層	褐色土	粘性強い	締まり強い	炭化物少量含、ローム粒含
2層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
3層	褐色土	粘性やや強い	締まり強い	炭化物少量含、ローム粒多量含
4層	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
5層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
6層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物少量含
7層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり強い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット1	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物含、ローム粒含
ピット2	黒褐色土	粘性やや強い	締まり強い	炭化物含、ローム粒含
ピット3	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット4	黒褐色土	粘性やや弱い	締まりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット5	暗褐色土	粘性普通	締まり強い	炭化物少量含
ピット6	黒褐色土	粘性やや弱い	締まり普通	ローム粒含

0　2m

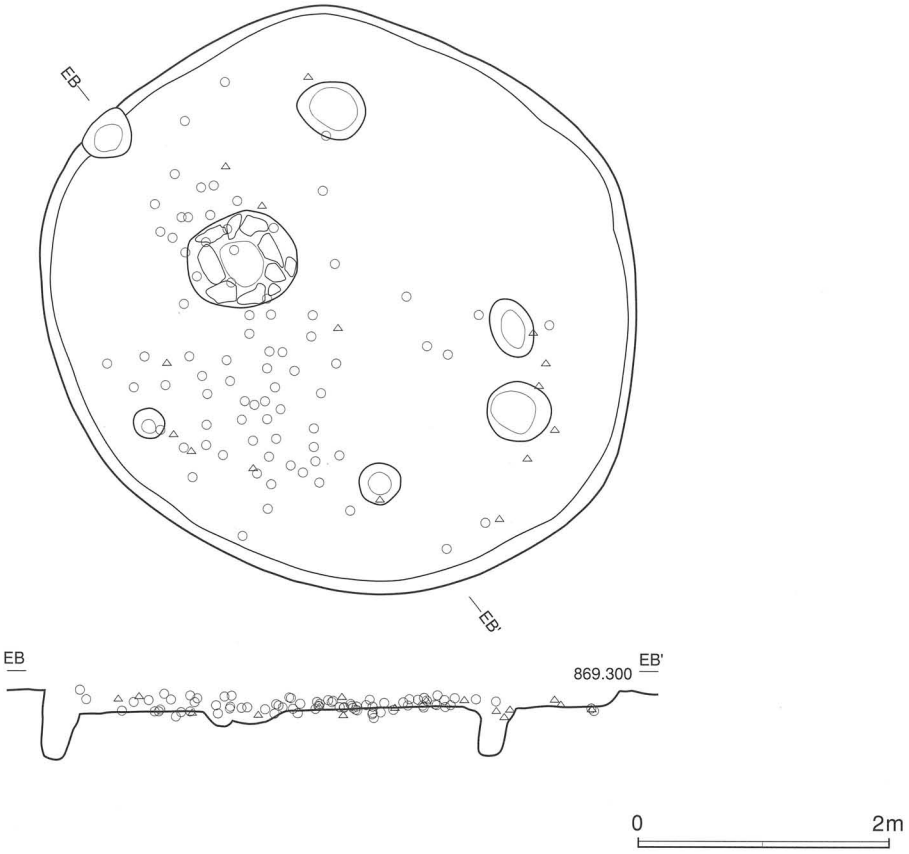
第11図　2号住居跡（S＝1/60）



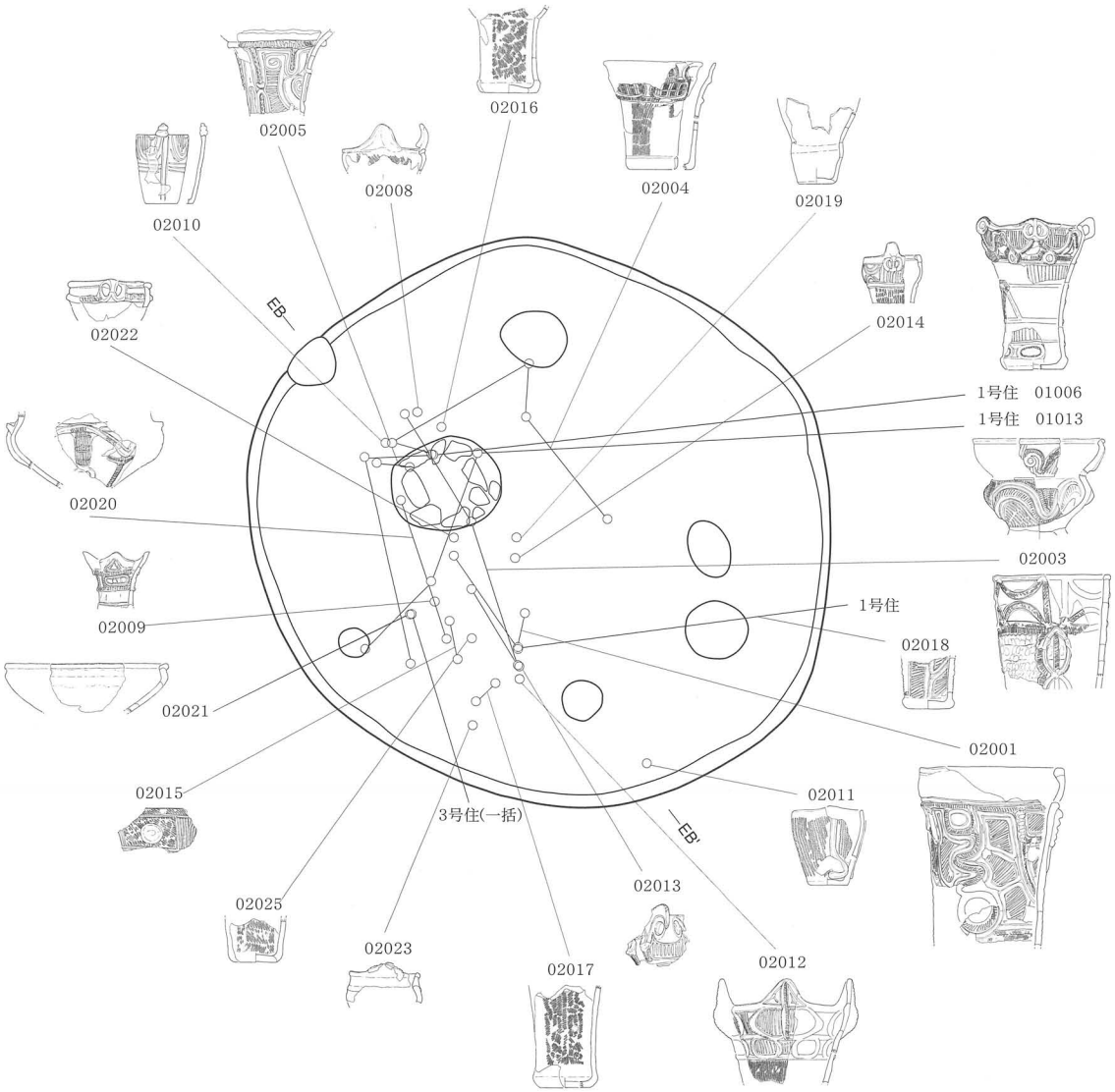
1層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒含
2層　赤褐色土　地山被熱硬化層
3層　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
4層　暗褐色土　地山被熱硬化層

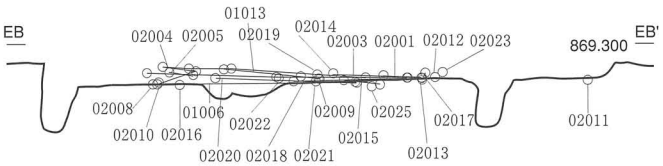
0　1m

第12図　2号住居跡　炉跡（S＝1/30）



第13図　2号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）

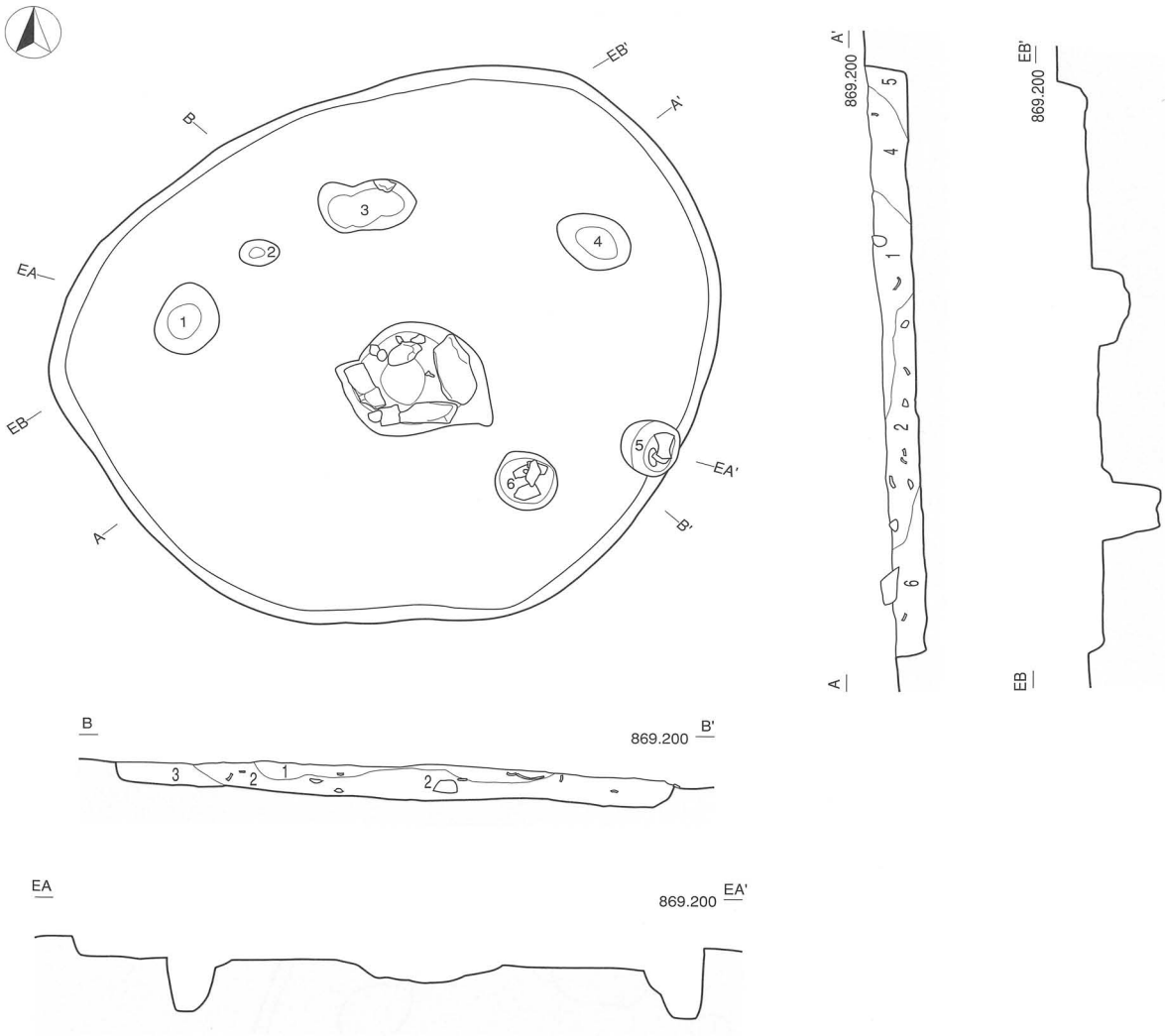




0　　2m

第14図　２号住居跡個体別遺物分布（Ｓ＝1/60）

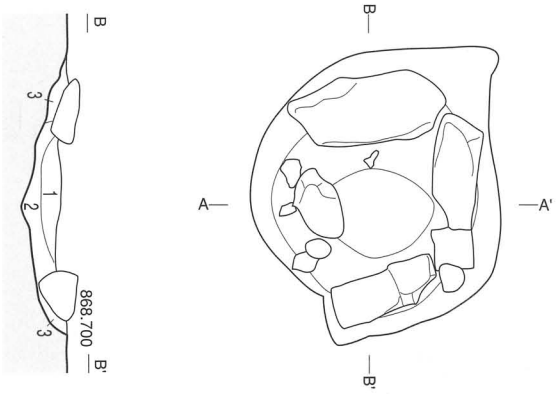
3号住居跡

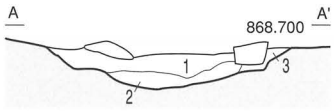


1層	暗褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物含、焼土少量含、ローム粒少量含
2層	黒褐色土	粘性やや弱い	締まりやや弱い	炭化物少量含、焼土微量含、ローム粒微量含
3層	暗褐色土	粘性やや弱い	締まりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含
4層	暗褐色土	粘性やや弱い	締まりやや弱い	炭化物微量含、ローム粒微量含
5層	褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物微量含
6層	褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット1	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット2	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物少量含
ピット3	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物多量含、ロームブロック含
ピット4	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、ローム粒含
ピット5	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、ローム粒含
ピット6	暗褐色土	粘性強い	締まりやや強い	炭化物含、ローム粒多量含

0　2m

第15図　3号住居跡（S＝1/60）

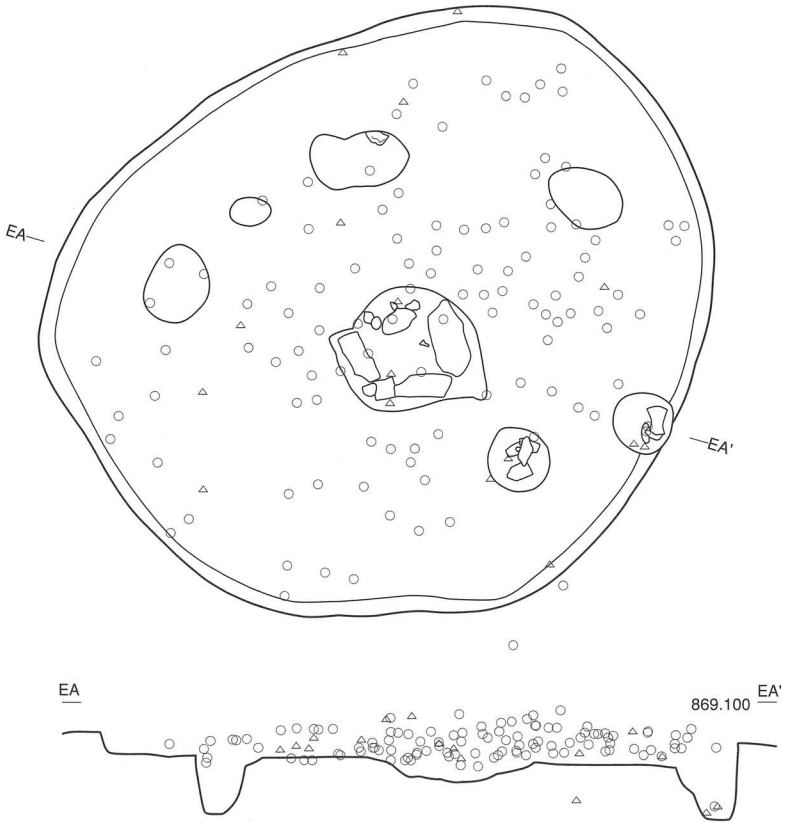




1層　黒褐色土　粘性普通　締まりやや弱い
炭化物含、焼土少量含
2層　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒含
3層　暗褐色土　粘性やや弱い　締まりやや弱い
炭化物少量含

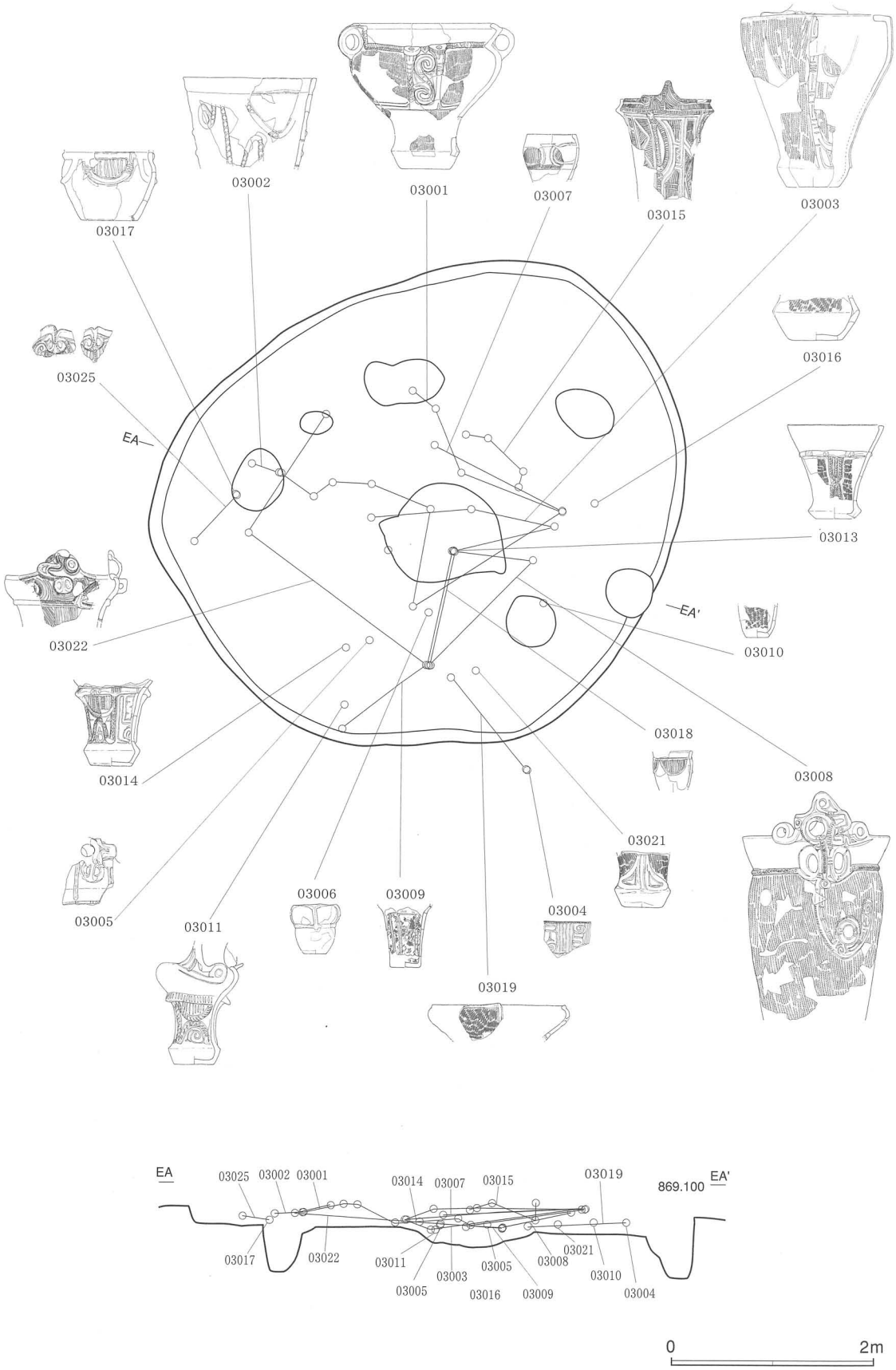
0　1m

第16図　3号住居跡　炉跡（S＝1/30）

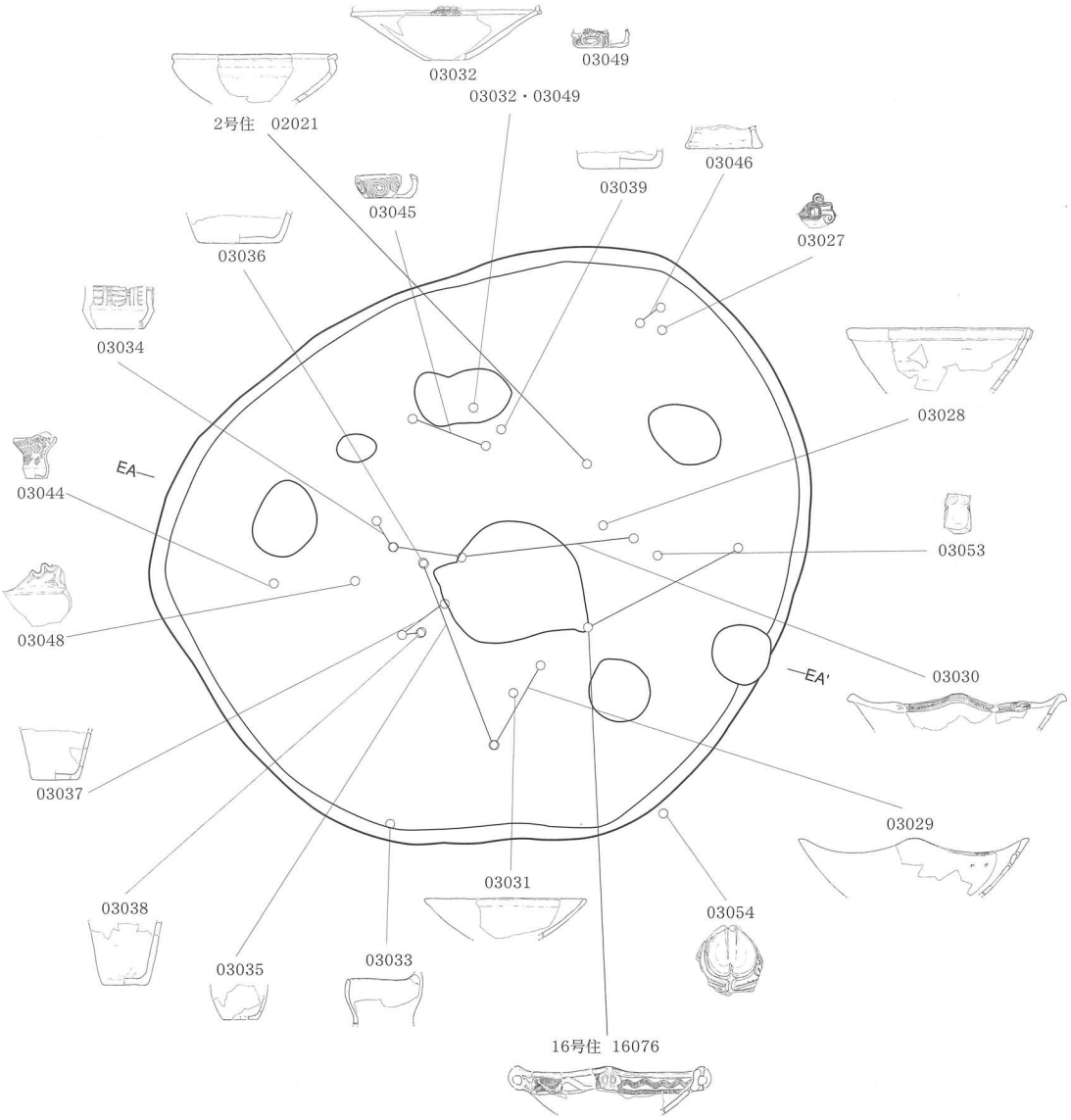


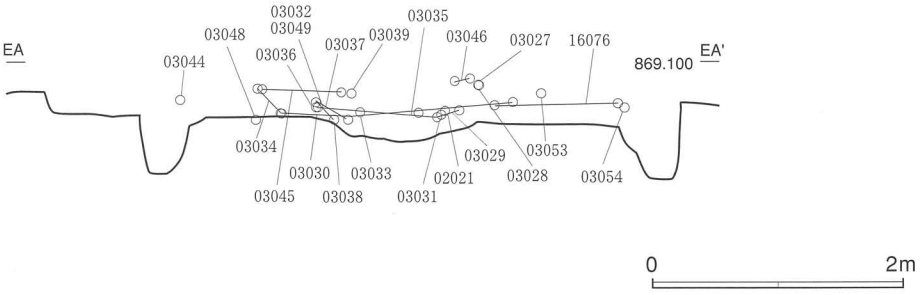
0　2m

第17図　3号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



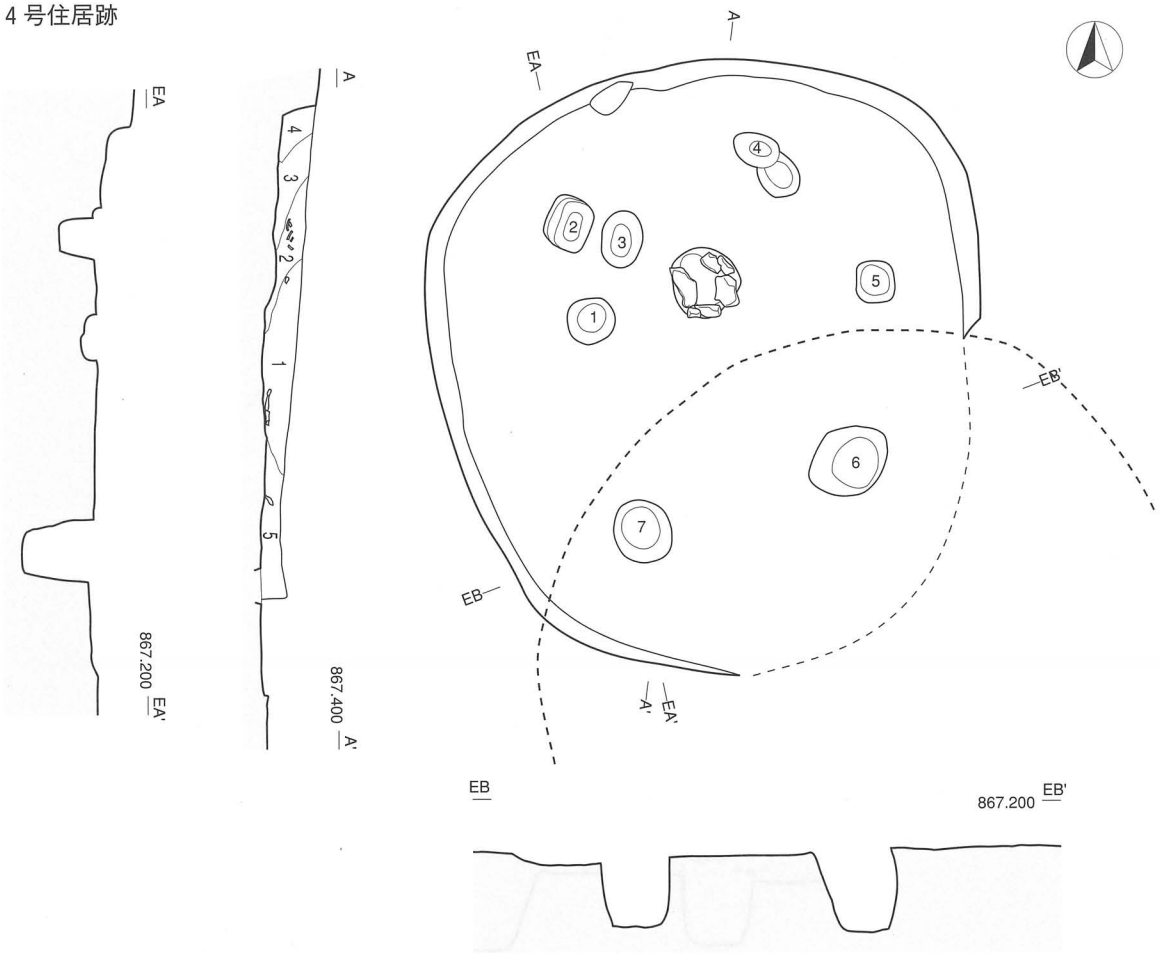
第18図　３号住居跡個体別遺物分布（１）（S＝1/60）





第19図　3号住居跡個体別遺物分布（2）（S＝1/60）

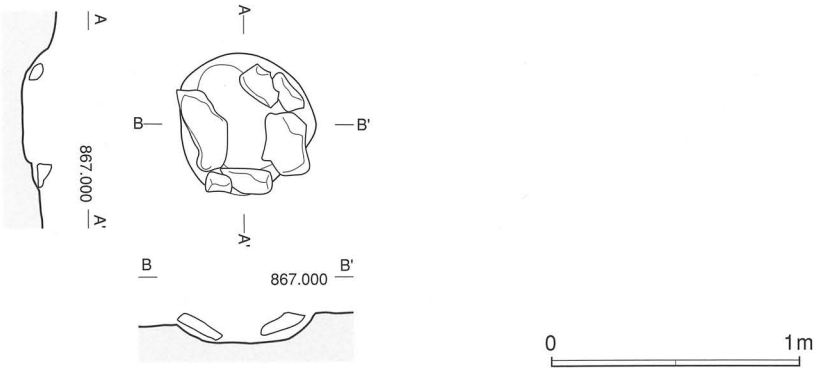
4号住居跡



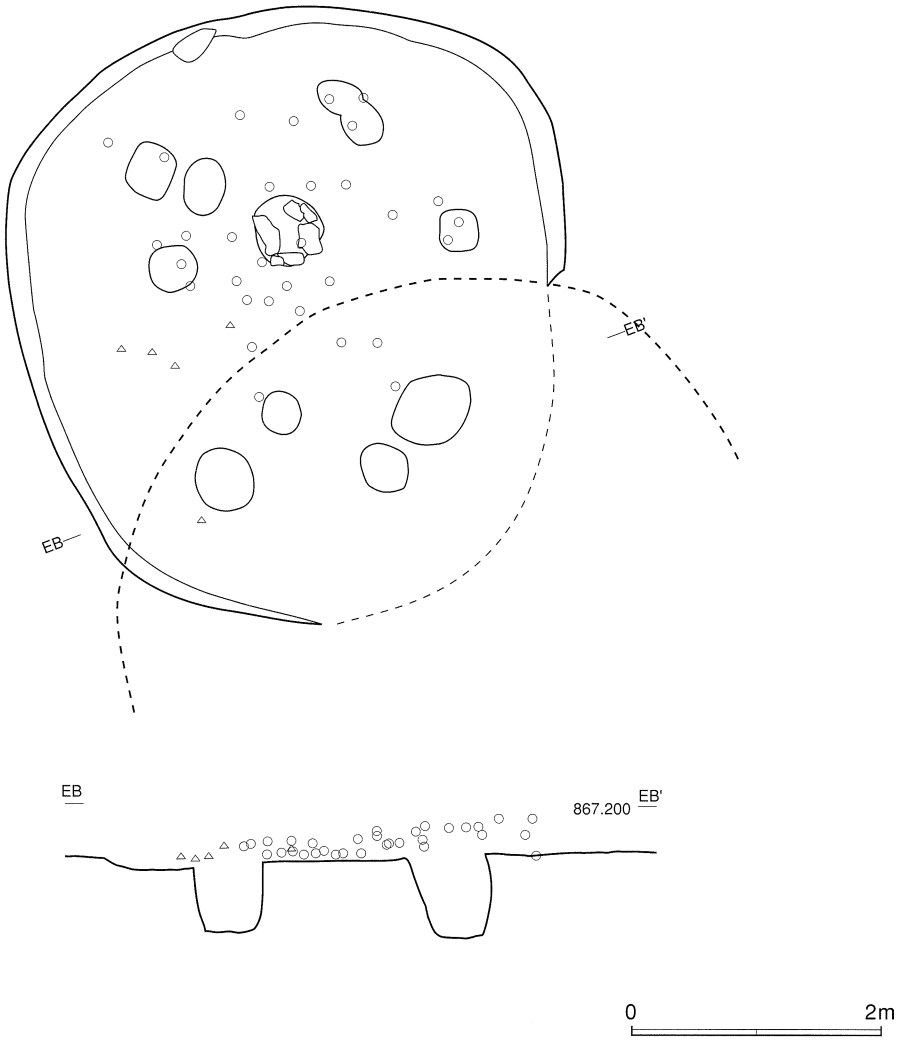
1層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒少量含
2層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
3層	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや弱い	炭化物微量含、ローム粒含
4層	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや弱い	炭化物多量含
5層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり強い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット1	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
ピット2	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物含、ローム粒含
ピット3	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット4	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット5	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット6	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物含、ローム粒含
ピット7	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、ローム粒少量含

0　2m

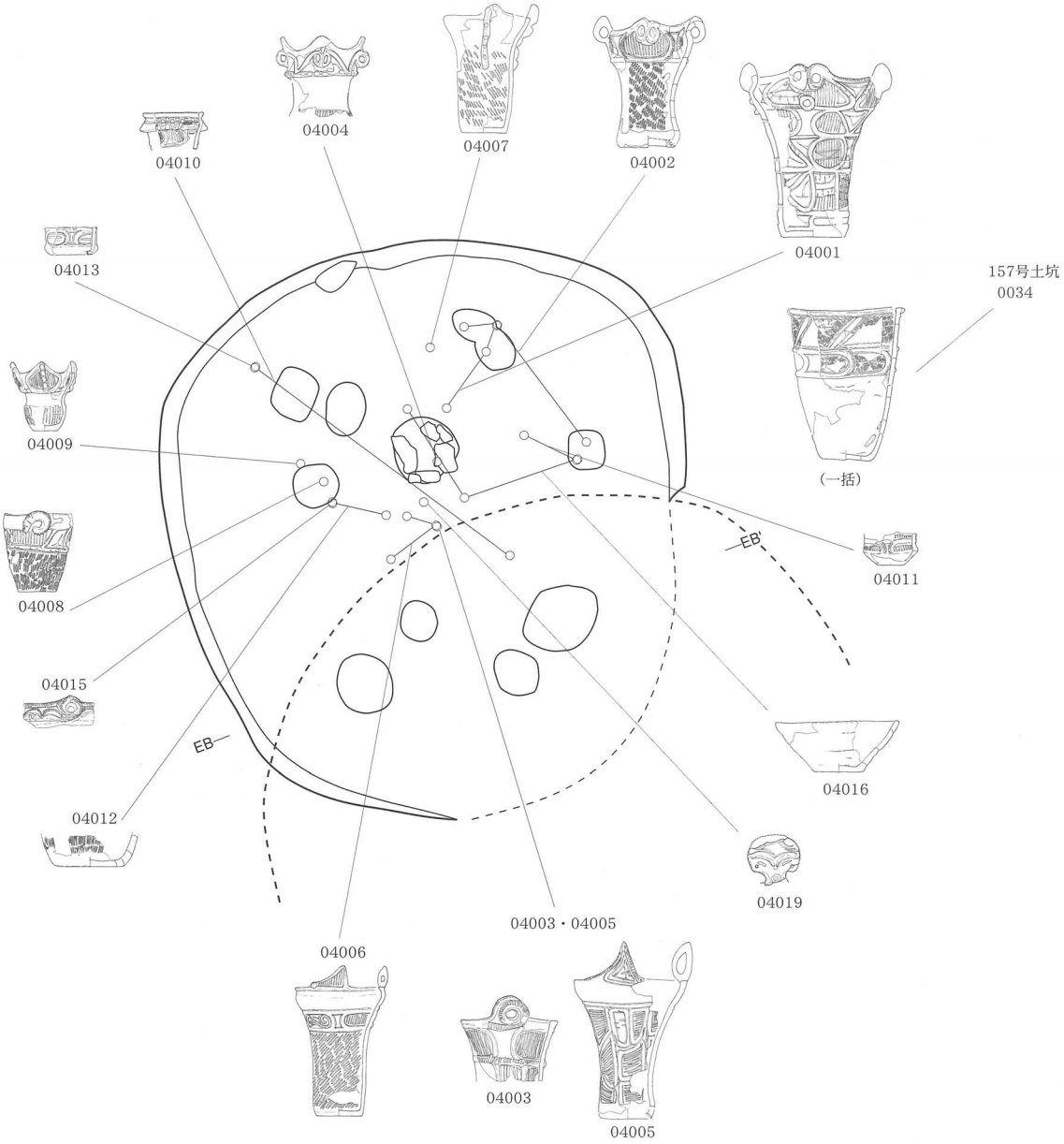
第20図　4号住居跡（S＝1/60）

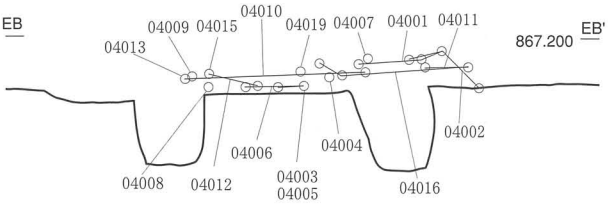


第21図　4号住居跡　炉跡（S＝1/30）



第22図　4号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）

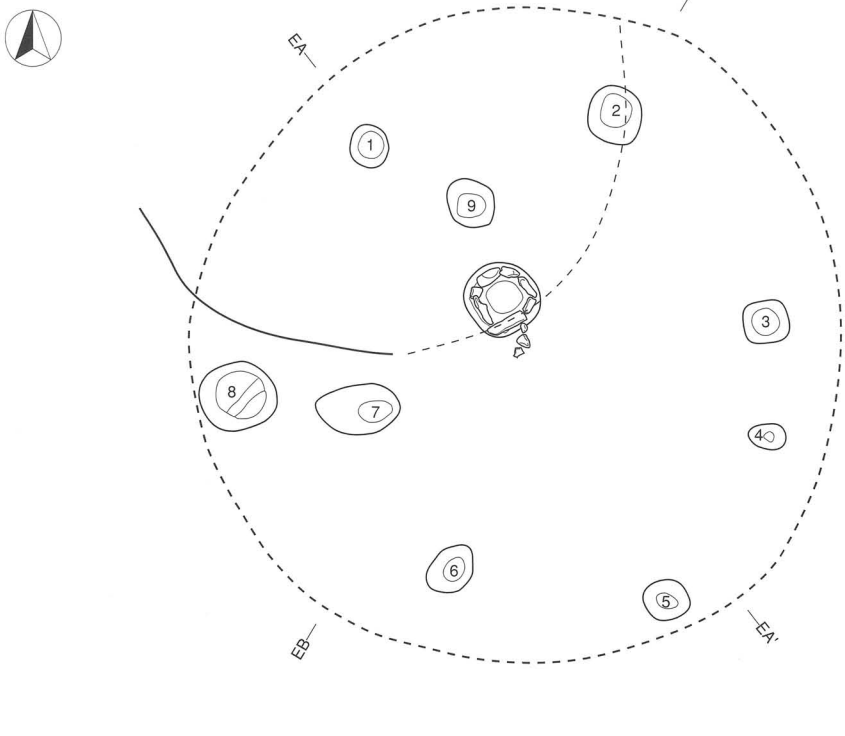




0　　2m

第23図　4号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）

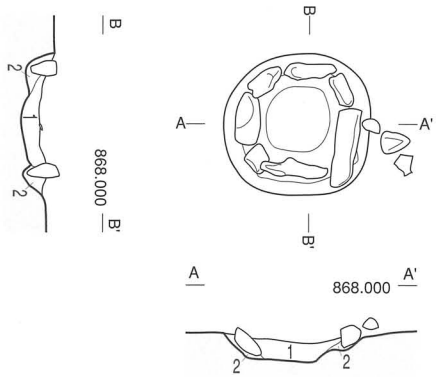
5号住居跡



ピット1	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット2	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット3	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット4	黒褐色土	粘性強い	締まり強い	ローム粒少量含
ピット5	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット6	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物含、ローム粒含
ピット7	暗褐色土	粘性普通	締まりやや強い	ローム粒含
ピット8	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含

0　2m

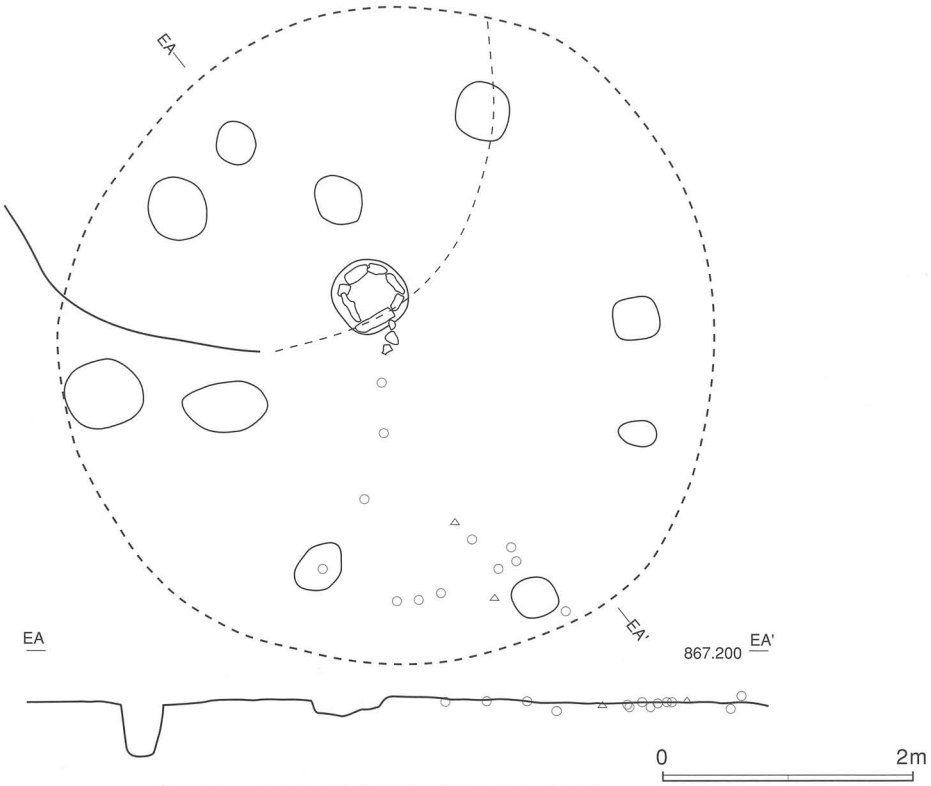
第24図　5号住居跡（S＝1/60）



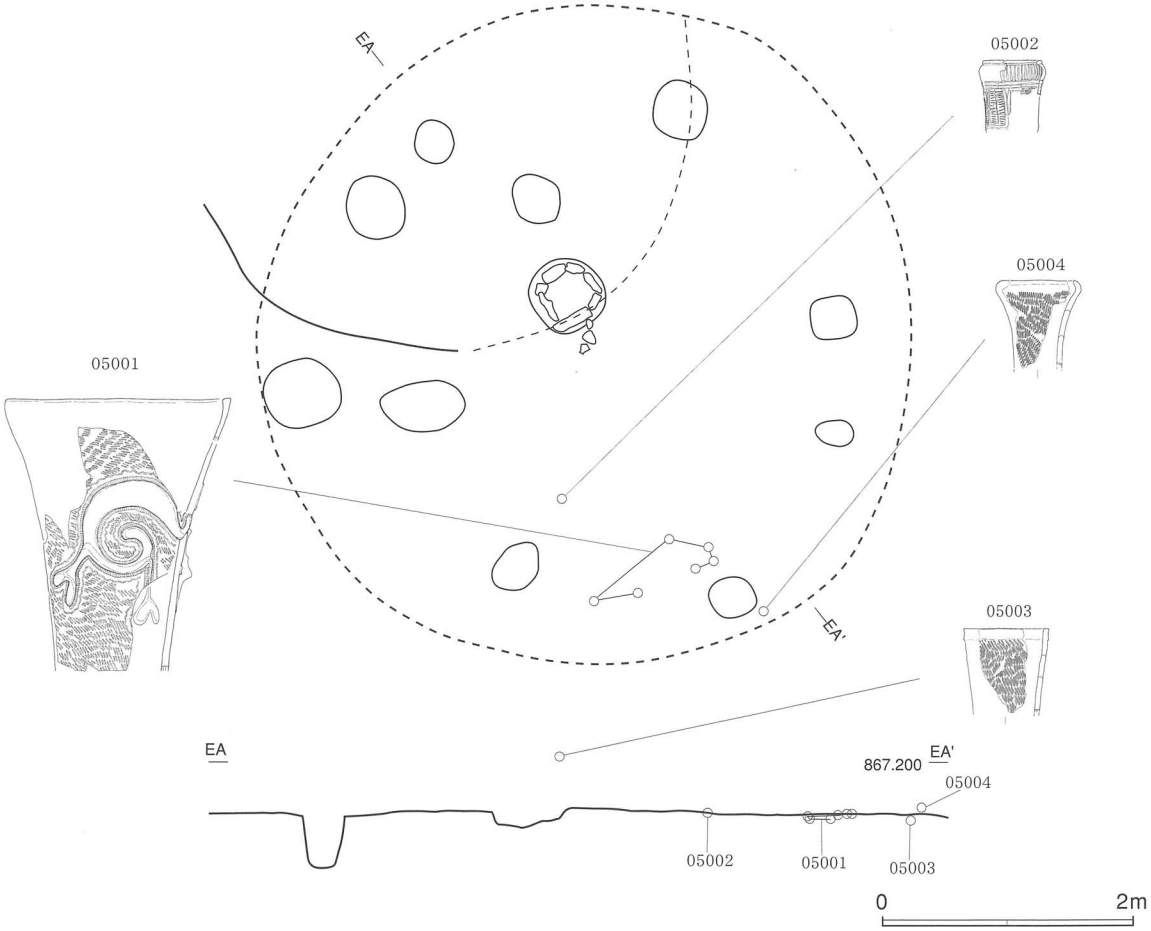
覆土　黒褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒少量含

0　1m

第25図　5号住居跡　炉跡（S＝1/30）



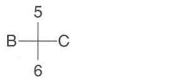
第26図　5号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）

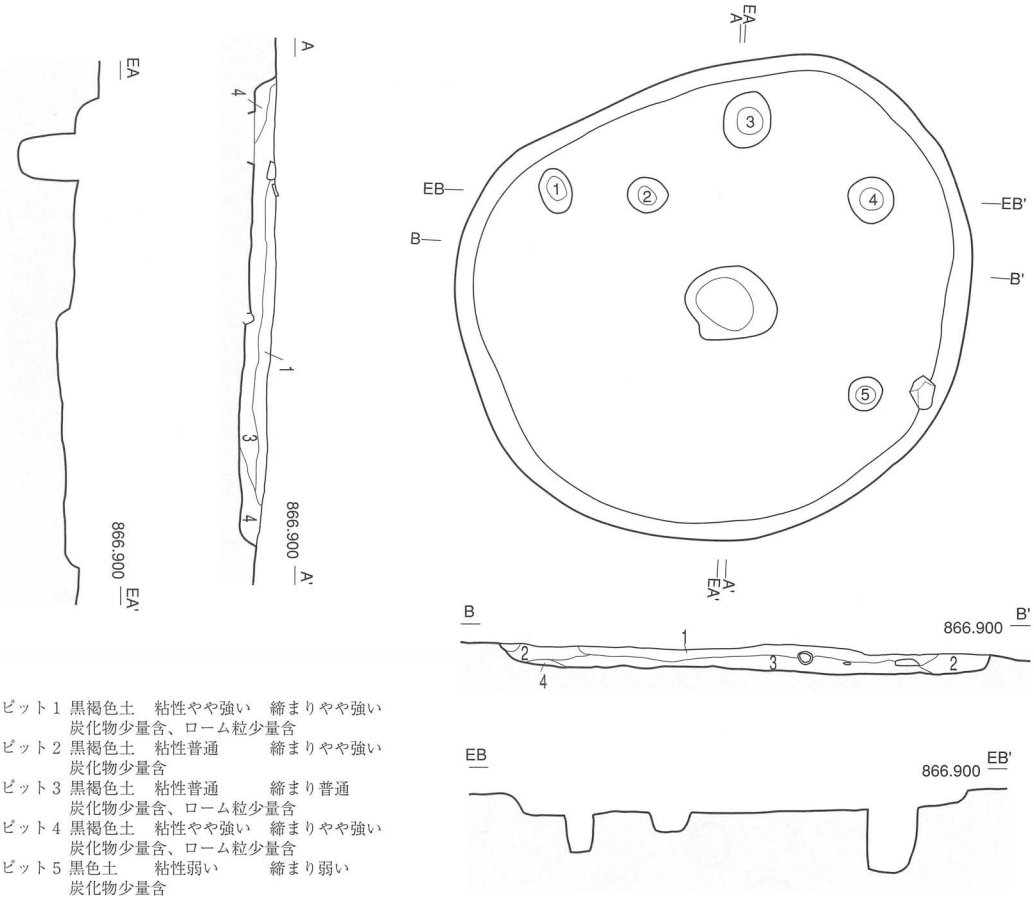


第27図　5号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）

6号住居跡

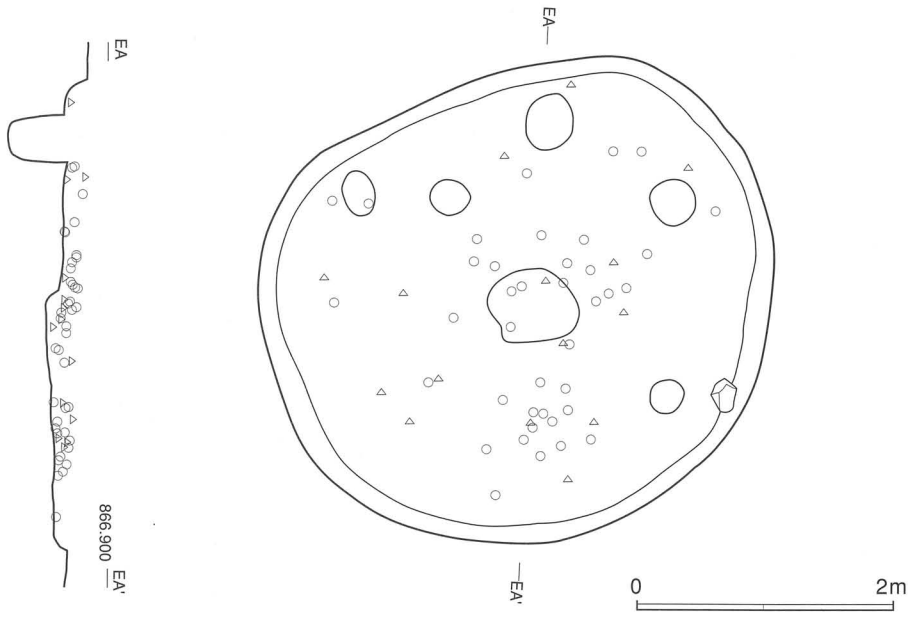
1層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
2層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含、（1層より赤み帯びる）
3層	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物含、焼土微量含、ローム粒少量含
4層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
炉	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒含、焼土少量含、ロームブロック含



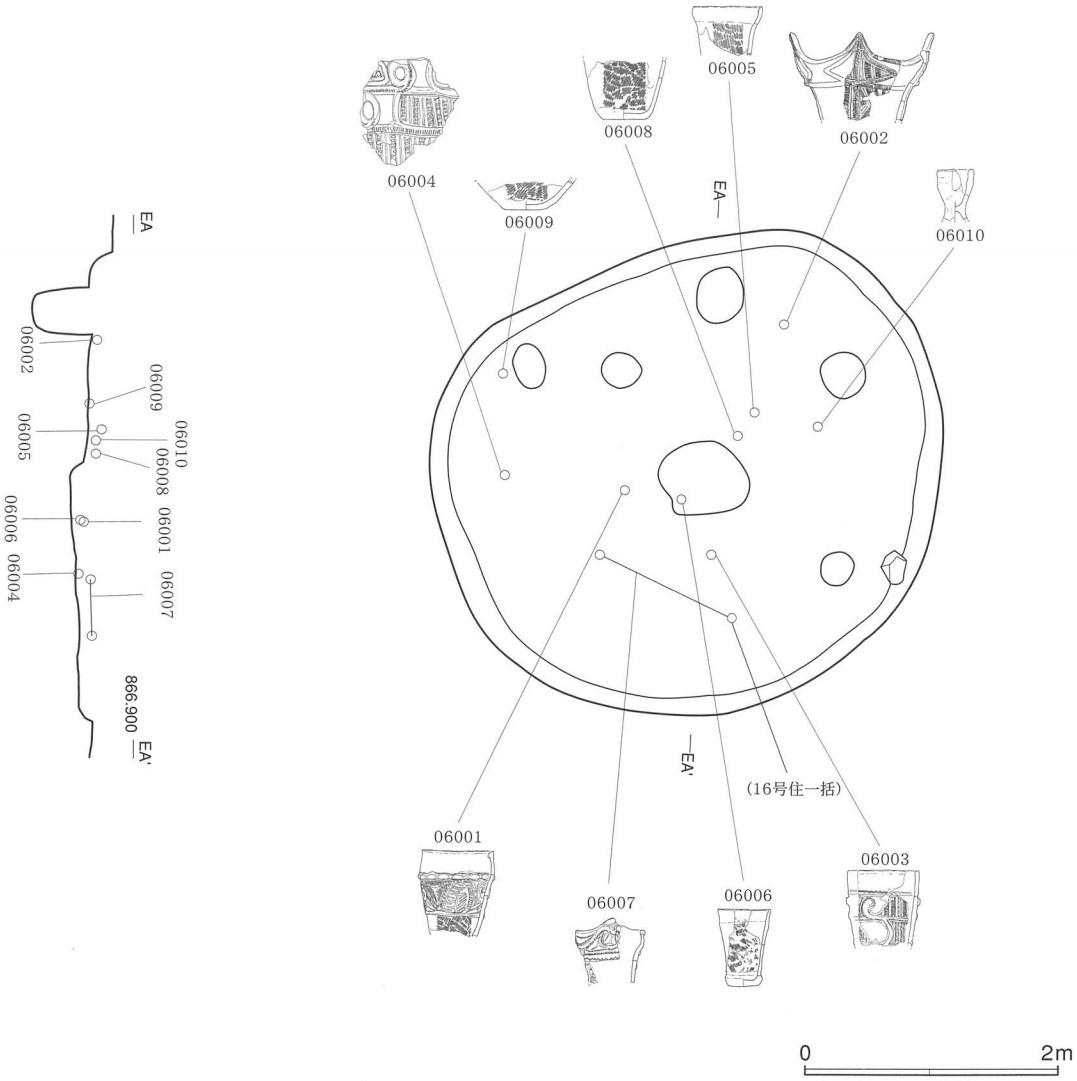


ピット1 黒褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット2 黒褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含
ピット3 黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット4 黒褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット5 黒色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物少量含

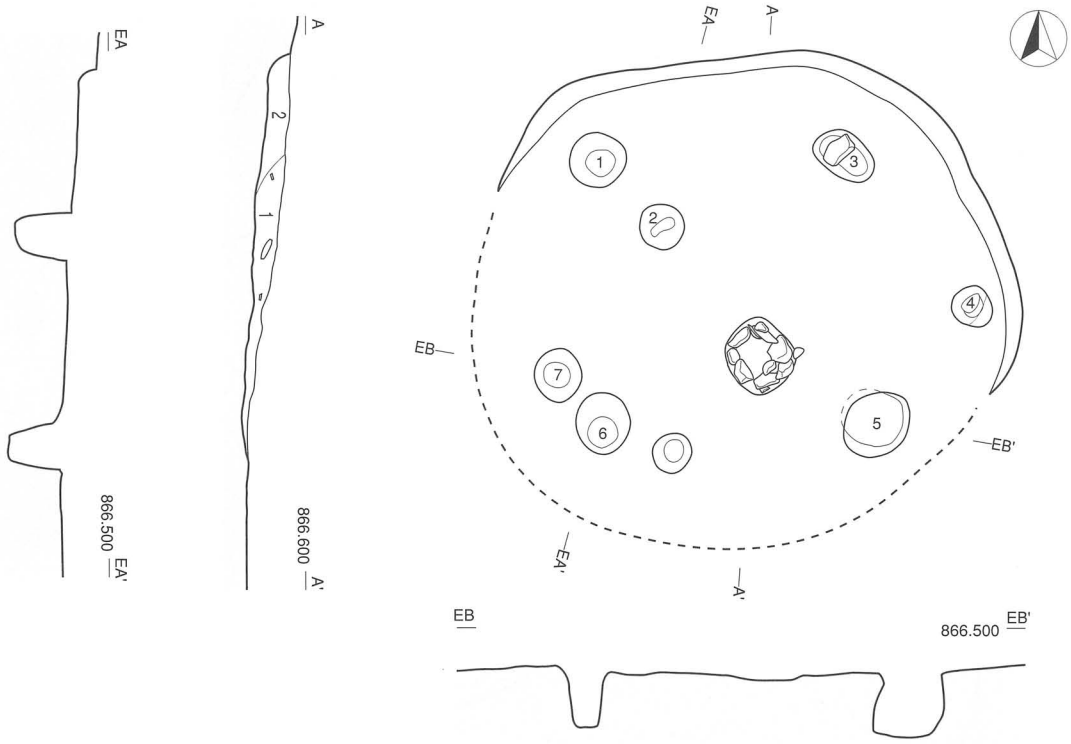
第28図　6号住居跡（S＝1/60）



第29図　6号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



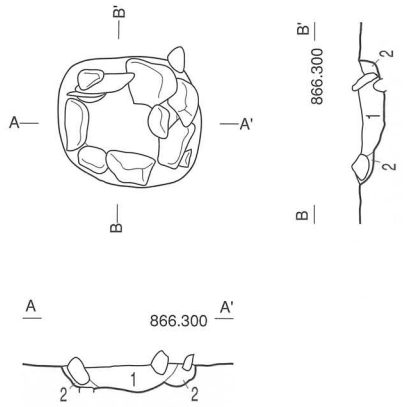
第30図　6号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）



1層	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物含、焼土少量含、ローム粒少量含
2層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット1	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット2	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物含、ローム粒含
ピット3	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット4	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物含、ローム粒少量含
ピット5	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
ピット6	黒褐色土	粘性やや弱い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット7	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含

第31図　7号住居跡（S＝1/60）

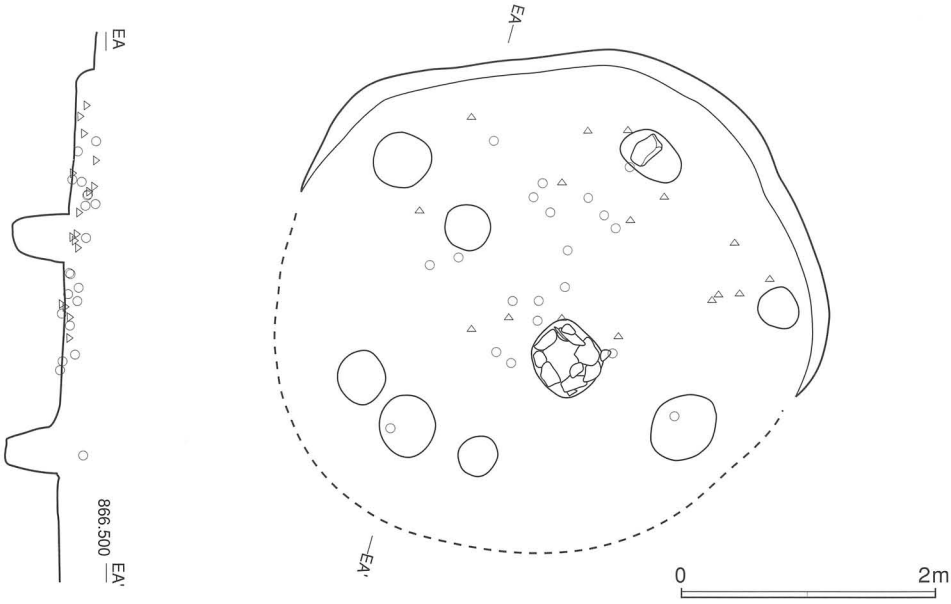
0　2m



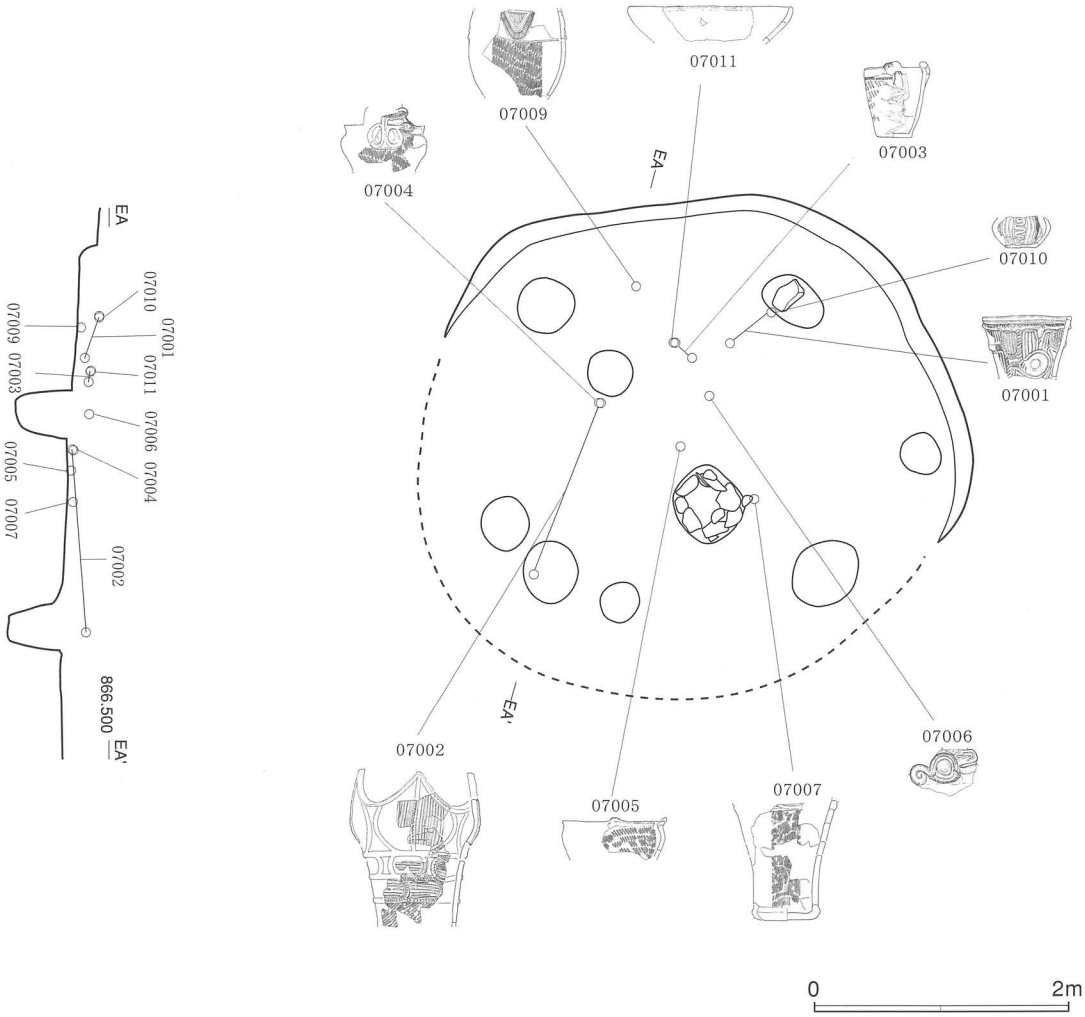
1層　黒褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物含、ローム粒少量含、焼土少量含

0　1m

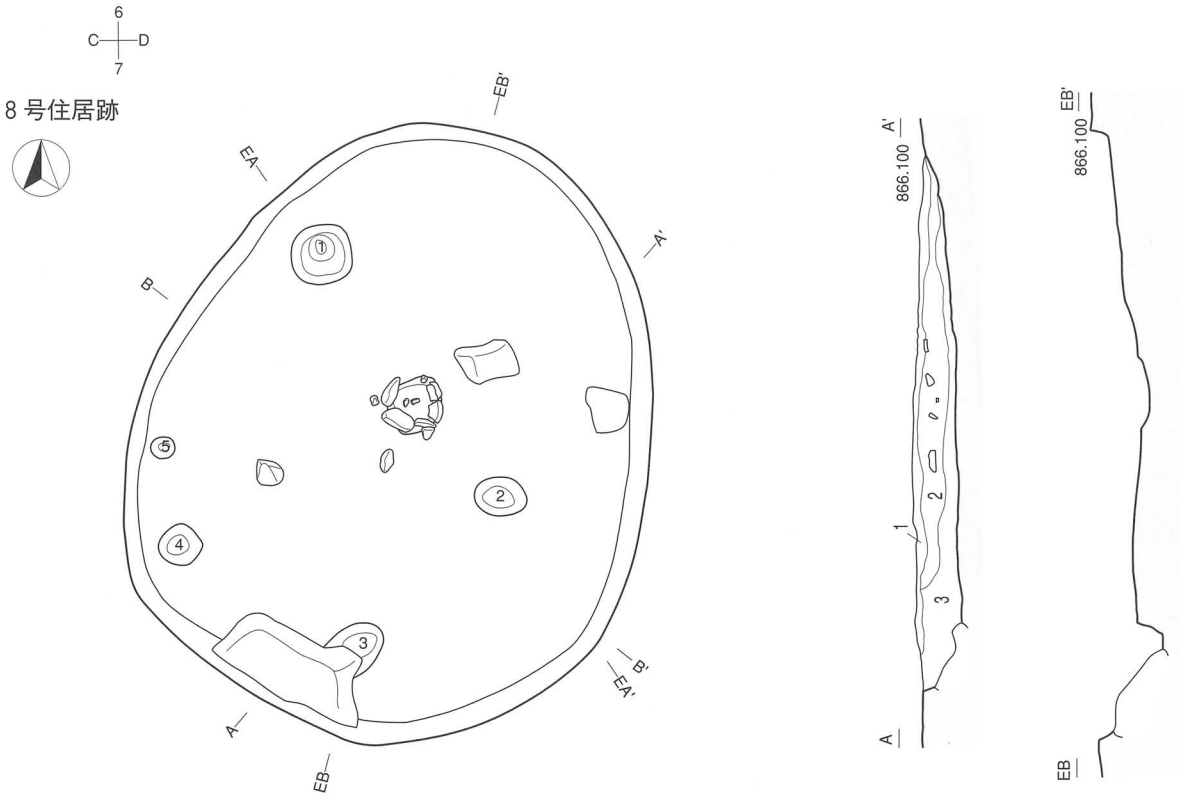
第32図　7号住居跡　炉跡（S＝1/30）



第33図　７号住居跡遺物出土状況（Ｓ＝1/60）



第34図　７号住居跡個体別遺物分布（Ｓ＝1/60）

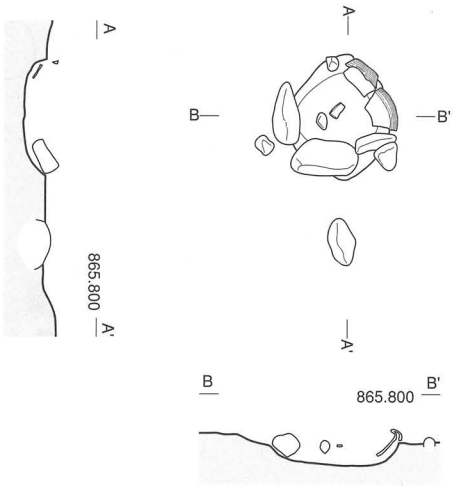


ピット1 黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
ピット2 黒褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒含
ピット3 黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
ピット4 黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
ピット5 黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

1層	褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含（酸化層？）
2層	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物含、焼土微量含、ローム粒少量含
3層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
4層	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物多量含、ローム粒少量含

0　2m

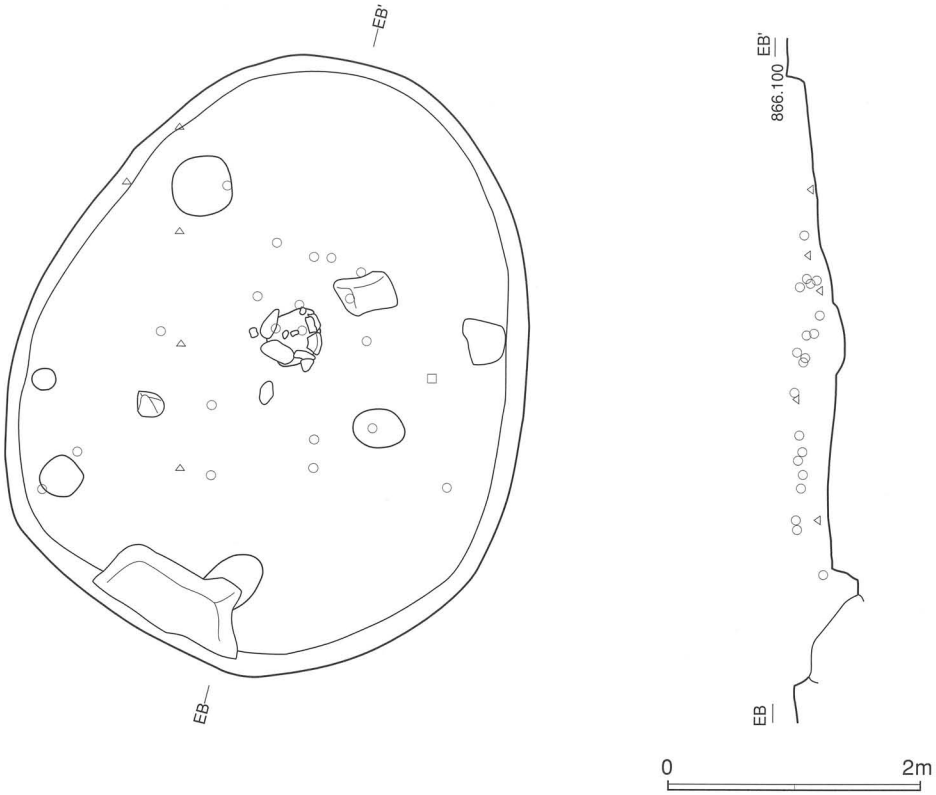
第35図　8号住居跡（S＝1/60）



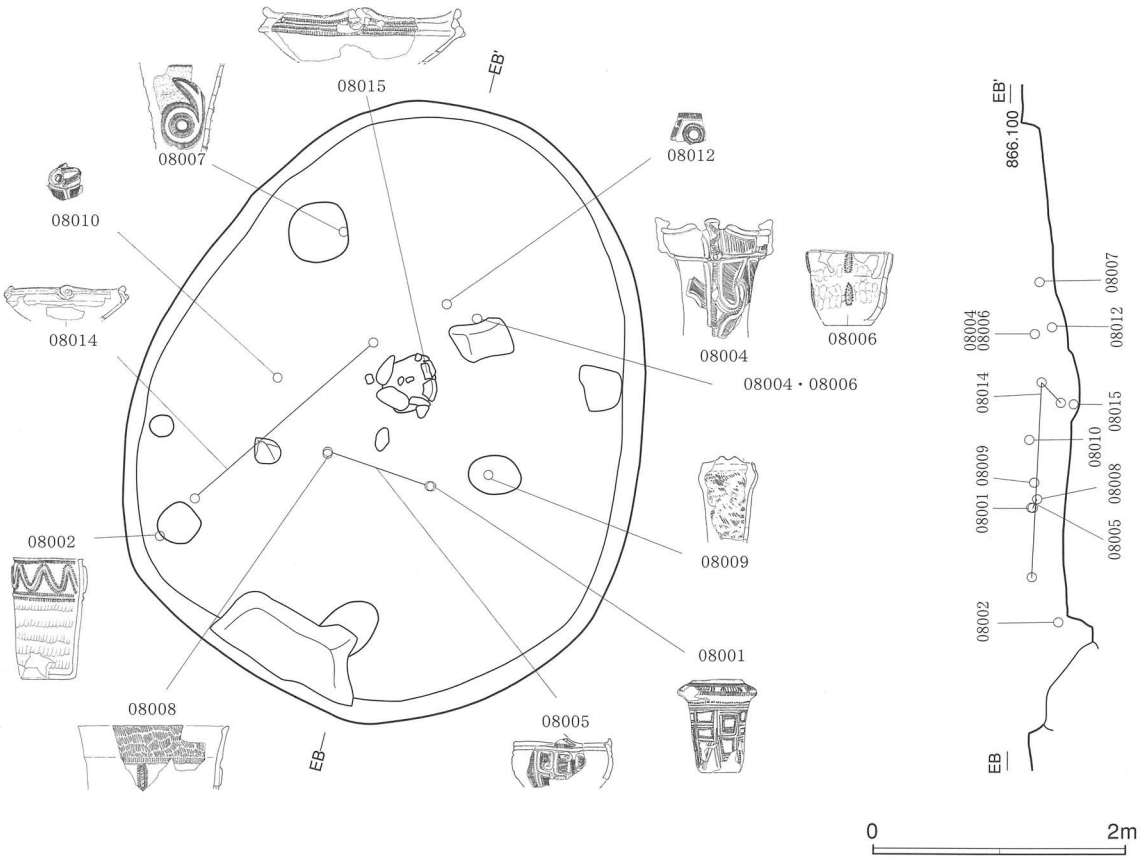
覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物多量含、ローム粒少量含、焼土少量含

0　1m

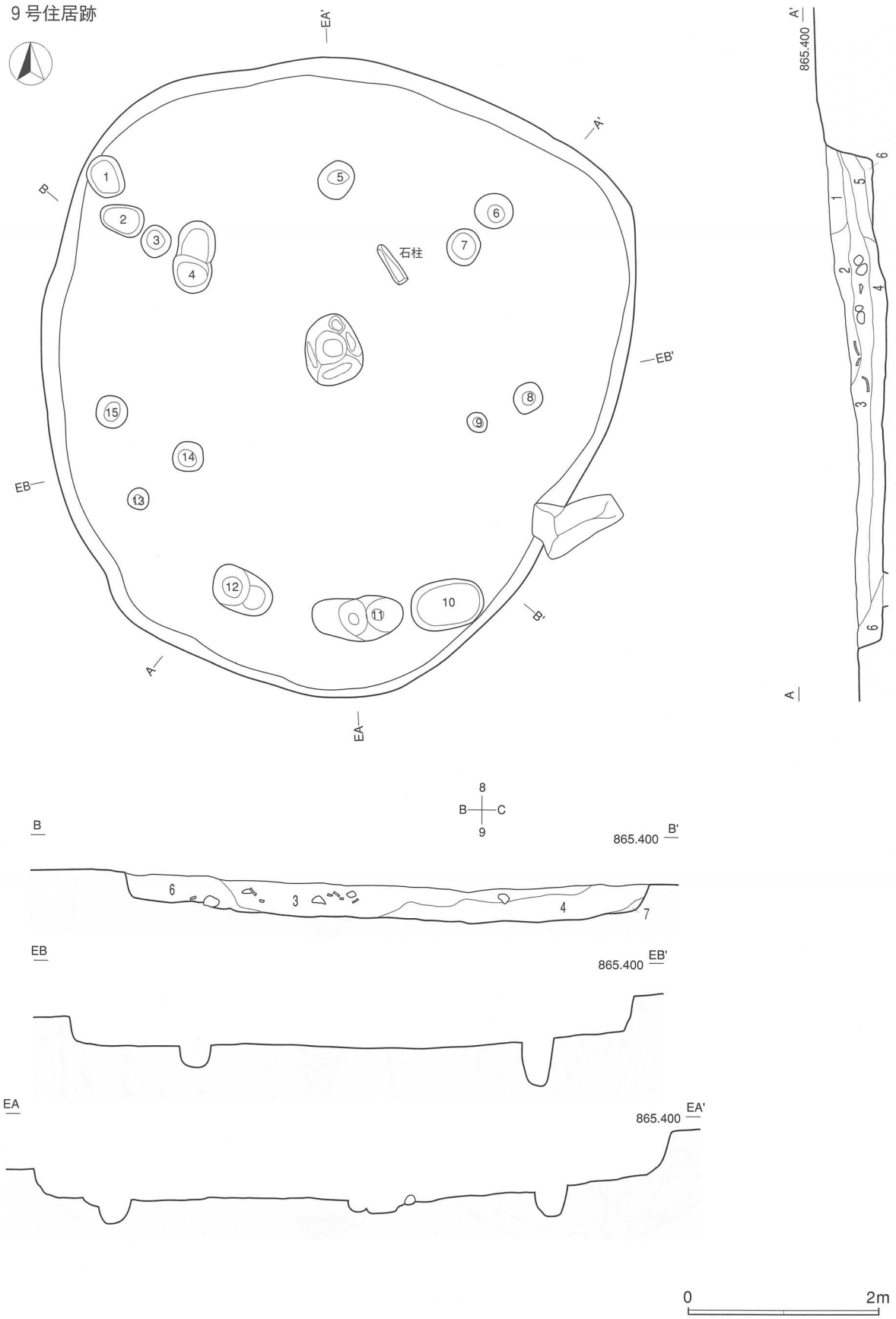
第36図　8号住居跡　炉跡（S＝1/30）



第37図　8号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



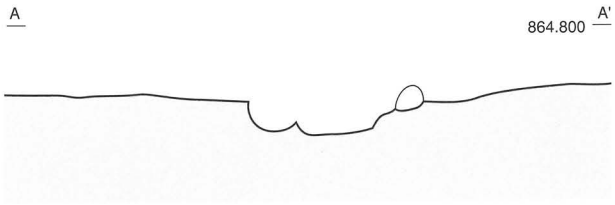
第38図　8号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）



第39図　9号住居跡（S＝1/60）

1層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含（攪乱か？）
2層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
3層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含
4層	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、焼土微量含、ローム粒少量含
5層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物多量含、ローム粒少量含
6層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
7層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	ローム質含

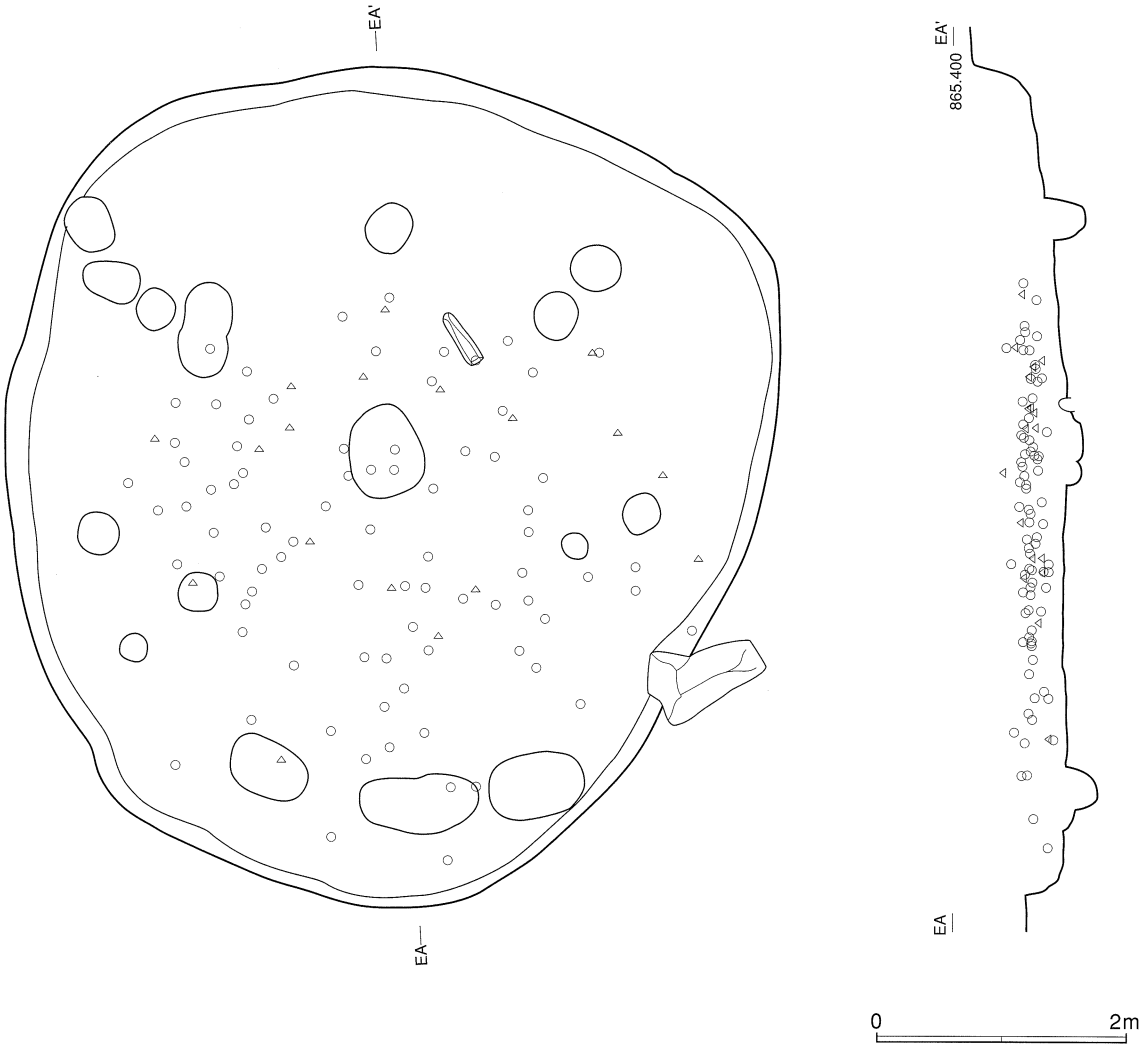
ピット1	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット2	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット3	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
ピット4	黒褐色土	粘性やや弱い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
ピット5	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット6	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	ローム粒少量含
ピット7	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	ローム粒少量含
ピット8	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
ピット9	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含
ピット10	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	ローム粒含
ピット11	黒褐色土	粘性やや弱い	締まり普通	ローム粒少量含
ピット12	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	ローム粒少量含
ピット13	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット14	完掘済			
ピット15	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少



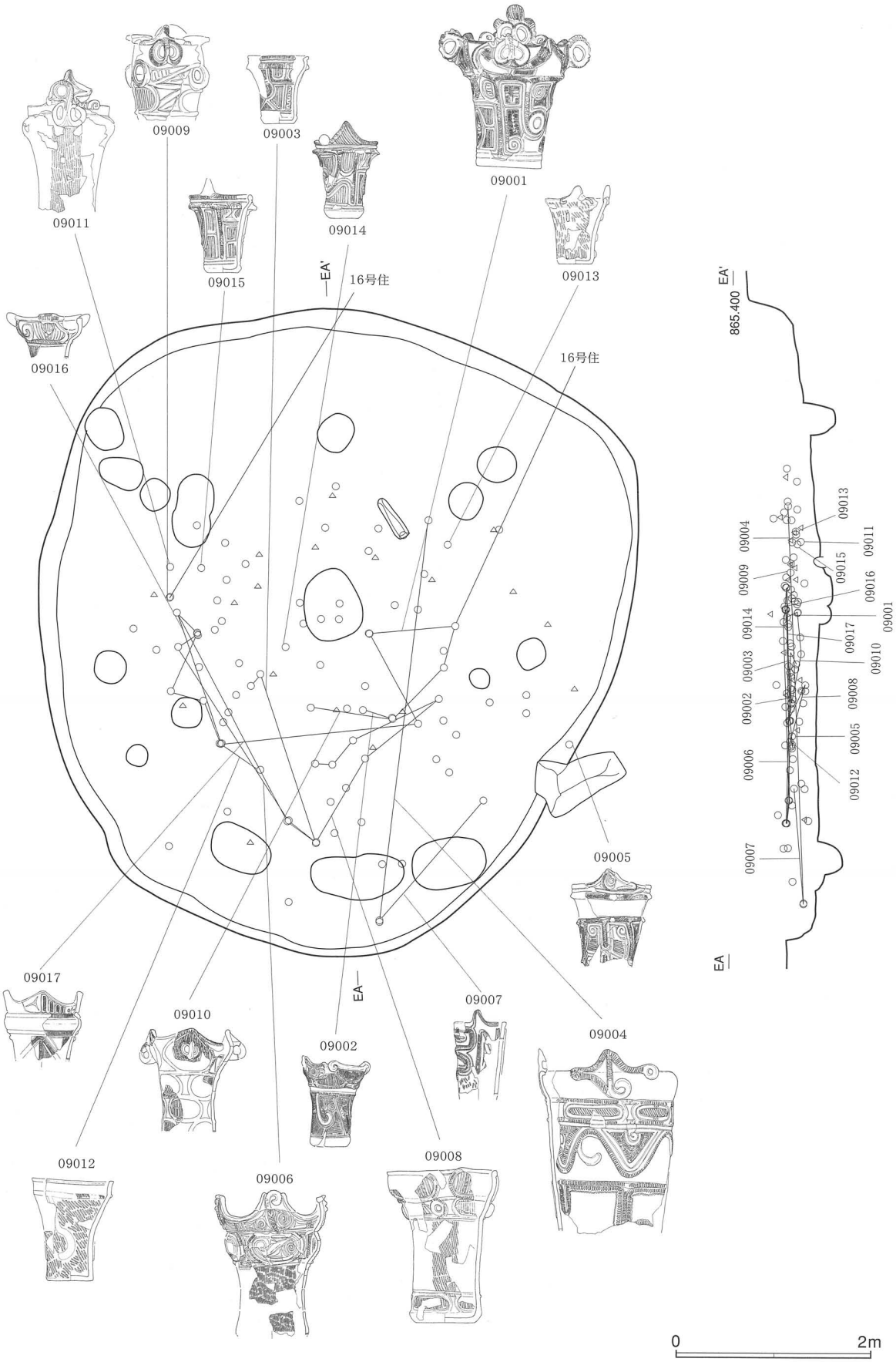
覆土　黒褐色土　粘性強い　締まり強い　炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒少量含

0　1m

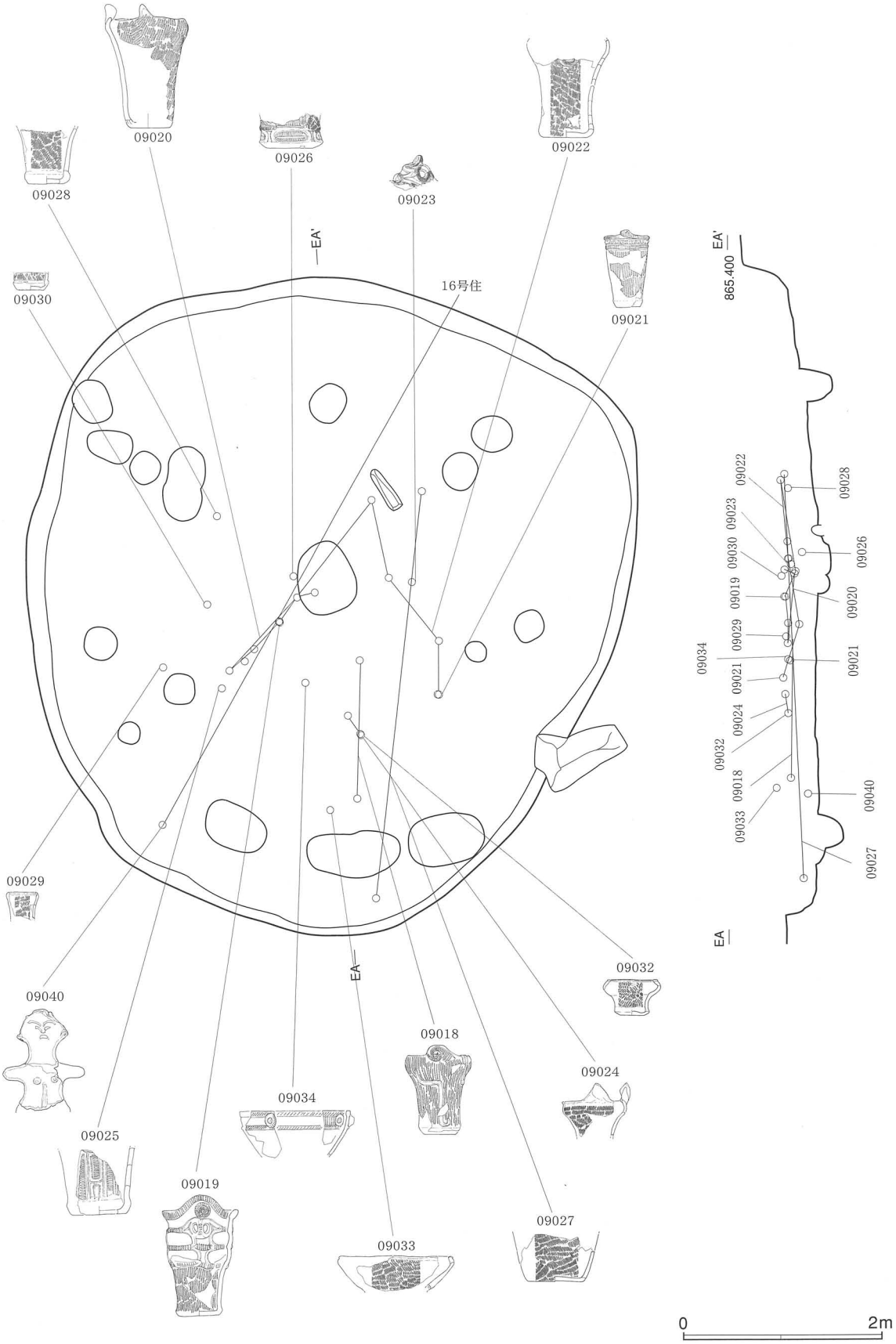
第40図　9号住居跡　炉跡（S＝1/30）



第41図　9号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）

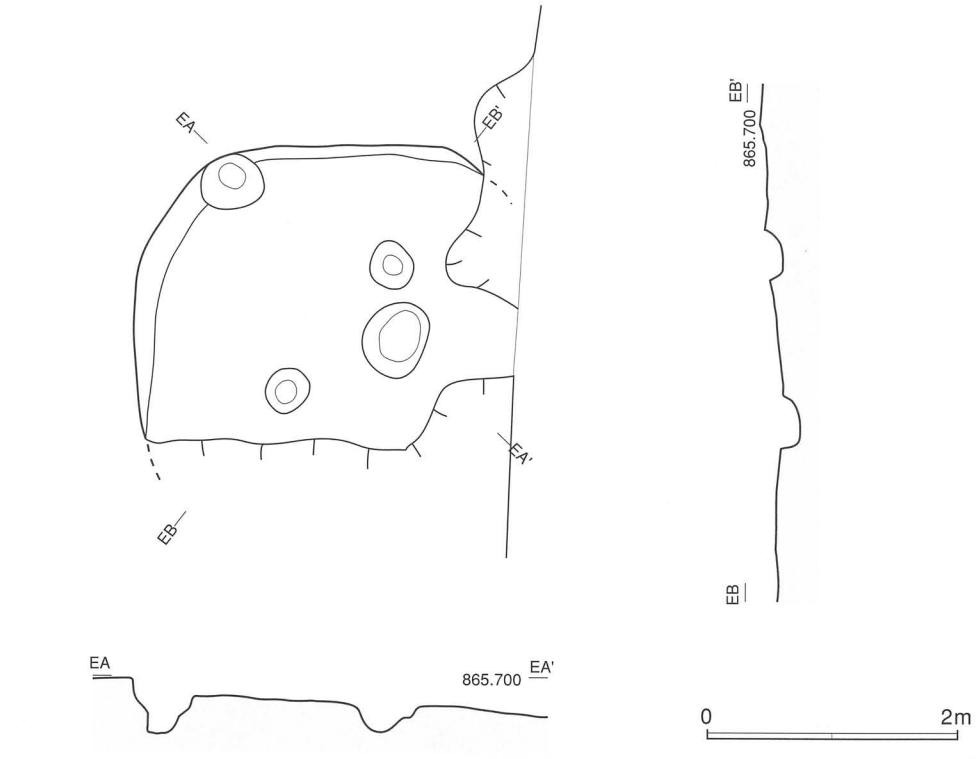


第42図　9号住居跡個体別遺物分布（1）（S＝1/60）



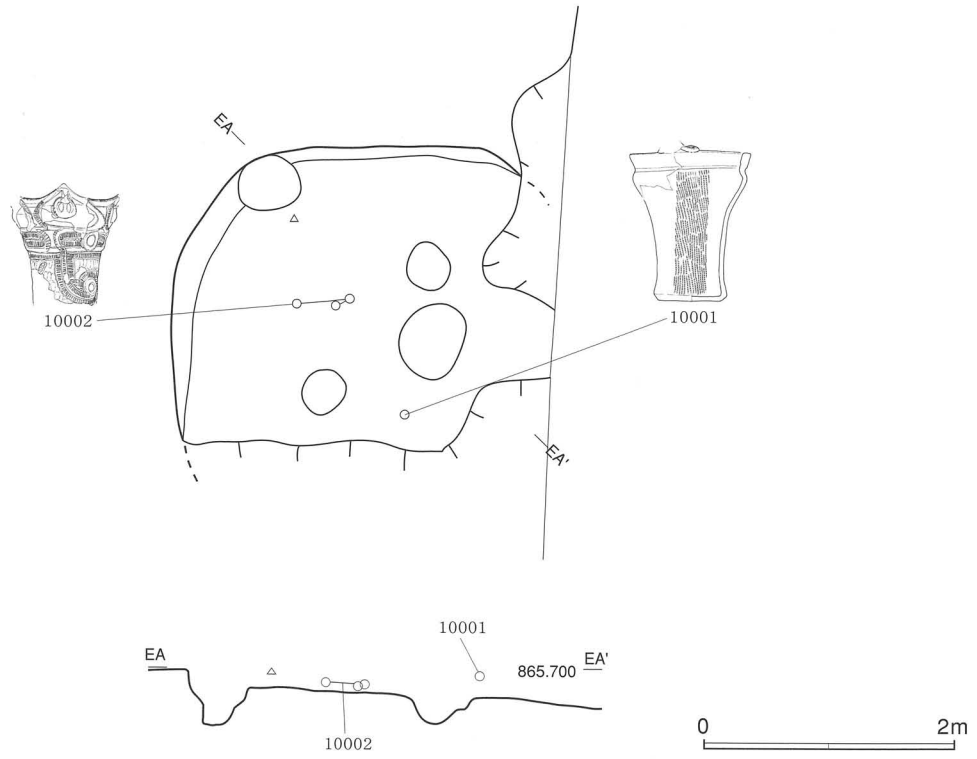
第43図　9号住居跡個体別遺物分布（2）（S＝1/60）

10号住居跡



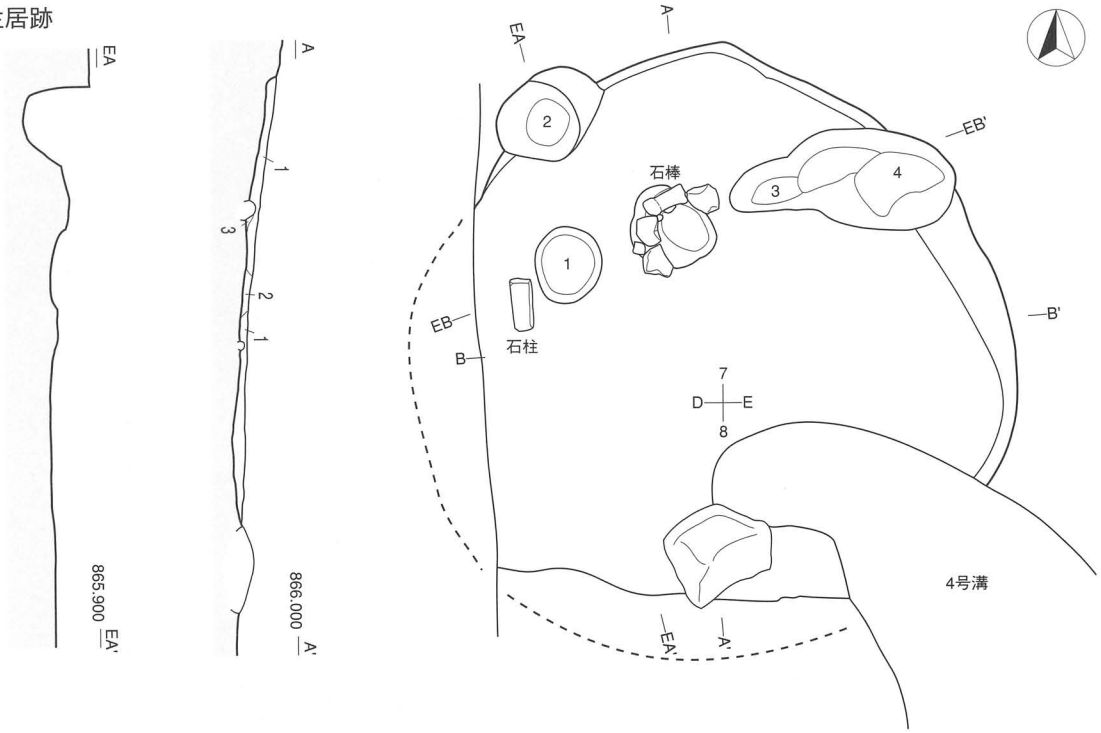
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まりやや弱い　炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック少量含

第44図　10号住居跡（S＝1/60）

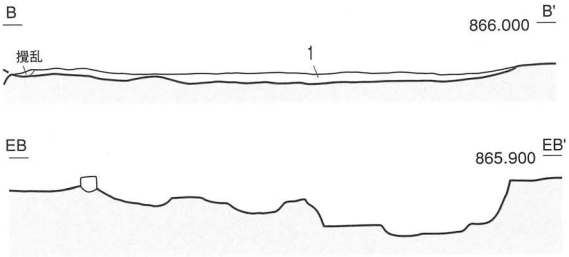


第45図　10号住居跡遺物出土状況・個体別分布（S＝1/60）

11号住居跡



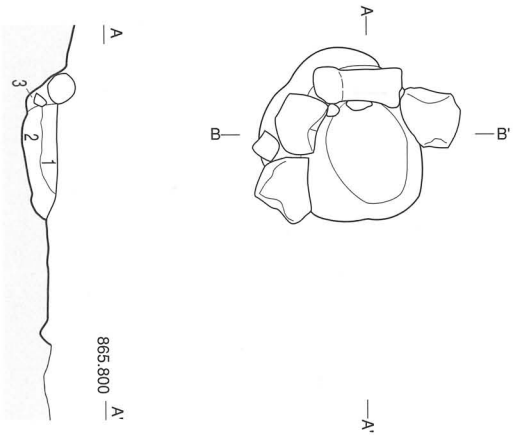
ピット1　暗褐色土　粘性普通　　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒含
ピット2　暗褐色土　粘性やや弱い　締まりやや弱い
　　炭化物少量含、ローム粒含
ピット3　暗褐色土　粘性普通　　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒含
ピット4　暗褐色土　粘性普通　　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒含



1層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒少量含
2層　暗褐色土　粘性普通　締まりやや弱い　炭化物少量含、焼土多量含
3層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含（炉覆土）

0　2m

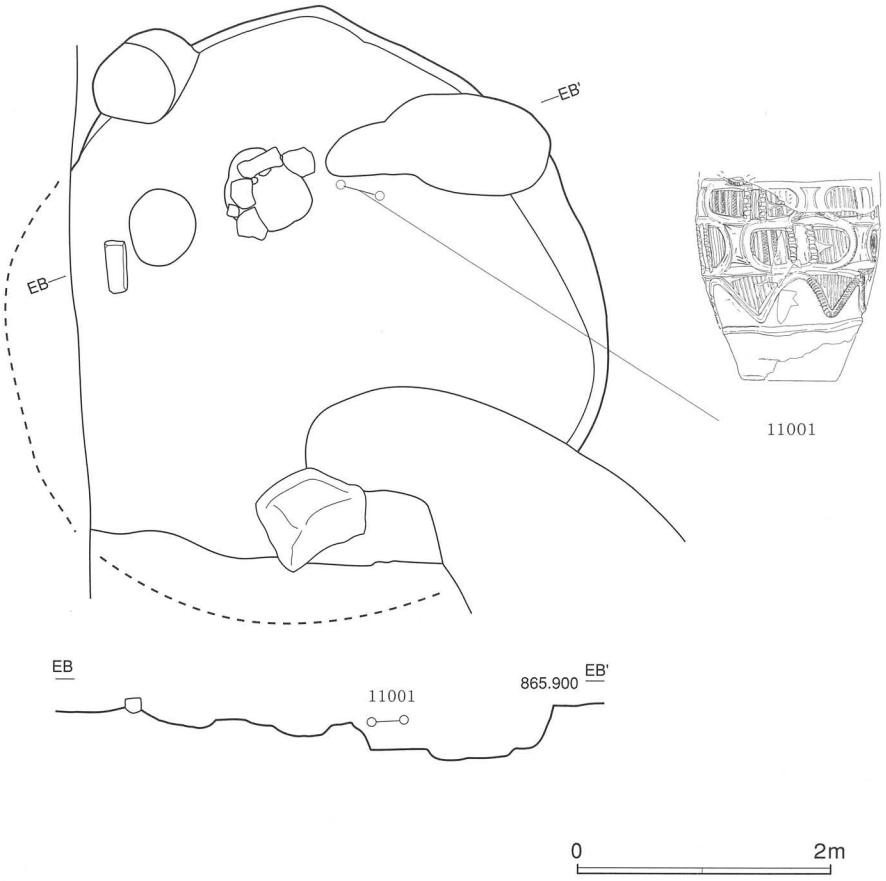
第46図　11号住居跡（S＝1/60）



1層　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒少量含
2層　暗褐色土　粘性普通　締まりやや強い
　　炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒少量含

0　1m

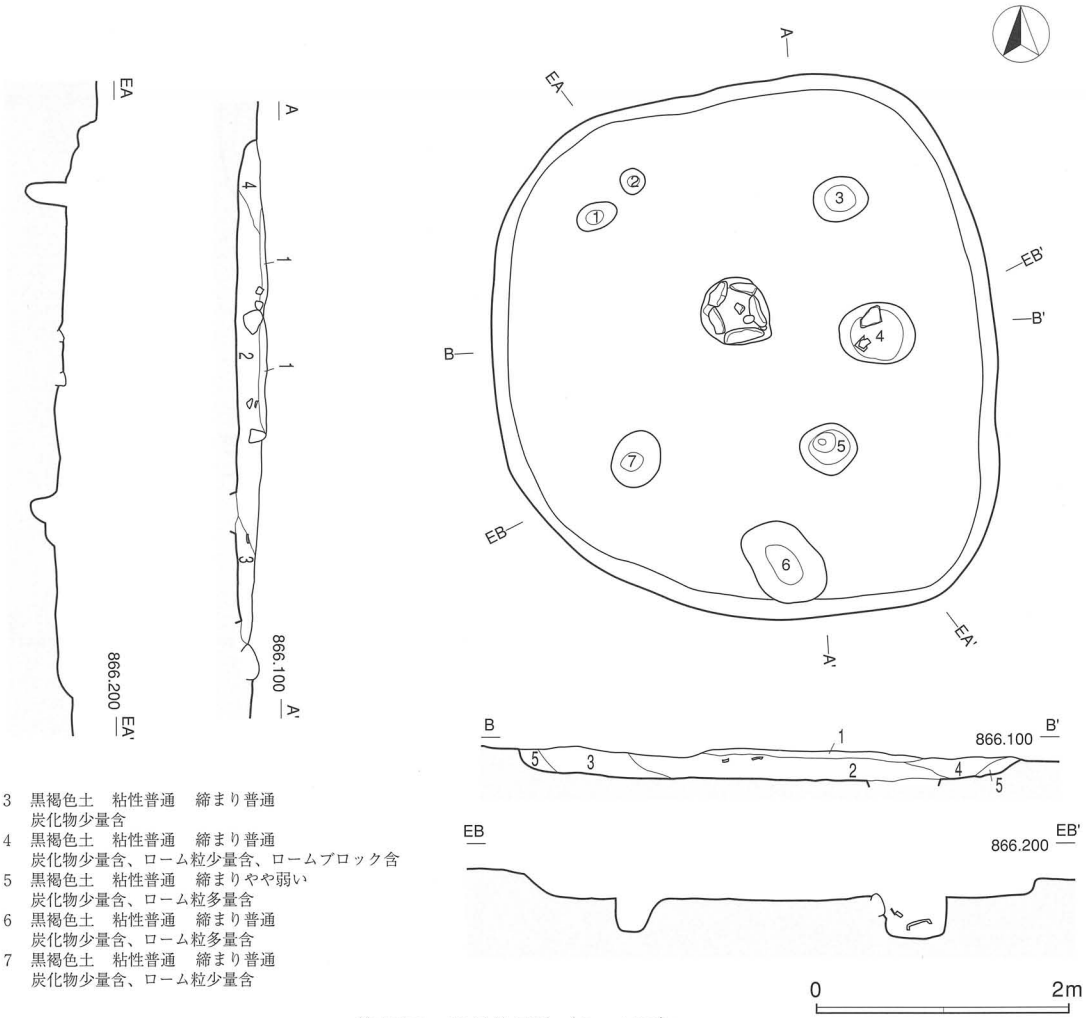
第47図　11号住居跡　炉跡（S＝1/30）



第48図　11号住居跡遺物出土状況・個体別分布（S＝1/60）

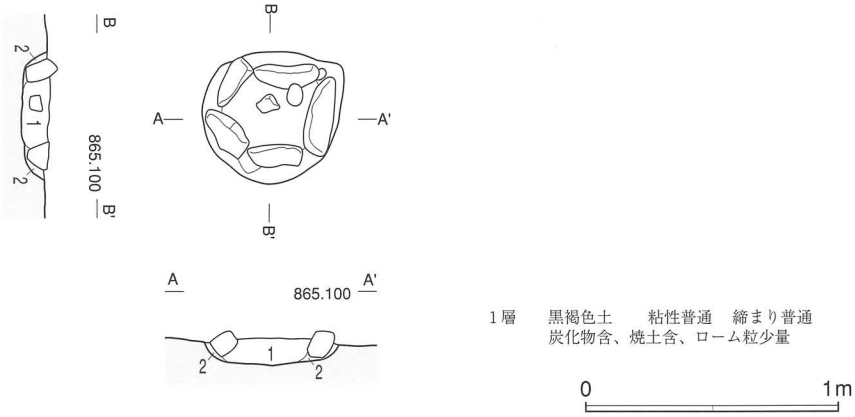
12号住居跡

1層	褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含（酸化層）
2層	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物多量含、ローム粒少量含、焼土少量含
3層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
4層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含（3層より赤み強い）
5層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム質含



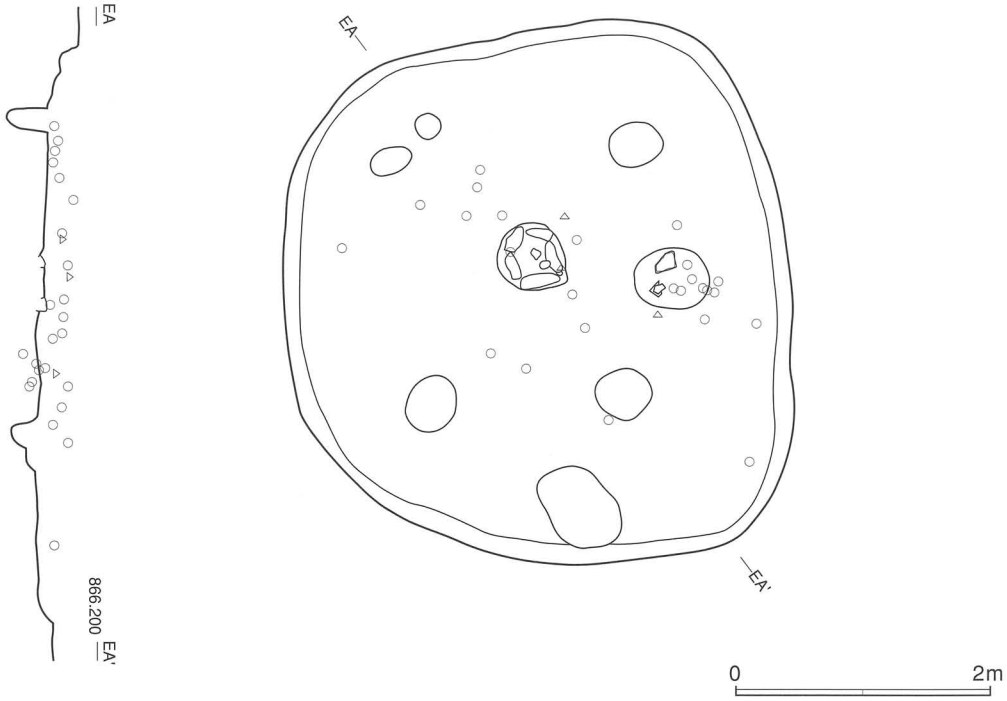
ピット3　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
　　炭化物少量含
ピット4　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
ピット5　黒褐色土　粘性普通　締まりやや弱い
　　炭化物少量含、ローム粒多量含
ピット6　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒多量含
ピット7　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒少量含

第49図　12号住居跡（S＝1/60）

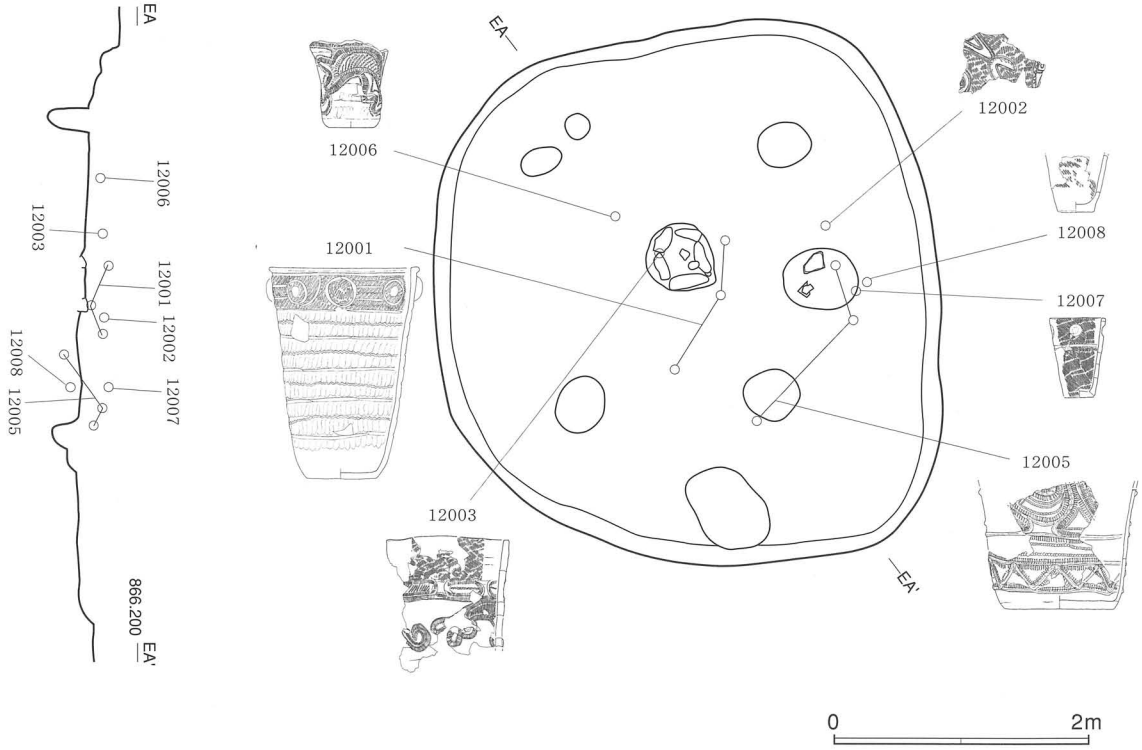


1層　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
　　炭化物含、焼土含、ローム粒少量

第50図　12号住居跡　炉跡（S＝1/30）

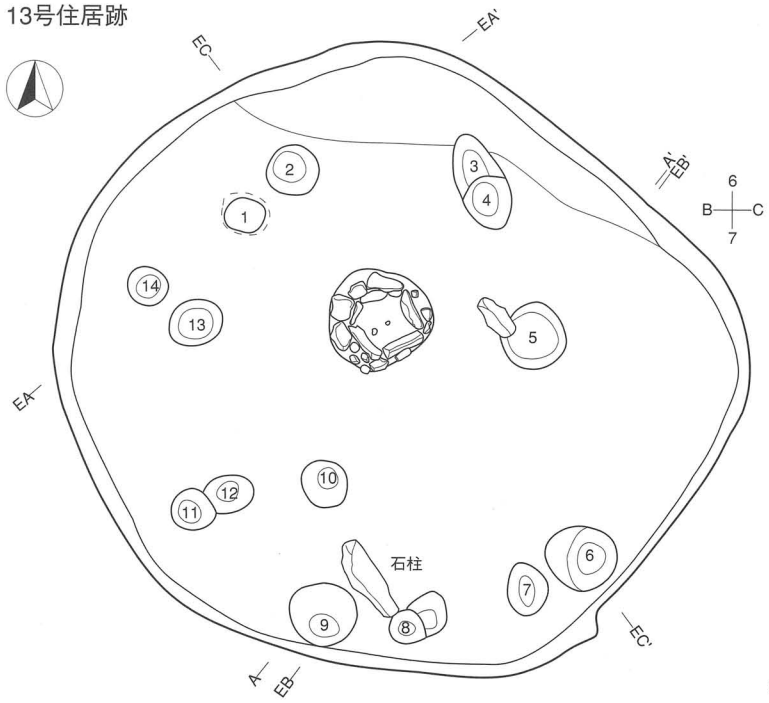


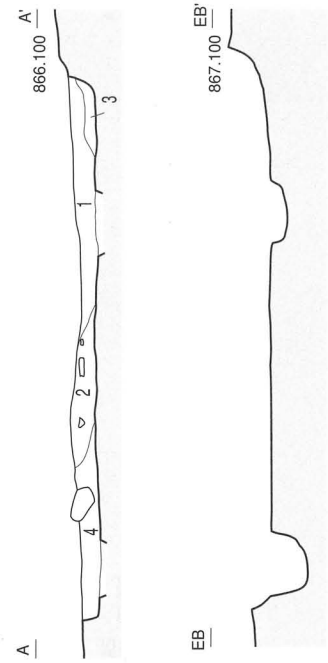
第51図　12号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）

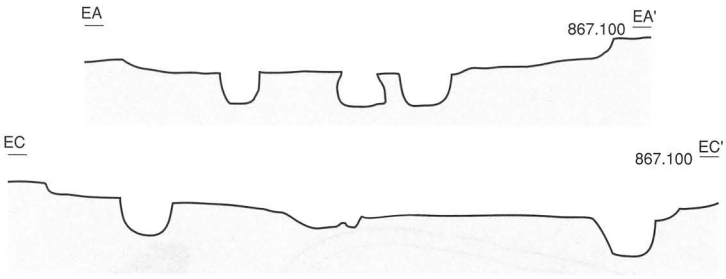


第52図　12号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）

13号住居跡



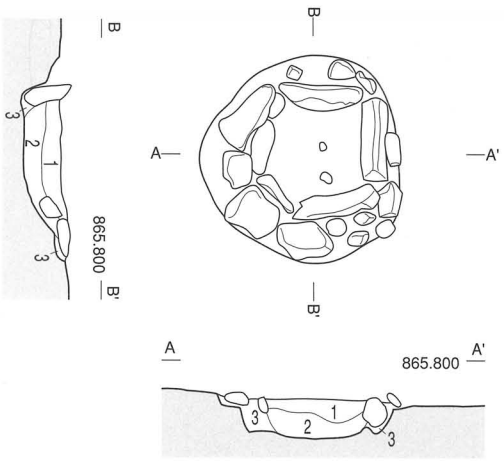




1層	黒褐色土	粘性やや弱い	締まり普通
	ローム粒少量含、ロームブロック含		炭化物多量含、焼土少量含、
2層	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い
			炭化物少量含、ローム粒少量含
3層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり強い
	ロームブロック含		炭化物少量含、ローム粒多量含、
4層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通
			炭化物少量含、ローム粒多量含

0　　2m

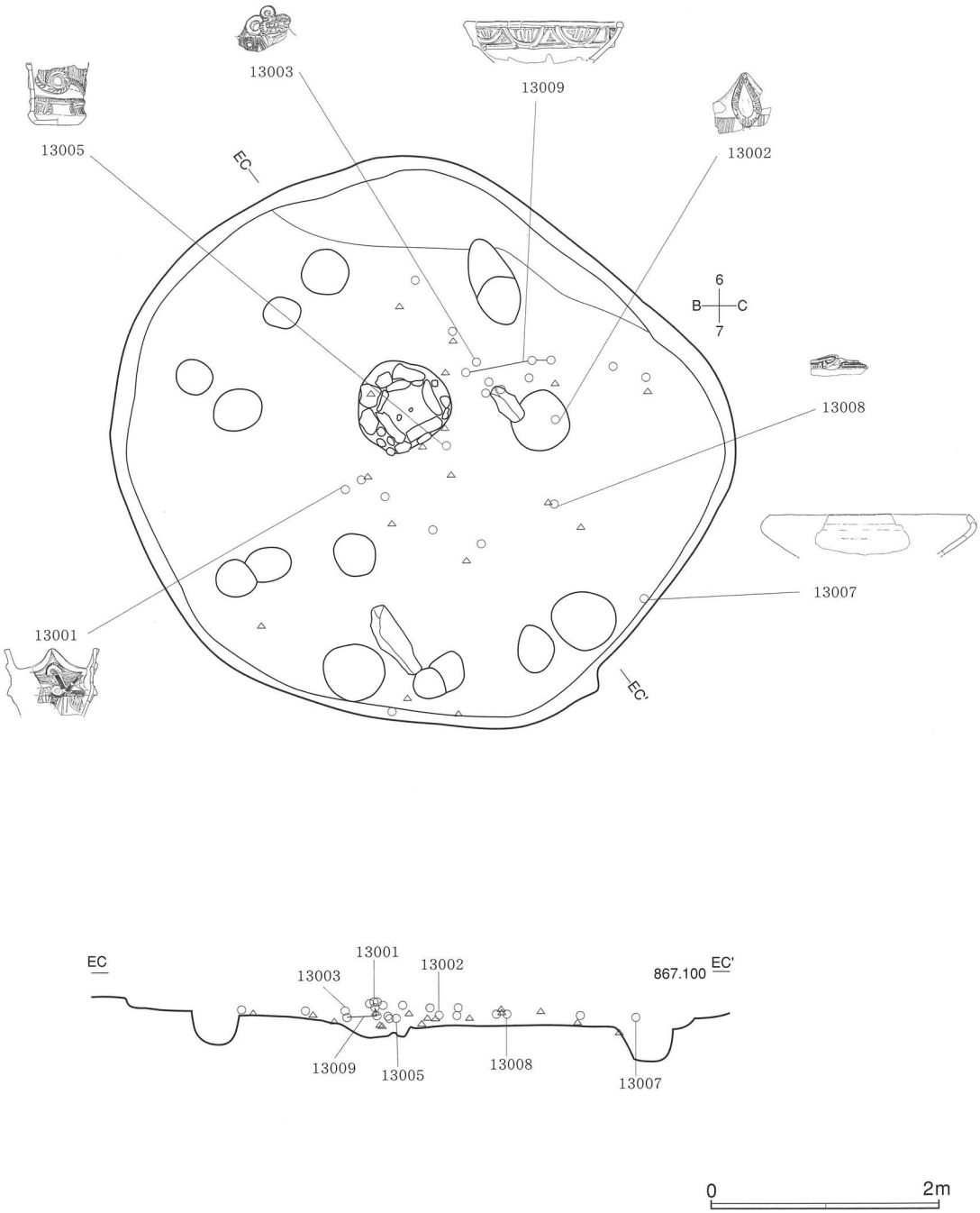
ピット1	黒褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量、ローム粒少量		
ピット2	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い
	炭化物少量、ローム粒少量		
ピット3	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い
	炭化物少量、ロームブロック		
ピット4	黒褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量、ローム粒少量		
ピット5	黒褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量、ローム粒含		
ピット6	黒褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量、ローム粒含		
ピット7	暗褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量、ローム粒少量		
ピット8	暗褐色土	粘性やや弱い	締まりやや弱い
	炭化物少量、ロームブロック		
ピット9	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い
	炭化物少量、ローム粒少量、ロームブロック		
ピット10	黒褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量、ローム粒少量		
ピット11	黒褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量、ローム粒少量、ロームブロック		
ピット12	黒褐色土	粘性やや弱い	締まりやや弱い
	炭化物少量、ローム粒少量		
ピット13	暗褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量		
ピット14	暗褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量、ローム粒少量		



1層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物含、焼土少量含		
2層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通
	炭化物少量含、ローム粒少量含		

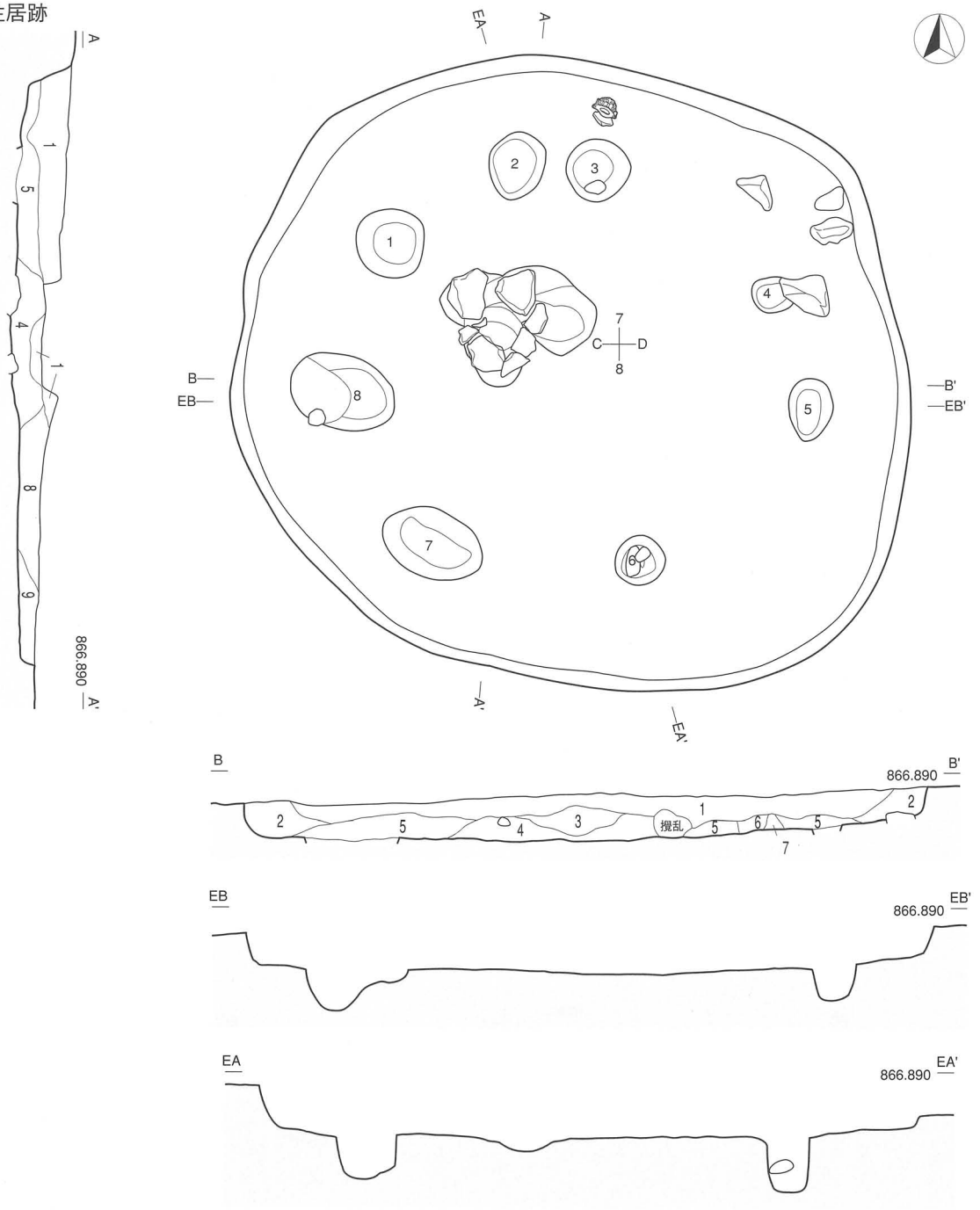
0　　1m

第53図　13号住居跡　炉跡（S＝1/30）



第54図　13号住居跡遺物出土状況・個体別分布（S＝1/60）

14号住居跡

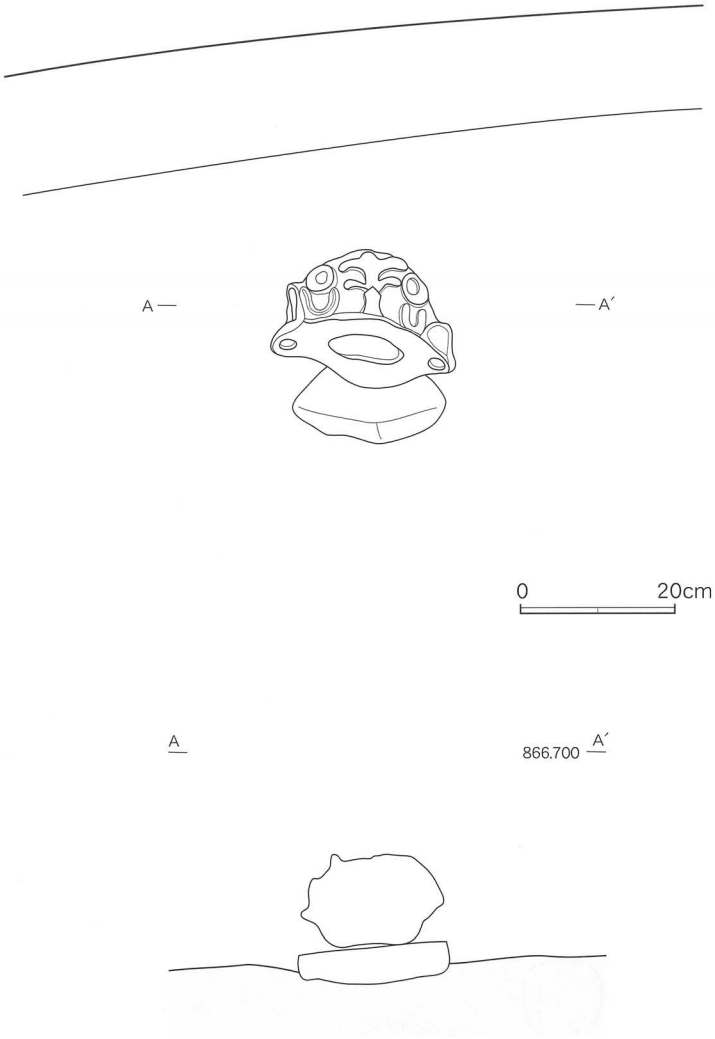


1層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒少量含
2層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒多量含
3層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、焼土少量含、ローム粒少量含
4層	暗褐色土	粘性やや弱い	締まり普通	炭化物多量含、焼土含、ローム粒含
5層	黒褐色土	粘性やや弱い	締まり普通	炭化物多量含、焼土ブロック的に含、ローム粒少量含
6層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
7層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物多量含
8層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、ローム粒含
9層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含

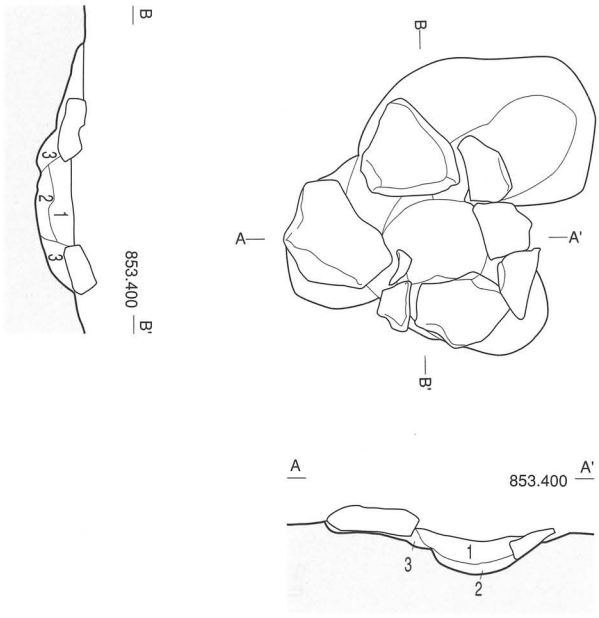
ピット1	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量、ローム粒少量
ピット2	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物含、ローム粒少量（上層に焼土含む）
ピット3	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量、ローム粒含
ピット4	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量、ローム粒少量
ピット5	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量
ピット6	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物少量、ローム粒少量
ピット7	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量、ローム粒少量
ピット8	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量、ローム粒少量

0　2m

第55図　14号住居跡（S＝1/60）



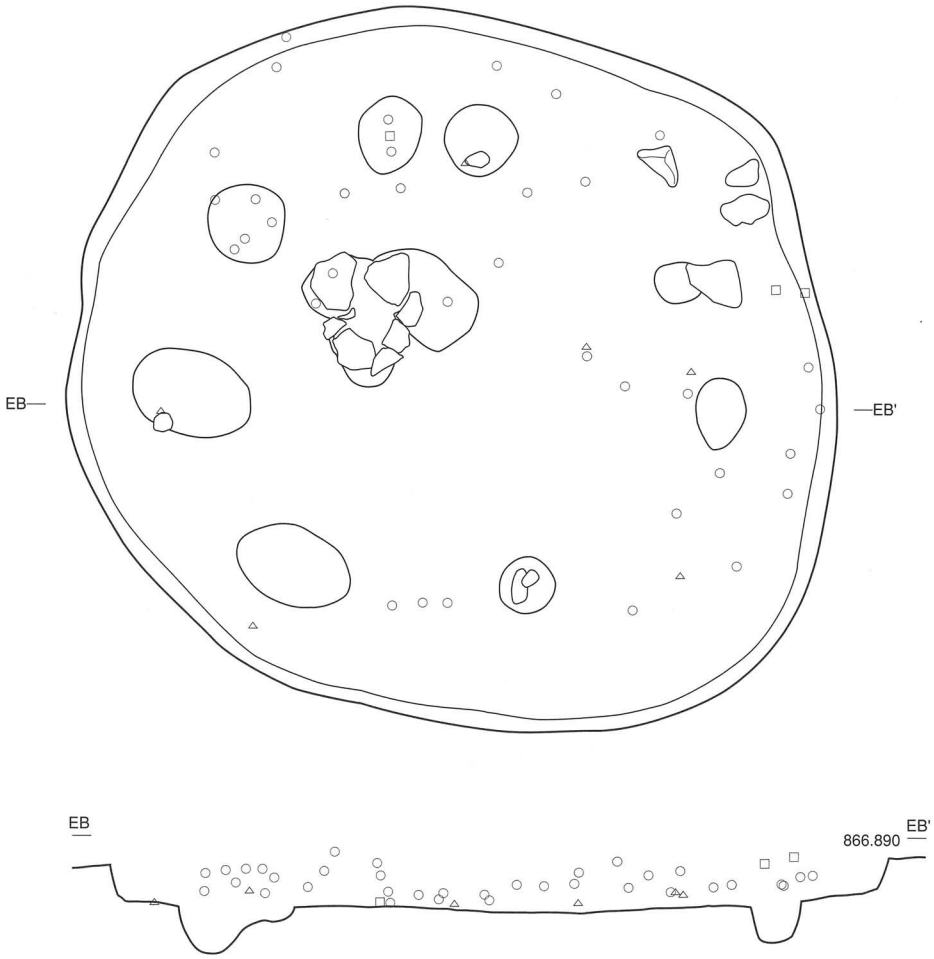
第56図　14号住居跡出土釣手土器出土状況（S＝1/10）



1層　黒褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含
2層　暗褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒含
3層　暗褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物少量含、焼土含

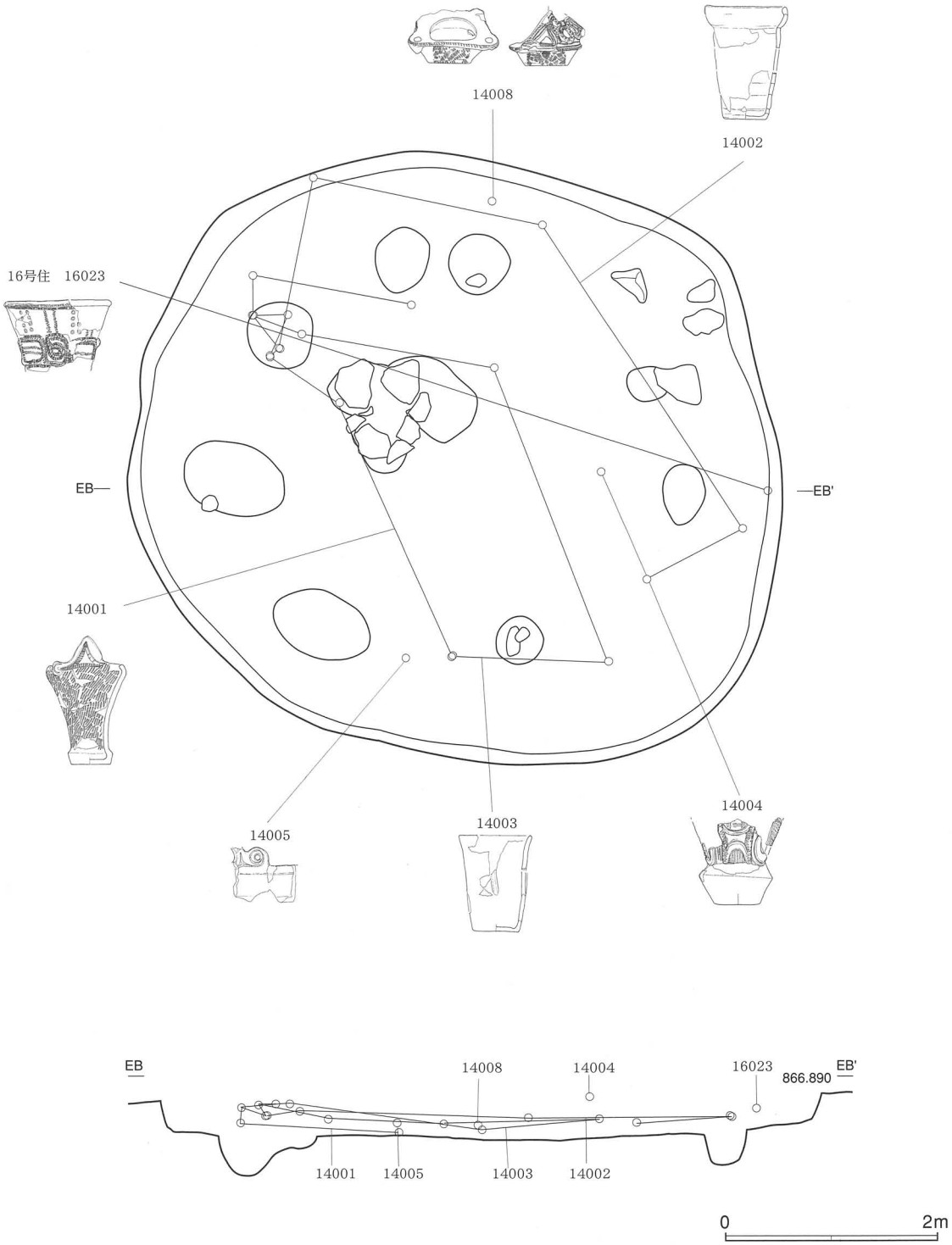
0　1m

第57図　14号住居跡　炉跡（S＝1/30）



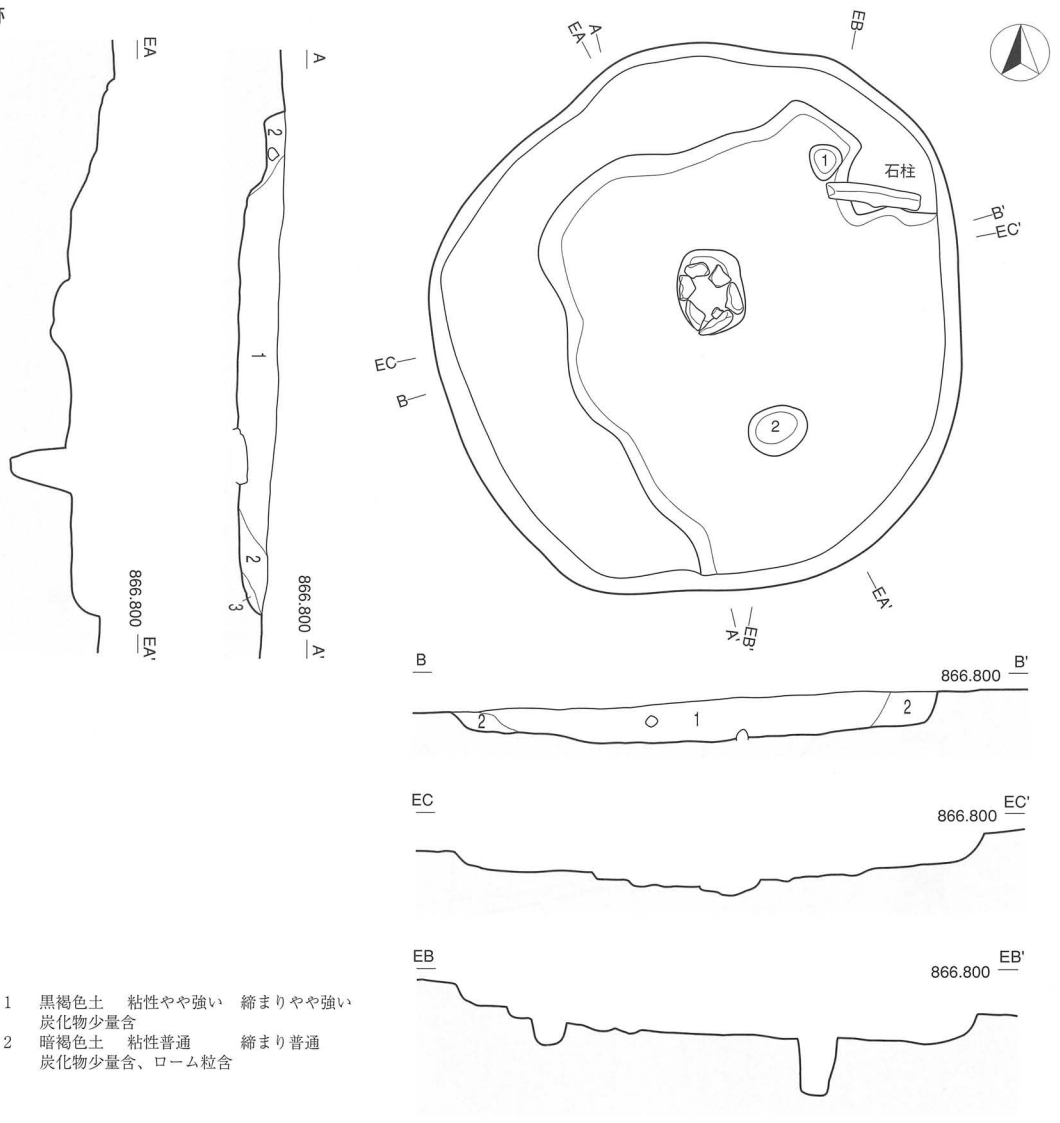
0　2m

第58図　14号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



第59図　14号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）

15号住居跡

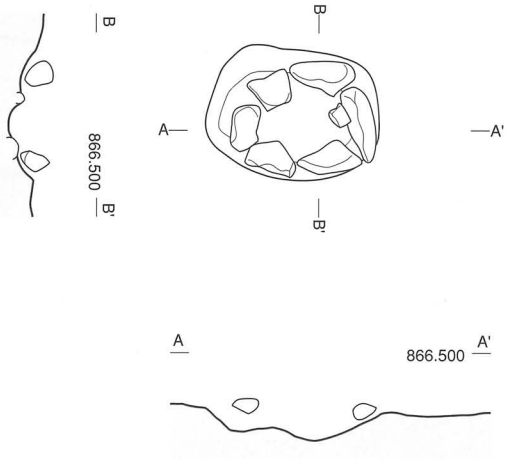


ピット1　黒褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物少量含
ピット2　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

1層　黒褐色土　粘性普通　締まりやや弱い　炭化物含、焼土少量含
2層　暗褐色土　粘性普通　締まりやや弱い　炭化物少量含、ローム粒含
3層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒多量含

0　2m

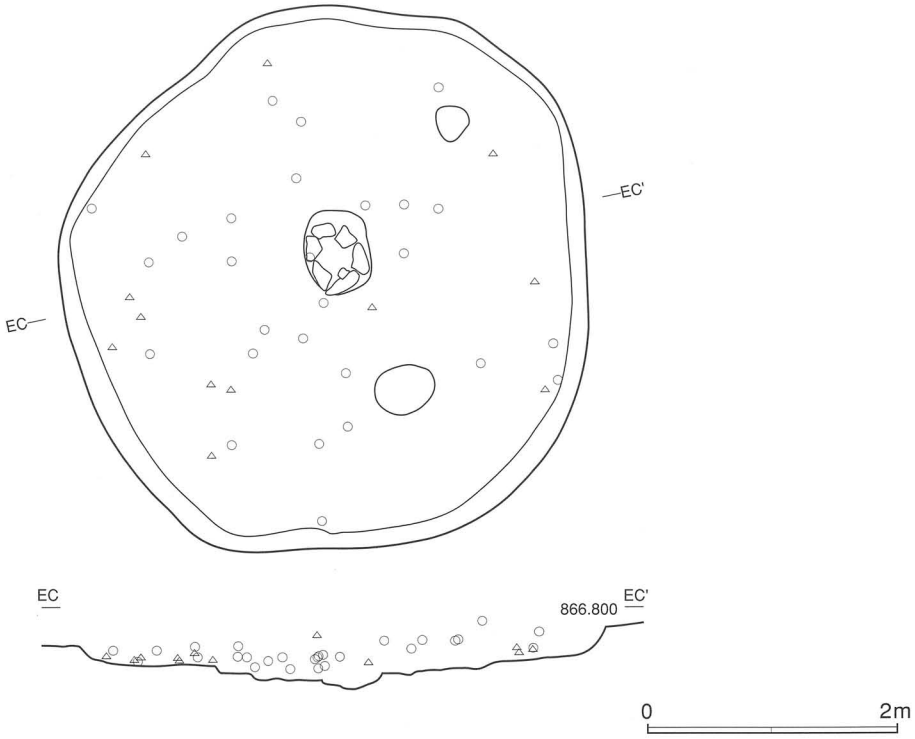
第60図　15号住居跡（S＝1/60）



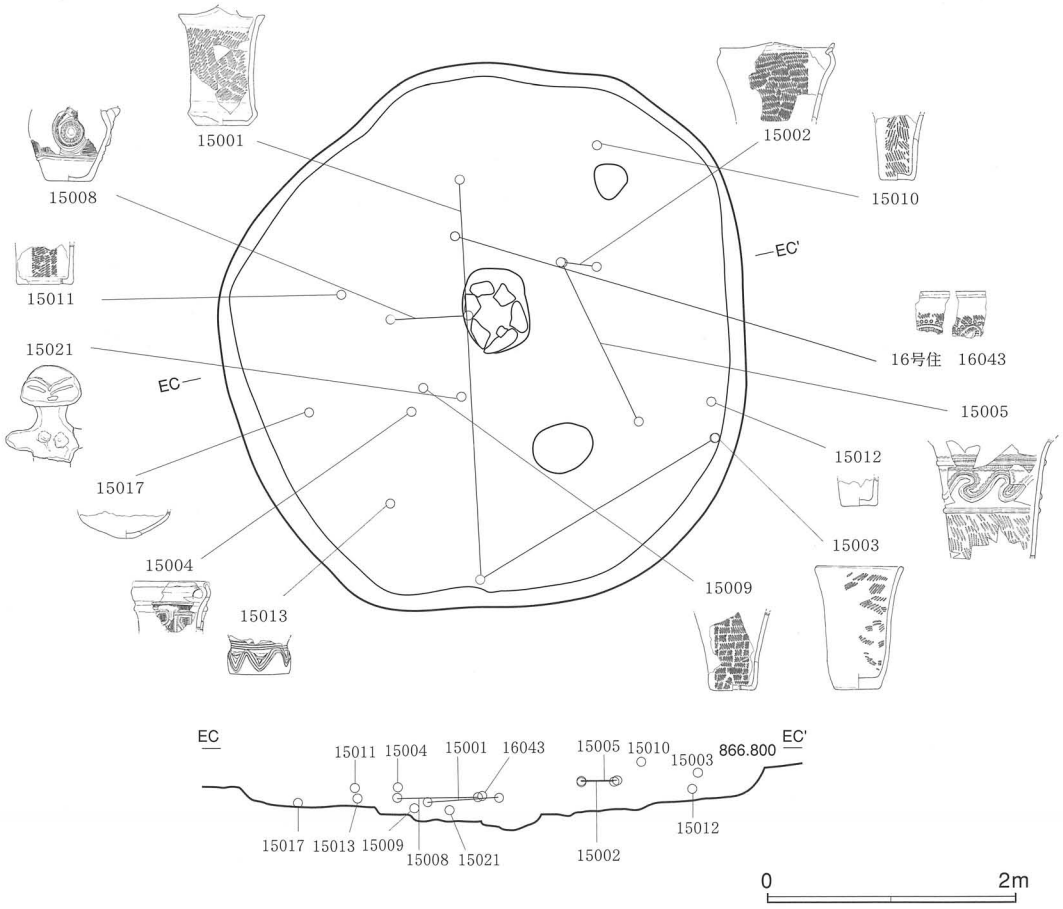
覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物含、ローム粒含

0　1m

第61図　15号住居跡　炉跡（S＝1/30）

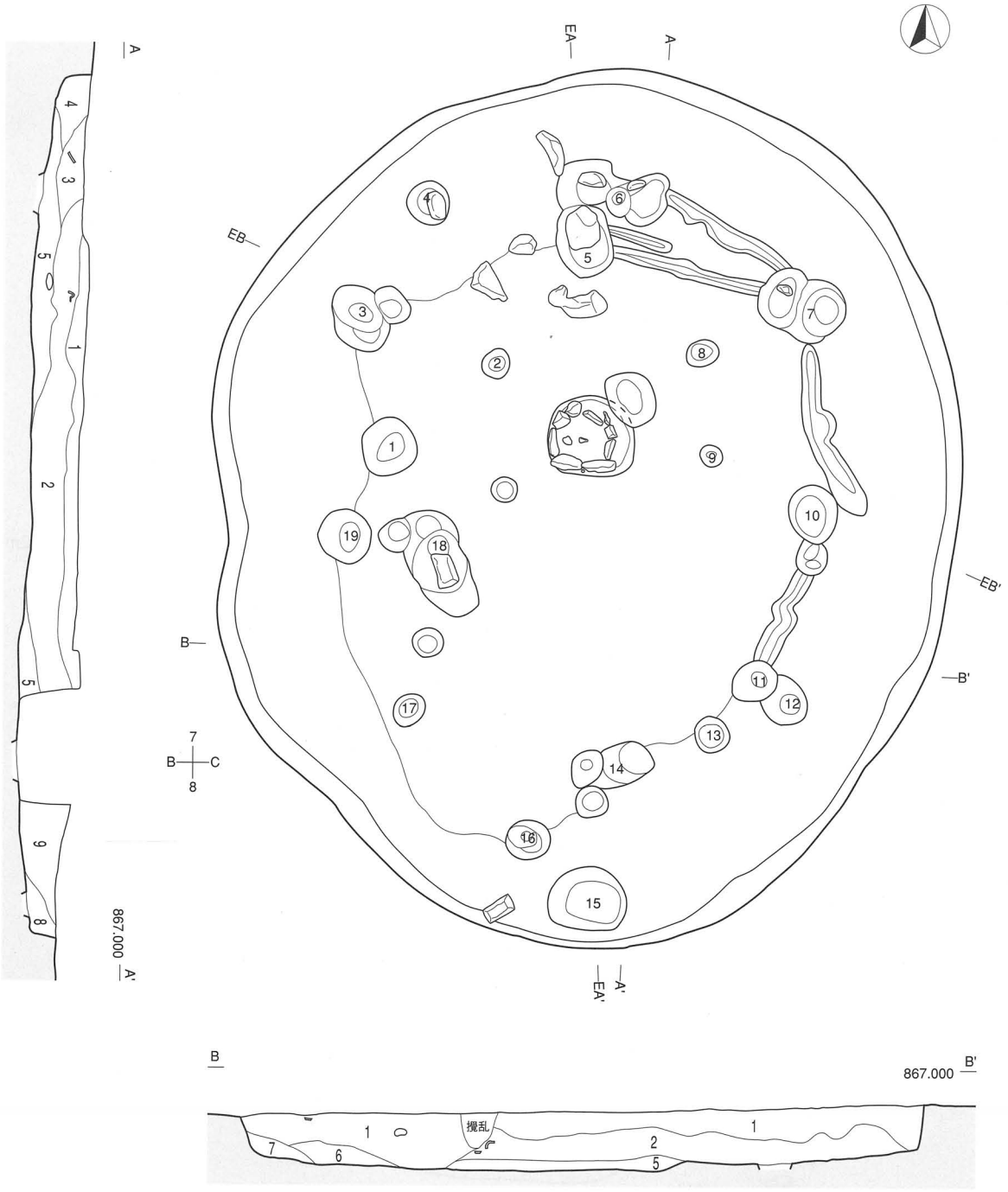


第62図　15号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



第63図　15号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）

16号住居跡



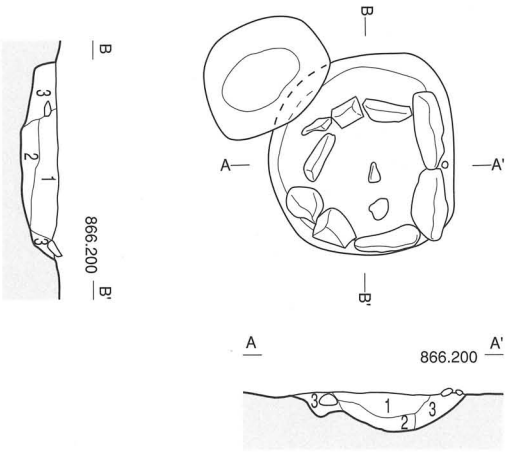
0　　2m

第64図　16号住居跡（S＝1/60）

1層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	部分的に炭化物含、焼土含、ローム粒少量含
2層	黒褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物多量含、焼土含、ローム粒少量含
3層	暗褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒含
4層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
5層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
6層	黒褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
7層	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや弱い	炭化物少量含、ローム質含
8層	暗褐色土	粘性やや弱い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
9層	暗褐色土	粘性やや弱い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含　　8層より黒み帯びる

ピット1	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット2	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット3	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
ピット4	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
ピット5	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
ピット6	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット7	黒褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
ピット8	完掘済			
ピット9	完掘済			
ピット10	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット11	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
ピット12	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット13	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
ピット14	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含、ロームブロック含
ピット15	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット16	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット17	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット18	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含、ロームブロック含
ピット19	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含

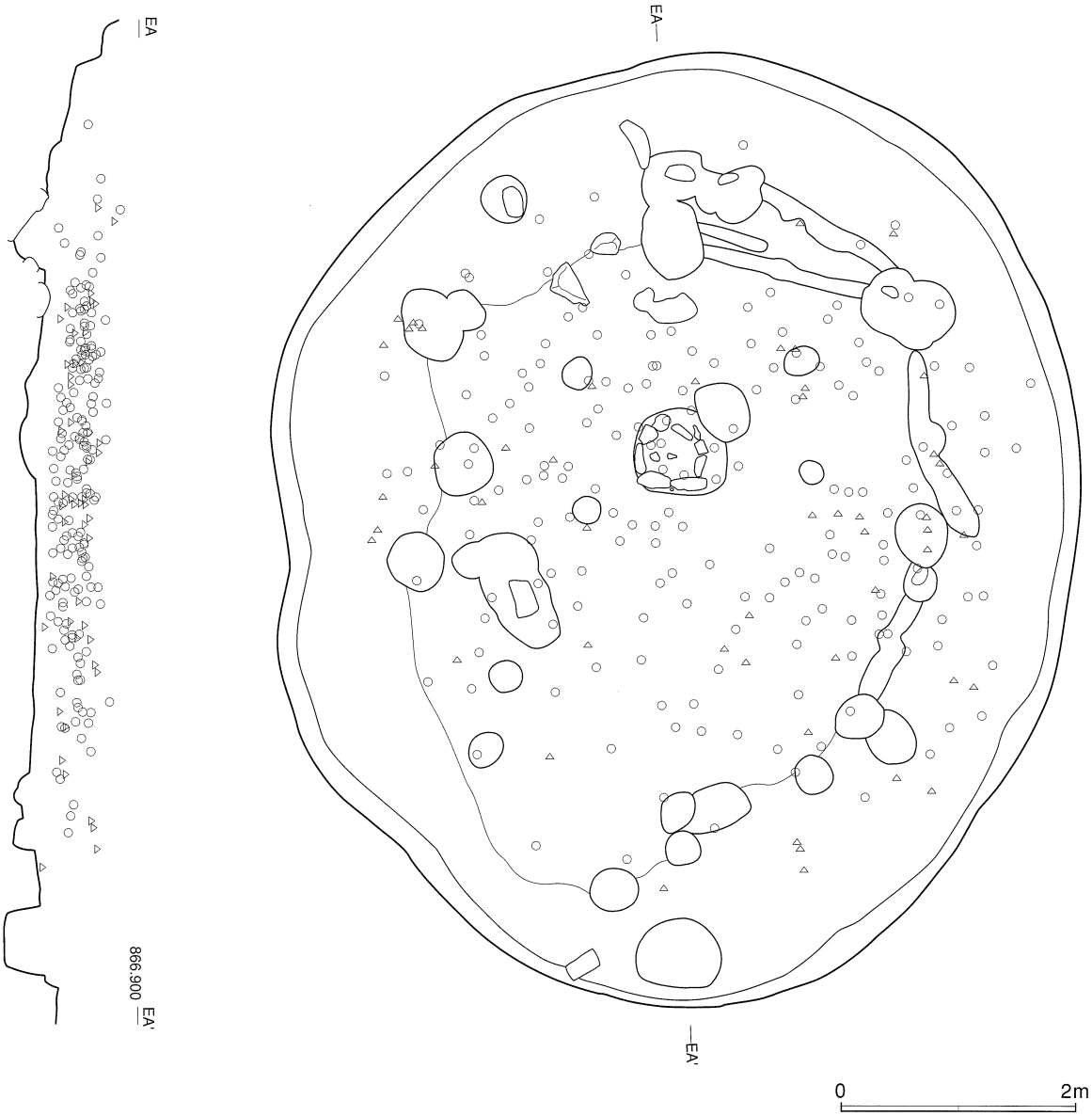
第65図　16号住居跡（S＝1/60）



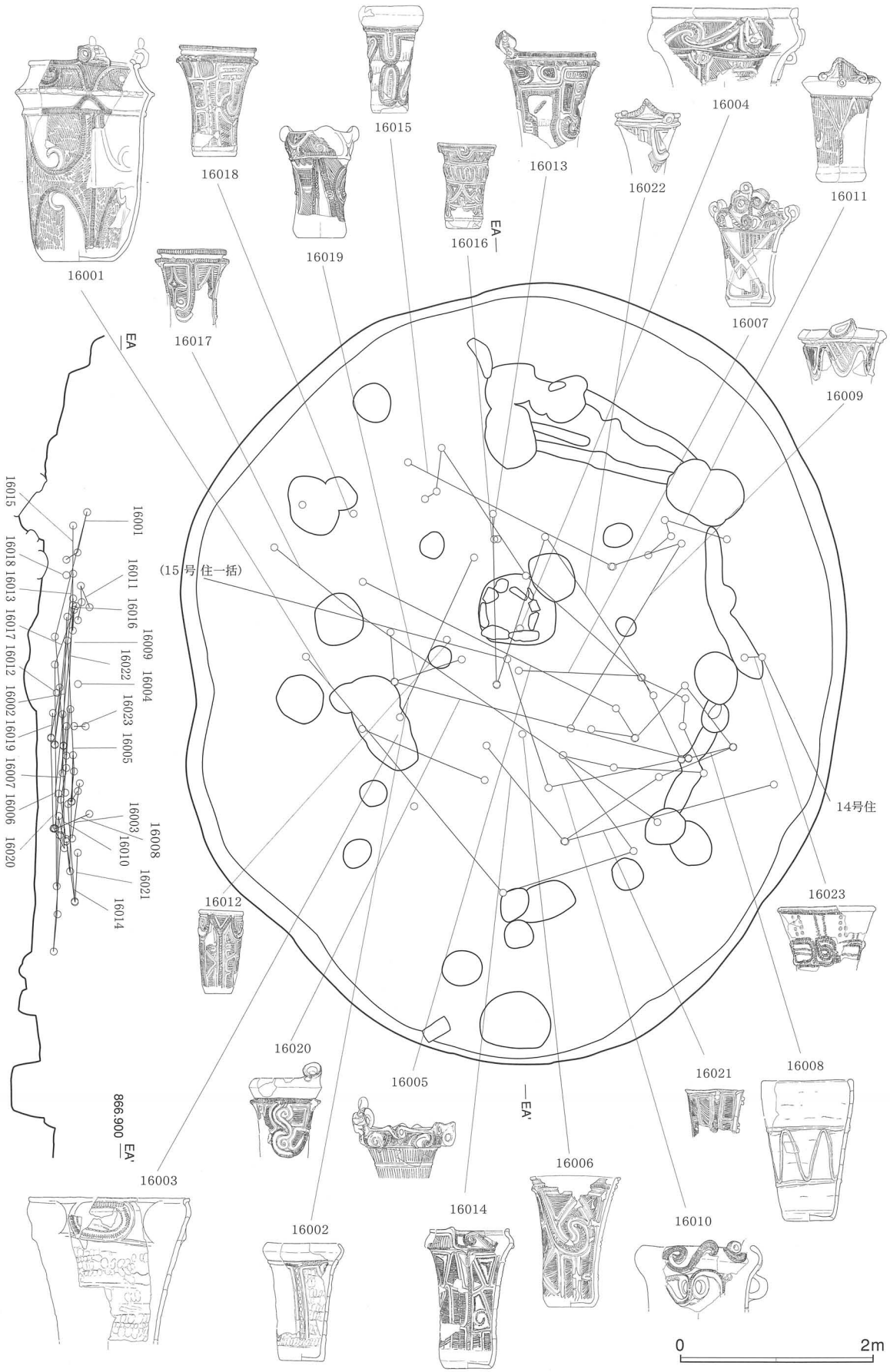
1層　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒微量含
2層　暗褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、焼土多量含、ローム粒少量含
3層　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒少量含
4層　黒褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒少量含

0　1m

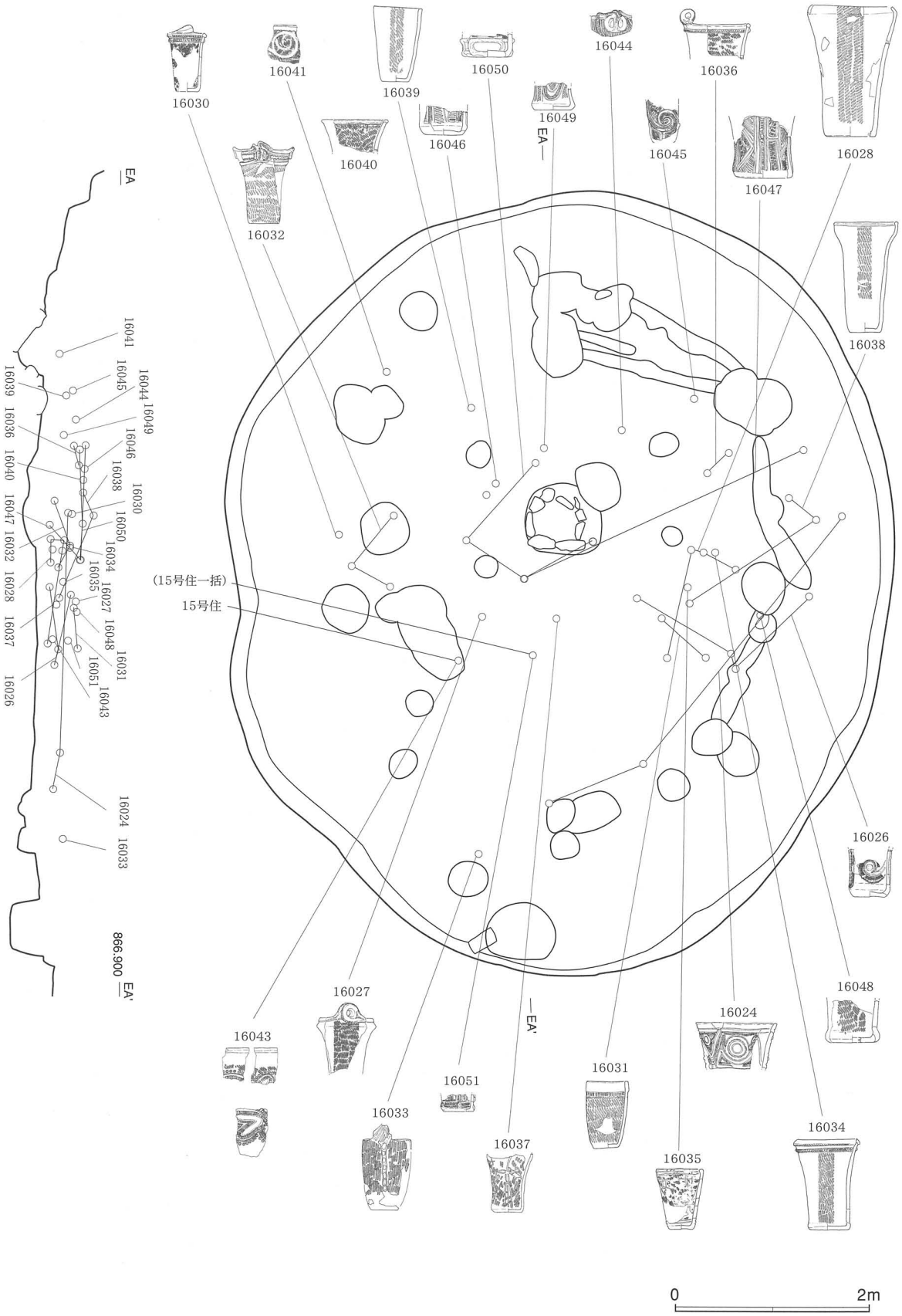
第66図　16号住居跡　炉跡（S＝1/30）



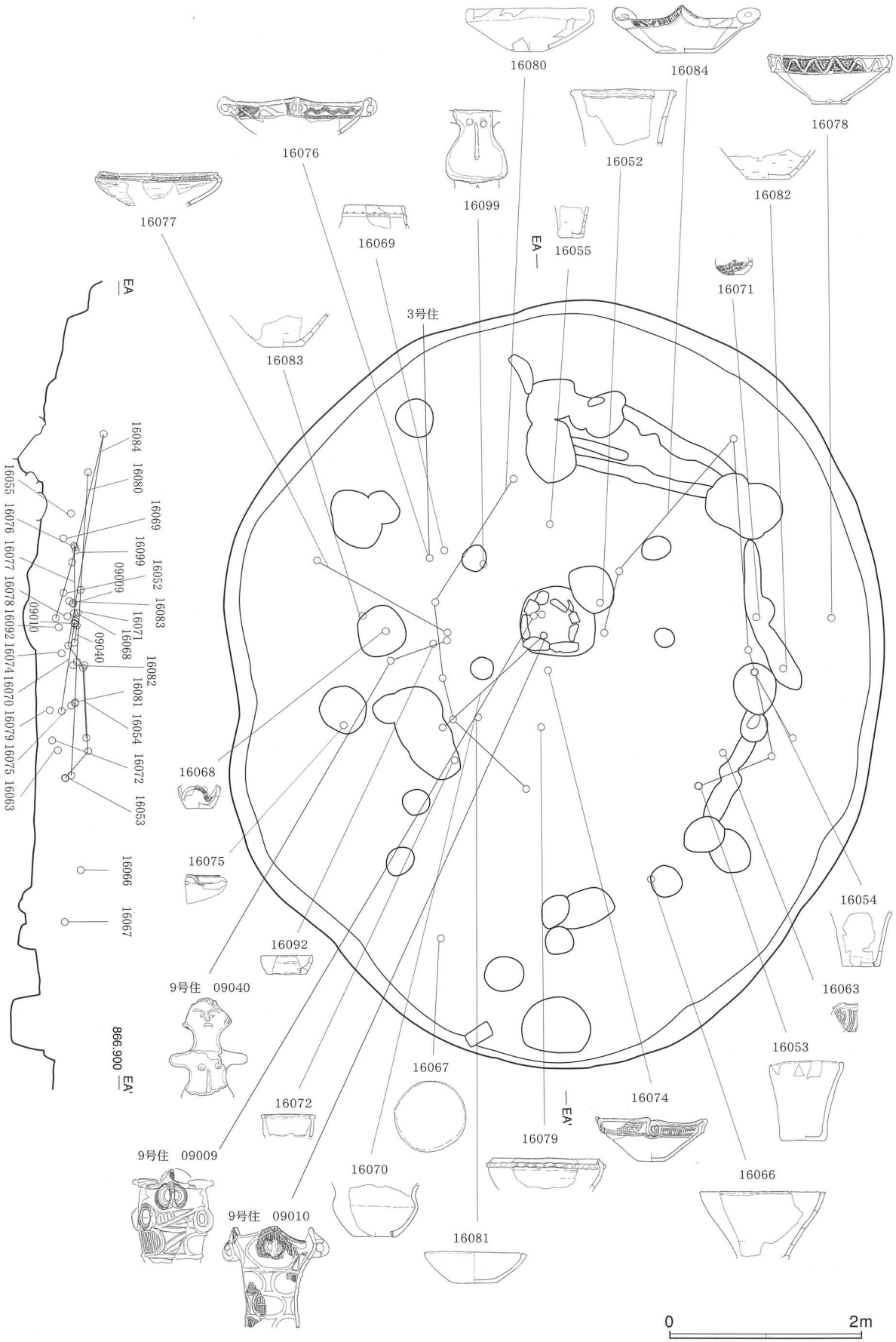
第67図　16号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



第68図　16号住居跡個体別遺物分布（1）（S＝1/60）

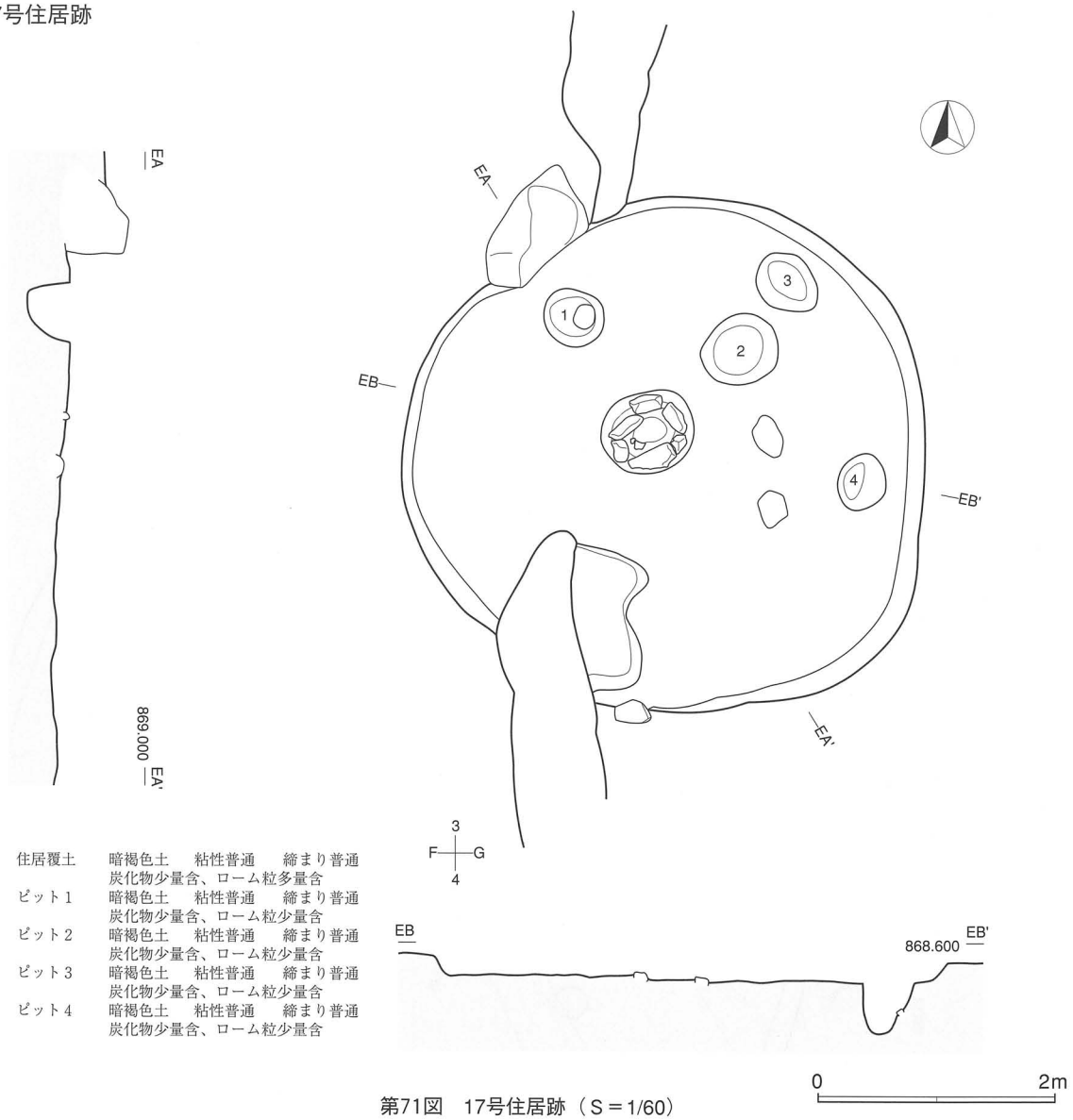


第69図　16号住居跡個体別遺物分布（２）（S＝1/60）



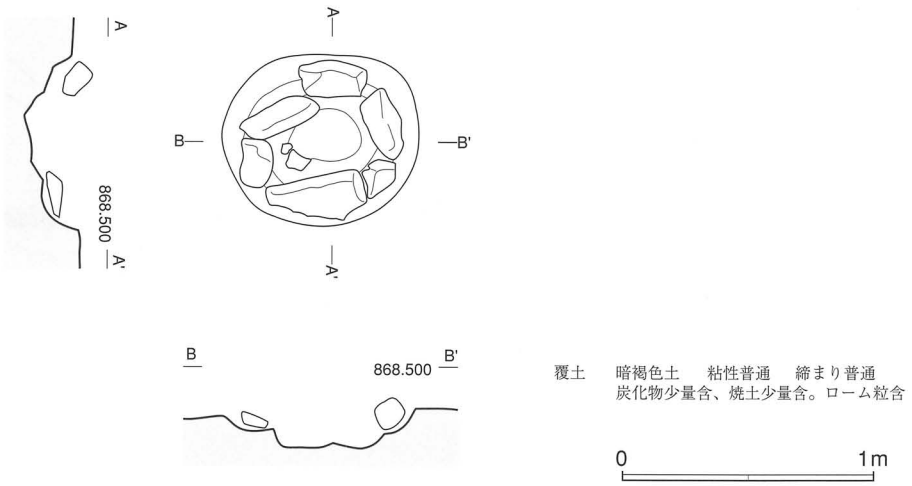
第70図　16号住居跡個体別遺物分布（3）（S＝1/60）

17号住居跡



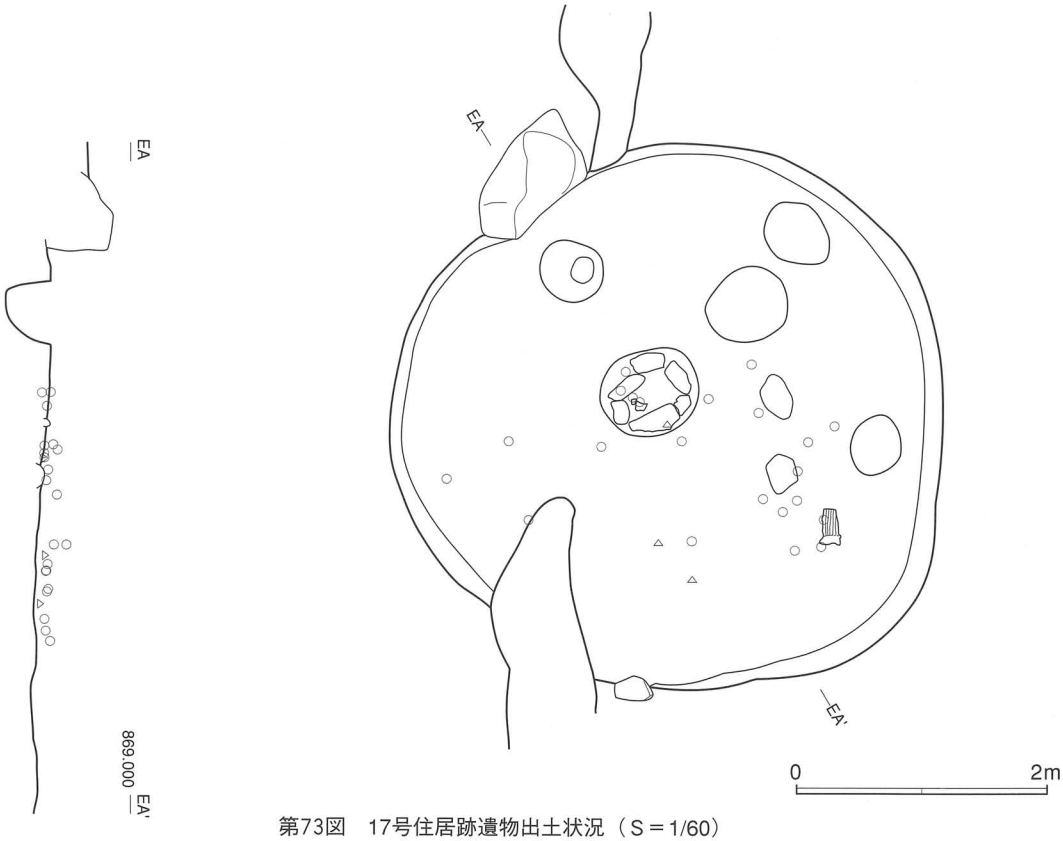
住居覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含
ピット1　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット2　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット3　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット4　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

第71図　17号住居跡（S＝1/60）

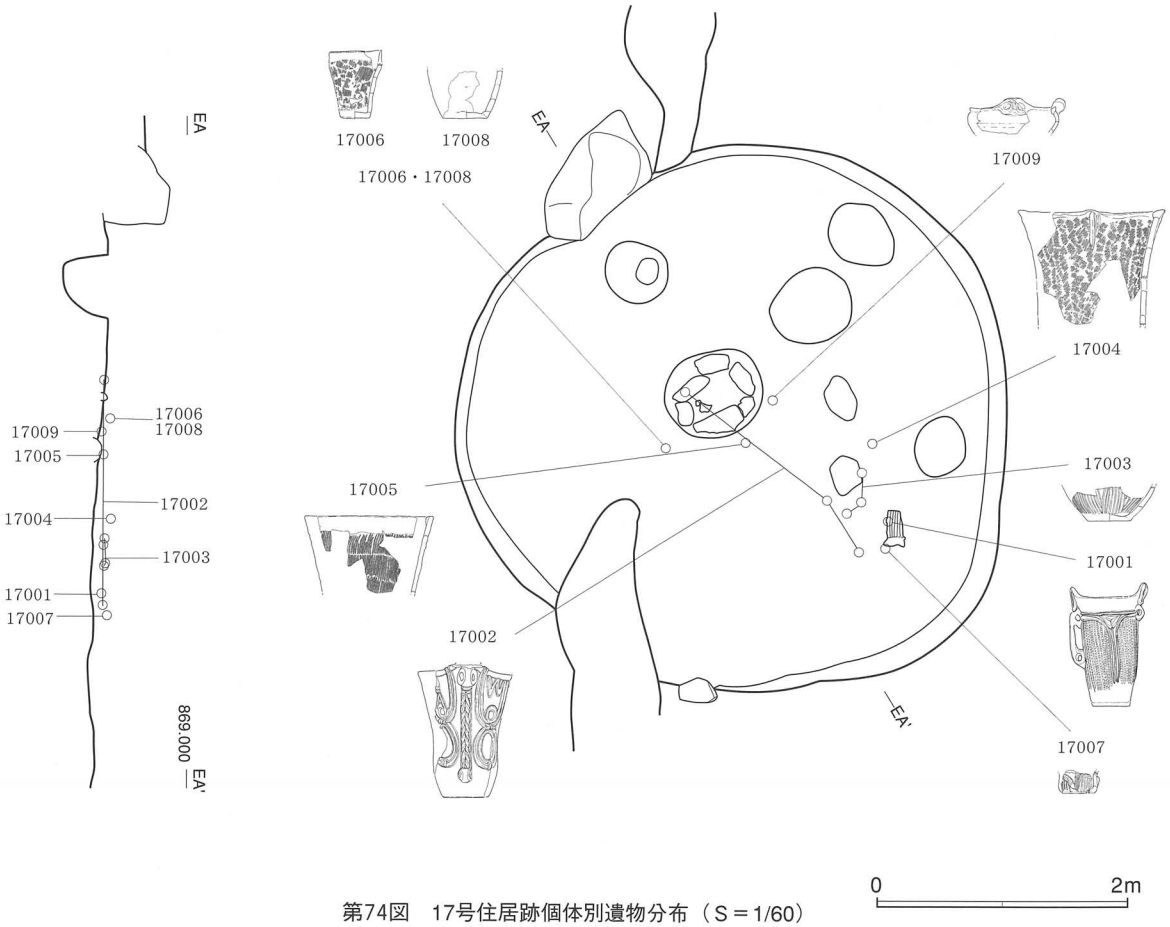


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、焼土少量含。ローム粒含

第72図　17号住居跡　炉跡（S＝1/30）

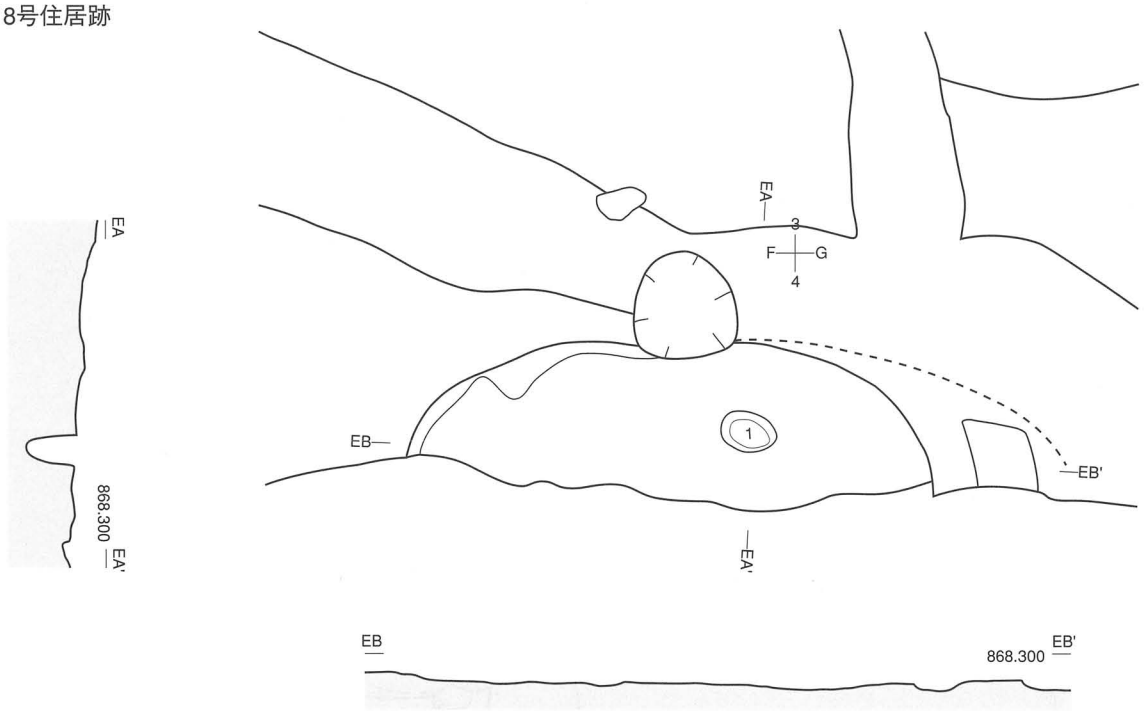


第73図　17号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



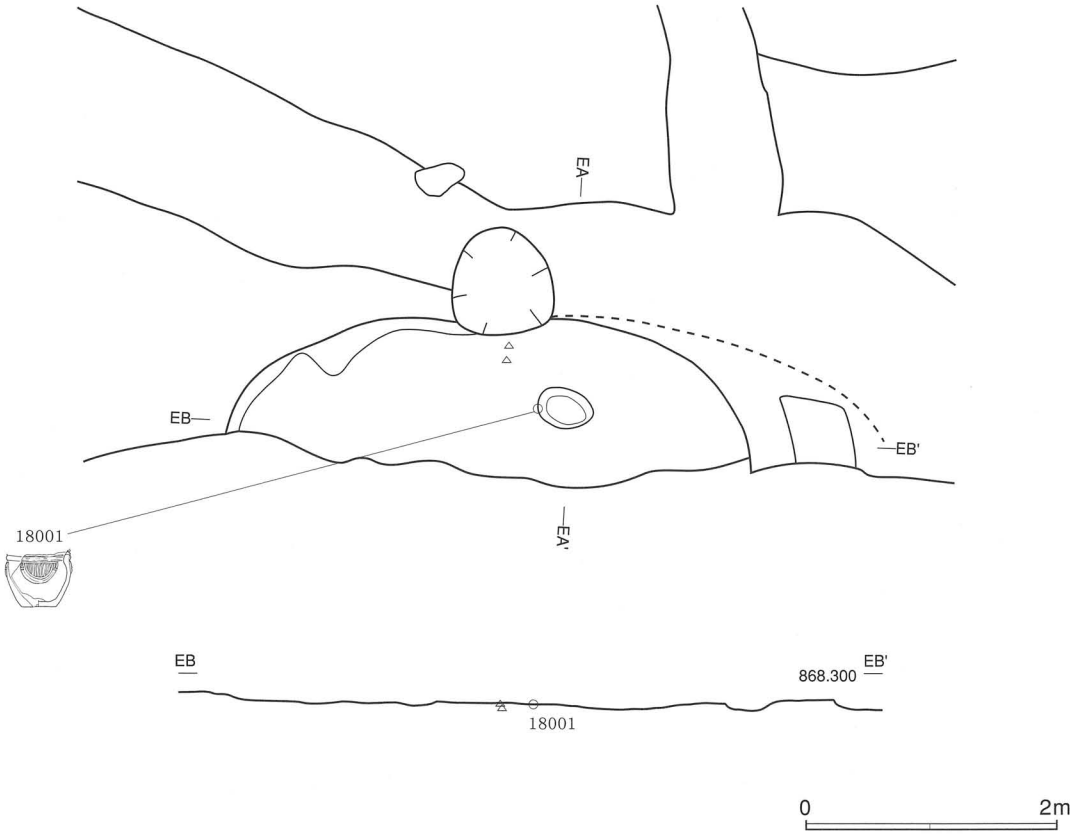
第74図　17号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）

18号住居跡



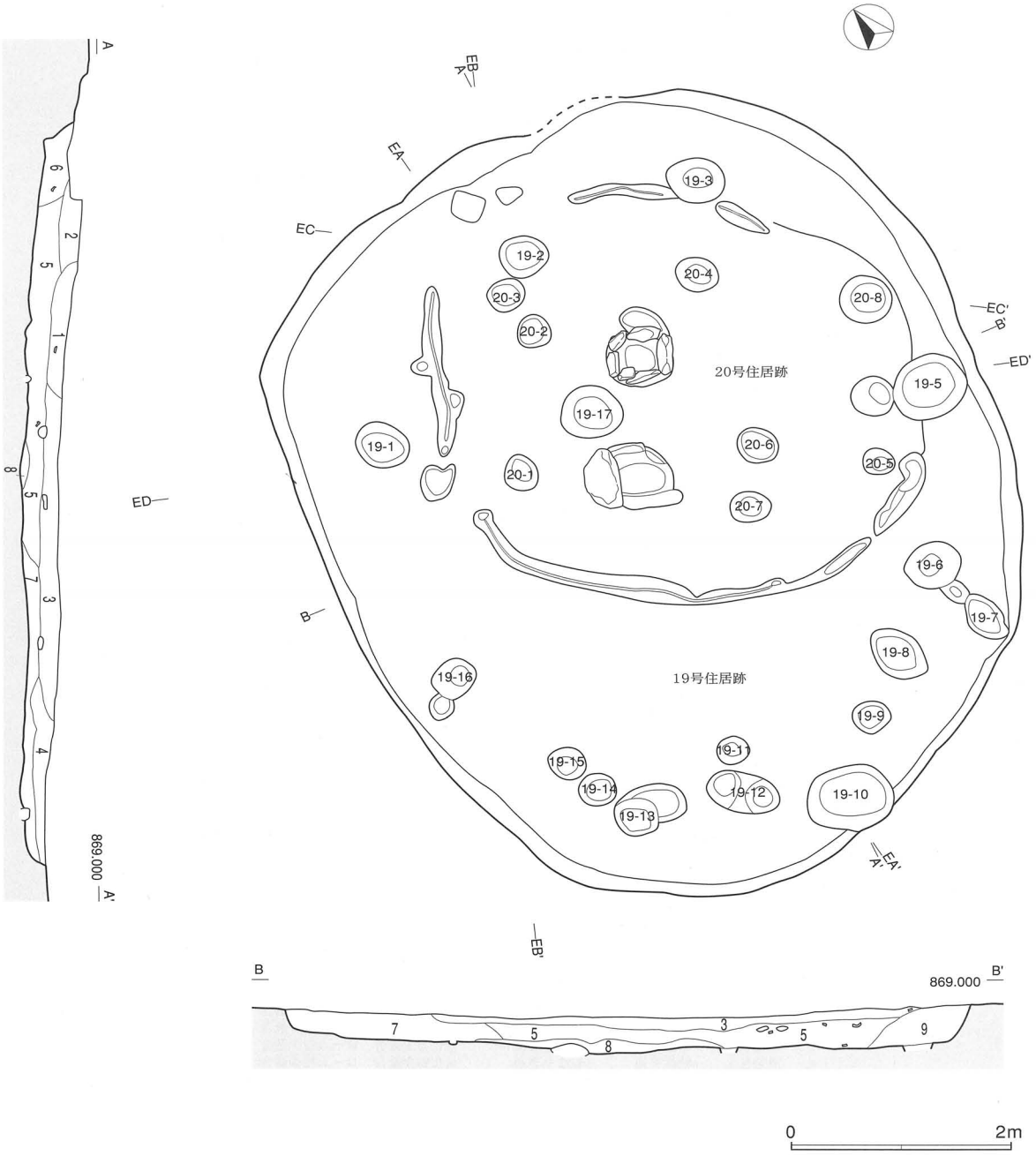
住居覆土	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物多量含、ローム粒含
ピット１	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、ローム粒少量含

第75図　18号住居跡（Ｓ＝1/60）

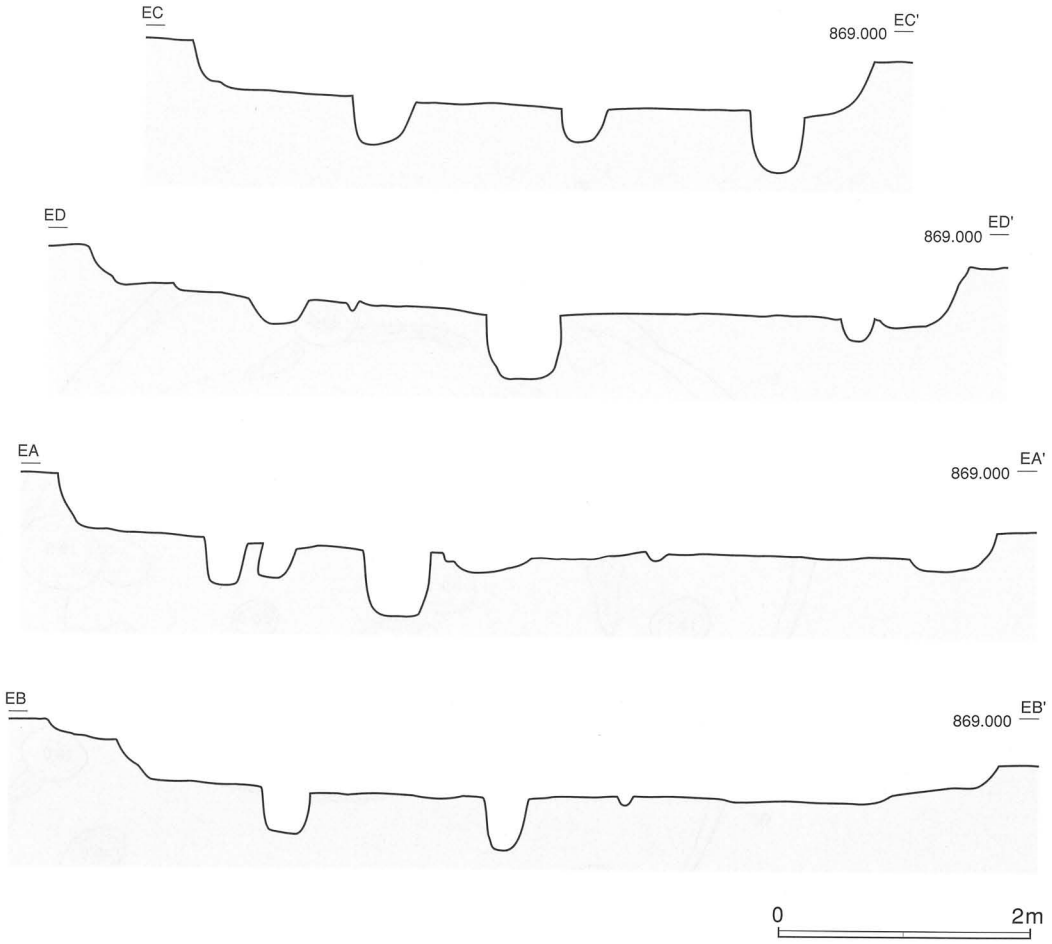


第76図　18号住居跡遺物出土状況・個体別分布（Ｓ＝1/60）

19・20号住居跡



第77図　19・20号住居跡（1）（S＝1/60）



19住

1層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、地山ブロック多量含
2層	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物含、ローム粒少量含
3層	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物多量含、ローム粒少量含
4層	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒多量含
5層	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや弱い	炭化物多量含、ローム粒少量含
6層	暗褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物含、ローム粒少量含
7層	暗褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒含
8層	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物多量含、焼土少量含
9層	暗褐色土	粘性やや強い	締まり普通	炭化物多量含、焼土少量含、ローム粒含

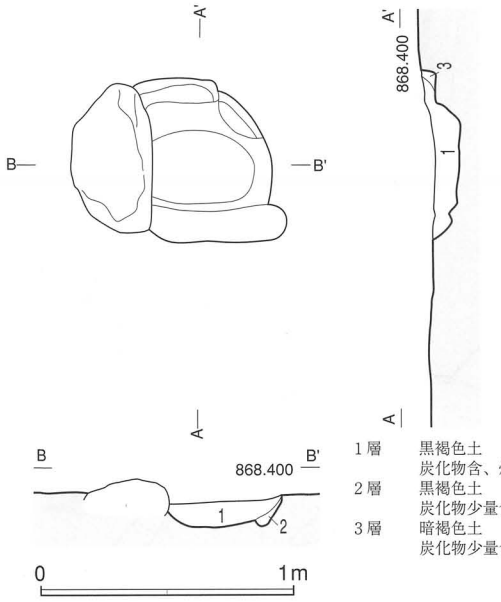
19住

ピット1	暗褐色土	粘性やや強い	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット2	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒微量含
ピット3	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット5	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット6	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット7	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット8	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒含
ピット9	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット10	暗褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット11	完掘済			
ピット12	暗褐色土	粘性普通	締まりやや強い	炭化物少量含、地山ブロック多量含
ピット13	暗褐色土	粘性普通	締まり強い	炭化物少量含、ローム粒含
ピット14	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、ローム粒少量含
ピット15	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、ローム粒少量含
ピット16	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物含、ローム粒含
ピット17	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物多量含、焼土微量含、ローム粒少量含

20住

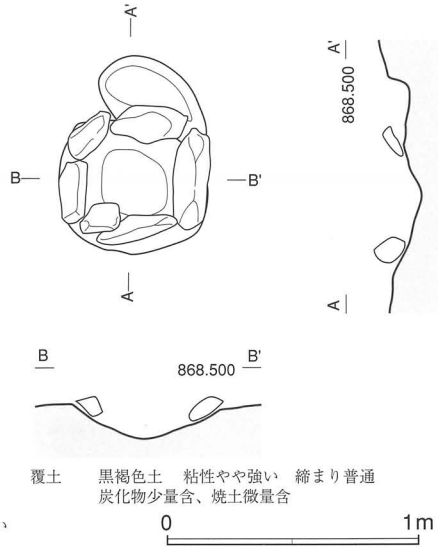
ピット1	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物含、ローム粒微量含
ピット2	黒褐色土	粘性普通	締まりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット3	黒褐色土	粘性やや強い	締まりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット4	暗褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット5	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット6	黒褐色土	粘性やや弱い	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット7	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット8	黒褐色土	粘性普通	締まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含

第78図　19・20号住居跡（2）（S＝1/60）



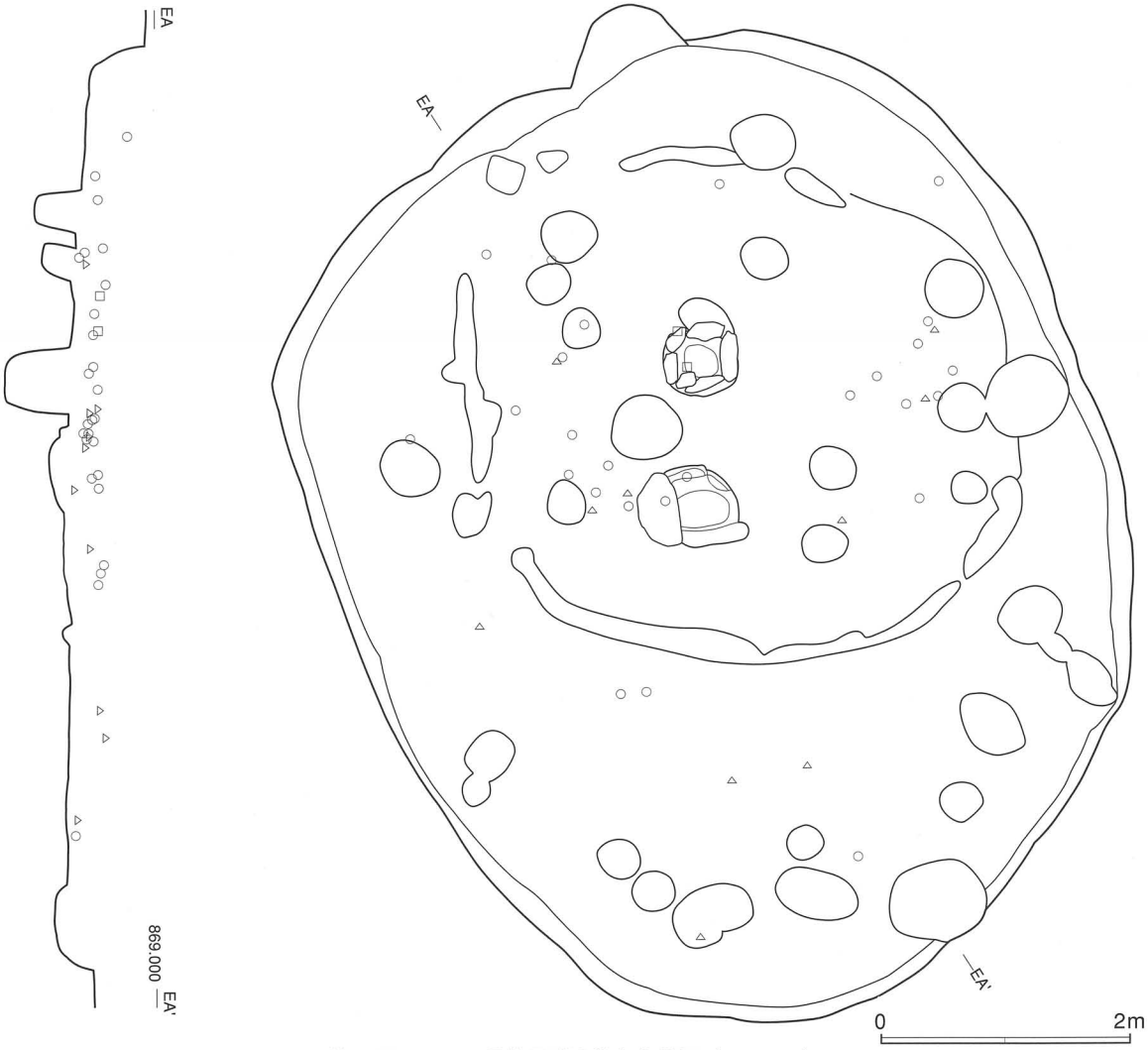
1層　黒褐色土　粘性やや強い　締まり強い
炭化物含、焼土含、ローム粒少量含
2層　黒褐色土　粘性やや強い　締まり強い
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒含
3層　暗褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒多量

第79図　19号住居跡　炉跡（S＝1/30）

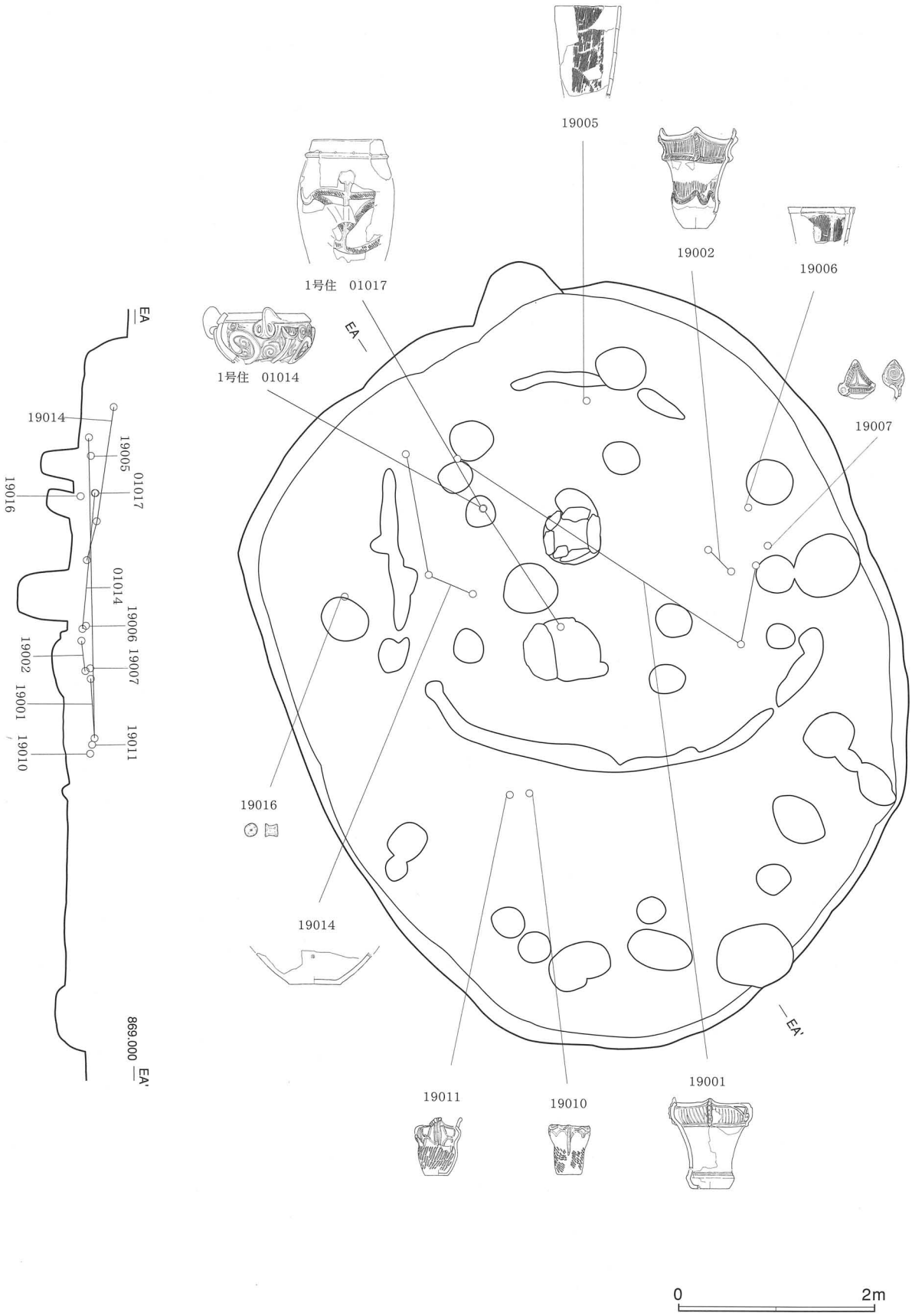


覆土　黒褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、焼土微量含

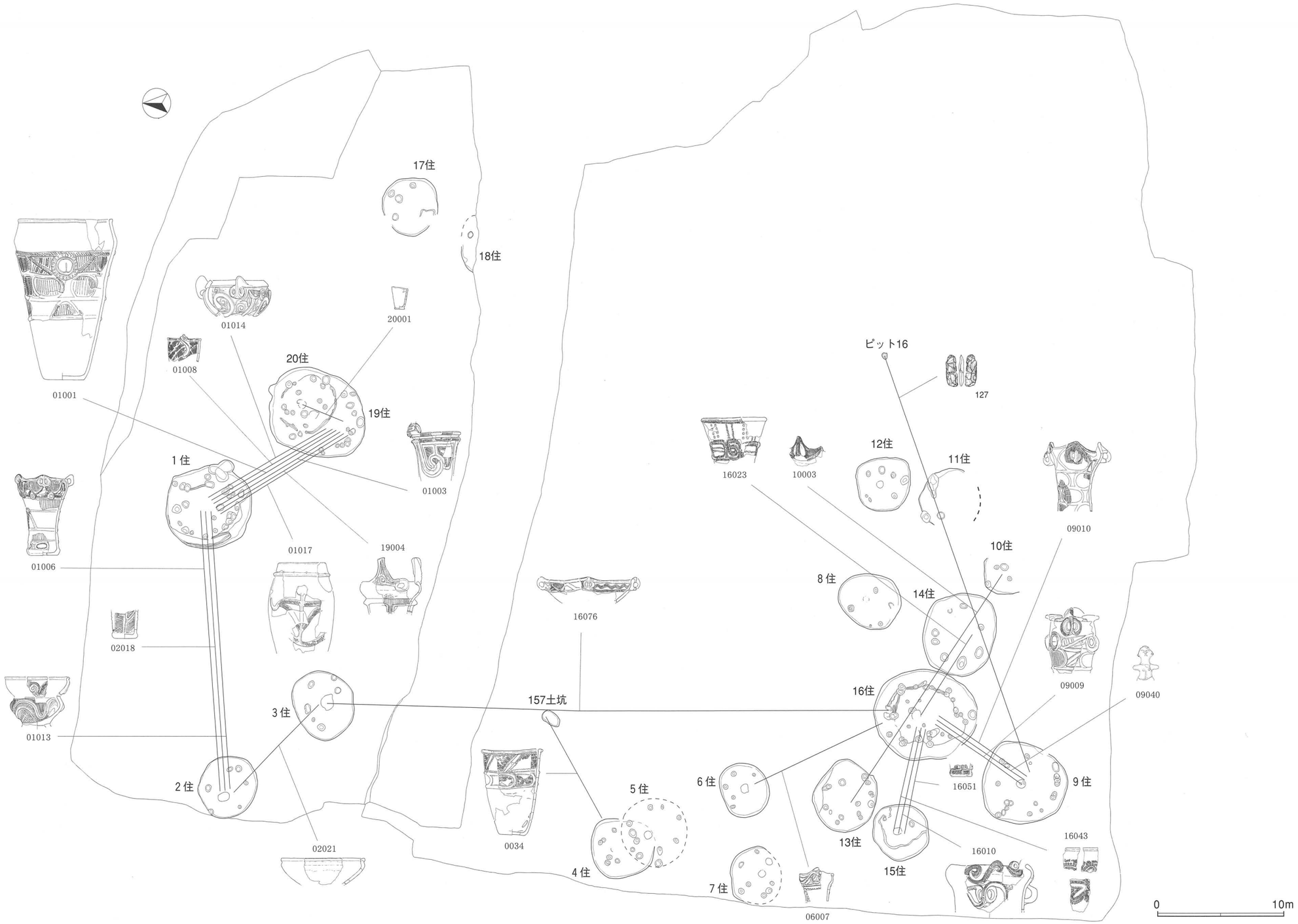
第80図　20号住居跡　炉跡（S＝1/30）



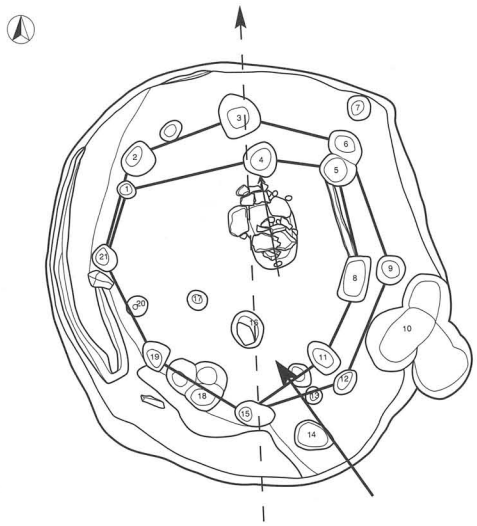
第81図　19・20号住居跡遺物出土状況（S＝1/60）



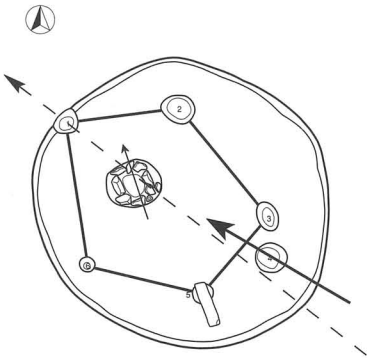
第82図　19・20号住居跡個体別遺物分布（S＝1/60）



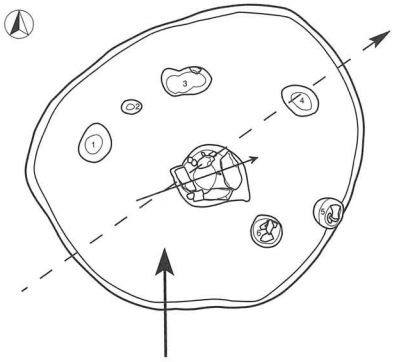
第83図　出土遺物遺構間接合図（S＝1/300）



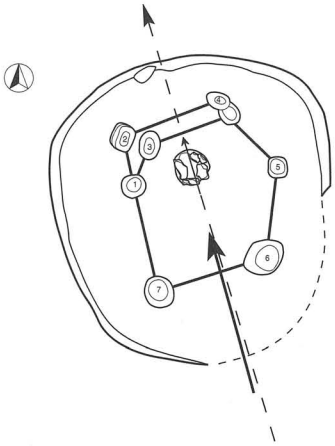
1 号住居跡



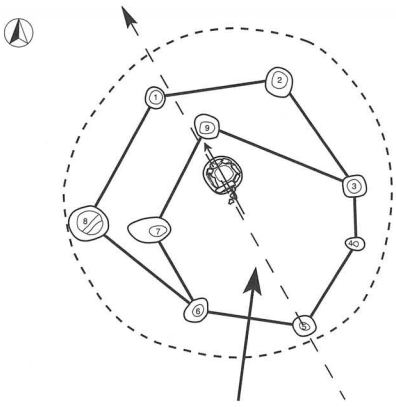
2 号住居跡



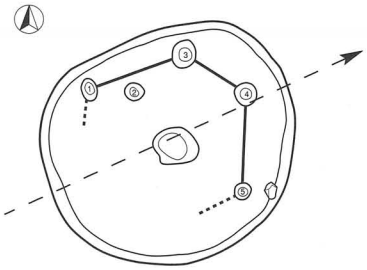
3 号住居跡



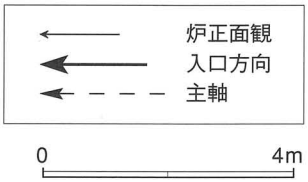
4 号住居跡



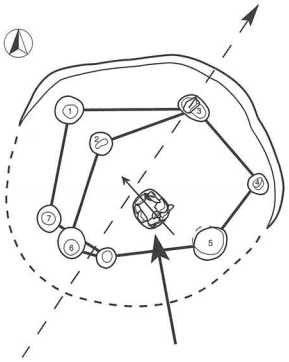
5 号住居跡



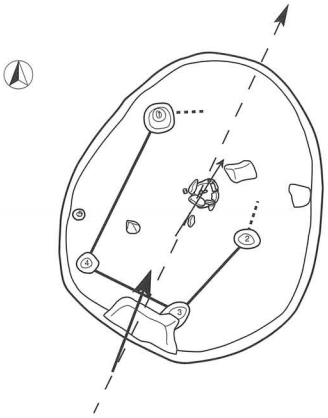
6 号住居跡



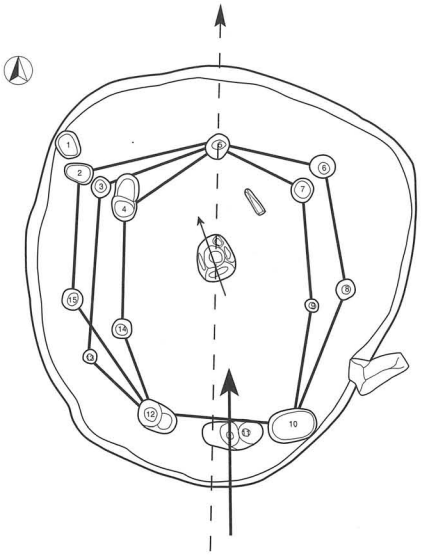
第84図　住居構造概念図（S＝1/120）



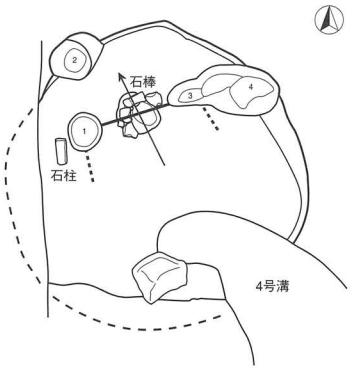
7 号住居跡



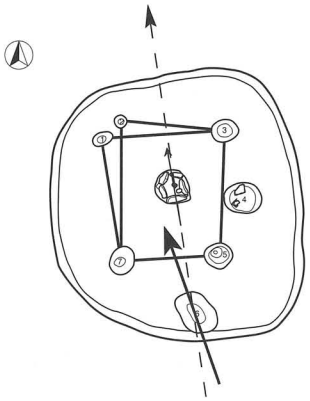
8 号住居跡



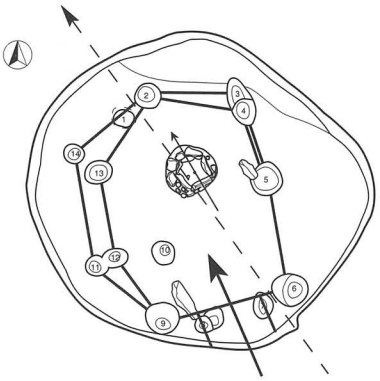
9 号住居跡



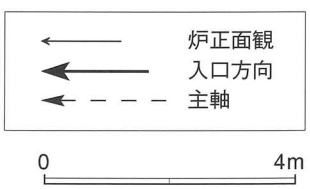
11号住居跡



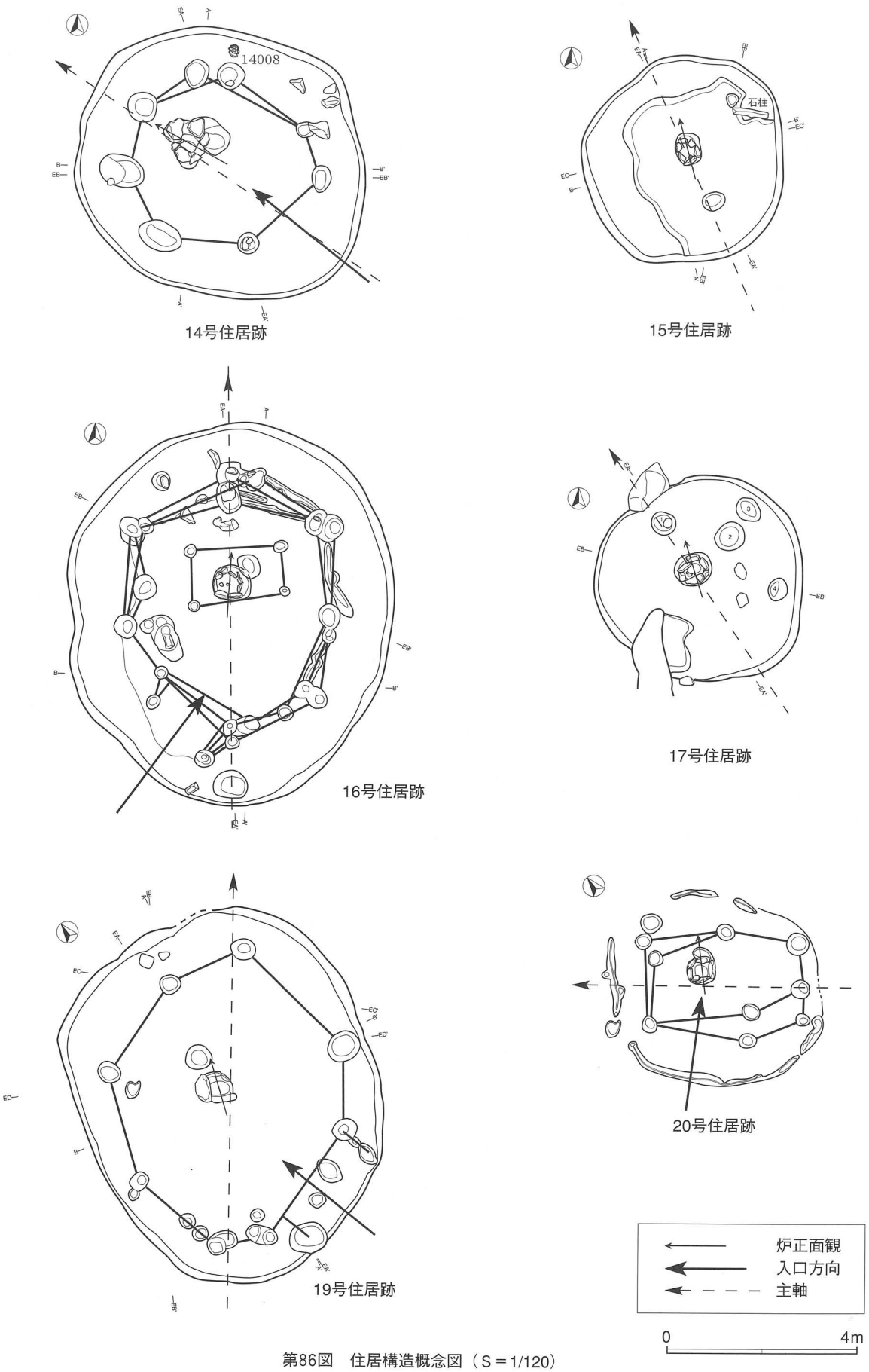
12号住居跡



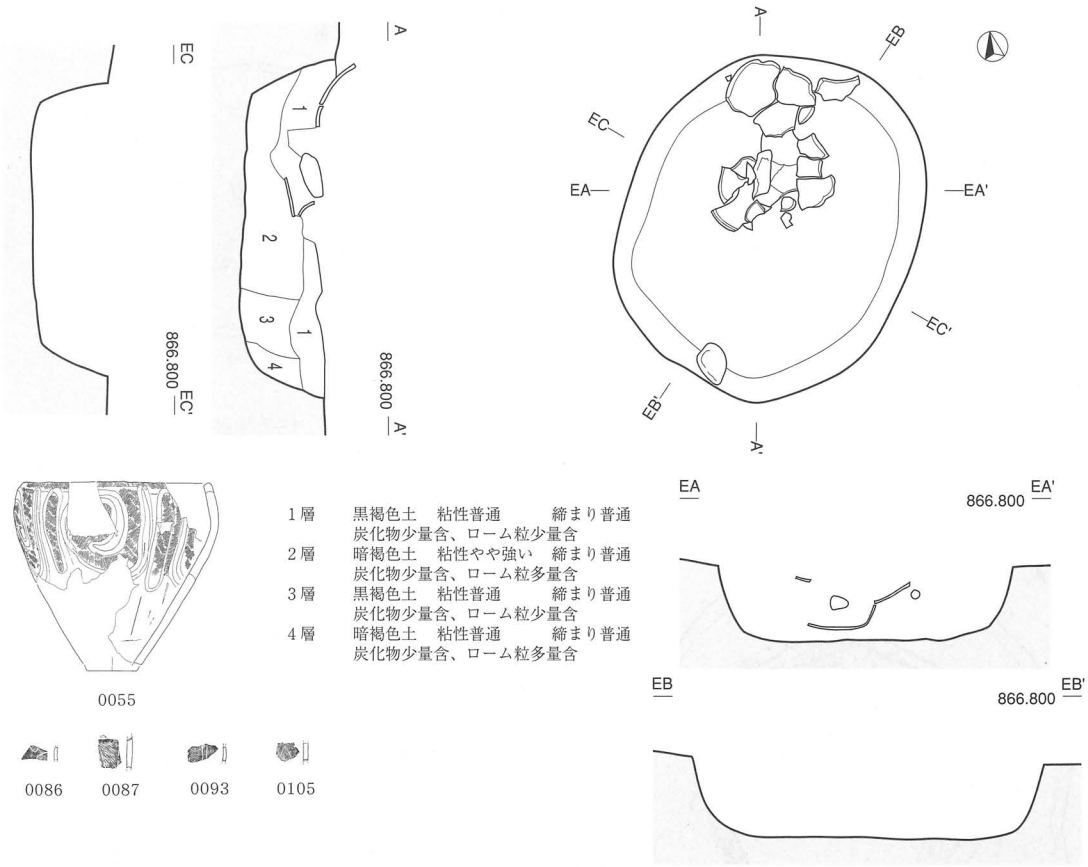
13号住居跡



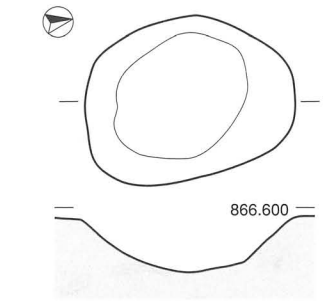
第85図　住居構造概念図（S＝1/120）



第86図　住居構造概念図（S＝1/120）

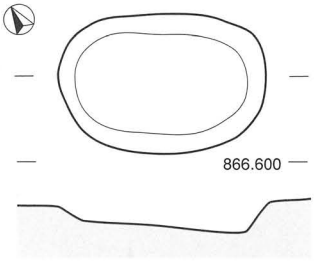


1号土坑



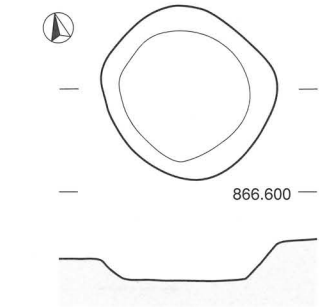
覆土　黒褐色土　粘性普通　締まりやや弱い
炭化物少量含、ローム粒含　撹乱か

2号土坑



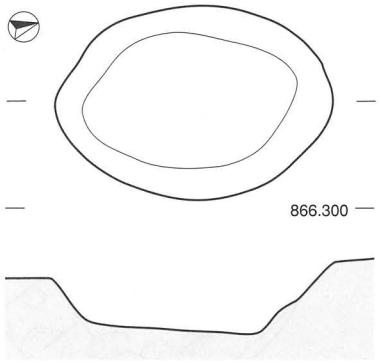
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
ローム粒含　撹乱か

3号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
ローム粒含　撹乱か

4号土坑

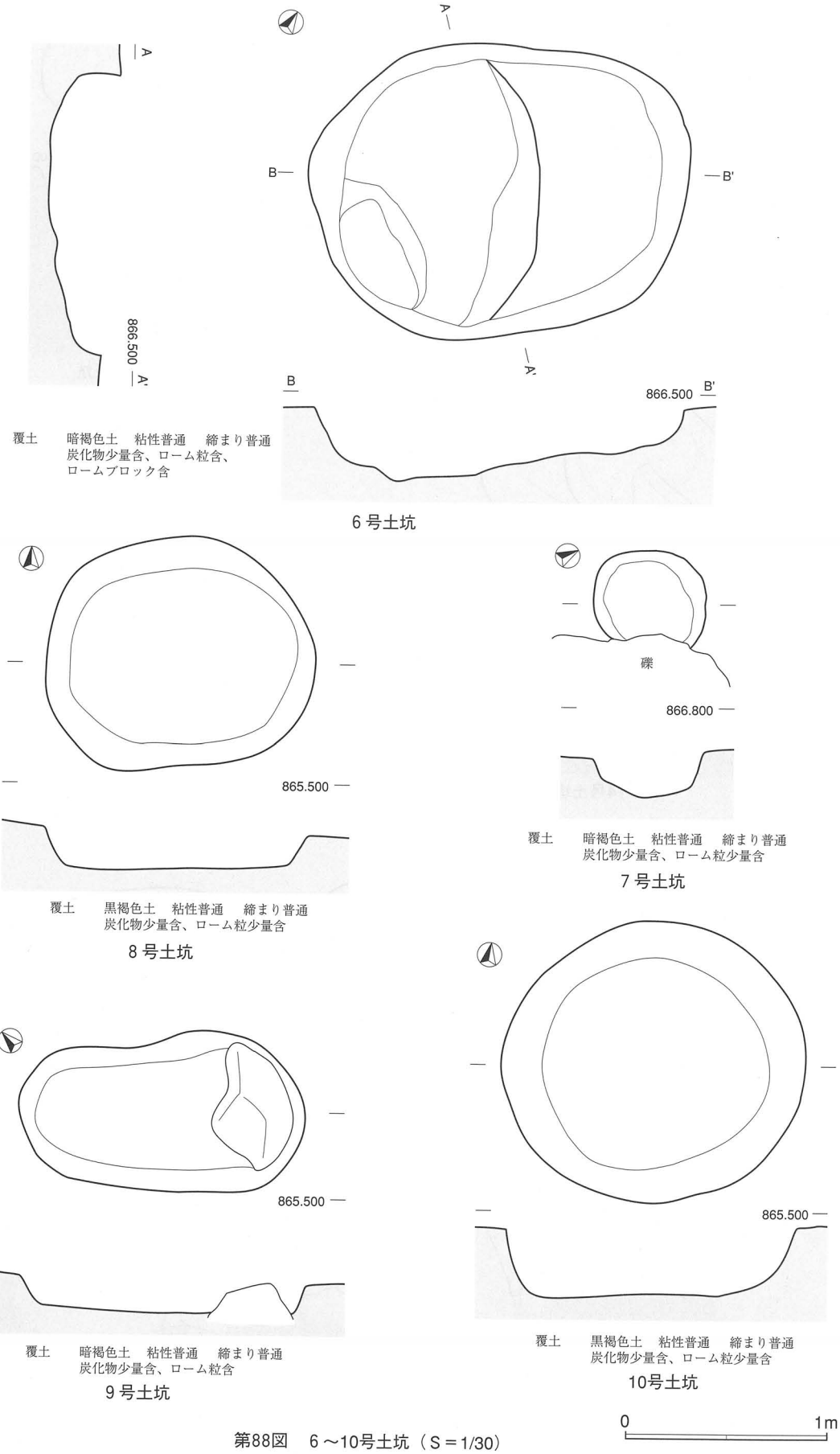


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含　撹乱か

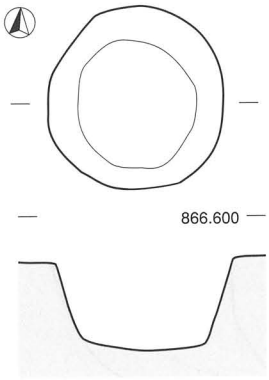
5号土坑

0　1m

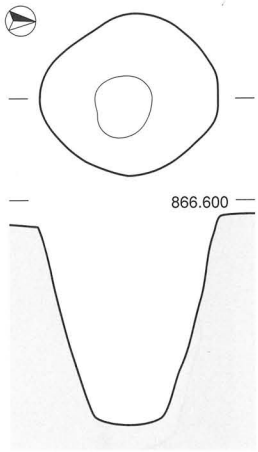
第87図　1～5号土坑（S＝1/30）



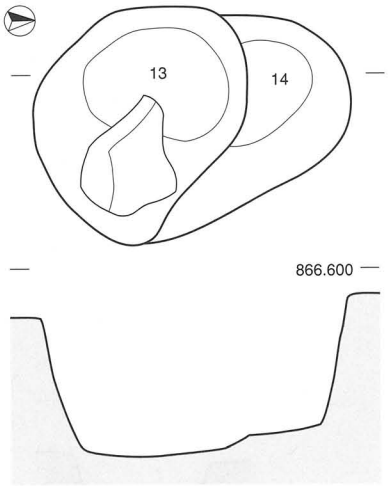
第88図　6～10号土坑（S＝1/30）



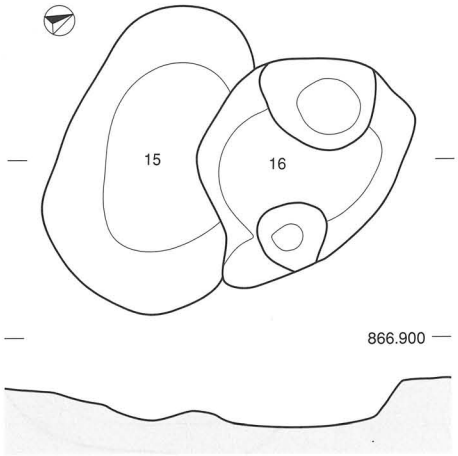
11号土坑



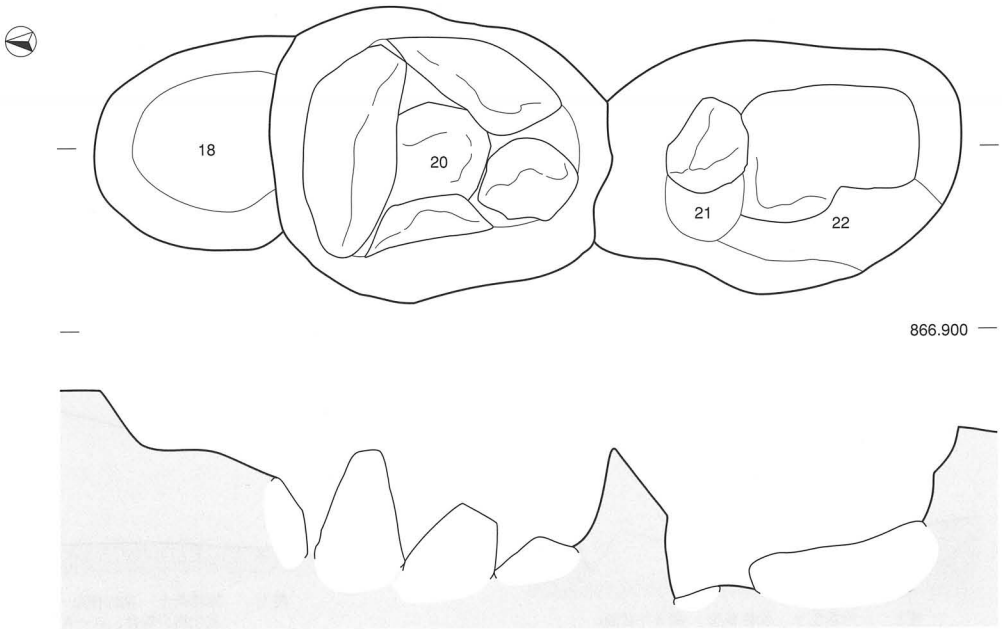
12号土坑



13・14号土坑



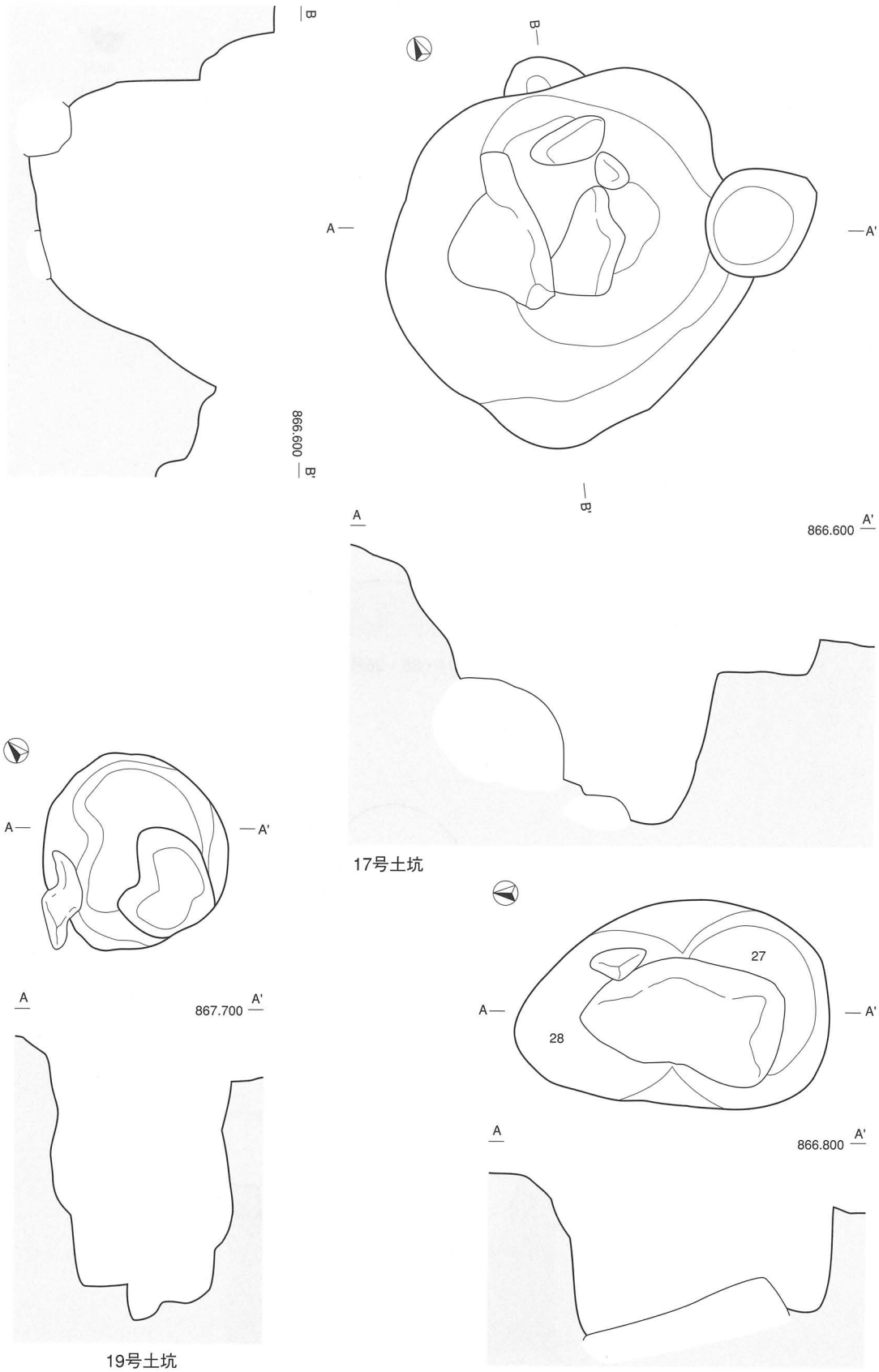
15・16号土坑



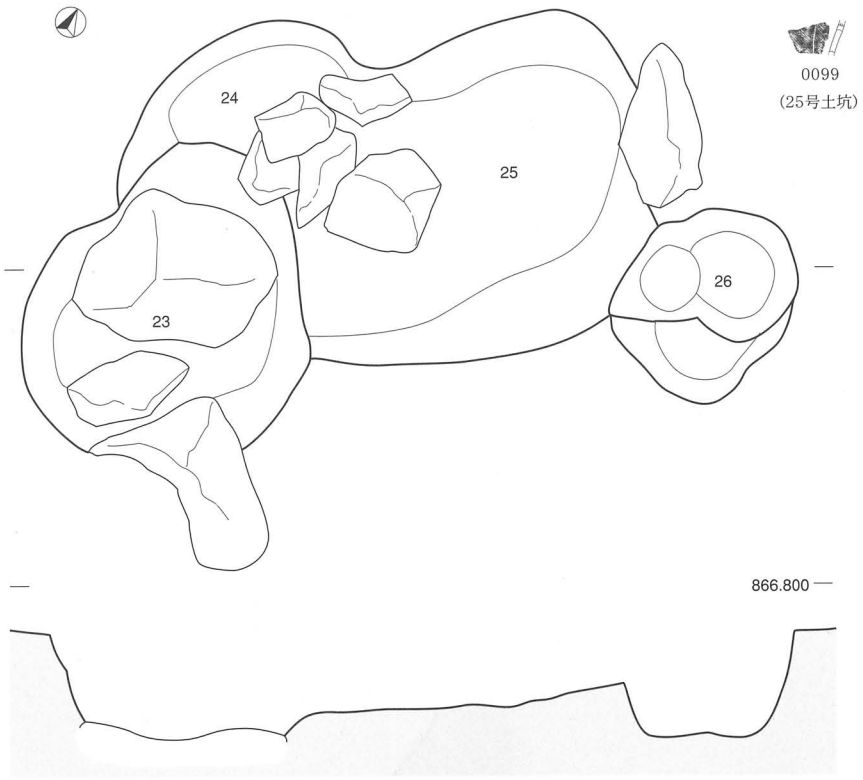
18・20・21・22号土坑

第89図　11～16・18・20～22号土坑（S＝1/30）

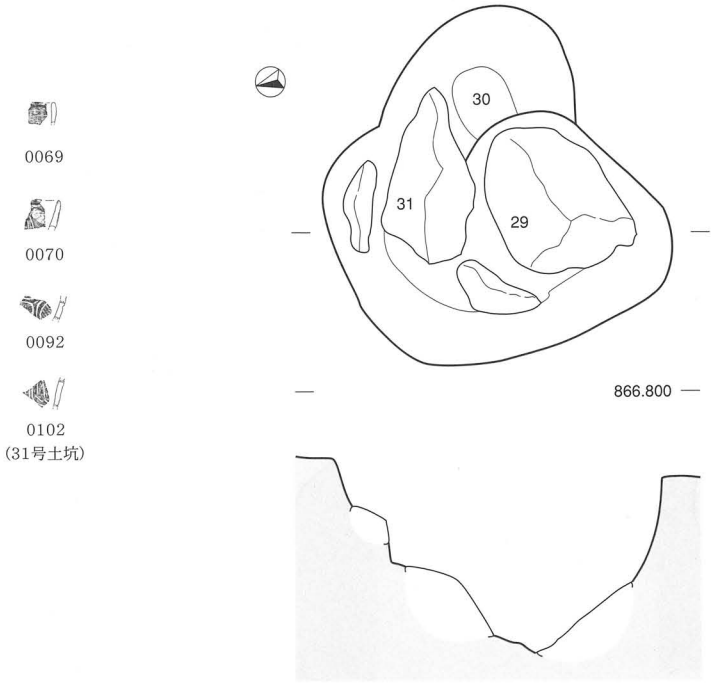
0　1m



第90図　17・19・27・28号土坑（S＝1/30）



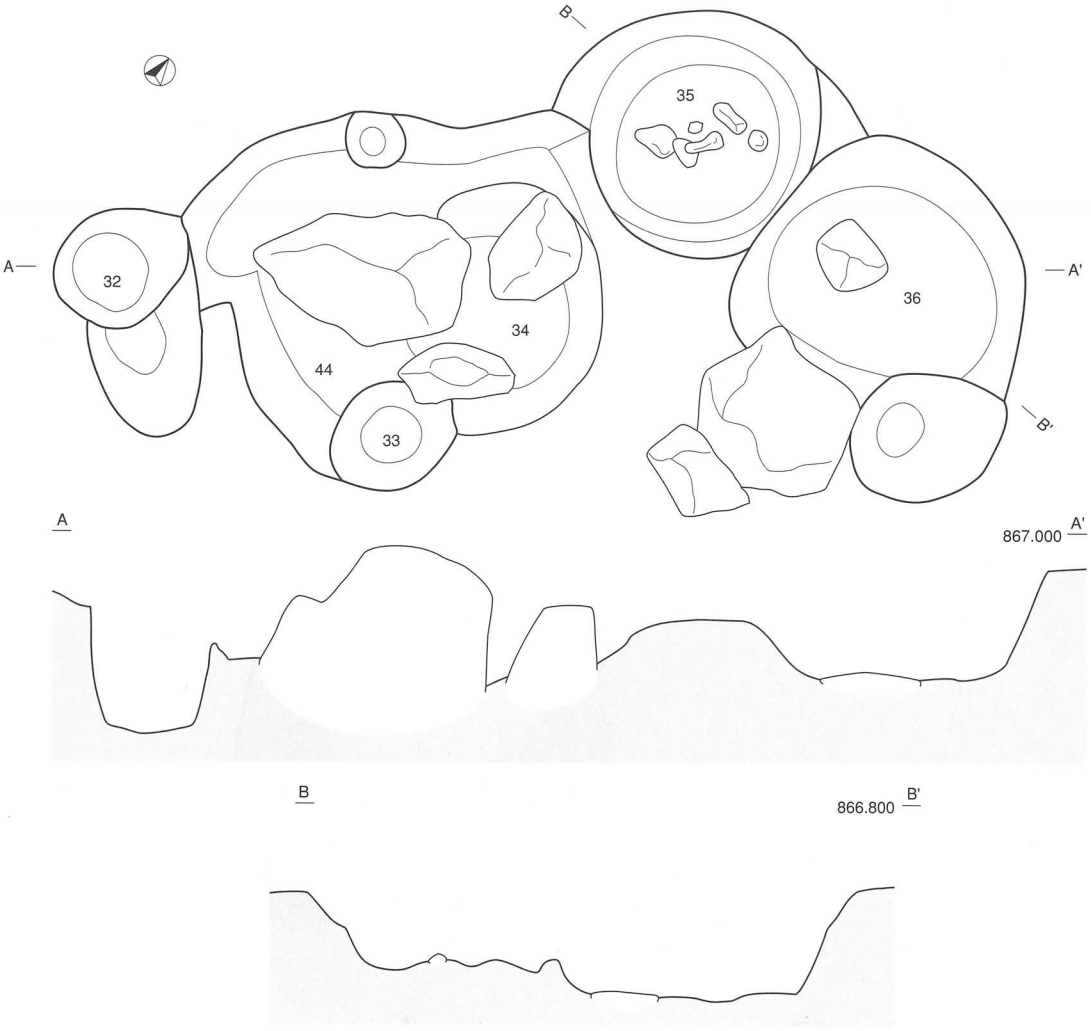
23・24・25・26号土坑



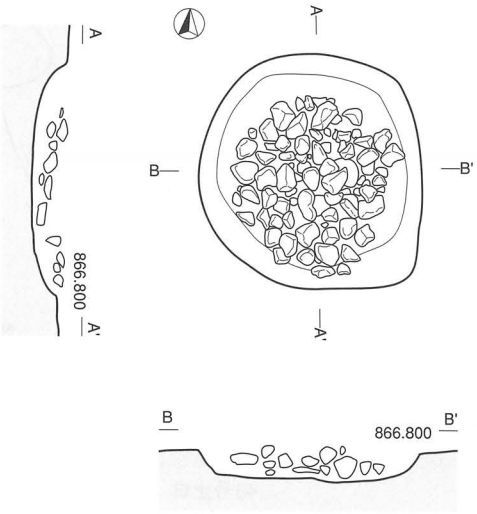
29・30・31号土坑

第91図　23～26・29～31号土坑（S＝1/30）

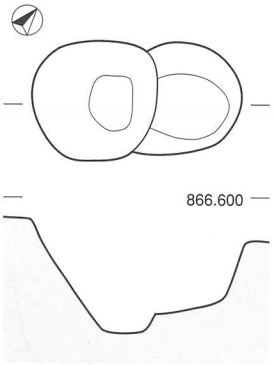
0　1m



32・33・34・35・36・44号土坑



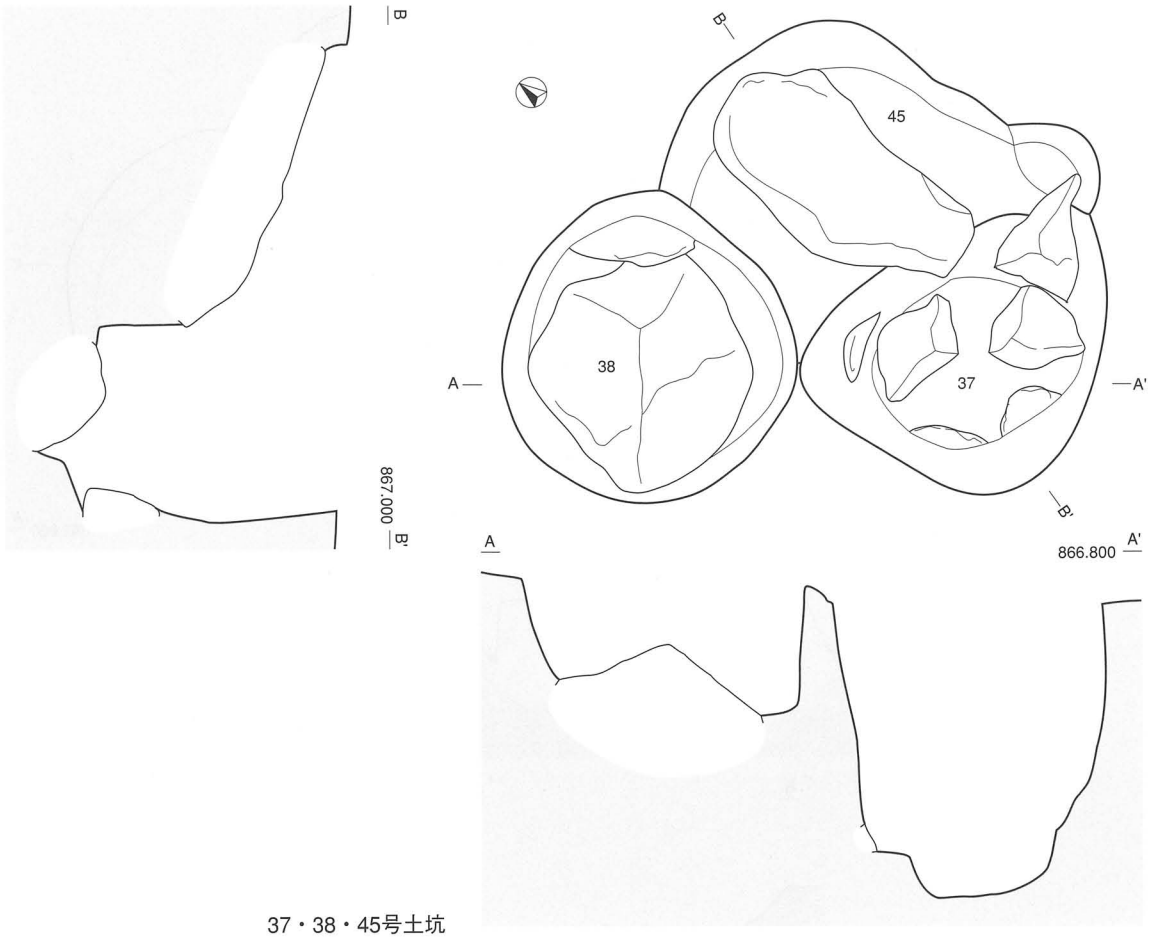
39号土坑



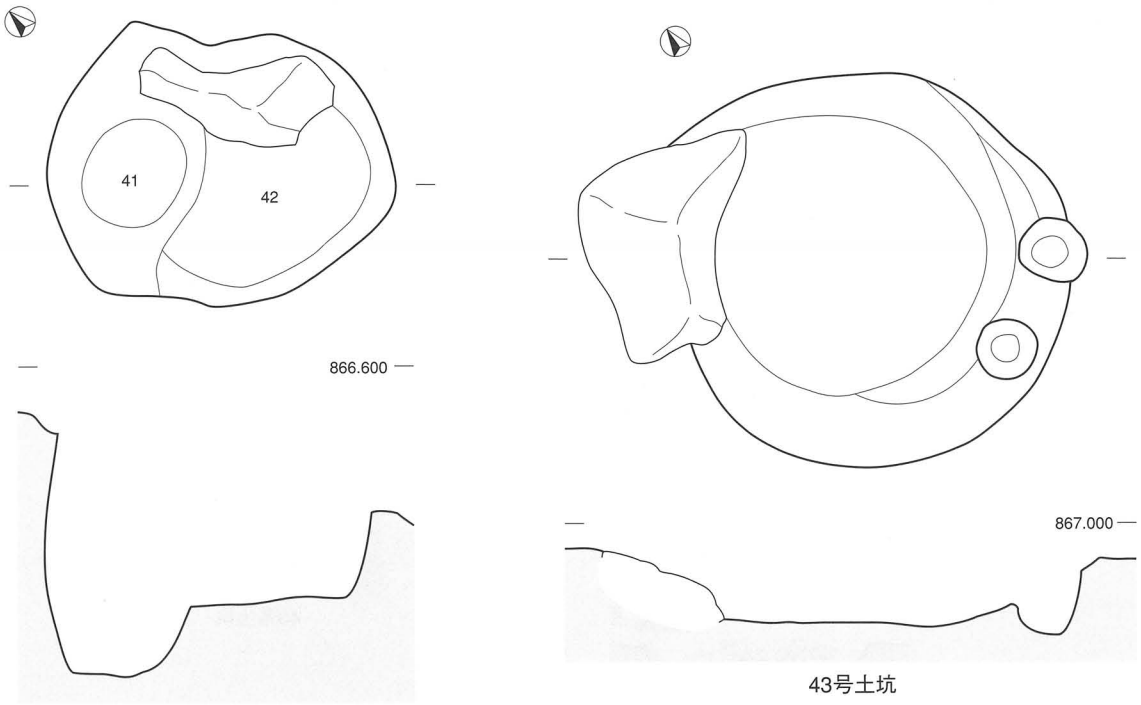
40号土坑

0　1m

第92図　32～36・39・40・44号土坑（S＝1/30）



37・38・45号土坑

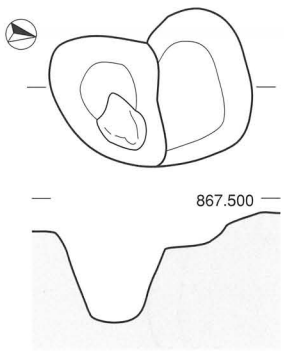


41・42号土坑

43号土坑

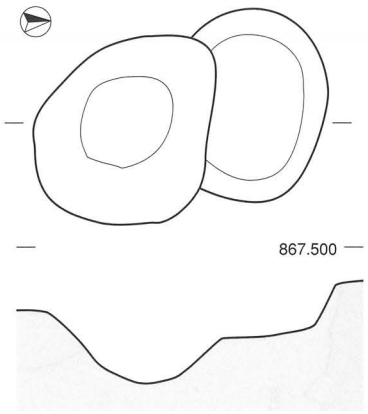
0　1m

第93図　37・38・41～43・45号土坑（S＝1/30）



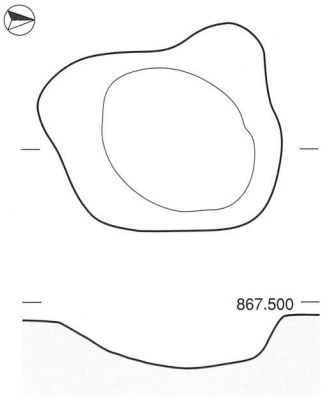
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

46号土坑



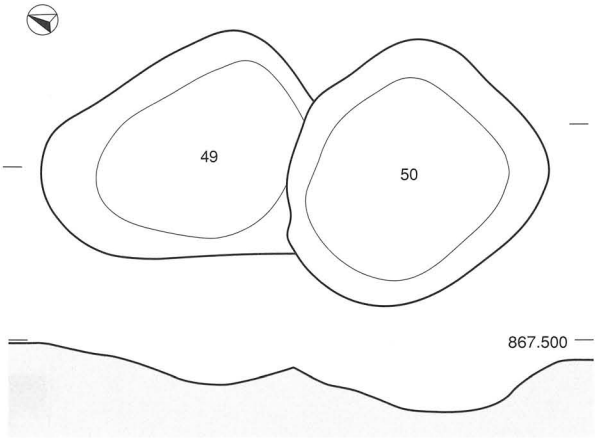
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

47号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

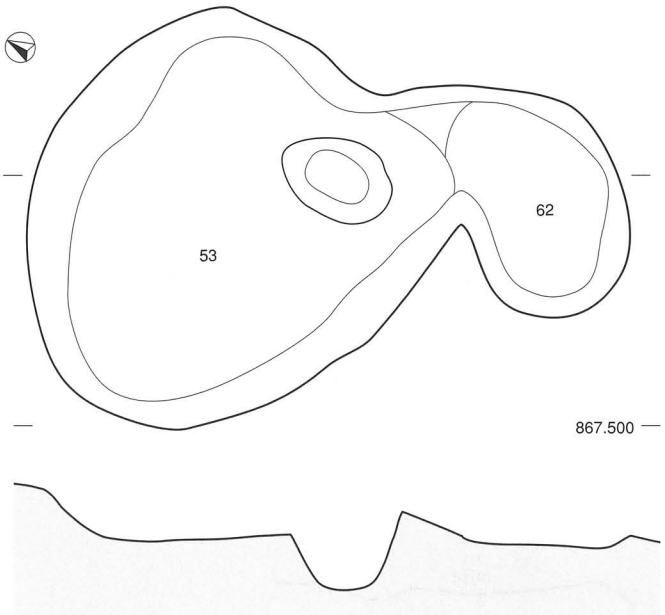
48号土坑



49号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

50号土坑　覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

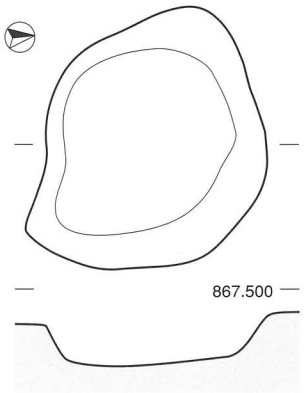
49・50号土坑



53号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

62号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

53・62号土坑

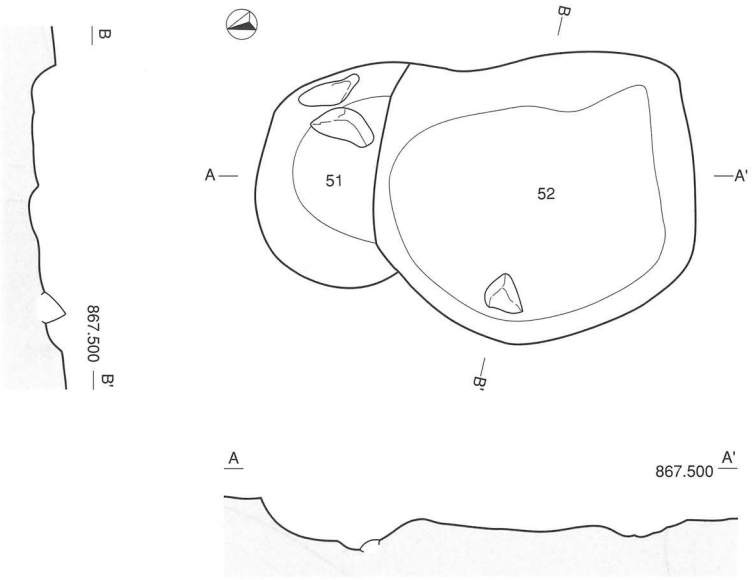


覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

54号土坑

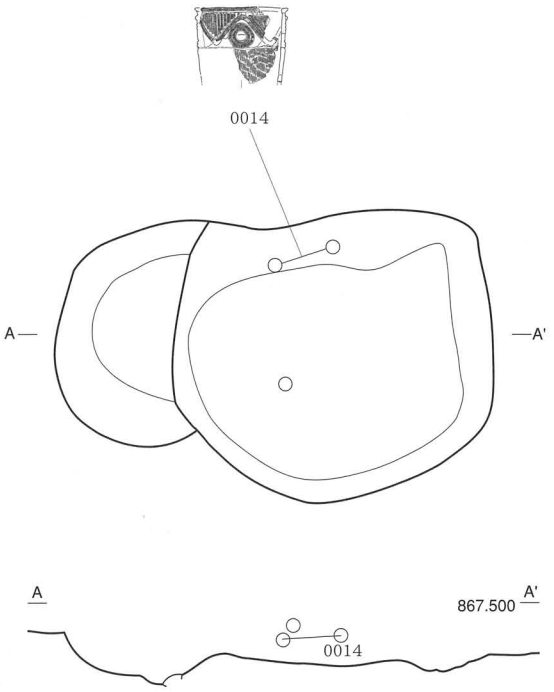
第94図　46～50・53・54・62号土坑（S＝1/30）

0　1m



51号土坑	覆土	暗褐色土 炭化物少量含、ローム粒含	粘性普通	締まり普通
52号土坑	覆土	暗褐色土 炭化物少量含、ローム粒少量含	粘性普通	締まり普通

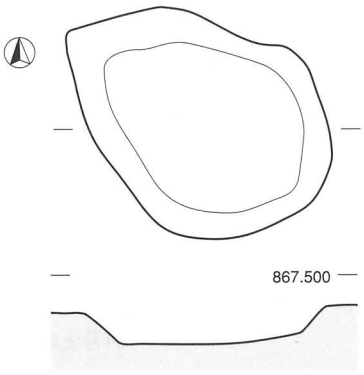
51・52号土坑



51・52号土坑出土遺物分布

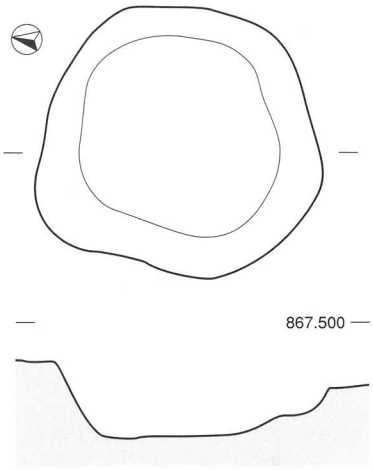
第95図　51・52号土坑（S＝1/30）

0　1m



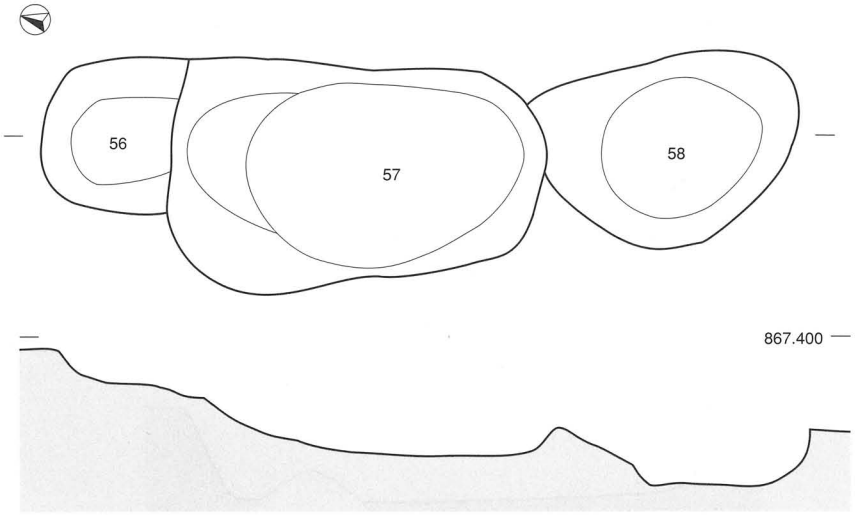
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

55号土坑



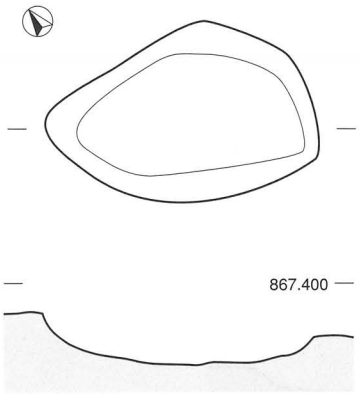
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

59号土坑



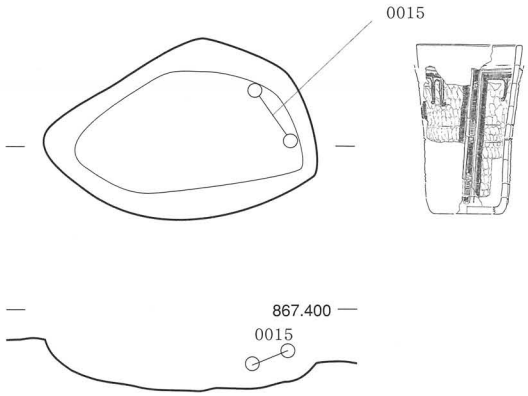
56号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒含
57号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒含
58号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒含

56・57・58号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含、小児頭大礫含

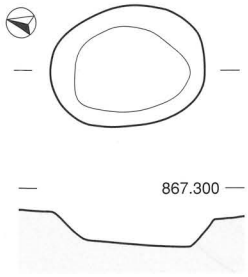
60号土坑



60号土坑遺物出土状況

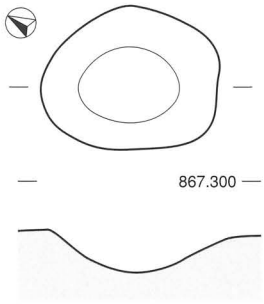
0　1m

第96図　55～60号土坑（S＝1/30）



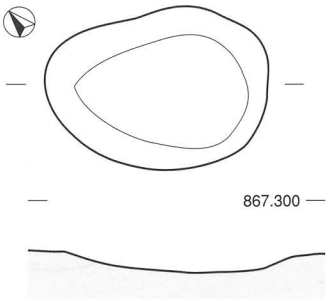
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

61号土坑



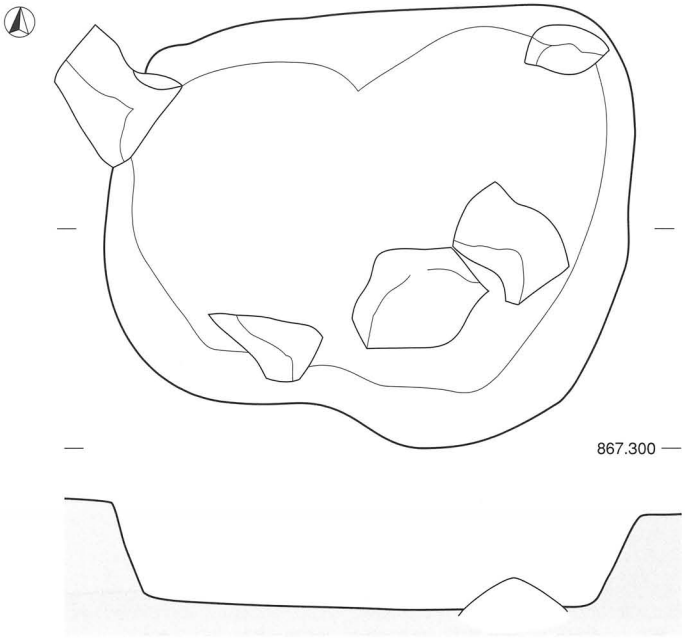
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

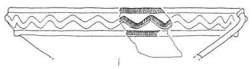
63号土坑



覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物少量含

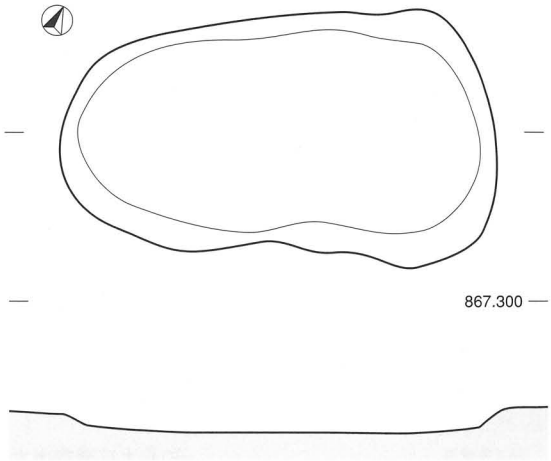
64号土坑





0016

65号土坑

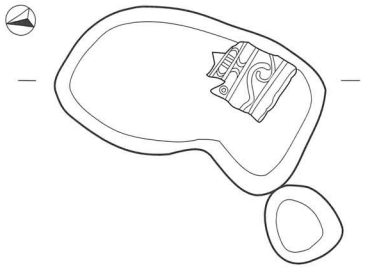


0017

覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物少量含

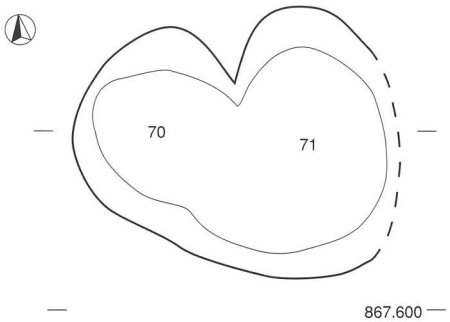
66号土坑

第97図　61・63～66号土坑（S＝1/30）



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒含

67号土坑

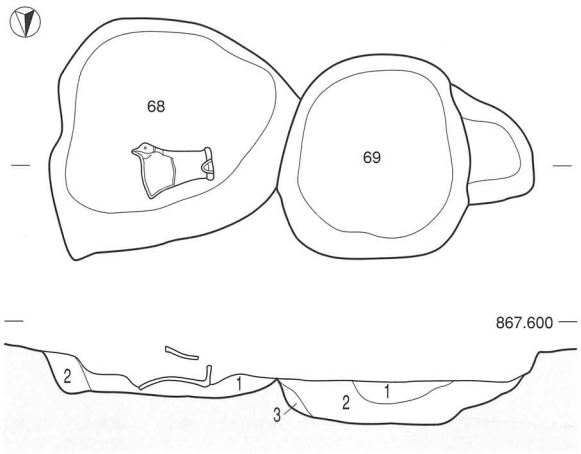


70号土坑
覆土　黒褐色土　粘性やや弱い　締まりやや弱い
炭化物少量含、ロームブロック含

71号土坑
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

70・71号土坑

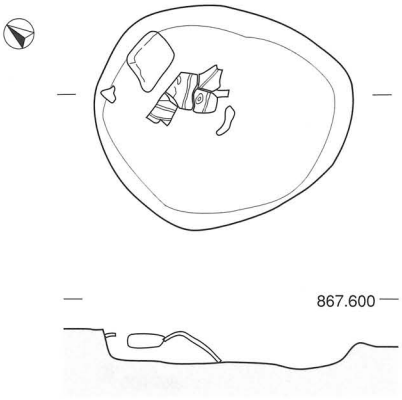
0019



68号土坑
1層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
2層　暗黄褐色土 粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒多量含

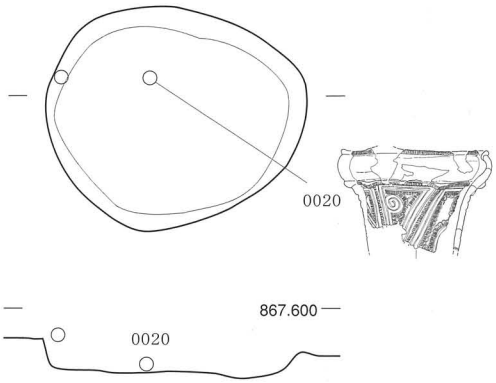
69号土坑
1層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
2層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ロームブロック含、
ローム粒少量含
3層　暗褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒含

68・69号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

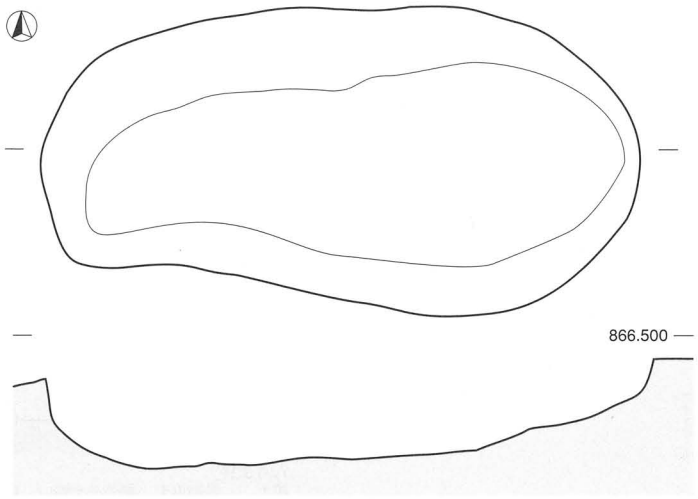
72号土坑



72号土坑遺物出土状況

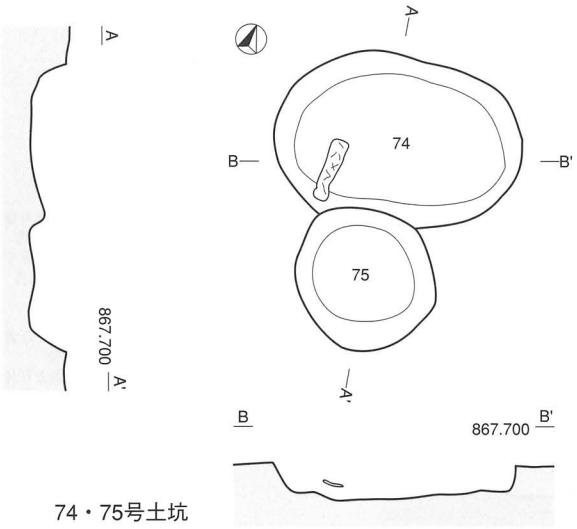
第98図　67～72号土坑（S＝1/30）

0　1m



覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

73号土坑



74号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒多量含

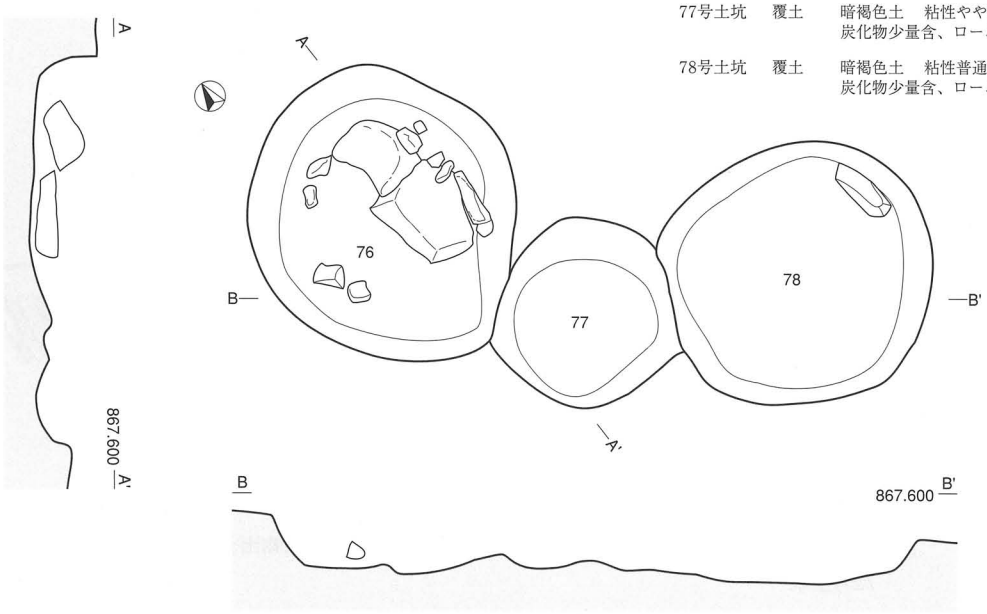
75号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒多量含

74・75号土坑

76号土坑　覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物含、ローム粒少量含

77号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

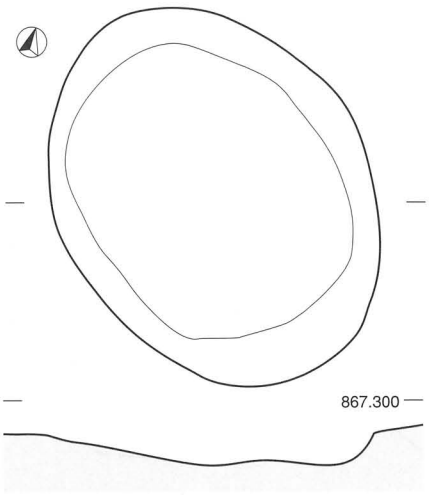
78号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒少量含



76・77・78号土坑

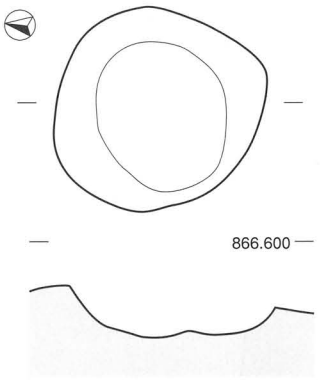
第99図　73～78号土坑（S＝1/30）

0　1m



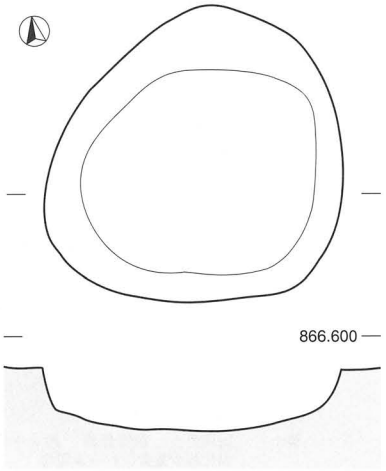
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

79号土坑



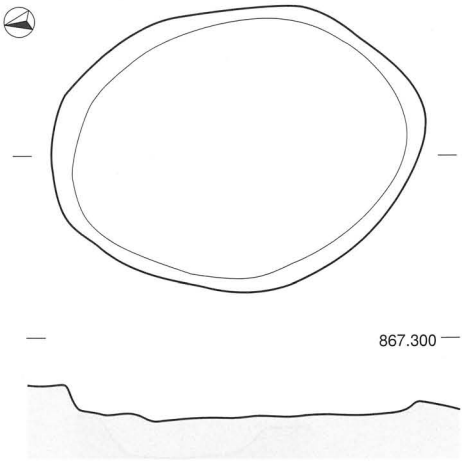
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

80号土坑



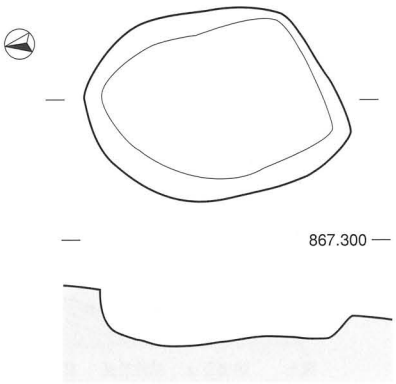
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

81号土坑



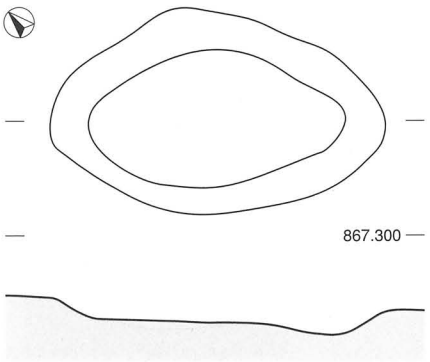
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

82号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

83号土坑

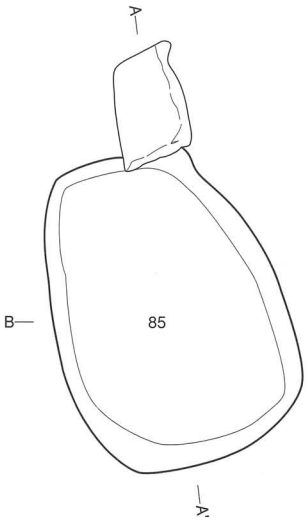


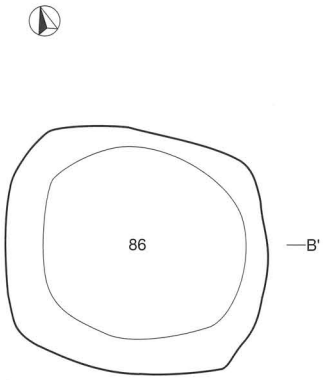
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

84号土坑

第100図　79～84号土坑（S＝1/30）

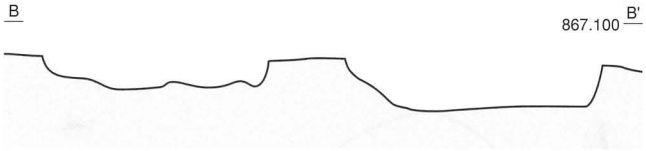
0　1m



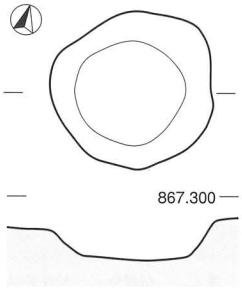


85号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通
締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

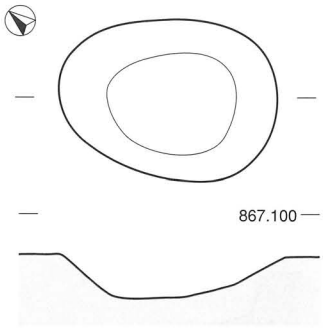
86号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや弱い
締まりやや弱い
炭化物少量含、ローム粒含



85・86号土坑

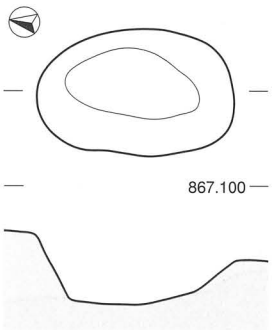


87号土坑



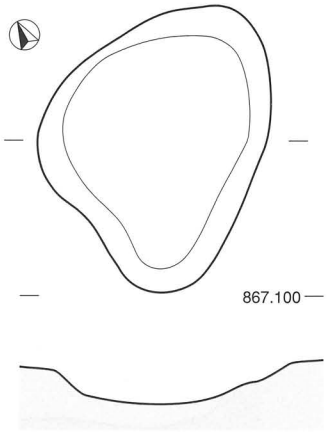
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

88号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

89号土坑

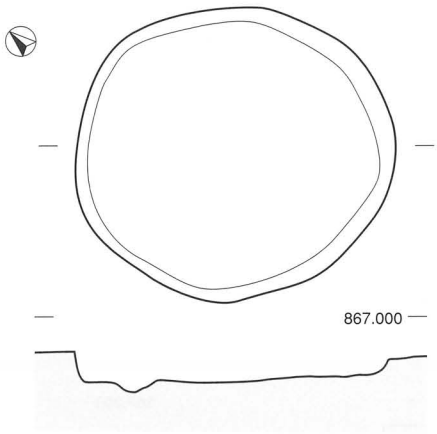


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

90号土坑

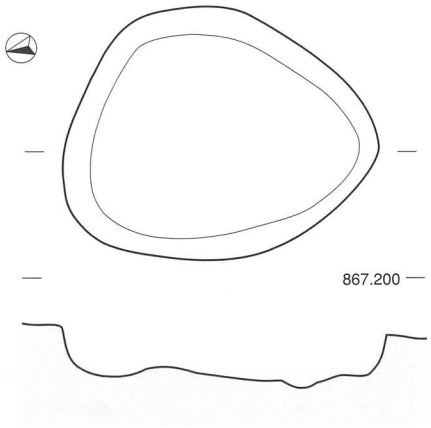
第101図　85～90号土坑（S＝1/30）

0　1m



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

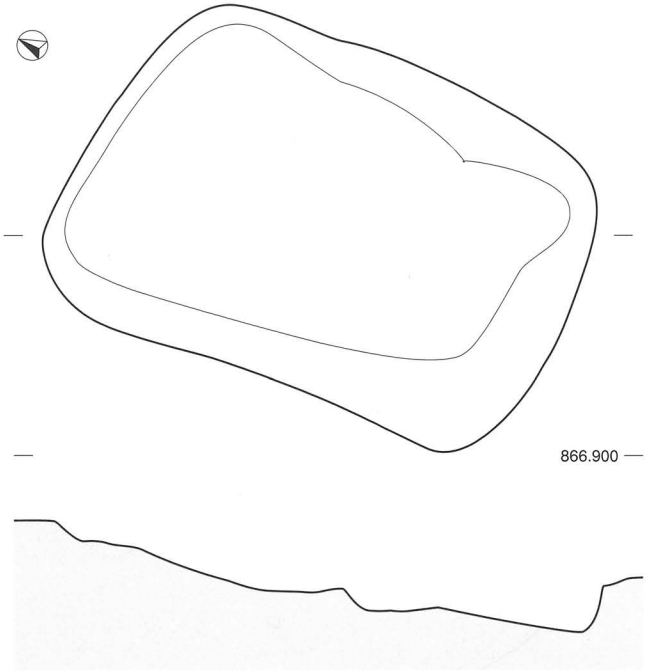
91号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

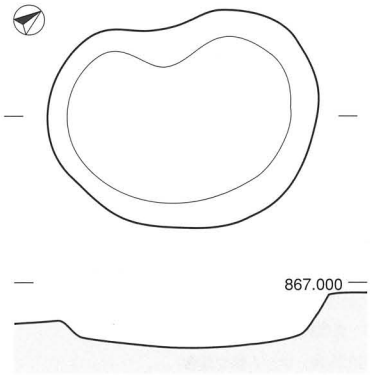
94号土坑

0021



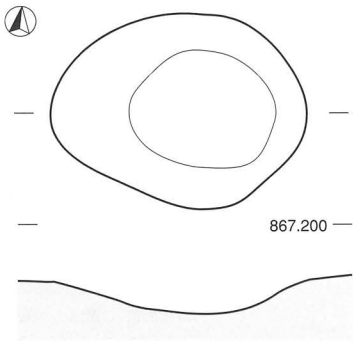
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含

92号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

93号土坑

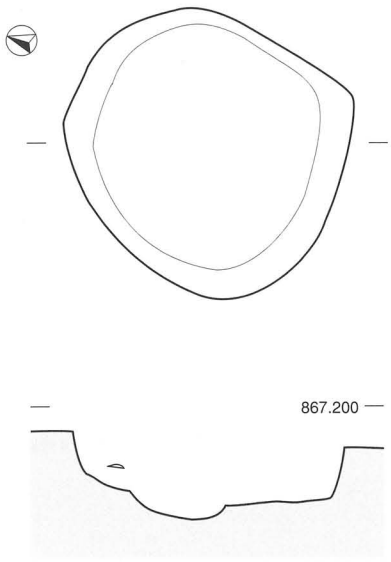


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含

95号土坑

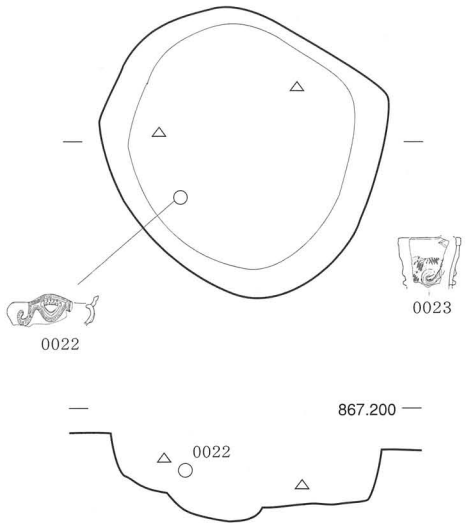
第102図　91～95号土坑（S＝1/30）

0　1m

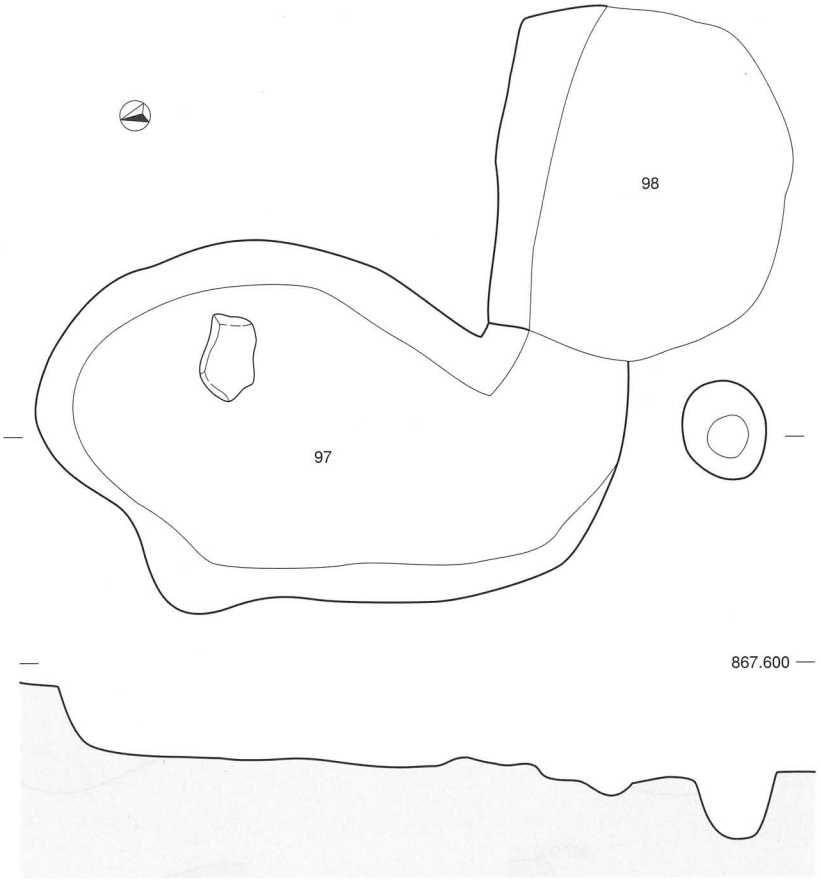


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

96号土坑



96号土坑遺物出土状況

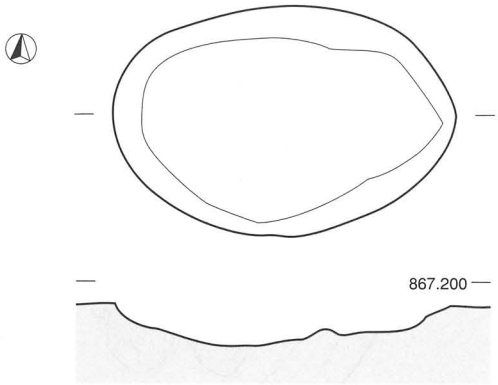


97号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒多量含
98号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物含、ローム粒少量含

97・98号土坑

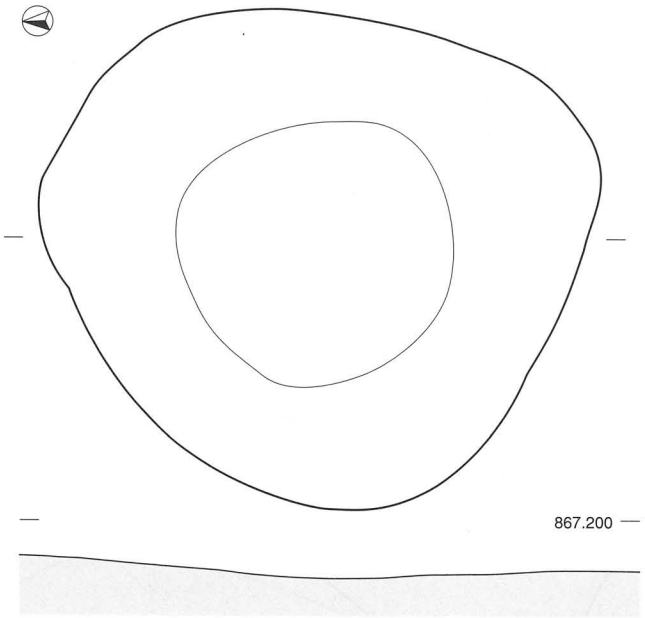
0　1m

第103図　96～98号土坑（S＝1/30）



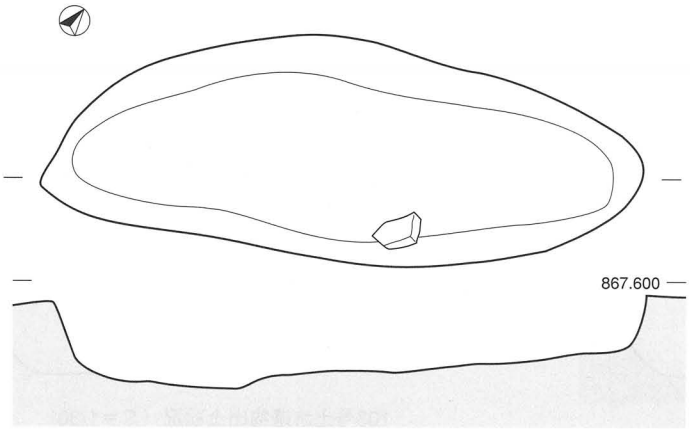
覆土　暗褐色土　粘性やや弱い　締まりやや弱い
炭化物少量含、ロームブロック含

99号土坑



覆土　黒褐色土　粘性やや弱い　締まりやや弱い
炭化物少量含

100号土坑

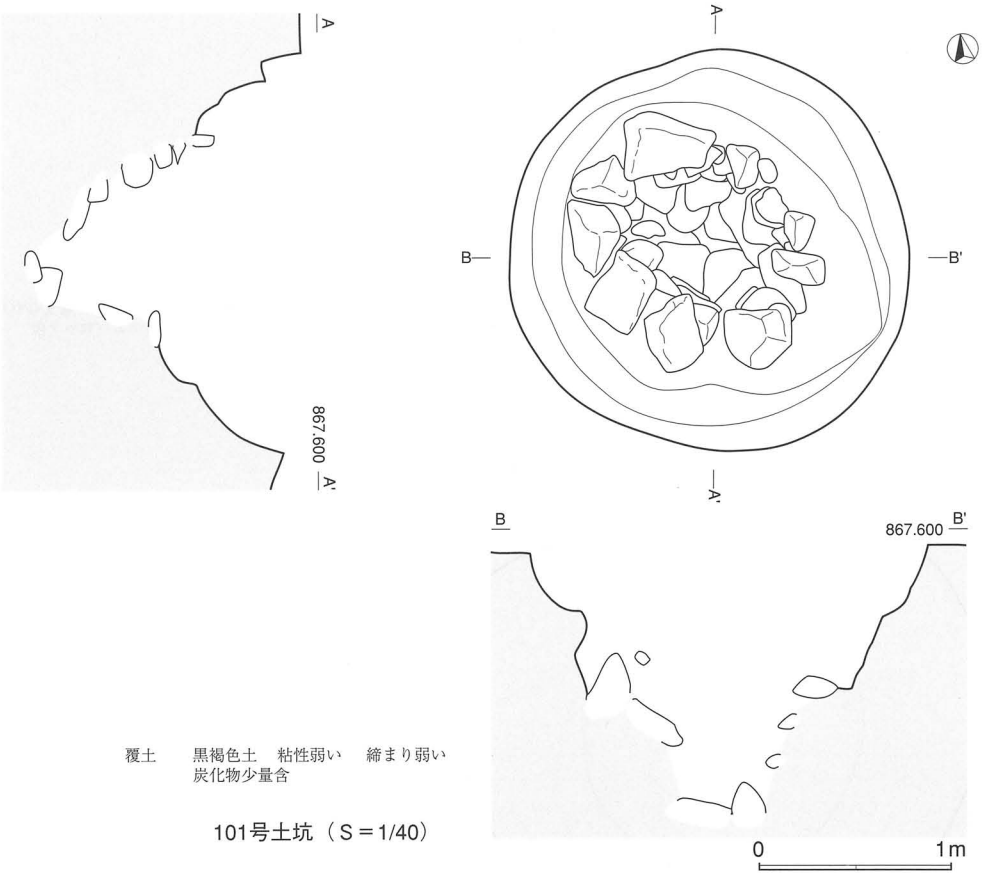


覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒多量含

102号土坑

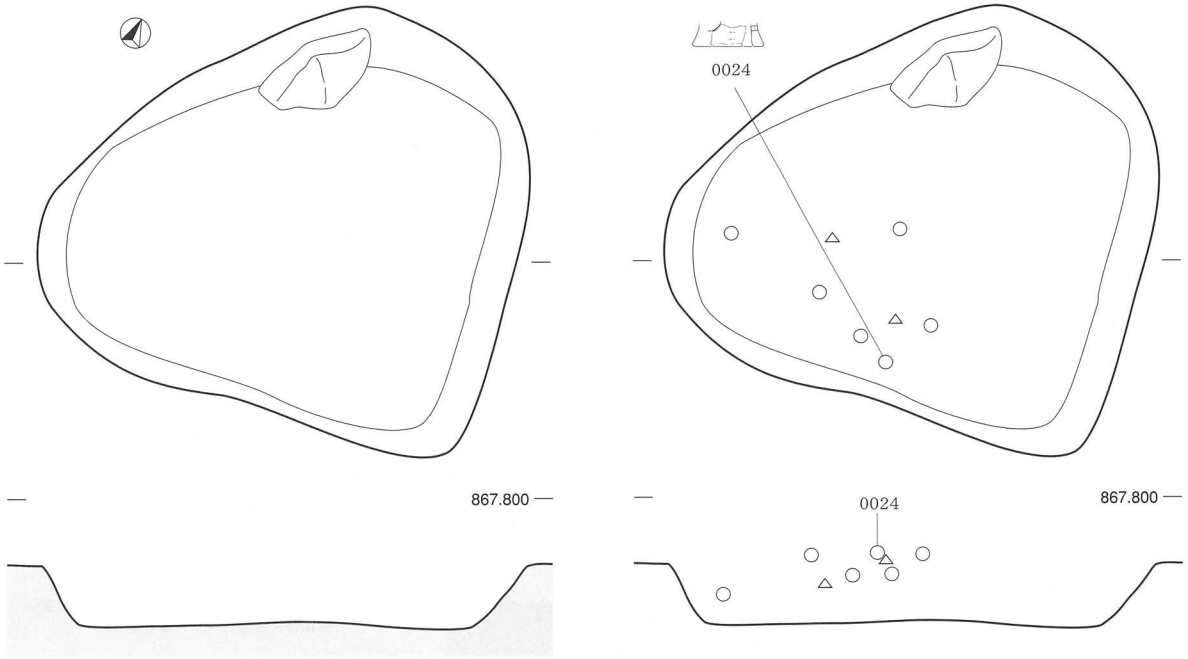
第104図　99・100・102号土坑（S＝1/30）

0　1m



覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物少量含

101号土坑（S＝1/40）

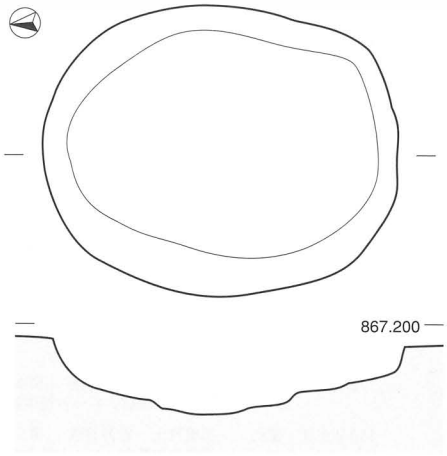


覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含、焼土ブロック含

103号土坑（S＝1/30）

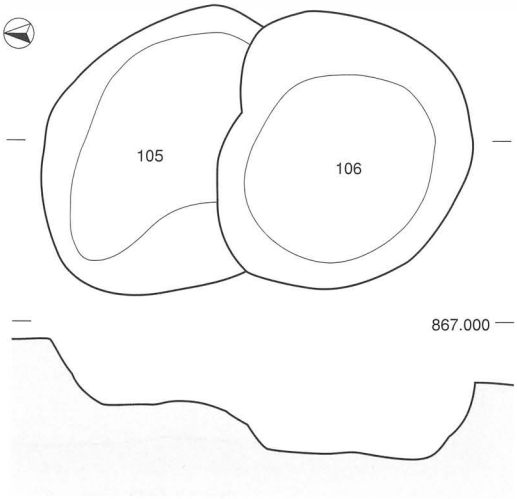
103号土坑遺物出土状況（S＝1/30）

第105図　101号土坑（S＝1/40）・103号土坑（S＝1/30）　0　1m



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

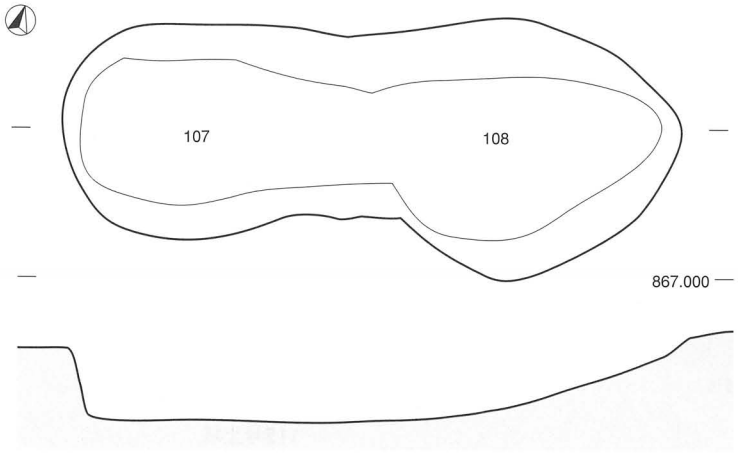
104号土坑



105号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

106号土坑　覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

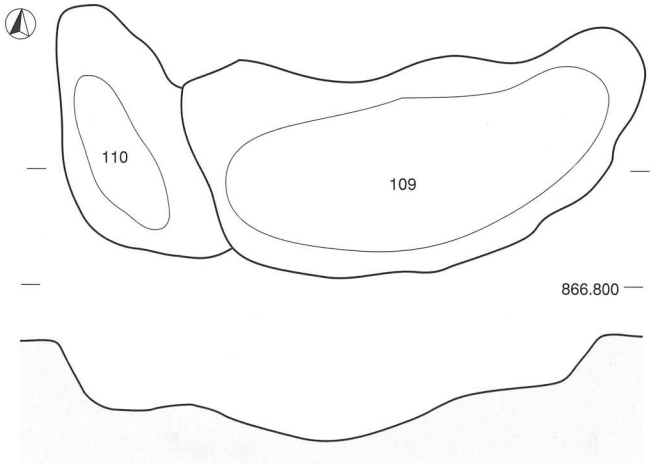
105・106号土坑



107号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや強い
締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

108号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや強い
締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

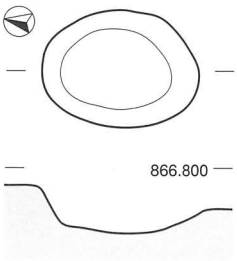
107・108号土坑



109号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒含

110号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒少量含

109・110号土坑

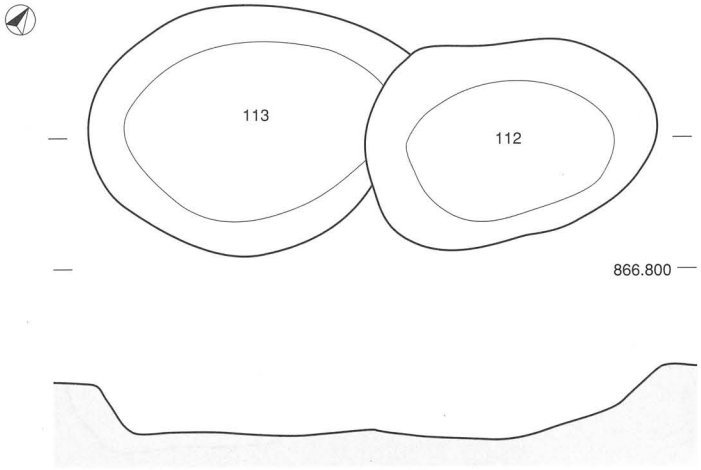


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

111号土坑

0　1m

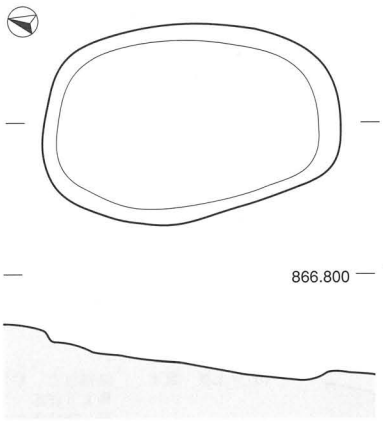
第106図　104～111号土坑（S＝1/30）



112号土坑　覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

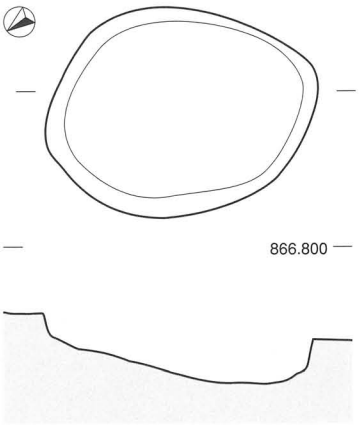
113号土坑　覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

112・113号土坑



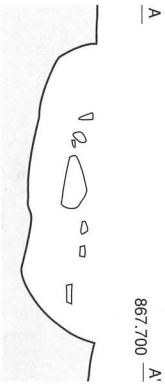
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

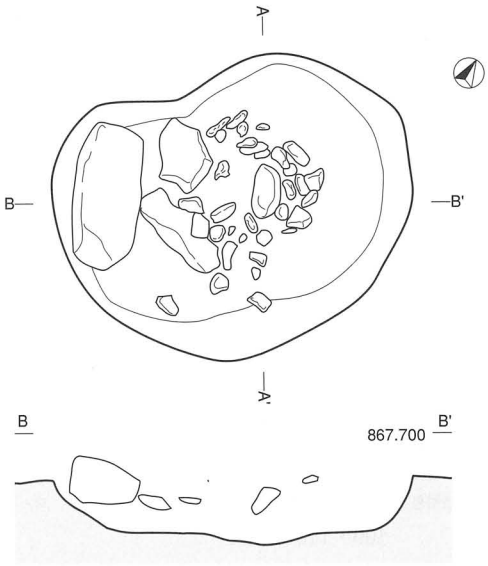
114号土坑



覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

115号土坑



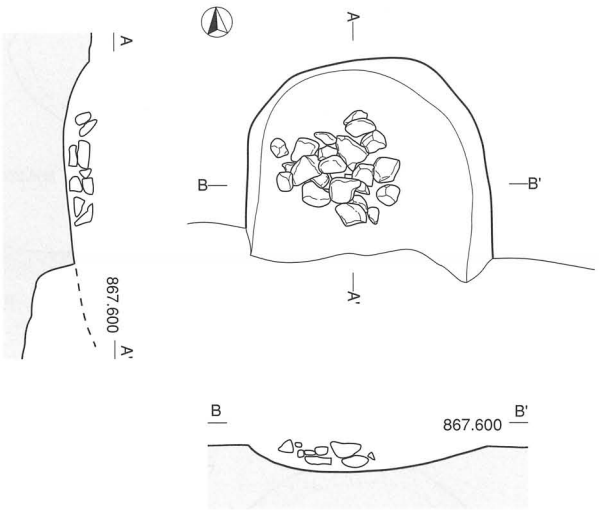


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

116号土坑

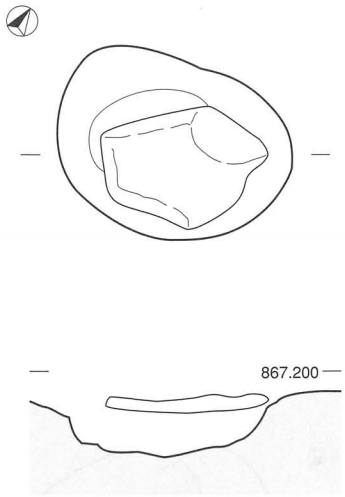
0　1m

第107図　112～116号土坑（S＝1/30）



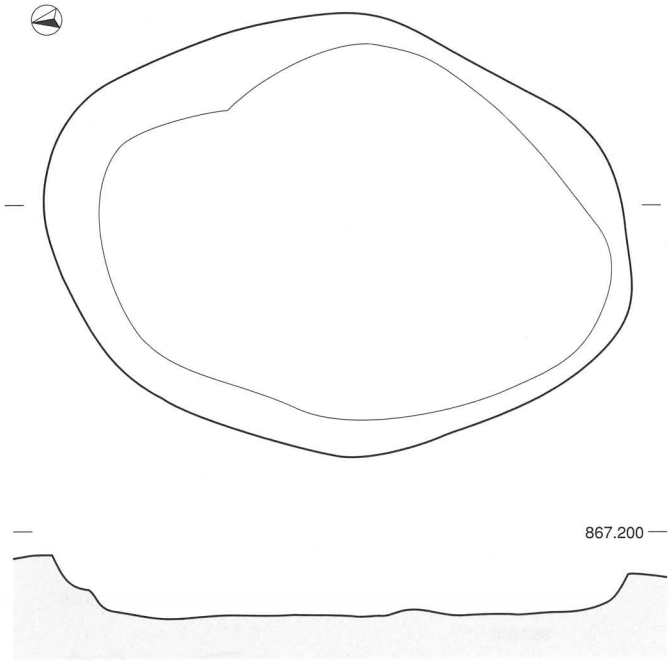
覆土　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

117号土坑



覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物多量含、焼土含

118号土坑

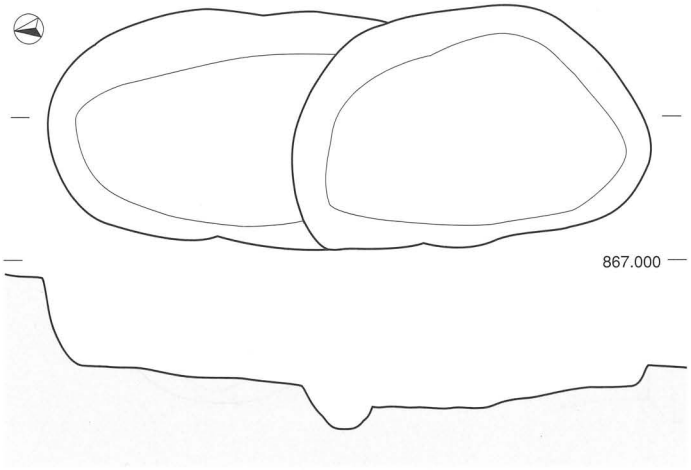


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

119号土坑

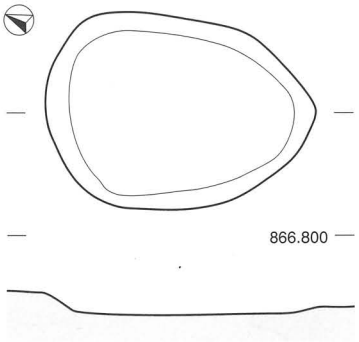
0　1m

第108図　117～119号土坑（S＝1/30）



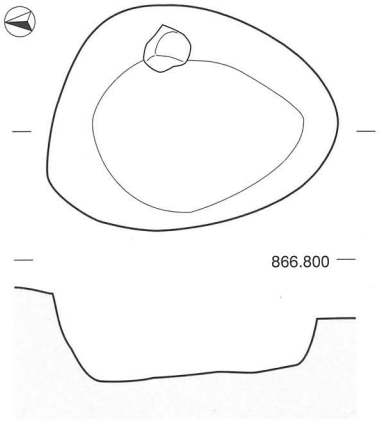
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

120号土坑



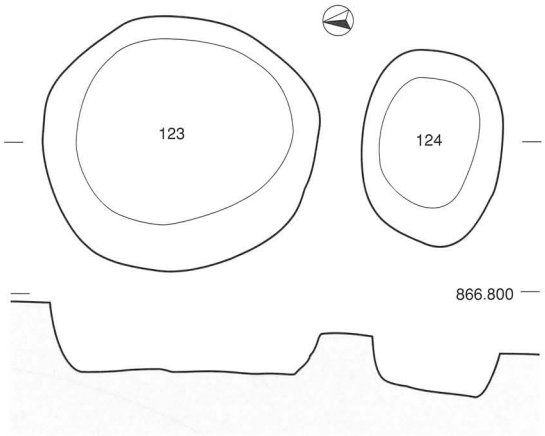
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

121号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

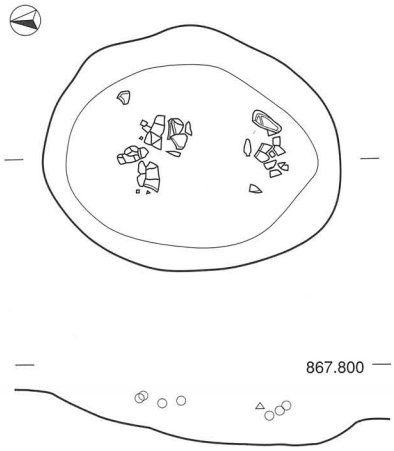
122号土坑



123号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

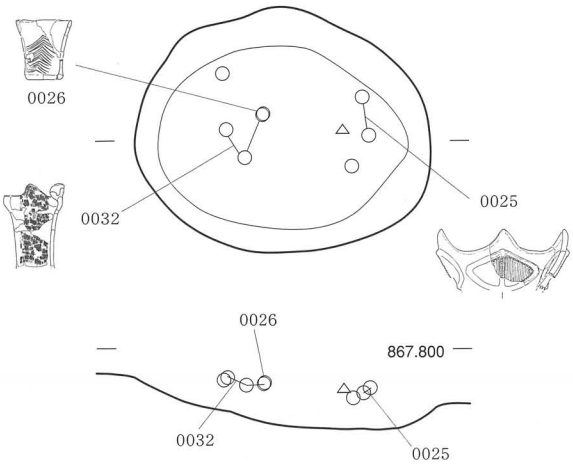
124号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

123・124号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

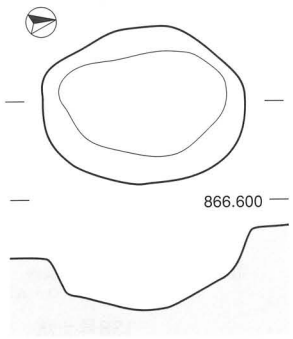
125号土坑



125号土坑遺物出土状況

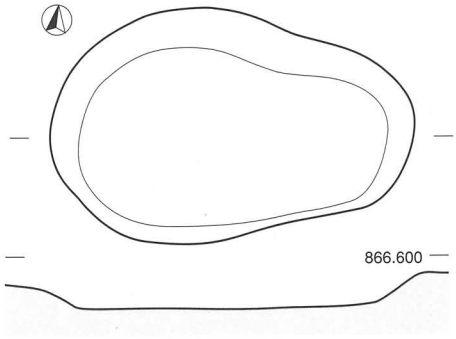
第109図　120～125号土坑（S＝1/30）

0　1m



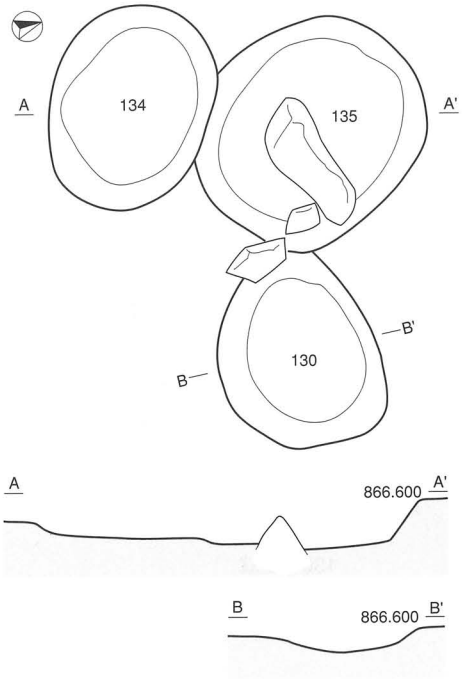
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

126号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まりやや弱い
炭化物少量含、ローム粒多量含

127号土坑

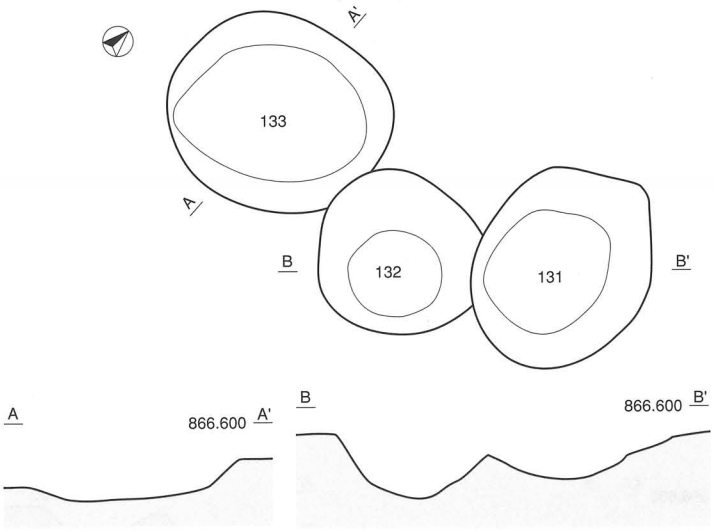


130号土坑　覆土　黒褐色土　粘性やや弱い　締まりやや弱い
炭化物少量含、ローム粒少量含

134号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

135号土坑　覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物含、ローム粒少量含

130・134・135号土坑

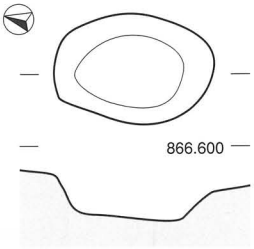


131号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや弱い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

132号土坑　覆土　暗褐色土　粘性やや弱い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含

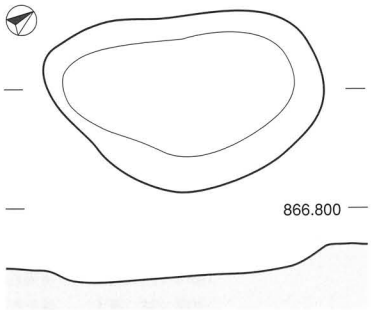
133号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

131・132・133号土坑



覆土　暗褐色土　粘性やや弱い　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

128号土坑

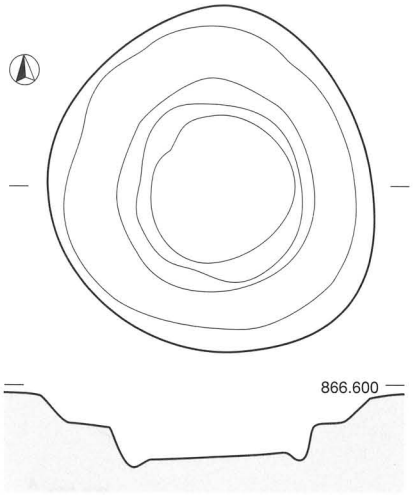


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

129号土坑

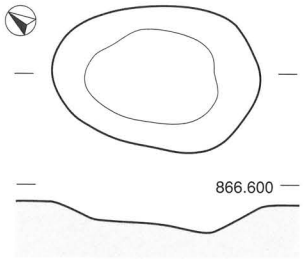
0　1m

第110図　126～135号土坑（S＝1/30）



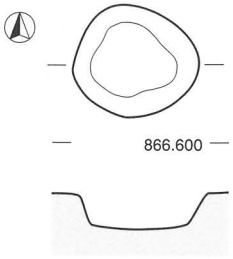
覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物少量含、ローム粒含

136号土坑



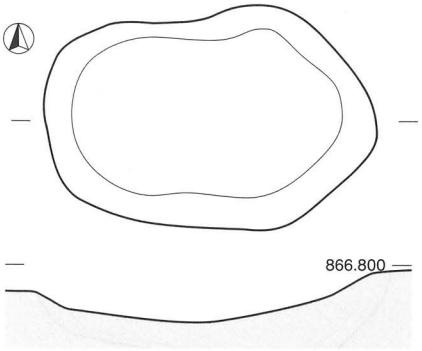
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

137号土坑



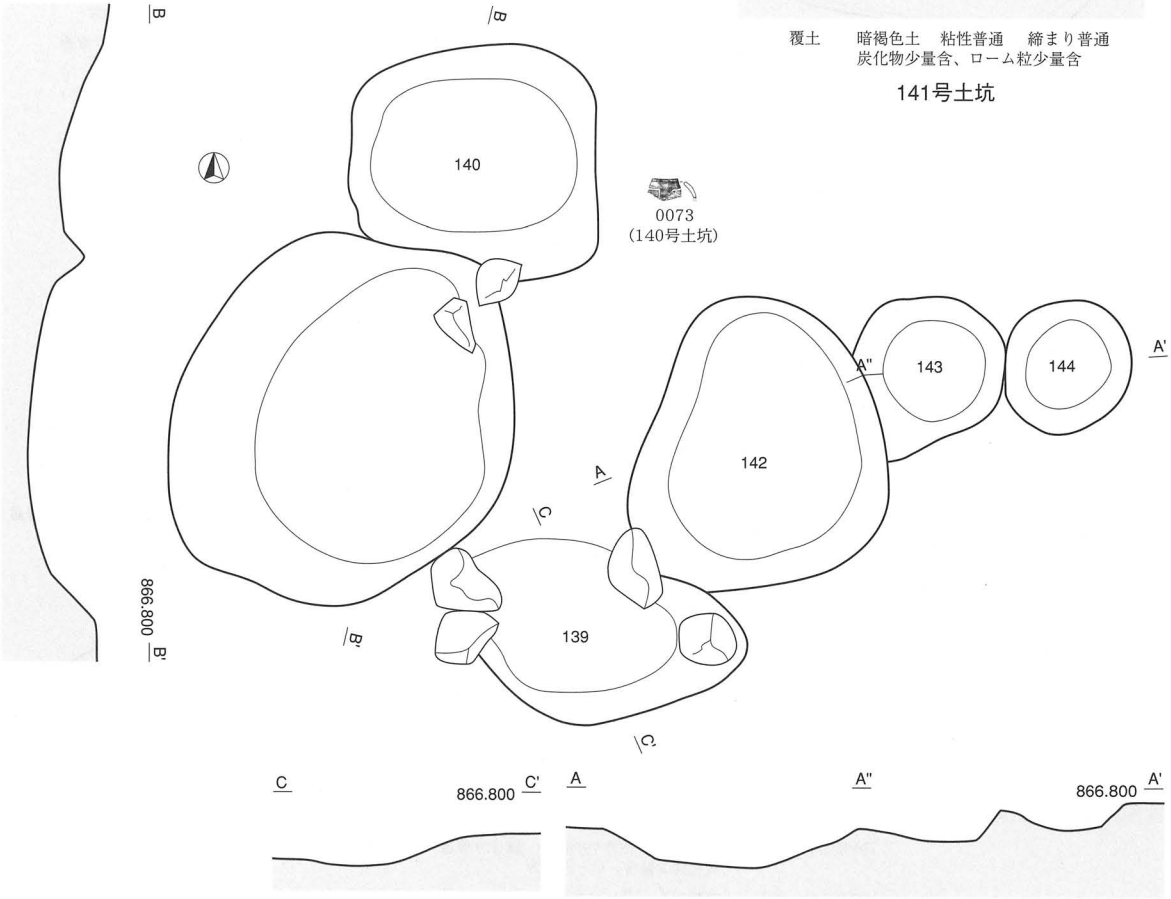
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

138号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

141号土坑

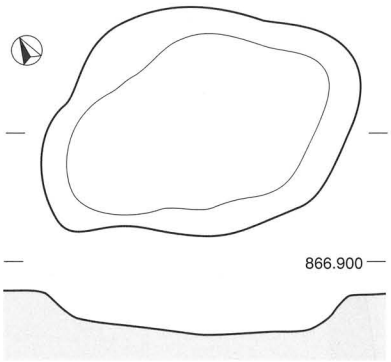


139号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒含
140号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒少量含
142号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒少量含
143号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒少量含
144号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通　炭化物少量含、ローム粒含

139・140・142・143・144号土坑

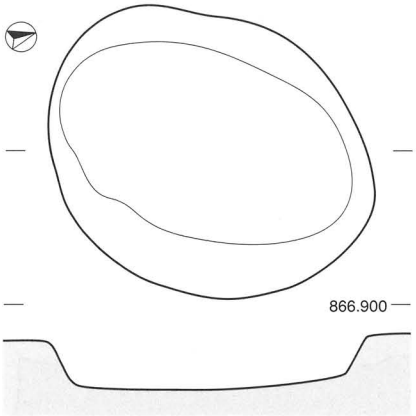
第111図　136～144号土坑（S＝1/30）

0　1m



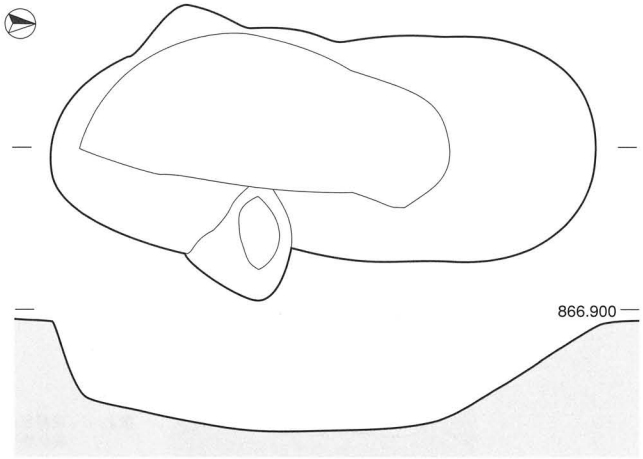
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

145号土坑



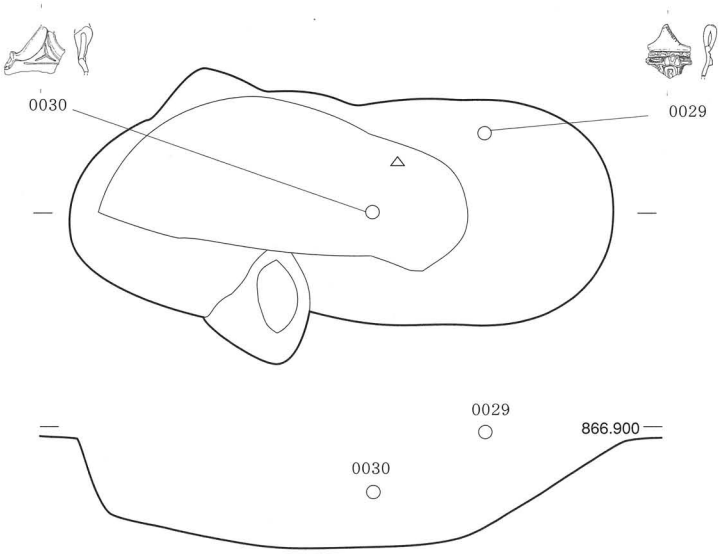
覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物含、ローム粒含

146号土坑



覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり強い
炭化物少量含、ロームブロック含

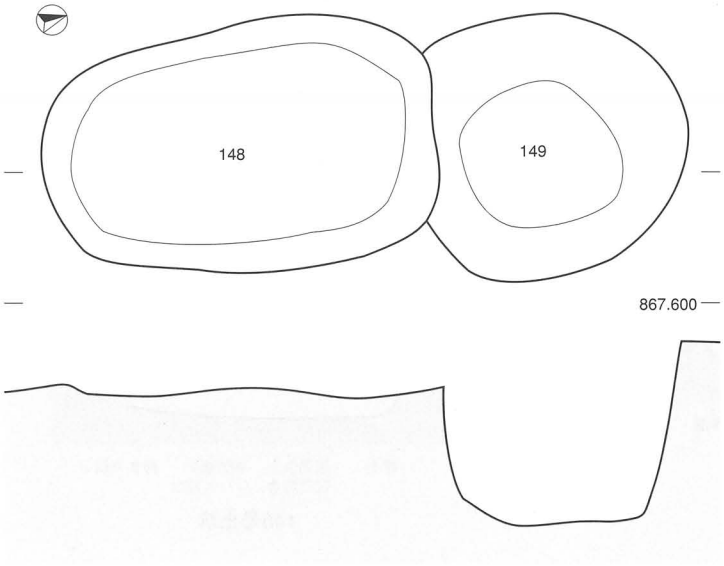
147号土坑



147号土坑遺物出土状況

第112図　145～147号土坑（S＝1/30）

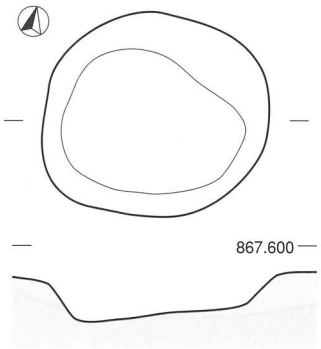
0　1m



148号土坑　覆土　　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ロームブロック含

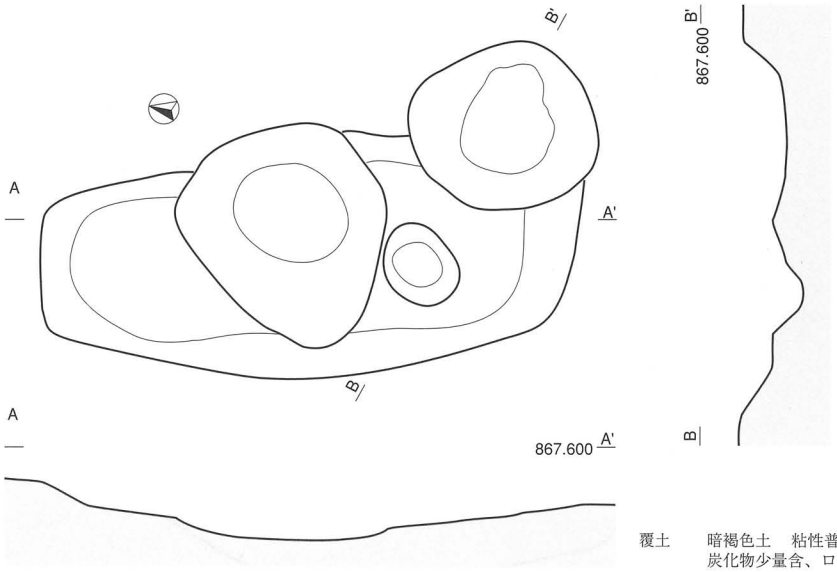
149号土坑　覆土　　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

148・149号土坑



覆土　　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

150号土坑

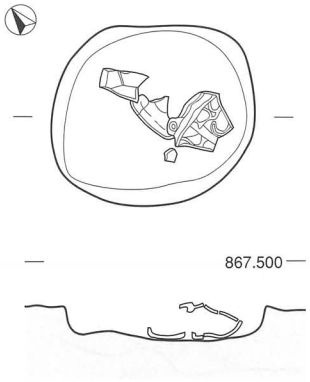


覆土　　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

151号土坑

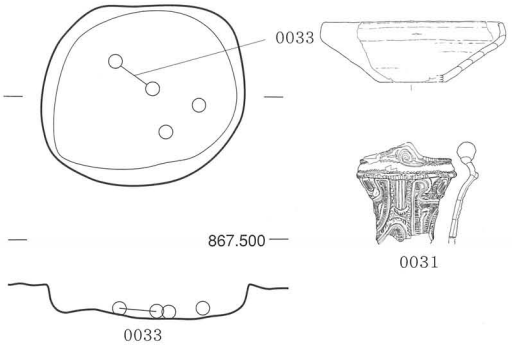
第113図　148～151号土坑（S＝1/30）

0　1m

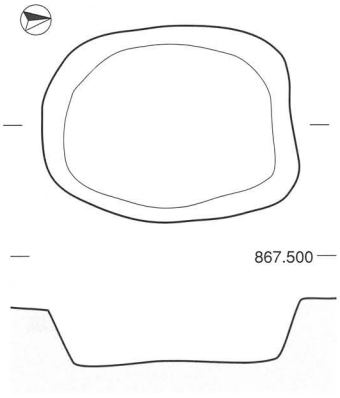


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

152号土坑

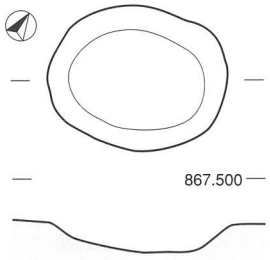


152号土坑遺物出土状況



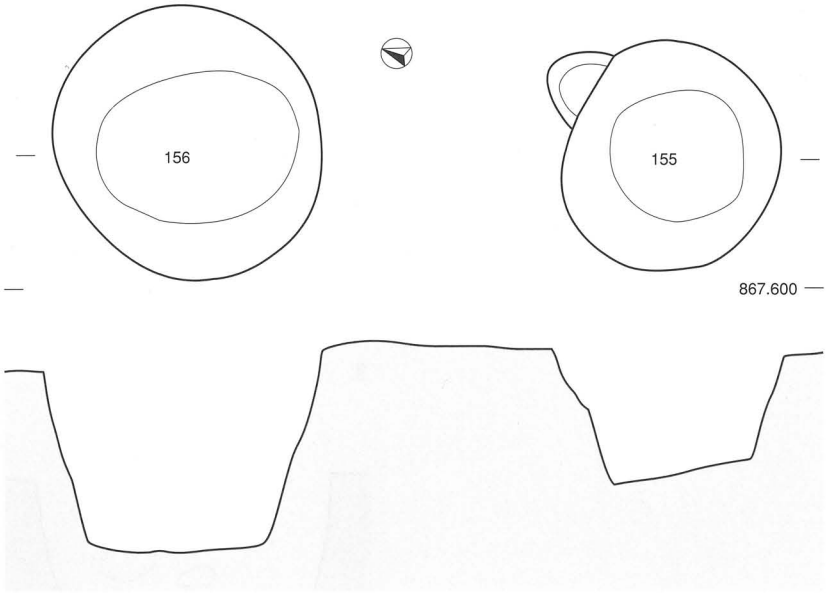
覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物少量含、ローム粒少量含

153号土坑



覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物少量含

154号土坑

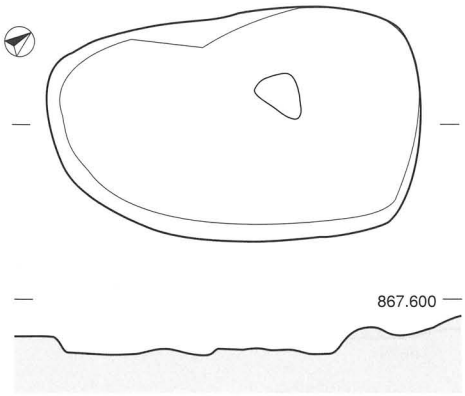


155号土坑　覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い　炭化物少量含、ローム粒少量含
156号土坑　覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い　炭化物少量含、ローム粒少量含

155・156号土坑

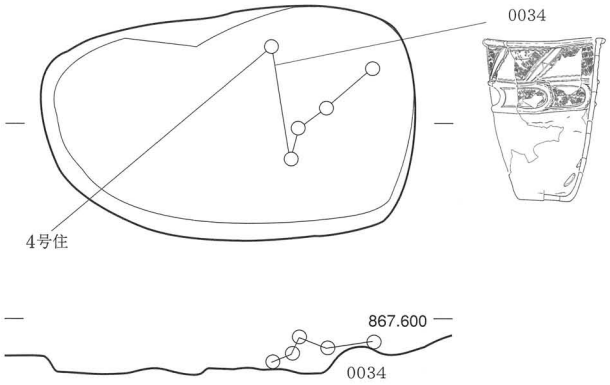
第114図　152～156号土坑（S＝1/30）

0　1m

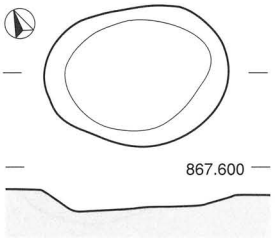


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

157号土坑

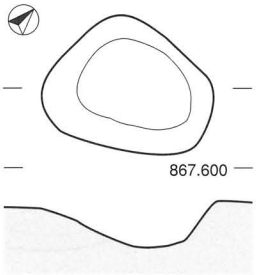


157号土坑遺物出土状況



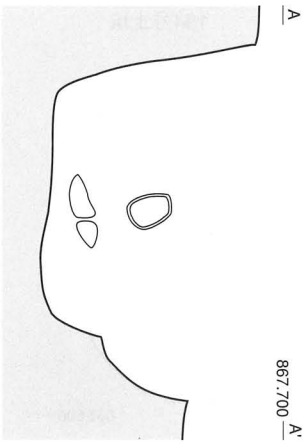
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

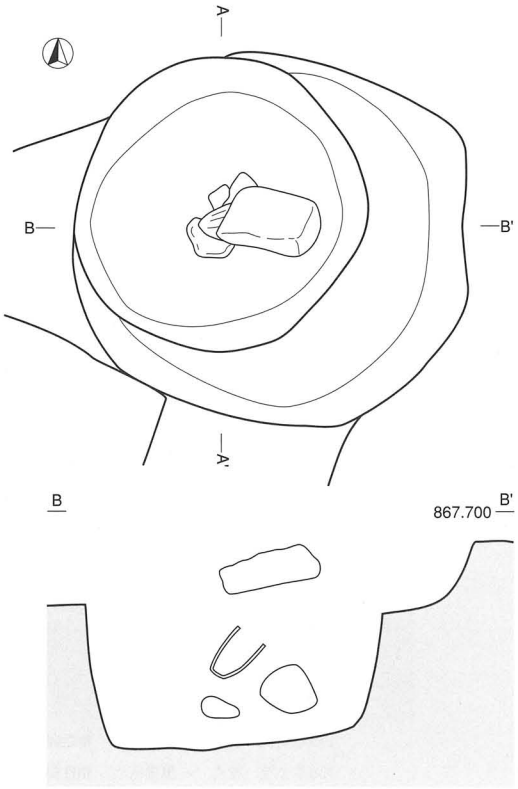
158号土坑



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

159号土坑



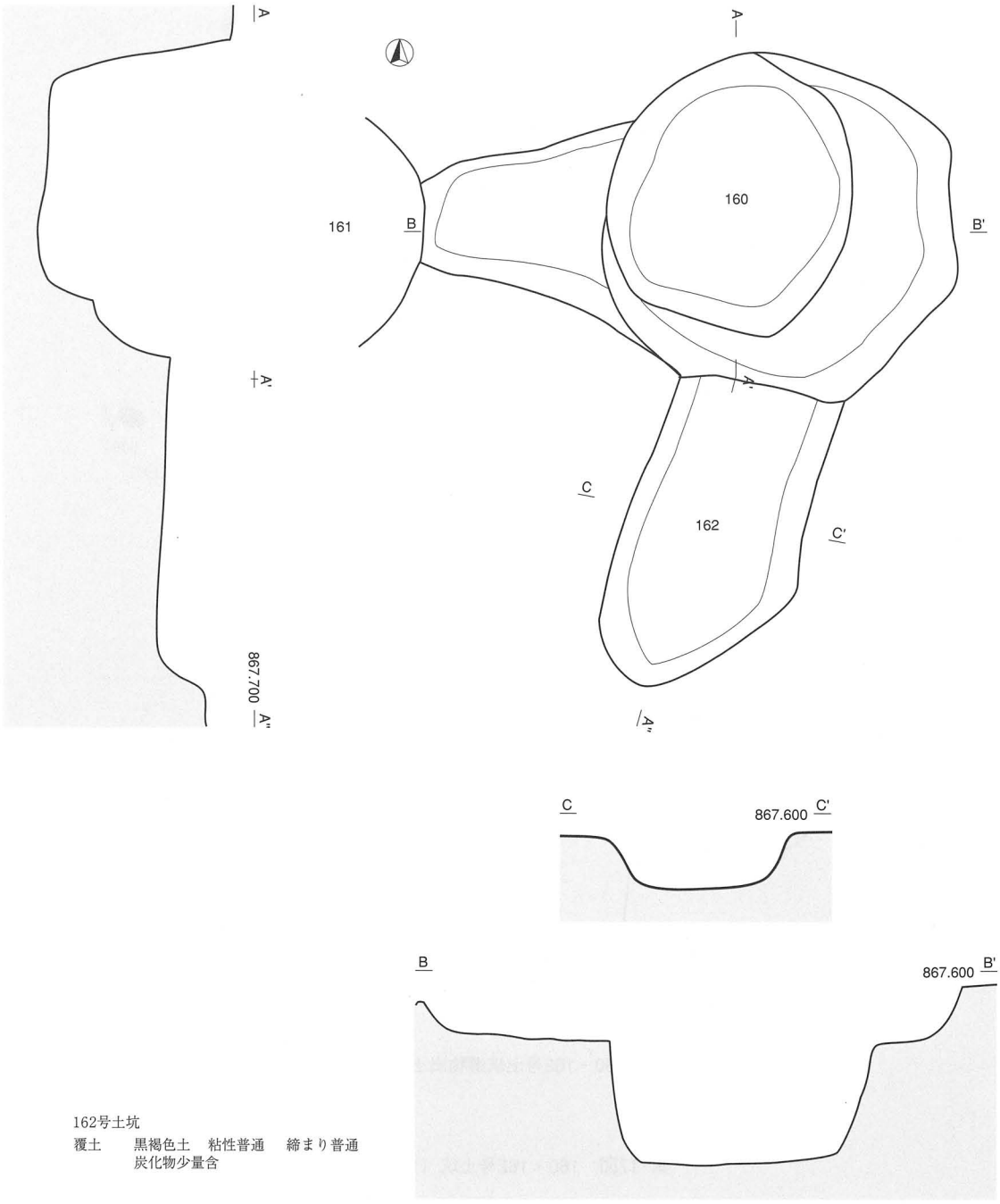


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まりやや強い
炭化物少量含、ローム粒含、ロームブロック含

160号土坑

0　1m

第115図　157～160号土坑（S＝1/30）

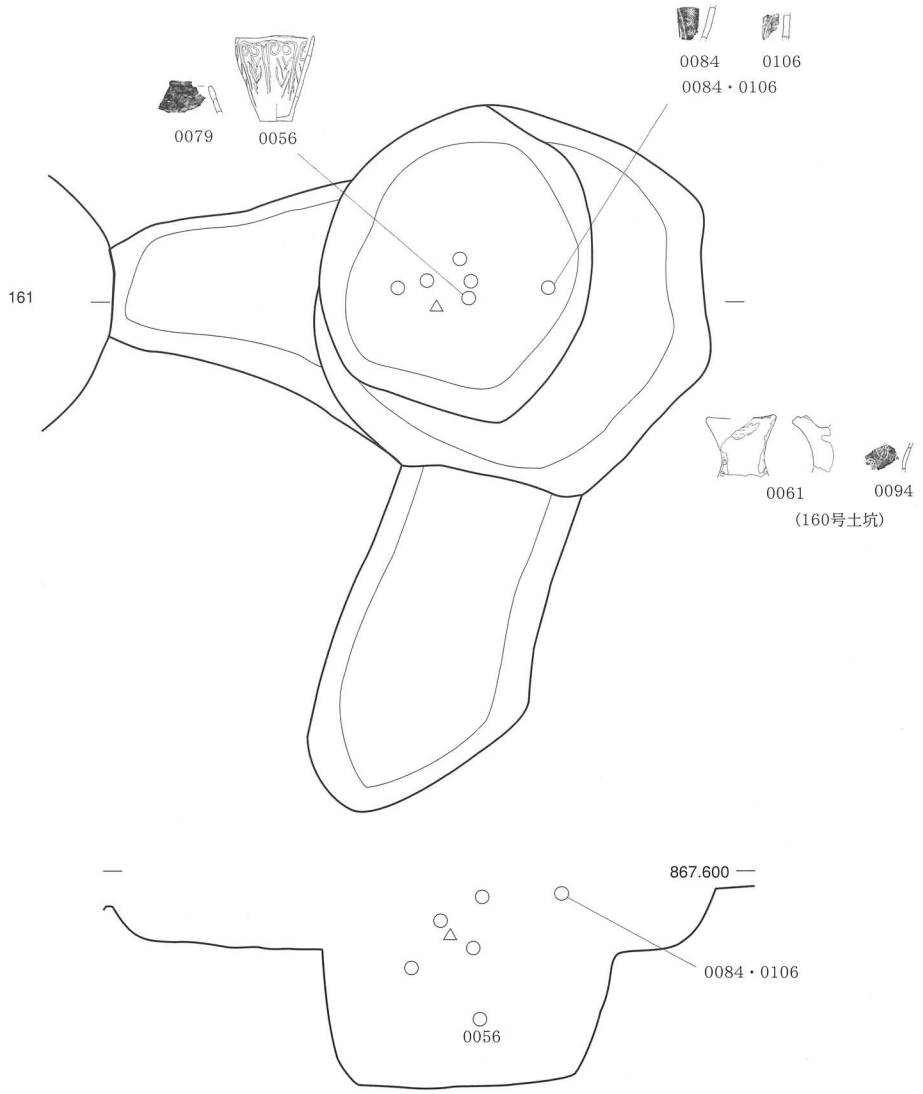


162号土坑
覆土　黒褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含

160・162号土坑

第116図　160・162号土坑（S＝1/30）

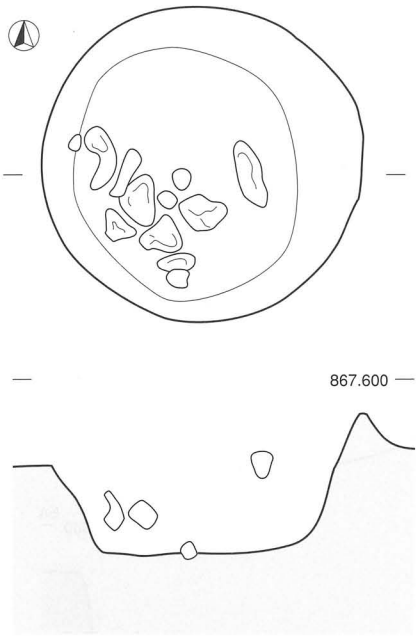
0　1m



160・162号土坑遺物出土状況

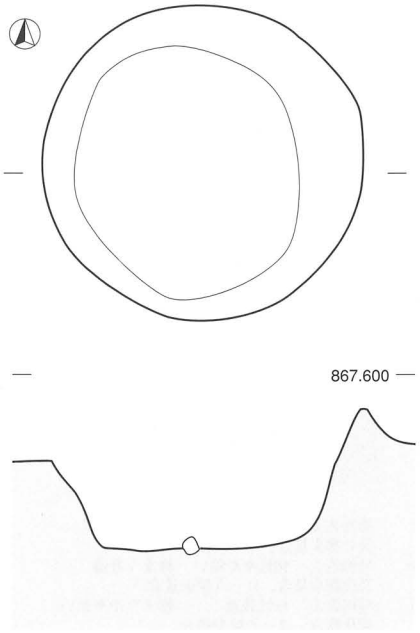
0　1m

第117図　160・162号土坑（S＝1/30）

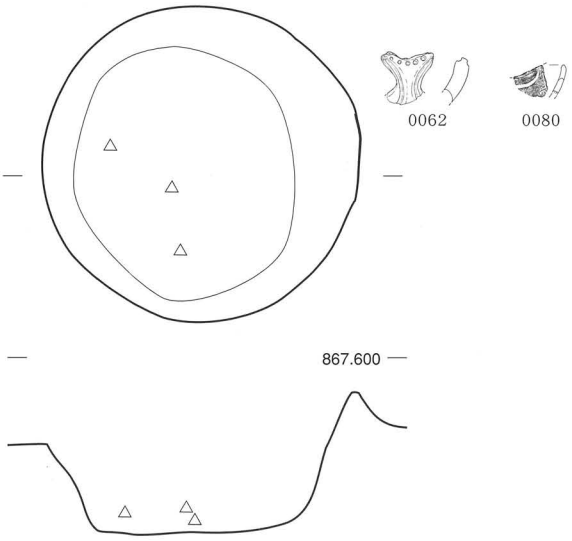


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含

161号土坑遺物分布



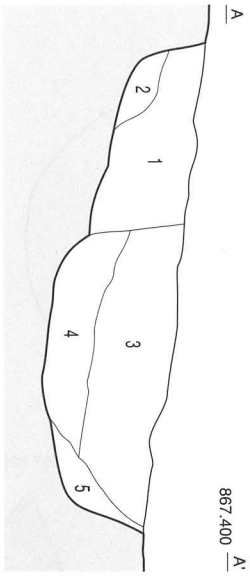
161号土坑

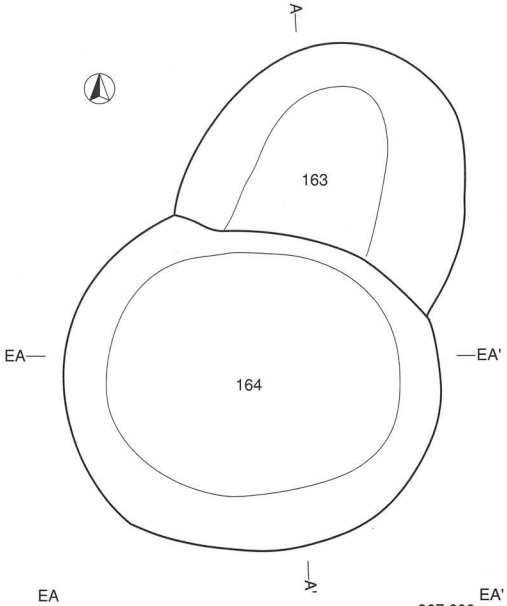


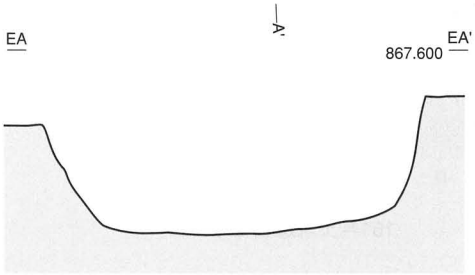
161号土坑遺物出土状況

第118図　161号土坑（S＝1/30）

0　1m

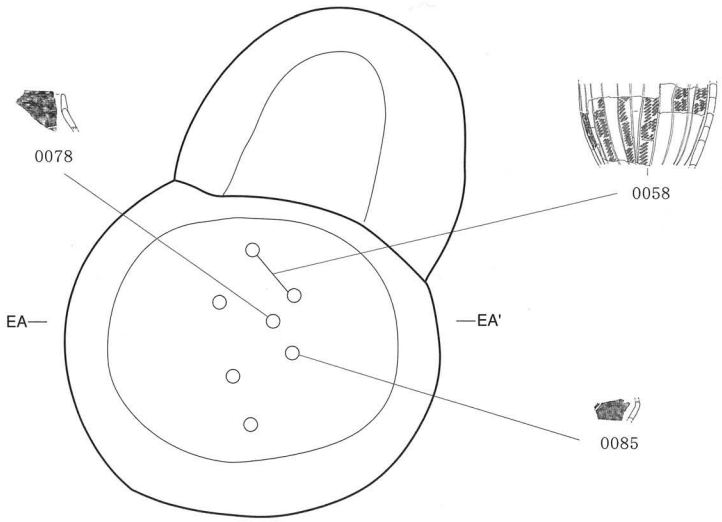


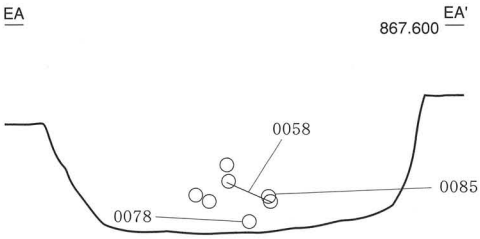




1層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒含
2層　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒少量含
3層　暗褐色土　粘性普通　締まりやや強い
　　炭化物含、ローム粒少量含
4層　暗褐色土　粘性やや強い　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒少量含
5層　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
　　炭化物少量含、ローム粒多量含

163・164号土坑

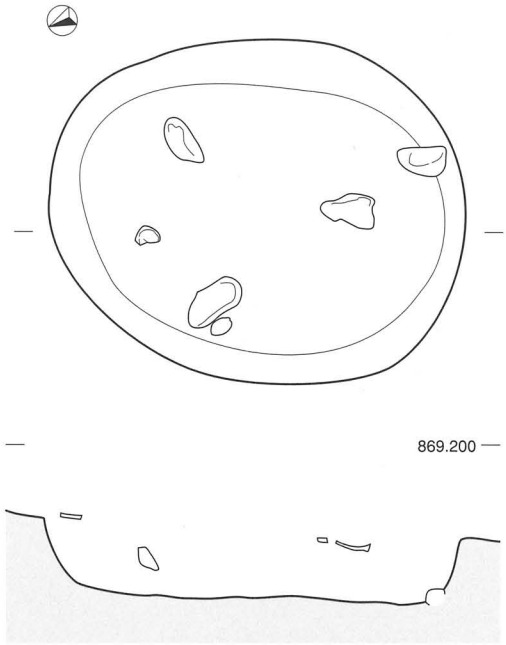




163・164号土坑遺物出土状況

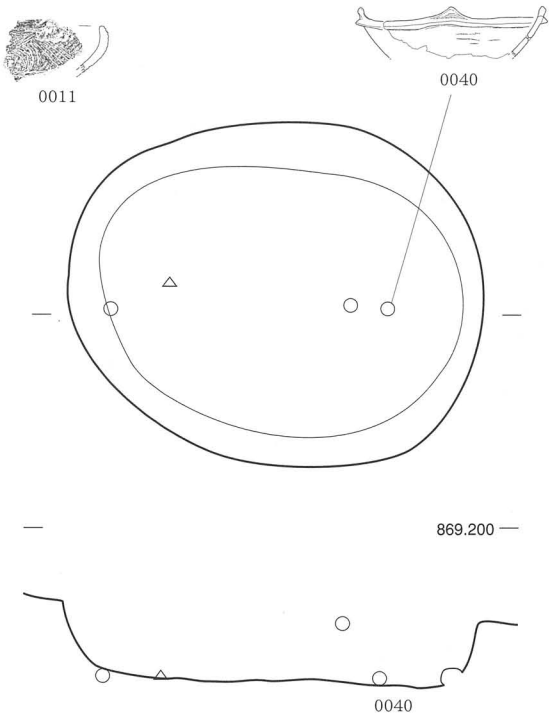
第119図　163・164号土坑（S＝1/30）

0　1m

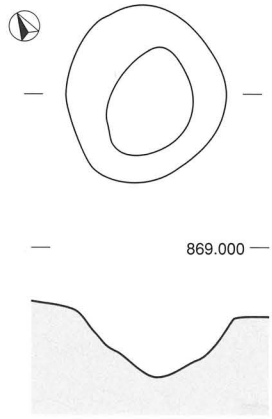


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

165号土坑



165号土坑遺物出土状況

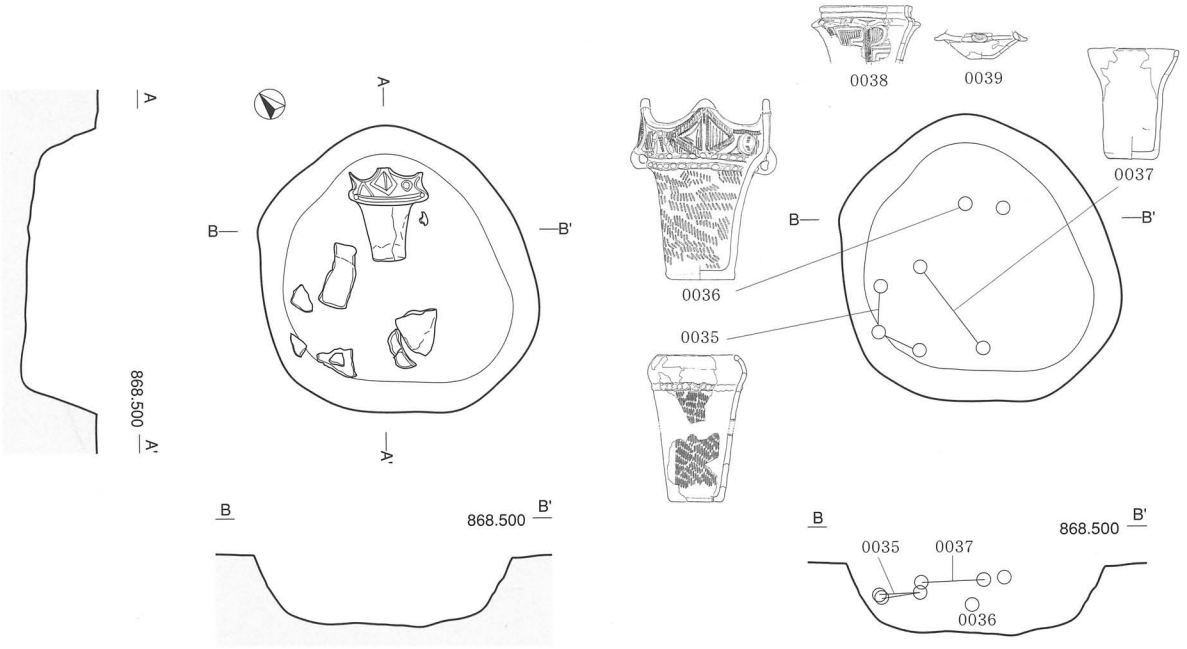


覆土　黒褐色土　粘性弱い　締まり弱い
炭化物少量含

166号土坑

第120図　165・166号土坑（S＝1/30）

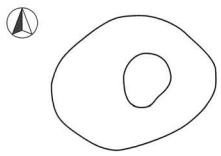
0　1m



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
土器0036周辺のみ焼土分布

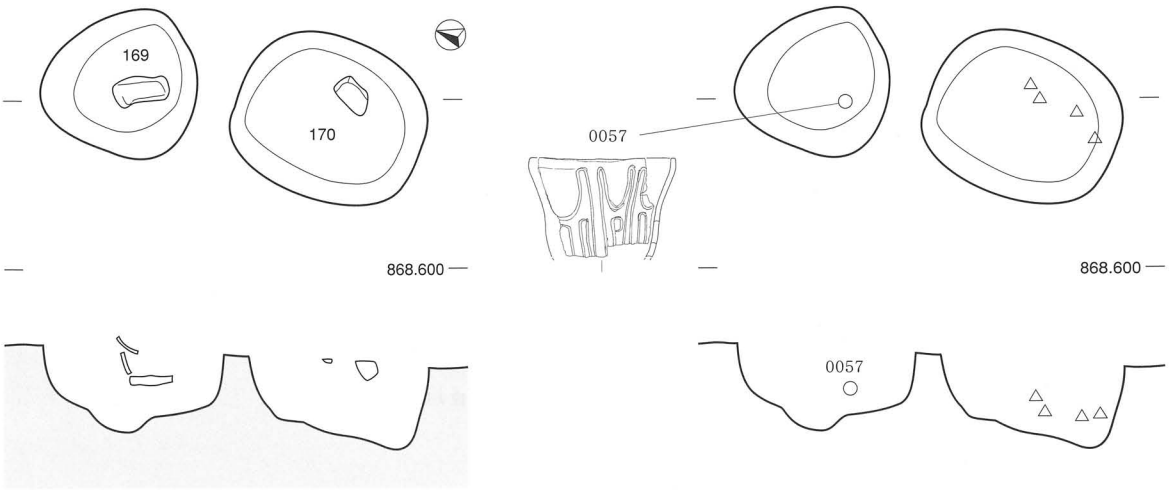
167号土坑

167号土坑遺物出土状況



覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

168号土坑



169号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、焼土少量含、ローム粒含

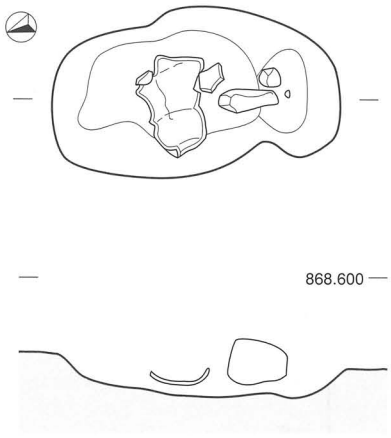
170号土坑　覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

169・170号土坑

169・170号土坑出土遺物分布

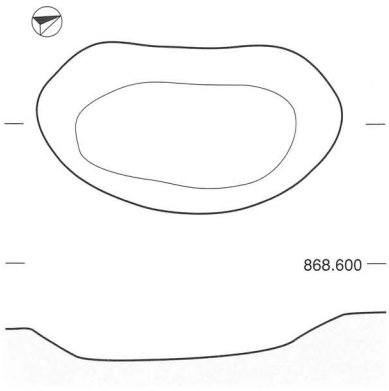
第121図　167～170号土坑（S＝1/30）

0　1m



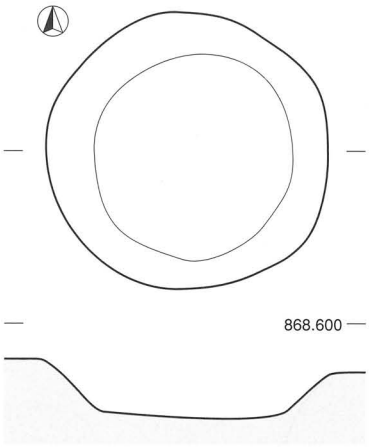
覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒含、焼土少量含

171号土坑

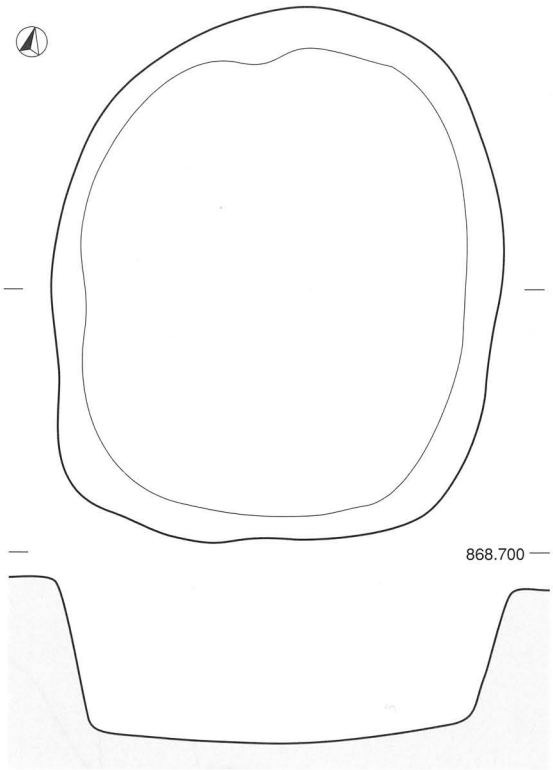


覆土　暗褐色土　粘性普通　締まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含

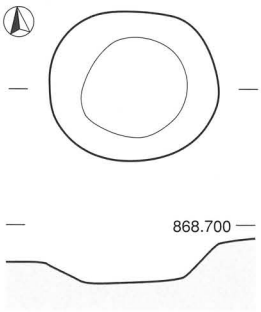
172号土坑



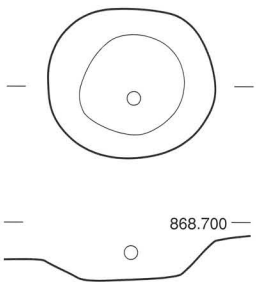
173号土坑



174号土坑



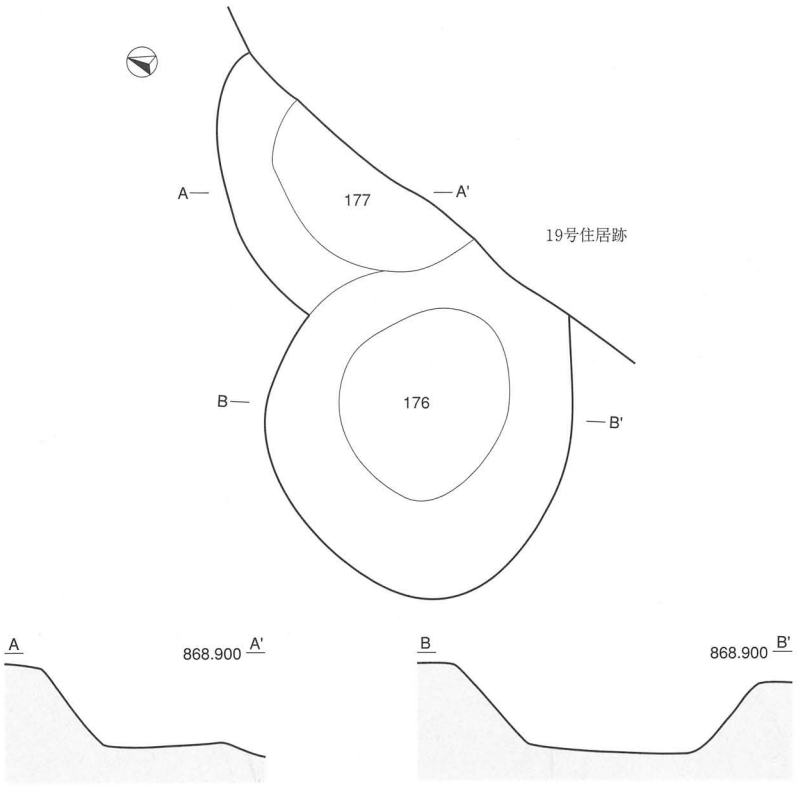
175号土坑



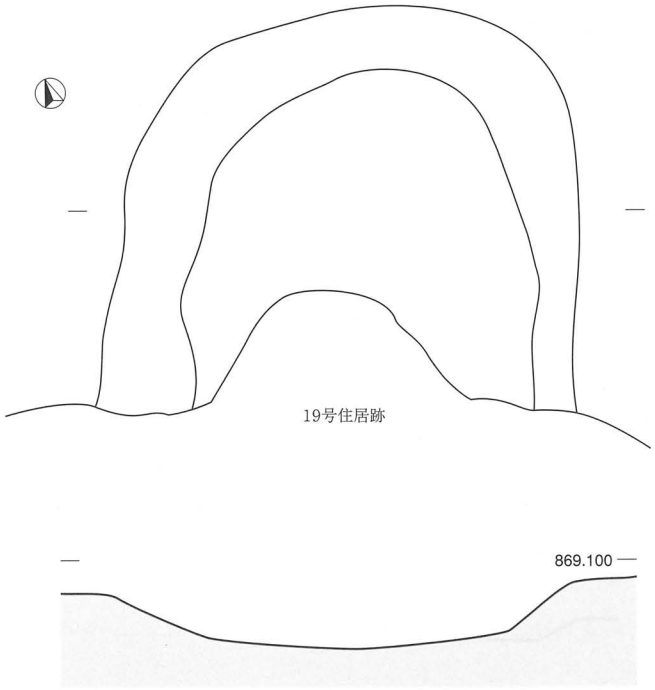
175号土坑出土遺物分布

第122図　171～175号土坑（S＝1/30）

0　1m



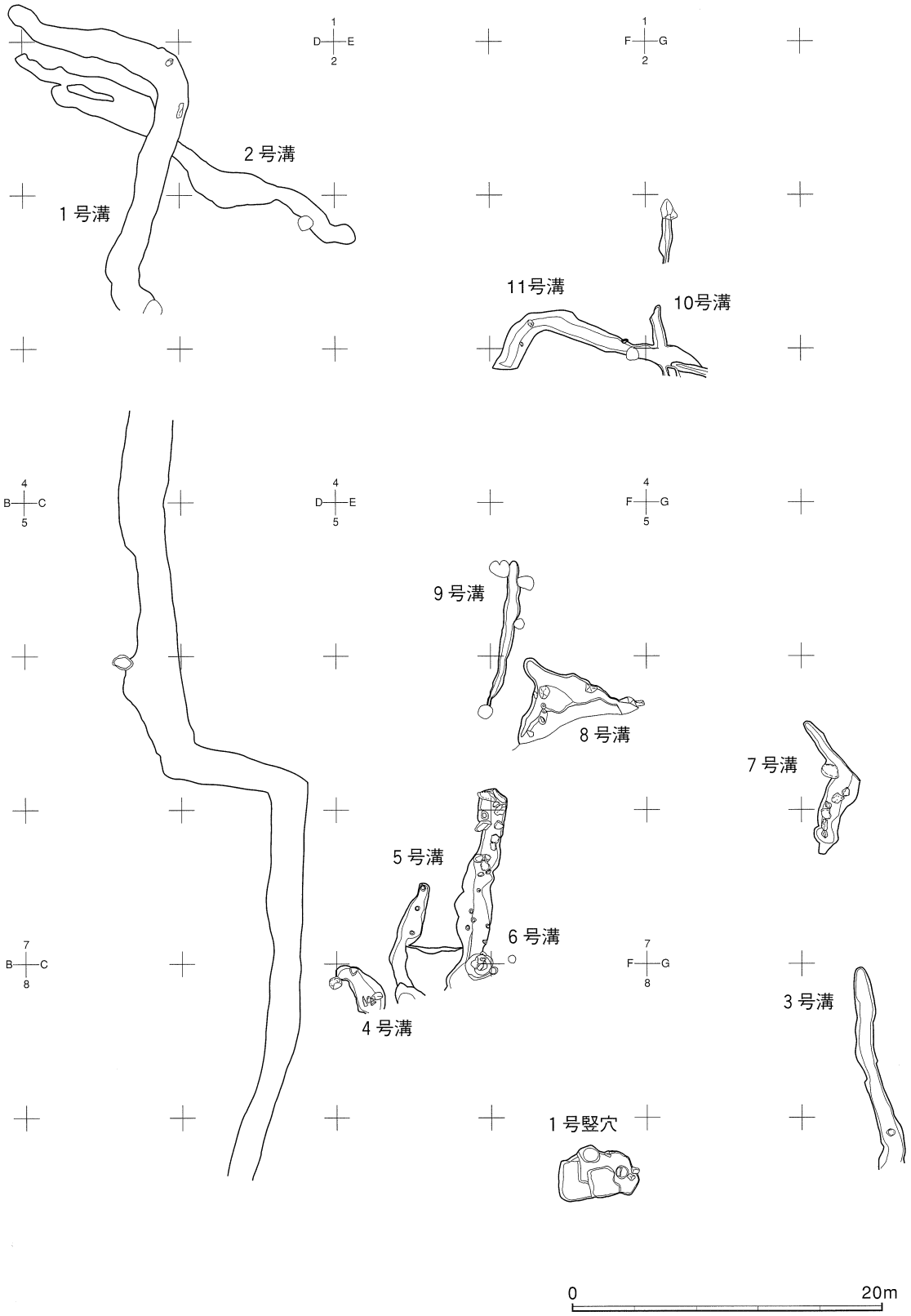
176・177号土坑



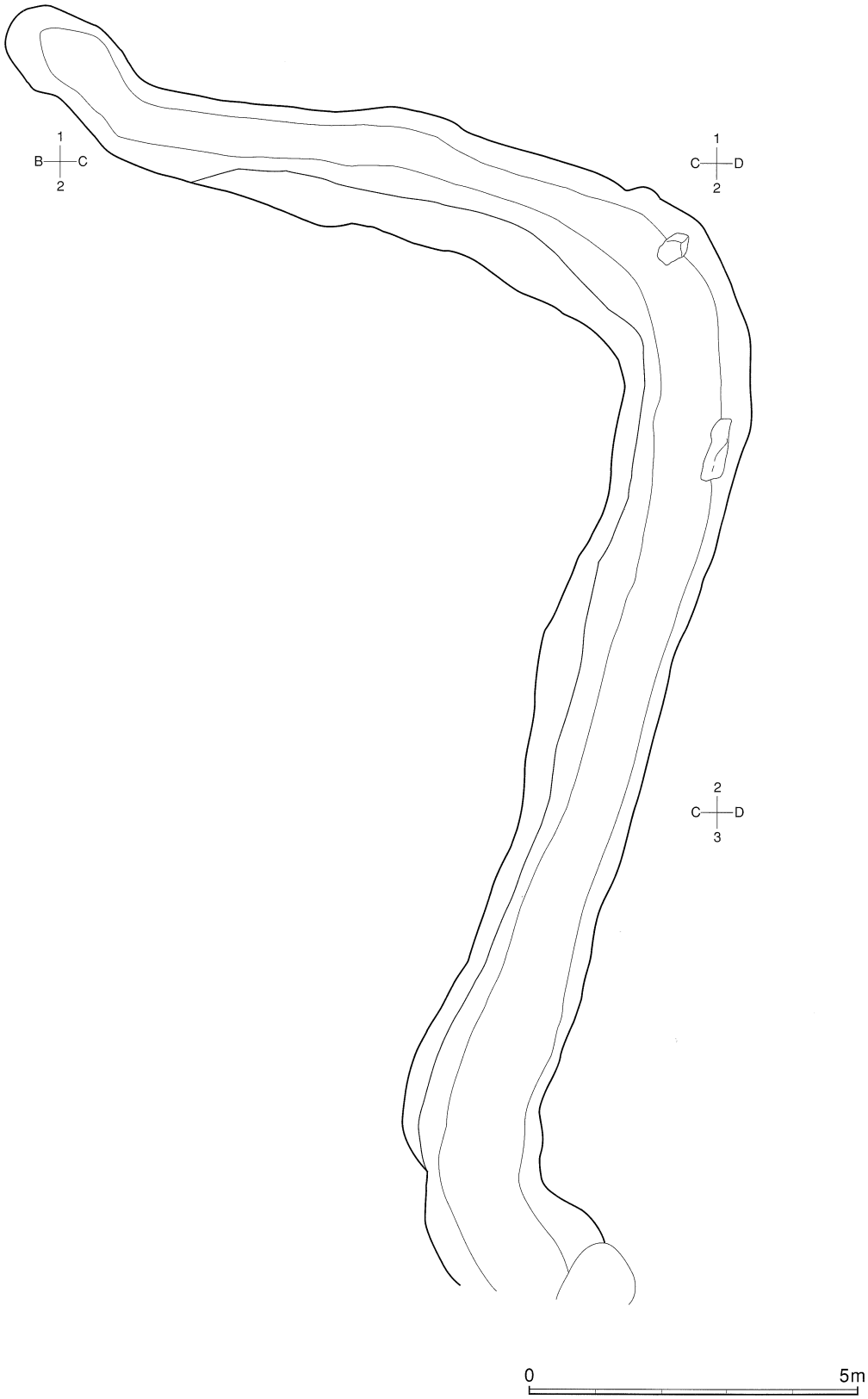
178号土坑

0　1m

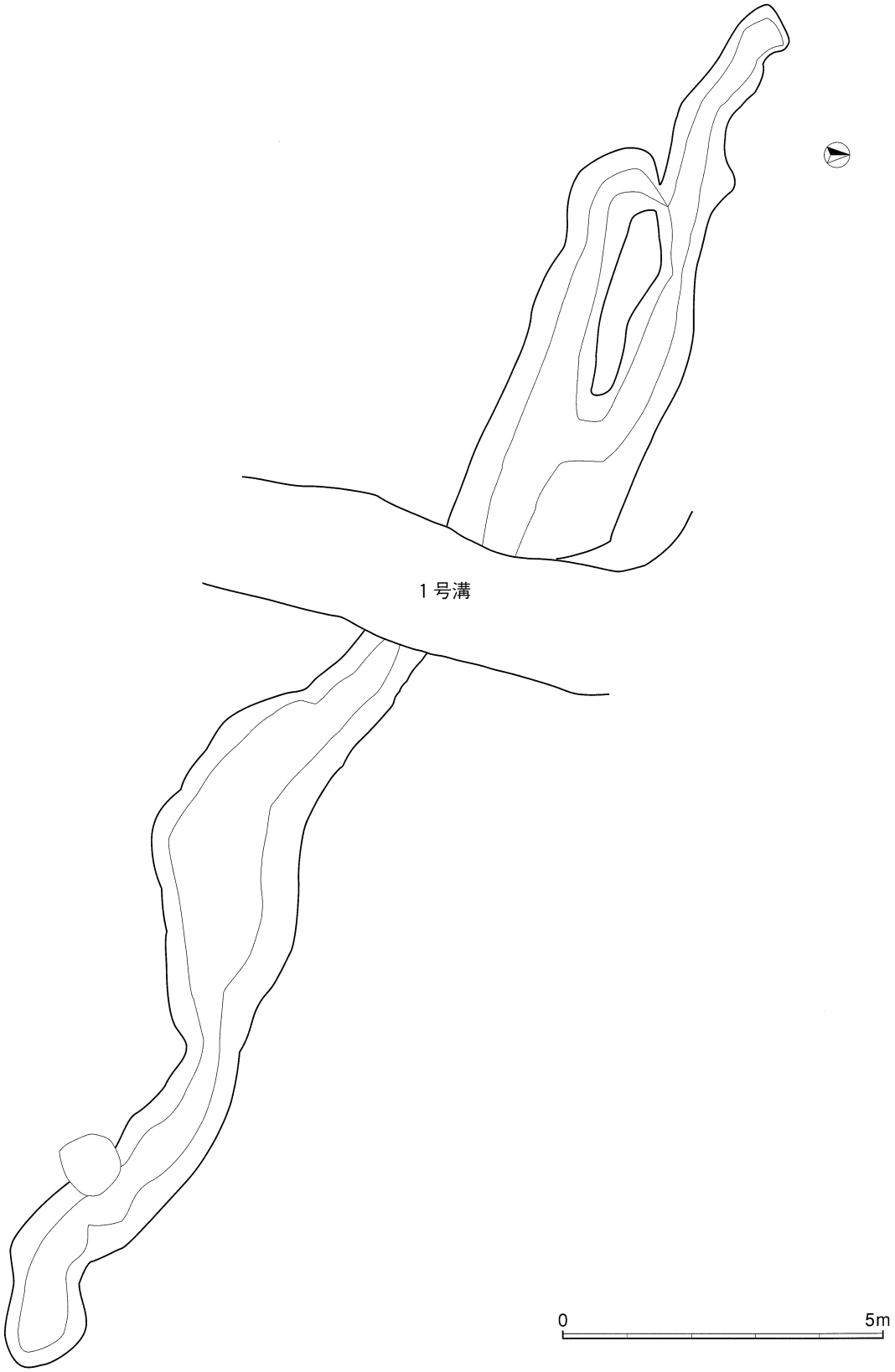
第123図　176～178号土坑（S＝1/30）



第124図　1～11号溝（S＝1/400）

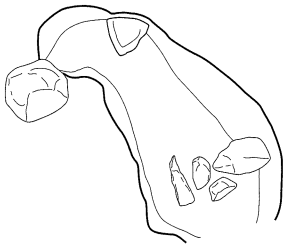


第125図　1号溝北側（S＝1/100）

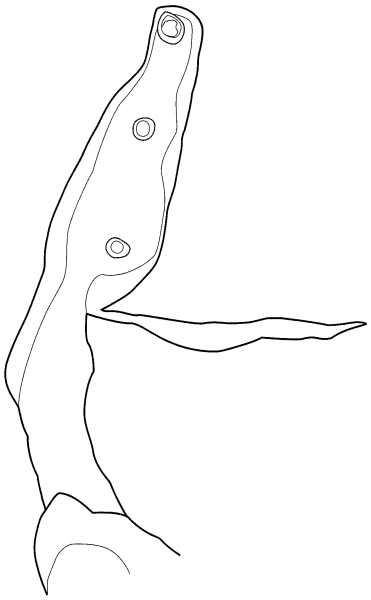


第126図　2号溝（S＝1/100）

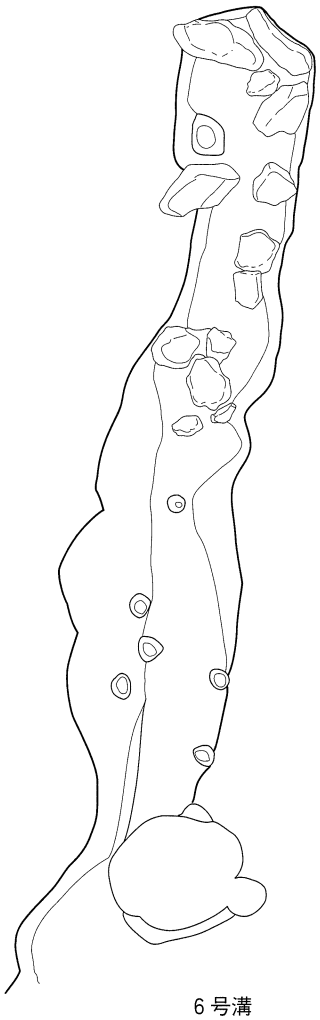
3 号溝



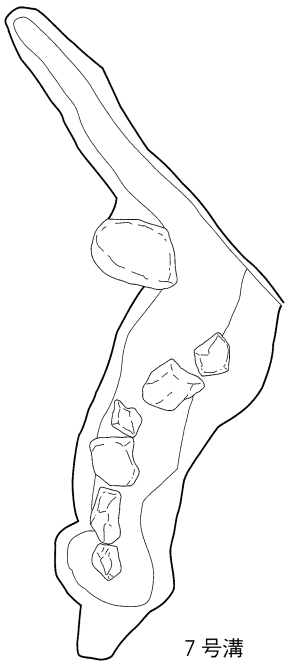
4 号溝



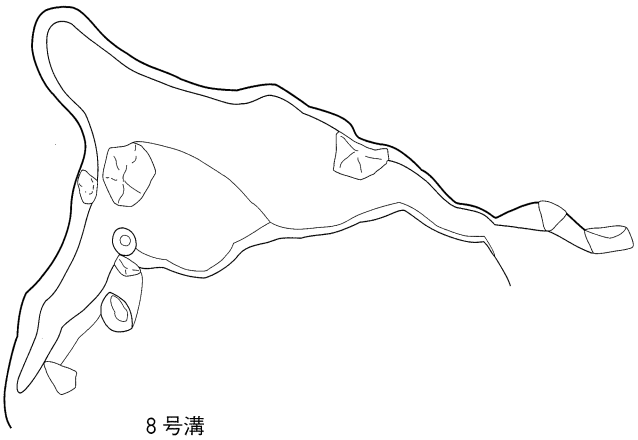
5 号溝



6 号溝



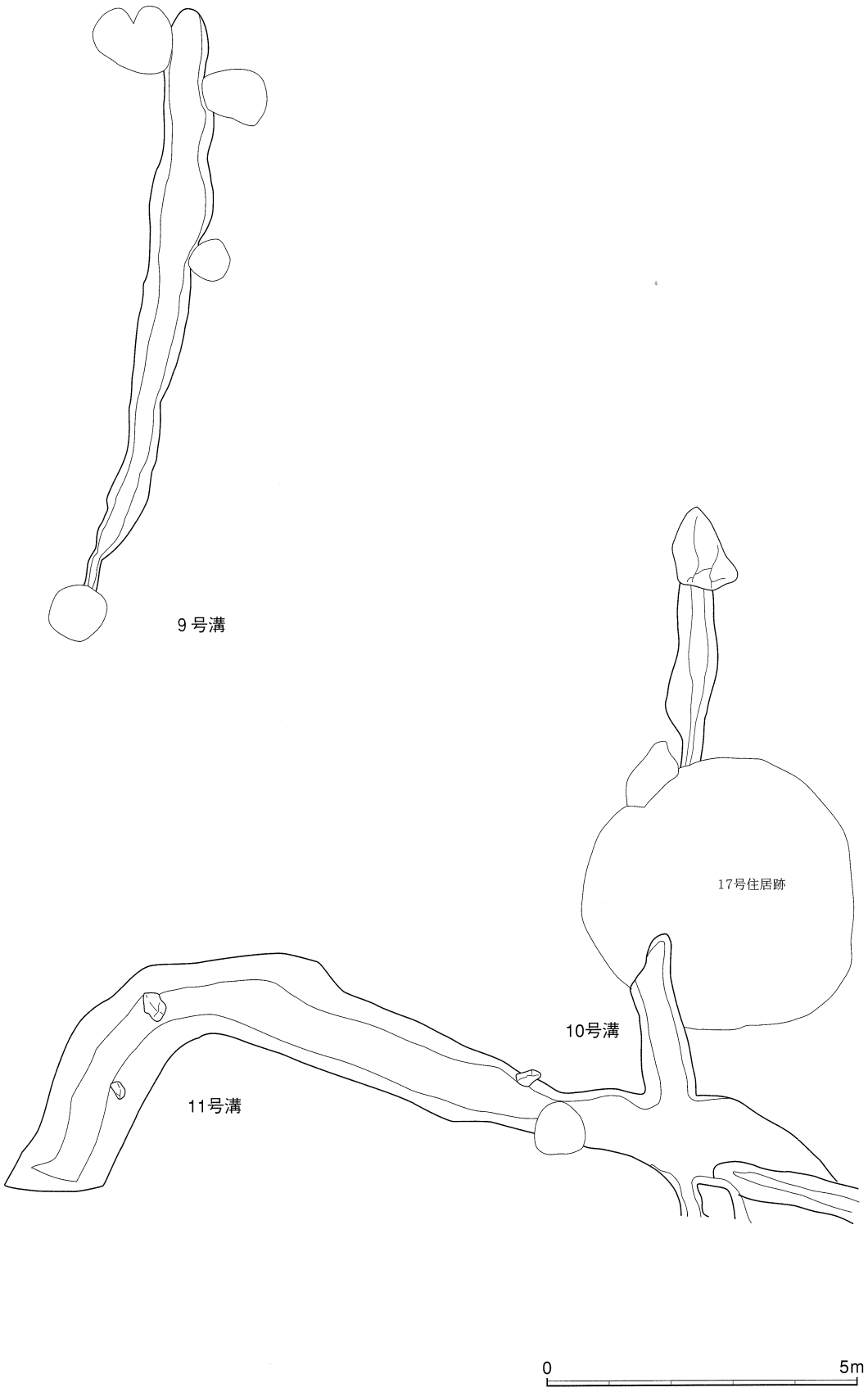
7 号溝



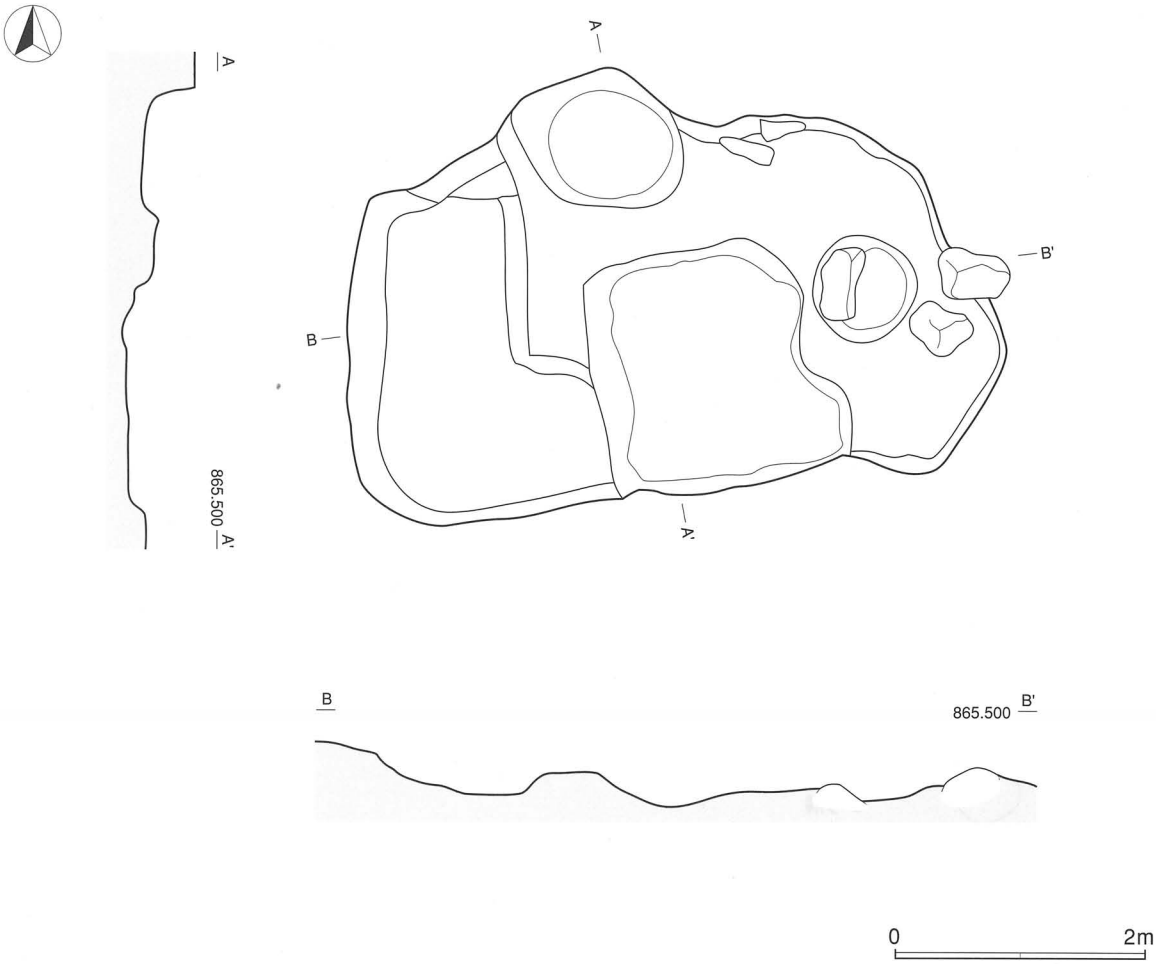
8 号溝

0　　5m

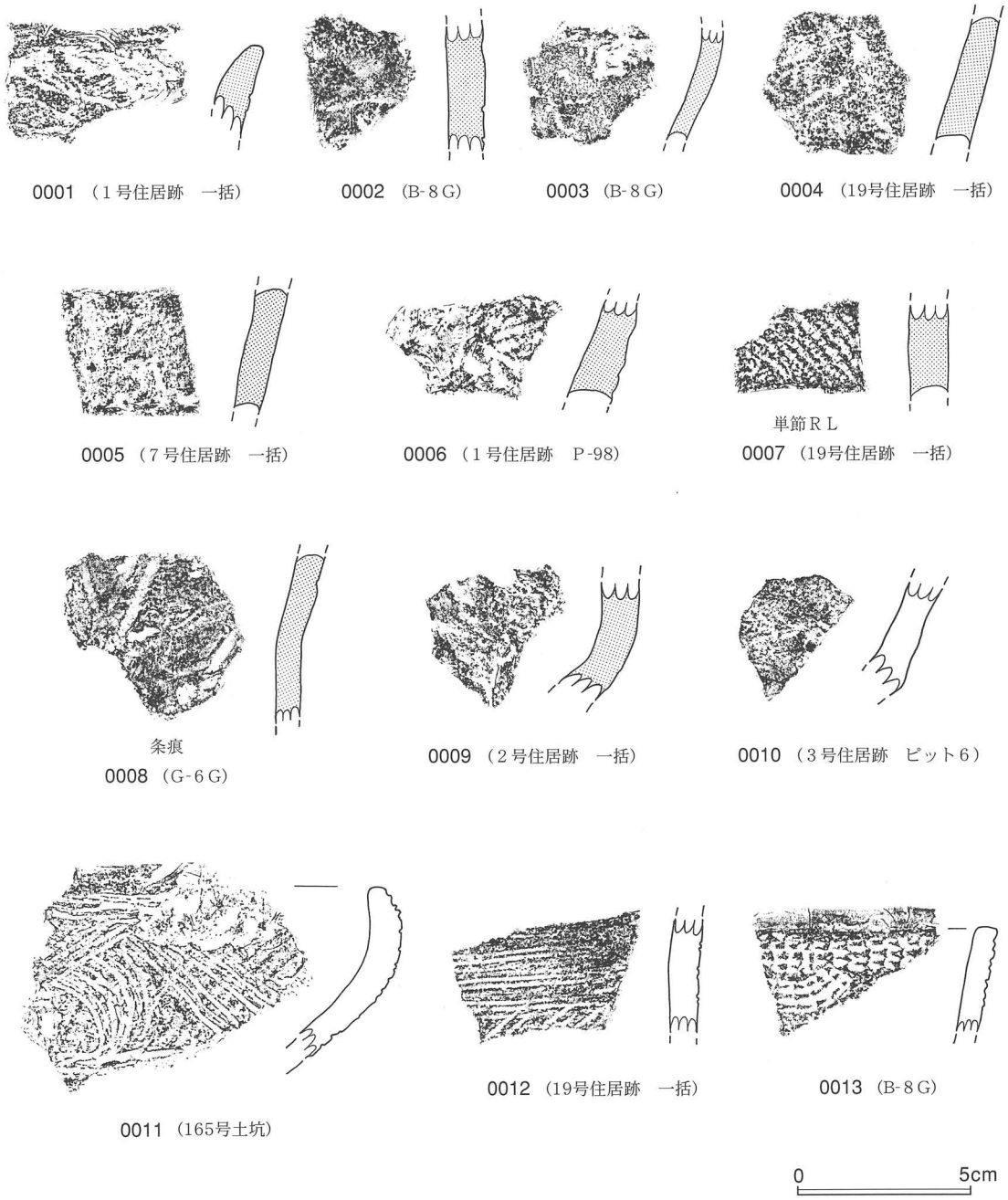
第127図　3～8号溝（S＝1/100）



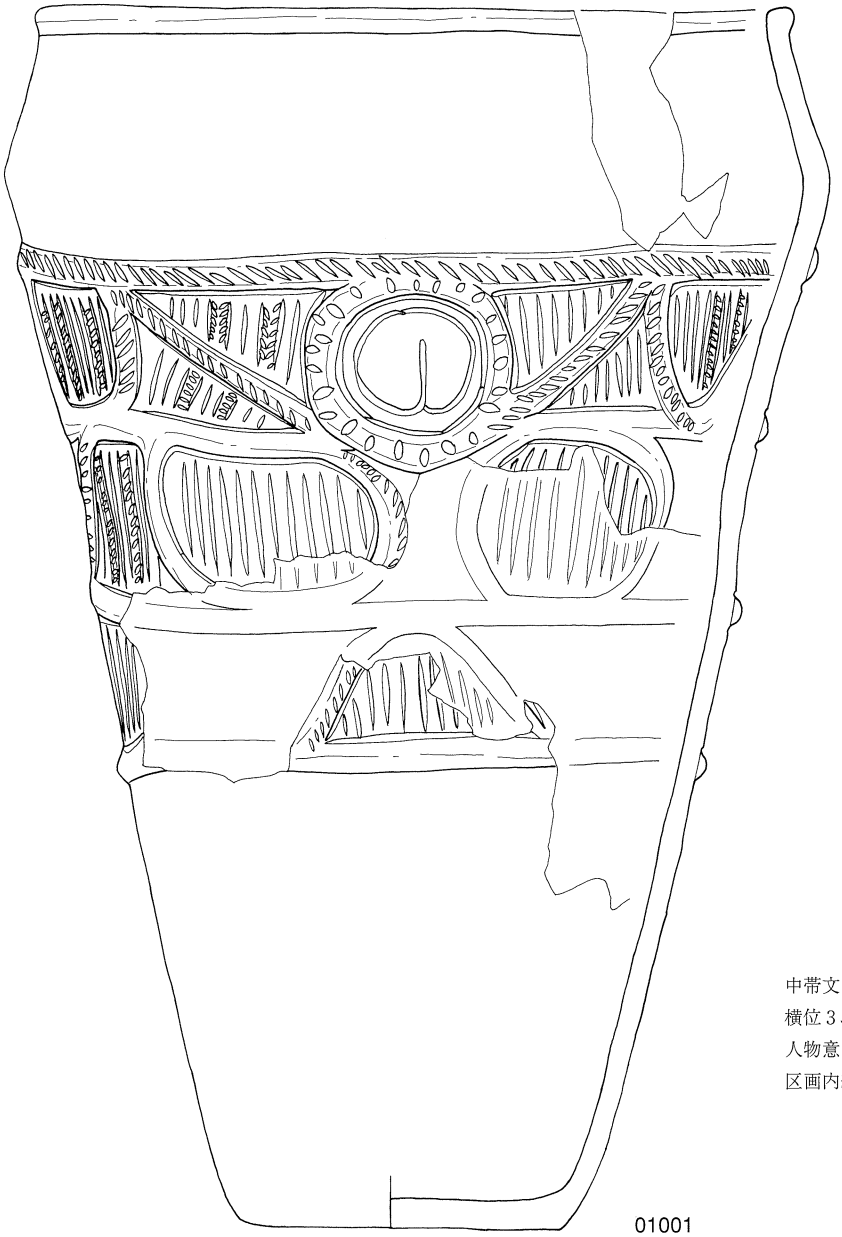
第128図　9～11号溝（S＝1/100）



第129図　1号竪穴（S＝1/60）

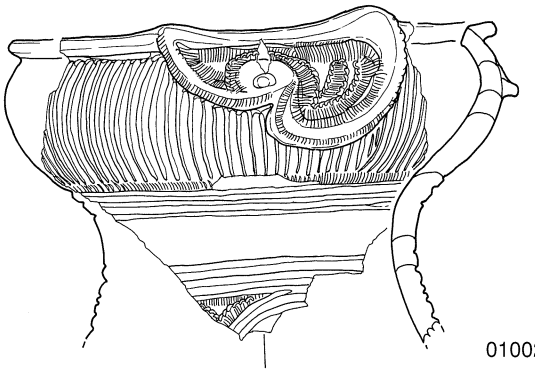


第130図　縄文時代遺構外出土遺物（S＝1/2）



中帯文
横位３段区画
人物意匠１単位
区画内縦位沈線充填

01001



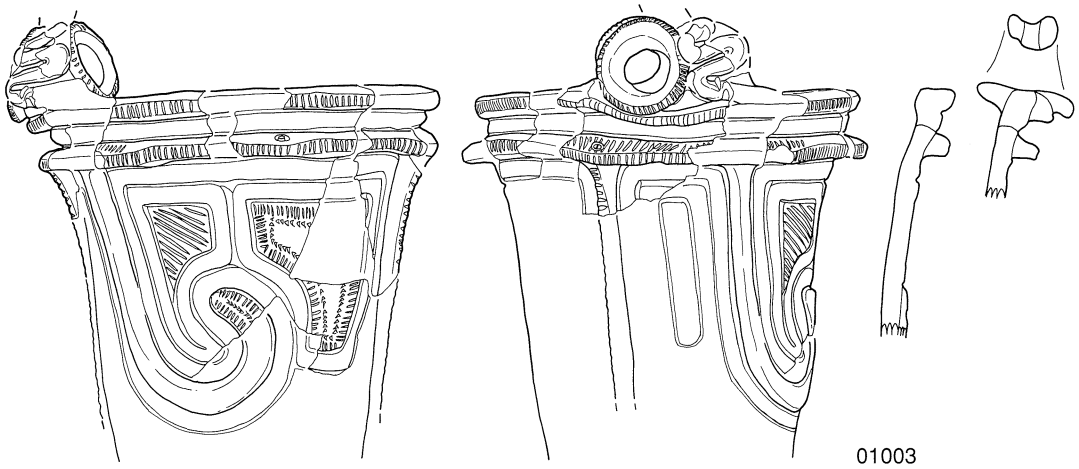
口縁部推定１単位の区画文様
区画内キャタピラ文
半截竹管刺突による蓮華文
内面黒彩　外面一部黒彩か

01002

0　10cm

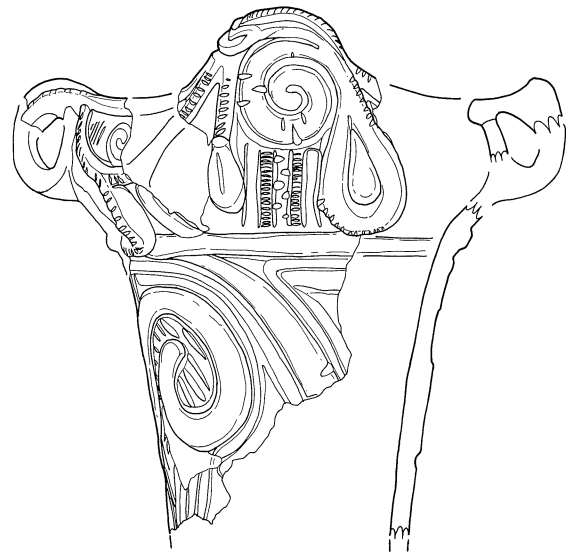
第131図　１号住居跡出土遺物（１）（S＝1/4）

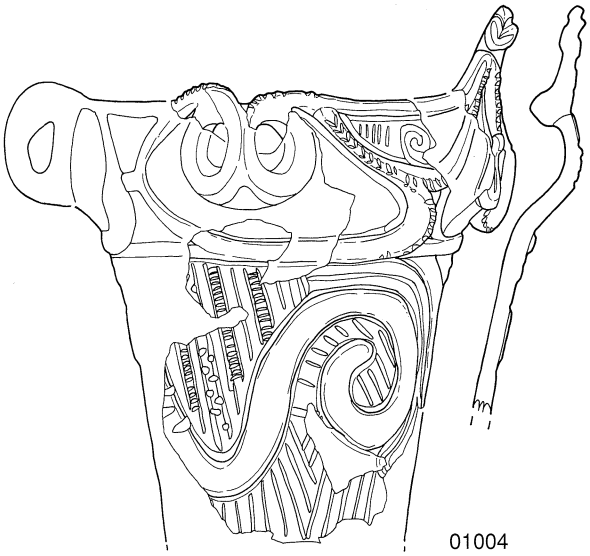
1号住居跡



01003

頸部鍔状隆帯体部パネル文
ＩＪ字状隆体区画
区画内斜位沈線、キャタピラ文、三角押し文



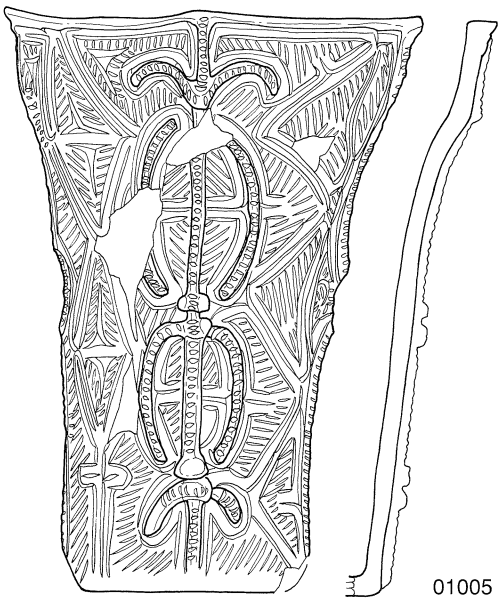


01004

口縁部４単位の把手
内１単位は隆帯により蛇状の装飾を付す
重三角区画
体部横位蛇行隆帯

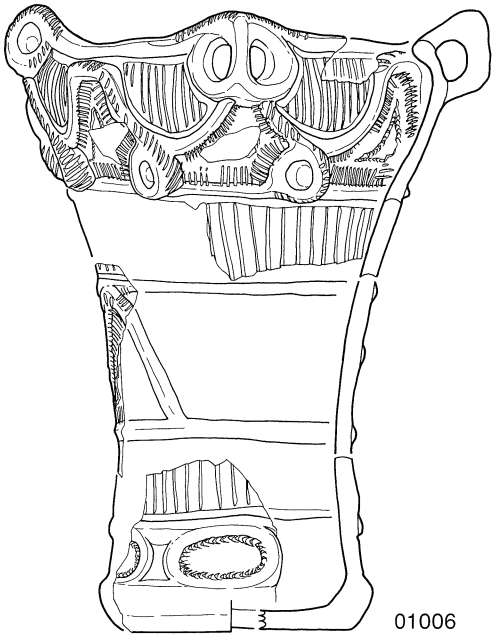
0　10cm

第132図　１号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）



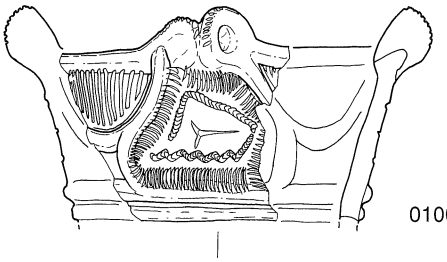
01005

４単位の隆帯区画
隆帯間は三角区画を重畳
施文は竹管内面を使用した半隆帯



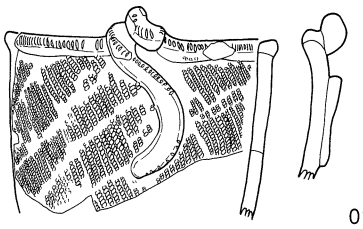
01006

口縁部重三角区画
４単位のミミズク把手
以下体部横位４段区画　中央は連続三角区画か
最下部楕円文



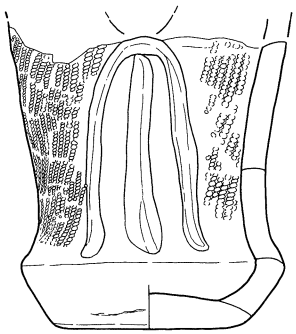
01007

口縁部重三角区画
区画内キャタピラ文、三角押し文、三叉文等



01008

口縁部１単位の隆帯貼付けによる小突起
体部単節ＲＬ施文

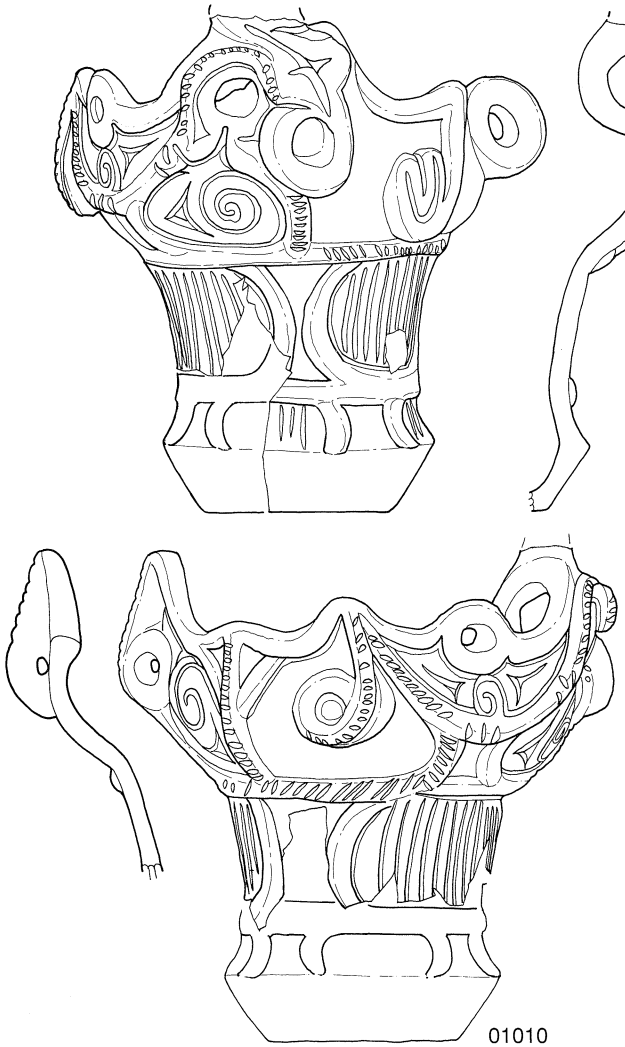


01009

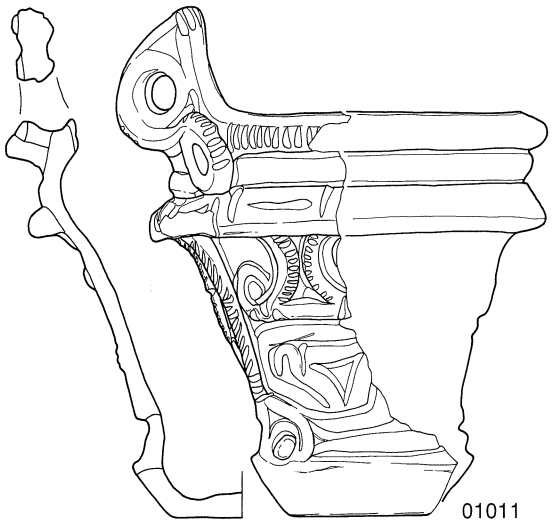
体部下半１単位の逆Ｕ字状隆帯に従位隆帯付加
単節ＲＬ
外面黒彩

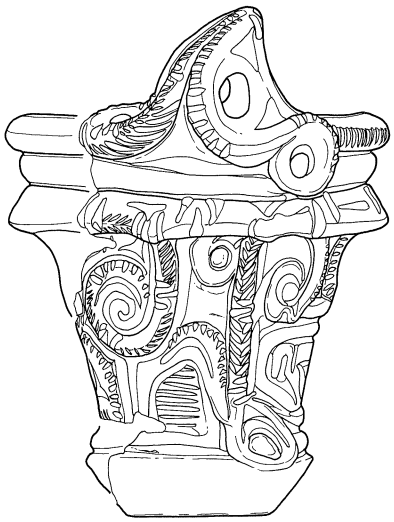
0　10cm

第133図　１号住居跡出土遺物（３）（Ｓ＝1/4）



口縁部崩れた重三角区画
４単位の把手　内１つは内面ミミズク状の大把手
半肉彫り的



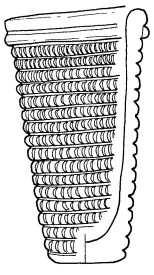


口縁部１単位の大把手から端末を巻き込む
頸部鍔状隆帯
体部端末を巻き込んだＩＪ字状隆帯区画のパネル文

0　10cm

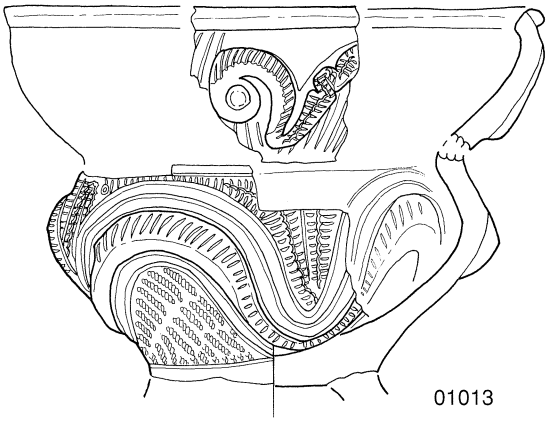
第134図　１号住居跡出土遺物（４）（Ｓ＝1/4）

1号住居跡



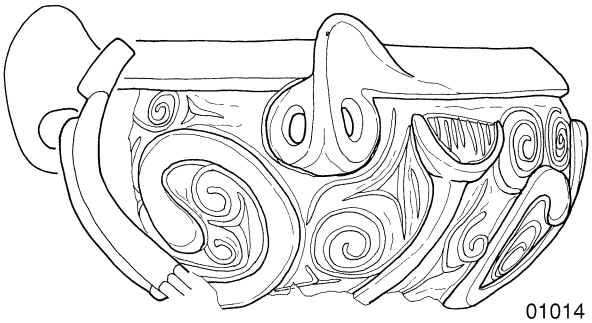
01012

体部半截竹管による連続刺突



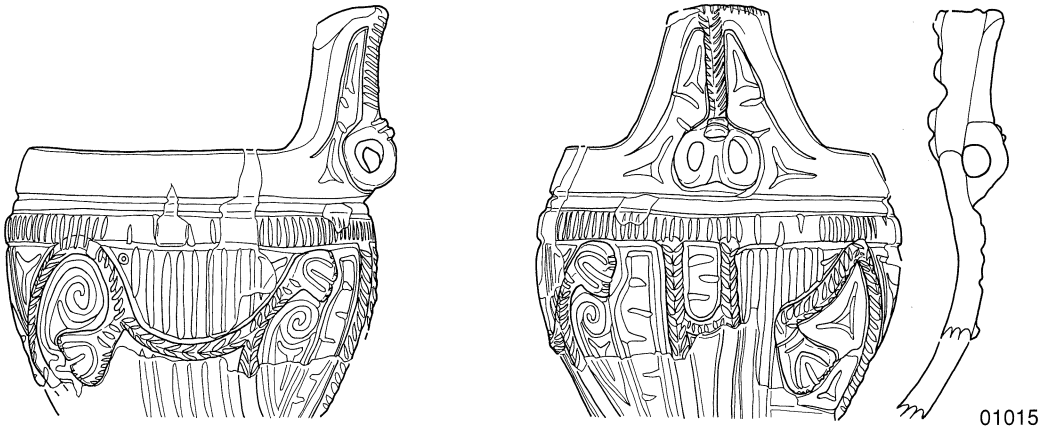
01013

体部横位蛇行隆帯
上位はキャタピラ文、蓮華文充填
下位は単節ＲＬ充填



01014

口縁部推定１単位のミミズク把手中位から貼付け
体部腕状モチーフ、渦巻状隆帯
隆帯間は渦巻き文三叉文等で充填



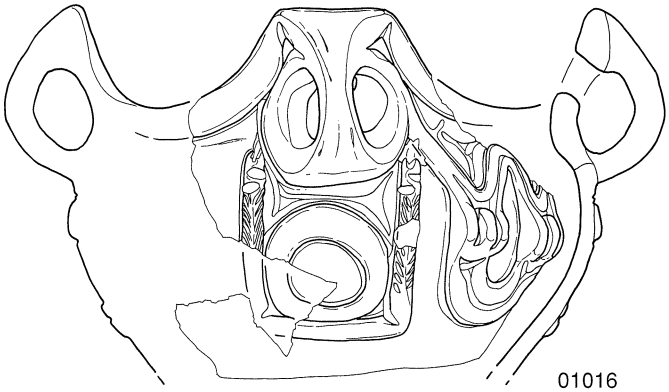
01015

口縁部１単位の大把手
頂部に人面状モチーフ
体部隆帯による腕状モチーフ
隆帯間は従位沈線等で充填

0　10cm

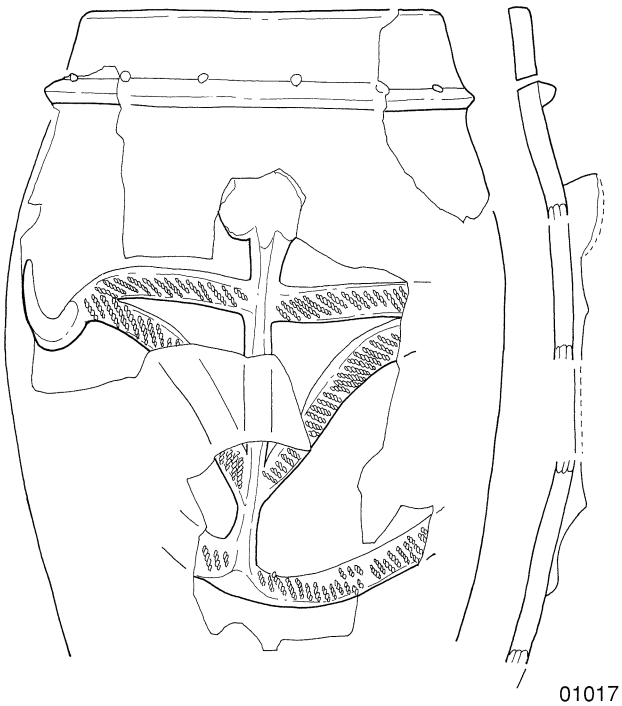
第135図　１号住居跡出土遺物（５）（Ｓ＝1/4）

1号住居跡



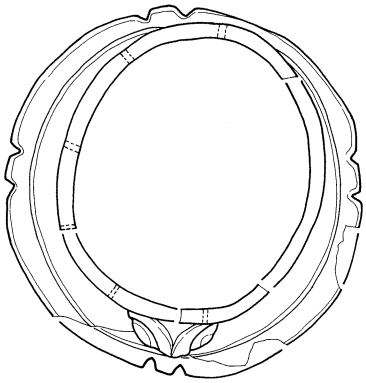
01016

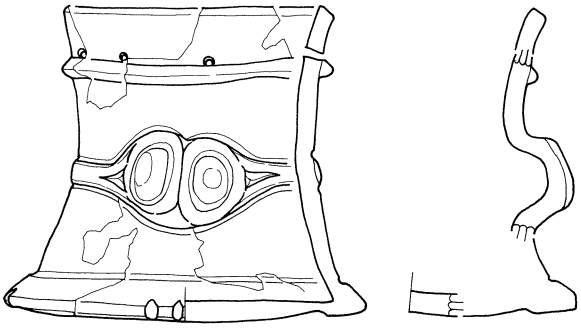
口縁部推定4単位のミミズク状把手
体部隆帯による文様展開
把手下部の隆帯に綾杉状刺突
外面黒彩



01017

体部推定2単位の人物意匠
人体意匠上に単節ＲＬ施文
頭部剥落
外面黒彩か





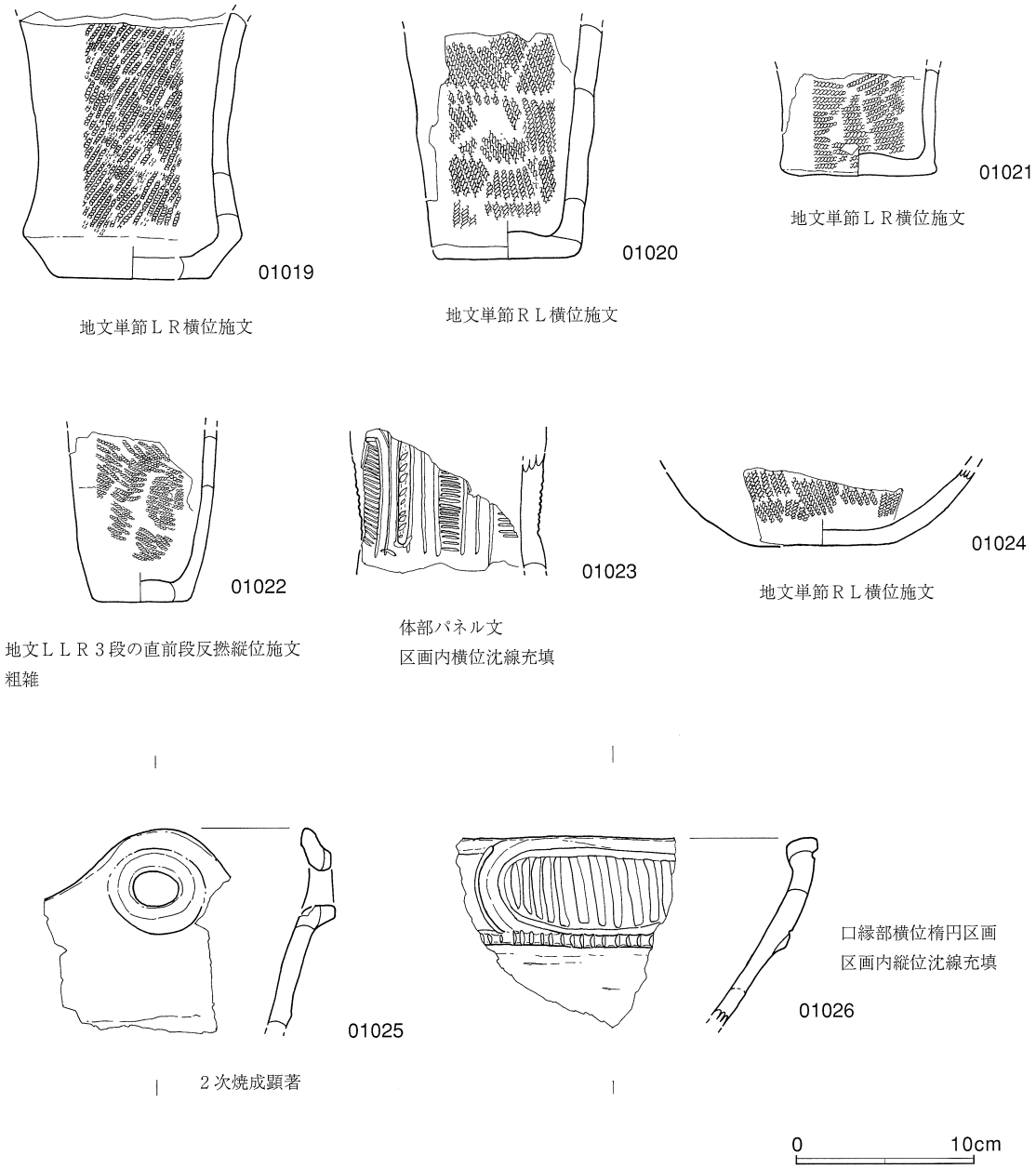
01018

体部1単位の眼鏡状突起（押出し）
底部2個1対の焼成前刻み4単位
内面赤彩、外面一部黒彩
土圧により器形の歪み顕著

0　10cm

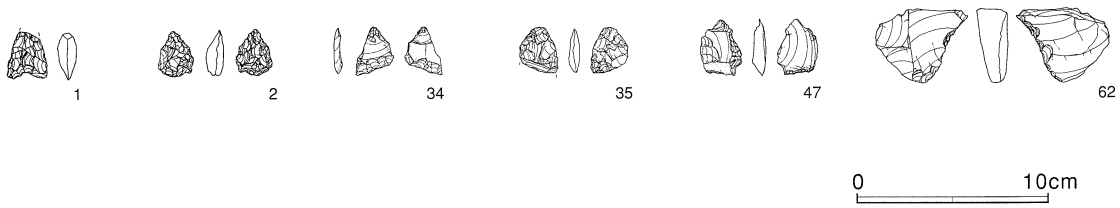
第136図　1号住居跡出土遺物（6）（S＝1/4）

1号住居跡



第137図　１号住居跡出土遺物（７）（Ｓ＝1/4）

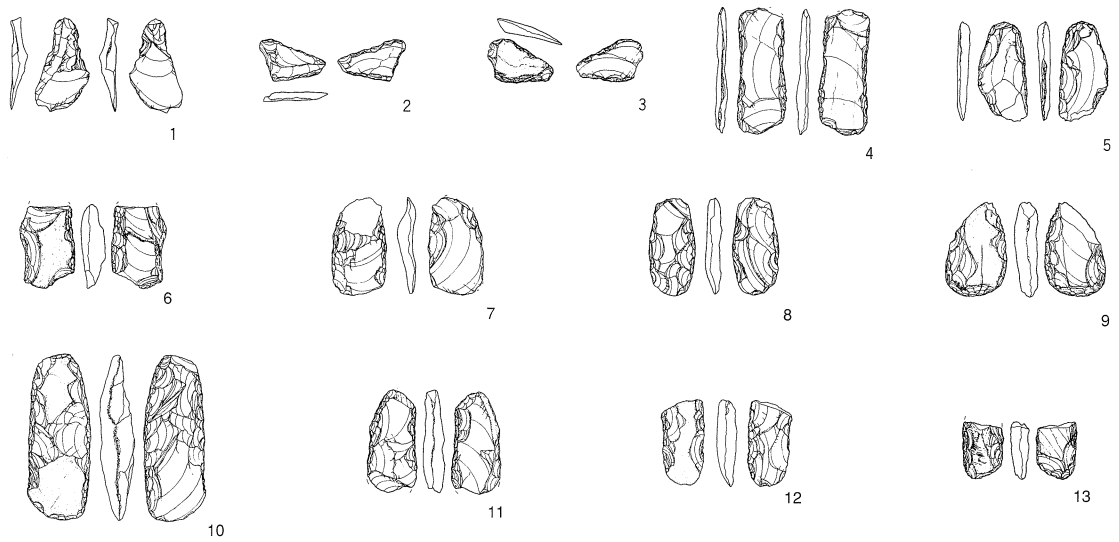
小形剥片石器



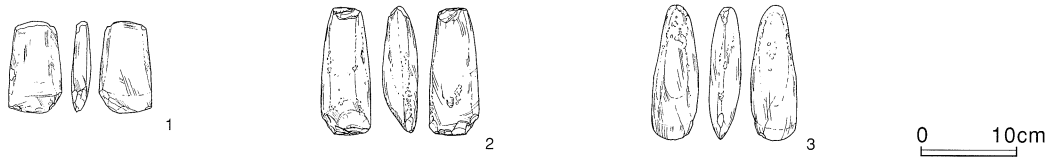
第138図　１号住居跡出土石器一覧（１）（Ｓ＝1/4）

1号住居跡

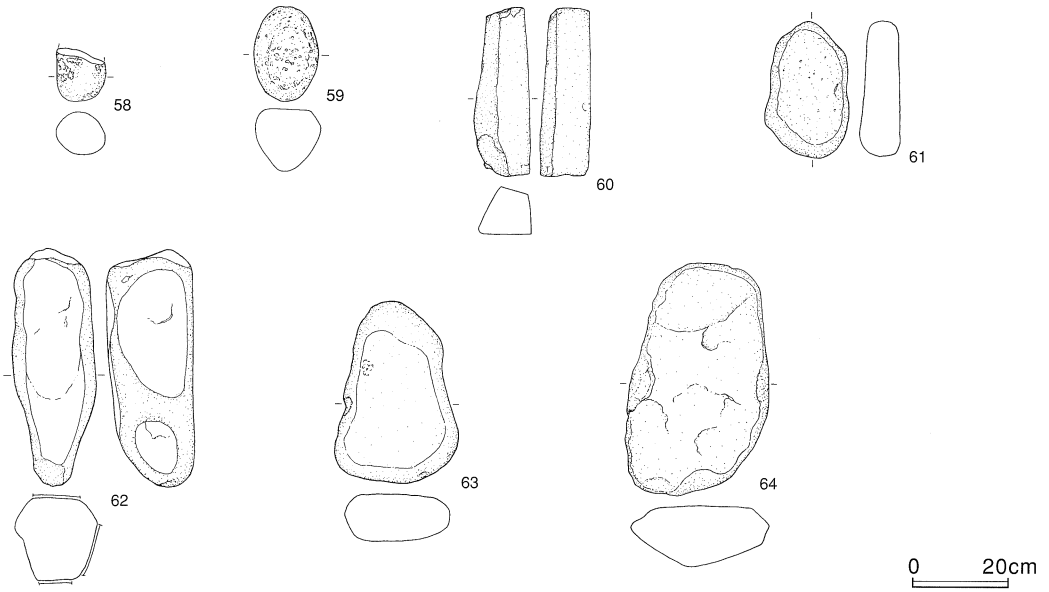
中形剥片石器



磨製石斧類

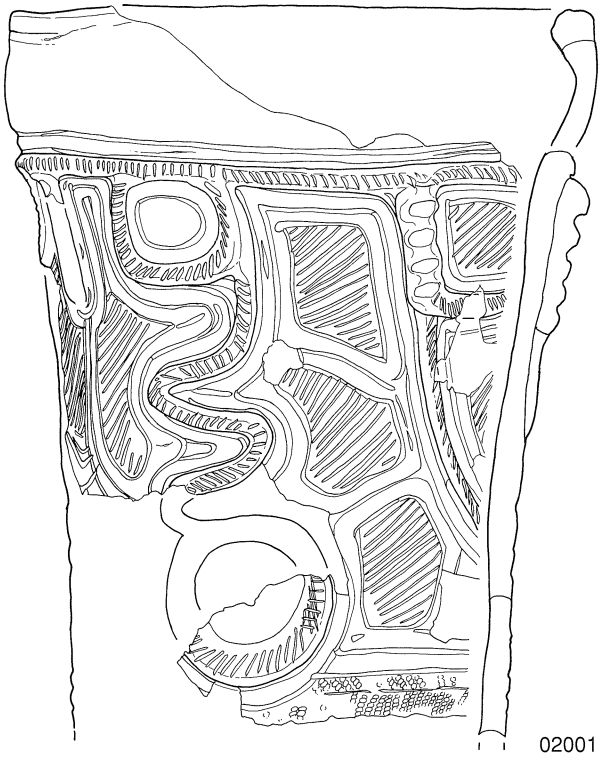


磨石類（大）

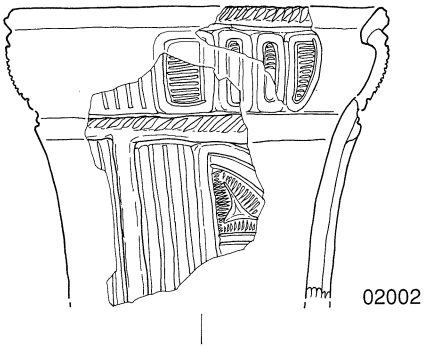


第139図　1号住居跡出土石器一覧（2）（S＝1/8・1/16）

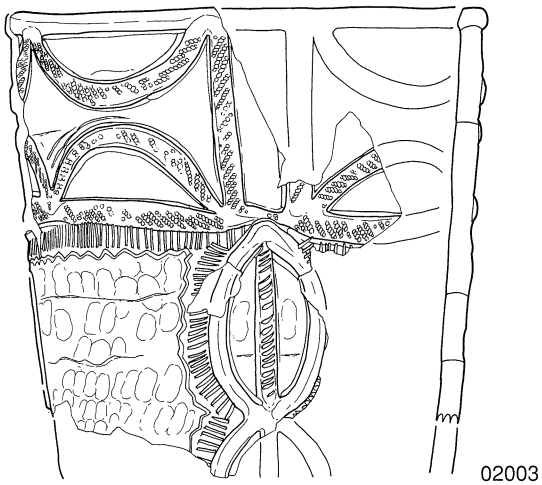
2号住居跡



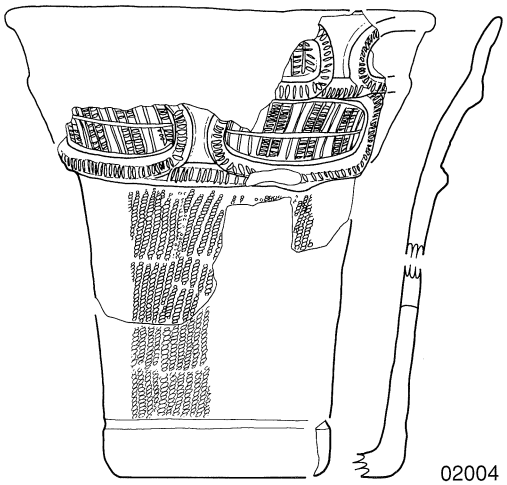
口縁部無文帯
体部パネル文
縦位蛇行隆帯他
区画内斜行沈線
下位に単節ＬＲ
輪積み痕一部残す



口縁部縦長区画
区画内横位沈線
体部パネル文区画内キャタピラ文、三叉文充填



口縁部隆帯により対向Ｕ字状モチーフ
隆帯上単節縄文施文
体部推定４単位隆帯区画
隆帯脇キャタピラ文、ジグザグ文

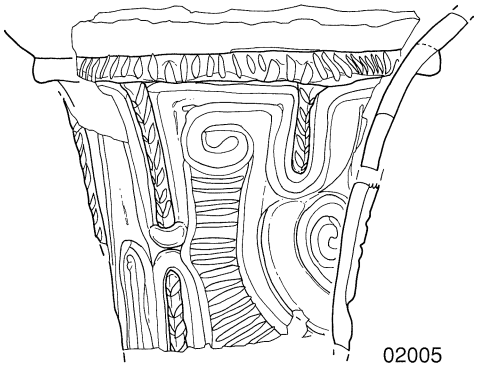


口縁部２段に楕円区画
区画内縦位沈線充填後縦走刻み
体部単節ＬＲ施文

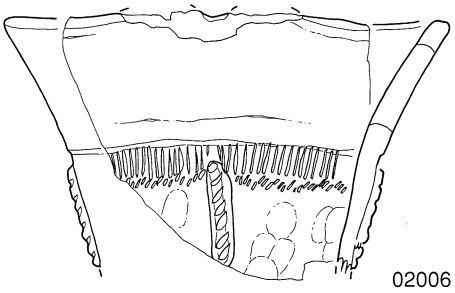
0　10cm

第140図　２号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）

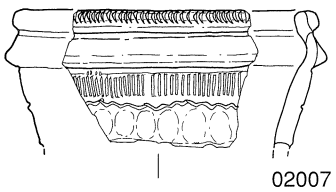
2号住居跡



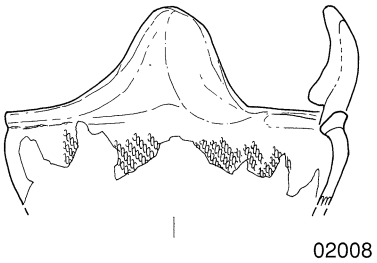
頸部鍔状隆帯
ＩＪ字状に隆帯で区画後沈線充填



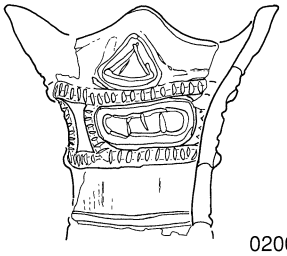
口縁部１単位の大把手（欠損）
頸部横位キャタピラ文
体部縦位隆帯貼付け（推定４単位）



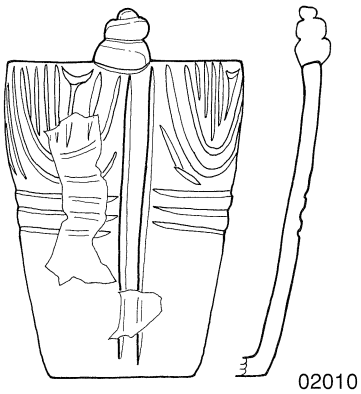
口唇部連続刺突
口縁部下隆帯により肥厚



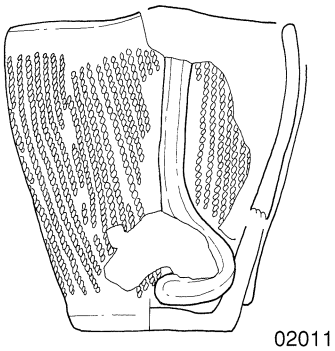
口縁部１単位の突起
口縁部内弯
地文単節ＲＬ横位施文



口縁部に小突起推定４単位
波頂下に沈線による三角文
口縁部楕円区画
細頸壷か



口縁部１単位の小突起
突起下から伸びる縦位沈線、
Ｕ字状モチーフで人体意匠

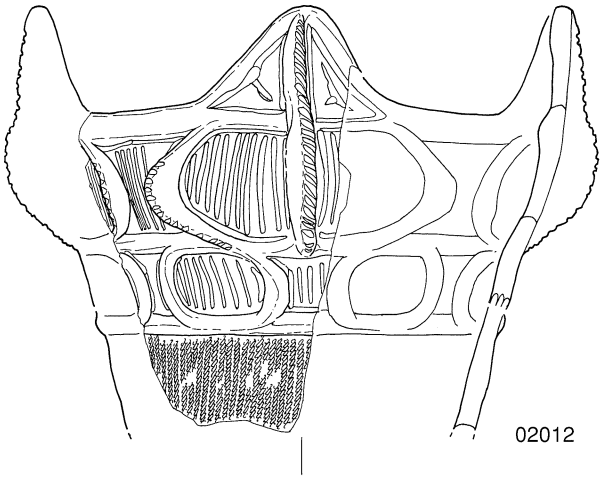


口縁部１単位の小突起
突起下から隆帯が垂下
隆帯端末を巻き込む

0　10cm

第141図　２号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

2号住居跡

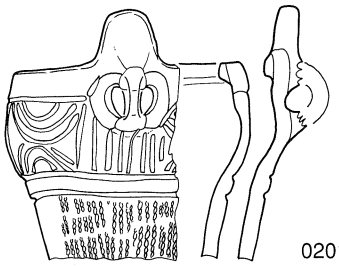


02012

口縁部小突起貼付け推定４単位
口縁部楕円区画文重畳
体部撚り糸Ｌ縦位施文

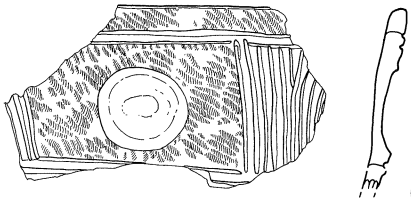
02013

口縁部外面にミミズク把手
器壁薄く丁寧に調整される



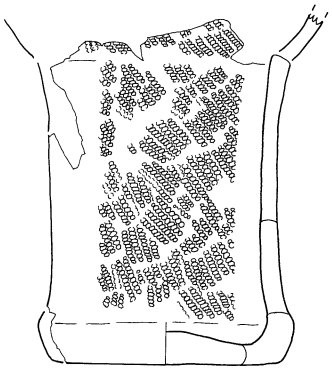
02014

口縁部に１単位の小突起
突起下外面にミミズク把手
口縁部対向Ｕ字
縦位沈線



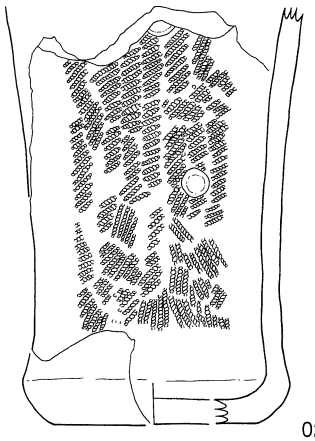
02015

１段の縄文施文後横位沈線、
縦位沈線、円文施文



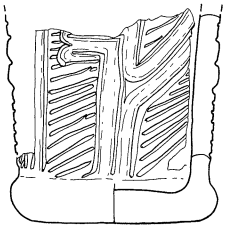
02016

体部単節ＲＬ施文



02017

残存部位に２カ所の円文
体部は基本的に単節ＬＲ縦位施文



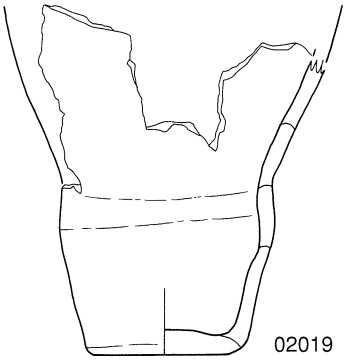
02018

体部パネル文
区画内横位・斜位沈線充填

0　10cm

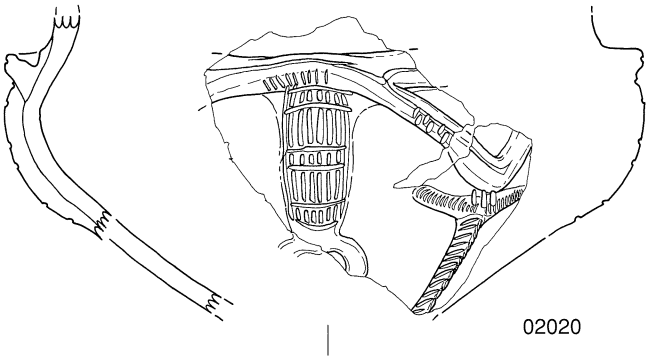
第142図　２号住居跡出土遺物（３）（Ｓ＝1/4）

2号住居跡



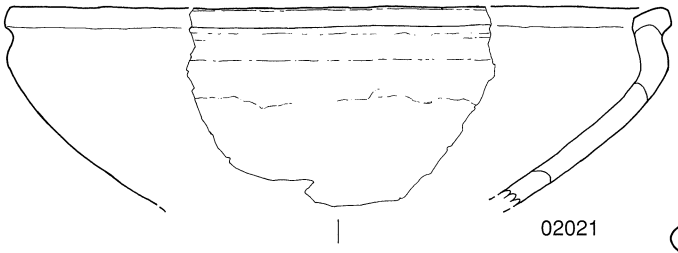
02019

無文ではあるが器壁が薄く体部調整丁寧



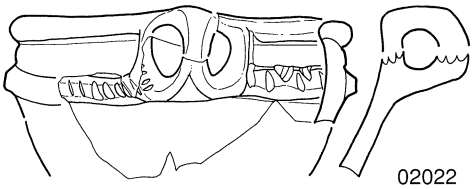
02020

小破片からの復元
口縁部欠損
体部文様抽象文か



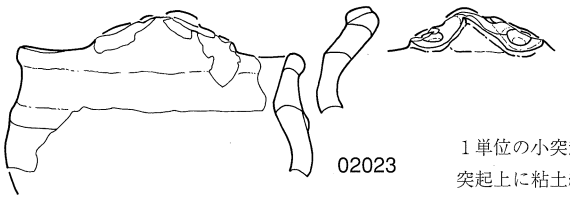
02021

調整丁寧



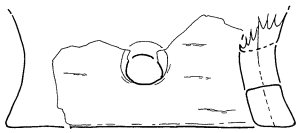
02022

口縁部外面ミミズク状把手



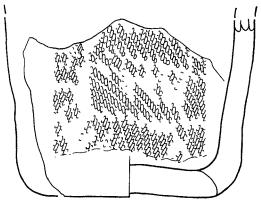
02023

1単位の小突起
突起上に粘土紐貼付け



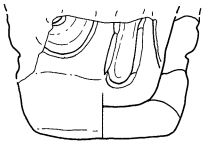
02024

円形透かし



02025

地文単節ＲＬ横位施文
底部付近撫で消し



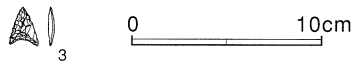
02026

0　10cm　　0　5cm

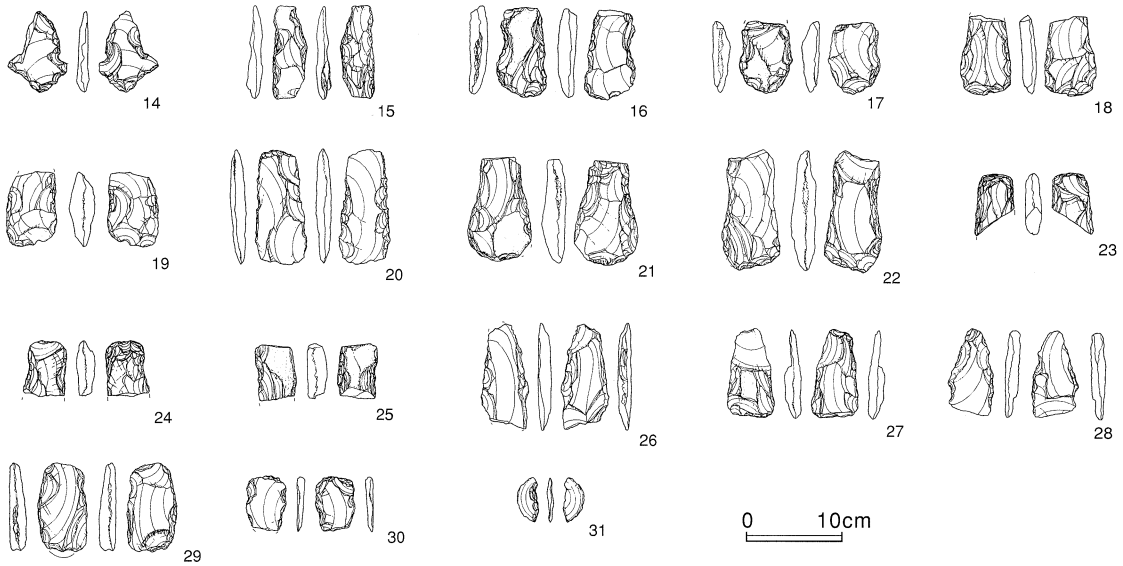
第143図　2号住居跡出土遺物（4）（02019～02025　S＝1/4・02026　S＝1/2）

2号住居跡

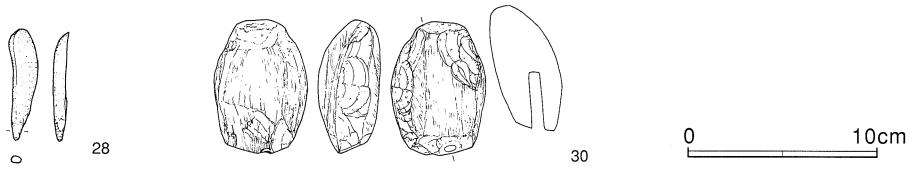
小形剥片石器



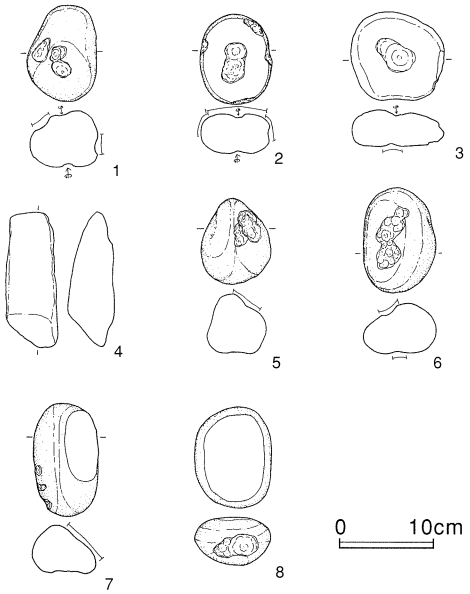
中形剥片石器



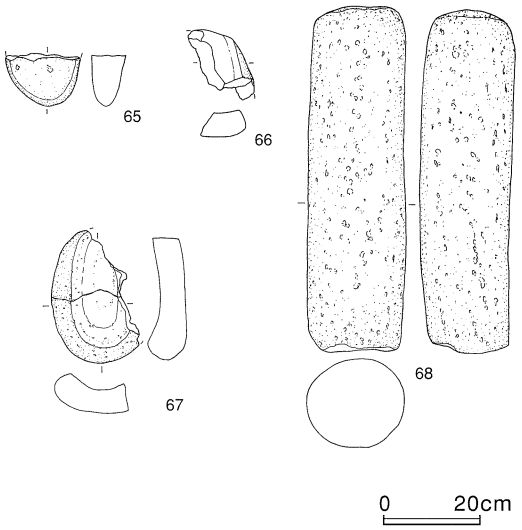
大珠類



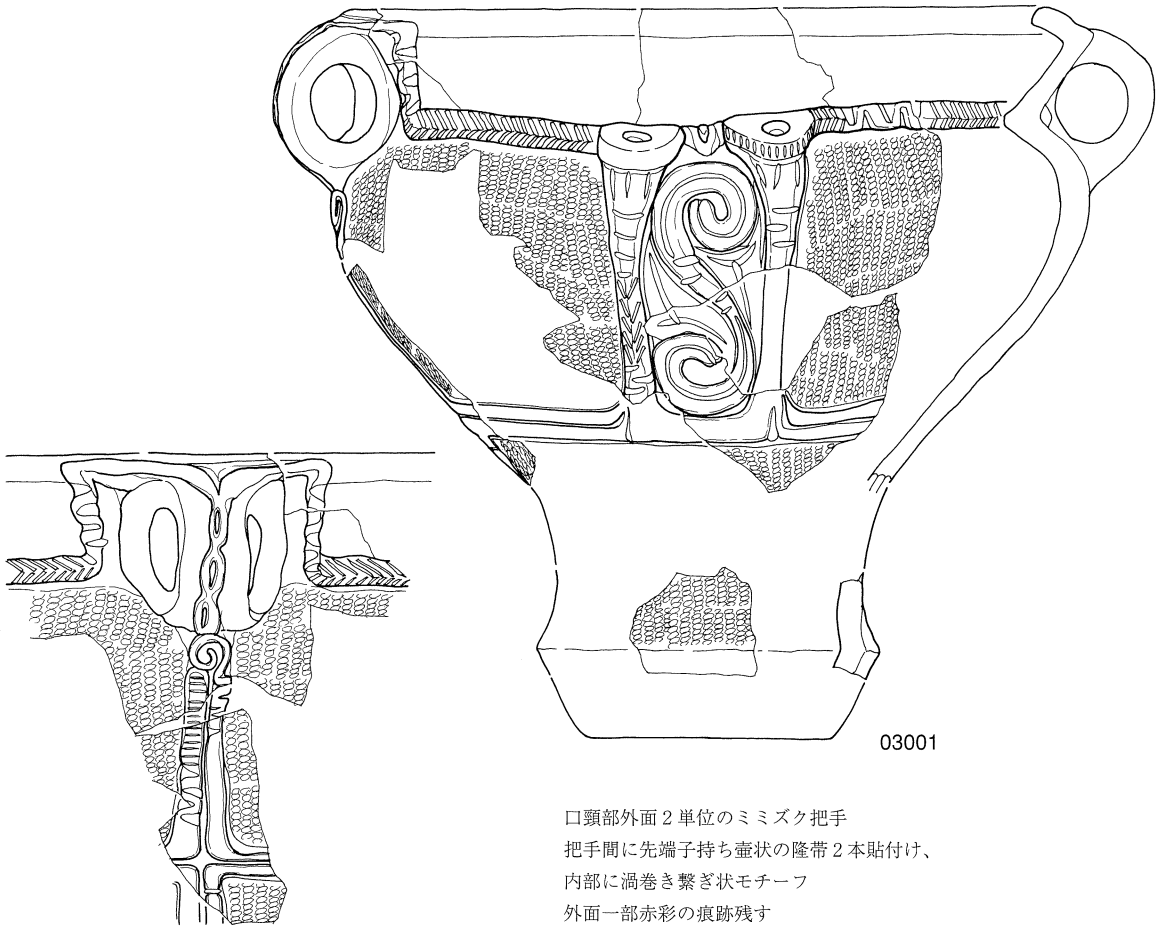
磨石類（小）



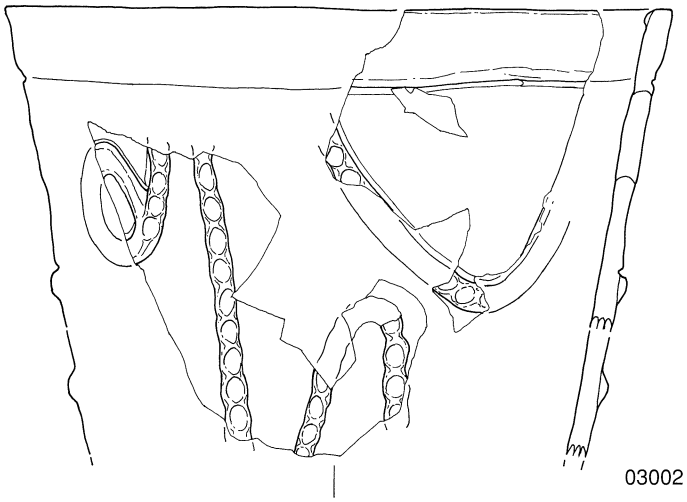
磨石類（大）



第144図　2号住居跡出土石器一覧（S＝1/4・1/8・1/16）



口頸部外面２単位のミミズク把手
把手間に先端子持ち壷状の隆帯２本貼付け、
内部に渦巻き繋ぎ状モチーフ
外面一部赤彩の痕跡残す

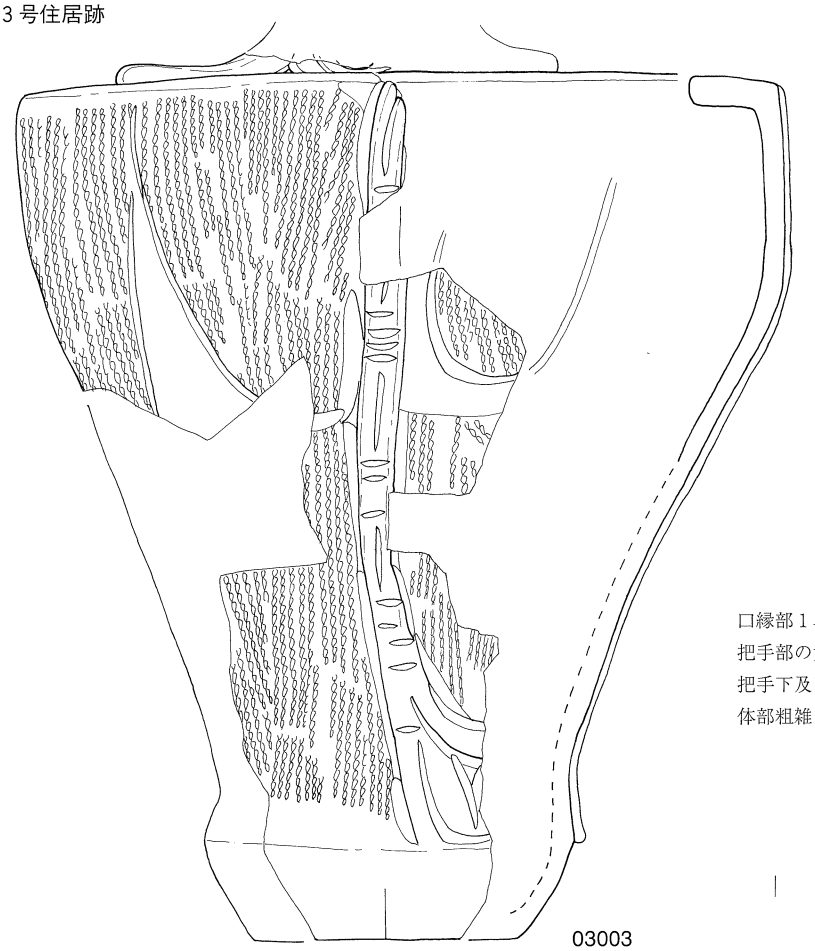


接合しない大型破片から器形復元
鎖状隆帯による対向U字状モチーフか

0　10cm

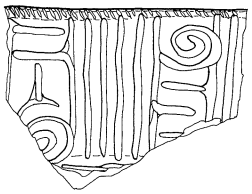
第145図　３号住居跡出土遺物（１）（S＝1/4）

3号住居跡



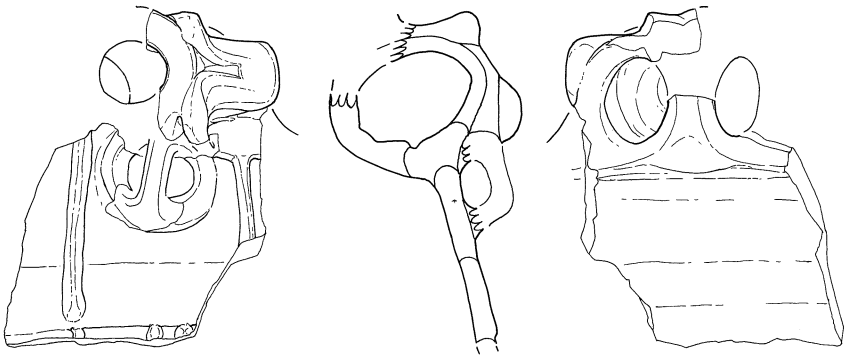
口縁部1単位の大型把手
把手部の大半を欠損
把手下及びその対称の位置から隆帯垂下
体部粗雑にU字状縄文磨り消し

03003



03004

口唇部刻み施文後沈線施文
更に軽く撫でて最終調整



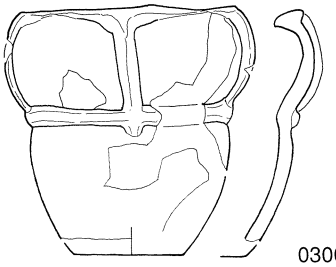
03005

ミミズク状の大把手下外面にミミズク状把手付加

0　10cm

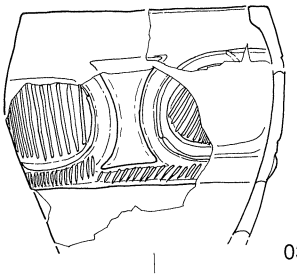
第146図　3号住居跡出土遺物（2）（S＝1/4）

3号住居跡



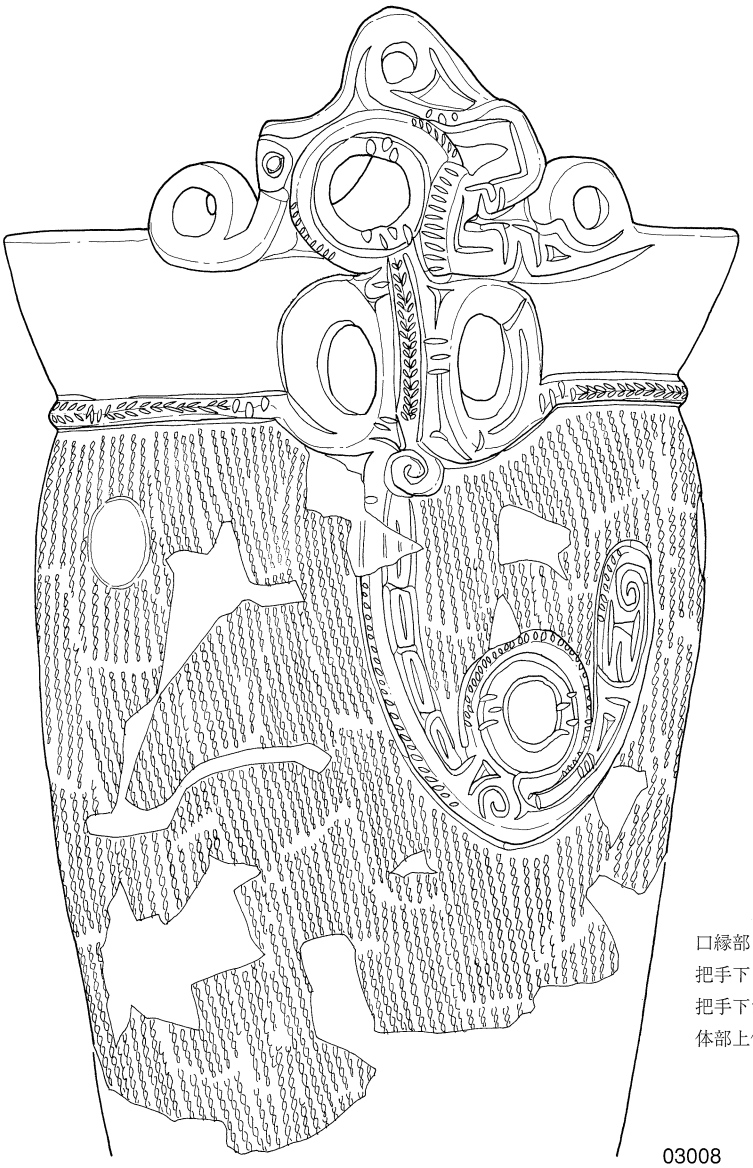
03006

口縁部、頸部横位隆帯
隆帯間を縦位隆帯で4単位に区画



03007

平口縁
頸部楕円区画推定4単位
区画内縦位及び斜位沈線充填



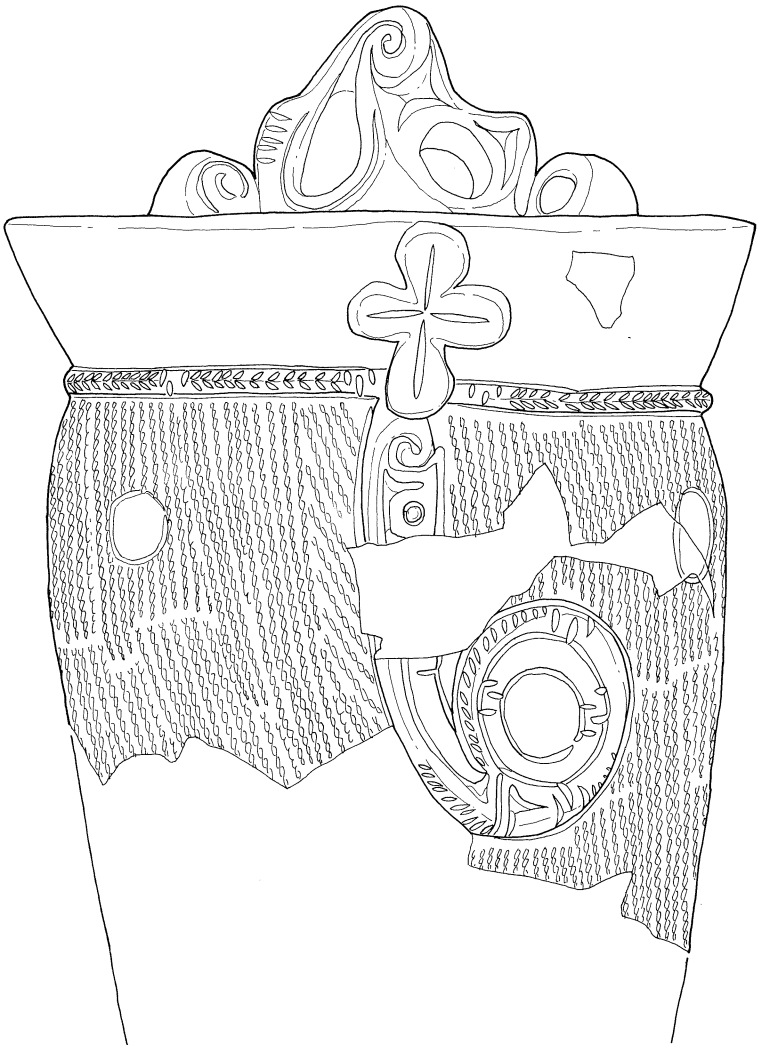
口縁部1単位の大把手
把手下とその対称の位置にミミズク把手
把手下から隆帯垂下
体部上位に円文4単位

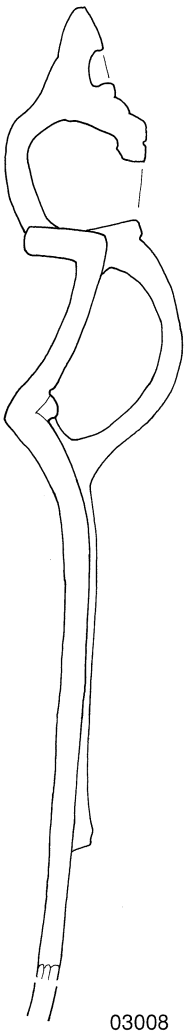
03008

0　10cm

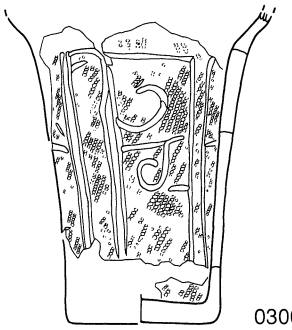
第147図　3号住居跡出土遺物（3）（S＝1/4）

3号住居跡



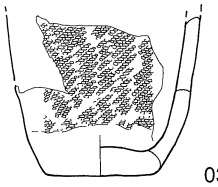


03008



03009

頸部で強くくびれ口縁部が外上方に開く
体部は沈線により文様を展開
地文単節ＬＲ横位施文



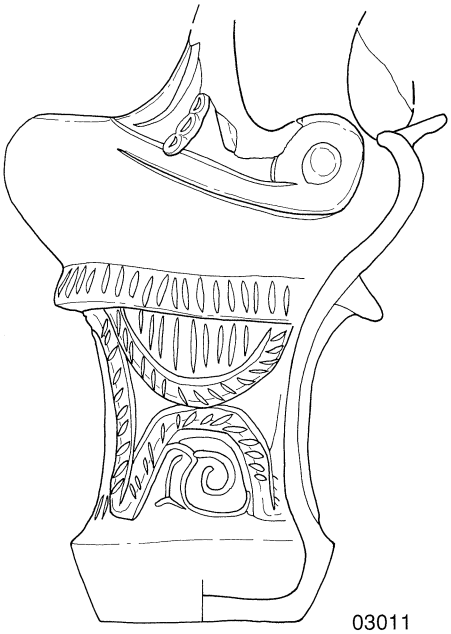
03010

地文単節ＲＬ縦位施文

0　10cm

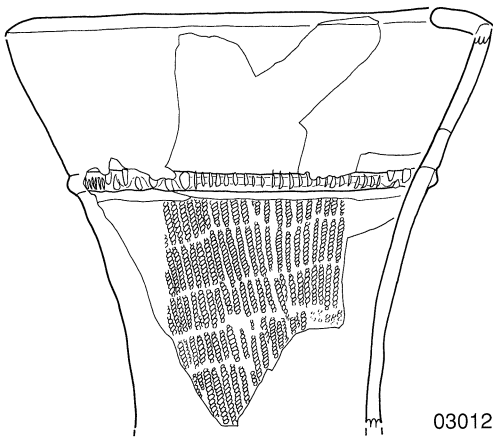
第148図　３号住居跡出土遺物（４）（Ｓ＝1/4）

3号住居跡



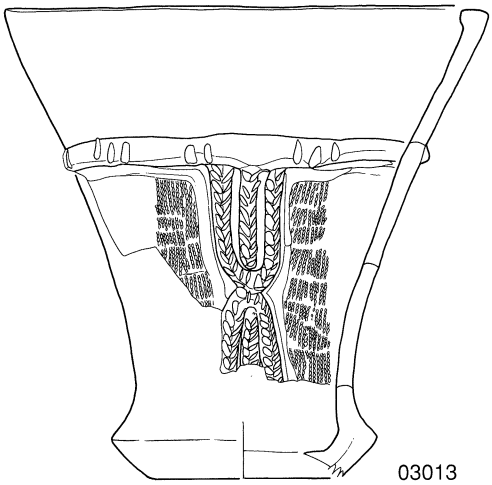
03011

口縁部1単位の大把手
頸部鍔状隆帯
体部縦位及び対向U字状隆帯



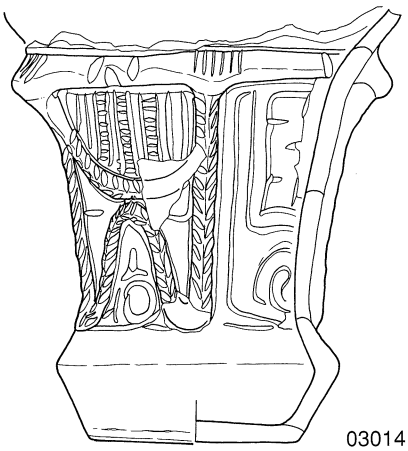
03012

口縁部屈曲
頸部横位隆帯
隆帯上刻み及び交互刺突



03013

口縁部内面粘土紐貼付け
頸部鍔状隆帯
体部推定4単位対向U字状モチーフ
モチーフ上綾杉状刻み

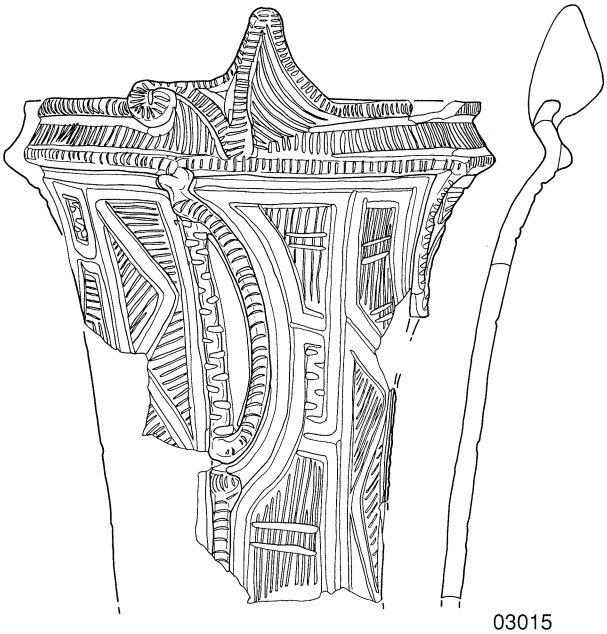


03014

頸部鍔状隆帯
体部推定4単位の縦位隆帯区画の
内部対向U字状モチーフ推定2単位

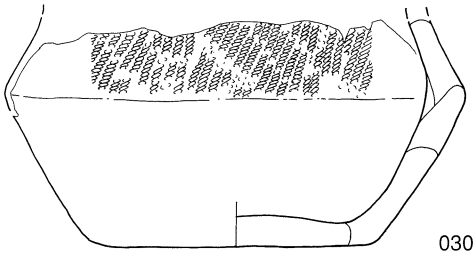
0　10cm

第149図　3号住居跡出土遺物（5）（S＝1/4）



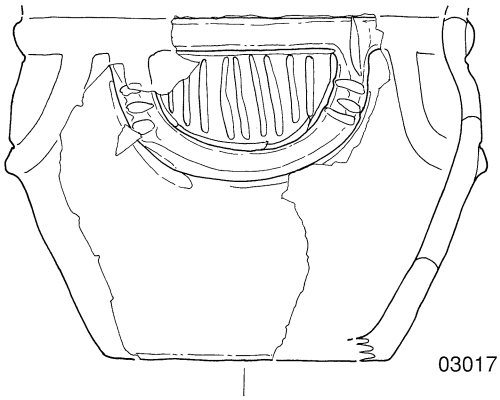
口縁部１単位の大把手
頸部鍔状隆帯未発達
体部推定４単位隆帯区画
体部パネル文

03015

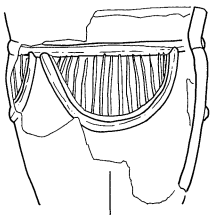


03016

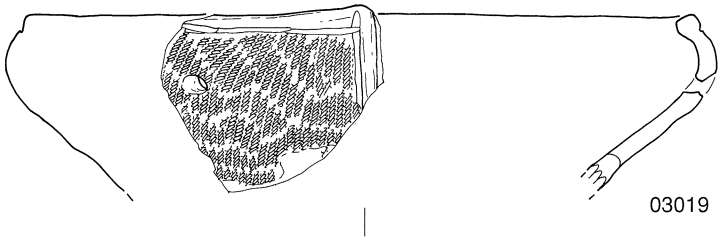
地文単節ＲＬ縦位施文



03017



03018



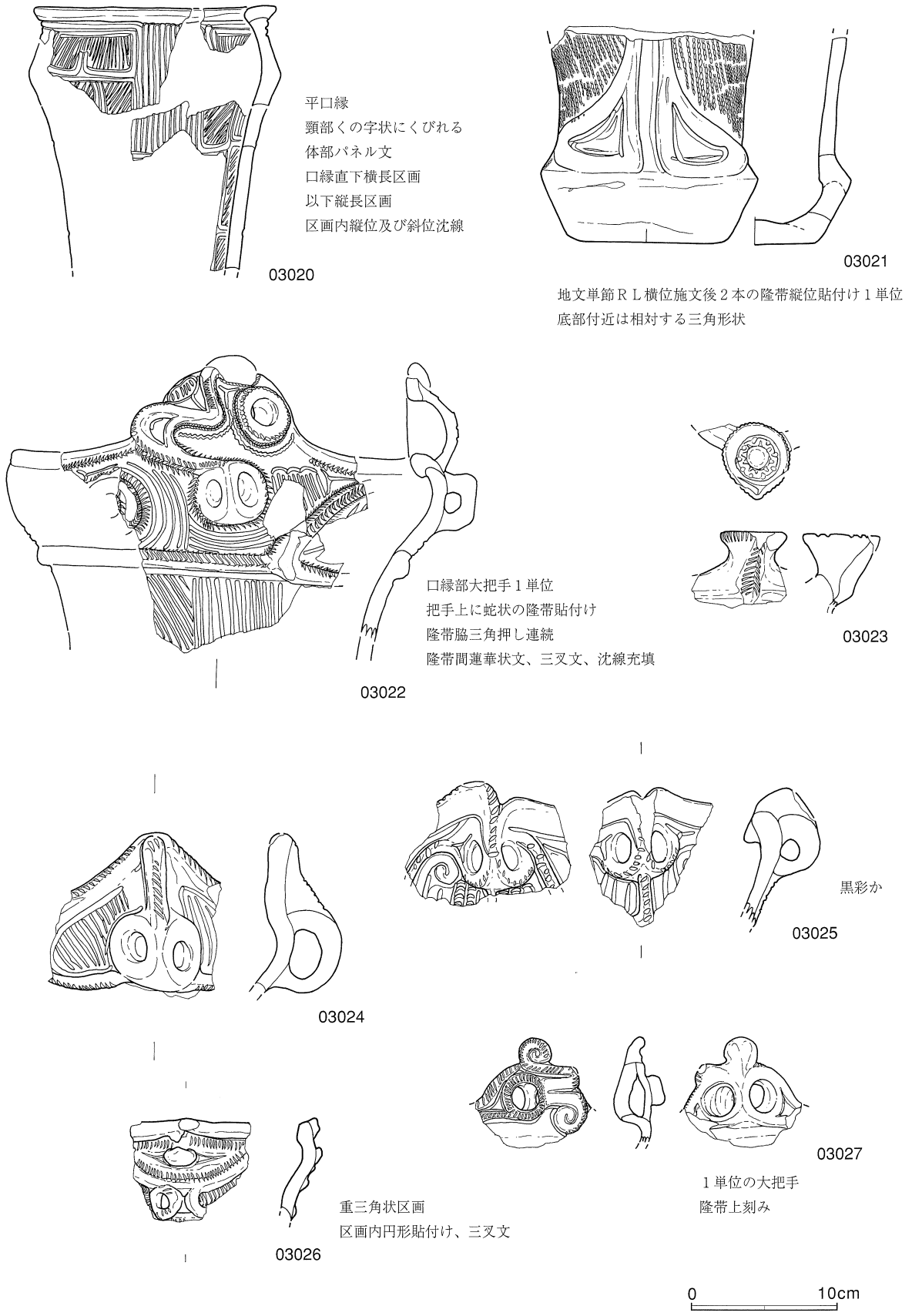
03019

口縁部大きく開く
横位、縦位隆帯貼付け
補修孔有り
地文０段多条ＲＬ斜位施文

0　10cm

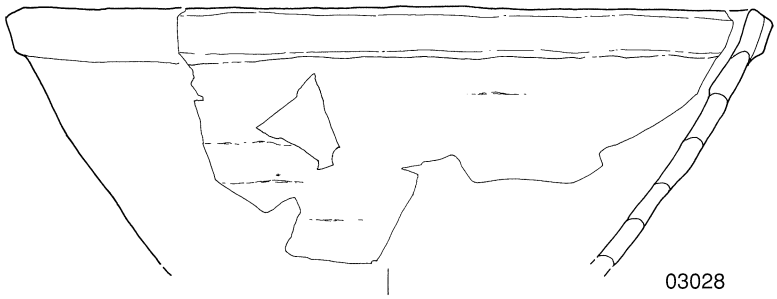
第150図　３号住居跡出土遺物（６）（Ｓ＝1/4）

3号住居跡

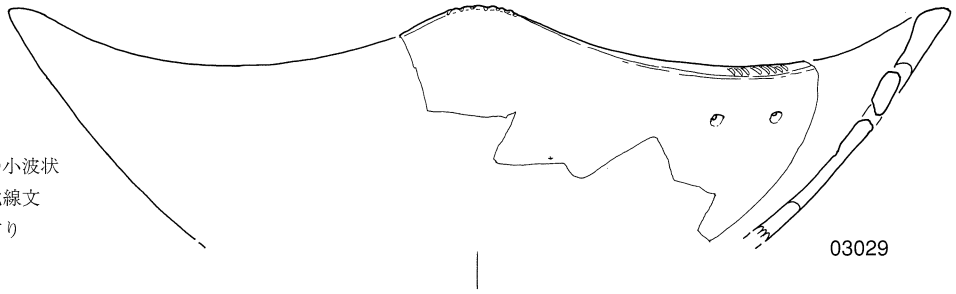


第151図　３号住居跡出土遺物（７）（Ｓ＝1/4）

3号住居跡

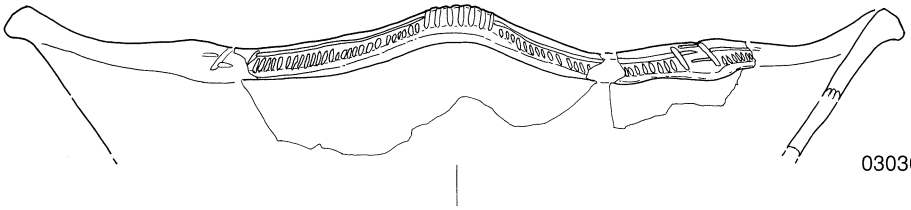


03028



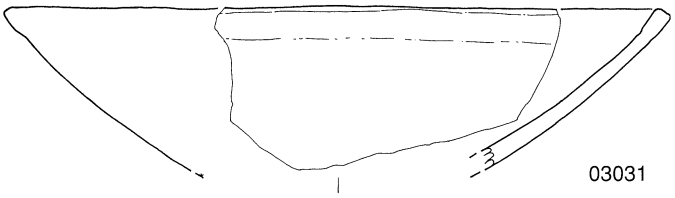
4単位の小波状
口唇部沈線文
補修孔有り

03029

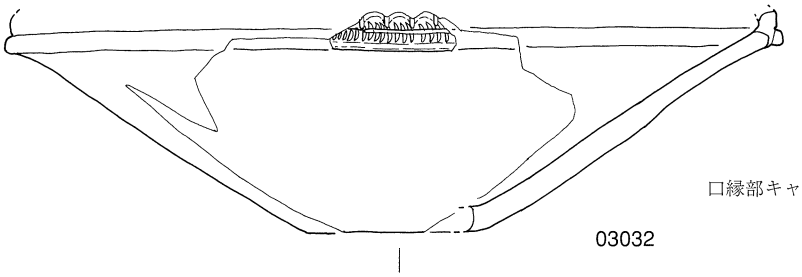


4単位の小波状
口唇部沈線文

03030



03031



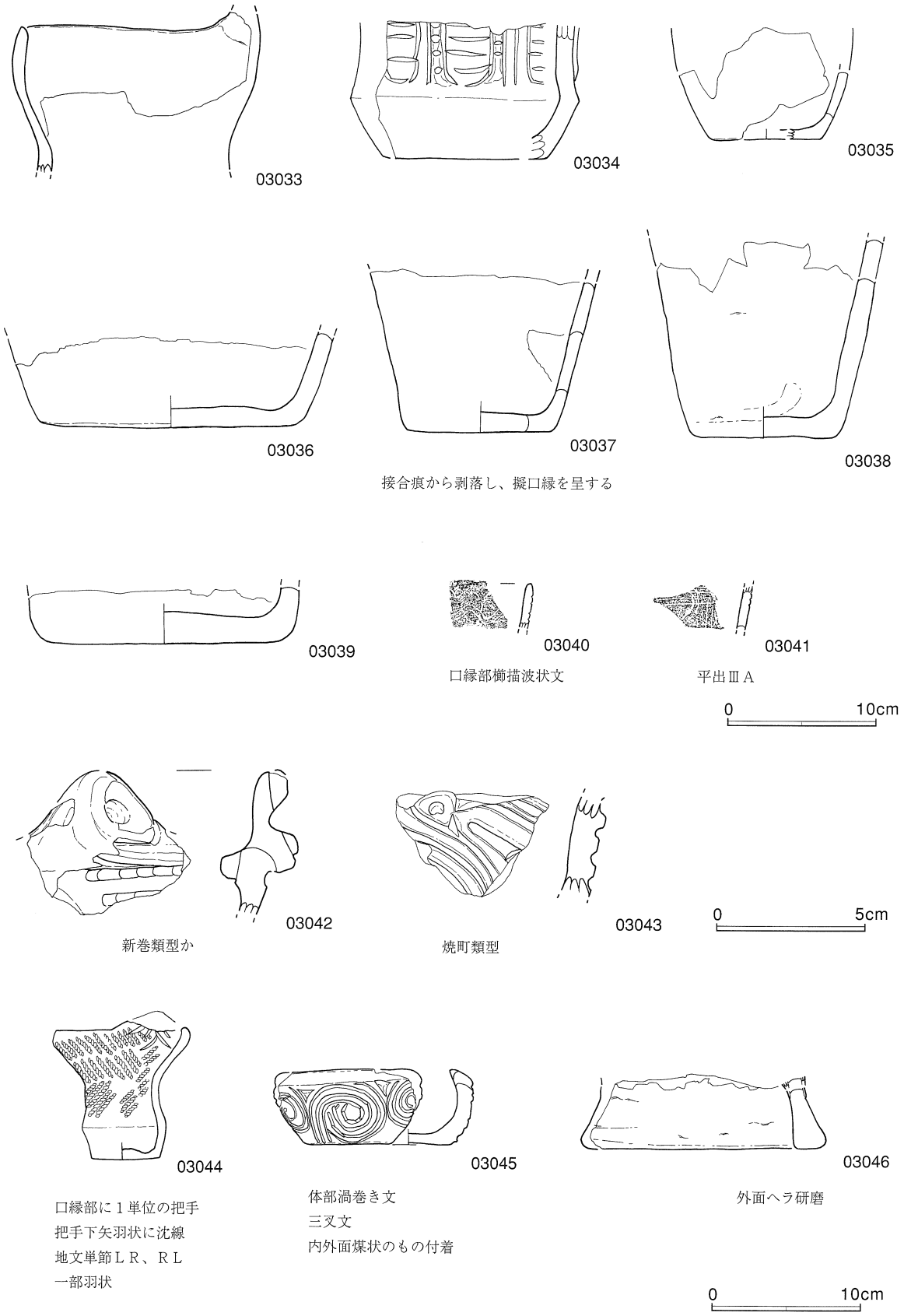
口縁部キャタピラ文、蓮華状刺突

03032

0　10cm

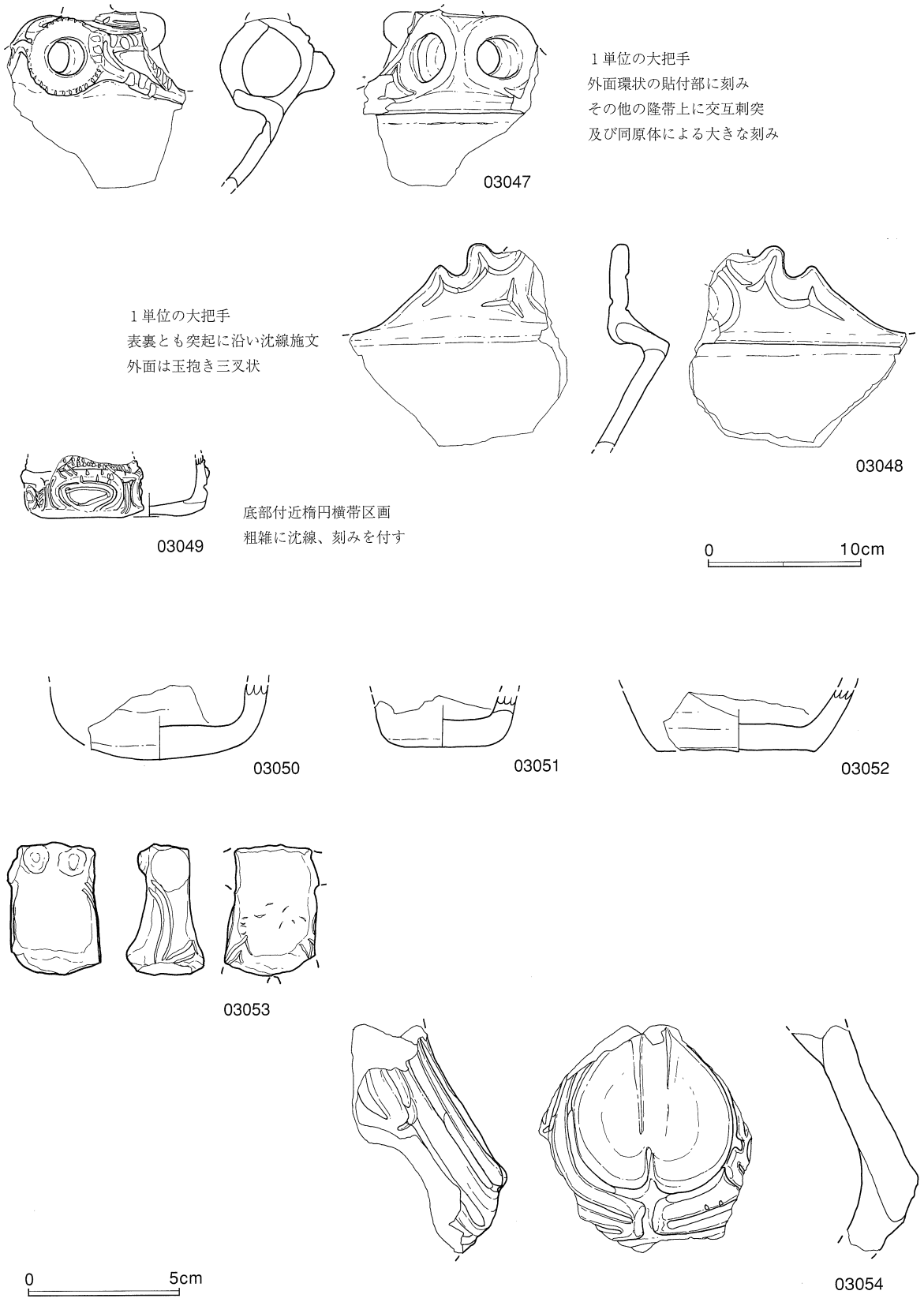
第152図　3号住居跡出土遺物（8）（S＝1/4）

3号住居跡



第153図　3号住居跡出土遺物（9）（03033～03041・03044～03046　S＝1/4・03042・03043　S＝1/2）

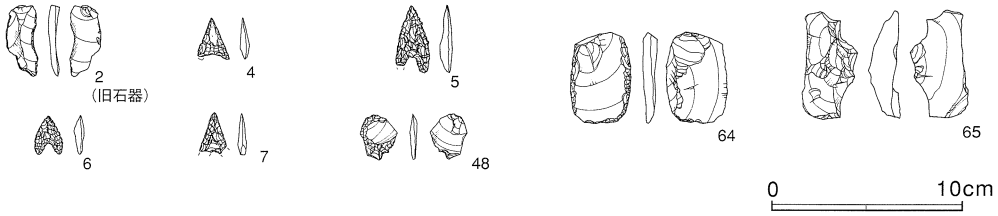
3号住居跡



第154図　3号住居跡出土遺物（10）（03047～03049　S＝1/4・03050～03054　S＝1/2）

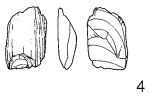
3号住居跡

小形剥片石器

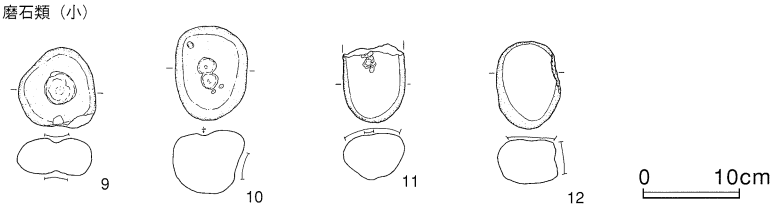


中形剥片石器

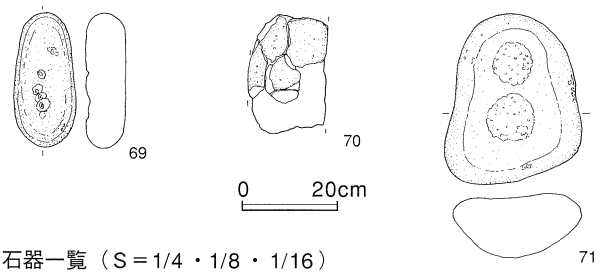
磨製石斧類



磨石類（小）

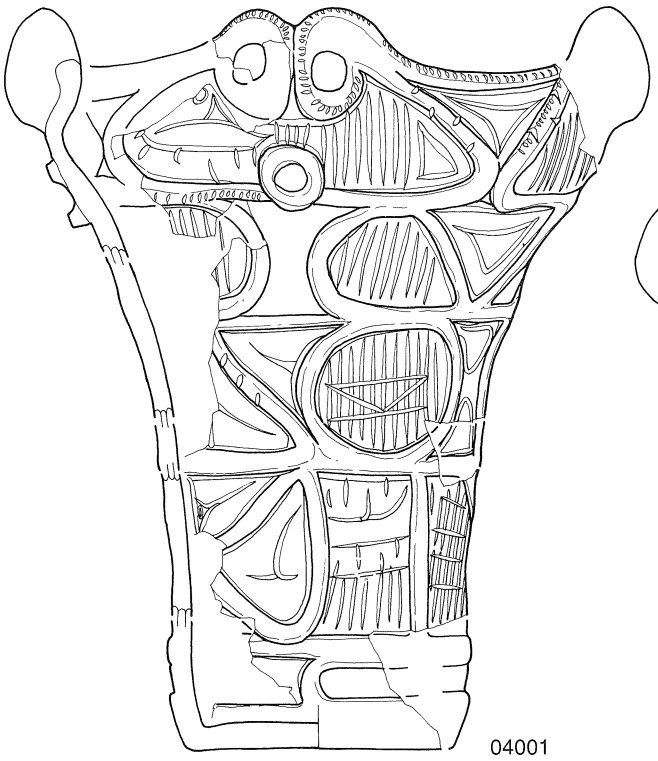


磨石類（大）

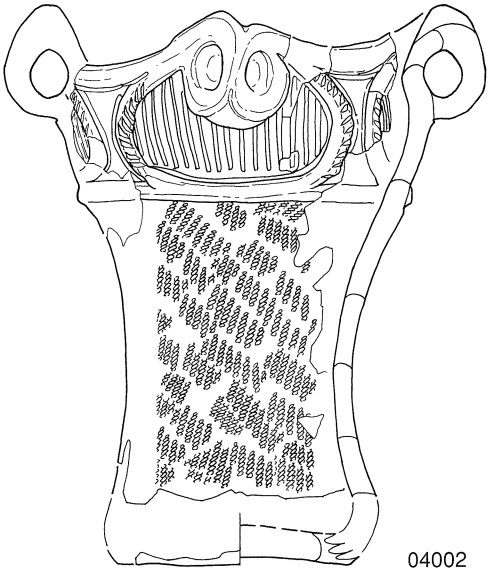


第155図　3号住居跡出土石器一覧（S＝1/4・1/8・1/16）

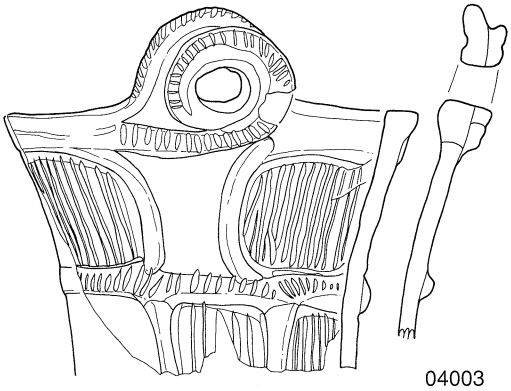
4号住居跡



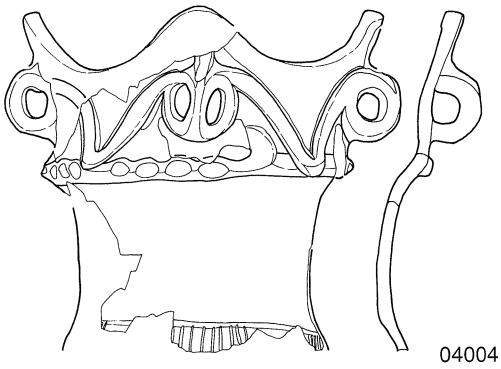
口縁部外面ミミズク把手推定５単位
頸部円形貼付文推定３単位
口縁部隆帯による三角区画
体部区画内沈線充填



口縁部外面ミミズク把手推定４単位
口縁部文様帯隆帯による楕円区画
区画内縦位沈線施文
体部地文単節ＲＬ斜位施文
土圧による歪み顕著



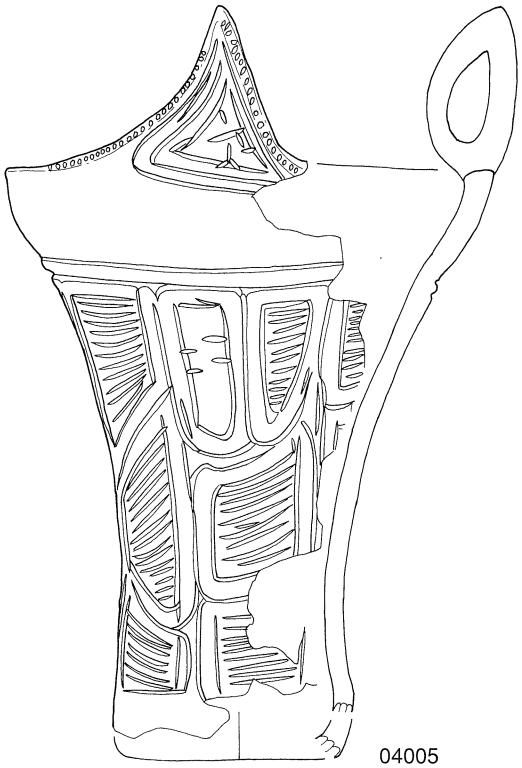
口縁部大把手１単位
体部横位区画文
区画内縦位沈線施文



口縁部４単位の小波状
波頂下外面ミミズク状把手
ミミズク間を隆帯で連携
体部下半櫛形文か

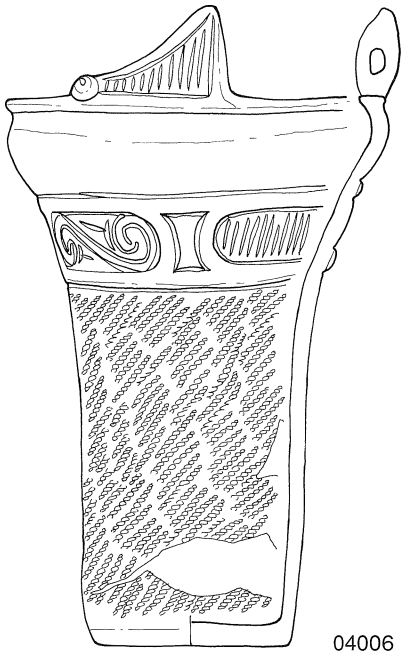
0　10cm

第156図　４号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）



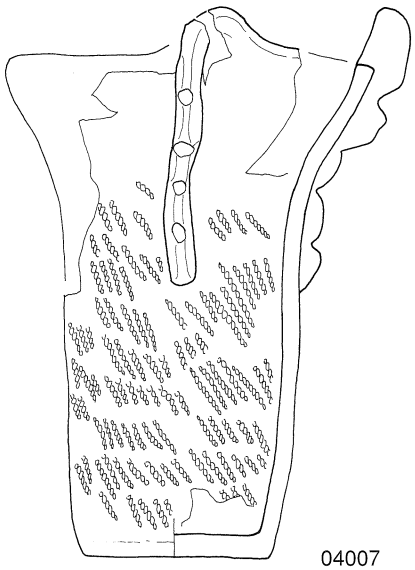
04005

口縁部１単位の大把手
体部パネル文
隆帯貼付けなし



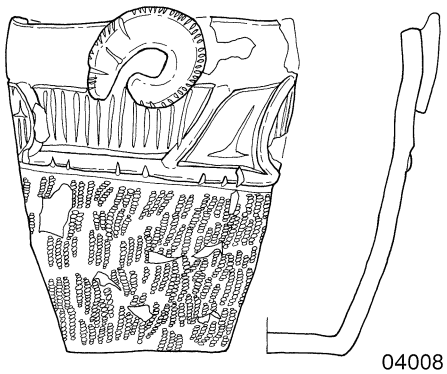
04006

口縁部１単位の把手
頸部楕円区画文４単位
体部単節ＬＲ



04007

口縁部１単位の把手
波頂部から縦位に隆帯貼付け
地文単節ＲＬ



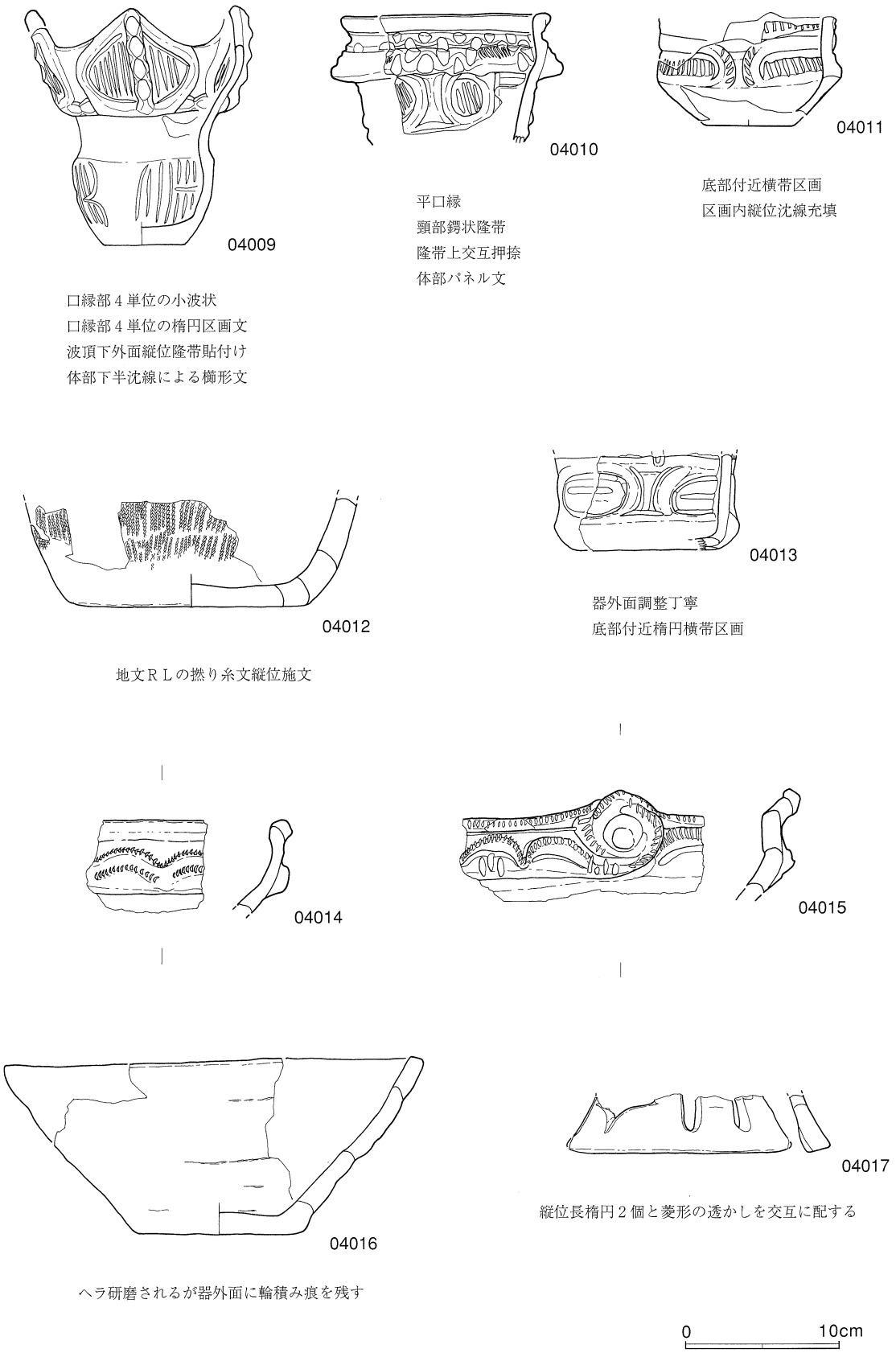
04008

口縁部隆帯貼付１単位か
頸部横位区画文
体部単節ＬＲ

0　10cm

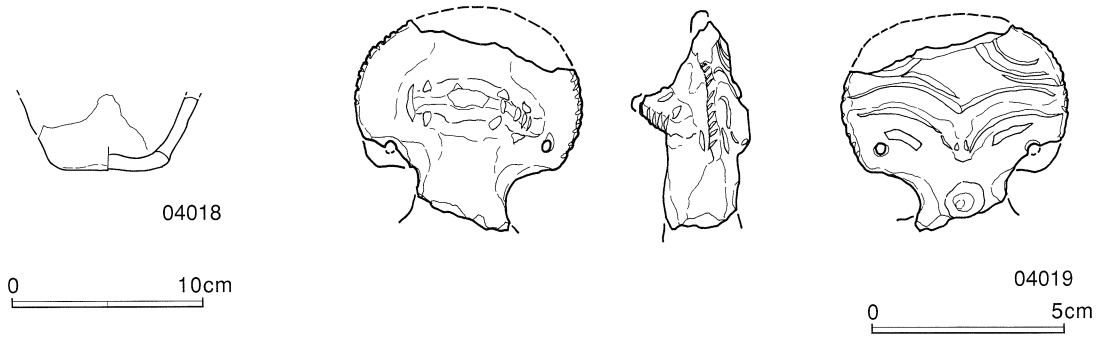
第157図　４号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

4号住居跡



第158図　４号住居跡出土遺物（３）（Ｓ＝1/4）

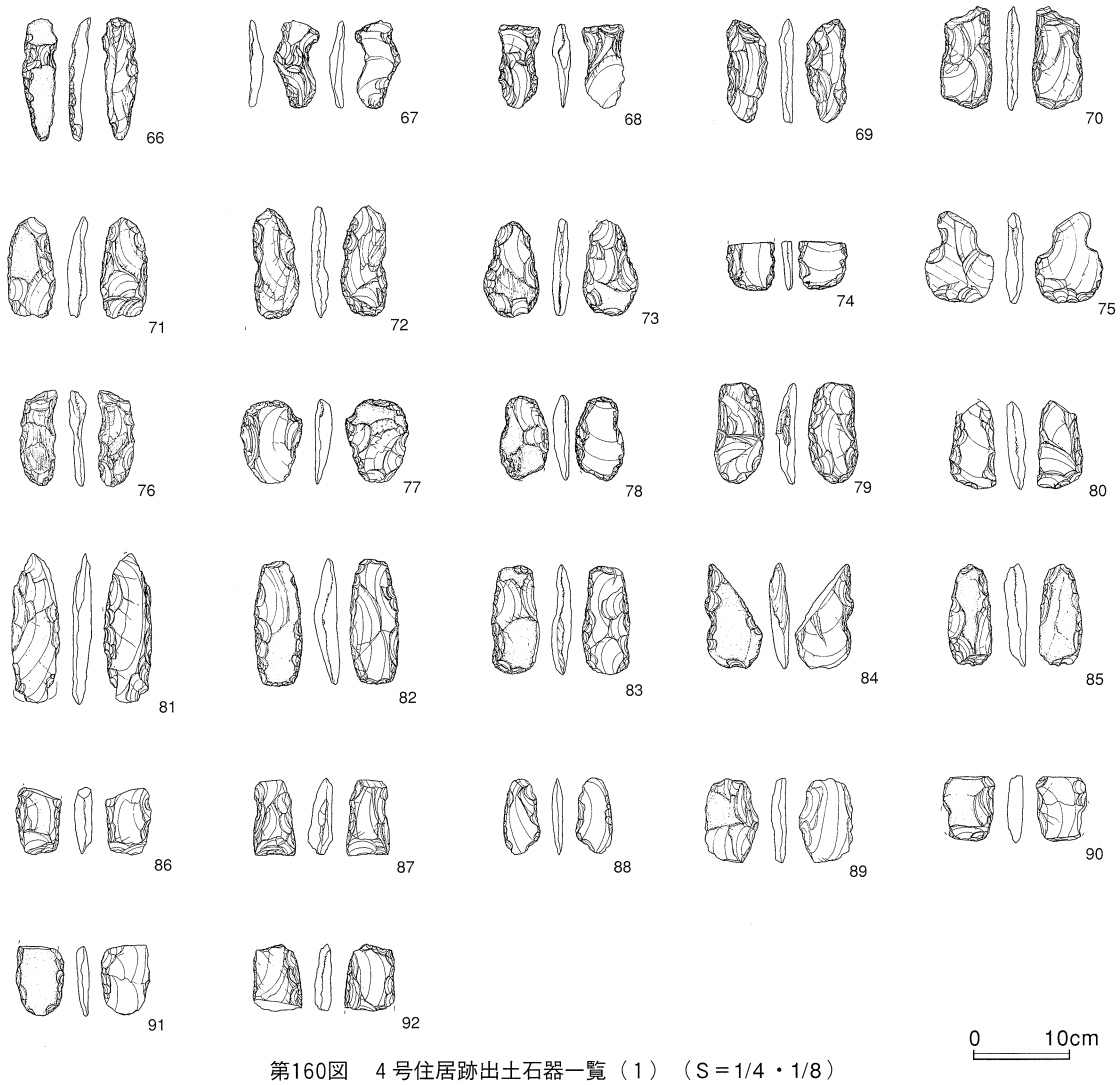
4号住居跡



第159図　4号住居跡出土遺物（4）（04018　S＝1/4・04019　S＝1/2）

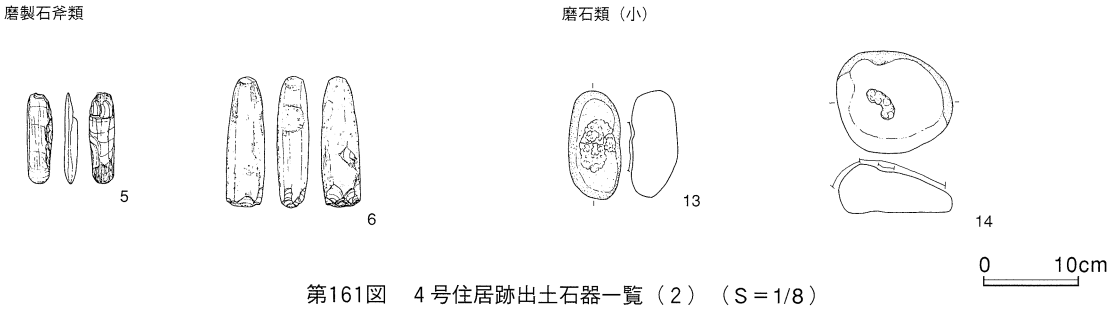
小形剥片石器

中形剥片石器



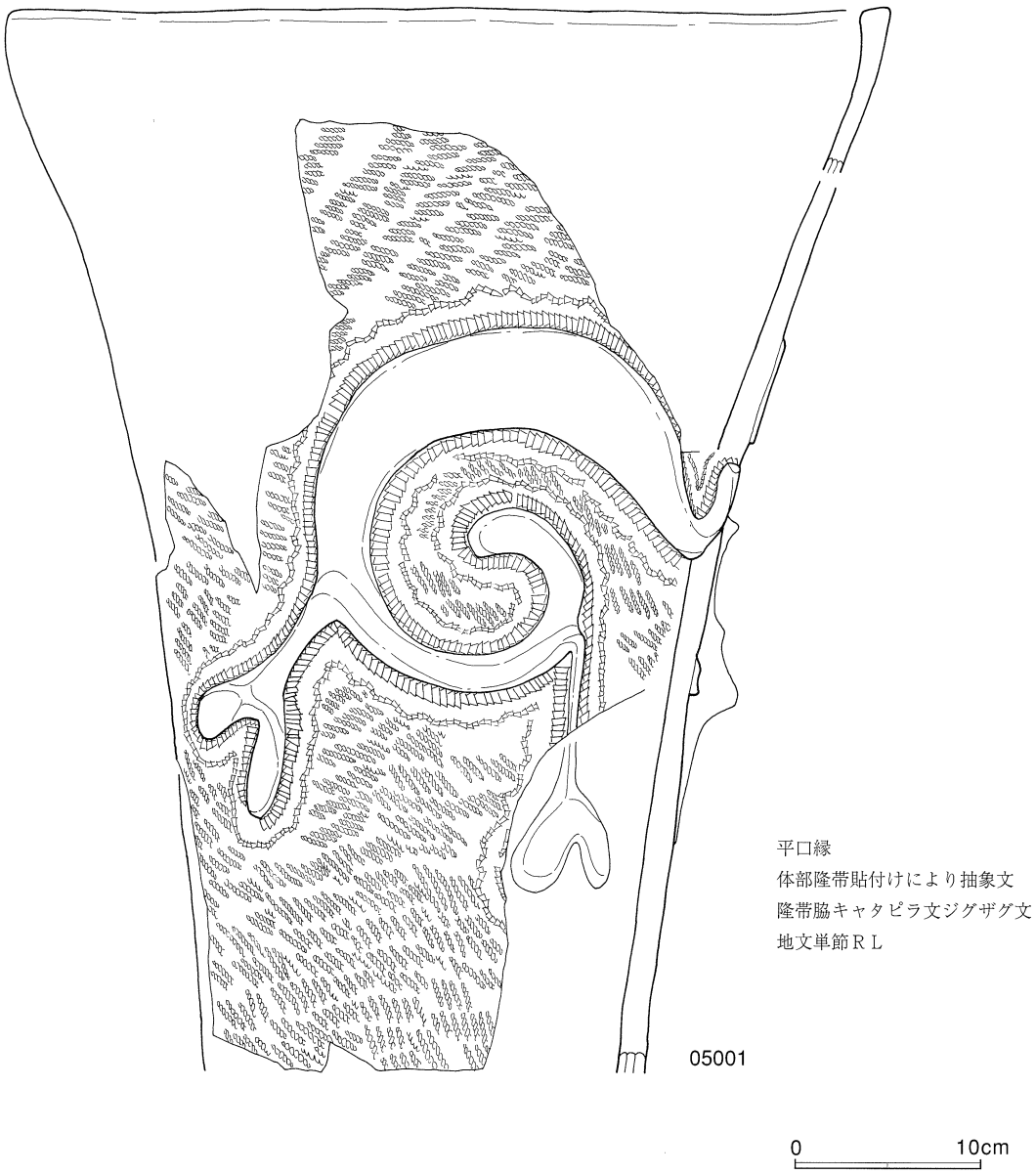
第160図　4号住居跡出土石器一覧（1）（S＝1/4・1/8）

4号住居跡



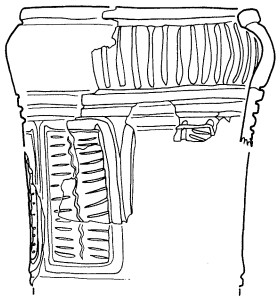
第161図　4号住居跡出土石器一覧（2）（S＝1/8）

5号住居跡



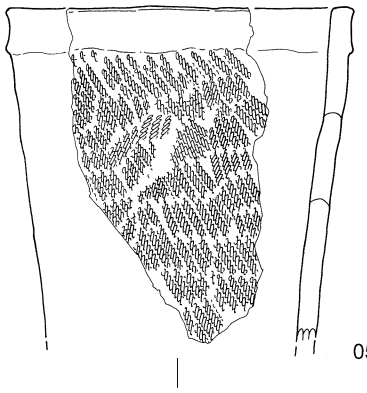
第162図　5号住居跡出土遺物（1）（S＝1/4）

5号住居跡



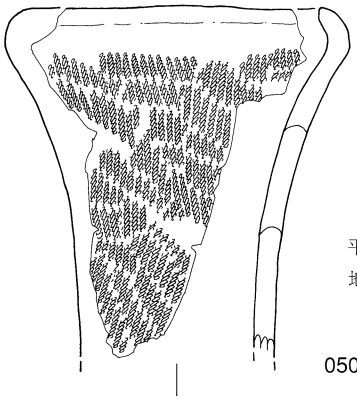
平口縁
口縁部縦位沈線施文
体部縦長区画

05002



05003

平口縁か
底部から外上方に直線的に延びる
体部地文０段多条ＲＬ横位施文



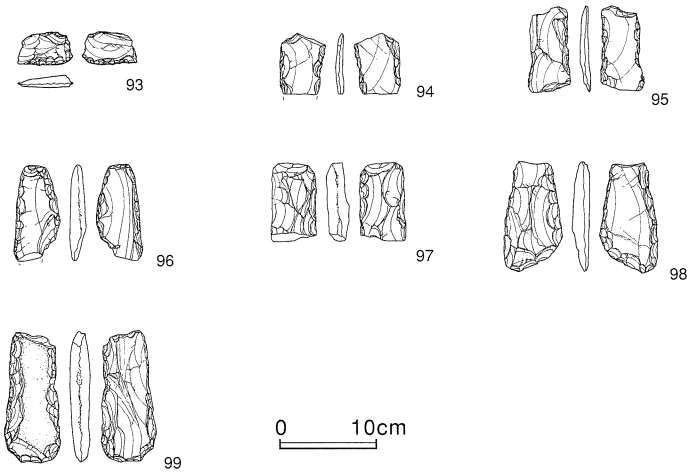
平口縁か
地文０段多条ＲＬ横位施文

05004

0　10cm

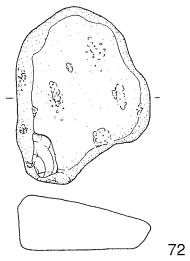
第163図　５号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

中形剥片石器



0　10cm

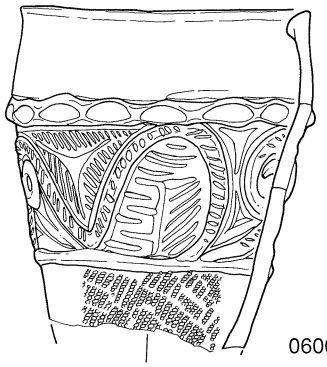
磨石類（大）



0　20cm

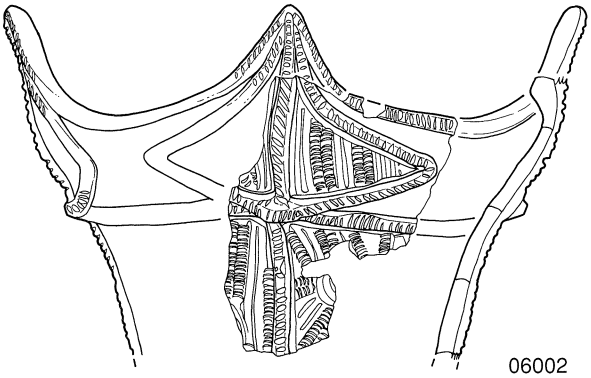
第164図　５号住居跡出土石器一覧（Ｓ＝1/8・1/16）

6号住居跡



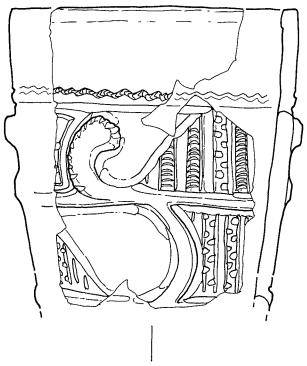
06001

平口縁
頸部横位鎖状隆帯
体部文様帯隆帯区画
区画内三叉文等
体部下半単節ＬＲ



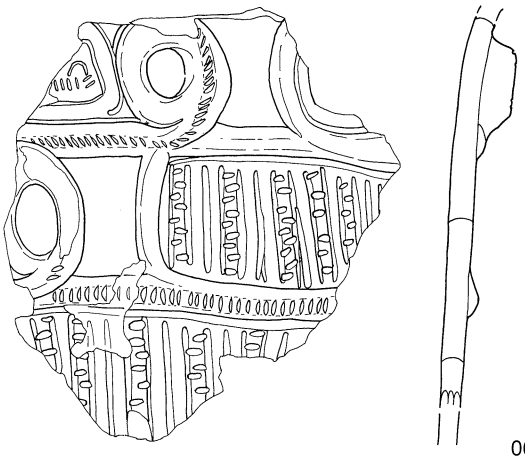
06002

口縁部４単位の波状突起
波頂部を頂点に矩形区画
区画内半隆帯により沈線密接施文

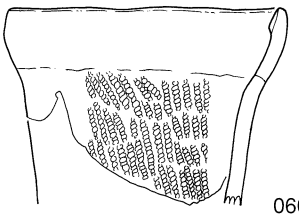


06003

体部横帯区画
縦位半隆帯充填
半隆帯上連続押引き文、交互刺突

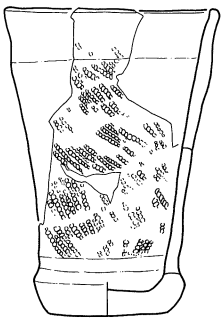


06004



06005

地文単節ＲＬ斜位施文



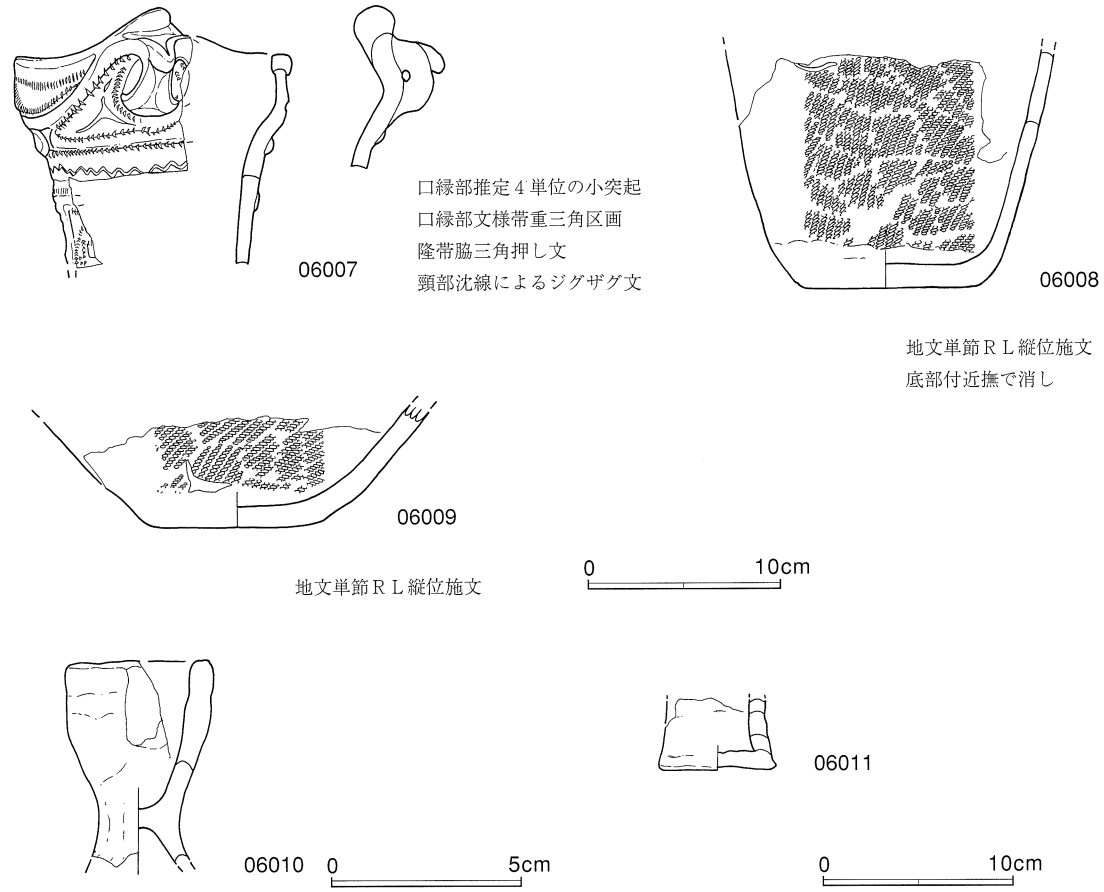
地文単節ＲＬ横位施文
器面摩滅

06006

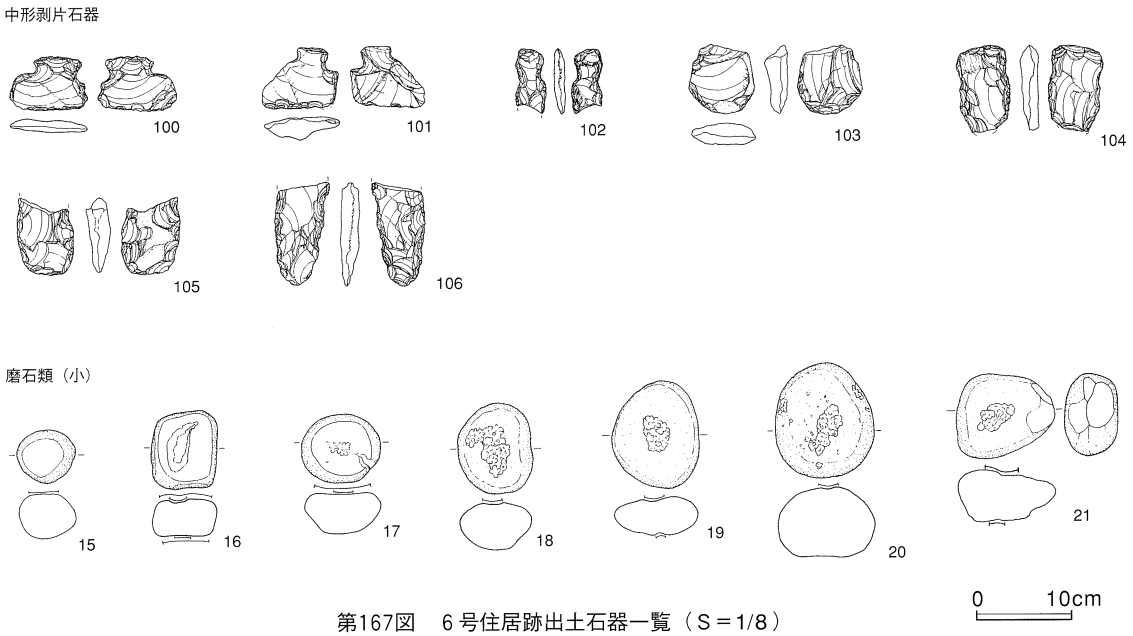
0　10cm

第165図　６号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）

6号住居跡

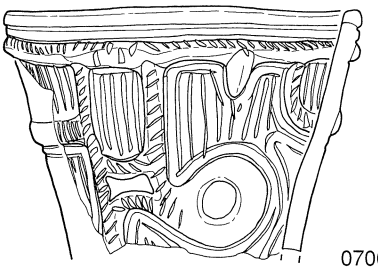


第166図　6号住居跡出土遺物（2）（06006～06009・06011　S＝1/4・06010　S＝1/2）



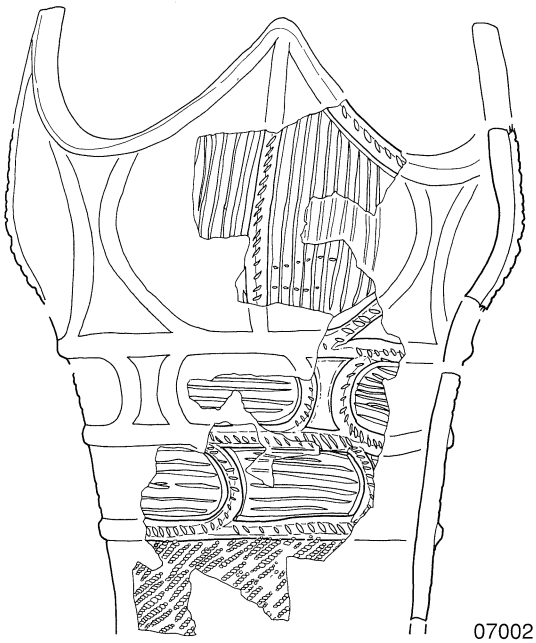
第167図　6号住居跡出土石器一覧（S＝1/8）

7号住居跡



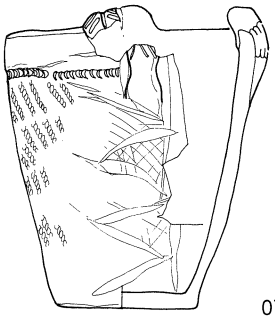
07001

平口縁
頸部鍔状隆帯貼付け
体部パネル文
区画内縦位沈線充填



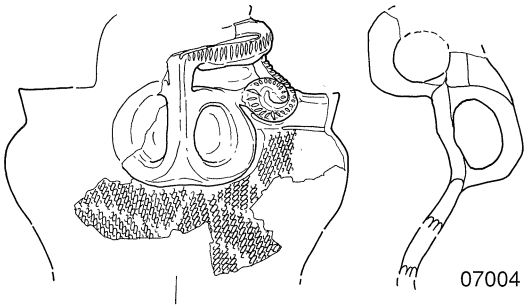
07002

口縁部４単位の大波状
口縁部玉葱状の隆帯区画頸部２段の楕円区画
区画内横位沈線充填
体部下半単節ＬＲ



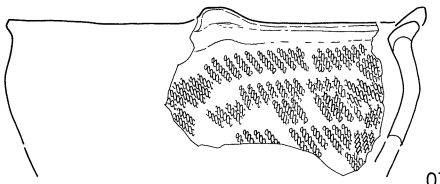
07003

口縁部１単位の小突起
突起下部分的に地文磨り消し縦位にジグザグ文



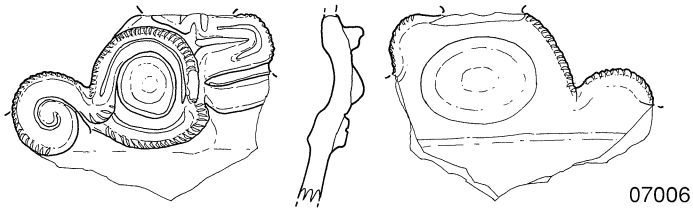
07004

１単位の大把手
把手下外面にミミズク状把手
体部地文単節ＲＬ横位施文



07005

４単位の小突起か
地文単節ＲＬ横位施文



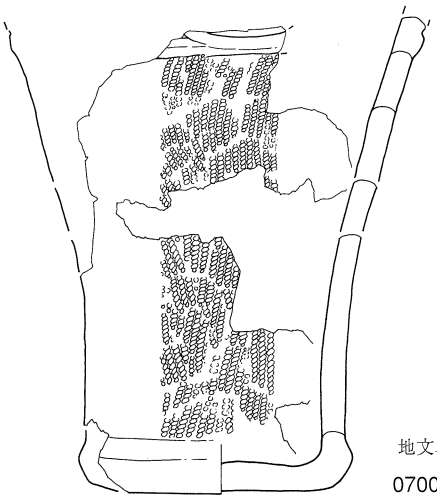
07006

１単位の大把手
大柄の円形文に隆帯を貼付け

0　10cm

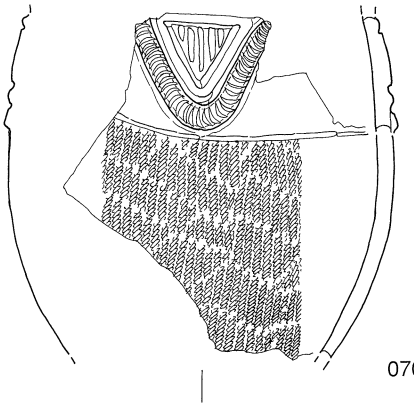
第168図　７号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）

7号住居跡



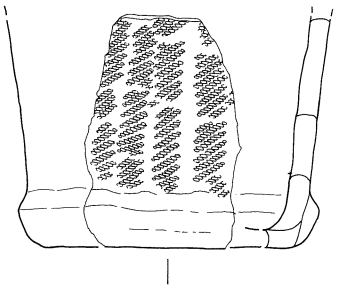
地文単節ＲＬ斜位施文

07007



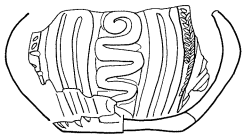
07009

口縁部欠損
体部上半山形隆帯区画
体部下半地文０段多条ＲＬ縦位施文

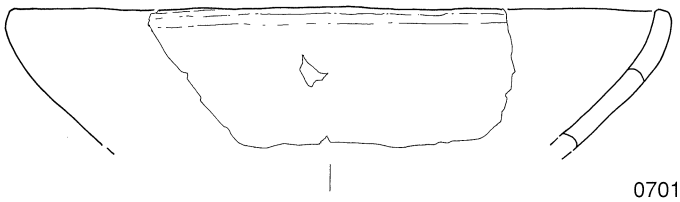


07008

地文単節ＲＬ縦位施文



07010

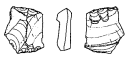


07011

第169図　７号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）　0　10cm

小形剥片石器

27



38

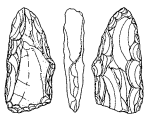
0　10cm

中形剥片石器

107

108

109



110

111

112

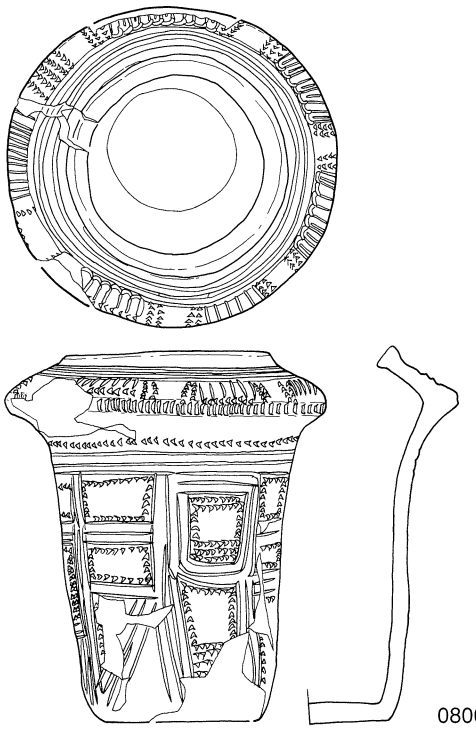
磨製石斧類

7

0　10cm

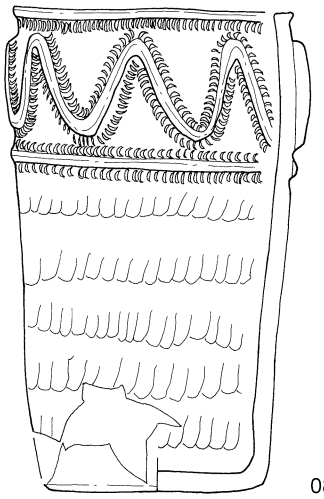
第170図　７号住居跡出土石器一覧（Ｓ＝1/4・1/8）

8号住居跡



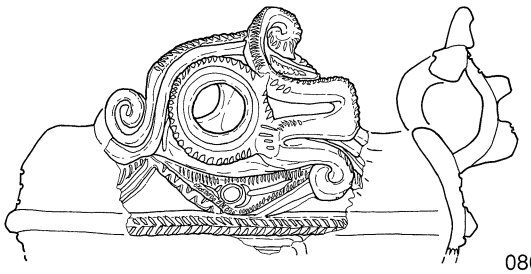
08001

口縁部直下突出
蓮華状文、三角押し文縦位施文
体部パネル文、区画内三角押し文施文



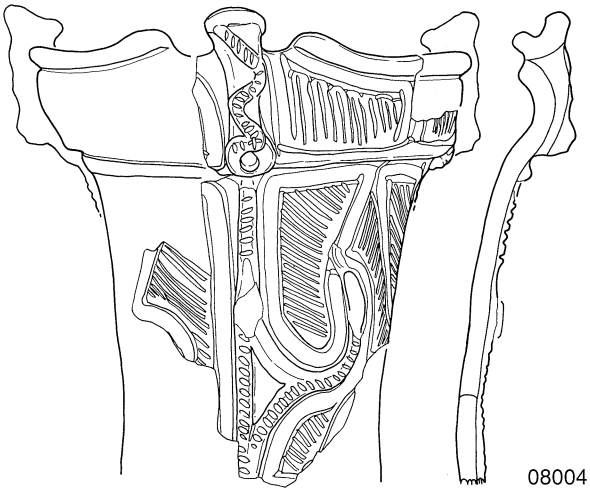
08002

口縁部文様帯波状隆帯貼付け
隆帯脇連続刺突文
体部指頭圧痕明瞭



08003

1単位の大把手
隆帯状を刻み、交互刺突により加飾
把手内面は大柄のミミズク状



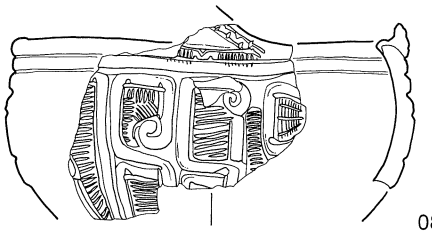
08004

口縁部推定4単位の小突起
突起上隆帯加飾
口縁部区画内蓮華状文
体部突起から延びる隆帯により4分割

0　10cm

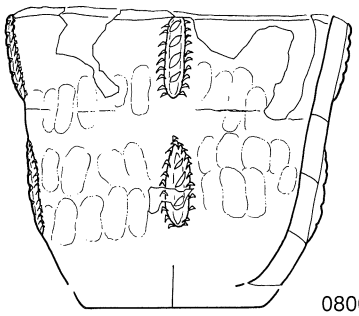
第171図　8号住居跡出土遺物（1）（S＝1/4）

8号住居跡



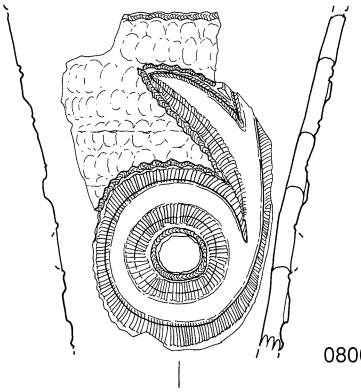
08005

口縁部１単位の小突起
体部パネル文
指状モチーフ



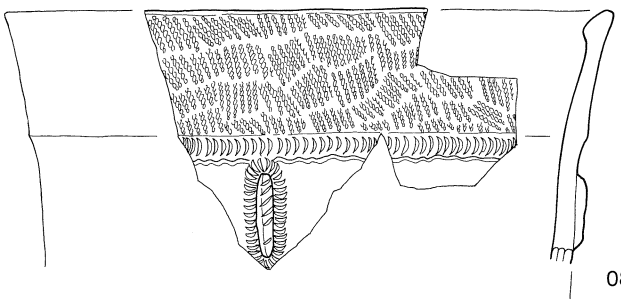
08006

体部下半（除底部）略完存
破損後再利用か
残存部位２個１単位の貼付文４単位



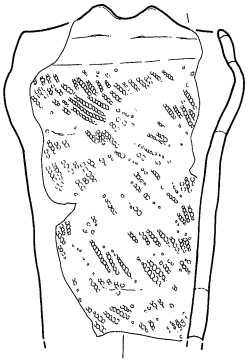
08007

隆帯貼付けによる抽象文
モチーフ脇キャタピラ文・
三角押しによるジグザグ文



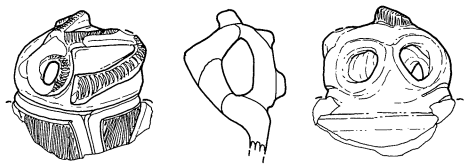
08008

口縁部地文単節ＲＬ横位施文
口縁部下にキャタピラ文



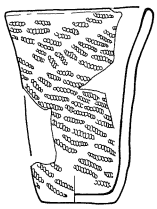
08009

口縁部に２個１対の小突起
体部地文単節ＲＬ横位施文



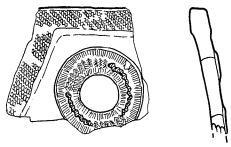
08010

１単位の大把手
隆帯上刻み



08011

地文単節ＲＬ斜位施文



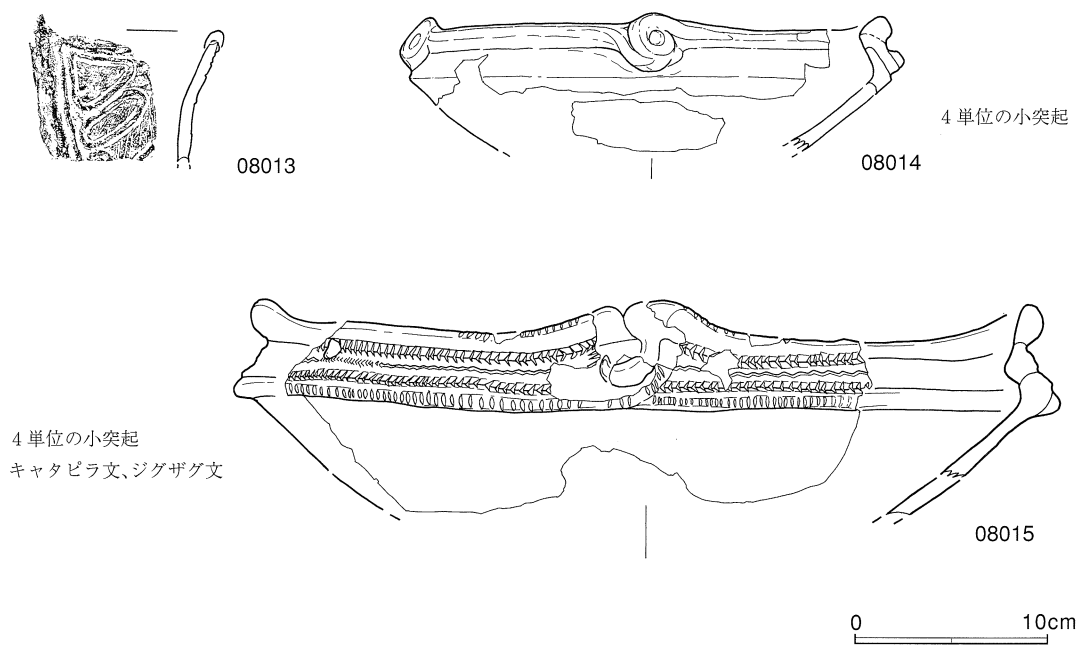
08012

ＲＬ施文後磨り消し
円文内部細かい原体により
ジグザグ文、三角押し文、直線文
精製される

0　10cm

第172図　８号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

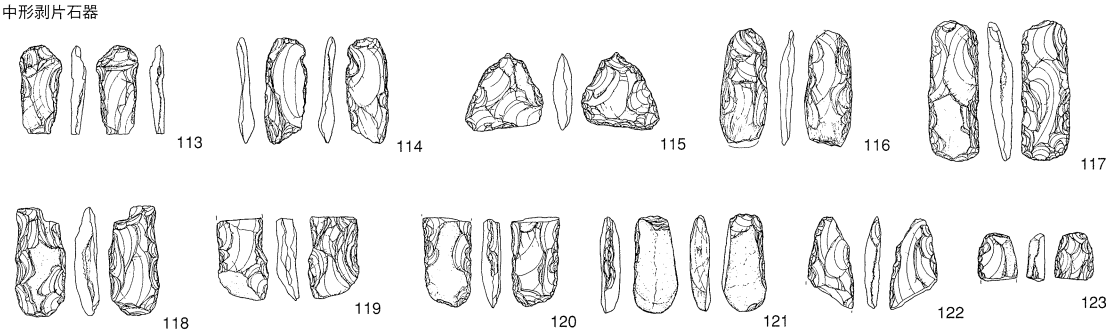
8号住居跡



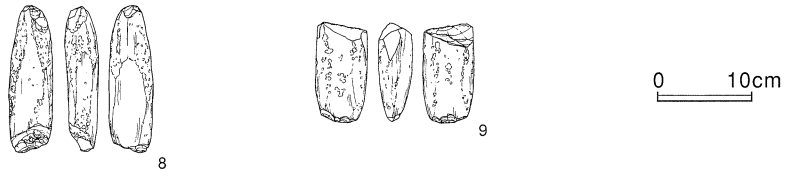
第173図　8号住居跡出土遺物（3）（S＝1/4）

小形剥片石器

中形剥片石器

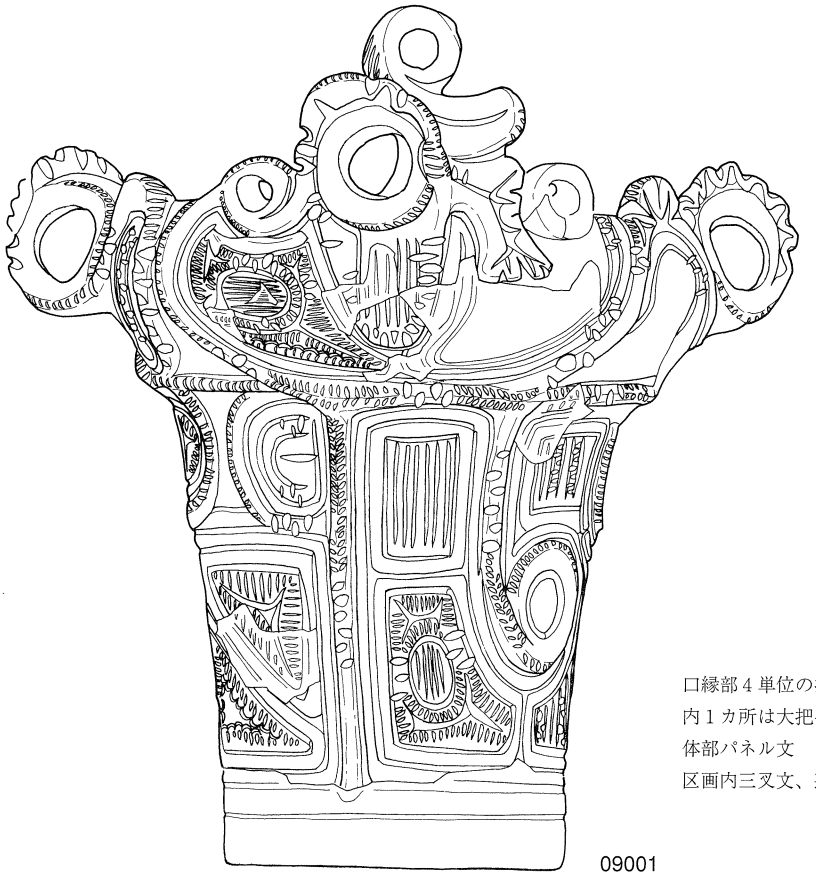


磨製石斧類



第174図　8号住居跡出土石器一覧（S＝1/4・1/8）

9号住居跡



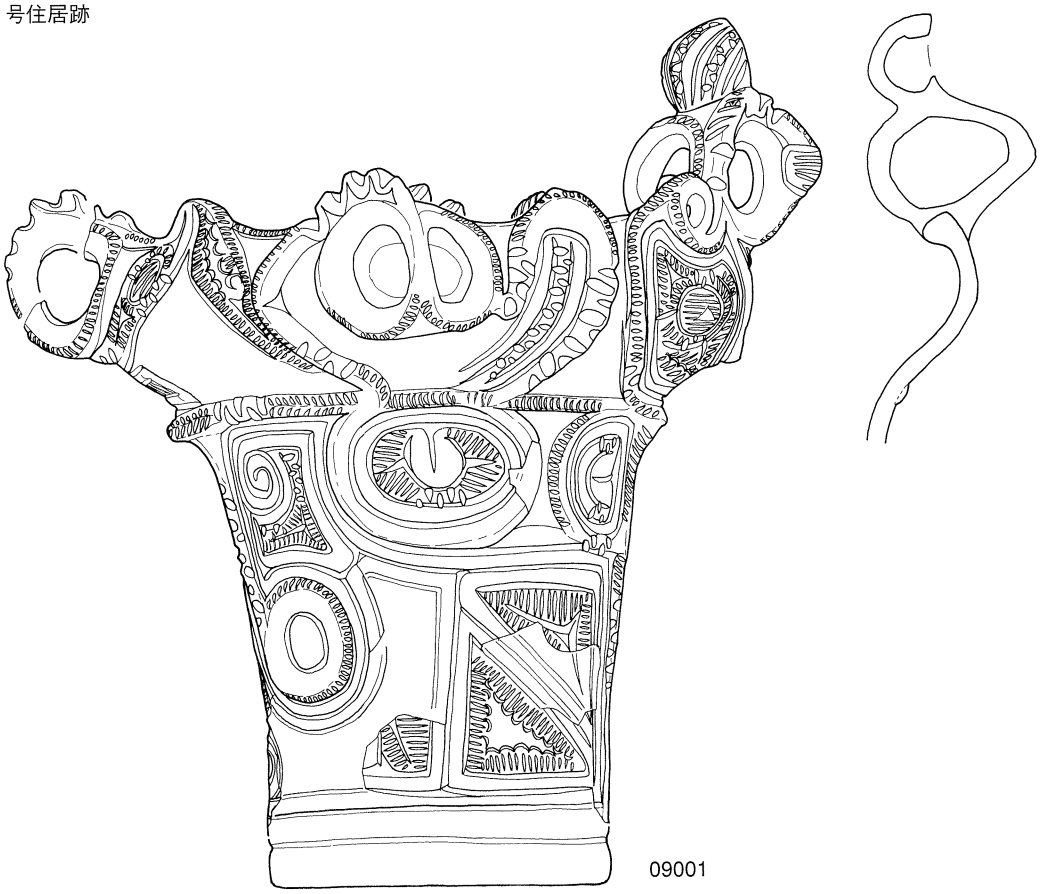
口縁部4単位の把手
内1カ所は大把手
体部パネル文
区画内三叉文、蓮華状文、交互刺突

09001

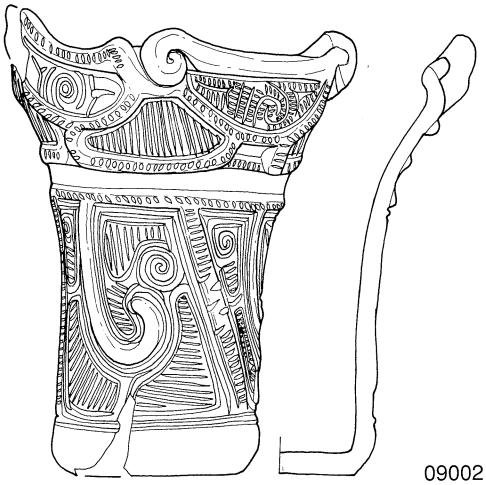
0　10cm

第175図　9号住居跡出土遺物（1）（S＝1/4）

9号住居跡

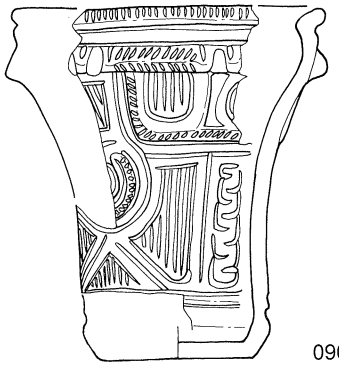


09001



口縁部４単位の小波状
口縁部文様帯重三角区画
頸部無文帯
体部パネル文
区画内円文、沈線充填

09002



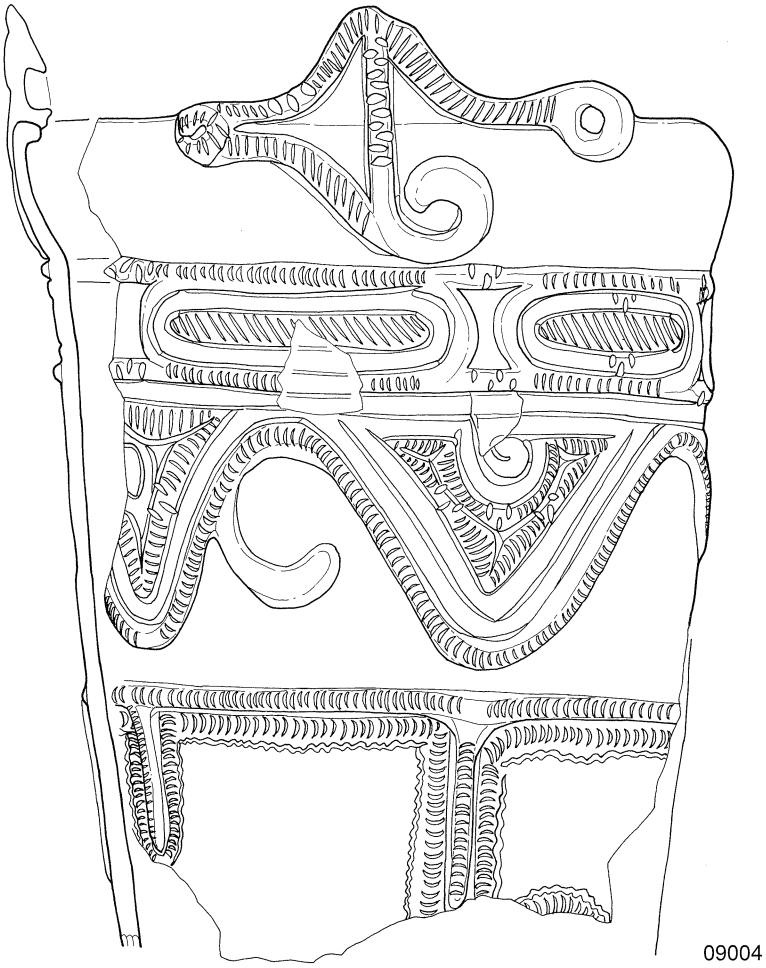
平口縁か
頸部鍔状隆帯
体部パネル文
区画内沈線充填

09003

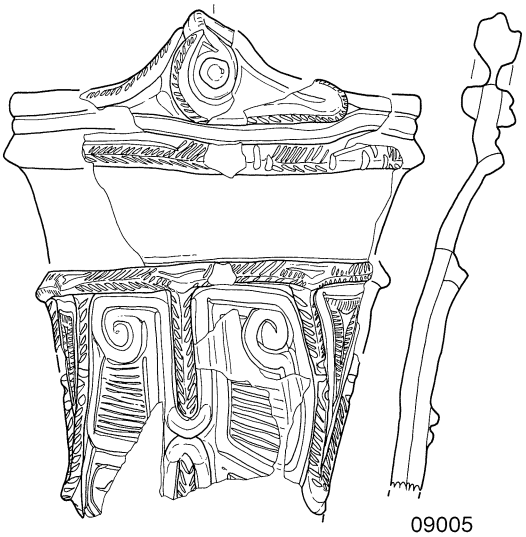
0　10cm

第176図　９号住居跡出土遺物（２）（S＝1/4）

9号住居跡



口縁部1単位の大把手
頸部楕円文横帯区画
体部文様帯2段構成
上段は波状隆帯貼付けにより区画し、三叉文、円文を重点

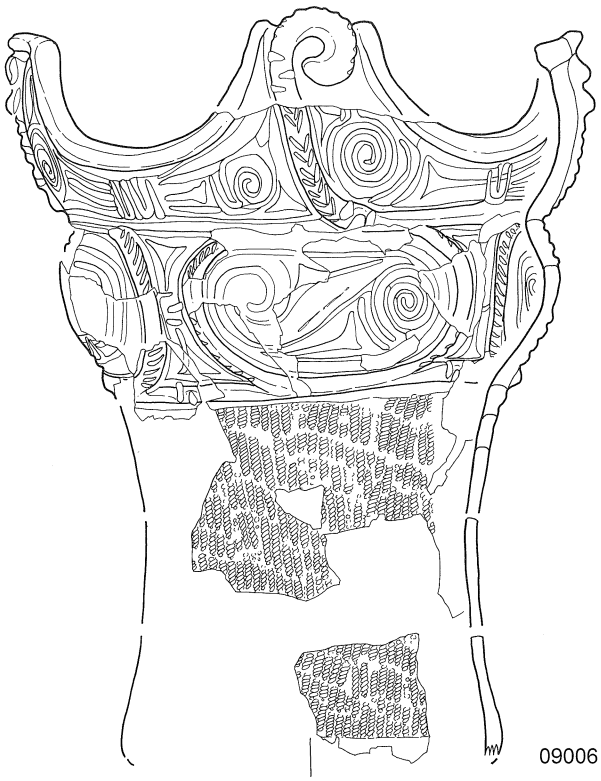


口縁部1単位の大把手
頸部無文帯
体部パネル文
区画内沈線充填

0　10cm

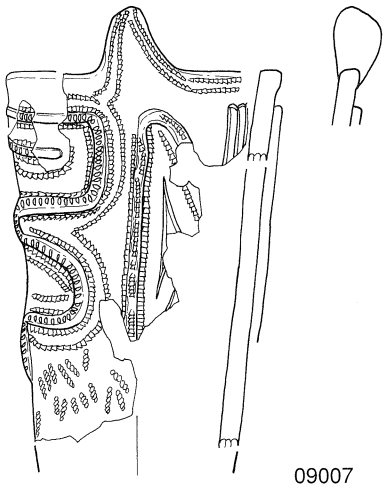
第177図　9号住居跡出土遺物（3）（S＝1/4）

9号住居跡



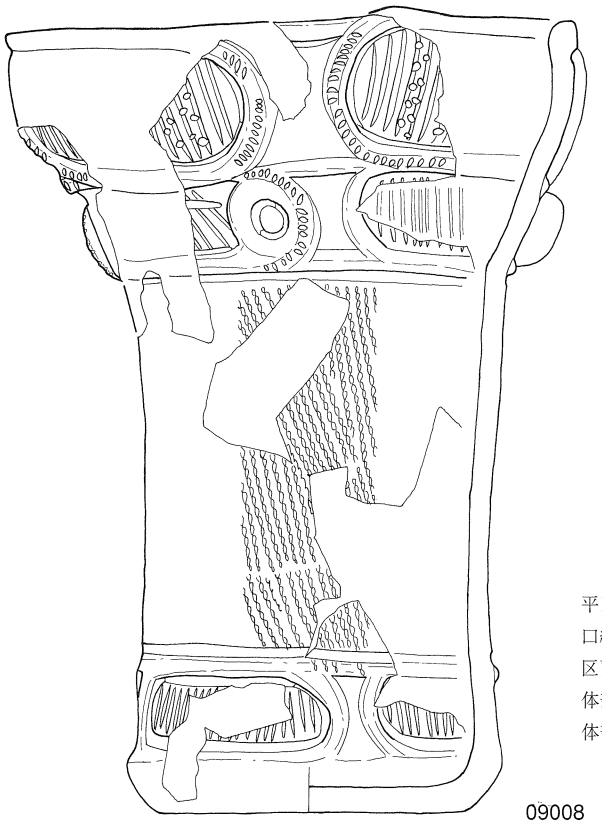
口縁部４単位の大波状
波頂部から垂下する隆帯を挟み円文、三叉文を配置
体部上半に波頂部に対応する楕円区画４単位

09006



09007

口縁部１単位の小突起
体部隆帯貼付け
隆帯脇角押し状
体部下半地文単節ＲＬ



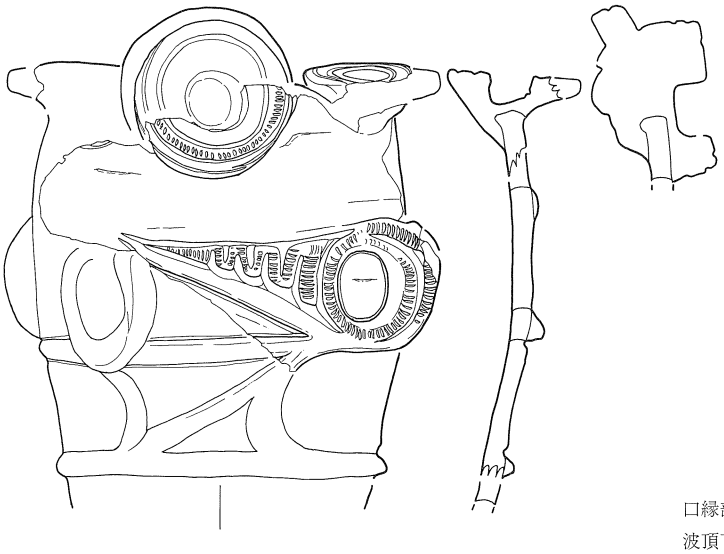
平口縁か
口縁部楕円区画２段
区画内縦位沈線、交互刺突
体部地文撚り糸
体部下半楕円区画

09008

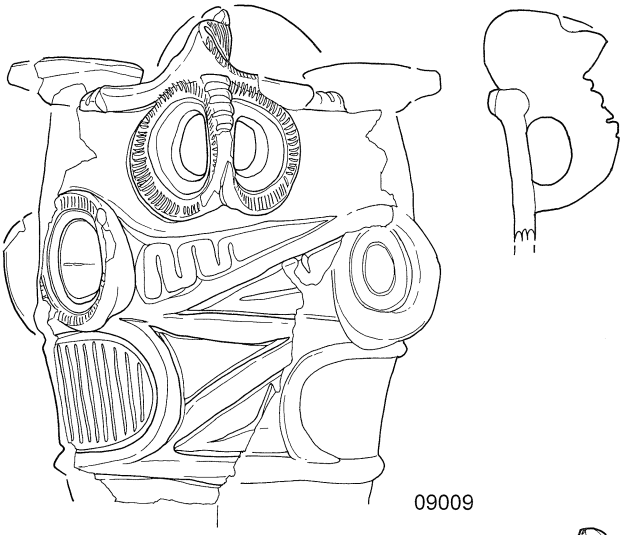
0　10cm

第178図　９号住居跡出土遺物（４）（Ｓ＝1/4）

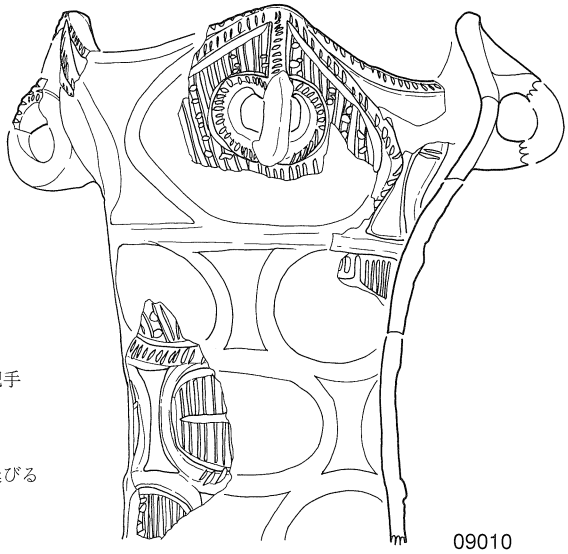
9号住居跡



口縁部4単位の小波状
波頂下にミミズク状突起
体部は楕円文重畳



09009



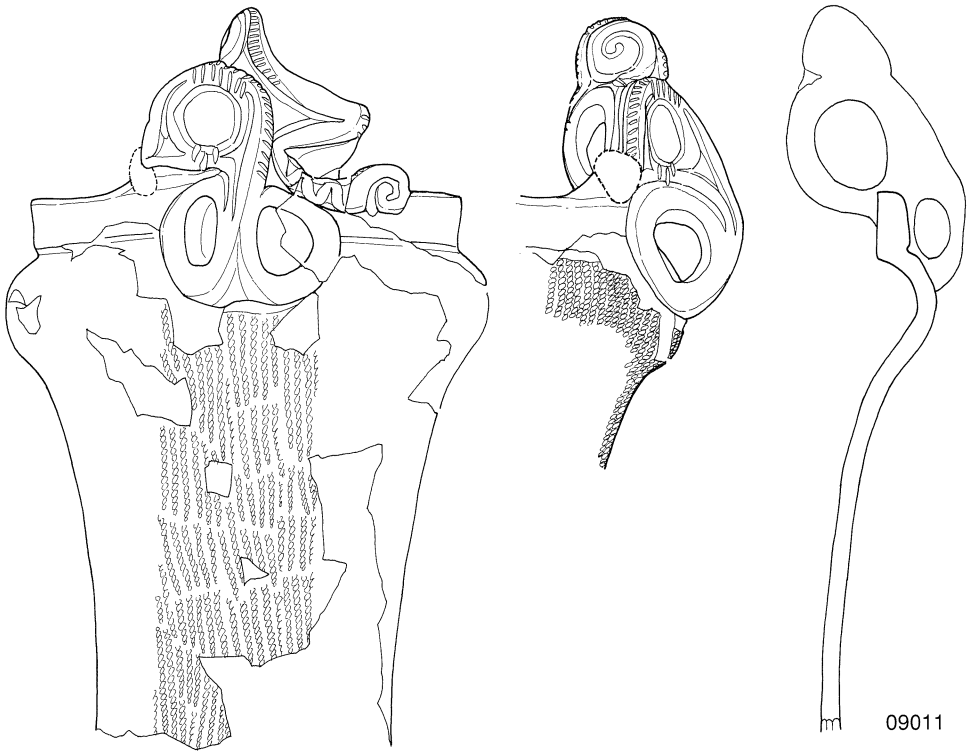
把手の遺存部より4単位を想定
ミミズク状の把手に対向して円形の把手
この間に上向きに円形の把手を想定
口縁部無文帯以下横帯区画
立体的な渦巻き意匠から斜位に隆帯延びる
区画内三叉文他で充填

09010

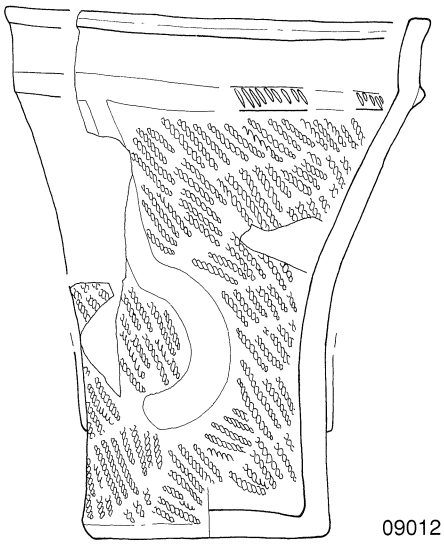
0　10cm

第179図　9号住居跡出土遺物（5）（S＝1/4）

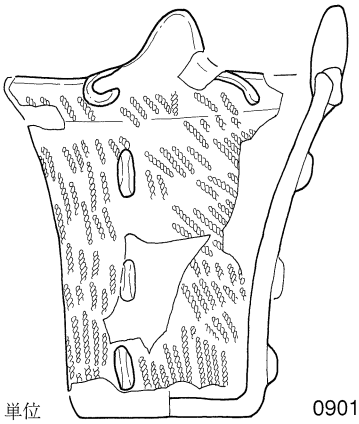
9号住居跡



口縁部１単位の大把手
波手下に外向するミミズク把手体部地文単節ＲＬ



平口縁か
頸部横位隆帯、体部蛇行隆帯共に剥落顕著
体部地文単節ＲＬ

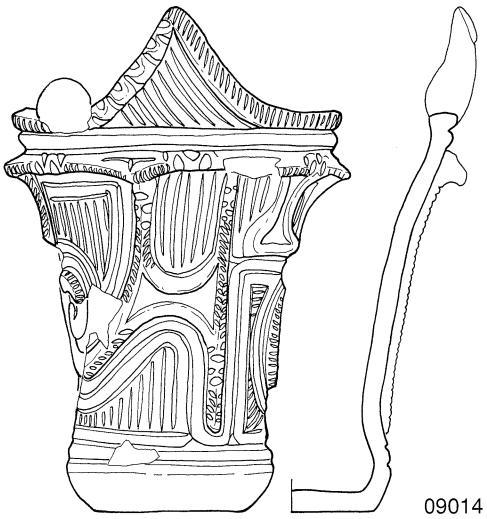


口縁部１単位の小突起
体部縦列３個の隆帯貼付け４単位

0　10cm

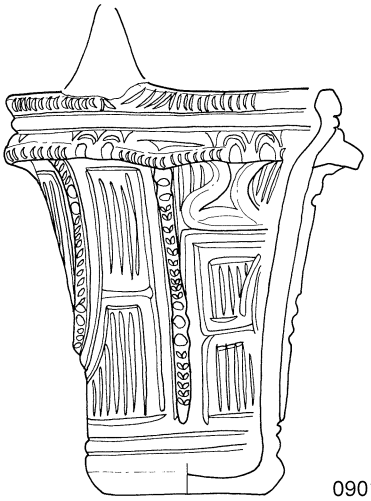
第180図　９号住居跡出土遺物（６）（Ｓ＝1/4）

9号住居跡



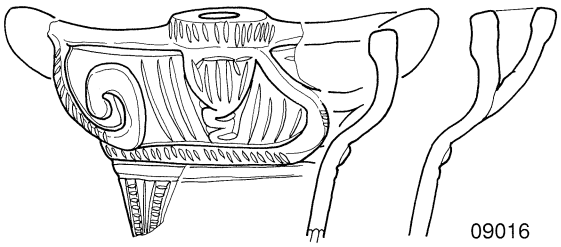
09014

口縁部1単位の大把手（一部剥落）
頸部鍔状隆帯
体部パネル文



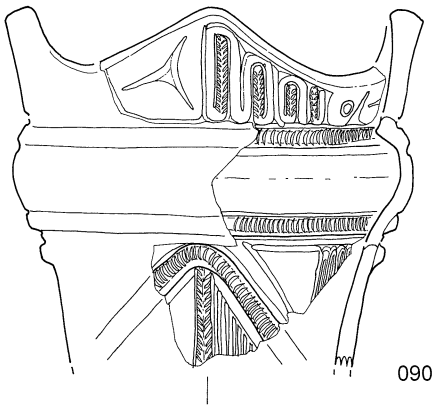
09015

口縁部2単位の大把手（剥落）
頸部鍔状隆帯
体部パネル文



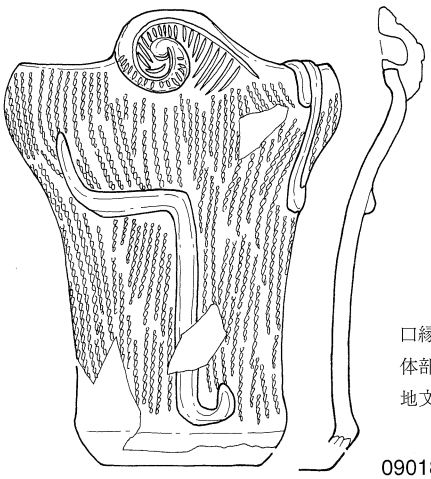
09016

口縁部4単位の突起
子持壷状の突起とミミズク状の突起を交互に配置か
体部縦位沈線、交互刺突



09017

口縁部推定4単位の波状
口縁部に三叉文、円文施文
体部山形に隆帯貼付け



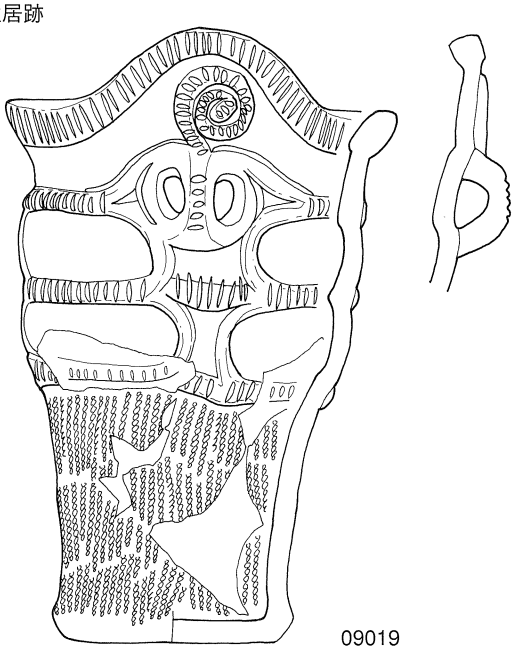
09018

口縁部1単位の小突起
体部クランク上に隆帯貼付け
地文撚り糸

0　10cm

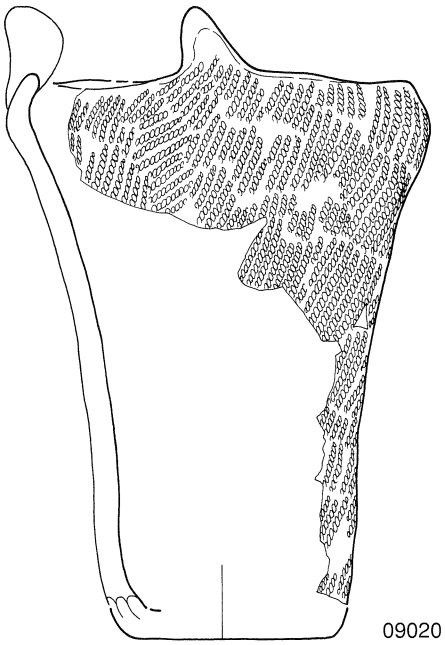
第181図　9号住居跡出土遺物（7）（S＝1/4）

9号住居跡



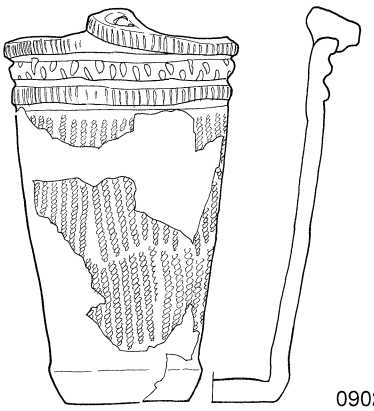
09019

口縁部に１単位の小突起
突起下に人体意匠
体部下半地文単節ＬＲ



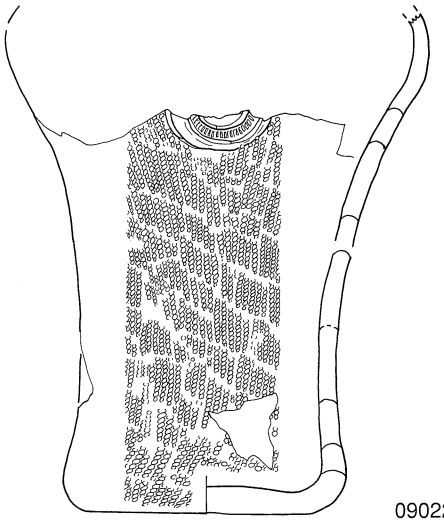
09020

口縁部１単位の小突起
地文単節ＬＲ横位施文



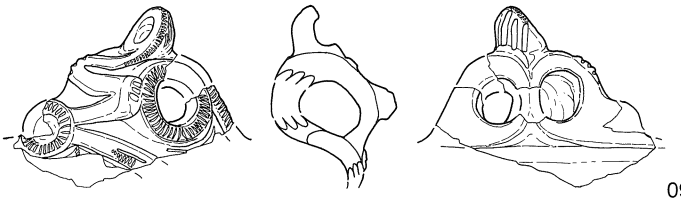
09021

口縁部１単位の突起
口唇部から３本の横位隆帯貼付け
中央の隆帯は交互刺突、他は連続刻み
地文単節ＬＲ縦位施文



09022

体部上位に隆帯による円形意匠
地文単節ＲＬ縦位施文



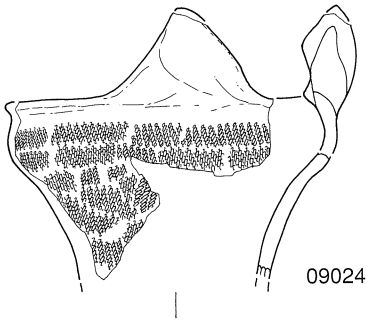
09023

１単位の大把手
隆帯上刻み
把手内面ミミズク状

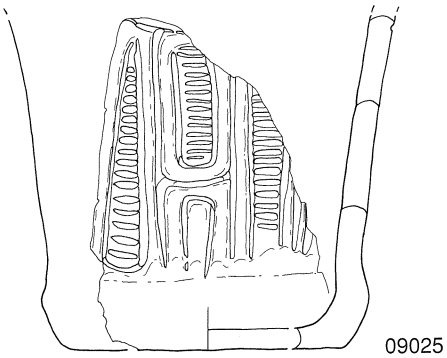
0　10cm

第182図　９号住居跡出土遺物（８）（Ｓ＝1/4）

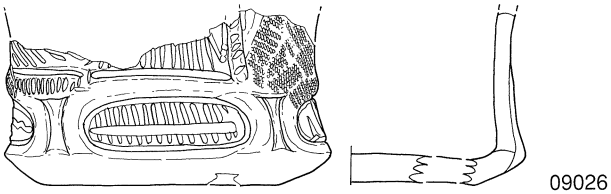
9号住居跡



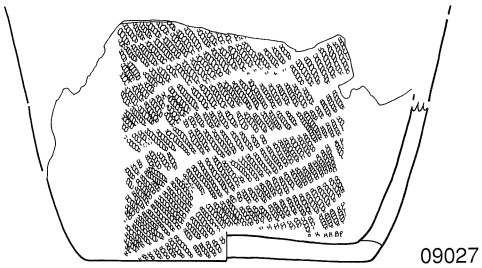
口縁部１単位の大把手
体部地文単節ＲＬ横位施文



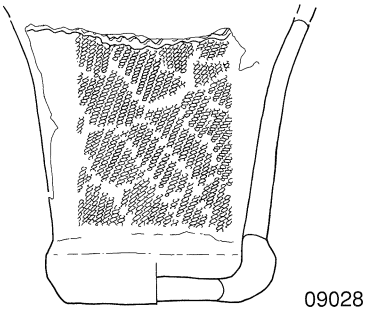
体部パネル文
区画内横位沈線充填



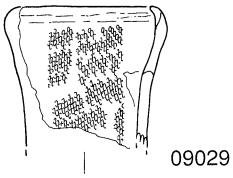
底部付近楕円横帯区画
体部パネル文
一部単節ＲＬ施文



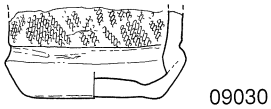
体部地文単節ＲＬ横位施文



地文単節ＲＬ縦位施文
残存部上端沈線によるジグザグ文

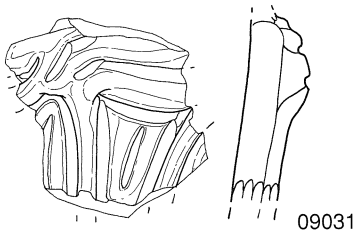


地文単節ＲＬ横位施文



地文単節ＲＬ横位施文
地文施文後沈線施文

0　10cm

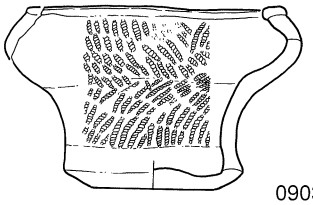


0　5cm

焼町類型

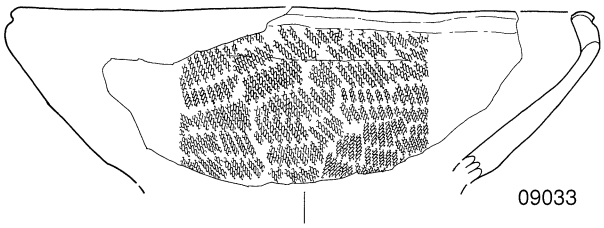
第183図　９号住居跡出土遺物（９）（09024～09030　S＝1/4・09031　S＝1/2）

9号住居跡



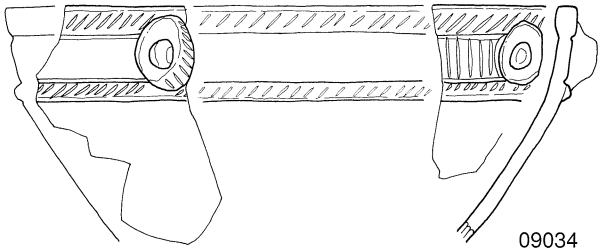
09032

体部撚り糸縦位施文

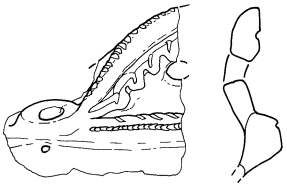


09033

地文単節ＲＬ横位施文

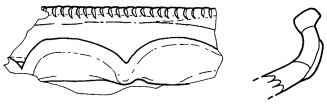


09034



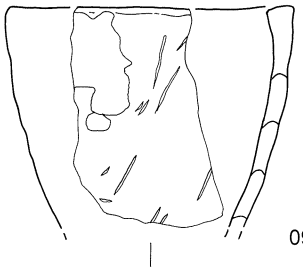
09035

1単位の大把手を有する浅鉢

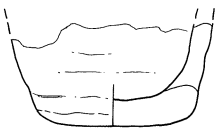


09036

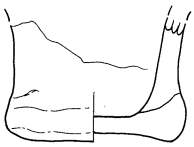
0　10cm



09037



09038

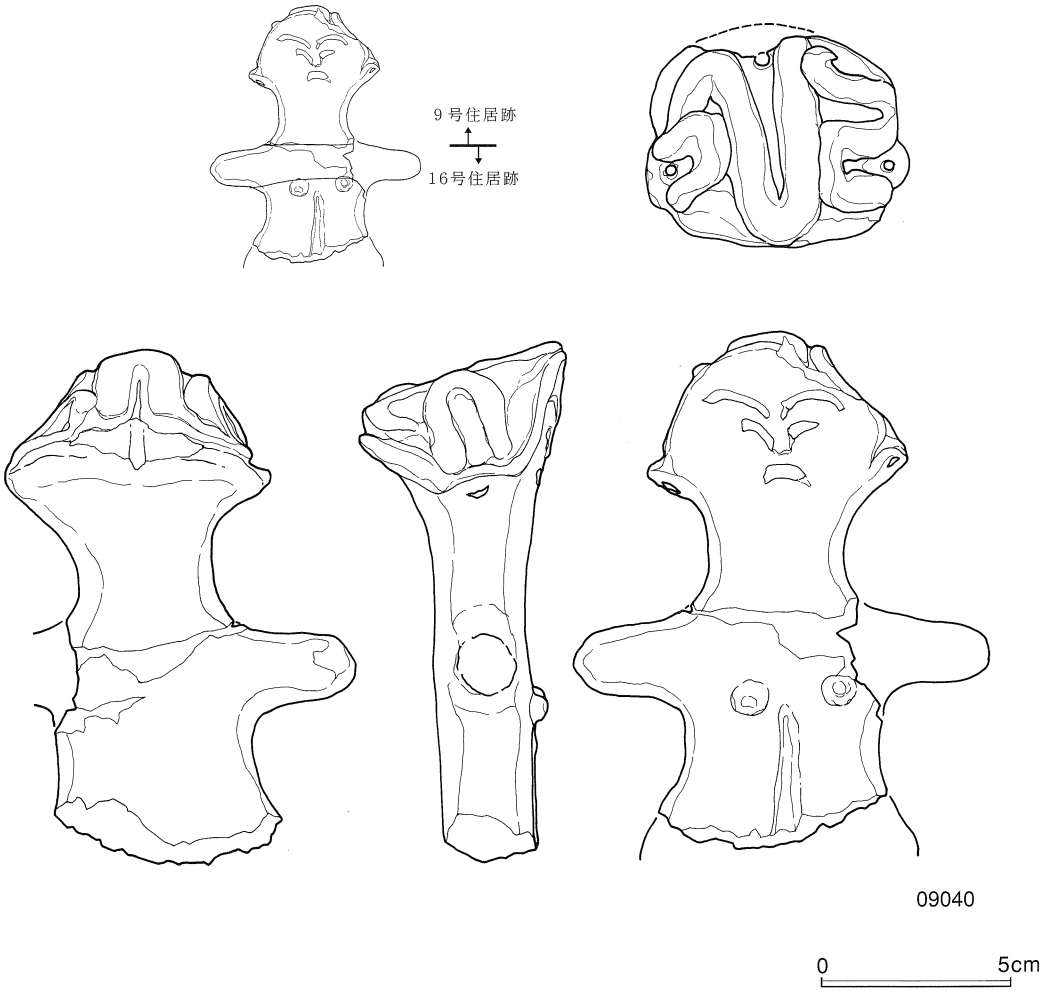


09039

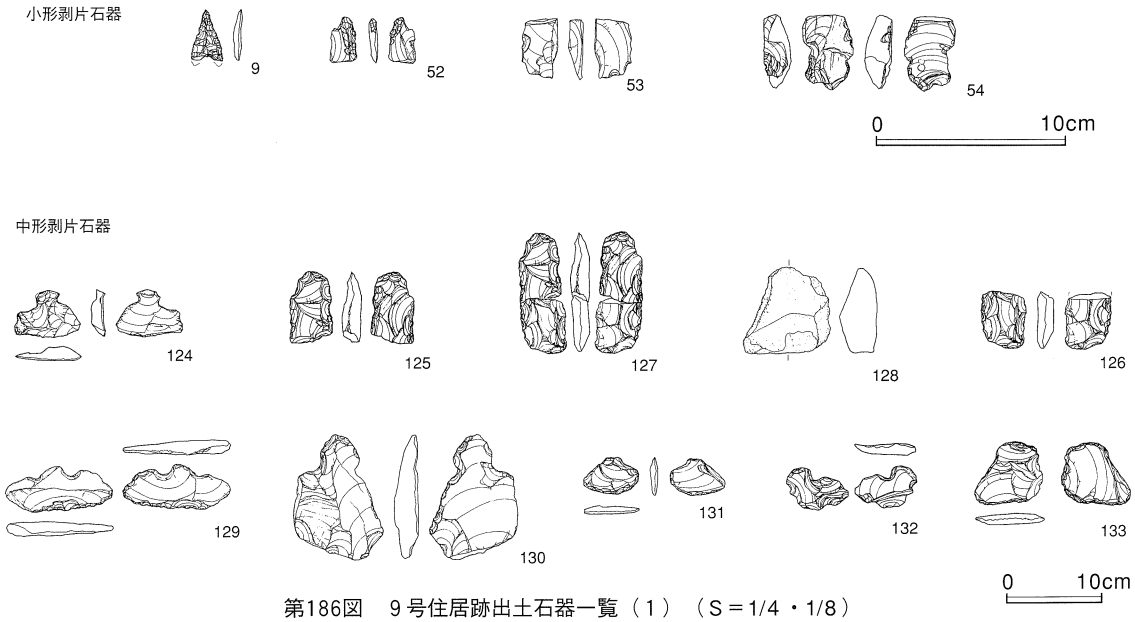
0　5cm

第184図　9号住居跡出土遺物（10）（09032～09036　S＝1/4・09037～09039　S＝1/2）

9号住居跡



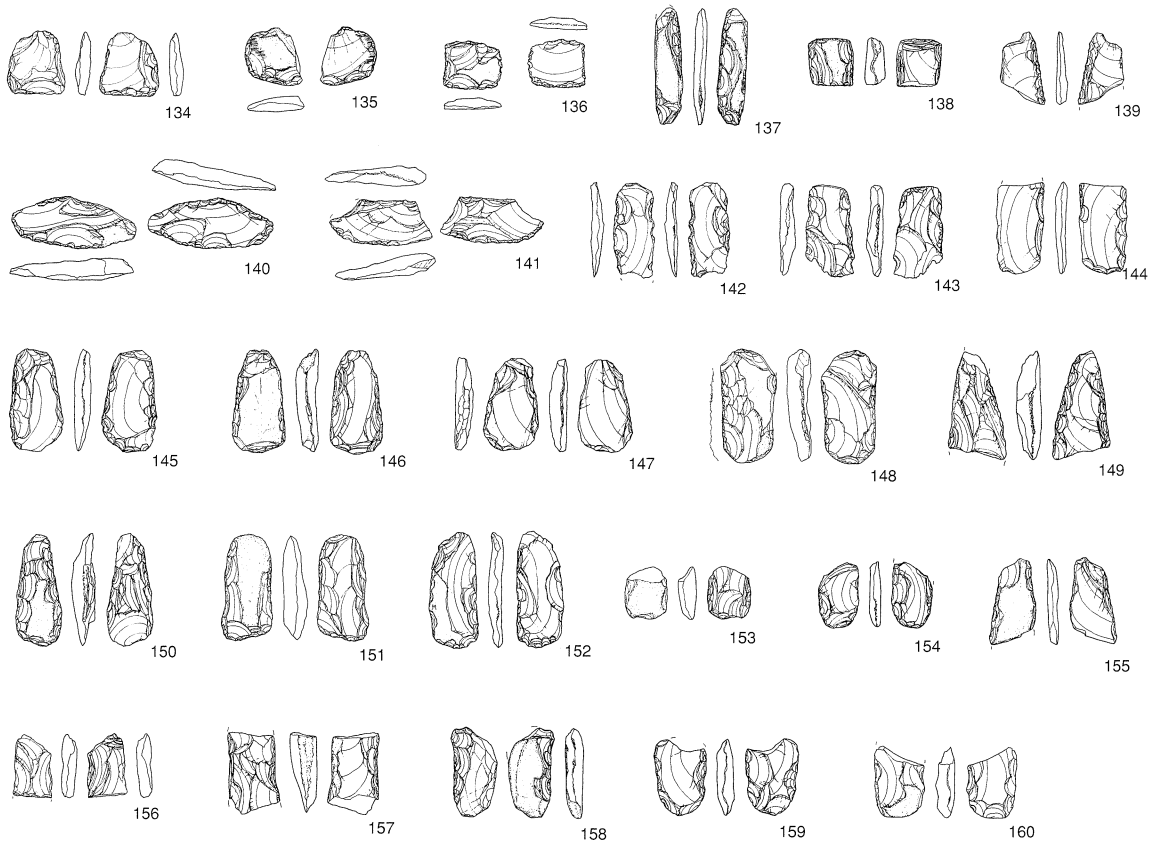
第185図　9号住居跡出土遺物（11）（S＝1/2）



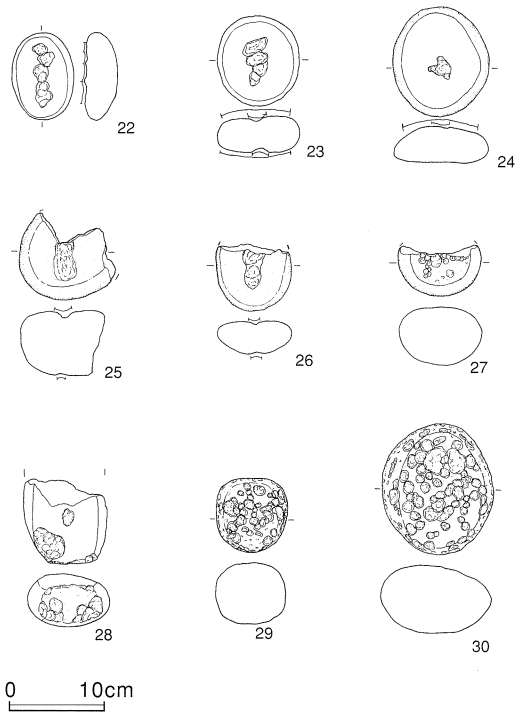
第186図　9号住居跡出土石器一覧（1）（S＝1/4・1/8）

9号住居跡

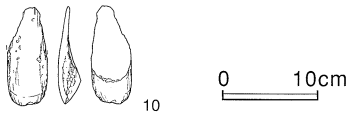
中形剥片石器



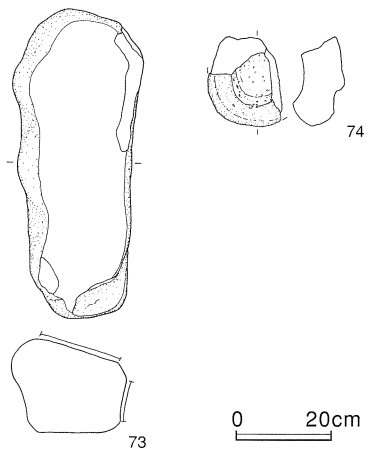
磨石類（小）



磨製石斧類

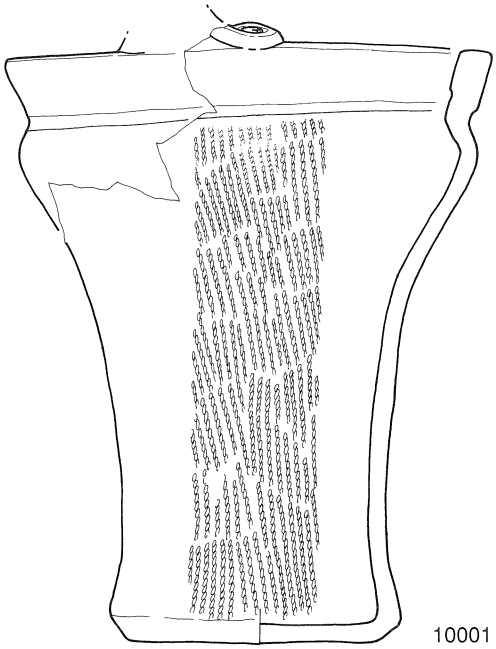


磨石類（大）



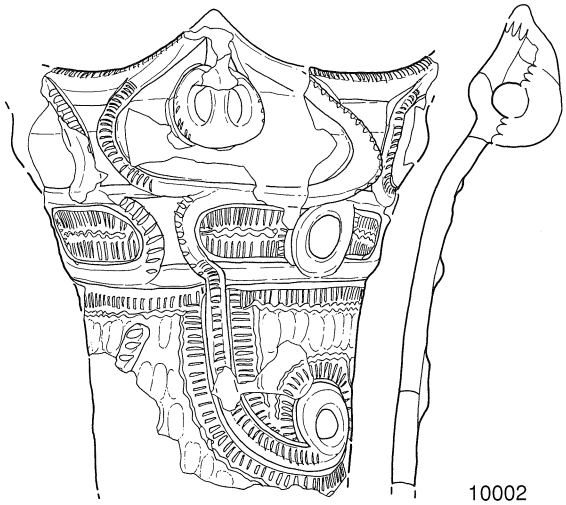
第187図　9号住居跡出土石器一覧（2）（S＝1/8・1/16）

10号住居跡



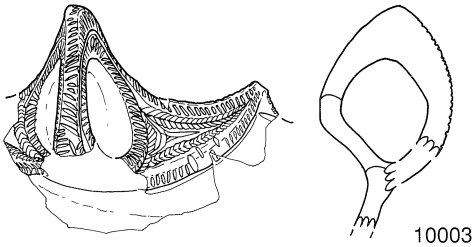
10001

口縁部１単位の大把手
体部地文単節ＲＬ

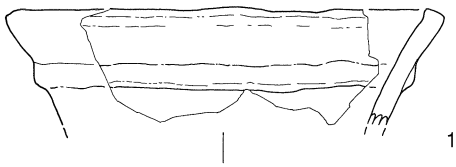


10002

口縁部４単位の小波状
波頂部から玉葱状に４単位の区画
頸部に横位楕円区画
体部に楕円区画から延びる隆帯貼付け
体部指頭圧痕



10003



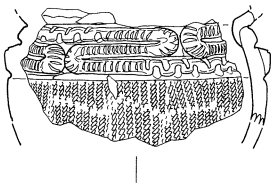
10004

１単位の大把手を有する鉢
隆帯上刻み、交互刺突
隆帯間に三叉文

0　10cm

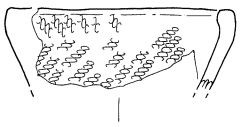
第188図　10号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）

10号住居跡



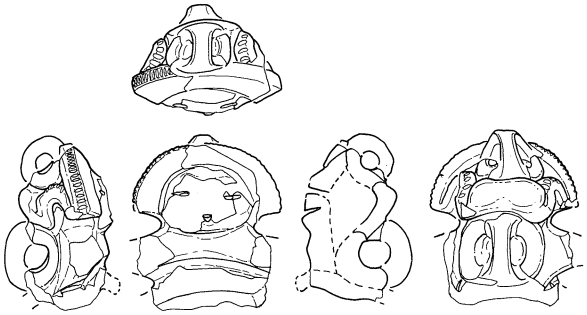
頸部蛇行隆帯貼付け
隆帯上連続刻み、交互刺突
体部地文単節ＲＬ斜位施文

10005



10006

地文単節ＲＬ口縁部の一部以外縦位施文



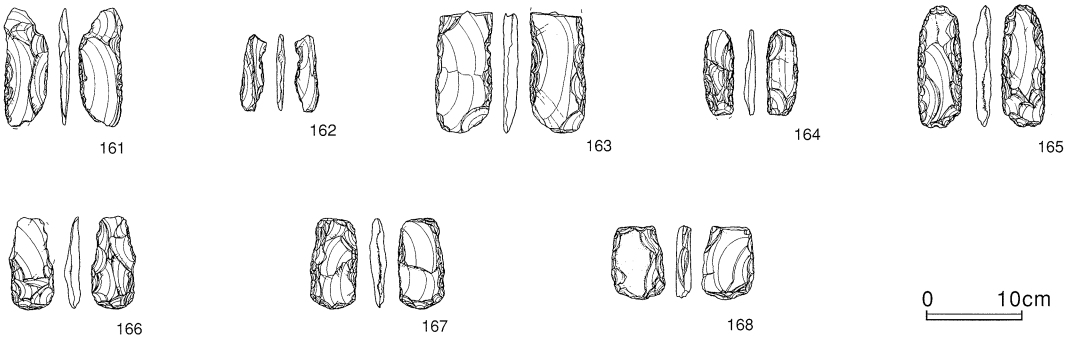
中空の土偶装飾付土器突起
器内面丁寧に調整
人体裏は環状の装飾連続

10007

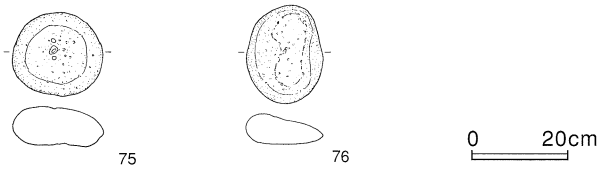
0　10cm

第189図　10号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

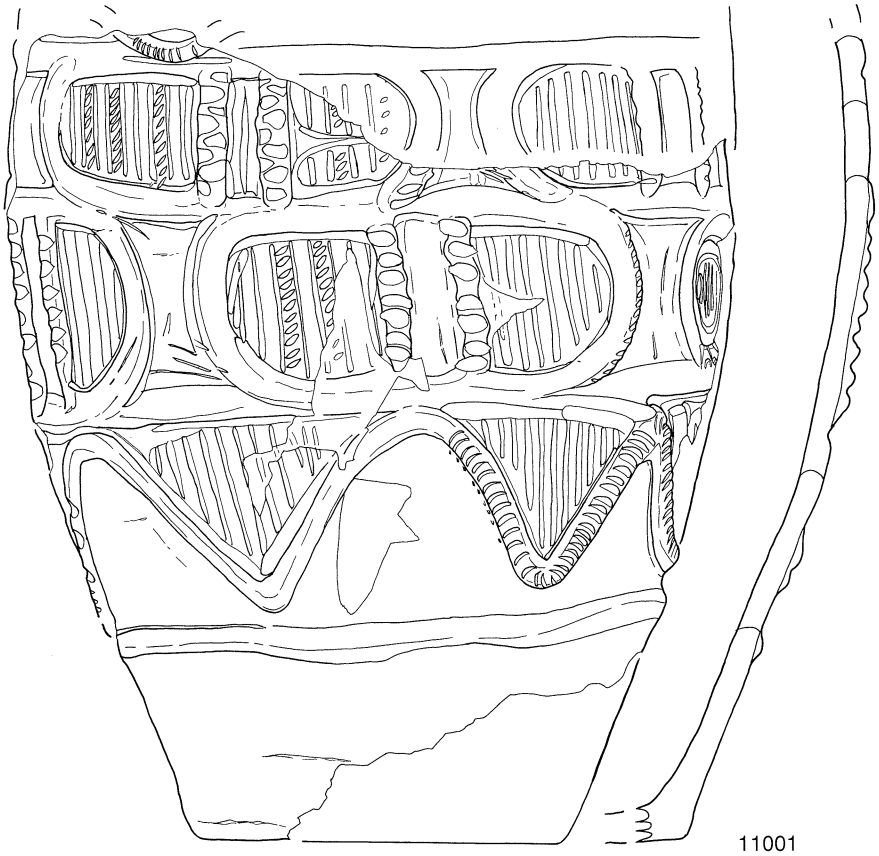
中形剥片石器



磨石類（大）



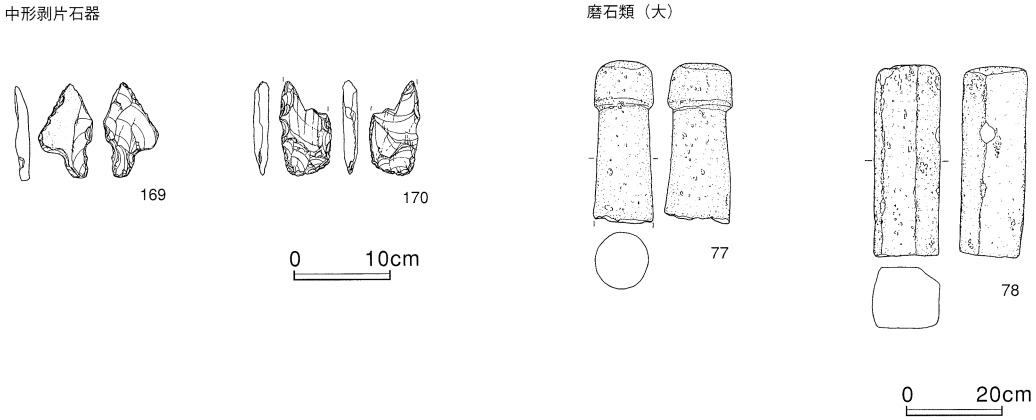
第190図　10号住居跡出土石器一覧（Ｓ＝1/8・1/16）



口頸部欠損
横帯区画
山形隆帯・楕円区画・楕円区画・山形隆帯
区画内縦位沈線充填

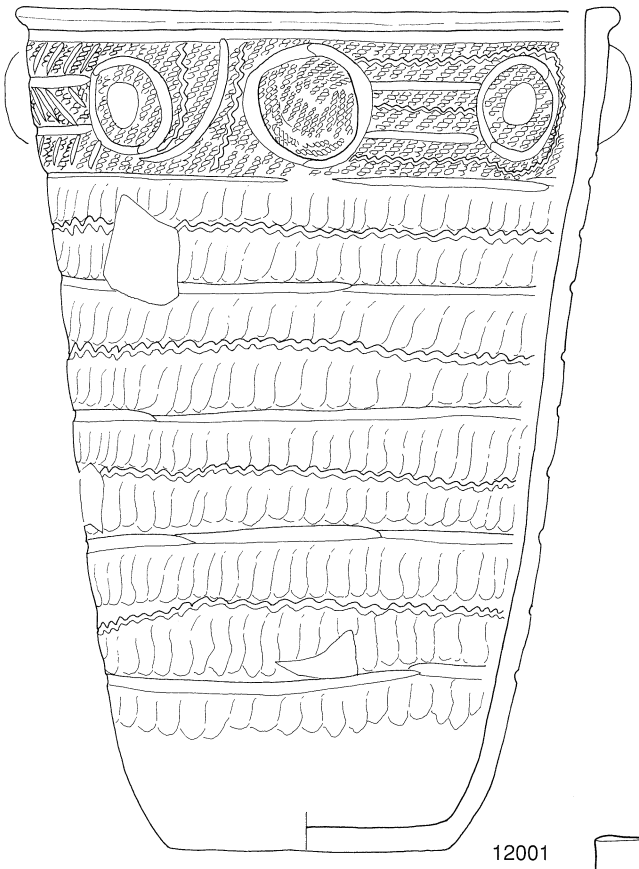
0　10cm

第191図　11号住居跡出土遺物（S＝1/4）



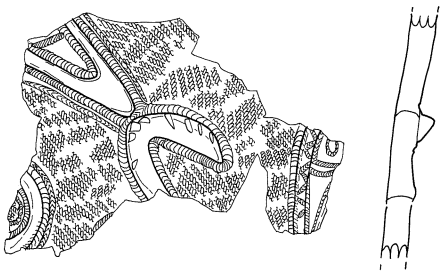
第192図　11号住居跡出土石器一覧（S＝1/8・1/16）

12号住居跡



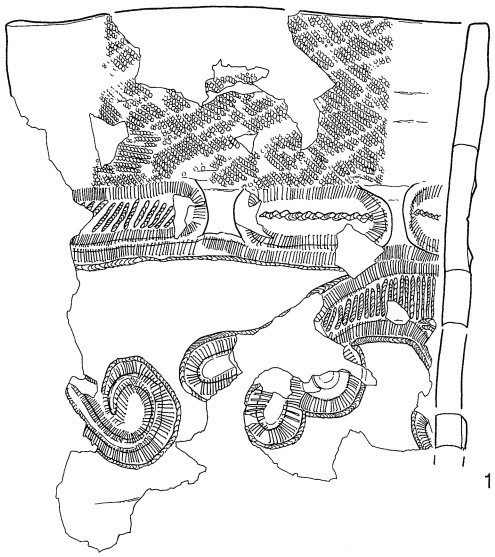
12001

平口縁
口縁部４単位の貼付けによる円文
貼付け間に沈線による円文・横位沈線文
地文単節Ｌ
体部横位沈線、ジグザグ文
沈線間指頭圧痕



12002

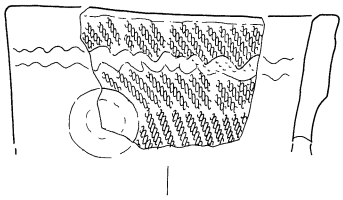
地文単節ＲＬ施文後モチーフ貼付け
隆帯脇、隆帯上に幅狭キャタピラ文、三角押し文



12003

口縁部地文単節ＲＬ
頸部横位楕円文
体部隆帯貼付けによる抽象文
隆帯輪郭をキャタピラ文、三角押し文で区画
土圧による器体の歪み顕著

0　10cm



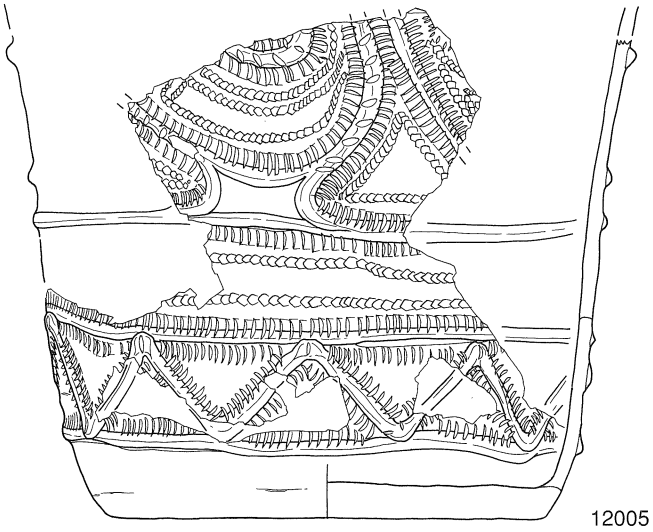
12004

口縁直下に沈線によるジグザグ文
４単位の円文
地文単節ＲＬ横位施文

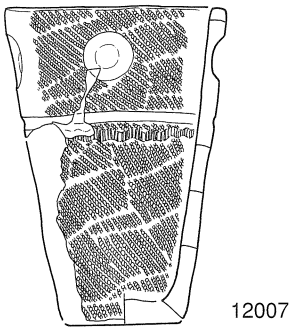
0　5cm

第193図　12号住居跡出土遺物（１）（12001～12003　S＝1/4・12004　S＝1/2）

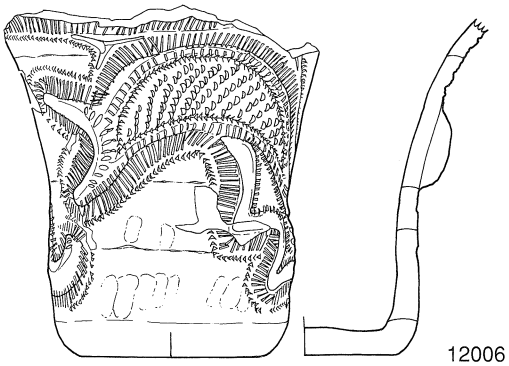
12号住居跡



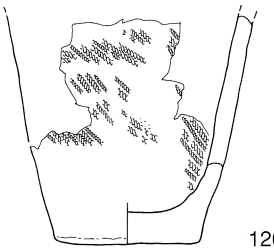
隆帯による渦巻き文、三角文
その下部を２段に横帯区画し、その下段は山形隆帯を貼付け
隆帯脇はキャタピラ文、ペン先状工具による連続押捺



平口縁
４単位の沈刻による円文
頸部沈線、押引きによるジグザグ文
地文単節ＲＬ



体部サンショウウオ状モチーフ２単位
モチーフ上竹管連続刺突
モチーフ外縁キャタピラ文、三角押し文



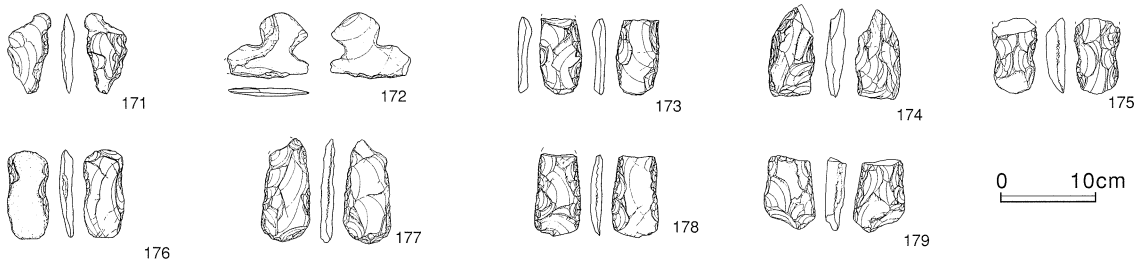
地文付加条縄文ＲＬ＋Ｌ横位施文
粗雑

0　10cm

第194図　12号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

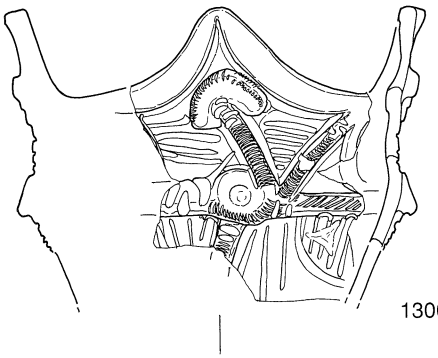
小形剥片石器

中形剥片石器

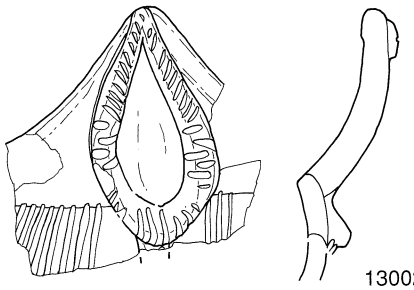


第195図　12号住居跡出土石器一覧（Ｓ＝1/4・1/8）

13号住居跡



13001

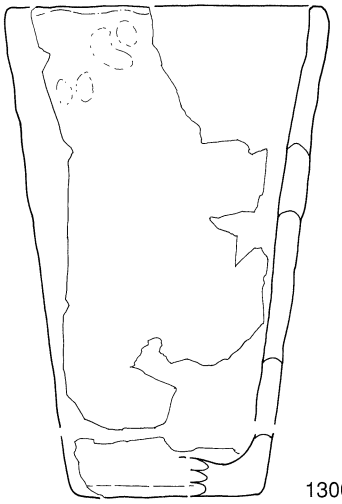


13002

口縁部推定４単位の波状　頸部鍔状隆帯
隆帯上刻み、交互刺突　地文沈線充填

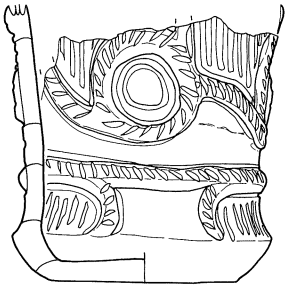
１単位の大把手
隆帯上に刻み、交互刺突

13003



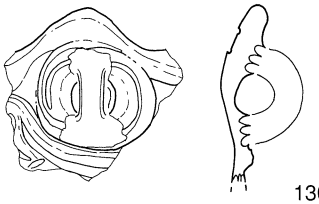
13004

平縁　無文
口縁部付近に指頭痕残す

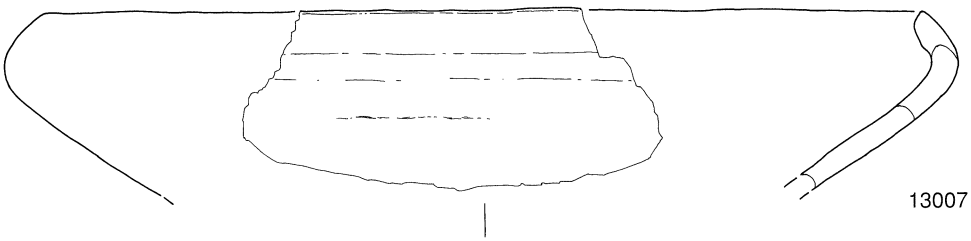


体部隆帯による円形意匠
意匠間を隆帯で連結
隆帯上ヘラ刻み
体部下半楕円横帯区画

13005



13006

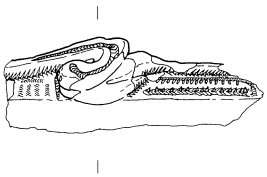


13007

0　10cm

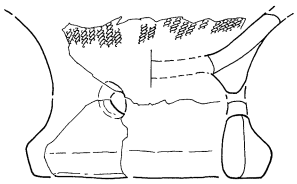
第196図　13号住居跡出土遺物（１）（S＝1/4）

13号住居跡

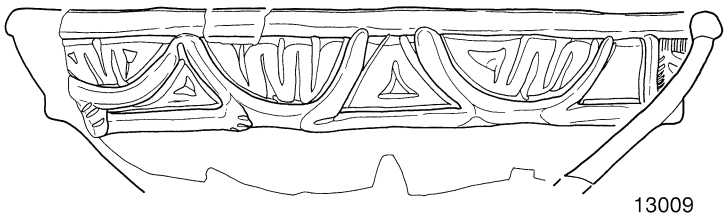


13008

隆帯脇三角押し文
口縁部文様帯三角押し文

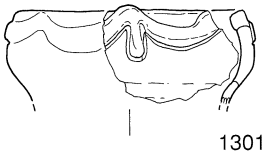


13010



13009

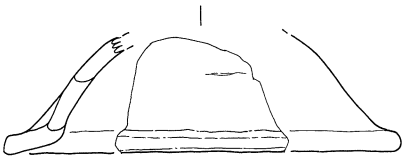
体部地文単節ＲＬ縦位施文
脚台部円形透かし



13011

口縁部弧状、三角区画
区画内三叉文、交互押引きによりジグザグ文で充填

0　10cm



外面黒彩

13012

0　5cm

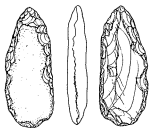
第197図　13号住居跡出土遺物（２）（13007～13011　S＝1/4・13012　S＝1/2）

小形剥片石器

11

0　10cm

中形剥片石器

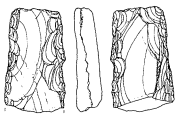


180

181

182

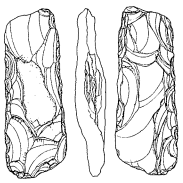
183



184

185

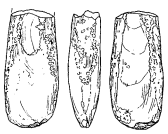
186



187

磨製石斧類

11

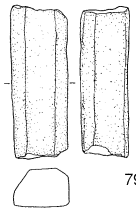


12

13

0　10cm

磨石類（大）

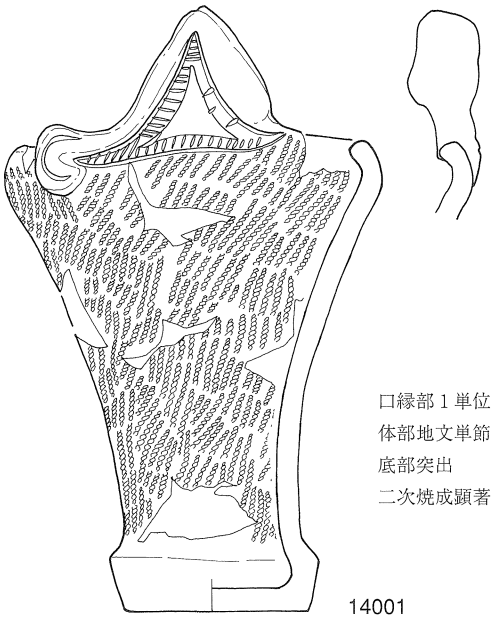


79

0　20cm

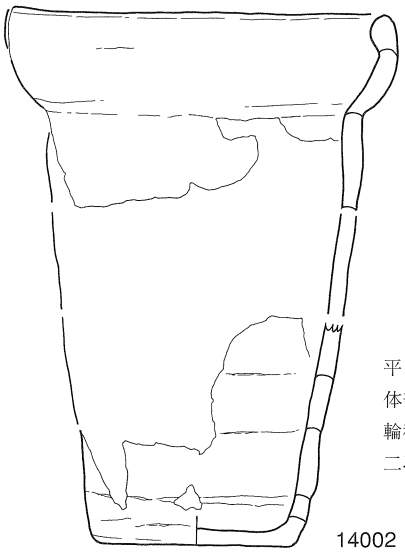
第198図　13号住居跡出土石器一覧（S＝1/4・1/8・1/16）

14号住居跡



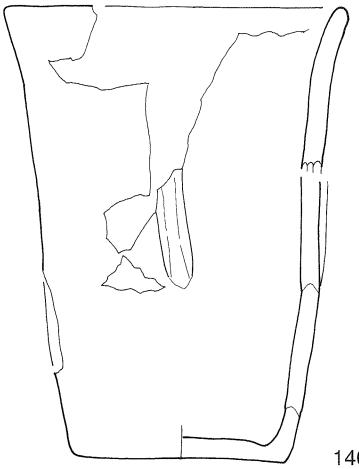
口縁部１単位の大把手
体部地文単節ＬＲ
底部突出
二次焼成顕著

14001



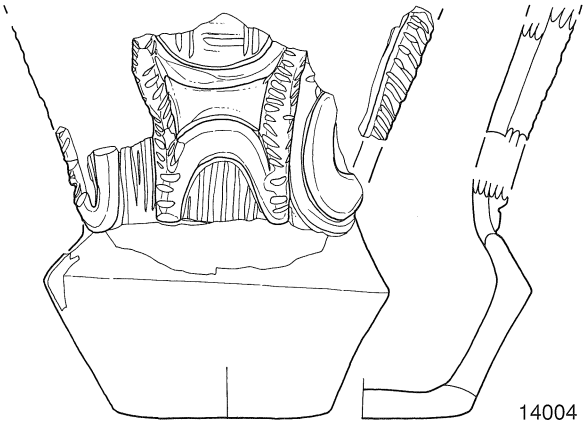
平口縁
体部無文
輪積み痕残す
二次焼成顕著

14002



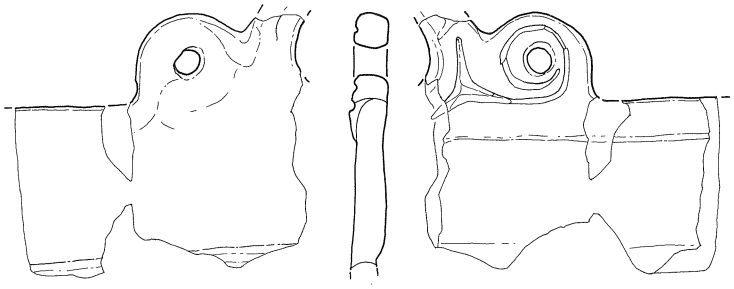
14003

平口縁か
体部縦位隆帯貼付け１単位
二次焼成を受ける



14004

算盤玉状の底部から外上方に立ち上がる
縦位隆帯間対向Ｕ字モチーフ



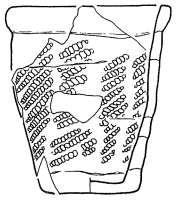
口縁部１単位の大把手
二次焼成顕著

14005

第199図　14号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）

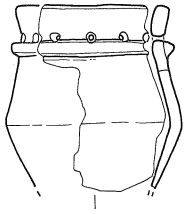
0　10cm

14号住居跡

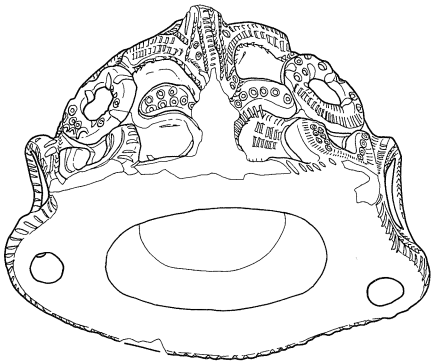


地文単節ＬＲ縦位施文

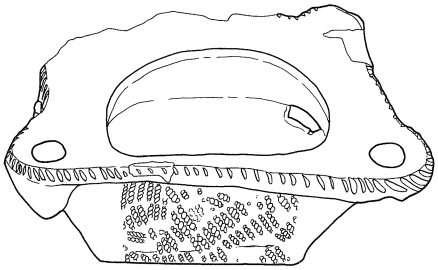
14006

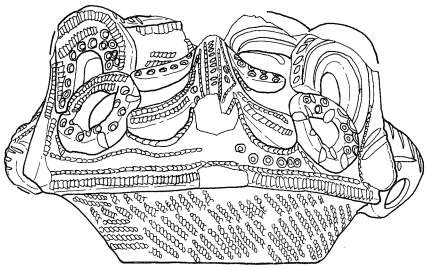


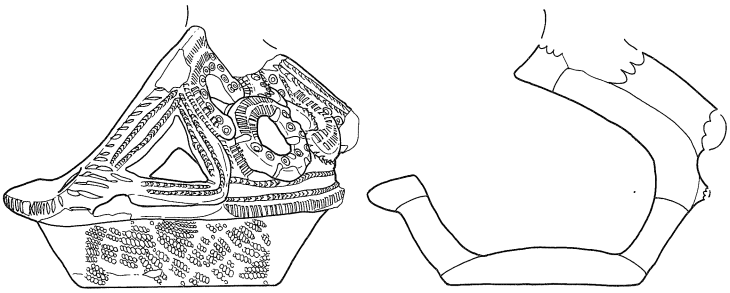
14007



天蓋式の釣手土器
天蓋部外面中央に人物（動物）意匠
顔面部打ち欠きか
意匠両側に円形、三角形透かし
隆帯上竹管状工具による円文、隆帯脇に三角押し文
体部下半単節ＲＬ斜位施文
内面炭化物粒子付着







14008

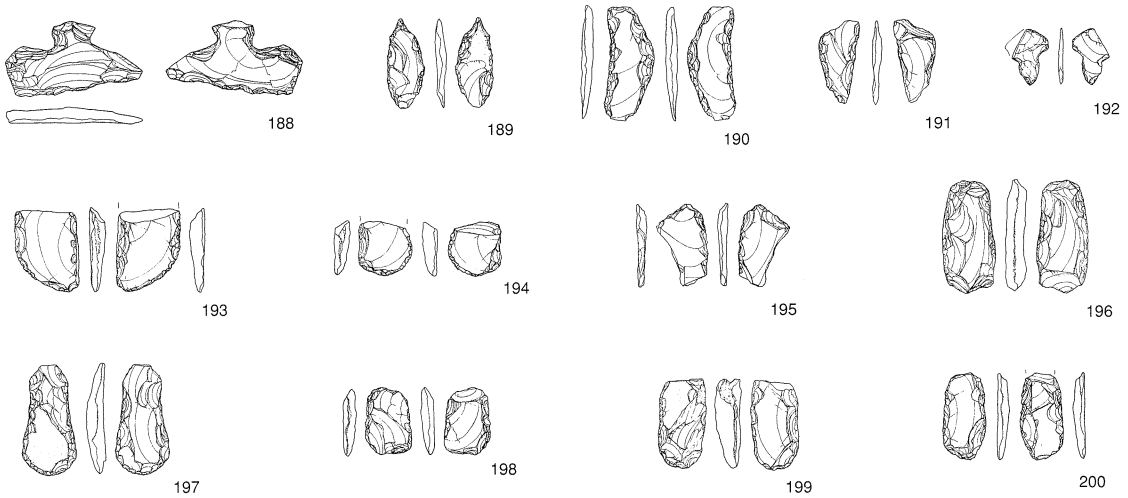
0　10cm

第200図　14号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

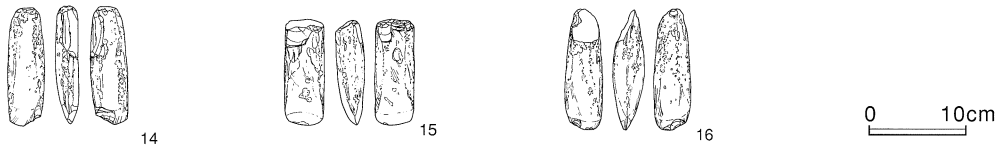
14号住居跡

小形剥片石器

中形剥片石器

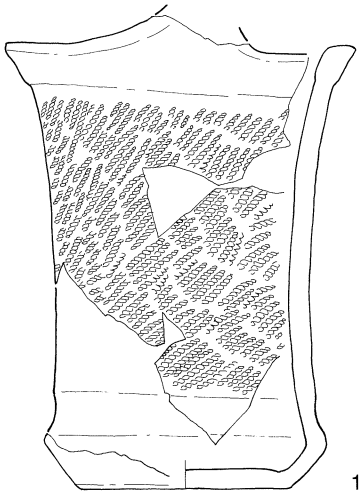


磨製石斧類



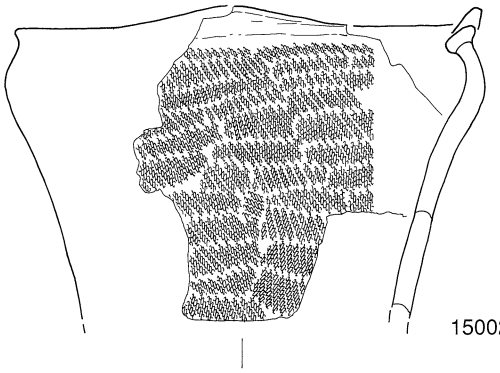
第201図　14号住居跡出土石器一覧（S＝1/4・1/8）

15号住居跡



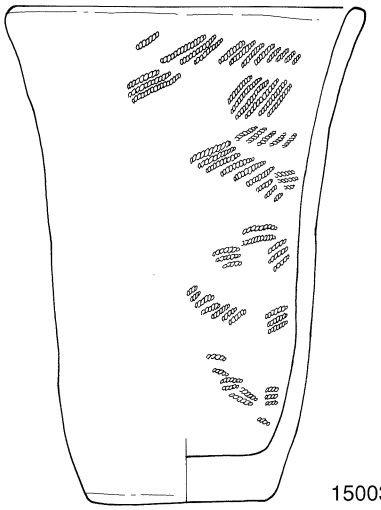
15001

１単位の把手
体部地文単節ＲＬ斜位施文



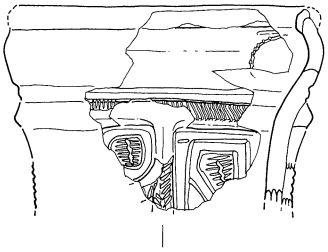
15002

１単位の把手
体部地文単節ＲＬ斜位施文



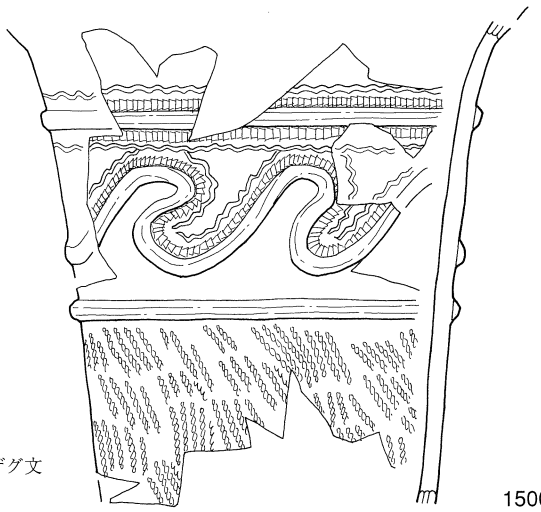
15003

平縁
体部地文単節ＲＬ施文後磨り消し



口縁部隆帯剥落
頸部鍔状隆帯
体部パネル文

15004



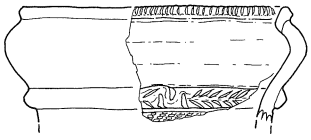
頸部横帯区画
区画内波状隆帯
隆帯上位のみ脇にキャタピラ文、ジグザグ文

15005

0　10cm

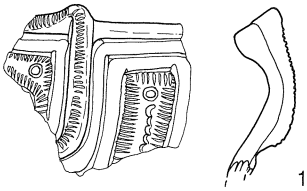
第202図　15号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）

15号住居跡

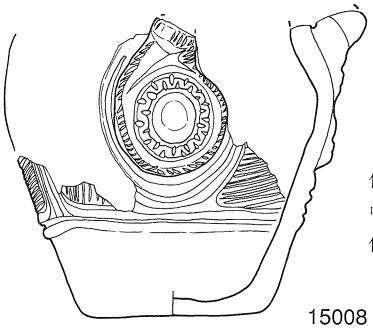


15006

頸部隆帯交互刺突、綾杉状刻み
体部単節ＬＲ

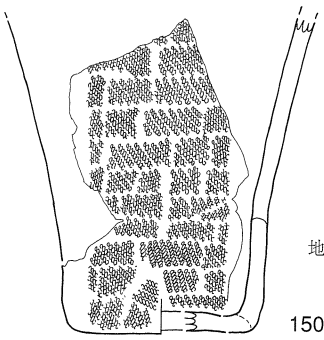


15007



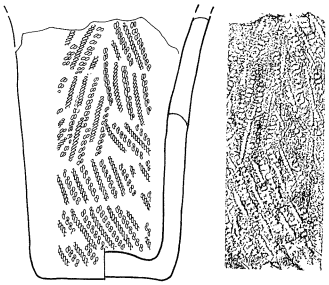
15008

体部パネル文
中央に推定１単位の円文
体部下半無文帯



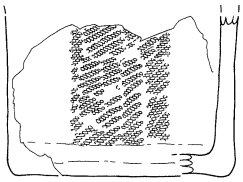
15009

地文単節ＲＬ横位施文

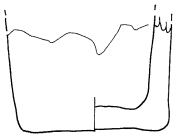


15010

地文付加条縄文
ＲＬ・ＲＬＲ組合せ
ＬとＬＲの原体をＲ方向に撚る

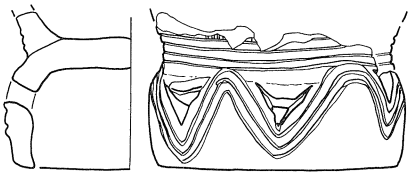


15011



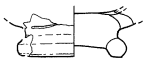
15012

地文単節ＲＬ縦位施文



15013

脚台部に３条の沈線により山形文
山形文内部を三角形透かし

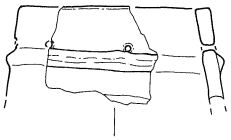


高台状の脚台付加
15014

0　10cm

第203図　15号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

15号住居跡

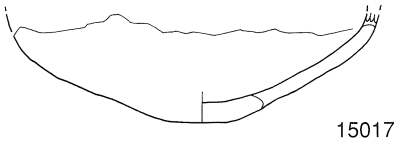


15015

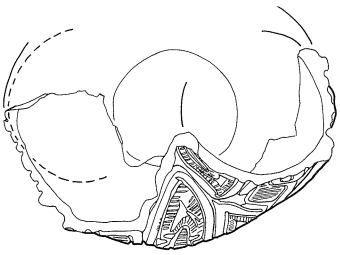
外面赤彩後黒彩
内面赤彩

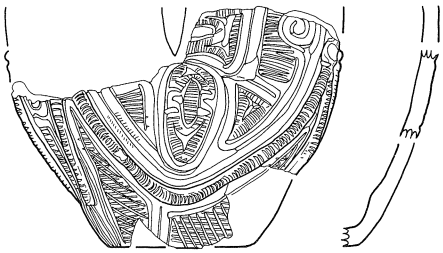
15016

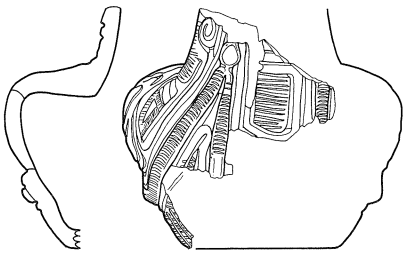
内面赤彩
焼成前穿孔

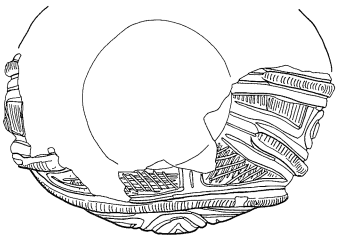


15017









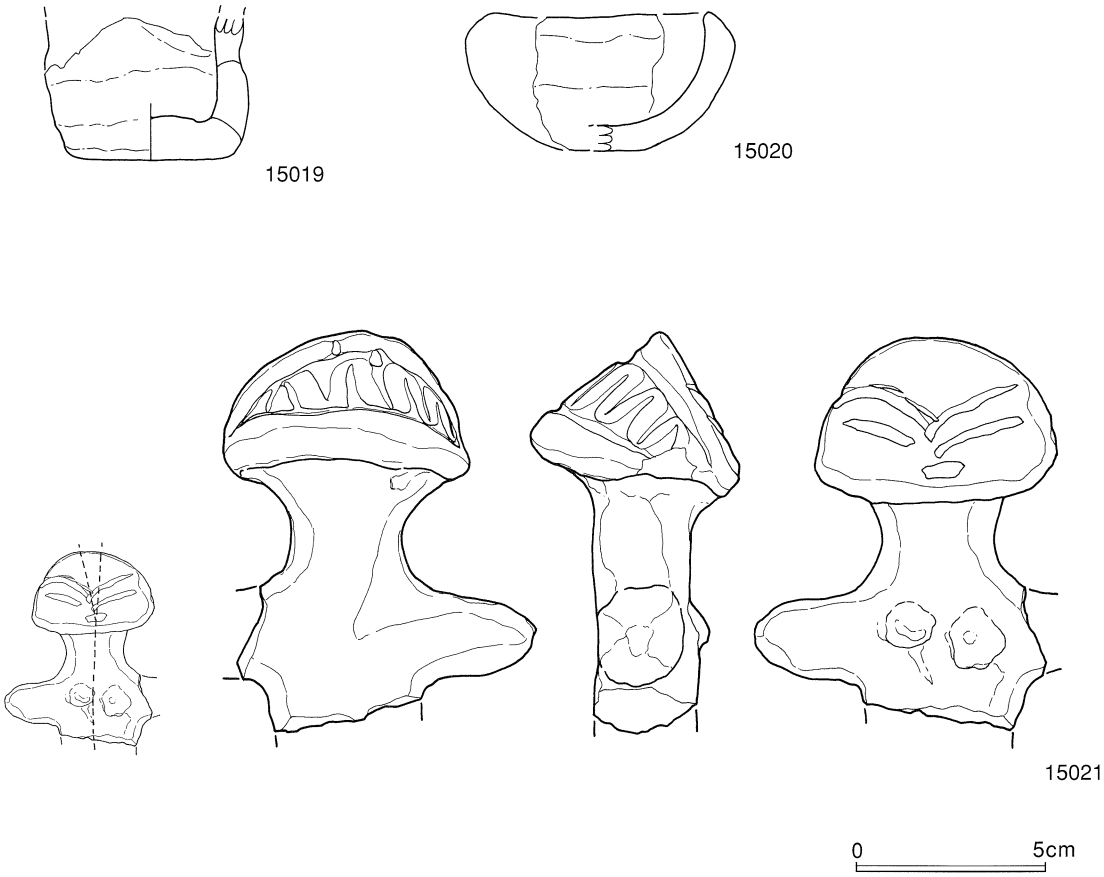
15018

遺存状態不良のため詳細不明
双口土器と想定
パネル文全面に展開
隆帯を山形に配す
隆帯上ヘラ刻み
区画内三叉文、斜格子文等で充填

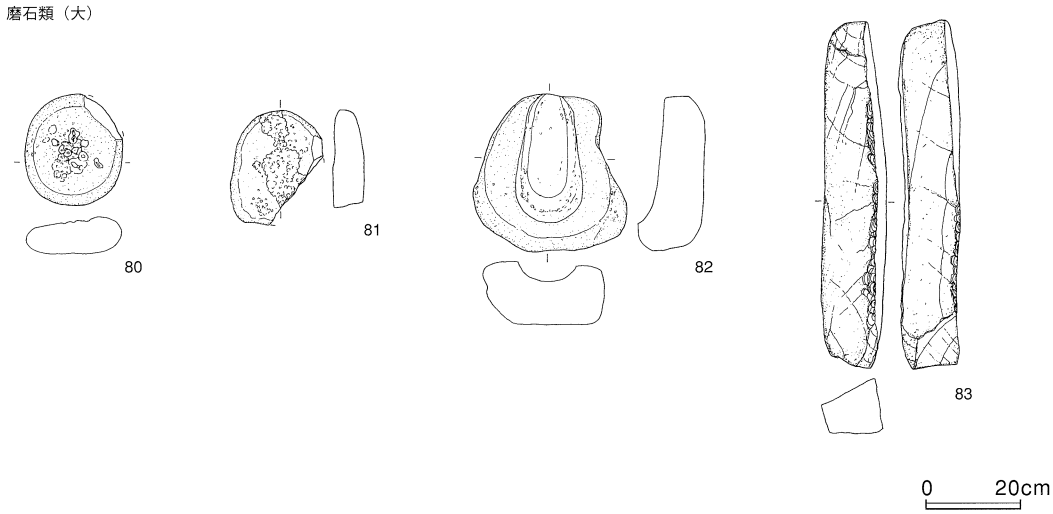
0　10cm

第204図　15号住居跡出土遺物（3）（S＝1/4）

15号住居跡

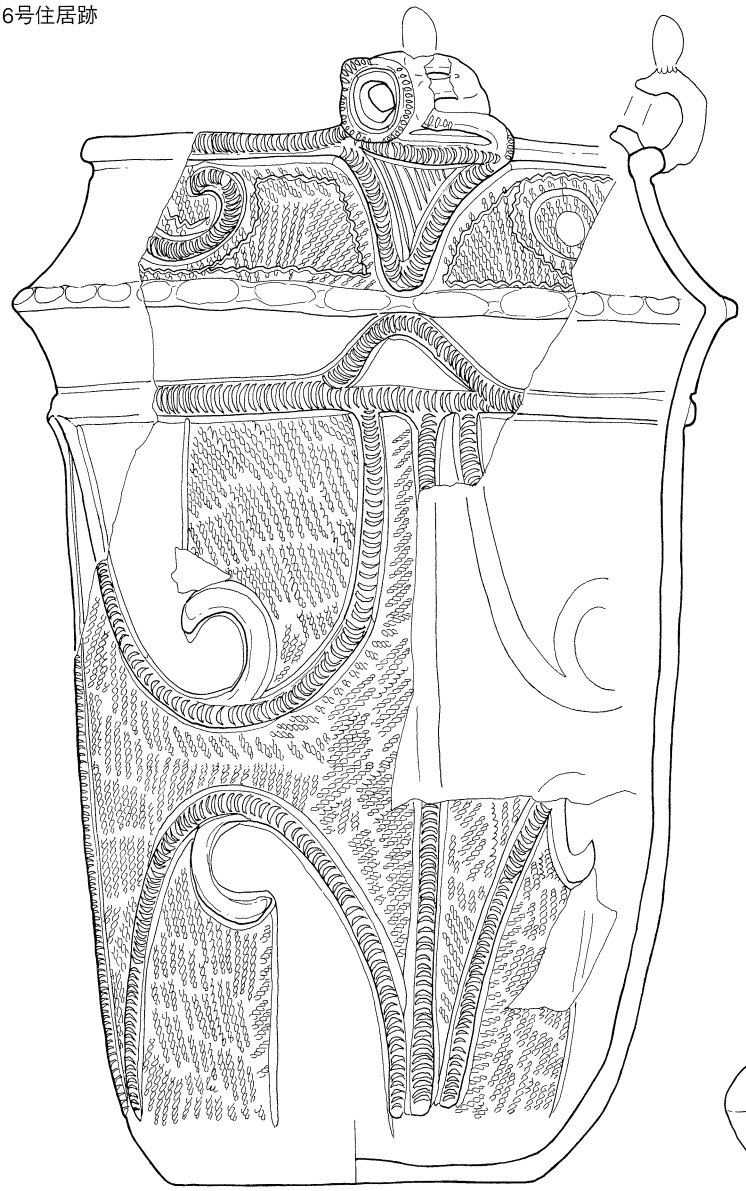


第205図　15号住居跡出土遺物（４）（Ｓ＝1/2）



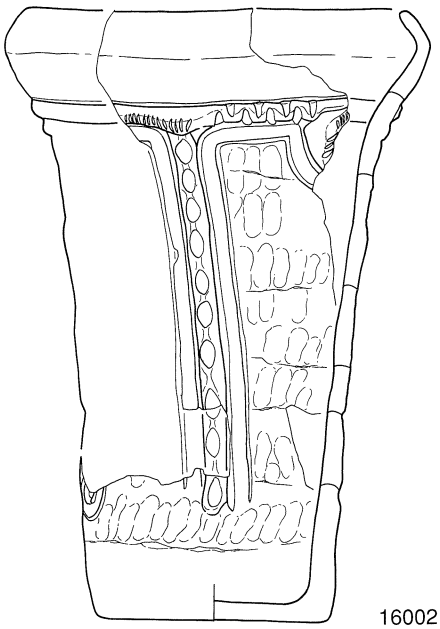
第206図　15号住居跡出土石器一覧（Ｓ＝1/16）

16号住居跡



16001

口縁部１単位の大把手
口縁部文様帯隆帯、沈線により渦巻き文、
円文体部文様隆帯による縦位４単位区画
区画内対向Ｕ字状隆帯
地文単節ＲＬ充填
後磨り消し

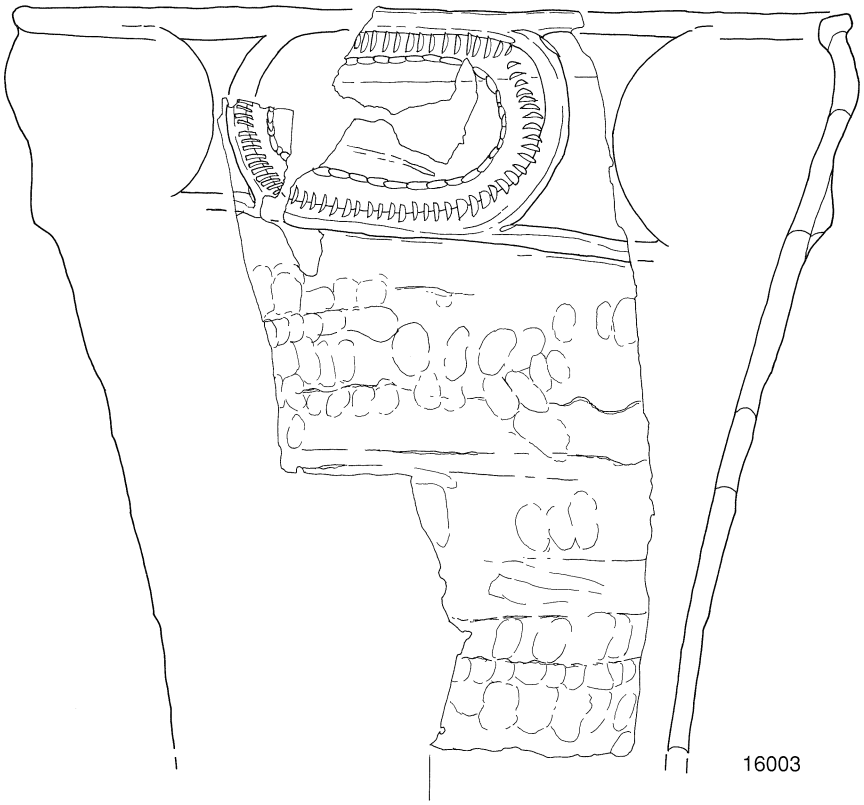


16002

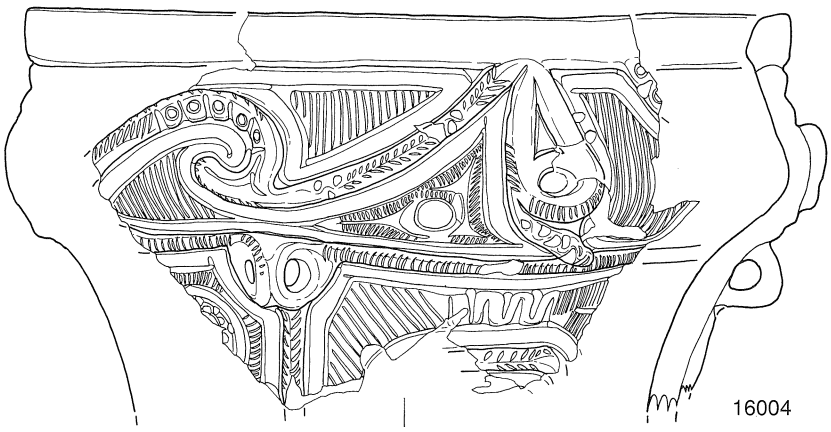
平口縁か
頸部横位隆帯上交互刺突
以下胴部縦位隆帯区画
体部指頭痕明瞭に残すが底部
付近は磨かれ光沢を帯びる

0　10cm

第207図　16号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）



平口縁か
口縁部楕円横帯区画
区画内面爪形連続刻み、ペン先状工具による押引き
体部指頭痕明瞭に残す

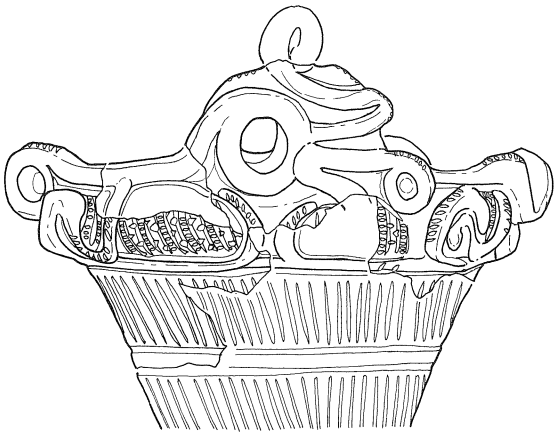


口縁部波状隆帯による区画
隆帯上円形刺突、綾杉状刻み
区画内縦位条線、三叉文充填
体部パネル文
区画内斜位条線、交互押引き

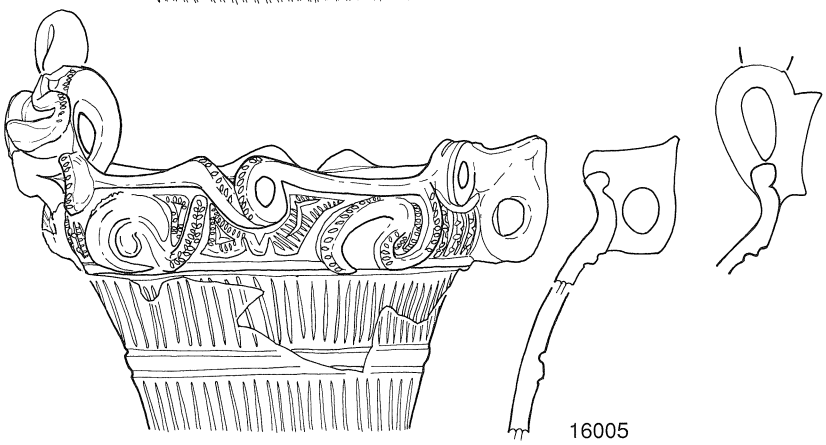
0　10cm

第208図　16号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

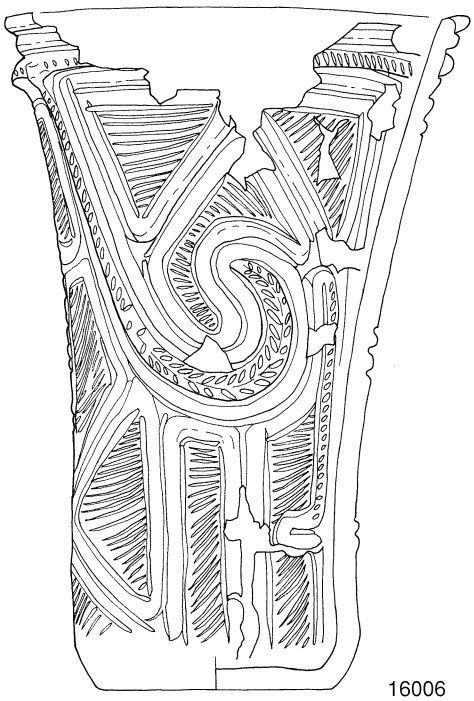
16号住居跡



口縁部１単位の大把手
口縁部隆帯による楕円区画、山形区画
体部横位隆帯
体部地文縦位条線



16005

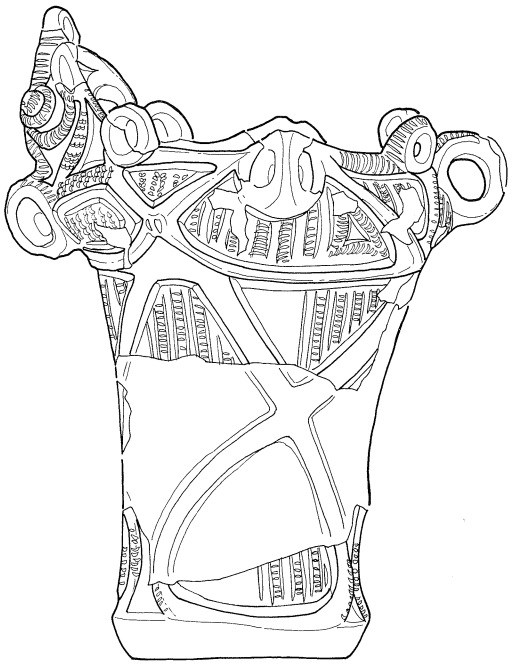


平口縁か
頸部鍔状隆帯
体部パネル文
区画内沈線充填
隆帯上連続刻み、綾杉状刻み

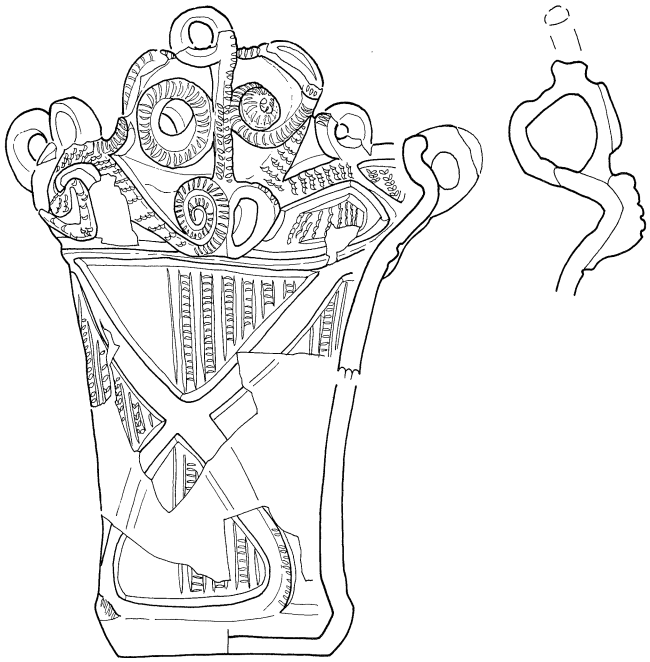
16006

0　10cm

第209図　16号住居跡出土遺物（３）（Ｓ＝1/4）



口縁部１単位の大把手と３個の把手で４単位に区画
この区画の中間に小環状の突起を付す
大把手内面はミミズク状を呈し、外面は蛇体モチーフが展開
４単位区画から延びる隆帯により重三角文を構成
区画内連続円環刺突等で充填
体部斜格子状隆帯

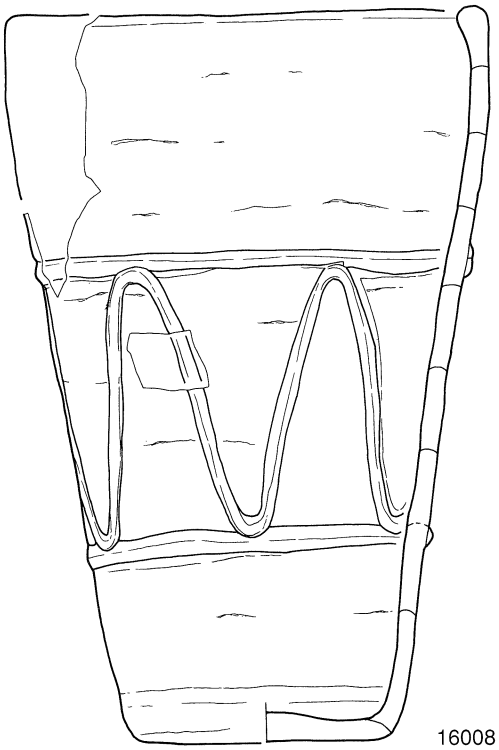


16007

0　10cm

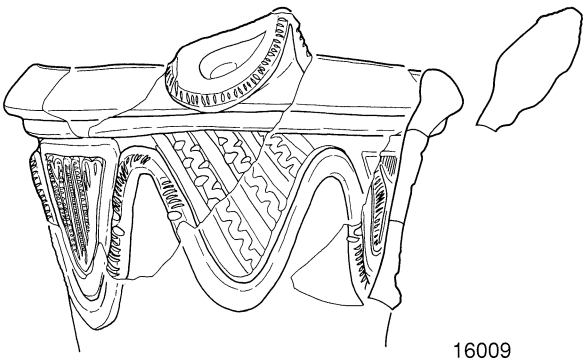
第210図　16号住居跡出土遺物（４）（S＝1/4）

16号住居跡



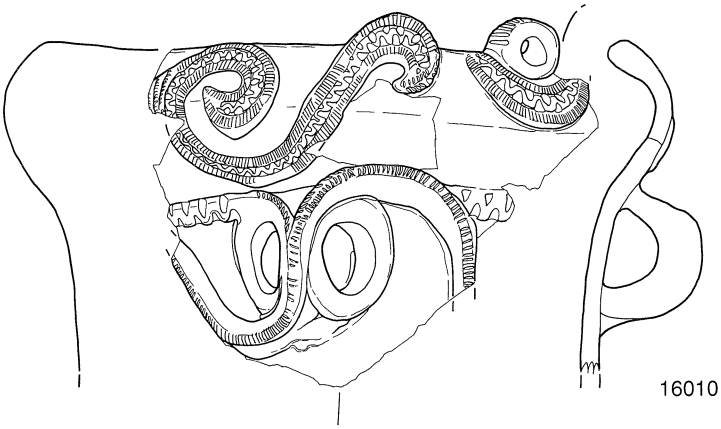
16008

底部から直線的に立ち上がり、口縁部で若干内弯する
胴部横位隆帯区画により中帯文
山形隆帯貼付け



16009

口縁部１単位の把手
頸部鍔状隆帯
体部山形隆帯



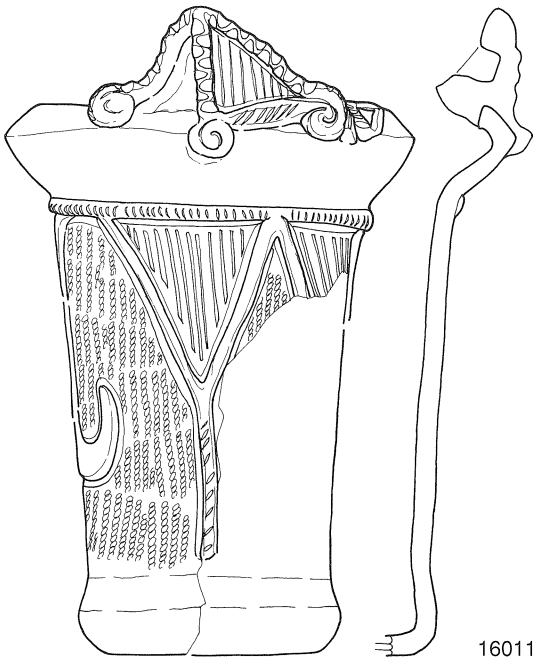
16010

口縁部推定１単位の大把手
把手部欠損
頸部推定４単位のミミズク把手
把手間を隆帯で結ぶものと推定
隆帯上連続刻み、交互刺突

0　10cm

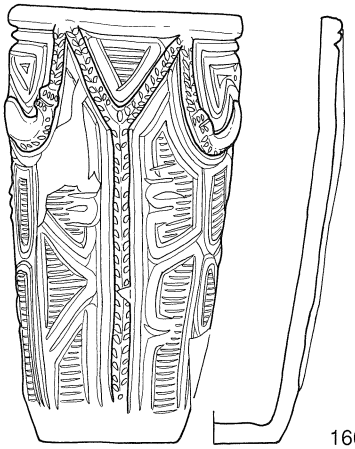
第211図　16号住居跡出土遺物（５）（S＝1/4）

16号住居跡



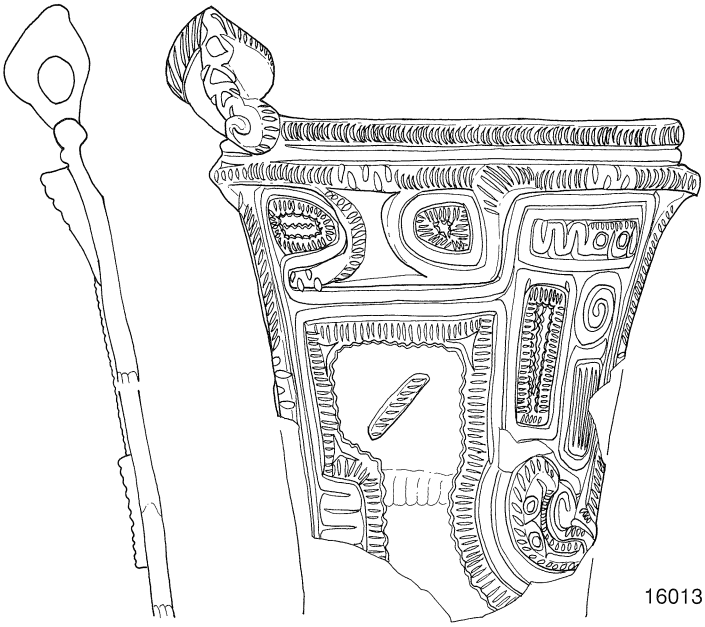
口縁部１単位の大把手
体部山形隆帯とそれから垂下する隆帯により区画
山形区画内沈線で充填
地文単節ＲＬ縦位施文

16011



平口縁
体部パネル文
体部全面に頭部の欠落した人体意匠２単位
隆帯上綾杉状刻み

16012



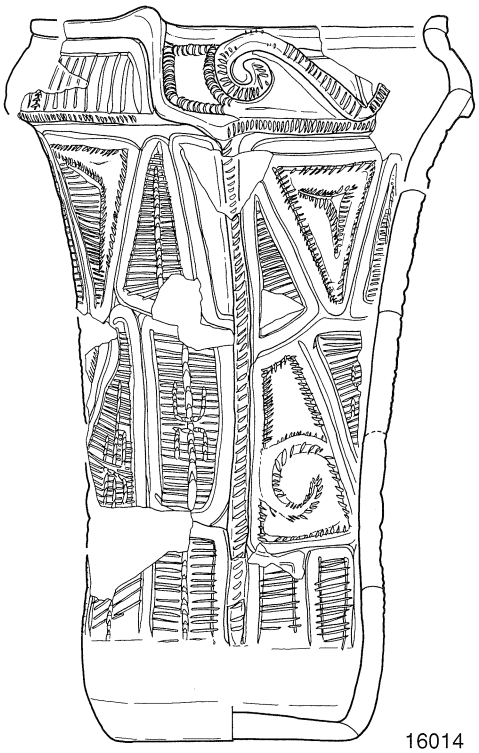
口縁部１単位の把手
頸部鍔状隆帯
体部パネル文
隆帯上綾杉状刻み、交互刺突
隆帯脇キャタピラ文、ジグザグ文
無文部一部指頭圧痕残す

16013

0　10cm

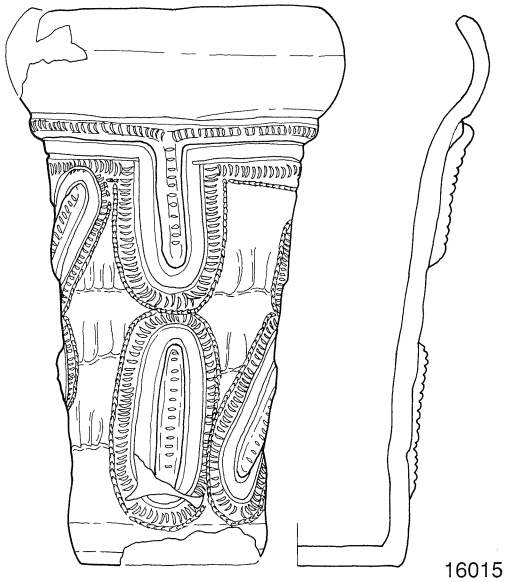
第212図　16号住居跡出土遺物（６）（Ｓ＝1/4）

16号住居跡



16014

口縁部４単位の小波状
口縁部文様帯渦文から延びる山形
隆帯(三叉文充填)、縦位沈線充填
体部パネル文
隆帯上連続刻み
区画内横位沈線
三角押し文

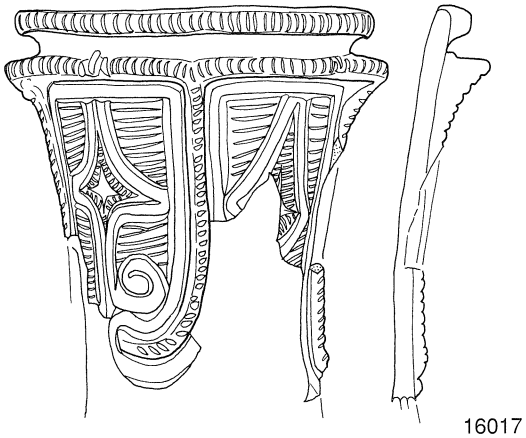


16015

平口縁
頸部横位隆帯から延びる縦位楕円文２単位と
その間に斜位の楕円文を２個１単位２単位配す
楕円文間は指頭痕を残す

16016

平口縁
底部から直線的に立ち上がり胴部上半で膨らみ
口縁部は斜め上方に立ち上がる
口縁部文様帯は４単位の「ノ」の字状突起を配し
その間を沈線文、角押し文で充填
胴部上半はＳ字状隆帯を組み合せ褶曲文を構成
胴部下半はパネル文

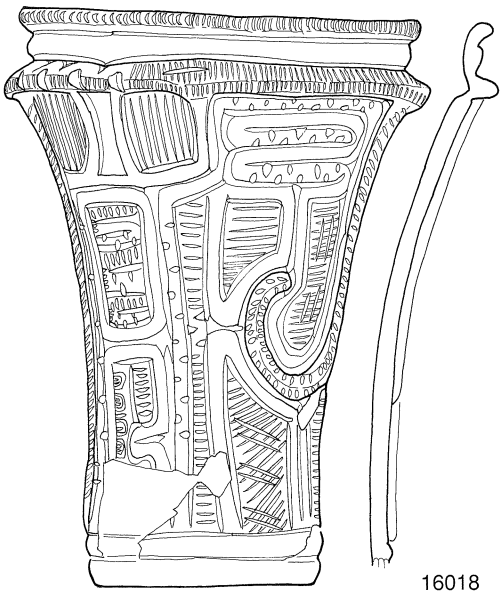


16017

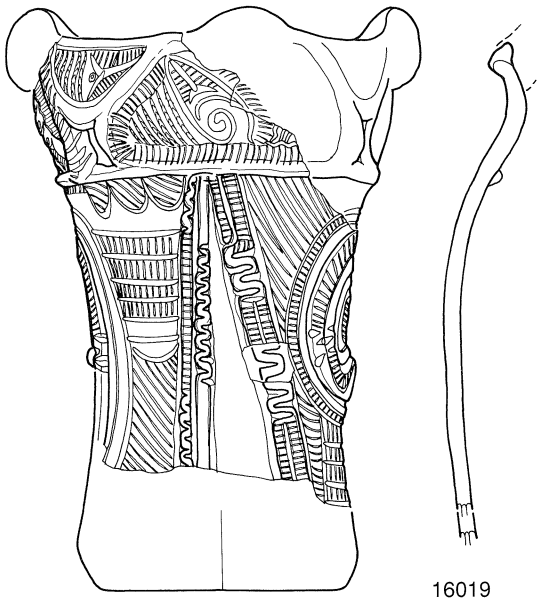
平口縁
頸部鍔状隆帯
体部パネル文
区画内菱形文十字文施文後横位沈線充填

0　10cm

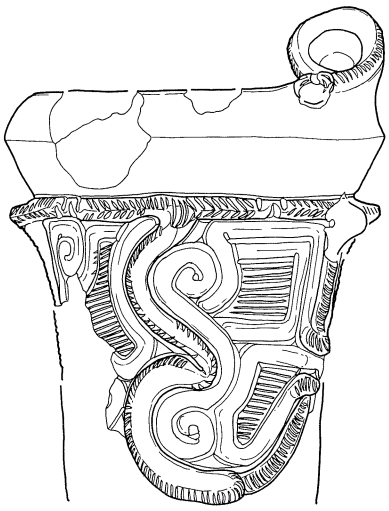
第213図　16号住居跡出土遺物（７）（Ｓ＝1/4）



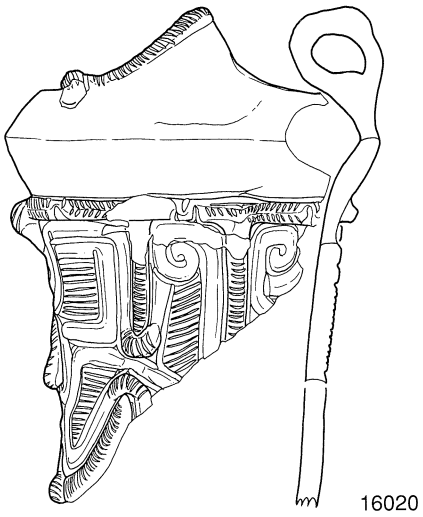
平口縁
頸部鍔状隆帯
体部パネル文
隆帯上綾杉状刻み



口縁部４単位の小波状
推定ミミズク状の小把手を頂点に重三角文を構成
区画内三角押し文、三叉文等充填
体部隆帯による渦巻き文と直線文を交互に配す
隆帯上連続刻み、交互刺突



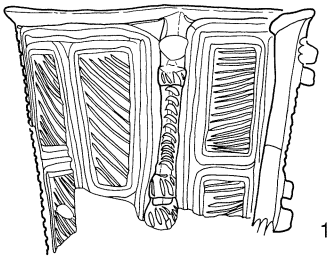
口縁部１単位の山形突起
頸部鍔状隆帯
隆帯上綾杉状刻み、交互刺突
体部パネル文
区画内横位沈線充填



0　10cm

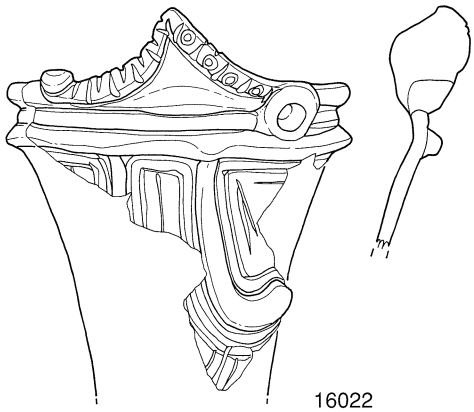
第214図　16号住居跡出土遺物（８）（Ｓ＝1/4）

16号住居跡



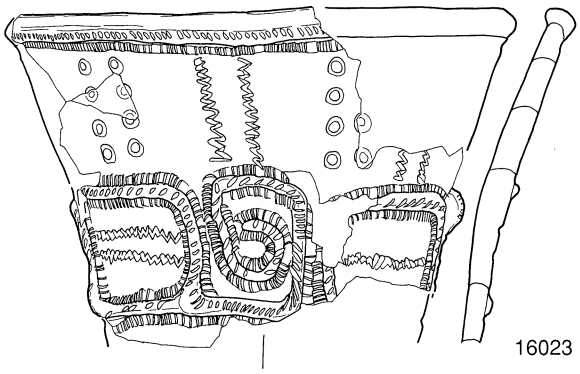
16021

平口縁
口縁部から４単位の縦位隆帯垂下
隆帯上瘤上貼付け、連続刻み
体部文様パネル文
区画内横位、斜位沈線充填



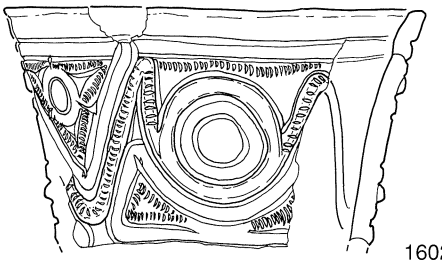
16022

口縁部１単位の山形突起
頸部鍔状隆帯
体部小破片のため歪み有りか



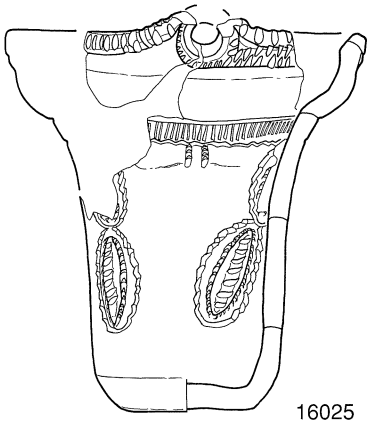
16023

平口縁
頸部隆帯による方形区画
口縁直下、頸部隆帯脇角押し文
隆帯上連続刻み
口縁部縦位直列円文、ジグザグ文



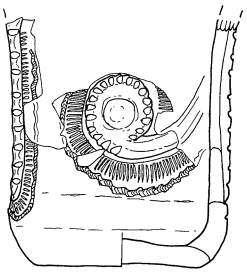
16024

平口縁
口縁直下山形隆帯とこれから延びる円文配置
隆帯上連続刻み
山形隆帯区画内円文、三叉文充填



16025

縦位隆帯と渦巻き状の隆帯を交互に配し
４単位に区画隆帯脇キャタピラ文、押
引きによるジグザグ文
無文部に輪積み痕残す



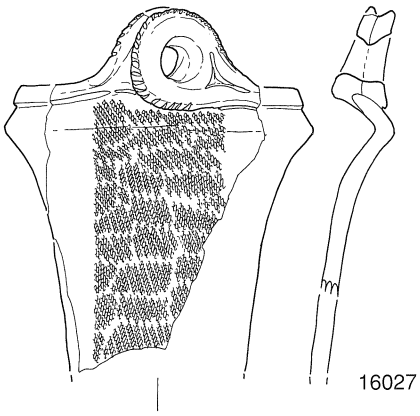
16026

縦位隆帯と渦巻き状の隆帯を交互に配し
４単位に区画隆帯脇キャタピラ文、押
引きによるジグザグ文
無文部に輪積み痕残す

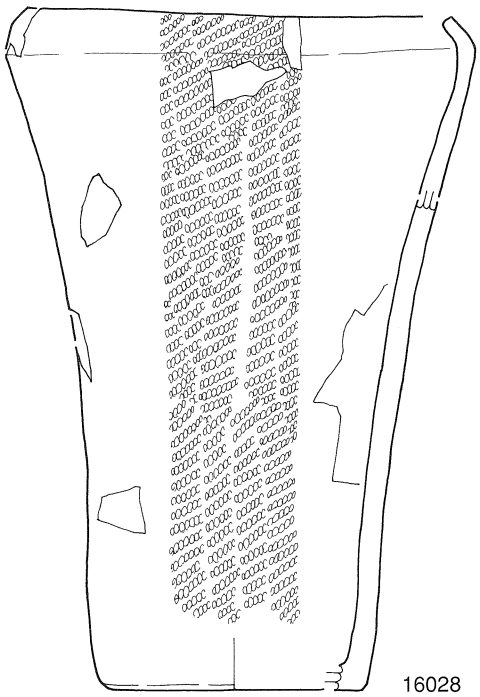
0　10cm

第215図　16号住居跡出土遺物（９）（Ｓ＝1/4）

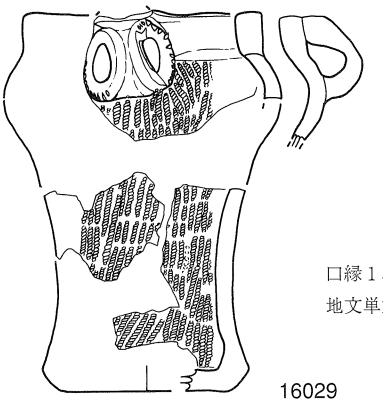
16号住居跡



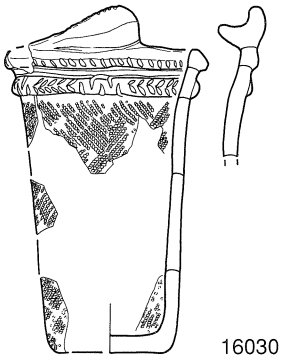
口縁部４単位の大把手
把手は２本の粘土紐を接合して作成
体部地文単節ＲＬ横位施文



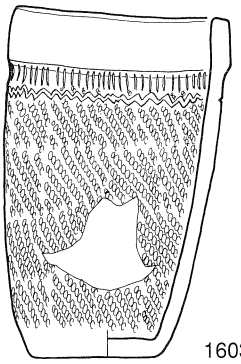
平口縁
単節ＲＬ縦位施文
内面丁寧に研磨



口縁１単位の把手
地文単節ＲＬ



口縁部１単位の山形突起
口縁部直下に横位隆帯
隆帯上綾杉状刻み、交互刺突
地文単節ＲＬ、ＬＲをランダムに施文

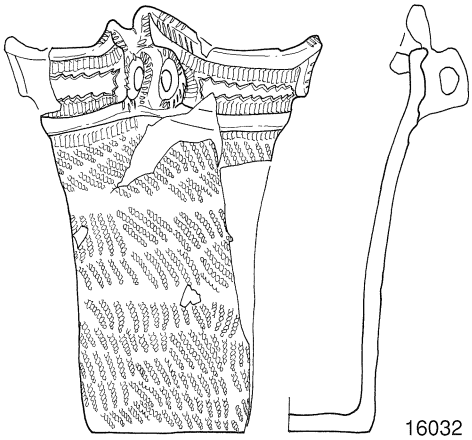


平口縁
頸部にキャタピラ文、ジグザグ文
地文単節ＲＬ横位施文

0　10cm

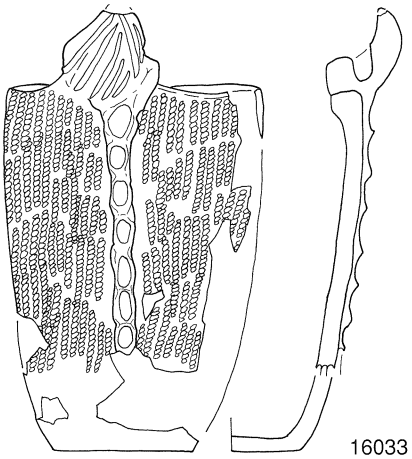
第216図　16号住居跡出土遺物（10）（Ｓ＝1/4）

16号住居跡



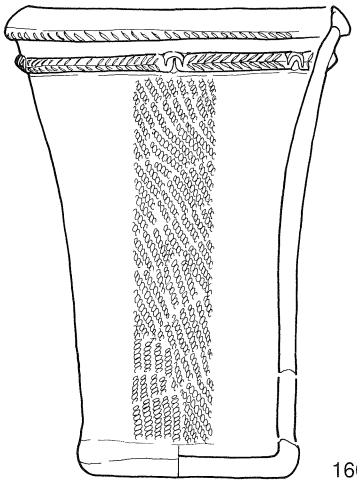
16032

口縁部４単位の突起
内１カ所を大きく突出させる
口縁部文様帯キャタピラ文、ジグザグ文
地文単節ＲＬ横位施文



16033

口縁部１単位の突起
突起から縦位に鎖状隆帯垂下
地文単節ＲＬ

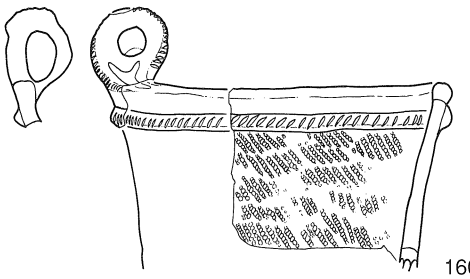


16034

平口縁
口縁部下に隆帯貼付け
隆帯上綾杉状刻み、起点文として４カ所に交互刺突
地文単節ＲＬ斜位施文
器内面研磨顕著

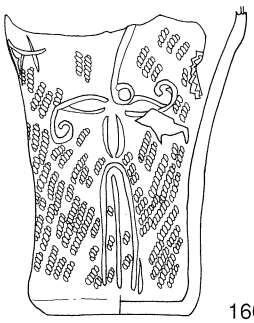
16035

平口縁
口縁部下に２条の沈線を巡らす
体部に十字状に沈線を引き、その端末に更に沈線を付加
地文単節ＲＬ施文後一部擦り消し
底部敷物痕



16036

口縁部１単位の環状突起
口縁部下に隆帯を巡らし刻みを施す
地文単節ＲＬ横位施文



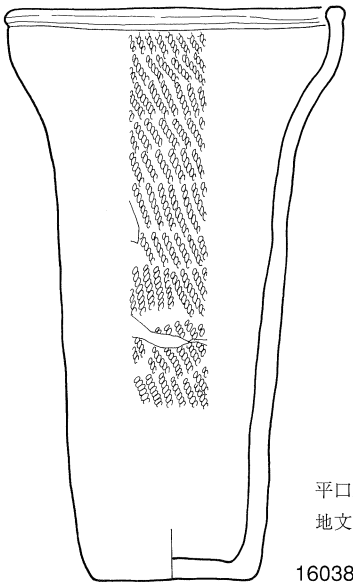
16037

口縁部欠落
体部に沈線により人体意匠？描出
地文単節ＲＬ縦位施文

0　10cm

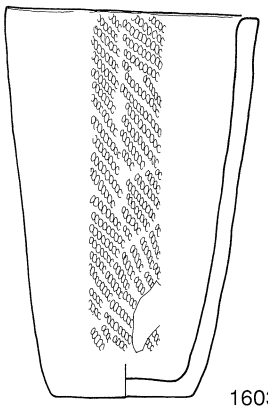
第217図　16号住居跡出土遺物（11）（Ｓ＝1/4）

16号住居跡



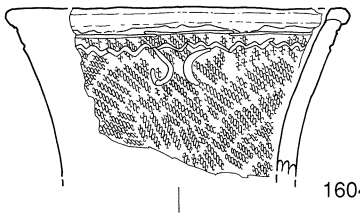
平口縁
地文単節ＲＬ横位施文

16038



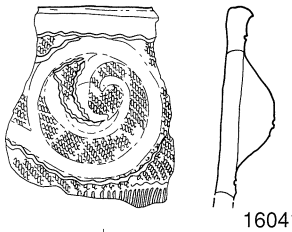
16039

平口縁
地文単節ＲＬ横位施文



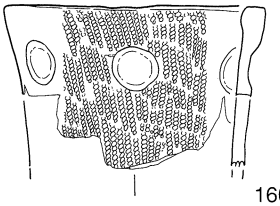
16040

体部地文単節ＲＬ横位施文後沈線施文



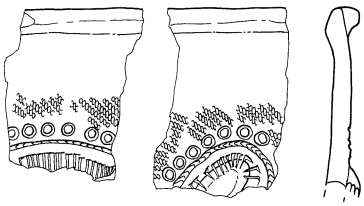
16041

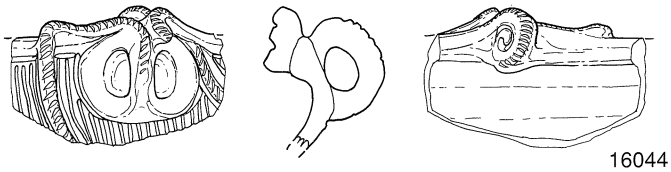
半球状の粘土塊貼付け後単節ＲＬ施文
指撫でにより幅広の渦巻き文施文



16042

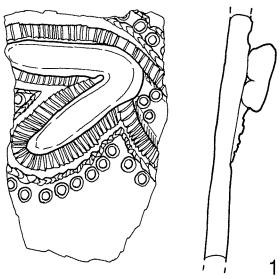
平口縁
削り取りによる円文
地文単節ＲＬ縦位施文





16044

４単位の把手を想定
隆帯上に刻み
把手内面に小突起を付加し、刻みを付す



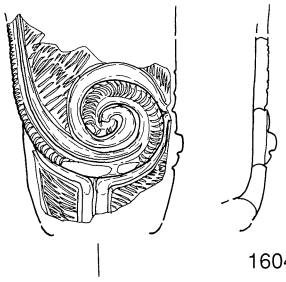
口縁部に単節ＲＬ
隆帯によるモチーフ貼付け
隆帯脇キャタピラ文、押引きに
よるジグザグ文、竹管刺突文

16043

0　10cm

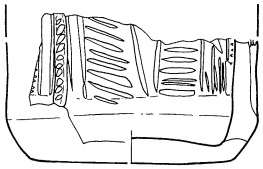
第218図　16号住居跡出土遺物（12）（Ｓ＝1/4）

16号住居跡

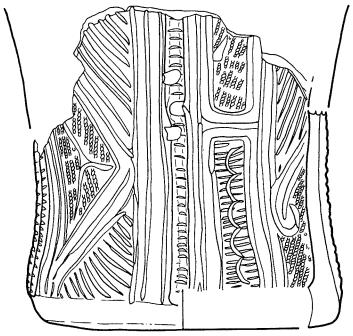


16045

体部パネル文
区画内短い単位の条線斜位施文

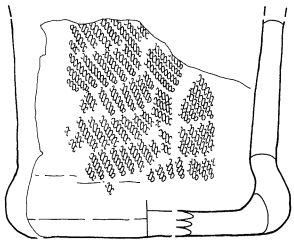


16046



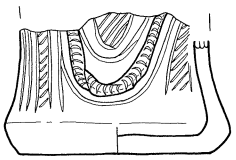
16047

胴中位以上欠損
体部パネル文
縦位隆帯上連続刻み、交互刺突
区画内斜位沈線、蓮華状刺突、単節縄文、三叉文充填



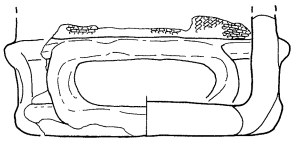
16048

地文ＲＬ横位施文



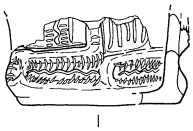
16049

内面炭化物大量付着



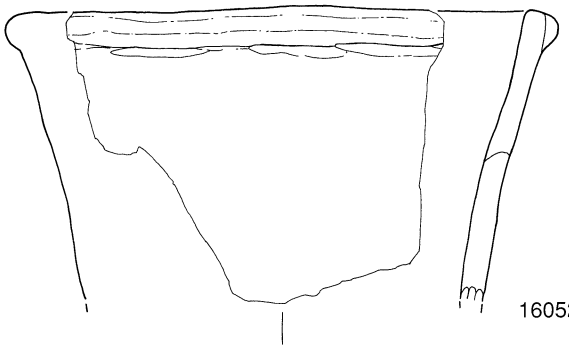
16050

底部付近横位楕円区画
体部地文単節ＲＬ縦位施文



16051

底部付近横帯区画
体部パネル文



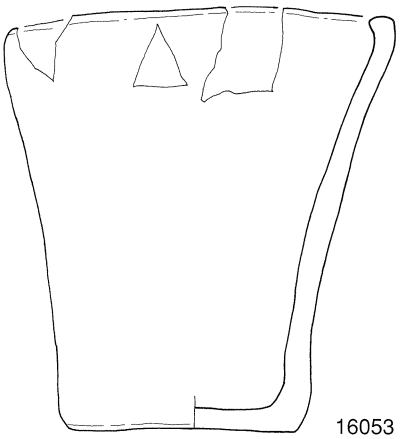
16052

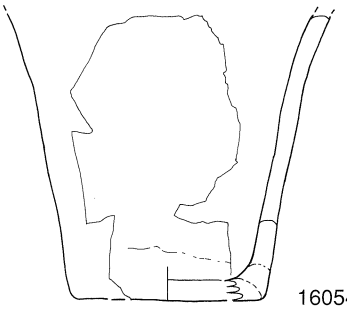
平口縁
内外面黒色塗彩
器面研磨顕著

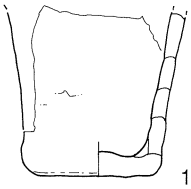
0　10cm

第219図　16号住居跡出土遺物（13）（Ｓ＝1/4）

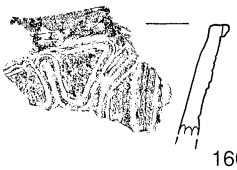
16号住居跡


16053


16054


16055

縄文施文後磨り消し
無文


16056

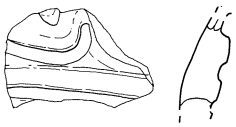
16057

16058

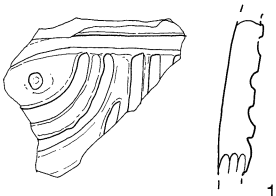
16059

東海系

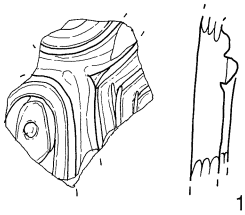
0　10cm


16060

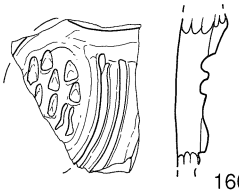
焼町類型


16061

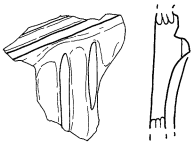
焼町類型


16062

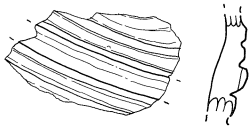
焼町類型


16063

焼町類型


16064

焼町類型

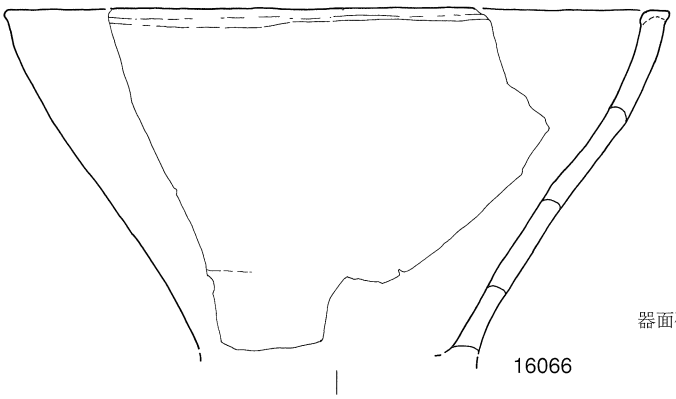

16065

焼町類型

0　5cm

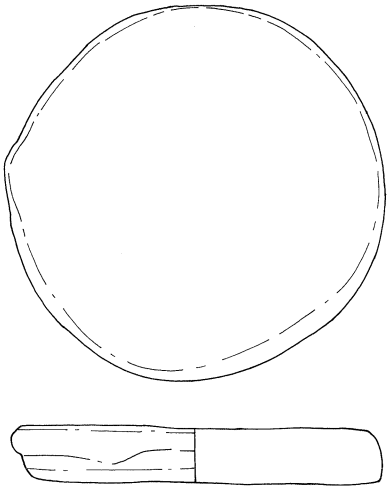
第220図　16号住居跡出土遺物（14）（16053～16059　S＝1/4・16060～16065　S＝1/2）

16号住居跡

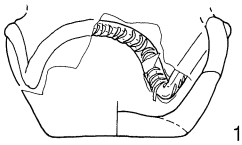


器面研磨顕著

16066

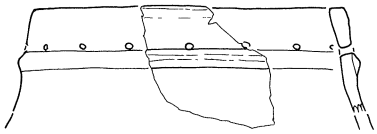


16067



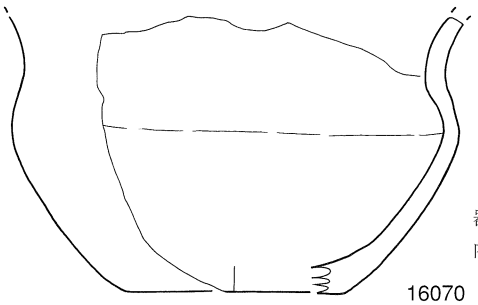
波状に隆帯貼付け
隆帯上刻み

16068



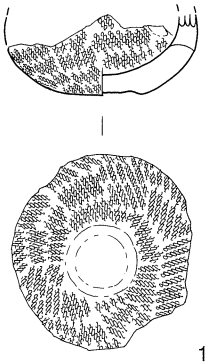
内外面赤彩

16069



器面研磨顕著
内外面黒色塗彩

16070



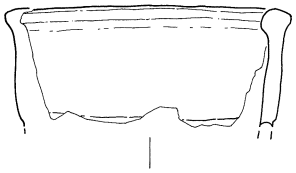
16071

体部地文単節ＲＬ横位施文

0　10cm

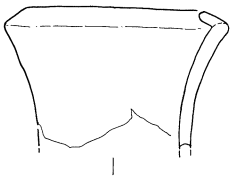
第221図　16号住居跡出土遺物（15）（Ｓ＝1/4）

16号住居跡

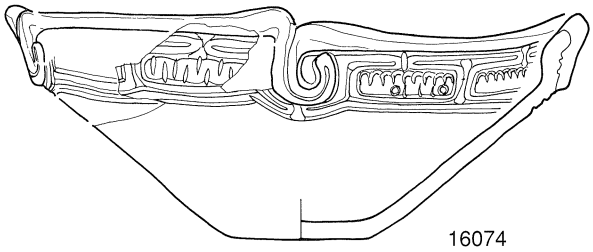


器面研磨顕著

16072

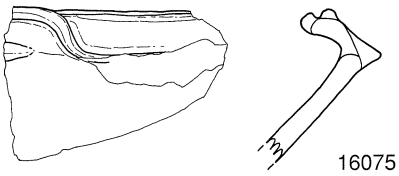


16073

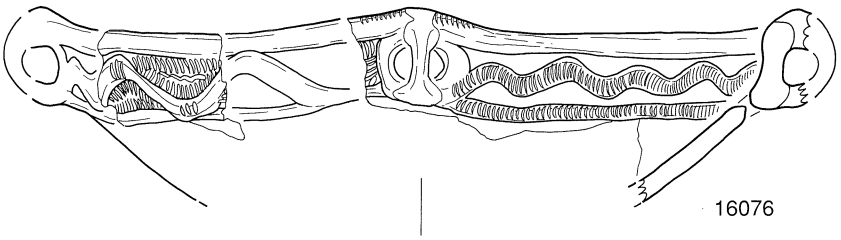


16074

口縁部４単位の小波状
波頂部から「ノ」の字状の隆帯
文様帯内蓮華状刺突、円形刺突、
交互刺突等充填

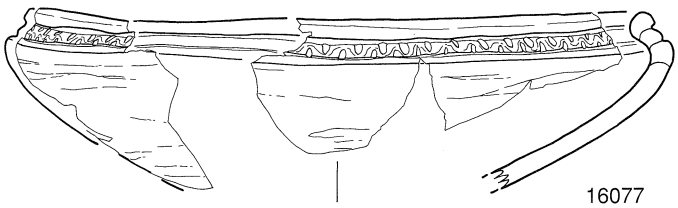


16075



16076

口縁部４単位の小突起
口縁部文様帯山形、波状隆帯
補修孔有り



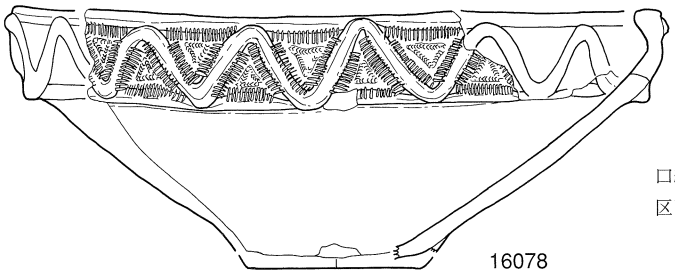
16077

口縁部２条の沈線により擬隆帯化
交互刺突

0　10cm

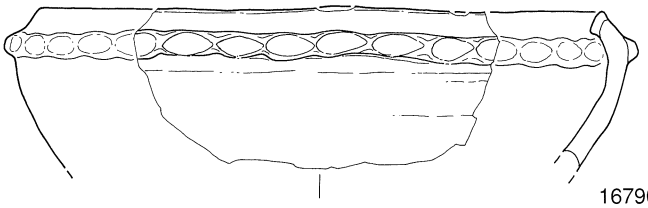
第222図　16号住居跡出土遺物（16）（S＝1/4）

16号住居跡



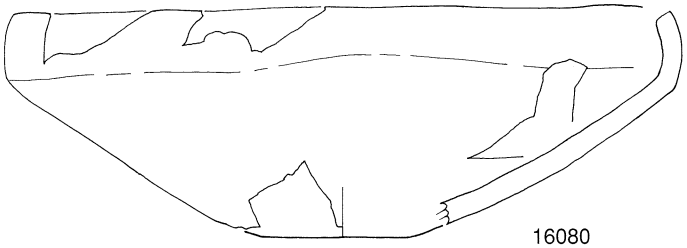
口縁部文様帯山形隆帯
区画内キャタピラ文

16078

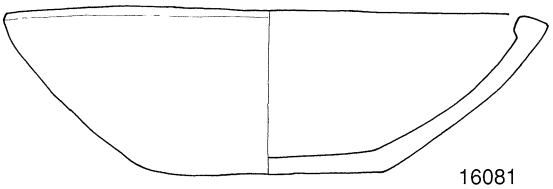


16790

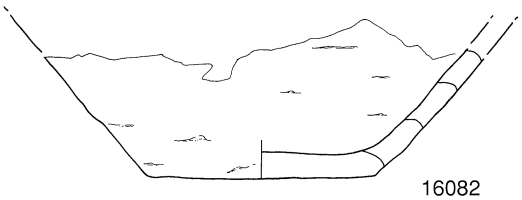
口縁部鎖状隆帯



16080

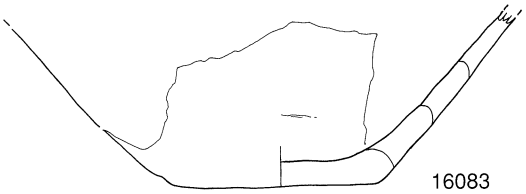


16081



16082

輪積み痕残す

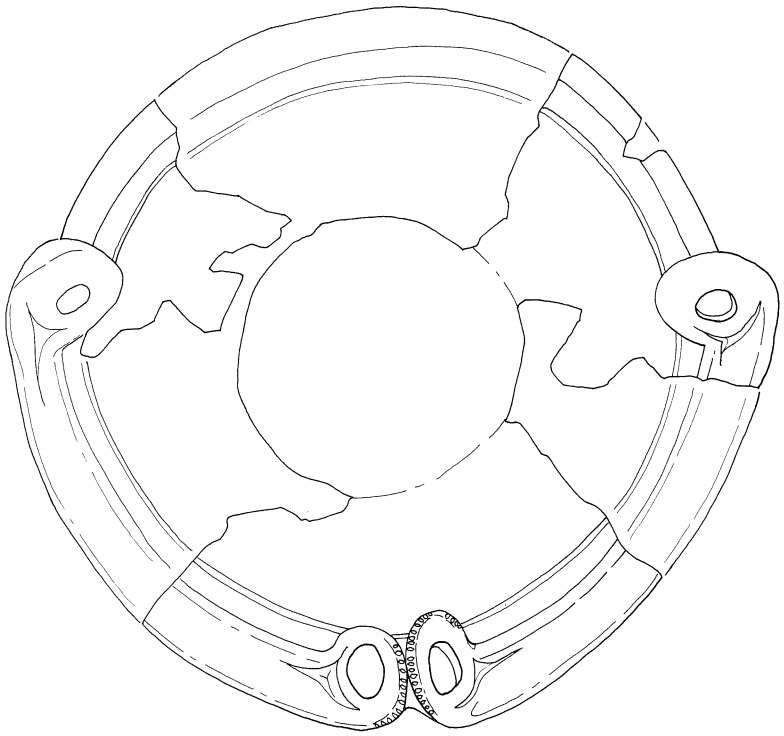


16083

0　10cm

第223図　16号住居跡出土遺物（17）（S＝1/4）

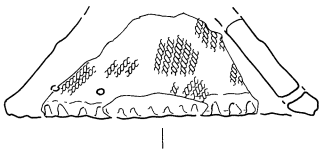
16号住居跡



16084

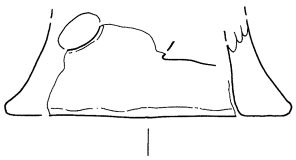
口唇部内面４単位の突起貼付け（１単位欠落）
突起部に三叉文
口縁外面に沈線、交互刺突、三叉文

0　10cm



16085

口唇部ヘラ刻み
地文単節ＲＬ
焼成前穿孔２穴



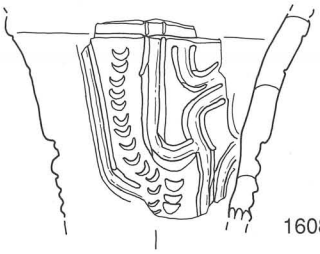
16086

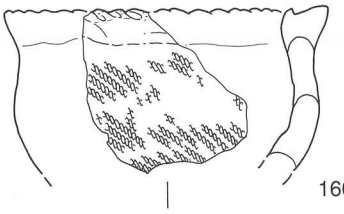
円形、三角形透かし

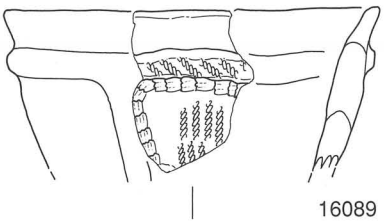
0　5cm

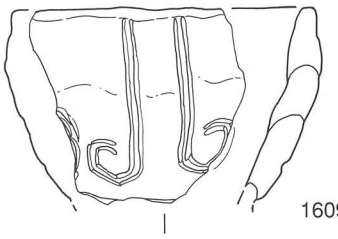
第224図　16号住居跡出土遺物（18）（16084　S＝1/4・16085・16086　S＝1/2）

16号住居跡

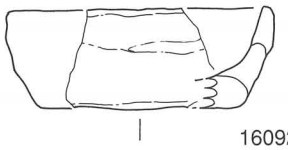

16087

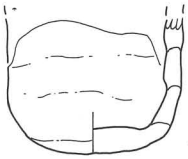

16088

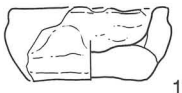

16089

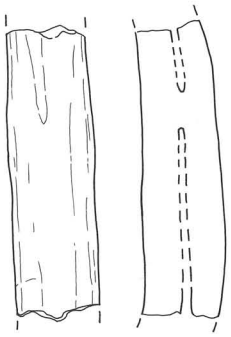

16090

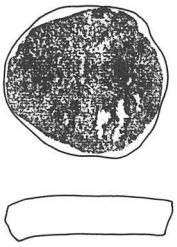
16091

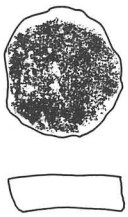

16092

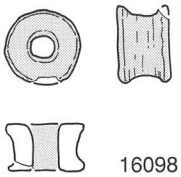

16093


16094


16095


16096

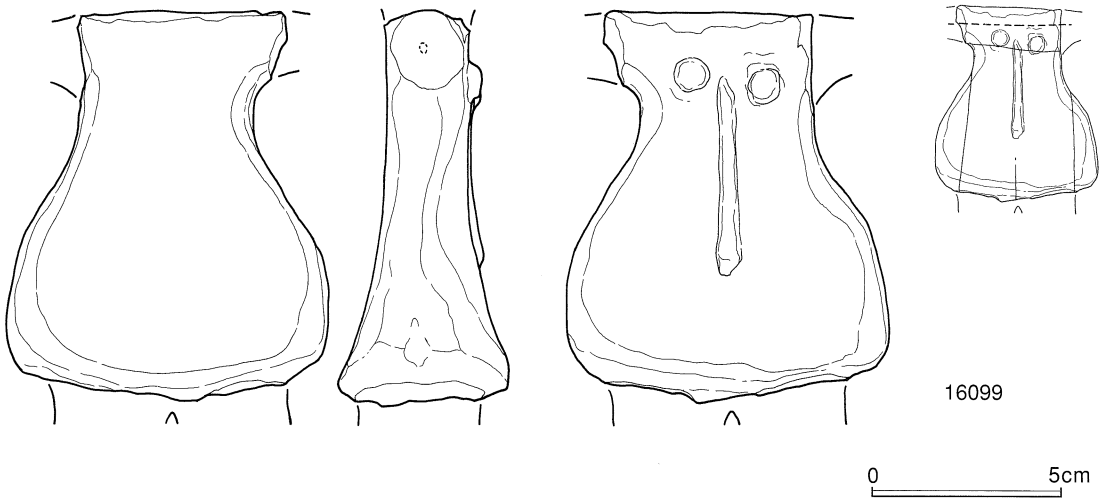

16097


16098

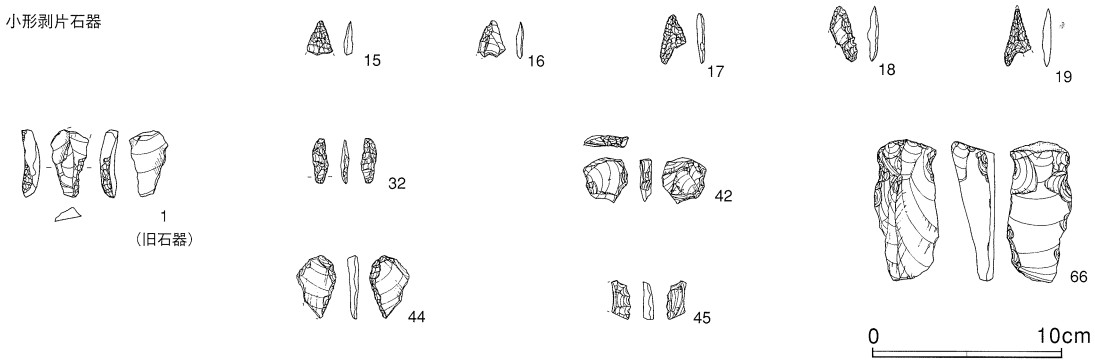
内外面赤彩

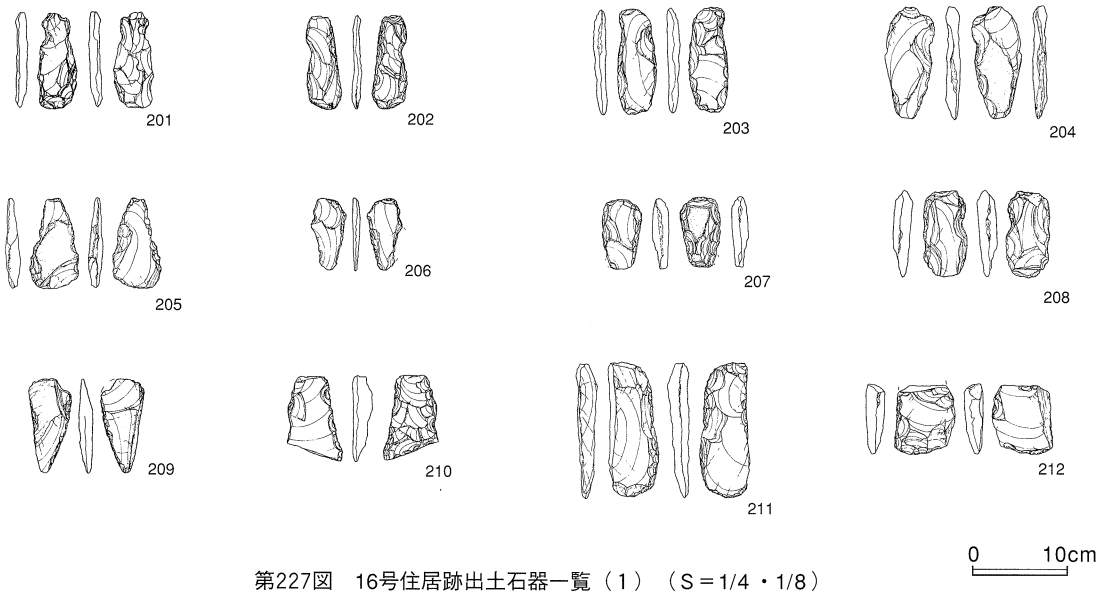
0　　5cm

第225図　16号住居跡出土遺物（19）（S＝1/2）



第226図　16号住居跡出土遺物（20）（S＝1/2）

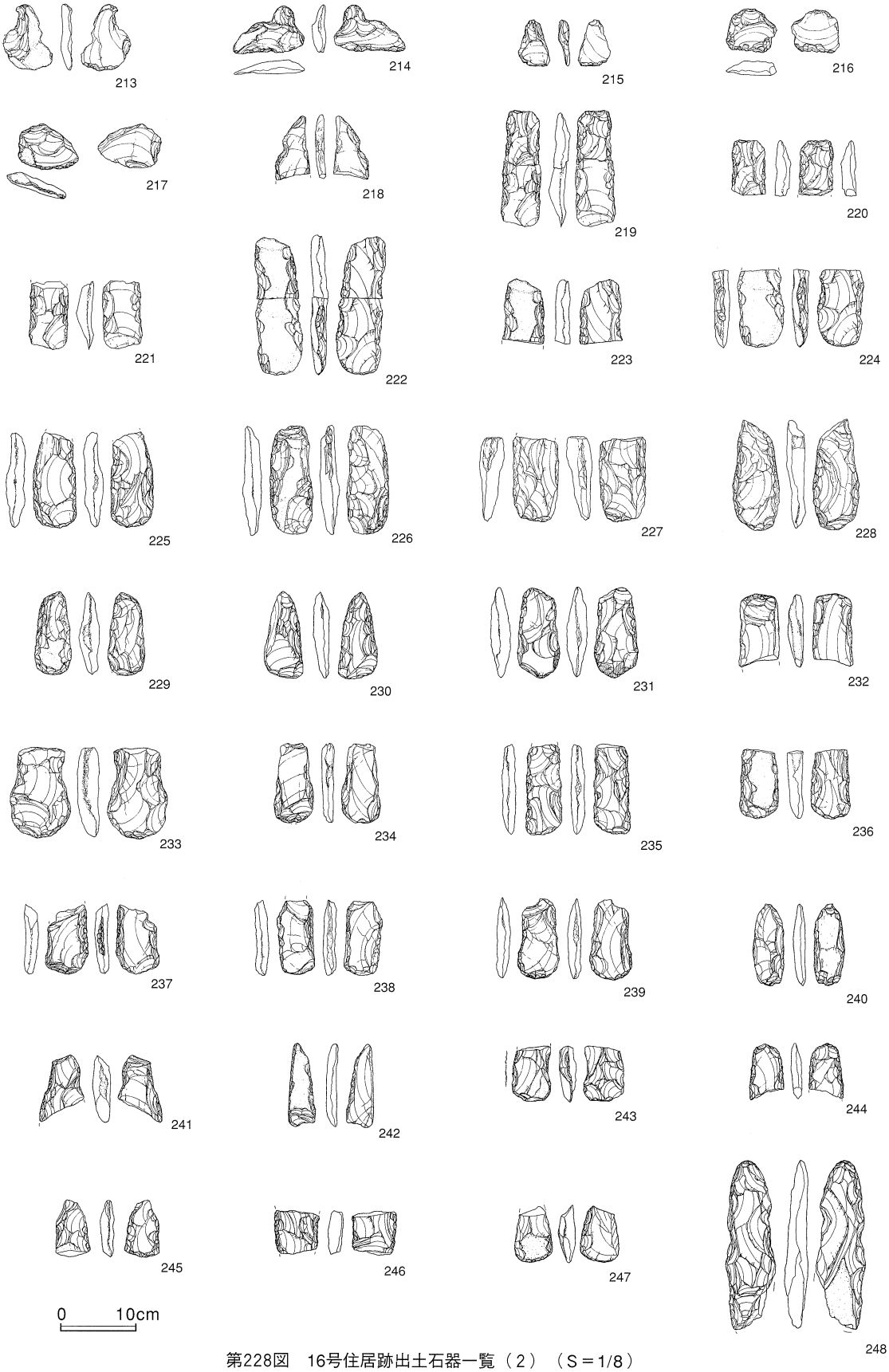




第227図　16号住居跡出土石器一覧（1）（S＝1/4・1/8）

16号住居跡

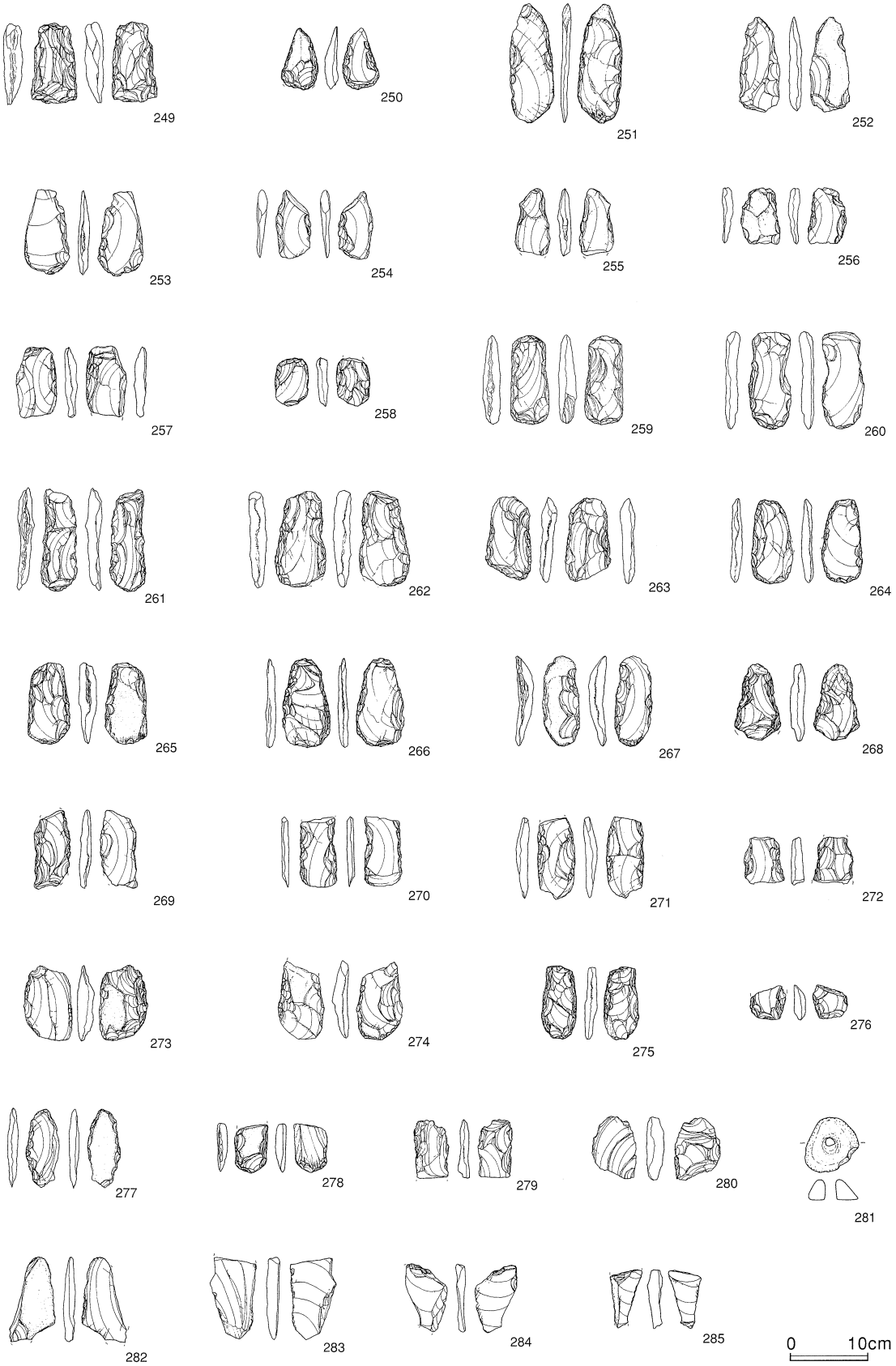
中形剥片石器



第228図　16号住居跡出土石器一覧（2）（S＝1/8）

16号住居跡

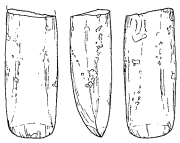
中形剥片石器



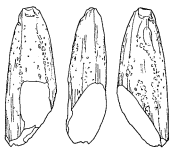
第229図　16号住居跡出土石器一覧（3）（S＝1/8）

16号住居跡

磨製石斧類

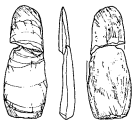

17

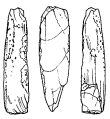
18


19

20

21

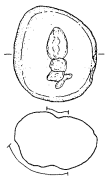

22

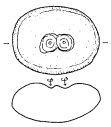

23

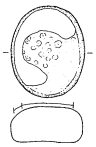
大珠類

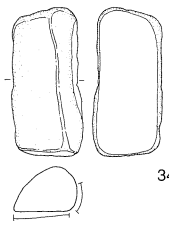
29

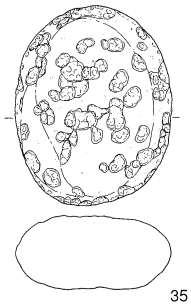
磨石類（小）


31


32

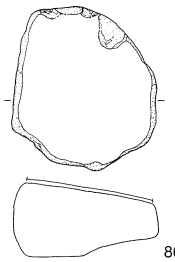

33

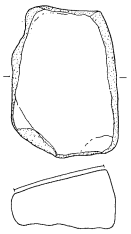

34


35

0　10cm

磨石類（大）

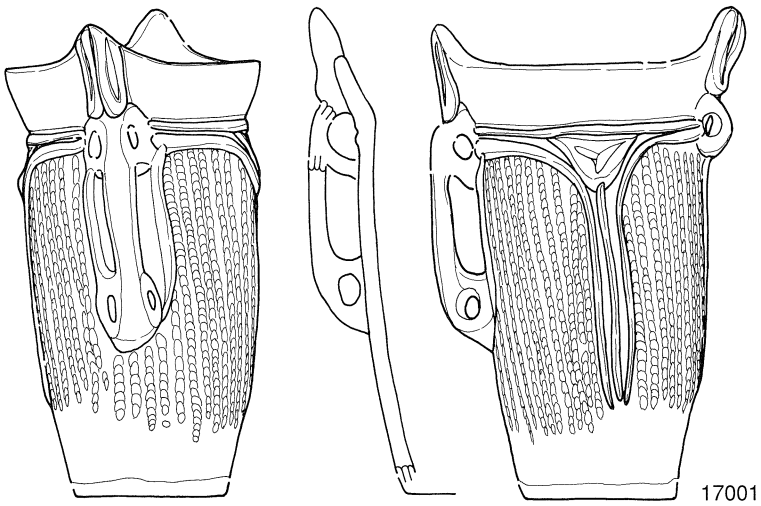

86


87

0　20cm

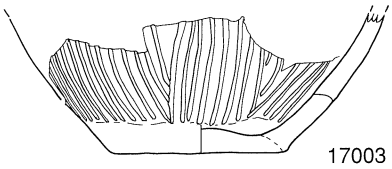
第230図　16号住居跡出土石器一覧（４）（S＝1/8・1/16）

17号住居跡



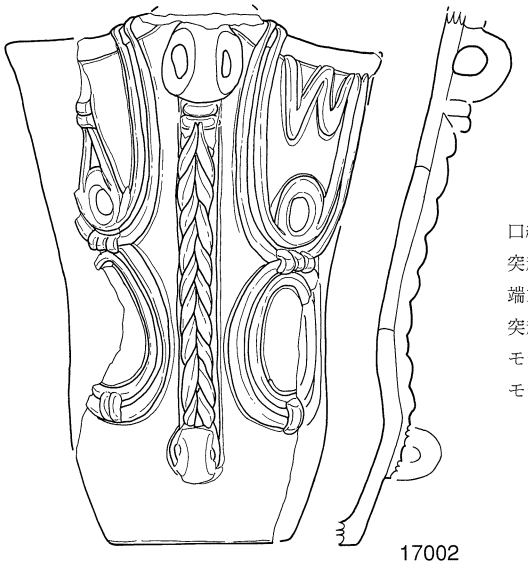
17001

口縁部２単位の突起
一方はジョッキ状に把手を付加、他方は隆帯を楕円形に貼付け
体部はこの間に三叉文を起点とし隆帯を垂下
地文ペン先状工具の連続押捺



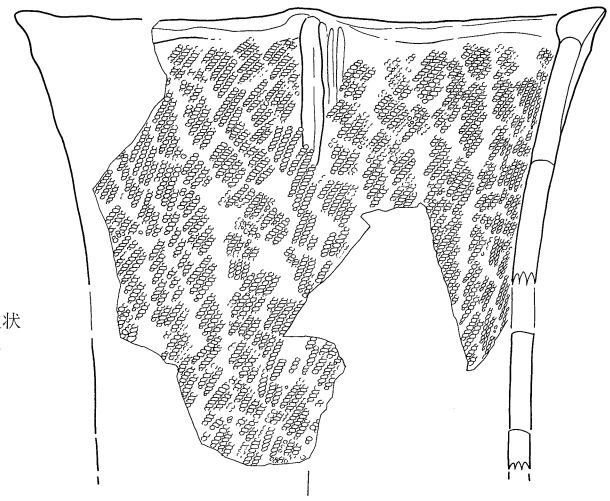
17003

地文単位を有する条線縦位施文



17002

口縁部推定２単位の突起
突起下ミミズク状把手を起点とし組紐状隆帯貼付け
端末にもミミズク状突起貼付け
突起間に対向Ｕ字状（下方は円形を呈する）
モチーフ内円文、Ｗ字状文
モチーフ４単位



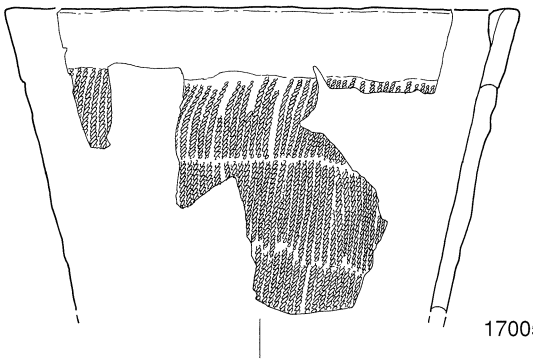
口縁部推定４単位の小波状
波頂下に縦位隆帯貼付け
地文単節ＬＲ縦位施文

0　10cm

17004

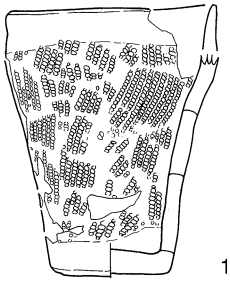
第231図　17号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）

17号住居跡



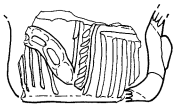
17005

体部地文撚り糸文Ｒ縦位施文



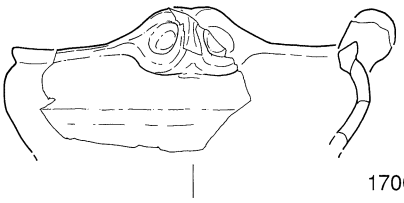
17006

平口縁
口縁部撫でにより摘み出す
体部地文単節ＬＲ横位施文



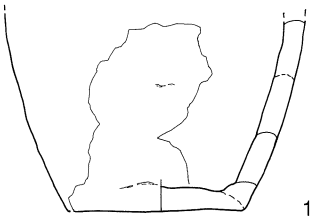
17007

隆帯による区画
一部鎖状隆帯
区画内沈線充填
底部に赤彩の痕跡



17009

口縁部推定１単位の把手
突起はミミズク状を呈する



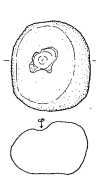
17008

第232図　17号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

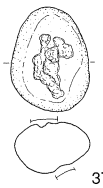
中形剥片石器

286

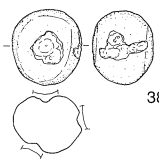
磨石類（小）



36



37



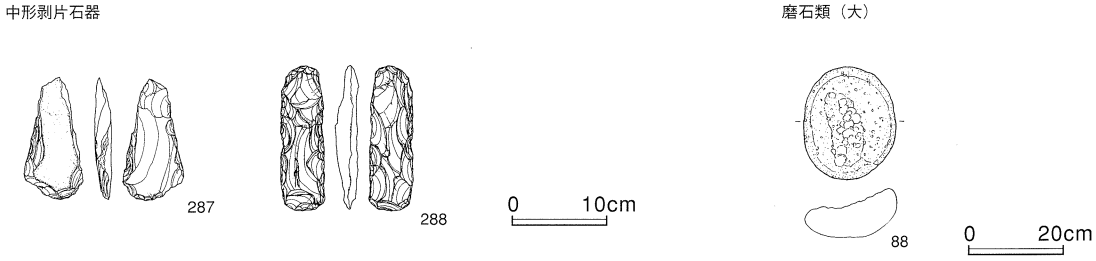
38

0　10cm

第233図　17号住居跡出土石器一覧（Ｓ＝1/8）

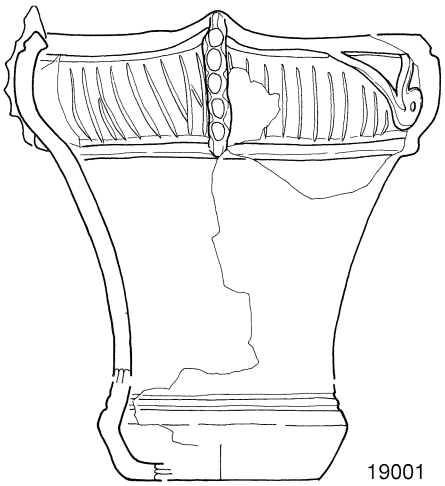
18号住居跡

第234図　18号住居跡出土遺物（S＝1/4）

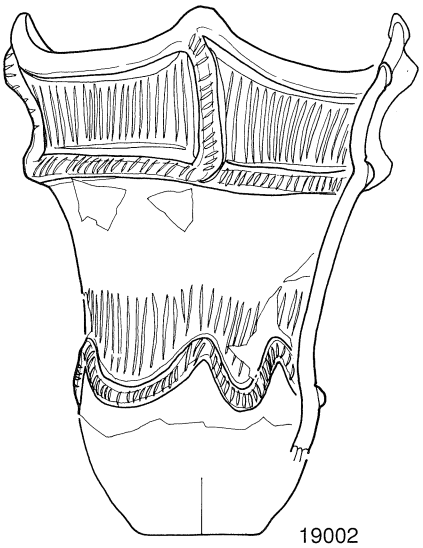


第235図　18号住居跡出土石器一覧（S＝1/8・1/16）

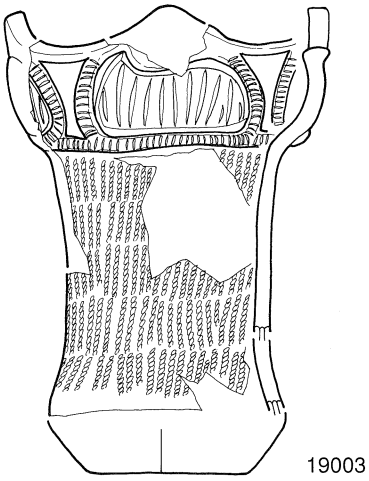
19号住居跡



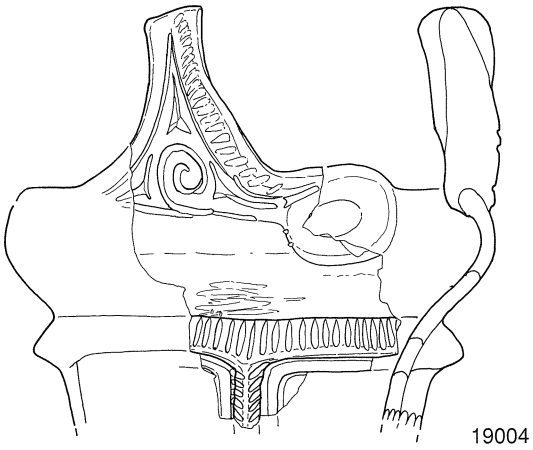
口縁部４単位の突起
突起部は鎖状隆帯縦位貼付け、
頸部横位隆帯と連絡し口縁部文様帯を構成
胴下半に沈線２条施文



口縁部４単位の突起
突起下から縦位隆帯貼付け、
頸部横位隆帯と連絡し口縁部文様帯を構成
胴下半に波状隆帯、その上部に条線施文



４単位の突起
突起と頸部横位隆帯を結び玉葱状の区画
区画内縦位条線
体部地文単節ＲＬ横位施文



１単位の大把手
把手正面に玉抱き三叉文
頸部鍔状隆帯

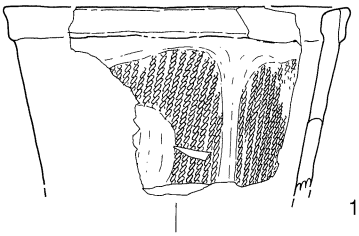
0　10cm

第236図　19号住居跡出土遺物（１）（Ｓ＝1/4）

19号住居跡

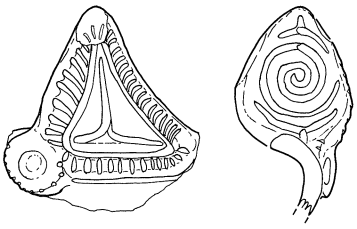
19005

地文撚り糸文Ｌ縦位施文



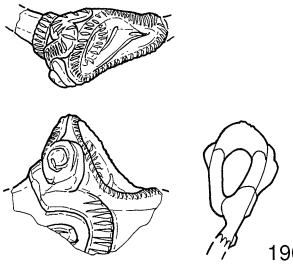
19006

体部地文撚り糸文Ｒ縦位施文後指
撫でにより磨り消しモチーフ描出

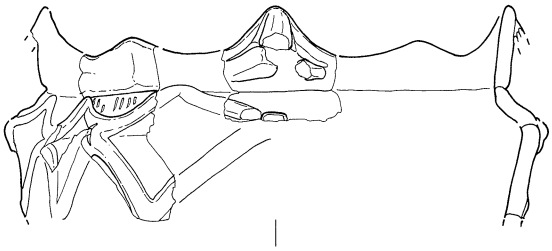


19007

１単位の大把手
正面観は三角形の把手の脇に円文を配し、
横位には渦巻き文を三叉文で抱え込む

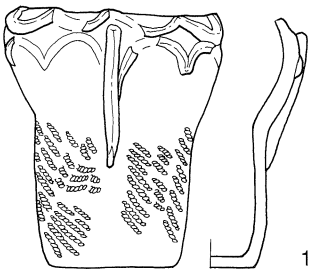


19008



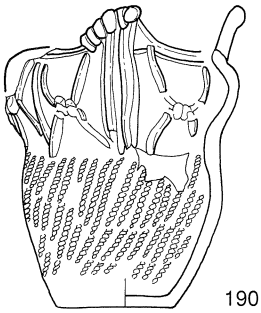
19009

４単位の小突起
突起下ミミズク把手か
二次焼成顕著



19010

口縁部に２条の波状隆帯をずらして
貼付け、菱形の区画連続
１カ所のみ縦位隆帯垂下
地文単節ＲＬ縦位施文



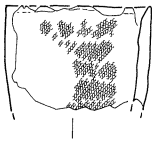
19011

口縁部１単位の突起
突起下から縦位隆帯垂下
口縁部文様帯対向U字状隆帯貼付け、
この間に縦位隆帯貼付け

0　10cm

第237図　19号住居跡出土遺物（２）（Ｓ＝1/4）

19号住居跡



地文単節ＬＲ横位施文

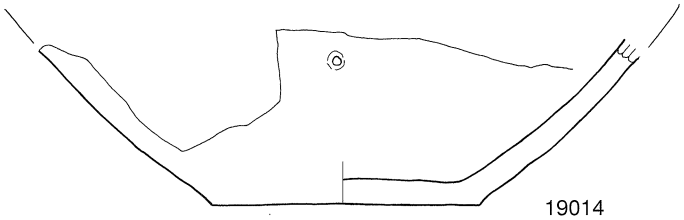
19012

19013

平出ⅢＡ

0　10cm

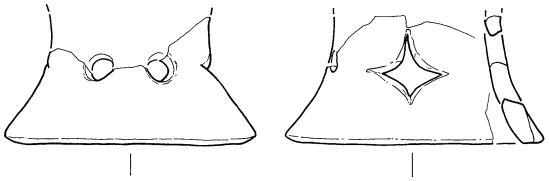
0　5cm



19014

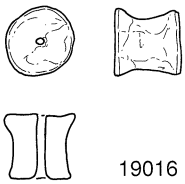
0　10cm

円形２個１単位と菱形の
透かしを交互に配する



19015

0　10cm



外面黒色研磨顕著

19016

0　5cm

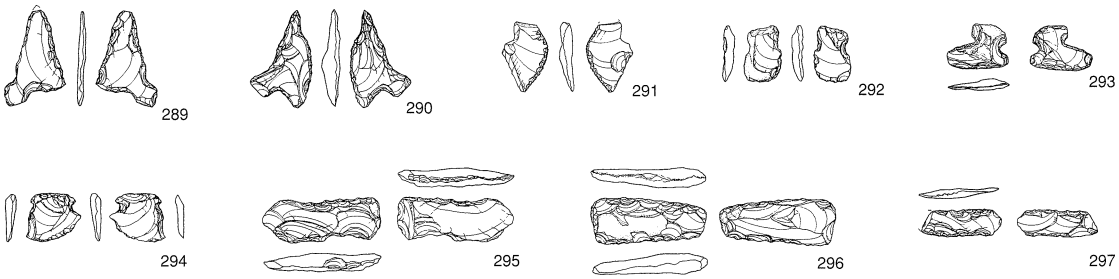
第238図　19号住居跡出土遺物（３）（19012・19014・19015　Ｓ＝1/4・19013・19016　Ｓ＝1/2）

小形剥片石器

20　21　46　51　56　57

0　10cm

中形剥片石器



289　290　291　292　293

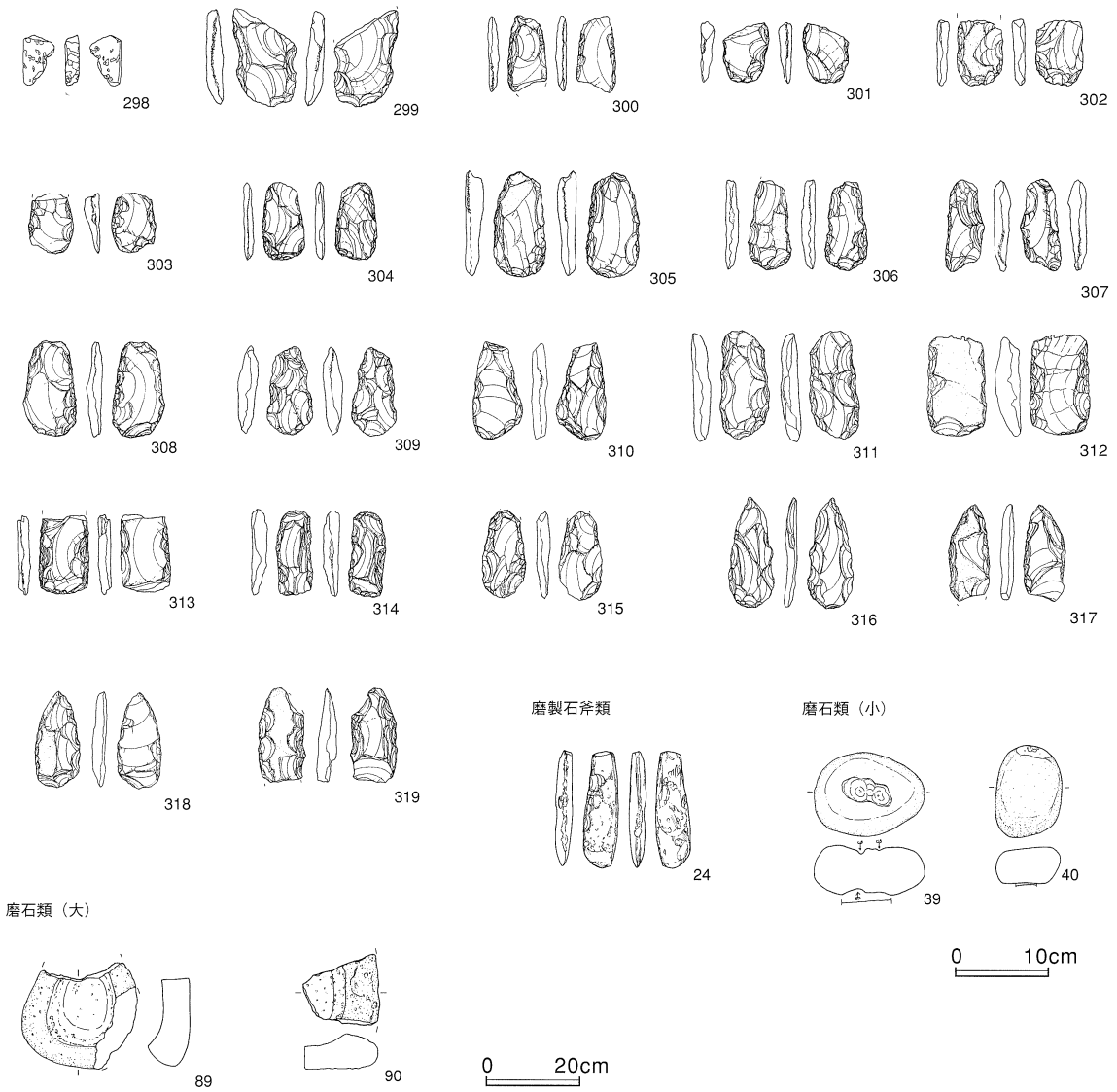
294　295　296　297

0　10cm

第239図　19号住居跡出土石器一覧（１）（Ｓ＝1/4）

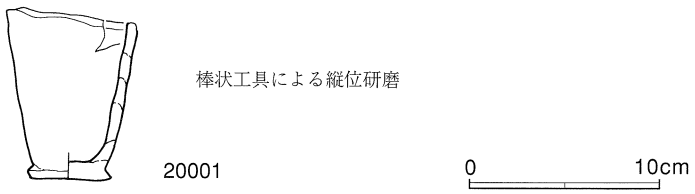
19号住居跡

中形剥片石器



第240図　19号住居跡出土石器一覧（２）（Ｓ＝1/8・1/16）

20号住居跡



第241図　20号住居跡出土遺物（Ｓ＝1/4）

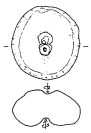
5号土坑

中形剥片石器

336

39号土坑

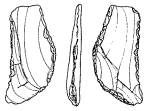
磨石類（小）



41

51号土坑

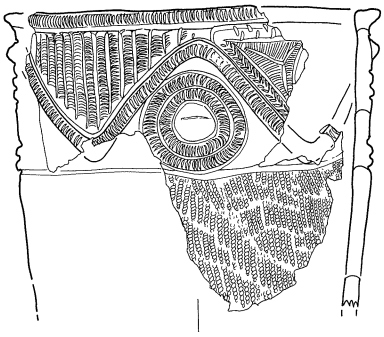
中形剥片石器



338

0　10cm

52号土坑

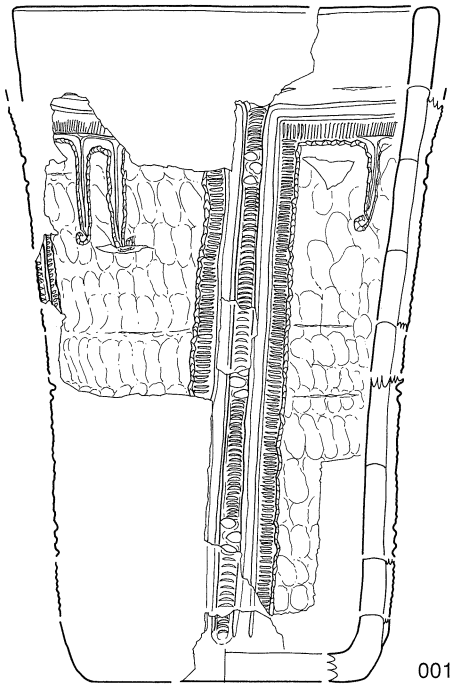


0014

平口縁
口縁部文様帯山形隆帯
隆帯区画内縦位沈線、連続刻み、三叉文等充填
隆帯下円文
体部地文単節ＲＬ横位施文
グリッド出土遺物と接合

0　10cm

60号土坑



0015

平口縁か
口縁部に４単位の突起有りか
体部４単位の縦位隆帯
隆帯上連続刻み、交互刺突
隆帯間を「コ」の字状にキャタピラ文、
三角押しによるジグザグ文
体部指頭圧痕残す

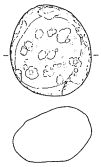
0　10cm

58号土坑

中形剥片石器

341

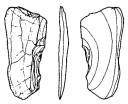
磨石類（小）



45

59号土坑

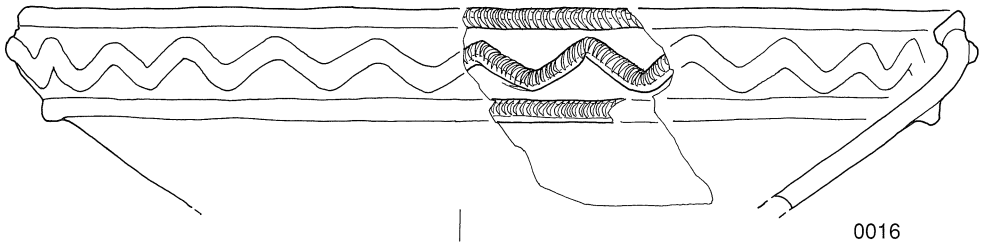
中形剥片石器



329

0　10cm

65号土坑

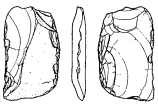


0016

0　10cm

中形剥片石器

339

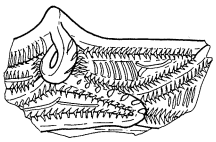


340

0　10cm

第242図　5・39・51・52・58～60・65号土坑出土遺物（S＝1/4・1/8）

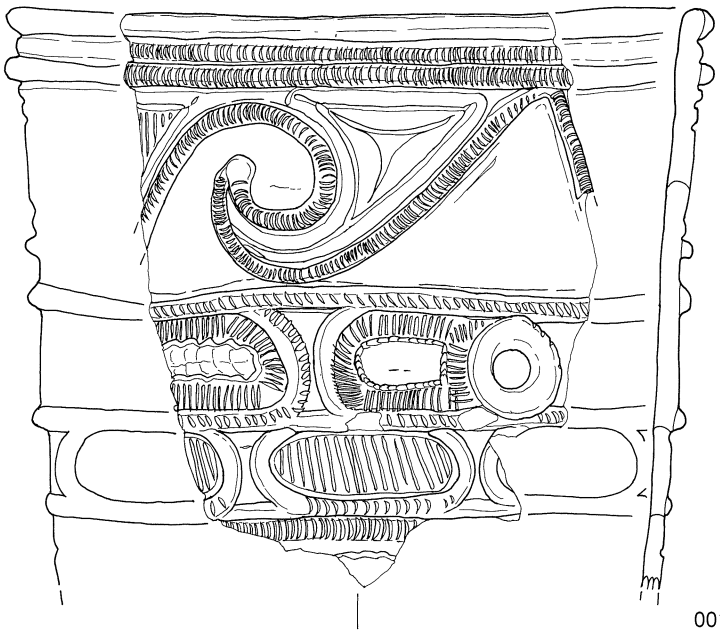
66号土坑



0017

口縁部重三角区画
クロワッサン状の貼付けを意識し
小突起から延びる隆帯上にヘラ刻み
区画内縦位沈線、三叉文充填

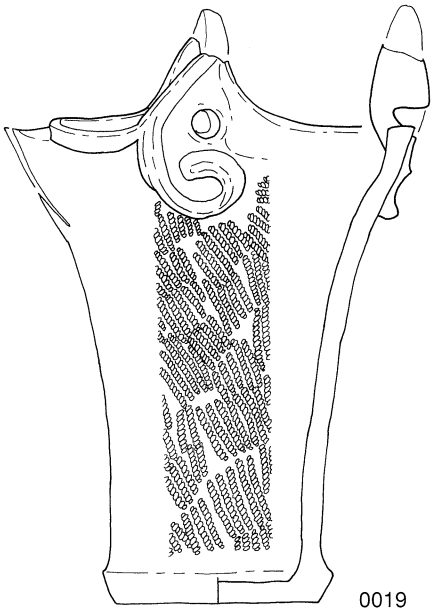
67号土坑



0018

平口縁
口縁部２条の横位隆帯
以下波状隆帯、横位楕円区画文２段

68号土坑



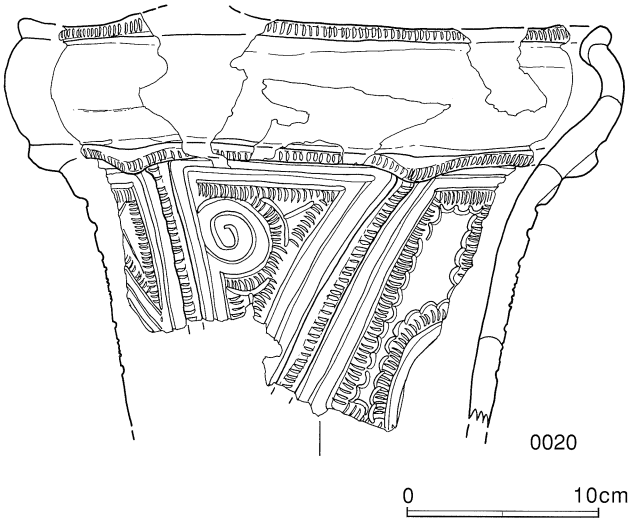
0019

口縁部１単位の大把手
底部突出
体部地文単節ＲＬ横位施文

0　10cm

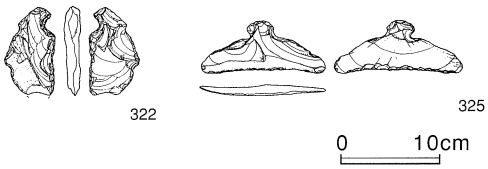
第243図　66～68号土坑出土遺物（Ｓ＝1/4）

72号土坑



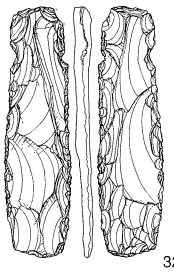
口縁部１単位の大把手
把手部欠落
頸部隆帯の三角形状の貼付けを起点に体部の隆帯貼付け
パネル文を構成
区画内キャタピラ文、蓮華状文、三叉文

中形剥片石器



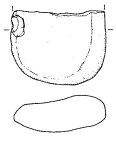
74号土坑

中形剥片石器



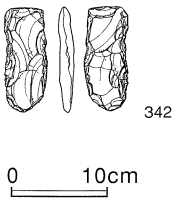
78号土坑

磨石類（小）

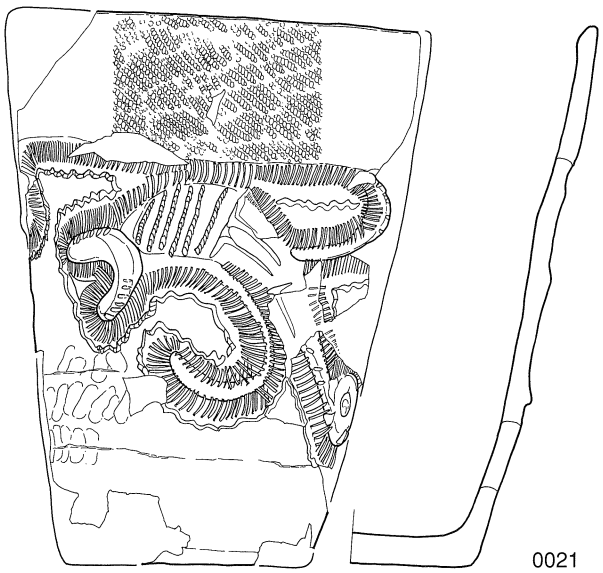


88号土坑

中形剥片石器



92号土坑

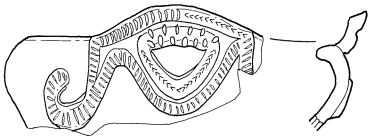


平口縁
口縁部地文単節ＲＬ横位施文
体部サンショウウオ状文
輪郭を粘土紐貼付けにより表現
その外形をキャタピラ文、沈線によるジグザグ文で囲繞
モチーフ内三角押し文、三叉文

0　10cm

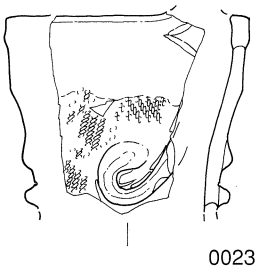
第244図　72・74・78・88・92号土坑出土遺物（Ｓ＝1/4 ・ 1/8）

96号土坑



口縁部１単位の突起
器面研磨顕著

0022



0023

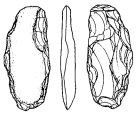
円形透かし
単位不明

0　10cm

中形剥片石器

330

343

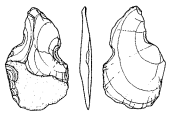


344

0　10cm

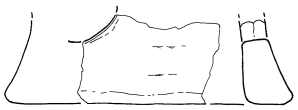
97号土坑

中形剥片石器



321

103号土坑



0024

口縁部１単位の突起
突起下に菱形の印刻
突起下から隆帯が延びる
地文単節ＲＬ
器面摩滅顕著

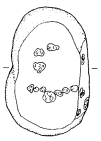
0　10cm

中形剥片石器

320

0　10cm

磨石類（小）



43

115号土坑

中形剥片石器

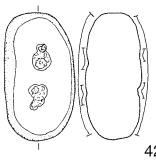
331

116号土坑

中形剥片石器

345

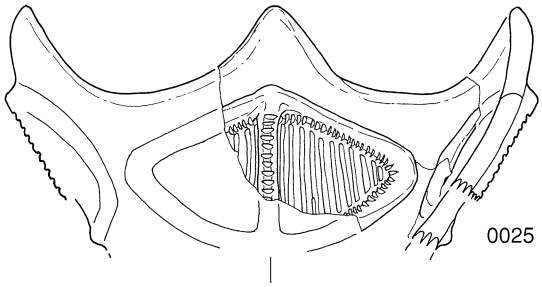
磨石類（小）



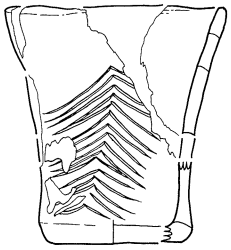
42

0　10cm

125号土坑



0025



0026

平口縁
体部に大きく１単位の縦位矢羽根状沈線
二次焼成により器面荒れ顕著

0　10cm

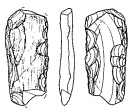
中形剥片石器

323

0　10cm

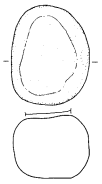
127号土坑

中形剥片石器



346

磨石類（小）



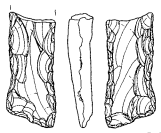
50

0　10cm

第245図　96・97・103・115・116・125・127号土坑出土遺物（Ｓ＝1/4 ・ 1/8）

139号土坑

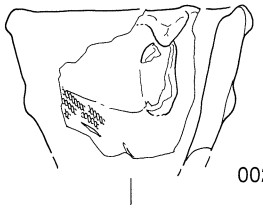
中形剥片石器



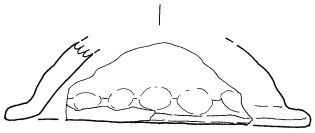
347

0　10cm

141号土坑



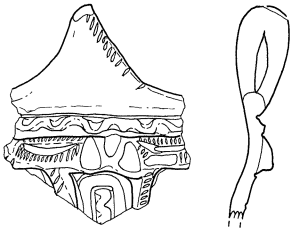
0027



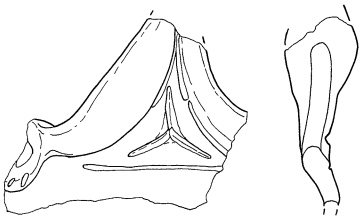
0028

0　5cm

147号土坑



0029



0030

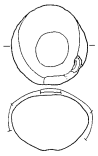
1単位の大把手
口縁部下幅広の半隆帯を交互押捺により波状か
頸部鍔状隆帯

0　10cm

中形剥片石器

348

磨石類（小）

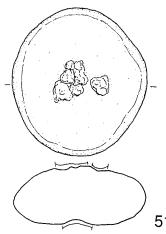


47

0　10cm

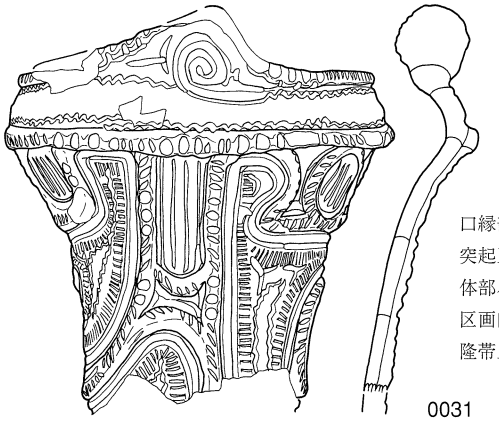
151号土坑

磨石類（小）



51

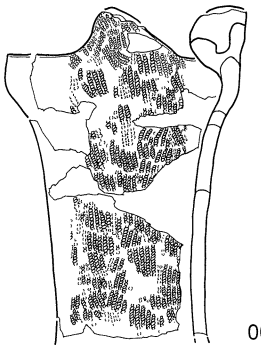
152号土坑



0031

口縁部1単位の山形突起
突起正面に渦巻き文、三叉文
体部パネル文
区画内キャタピラ文、ジグザグ文等充填
隆帯上ヘラ刻み、棒状工具押捺

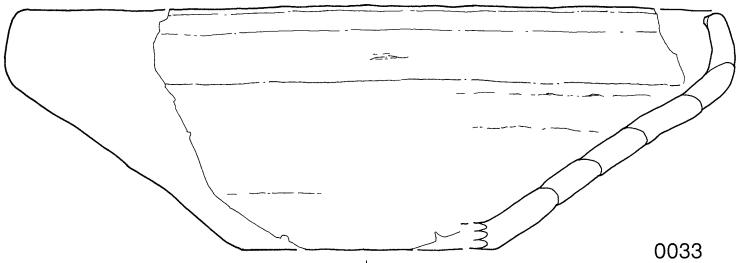
125号土坑



0032

口縁部1単位の突起
地文単節ＲＬ横位施文

152号土坑

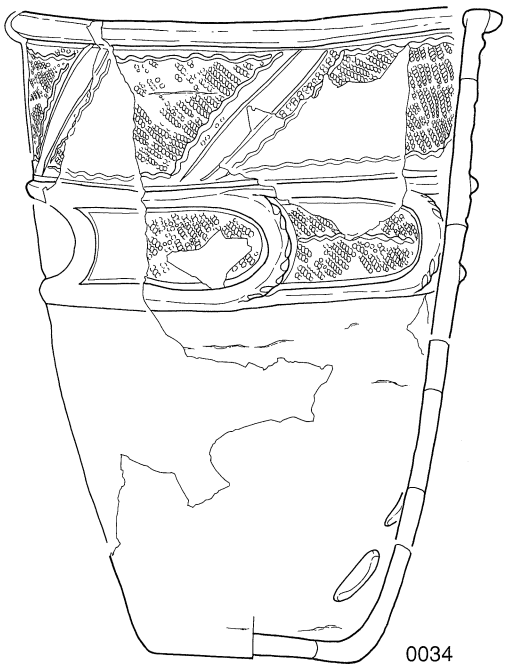


0033

0　10cm

第246図　125・139・141・147・151・152号土坑出土遺物（S＝1/2・1/4・1/8）

157号土坑



0034

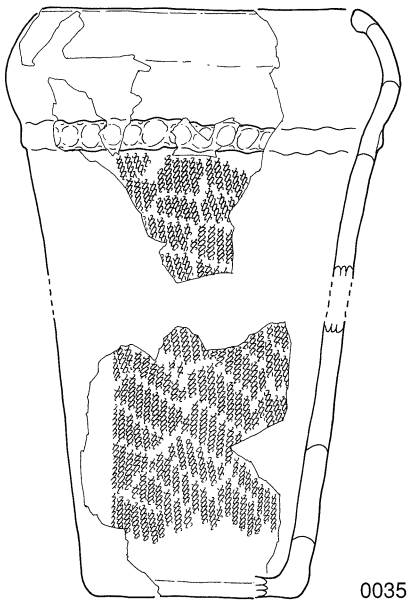
平口縁
口縁部文様帯斜位平行沈線により菱形区画
体部中位に「)」状の区画
地文単節ＲＬ横位施文
４号住居跡、グリッド出土遺物と接合関係

中形剥片石器

324

0　10cm

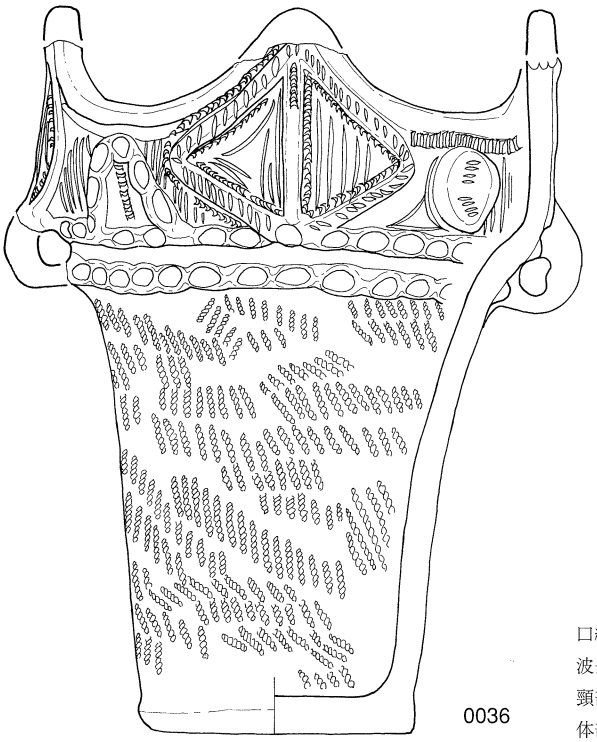
167号土坑



0035

頸部鎖状隆帯
体部地文単節ＲＬ斜位施文

167号土坑



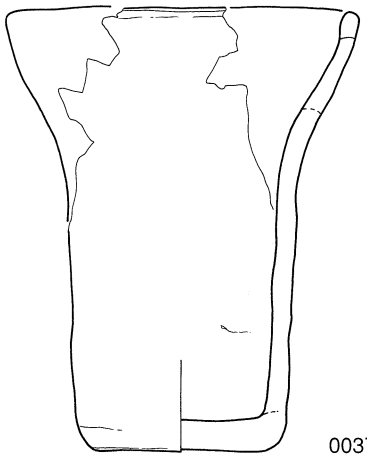
0036

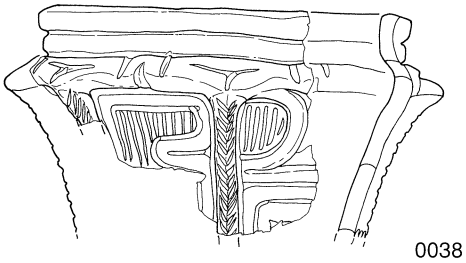
口縁部４単位の波状
波長部から隆帯により菱形区画
頸部に２本の鎖状隆帯貼付け
体部地文単節ＲＬ横位施文

0　10cm

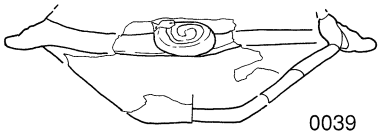
第247図　157・167号土坑出土遺物（Ｓ＝1/4・1/8）

167号土坑



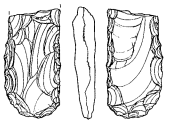


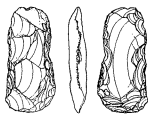
頸部鍔状隆帯
体部パネル文
縦位隆帯上綾杉状刻み



0　10cm

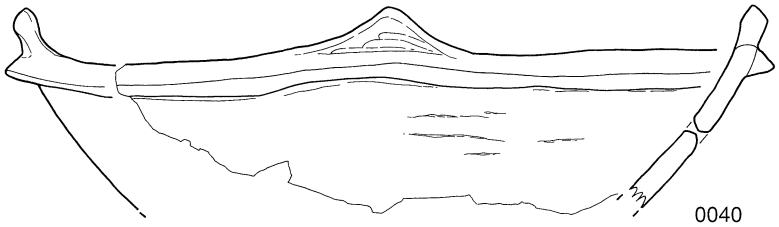
中形剥片石器





0　10cm

165号土坑



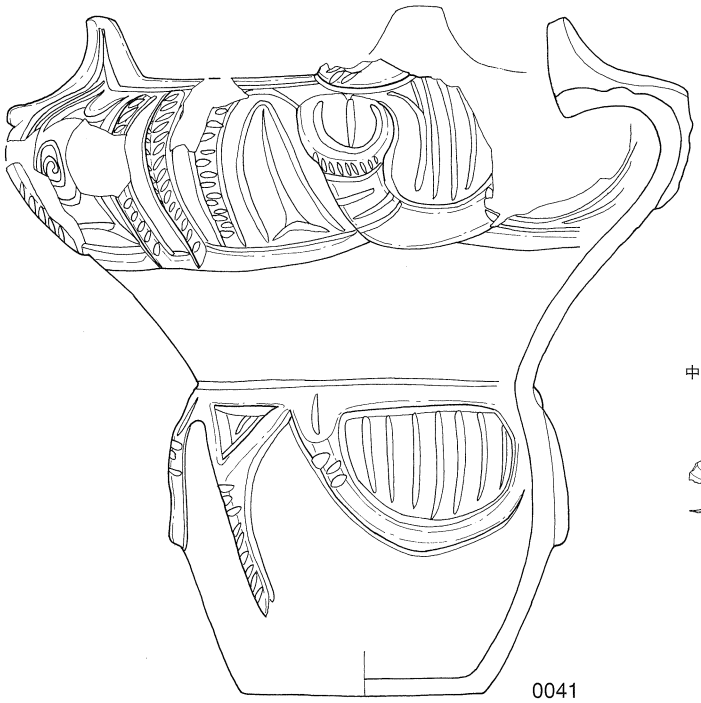
0　10cm

中形剥片石器

0　10cm

第248図　165・167号土坑出土遺物（S＝1/4・1/8）

171号土坑

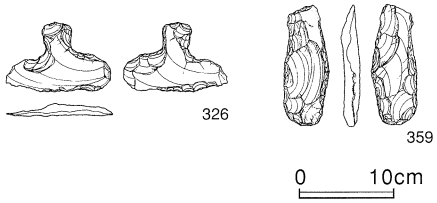


口縁部大きく張り出したキャリパー形
口縁部隆帯により腕状モチーフ
胴下半部に櫛形文

0041

0　10cm

中形剥片石器



326　359

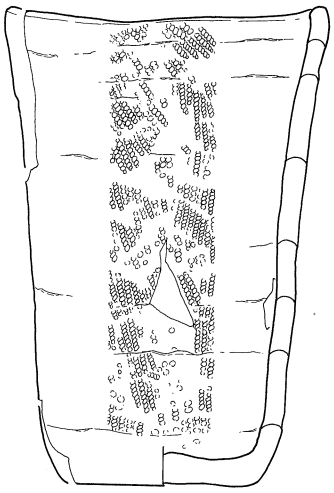
0　10cm

182号土坑

中形剥片石器

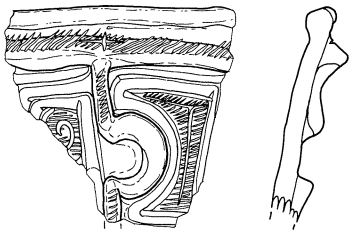
360

0　10cm



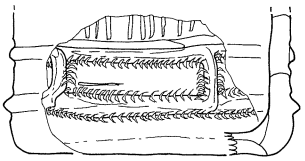
平口縁
地文単節ＲＬ横位施文

0042 (C-7G)



0043 (D-5G)

体部パネル文
区画内横位沈線施文後渦巻き文、三叉文
沈線深い

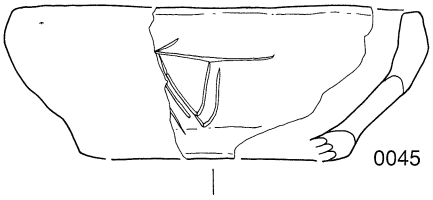


底部付近横帯区画
隆帯に沿って粗雑な三角押し連続
体部縦位沈線充填

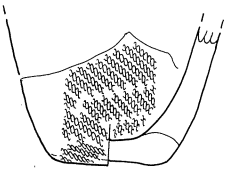
0044 (E-3G)

0　10cm

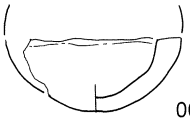
第249図　171・182号土坑・遺構外出土遺物（S＝1/4・1/8）



0045

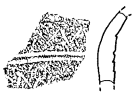


0046 （C-5G）



0047
指撫で調整
土鈴か

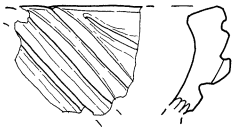
0　5cm



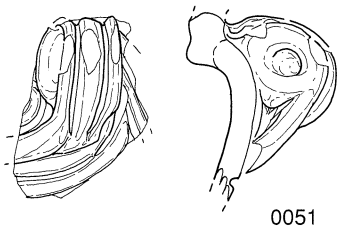
0048（2号溝）

0049 （G-6G）
東海系

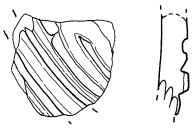
0　10cm



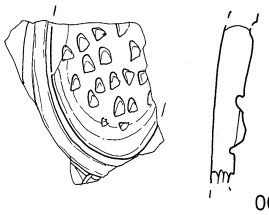
0050
焼町類型



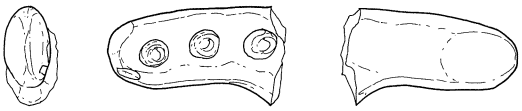
0051
焼町類型



0052
焼町類型



0053（D-5G）
焼町類型



0054 （E-2G）

0　5cm

第250図　遺構外出土遺物（0048・0049　S＝1/4・0045～0047・0050～0054　S＝1/2）

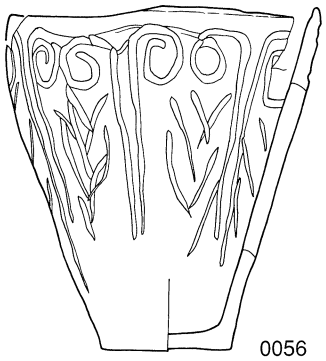
1号土坑

砲弾型の器形
体部上半に指撫でにより渦巻き文、楕円文
口唇部、モチーフ内単節ＲＬ充填

0　10cm

0055

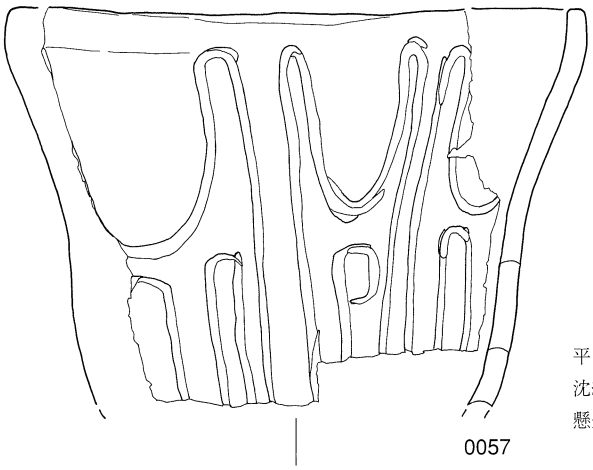
160号土坑



平口縁
沈線による蕨手状懸垂文
棒状工具による単位の長いハの字文

0056

170号土坑



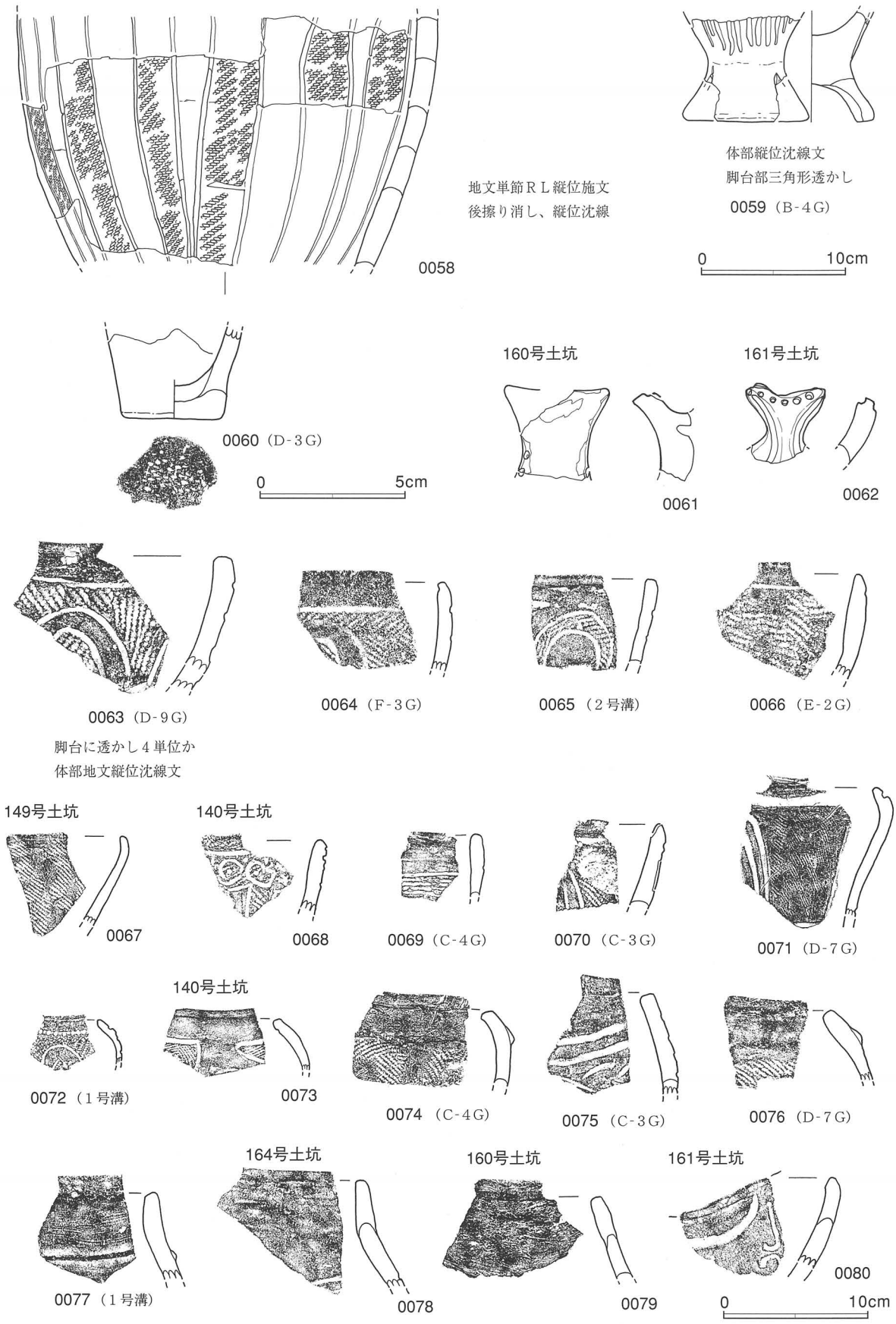
平口縁
沈線による懸垂文
懸垂部下部に沈線による逆U字状文、蕨手状文

0057

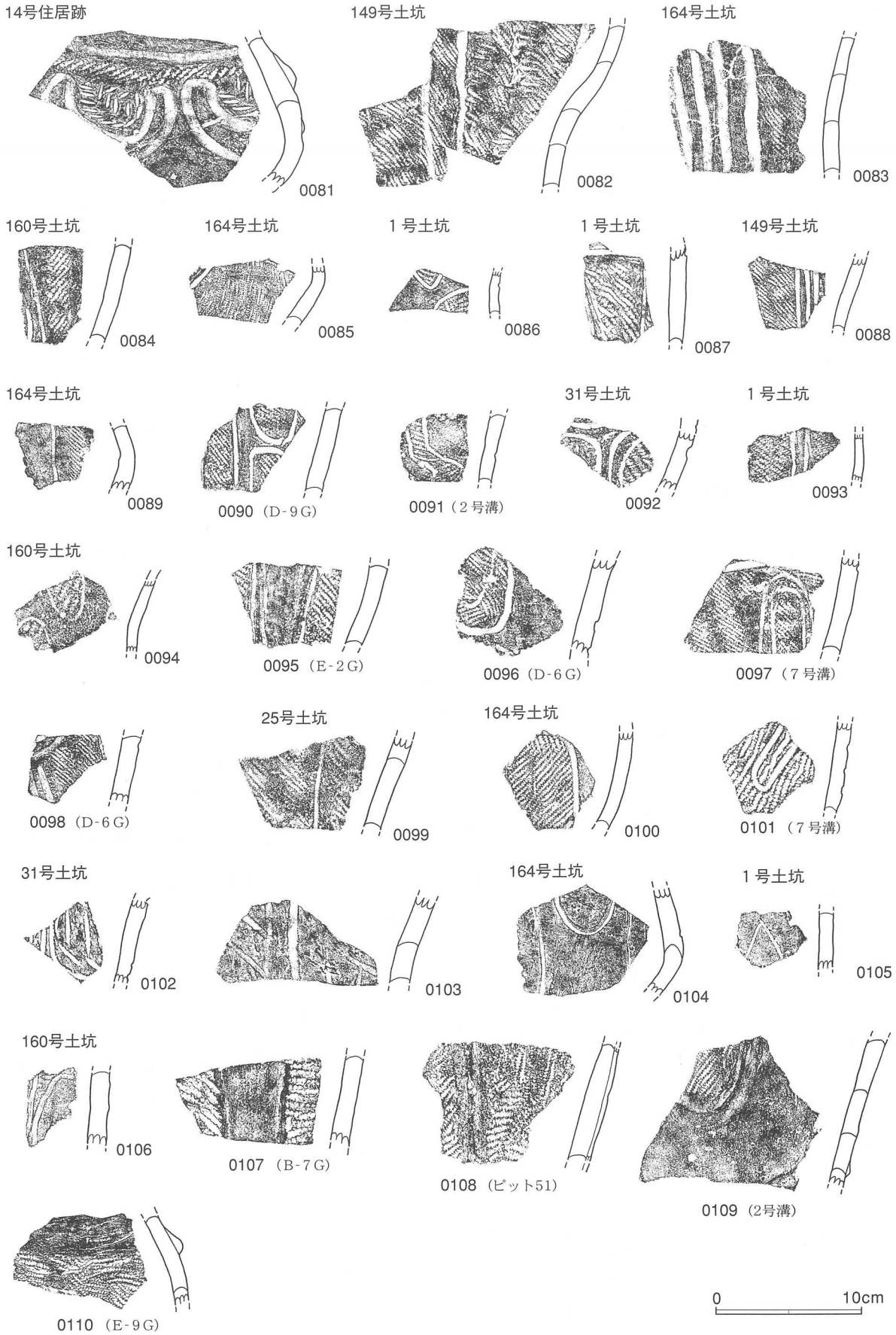
0　10cm

第251図　1・160・170号土坑出土遺物（S＝1/4）

164号土坑



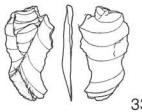
第252図　140・149・160・161・164号土坑・遺構外出土遺物（S＝1/4・1/8）



第253図　遺構外出土遺物（S＝1/4）

149号土坑

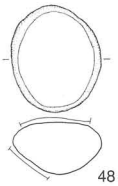
中形剥片石器



332

160号土坑

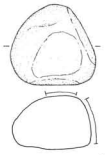
磨石類（小）



48

161号土坑

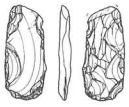
磨石類（小）



49

162号土坑

中形剥片石器



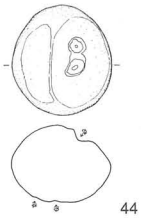
349

164号土坑

中形剥片石器

350

磨石類（小）



44

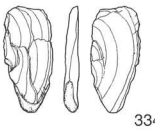
169号土坑

中形剥片石器

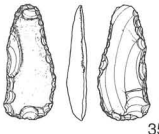
353

170号土坑

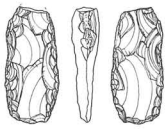
中形剥片石器



334



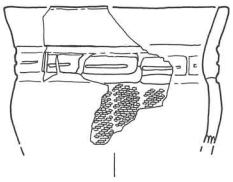
357



358

0　10cm

第254図　149・160・161・162・164・169・170号土坑出土石器一覧（S＝1/8）

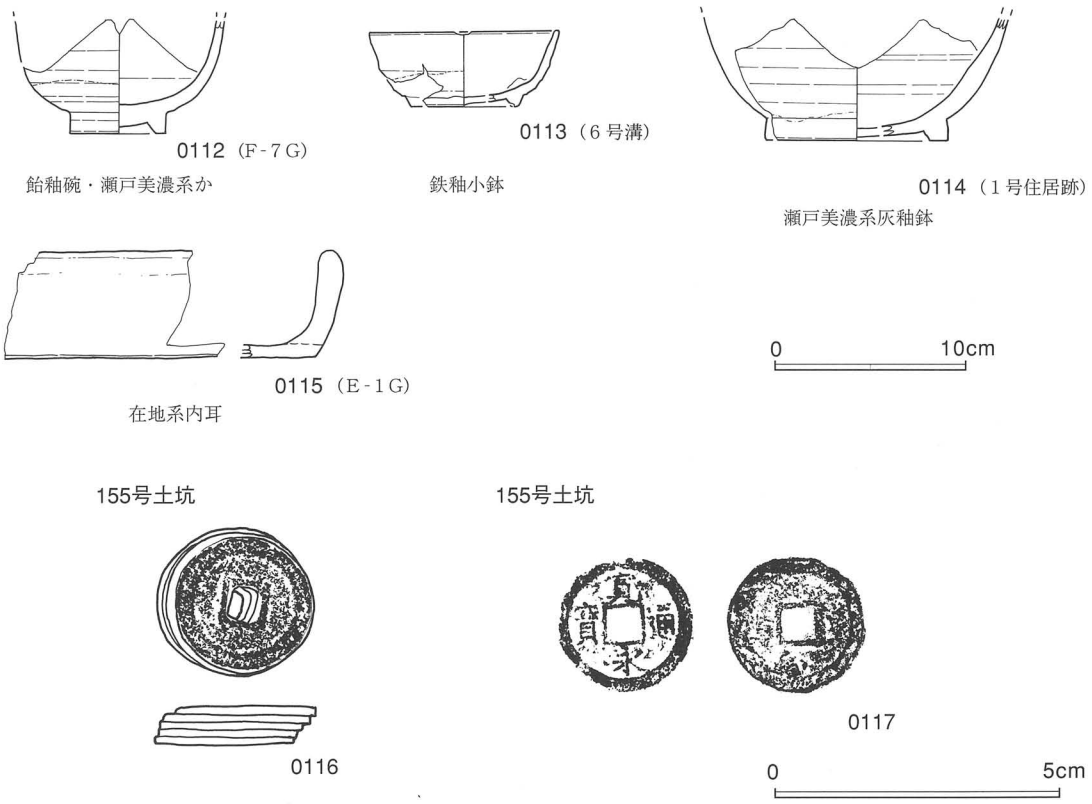


平口縁
頸部雷文
体部地文単節ＲＬ縦位施文

0111（3号住居跡）

0　10cm

第255図　遺構外出土遺物（S＝1/4）

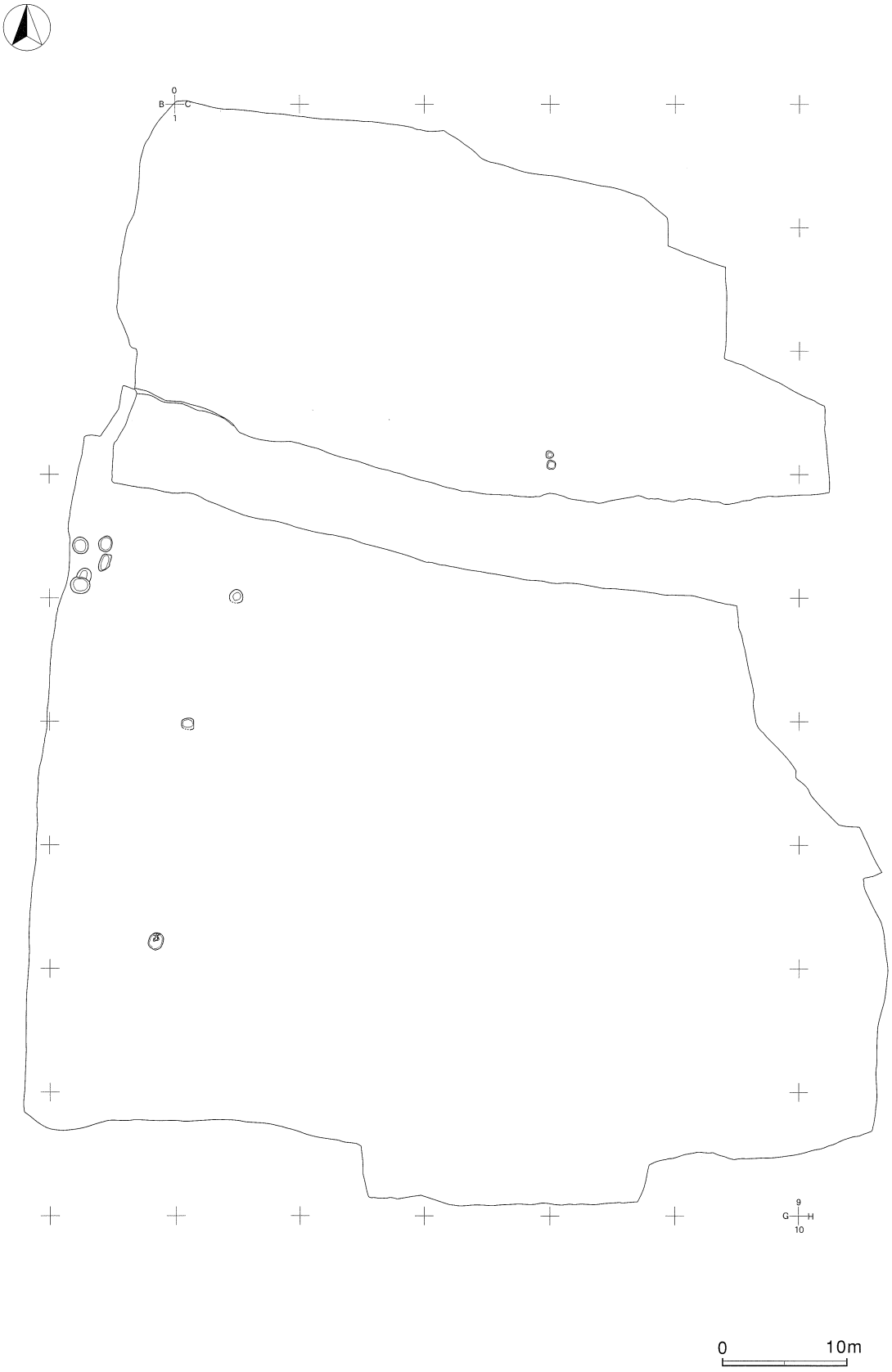


第256図　近世遺物（0112～0115　S＝1/4・0116・0117　S＝3/4）

第１表　遺構別石器組成表

検出位置	石鏃	石錐	石匙	不定形	R.f.	U.f.	原石	石核	両核	楔	両剥	小形計	打斧類	磨斧	小形磨石類	大形磨石類	石棒	特殊	大形計	合　計
SB 1	2			3	1	4		3	1	1	4	19	13	3	11	7			34	53
SB 2	1			1		2	1	2		2		9	18		8	4		2	32	41
SB 3	4			2	2	6	1		1	4	3	23	34	1	4	3			42	65
SB 4	1			1					1			3	27	2	2				31	54
SB 5												0	7			1			8	8
SB 6				1		1				1		3	7		7				14	17
SB 7		1		1		2				5		9	6	1	2				9	18
SB 8		1		1	1	1		2	1	6	1	14	11	2	5				18	32
SB 9	1			1	6	4		2		3		17	34	1	13	2		1	51	68
SB10					1	1		1				3	8		4	2			14	17
SB11												0	2		1	1	1		5	5
SB12	1	1		3	4	4		1	1	1	1	17	9		1				10	27
SB13	1					2			1		3	7	8	3	6	1			18	25
SB14	3			1	3			2			3	12	13	3	1				17	29
SB15												0				4			4	4
SB16	5	1		4	3	10		2	3	16	7	51	84	7	5	4		2	102	153
SB17									1		2	3	1		3				4	7
SB18												0	2			1			3	3
SB19	2			2	3		1	2			5	15	30	1	2	2			35	50
1 土坑												0	2		12				14	14
5 土坑												0	1						1	1
7 土坑										1		1							0	1
20土坑												0	1						1	1
22土坑												0	1						1	1
39土坑												0	1		1				2	2
51土坑												0	1						1	1
58土坑												0	1		1				2	2
59土坑												0	1						1	1
65土坑												0	2						2	2
72土坑												0	2						2	2
78土坑												0	1		1				2	2
88土坑												0	1						1	1
96土坑												0	2						2	2
97土坑												0	1						1	1
103土坑								3		1		4	2		1				3	7
115土坑												0	1						1	1
116土坑												0	1		1				2	2
125土坑												0	1						1	1
127土坑												0	1		1				2	2
139土坑												0	1						1	1
145土坑												0	1						1	1
147土坑										1		1	1		1				2	3
149土坑												0	1						1	1
157土坑												0	1						1	1
161土坑												0	1		2				3	3
162土坑								1				1	1						1	2
164土坑												0	1		1				2	2
165土坑												0	3		1				4	4
167土坑												0	3						3	3
169土坑												0	1						1	1
170土坑												0	2						2	2
171土坑												0	2						2	2
182土坑												0	1						1	1
合　計	21	4	0	21	24	37	3	21	10	42	29	212	358	24	98	32	1	5	518	730

第257図　遺構分布図　中期中葉（S＝1/500）



第258図　遺構分布図　中期後葉（S＝1/500）

第259図　遺構分布図　近世以降（S＝1/500）

3　調査の成果と課題

調査の概要でも述べたとおり、本遺跡では縄文時代中期中葉の馬蹄形集落がほぼ完全な形で調査されている。現在までこの地域では多くの中期中葉の遺跡が調査されてきたが、集落のほぼ全体が分かるような調査、あるいは集落の経営期間が比較的短く集落の構造がモデル的に把握できる例はほとんどなかった。このような状況から今後この調査の成果が各種の分析に用いられるものと期待しているが、ここでは作業を通して気が付いた幾つかの点を指摘しておきたい。

中期中葉集落の群別と廃棄行動

この集落では調査区西側が農道により既破壊・調査不能であったり、あるいは調査区中央やや北寄りに田普請により掘削・破壊されている部分がある。また、この調査地点の北側についても山林のため状況が不明ではあるもののC・D－1区の様子を見ると遺物の分布が途切れること、岩盤が浅い位置から見られることから居住に適した地点とは考えられない。以上からは本来の遺構の分布はまだ若干の広がりを見せる可能性はあるものの、この調査の成果の見直しを要するものとは想定していない。

このような状況から住居跡の分布の途切れた部分にかなり恣意的ではあるが大別の線を引くことが可能である。即ち北群として1、2、3、17、18、19、20号住居跡の7軒を、南群として4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16号住居跡の13軒を想定したい。中央の土坑群については明確な根拠を示し得ないが概ね104号土坑と118号土坑の間と、90号土坑と92号土坑の間を結ぶ線により北群と南群に群別が可能であろうか。

この群別した両者を比較すると、住居跡の数で北群対南群が約1：2の比率となり、南群が優勢となる。また、細別時期毎に見ていくとⅠ期とした5、8、12号住居跡、Ⅱ期とした9、15、16、更にⅢ期とした4号住居跡も南群に位置している。但し、土坑については北群にもこれらの時期のものが含まれる上、Ⅳ期以降と判断した1、2、3号住居跡からも他の時期の遺物に混じってこれらの時期の遺物が出土している。先に述べたとおり、時期複合の遺物の出土した場合、住居跡の帰属時期は主体となる時期、あるいは新しい段階のものと判断しているが、その住居そのものの経営期間の長短は不明と言わざるを得ない。ここで遺物の出土状況を確認しておくと、これらの住居跡の中では1号住居跡に拡張の痕跡が明らかであり、その経営期間は一定の幅を有することが明らかである。しかし、01002、01003、01005、01006等の出土状況を見ると覆土上層からの出土であることを注意しなくてはならない。同様に2号住居跡についても02001、02003等が住居床面直上からの出土であるものの、その他の時期の土器も同様にほとんどのものが床面直上の出土であること、3号住居跡については03015がやや浮いた状況で、03022は他のものと一括で吹上パターンで出土している。このような状況からはこれらの遺物を積極的に1～3号住居跡に帰属させる理由は見出せない。以上からは斜面上位に位置する北群の住居跡に、斜面下部の住居に居住したⅣ期以降の人々がそれ以前の土器を拾い集めて廃棄行為をあえて行ったことになるが、このような行為をあえて行わなければならなかった合理的な理由が考えられない。

具体的に遺構間の接合関係を見るとその事例は石器を含めて21例ある。しかし、ここで北群、南群とした範囲を超えて接合したのは16076の1点のみである。もちろん遺跡に残された遺物を全部採集できたとは考えられず、また、個体識別する能力の問題等からこの数字が確定的な数字でもないことは明らかであるが、

この事実から北群、南群を超える廃棄行為が皆無ではないものの、日常的に頻繁に行われたものとは考え難い状況である。この事象から南群に居住した人々の北群への廃棄行為は積極的に首肯できない。以上からは自身の経験則からは否定的に捉えているものの、先の所見とは異なるが予想以上に集落が広がる可能性が否定できない一方、あるいは痕跡は残されていないものの、いわゆる竪穴住居跡ではない、痕跡のほとんど残らない簡便な居住形態が北群に存在し得たと考えるべきなのだろうか。後者の場合でも遺物の保有形態等大きな問題が派生することとなる。今後更なる分析作業が必要となろう。

住居跡の主軸・入口方向・炉の正面観

今回の調査では遺構の複合が少なく、住居の構造がおおよそ把握できるものがあり、それらについて簡単に触れてみたい。

入口方向については主観的な部分は否定できないが、主柱穴の巡る位置からズレて、規模的にもこれらと異なる入口施設と推定できる施設が検出された例として２、９、１２、１３、１６、１９号住居跡が、また、造出しのベッド状遺構の途切れから入口が推定できるものに１、１５号住居跡がある。また、明確な痕跡ではないが柱穴間が広がることにより入口方向の推定できるものとして３、５、７、１４、２０号住居跡が挙げられよう。また、何ら施設は認められないものの主軸方向に入口が推定できるものとして４、８号住居跡を挙げる。これらと主軸方向（長軸）との整合性を見るとほぼ整合するものとして２、４、８、９、１２、１３、１４号住居跡が挙げられる。これらには時期的な偏向性は認められず、この集落のほぼ全時期を通して普遍的に認められる形態と考えられる。但し、これらについても炉の正面観との整合性を見るとほぼ一致するものとして４、８、１２、１３、１４の各住居跡が挙げられ、２、９号住居跡についてはズレが見られる。石囲い炉の正面観は住居内部の空間構成を規制するものと考えられることから今後注意していきたい。

また、入口施設として対ピットのみられた13、16、19号住居跡については入口施設として張出しを持つ可能性があるし、同様にベッド状の遺構を有する1、15号住居跡にも張出しを有する可能性を指摘しておきたい。

石棒・石柱

本遺跡で石棒の出土した住居跡として２、11号住居跡が、石柱の出土したものとして１、９、11、13、15号住居跡がある。この内11号住居跡の石棒については炉石への転用である。出現位置を見ると１号住居跡は造出しのベッド状遺構直上、２号住居跡の無頭の大型石棒は入口側の柱穴上、９号住居跡は炉奥壁寄り東側に偏在した床面直上から、11号住居跡は住居奥側柱穴の奥壁寄りに、13号住居跡では入口施設対ピットに掛かったものと住居中程の主柱穴に掛かったものが、15号住居跡では造出しのベッド状遺構の先端部というよりも柱穴に掛かって出土している。

これだけの出土例で一般的な傾向を導き出すことは不可能ではあるが、若干の例外を除いて柱穴の位置に近い状態で床直から出土している事が指摘される。本調査の住居跡の柱穴の半截調査では柱材もしくは柱痕を残した状態で検出された例は無く、このことからは主柱もしくは入口施設の柱に凭せ掛けて、あるいは括り付けられたものが、柱材抜き取り後そのまま放置された状態が想定できようか。その際、石棒と石柱には明確な機能分化は存在しないと考えられる。また、その居住空間に占める位置にはばらつきがあり、今後に課題を残す。

更に先の集落の群別によると北群に１、２号住居跡、南群に９、11、13、15号住居跡があり、やはりここ

でもその出現率は住居総数に比例し北群１対南群２となる。なお、細別時期毎の出現率等については再利用等の問題もあり有効な情報とは成り得ない。今後更なる事例の集積、その検討を踏まえた有効な分析手法の確立が必要となろう。

石囲い炉掘方の被熱範囲

本調査において検出された住居跡の石囲い炉について、その掘方まで被熱赤変の認められるものが幾つかあり注目される。１、３、９、13、14、15、16号住居跡がそれで、この内16号住居跡のみ炉床部の地山被熱赤変が顕著であるが、他については炉床部の被熱の痕跡は明らかではなかった。これらからは炉の使用形態についても改めて検討する必要があることと、炉の掘方、石囲い炉の炉石の下部まで被熱赤変していたことはいわゆる煮炊き等一次的使用に係わる以外の何らかの当時の人々の行為を想定する必要がある。

ここで着目しておきたいのが当地域の縄文時代中期後葉、曽利式期の炉の形態、石囲い炉の他に地床炉状の焼土跡が見られるもの(1)である。これについては別校(2)でも検討しているが、当地域では曽利Ⅰ式期から終末の曽利Ⅴ式期まである程度の比率で普遍的に認められ、曽利式の古い段階ほど石囲い炉に近接して見られる傾向にある。この祖形として明らかに石囲い炉掘方内部まで被熱赤変した今回調査事例のような形態を想定しておきたい。

その行為の内容については現況では明確にできないが炉を構築する段階、あるいはそれに先行する祭祀的な要素が指摘できようか。別校においても曽利式期の変遷を把握しつつ推論を述べたが、今後の類例の増加を待ちつつ検討を重ねていかねばならない。

(1) 山本の主張する石囲い複式炉である。但し、その概念規定、用語の使用については問題がある。
山本茂樹　1995「１号住居跡の炉について」『日影田遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第100集
(2) 伊藤公明　2002「曽利式期の地床炉状焼土跡について－八ヶ岳南麓を中心として－」『日々の考古学』東海大学考古学教室開設20周年記念論文集

釣手土器とその出土状況

今回の調査で14号住居跡より釣手土器14008が把手が欠損したのみでほぼ完存する状態で出土している。この土器については既に幾つかの文献(1)により紹介されているので参照願いたいが、施文技術や手法からは藤内式の古い段階に製作されたものと考えられる。但し、他に出土した土器はこれよりも新しい段階、井戸尻式期のものと判断される。また、その出土状況については先の遺構観察所見に述べたとおり、14号住居跡は消失家屋の可能性があり、この釣手土器以外のものには二次焼成の痕跡が顕著であった（むしろこの釣手土器と二次焼成の顕著なものを使用時の一括土器と認めたい。その際に先にも触れたとおり、日常の土器の保有形態という問題も派生するが、今後の資料の蓄積を待って論じたい。）が、当該土器には使用によると考えられる器内面の二次焼成、炭化物の付着は顕著に認められるものの住居焼失に伴うと考えられる器外面の二次焼成は顕著には認められない。ここでは当該土器がほぼ床面直上の出土で、流れ込みでは有り得ない状況であることからこの土器が何らかの理由により伝世したと考えたい。その際、二次焼成をほとんど受けなかった点については今後実験的手法等により検証が必要と考えられる。

なお、本例では把手は故意に打ち欠かれたものと考えられ、逆に釣手土器の把手のみを保有した例として10号住居跡出土の10007が考えられる。

また、土器の編年研究的な視点からは、今回調査の14008や長坂町酒呑場遺跡(2)例、須玉町下平遺跡(3)等北巨摩地域にはその成立段階の釣手土器が分布しており、今後この器種の生成過程を明らかにする上でその位置付けを十分検討する必要があろう。

更にこの器種の機能、用途を考察する上で使用の痕跡が明らかな14008の事例は重要な意味を持つものと考える。今報告には間に合わなかったものの現状でできる自然科学的分析、あるいは今後の非破壊調査、分析の進展により可能な分析を導入しつつその使用の実態に迫りたいと考える。

(1) 新津　健　　1999「縄文中期釣手土器考」『山梨県史研究』7
　諏訪市博物館　　1999『縄文土器のふしぎな世界第二章－中部高地の釣手土器展－』
(2) 山梨県埋蔵文化財センター　　1997　『酒呑場遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第135集
(3) 新津氏のご教示による。文献は　山路恭之介　1998「下平遺跡」『須玉町史　資料編　第一巻　考古・古代・中世』

焼町類型の土器

本遺跡では小破片ではあるが焼町類型の土器が出土している。本県で調査による当該土器の出土は須玉町の西川遺跡(1)以来2例目となるものである。近年当該土器の変遷観が示され(2)、その変遷観によれば03042は棒状工具による角押文が見られ、新巻類型のものとなる可能性も指摘される(3)が、それ以外については小破片のこともあり明確な判断は困難ではあるものの概ね藤内式に共判する範疇のものと考えられる。

山梨県域では昭和50年代後半以降の中央自動車道整備やこの峡北地域で実施された圃場整備事業に伴う大型開発、その後の各種開発事業に伴い実施された発掘調査により資料の蓄積が図られてきたにもかかわらず焼町類型の土器の出土例はこの2例以外には大泉村寺所第2遺跡(4)例、長坂町酒呑場遺跡(5)例があるのみである。即ち現状では山梨県内での分布状況を見ると極めて限定的にしか分布せず、しかも峡北地域に限り分布することになるが、同時期の大規模な集落の甲ッ原遺跡(6)や海道前C遺跡(7)等には見られない。今後も注意して分布動向を把握する必要があろう。

また、外来系の土器として焼町類型のもの以外にいずれも小破片ではあるものの平出ⅢA他東海系のものが認められた。

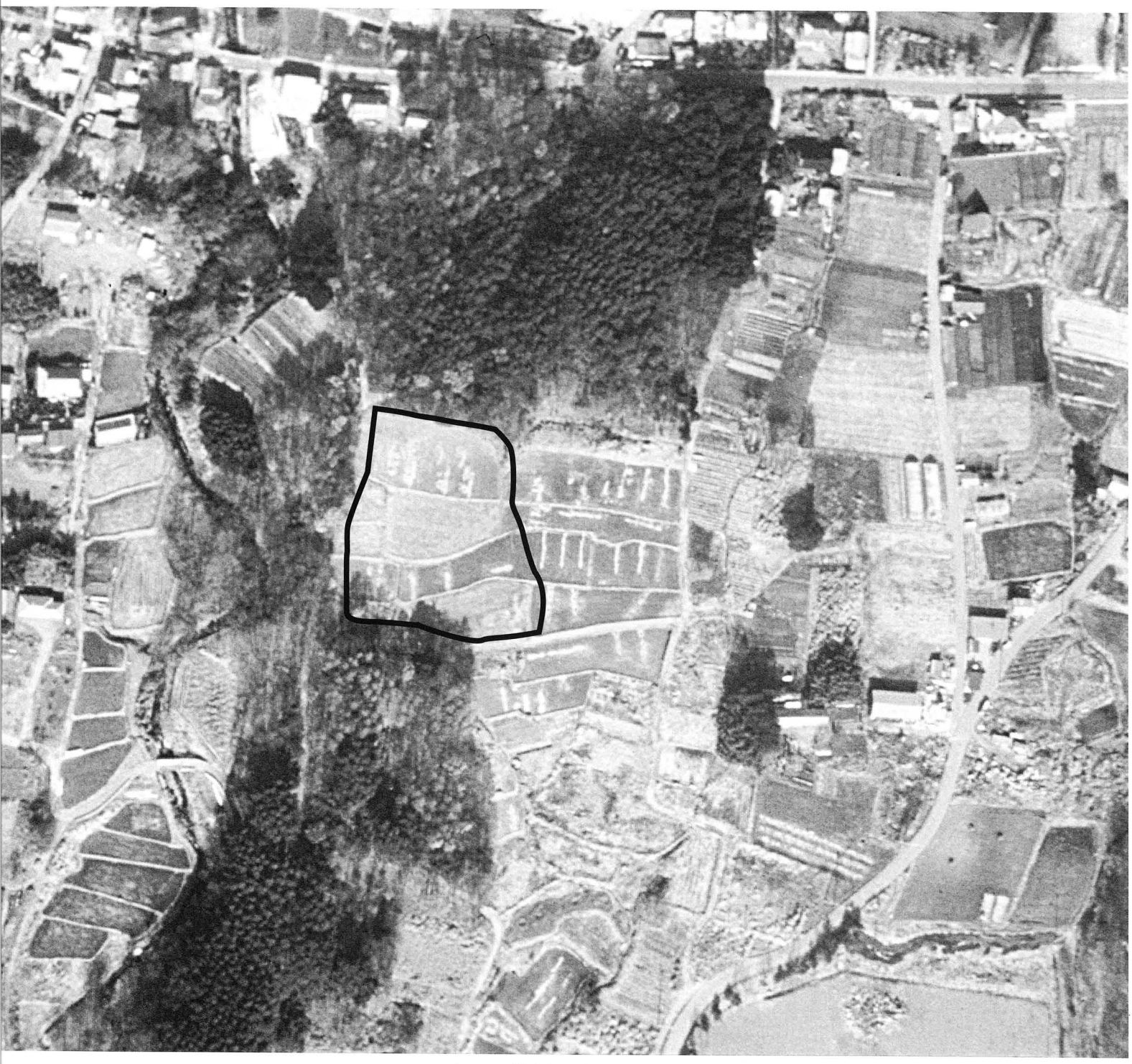
(1) 調査報告書に実測図の提示なし。今福利恵氏のご教示による。
　須玉町教育委員会　1988『西川遺跡』
(2) 寺内隆夫　　1997「川原田遺跡縄文時代中期中葉の土器群について」『川原田遺跡―長野県北佐久郡御代田町川原田遺跡発掘調査報告書－縄文編』
(3) 長谷川福次氏のご教示による。
(4) 伊藤公明　　2001「寺所第2遺跡T－37号住居跡出土の土器」『八ヶ岳考古－平成12年度年報－』
(5) 山梨県教育委員会他　1997『酒呑場遺跡（第1・2次）－酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書－（遺構編）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第135集
　猪股喜彦　　1996『縄文の舞－第8回特別展土器に描かれた人体形象文の世界－』釈迦堂遺跡博物館
(6) 山梨県教育委員会他　1994『甲ッ原遺跡Ⅰ』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第96集
　山梨県教育委員会他　1996『甲ッ原遺跡Ⅱ』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第114集
　山梨県教育委員会他　1997『甲ッ原遺跡Ⅲ』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第144集
　山梨県教育委員会他　1998『甲ッ原遺跡Ⅳ』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第145集
　大泉村教育委員会　1994『甲ッ原遺跡第6地点・第7地点』大泉村埋蔵文化財調査報告書10集
(7) 山梨県教育委員会他　2000『古堰遺跡・大林上遺跡・宮の前遺跡・海道前C遺跡・大林遺跡－国道141号（箕輪バイパス）建設に伴う発掘調査報告書－』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第165集

参考文献

前掲以外の参考文献は以下のとおり。

大泉村教育委員会他 1985『東姥神遺跡Ｂ』大泉村埋蔵文化財調査報告　第３集
大泉村教育委員会他 1986『豆生田第３遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告　第４集
大泉村教育委員会他 1987『姥神遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告　第５集
大泉村教育委員会他 1988『方城第１遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告書　６集
大泉村教育委員会他 1989『大和田遺跡・大和田第２遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告書　７集
大泉村教育委員会他 1990『大和田第３遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告書　８集
大泉村教育委員会他 1991『宮地第２遺跡・宮地第３遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告書　９集
大泉村教育委員会　 1999『古林第４遺跡Ⅰ（石器編）』大泉村埋蔵文化財調査報告書　１2集
高根町教育委員会他 1996『西の原遺跡　石堂遺跡』高根町埋蔵文化財調査報告書　第３集
高根町教育委員会他 1987『石堂Ｂ遺跡』高根町埋蔵文化財調査報告書　第５集
高根町教育委員会他 1997『社口遺跡第３次調査報告書』
高根町遺跡調査会　 1996『次郎構遺跡』
長坂町教育委員会　 1996『酒呑場遺跡Ｇ区』長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書　第１１集
山梨県教育委員会他 1974『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書－北巨摩郡小淵沢町地内－』
山梨県教育委員会他 1975『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書－北巨摩郡長坂・明野・韮崎地内－』
山梨県教育委員会他 1986『柳坪遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第１３集
山梨県教育委員会　 1987『寺所遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第２７集
山梨県教育委員会　 1988『金生遺跡Ⅰ（中世編）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第３９集
山梨県教育委員会　 1989『金生遺跡Ⅱ（縄文時代編）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第４１集
山梨県教育委員会他 1991『小坂遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第６３集
山梨県教育委員会　 1994『天神遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第９７集
山梨県教育委員会　 1998『東原遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第１５３集
山梨県教育委員会他　1997『酒呑場遺跡－第３次調査－（遺構編・前編）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第１３６集
山梨県教育委員会他　1998『酒呑場遺跡－第３次調査－（遺構編・後編）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告　第１６９集
山梨大学考古学研究会 1978『御所遺跡発掘調査報告』
山梨大学考古学研究会 1981『御所遺跡－第２次発掘調査報告書－』
八ヶ岳南麓遺跡学術調査団 1987『山梨県高根町野添遺跡発掘調査報告書』

写真図版

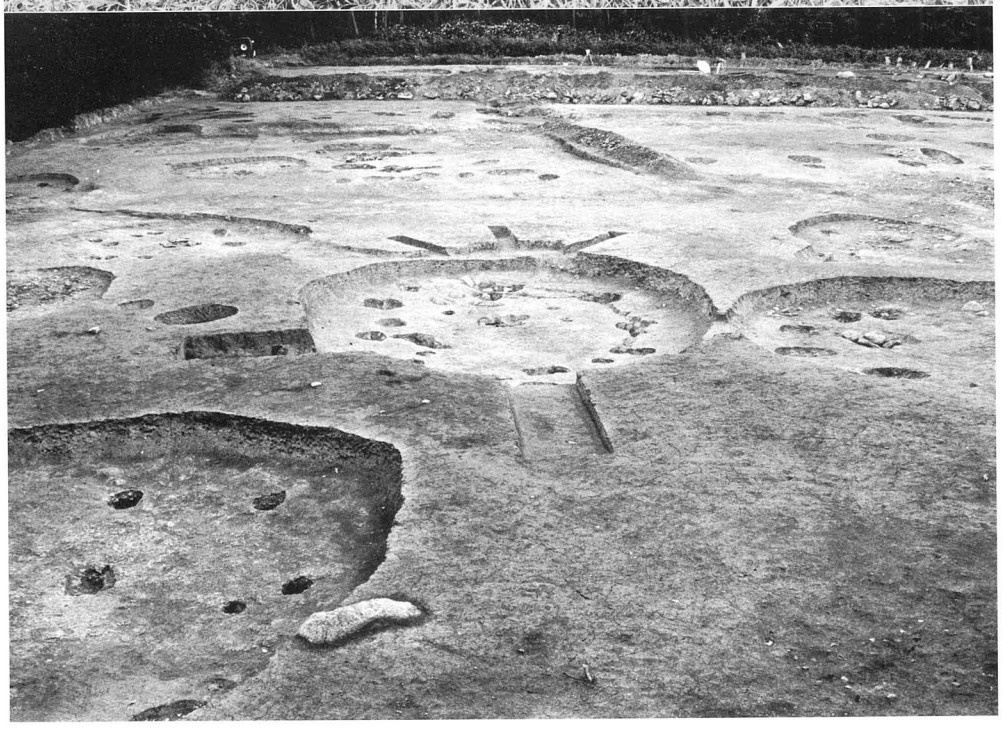


施工前航空写真

図版2

試掘調査風景

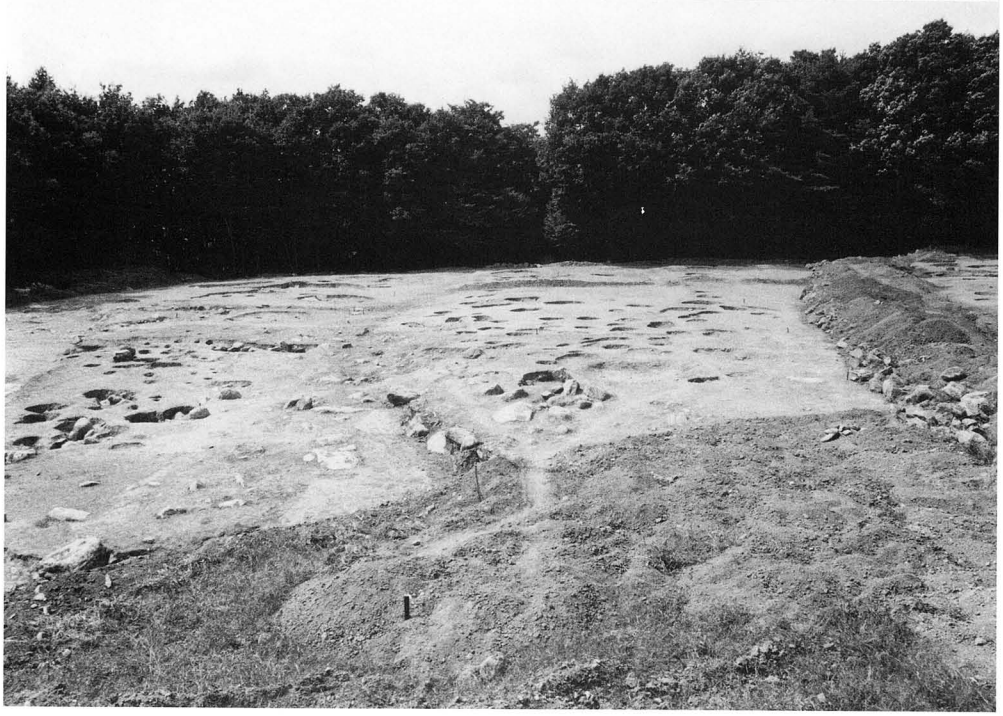
移設前石造物設置状況



近　景

近　景

近　景



近　景

図版4

近　景

近　景

近　景

1号住居跡
遺物出土状況

1号住居跡
01002、01005
01006、01013他
出土状況

1号住居跡
01018出土状況

図版6

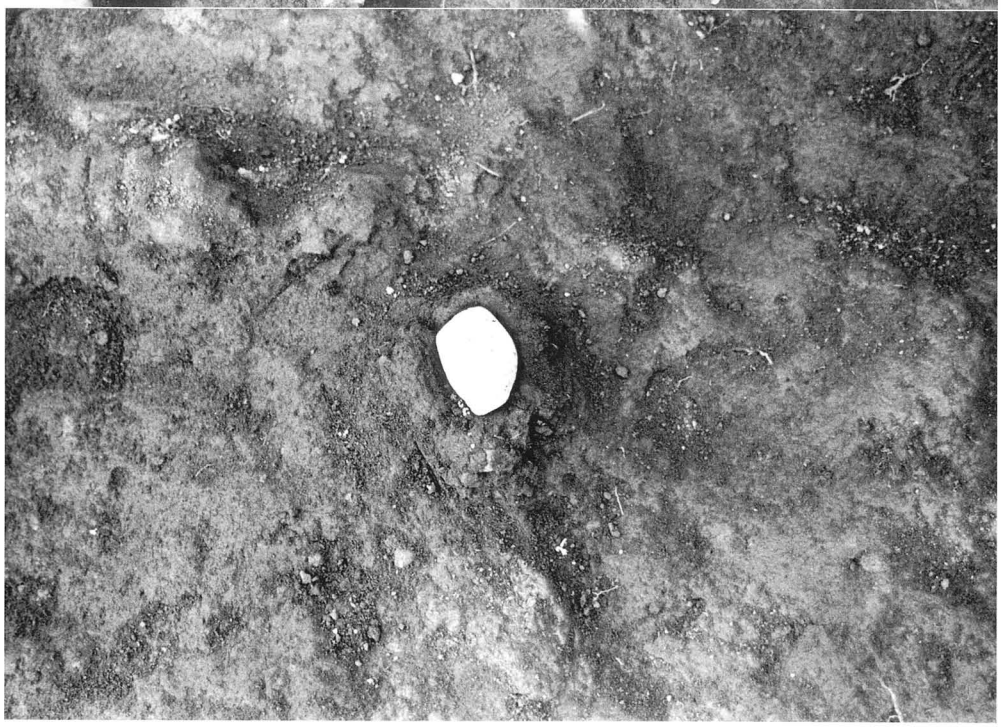
1号住居跡
炉跡検出状況

1号住居跡
完掘状況

2号住居跡
遺物出土状況

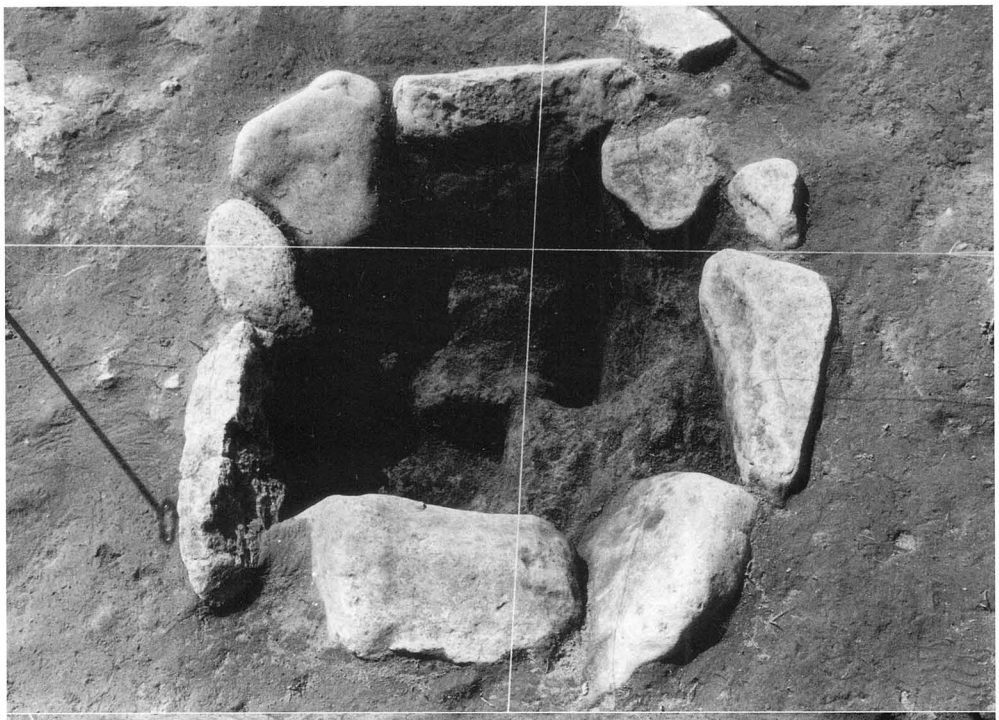
2号住居跡
遺物出土状況

2号住居跡
02003他出土状況

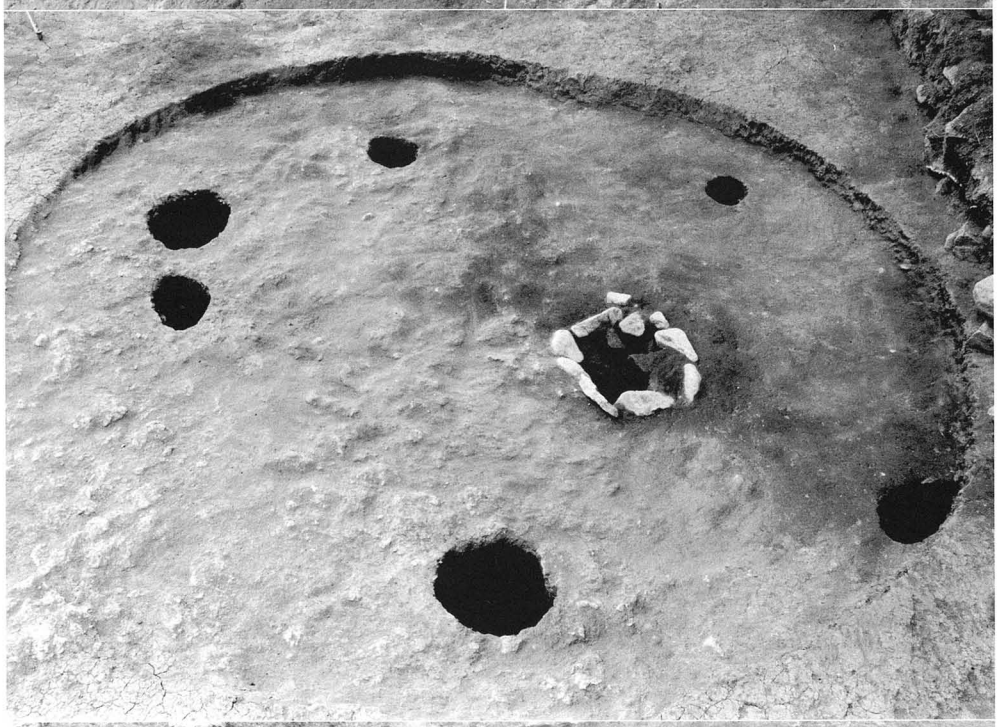


2号住居跡
ヒスイ製玉類出土状況

図版8



2号住居跡
炉跡検出状況



2号住居跡
完掘状況

3号住居跡
遺物出土状況

3号住居跡
03011、03016
出土状況

3号住居跡
03008、03021
出土状況

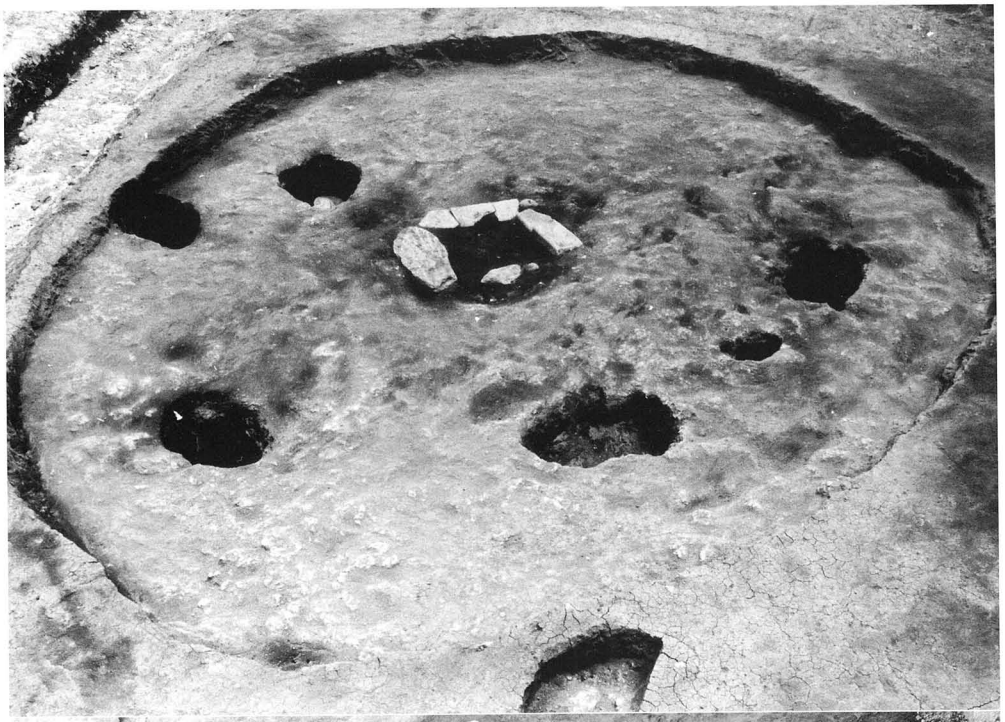
3号住居跡
03003出土状況

図版10

3号住居跡
03001、03003他
出土状況

3号住居跡
03013出土状況

3号住居跡
炉跡検出状況

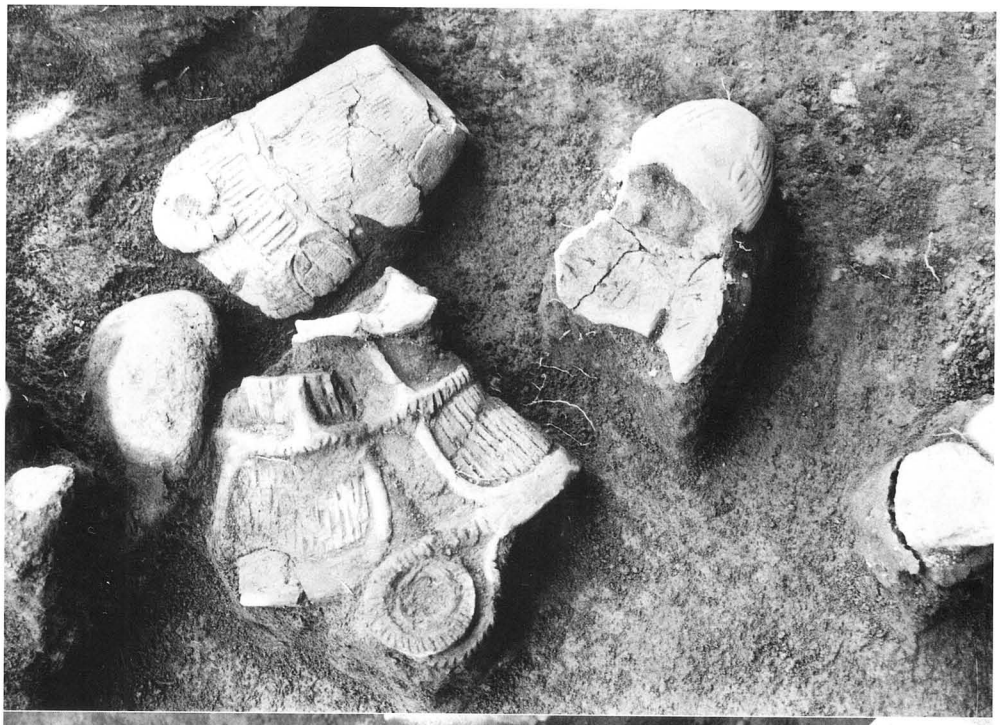


3号住居跡
完掘状況

4号住居跡
遺物出土状況

4号住居跡
04012出土状況

図版12



4号住居跡
04003、04008
04009出土状況

4号住居跡
04001、04002
出土状況

4号住居跡
04007出土状況

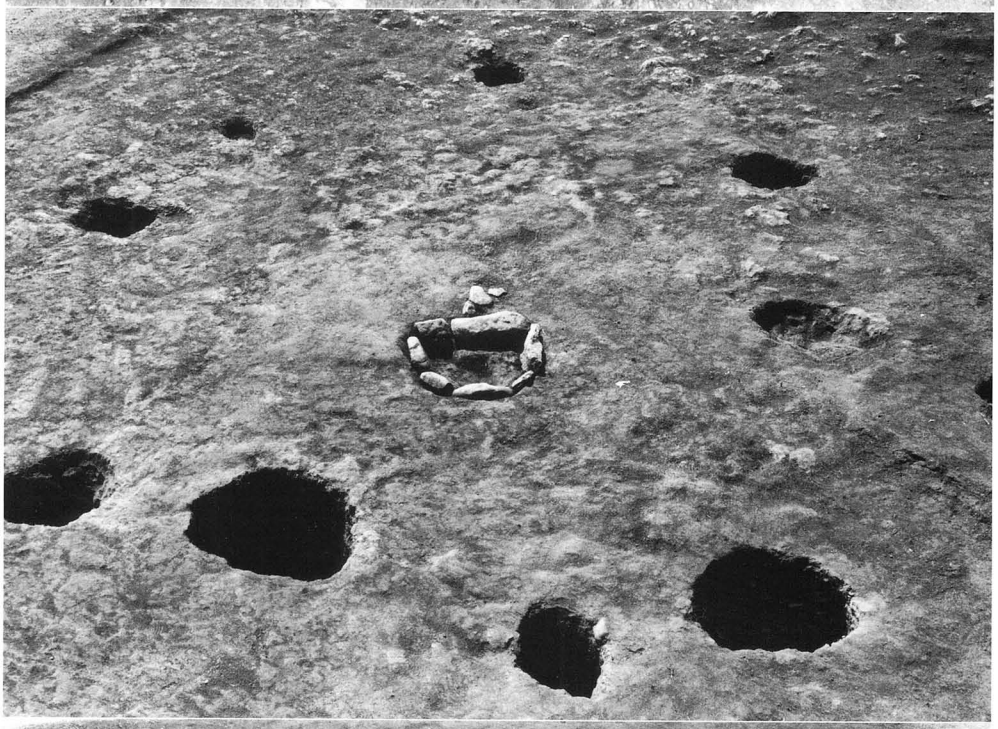
4号住居跡
炉跡完掘状況

4号住居跡
完掘状況

4・5号住居跡
完掘状況

図版14

5号住居跡
炉跡検出状況



5号住居跡
完掘状況

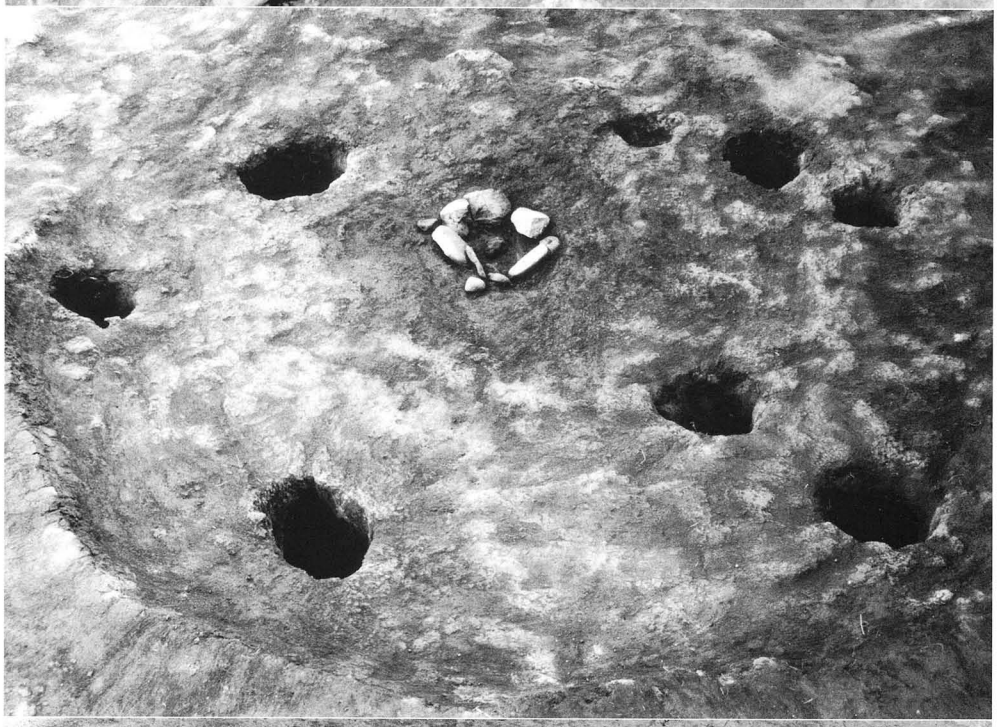
6号住居跡
遺物出土状況

6号住居跡
炉跡完掘状況

6号住居跡
完掘状況

7号住居跡
遺物出土状況

7号住居跡
炉跡検出状況



7号住居跡
完掘状況

8号住居跡
遺物出土状況

8 号住居跡
08002出土状況

8 号住居跡
炉跡検出状況

8 号住居跡
完掘状況

9号住居跡
遺物出土状況

9号住居跡
09004出土状況

9号住居跡
09001出土状況

9号住居跡
09014、09019
出土状況

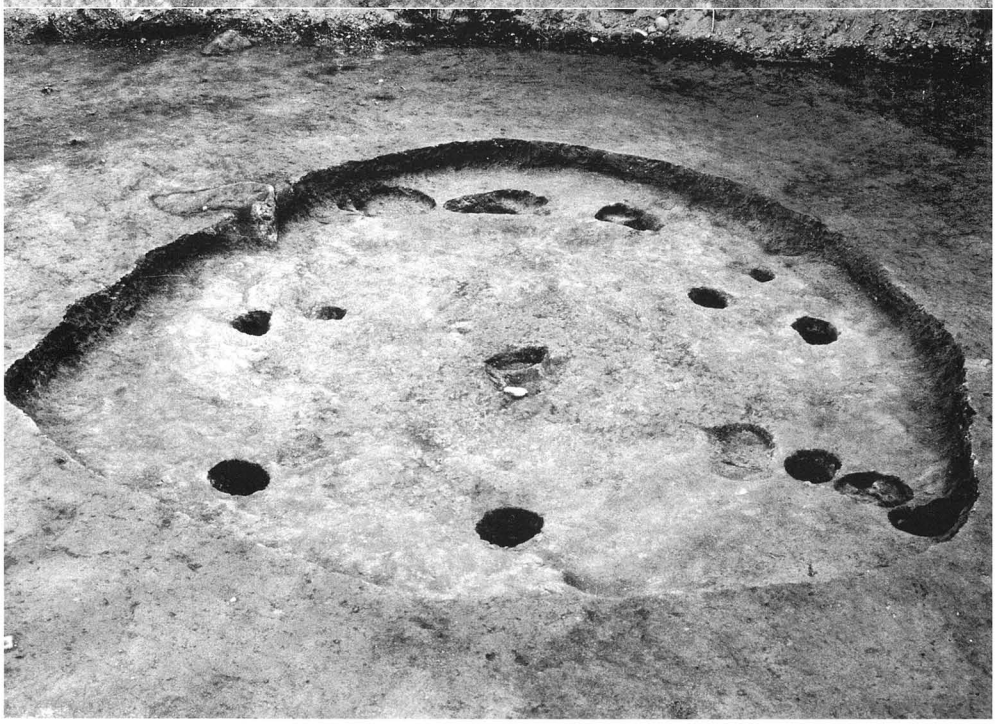
9号住居跡
09015出土状況

9号住居跡
09040出土状況

図版20

9号住居跡
遺物出土状況

9号住居跡
炉跡完掘状況



9号住居跡
完掘状況

10号住居跡
検出状況

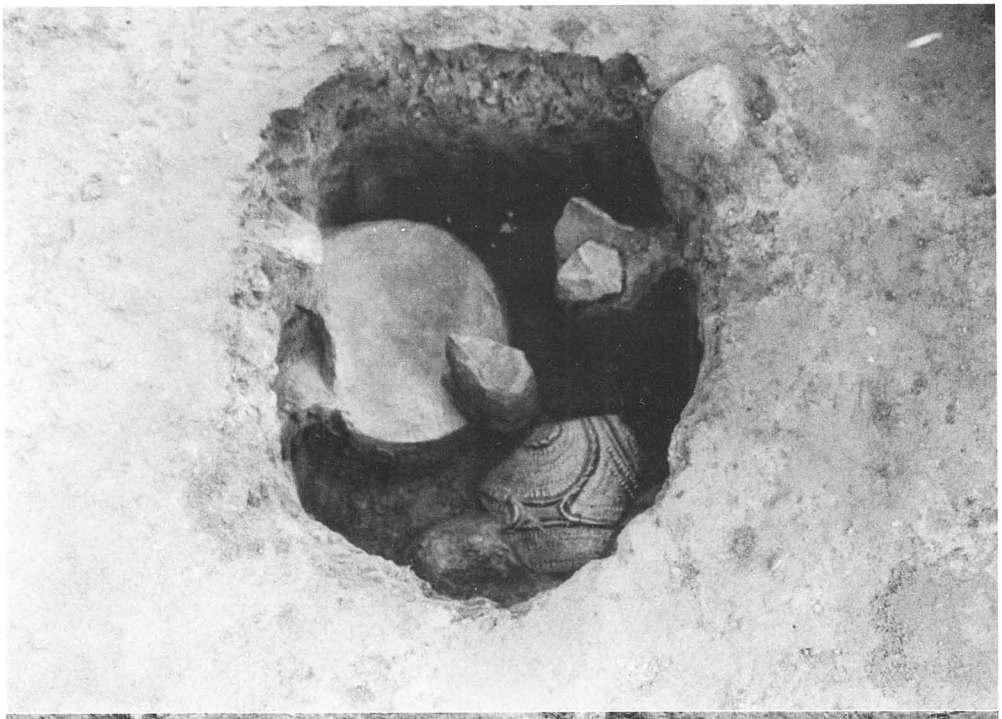
11号住居跡
11001出土状況

11号住居跡
炉跡完掘状況

11号住居跡
完掘状況

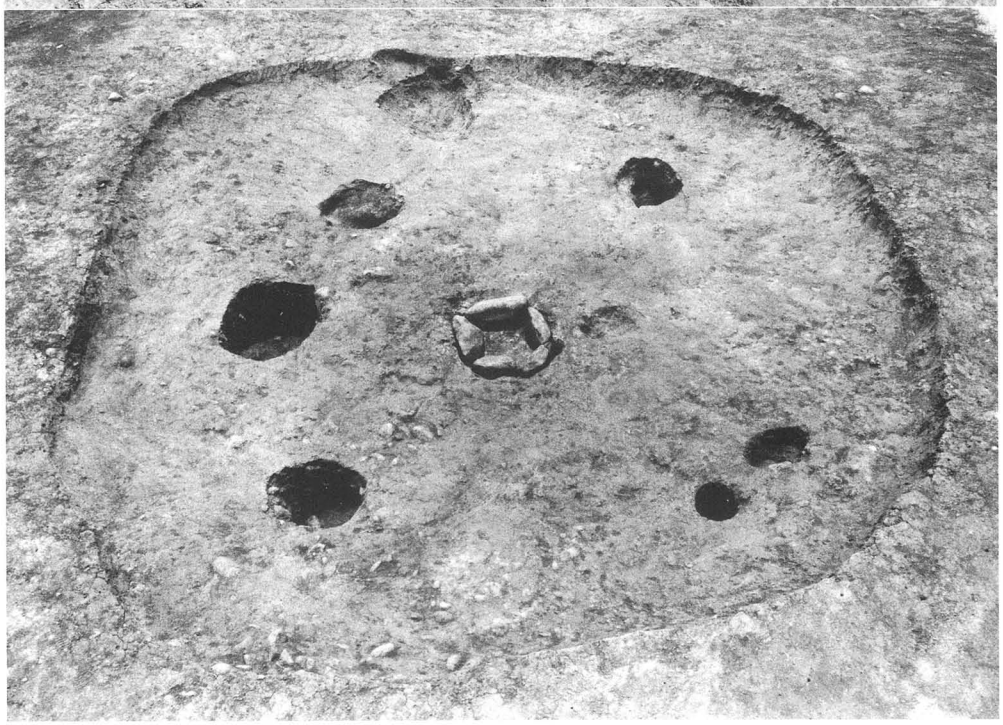
12号住居跡
遺物出土状況

12号住居跡
12001、12003他
出土状況

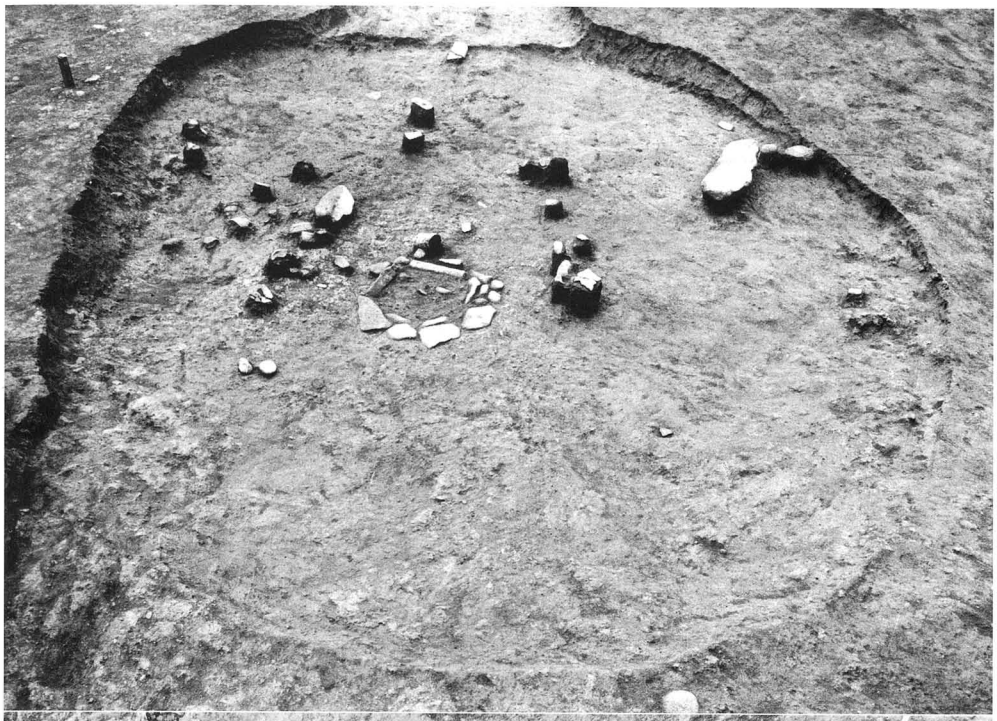


12号住居跡
12005出土状況

12号住居跡
炉跡検出状況

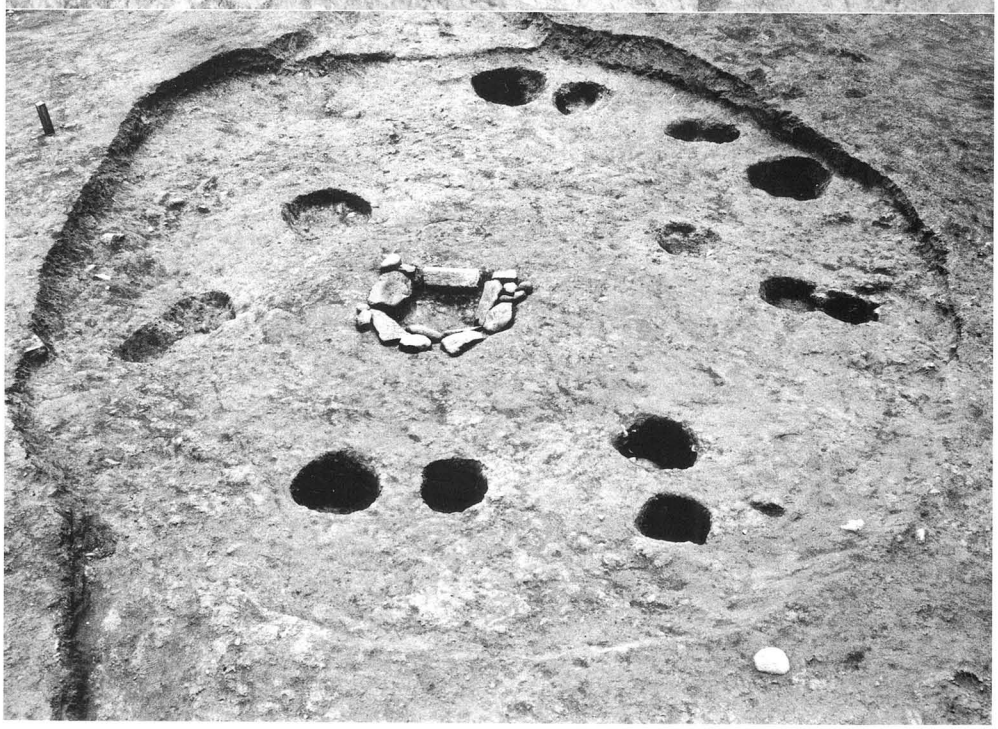


12号住居跡
完掘状況



13号住居跡
遺物出土状況

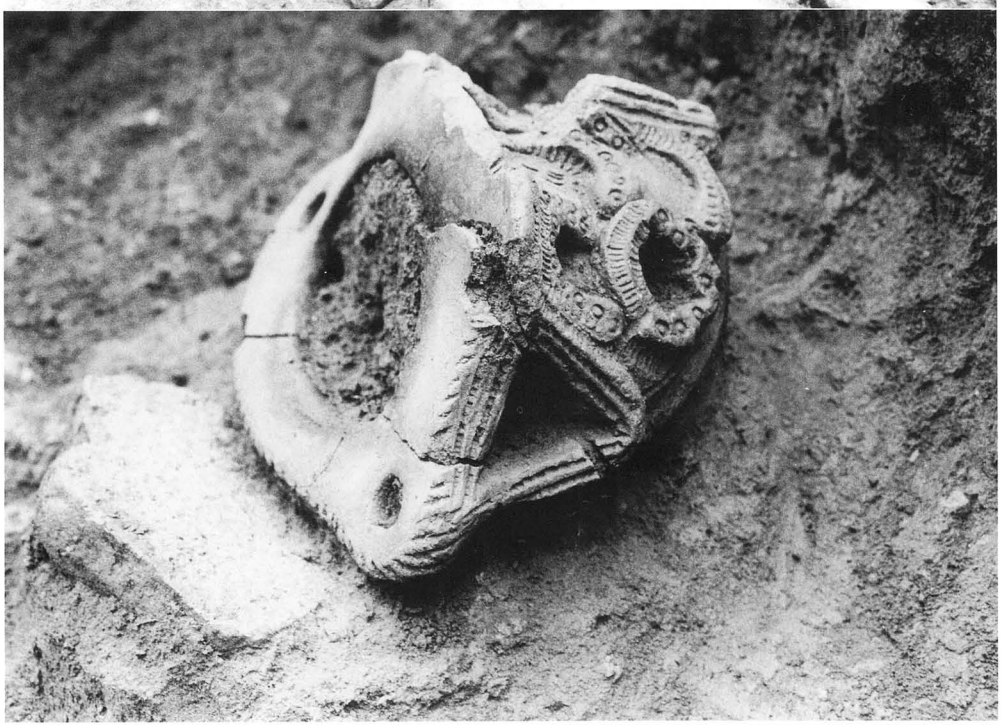
13号住居跡
炉跡検出状況



13号住居跡
完掘状況

14号住居跡
遺物出土状況

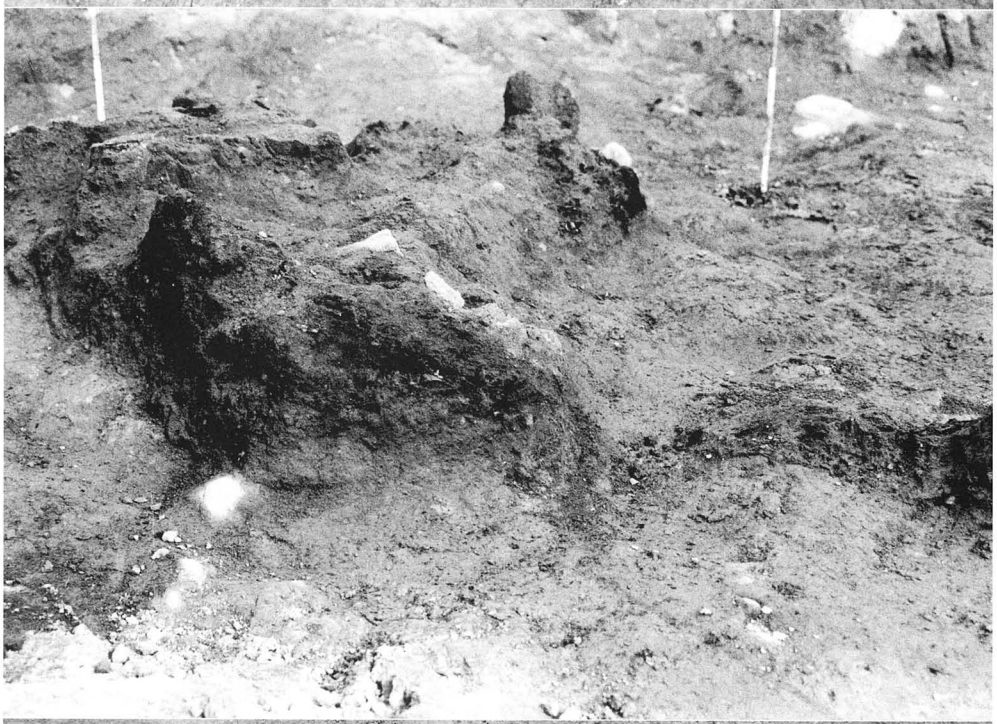
14号住居跡
14008出土状況



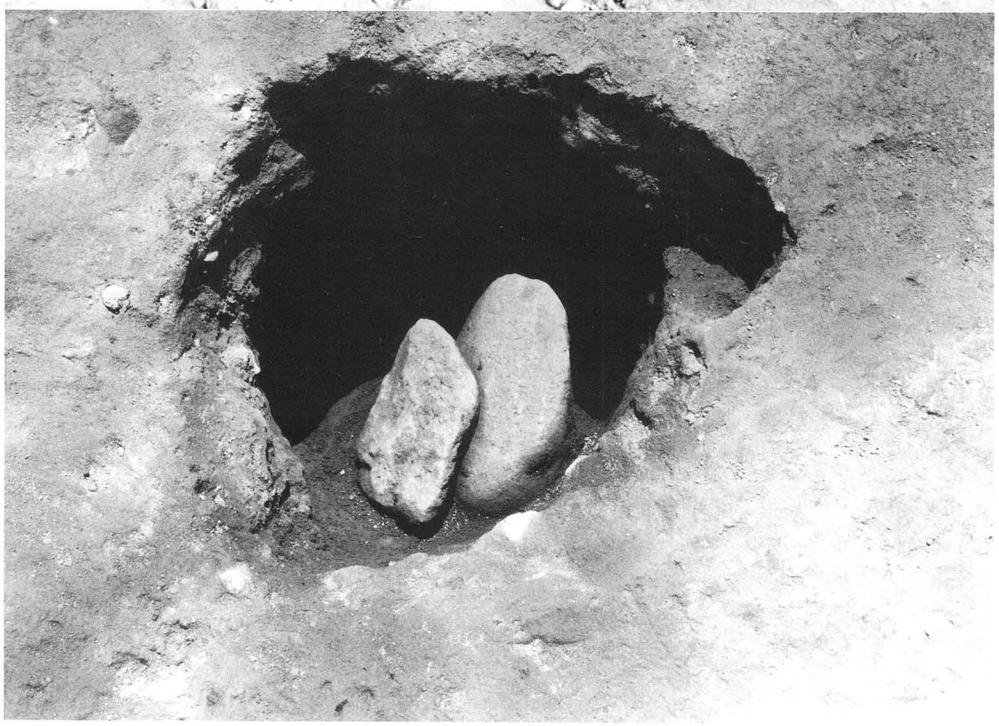
14号住居跡
14008出土状況

図版26

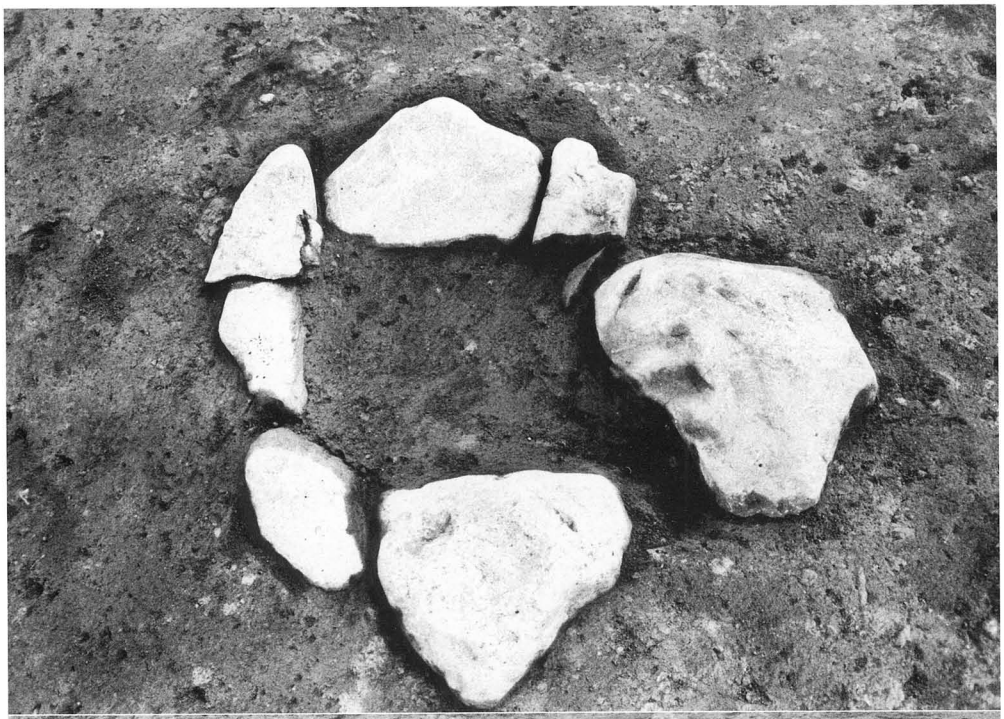
14号住居跡
14008出土状況



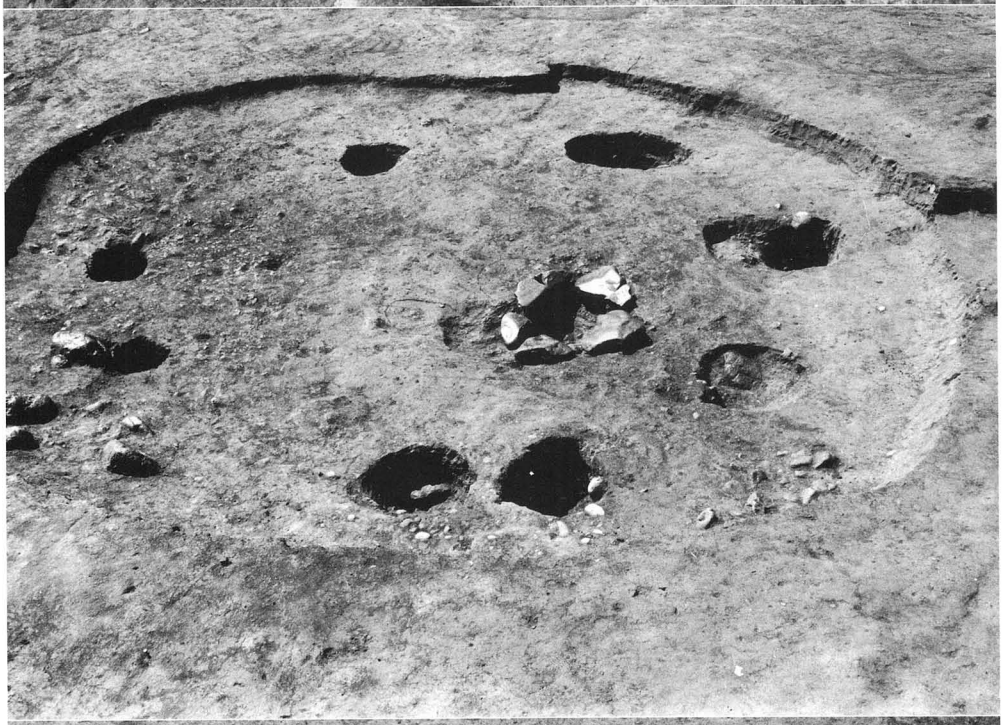
14号住居跡
覆土内炭化材、焼土出土状況



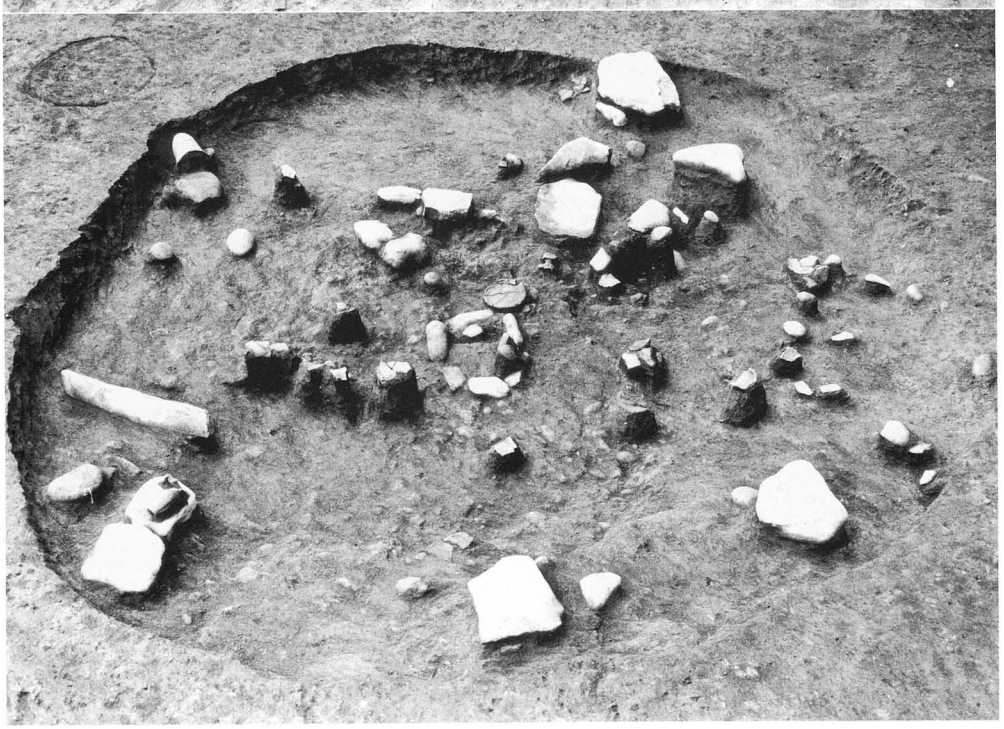
14号住居跡
ピット6検出状況



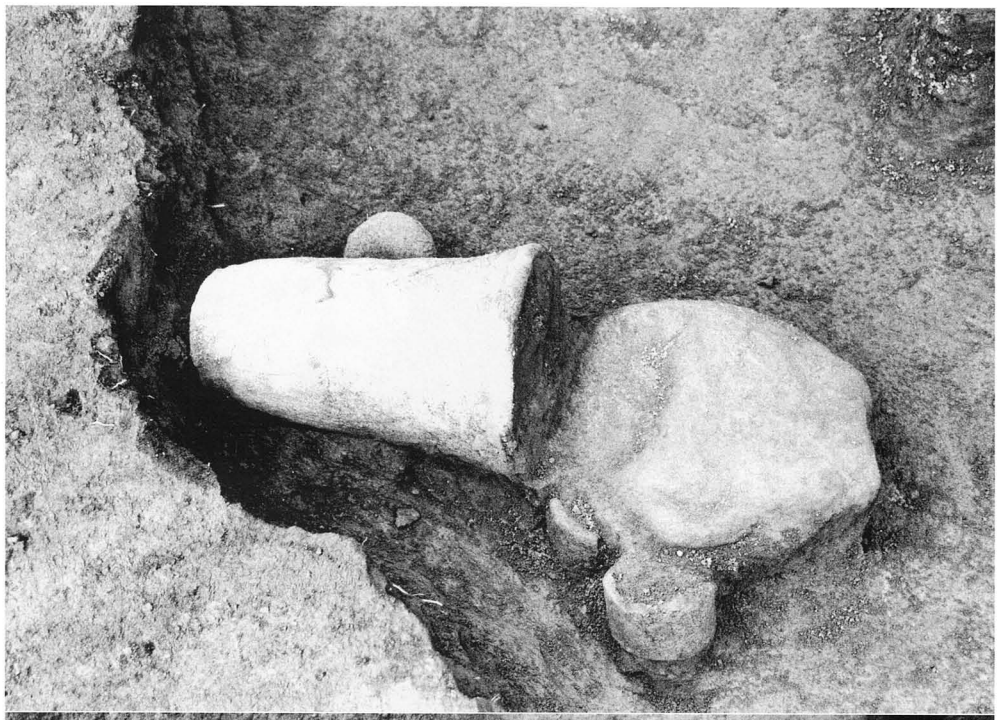
14号住居跡
炉跡検出状況



14号住居跡
完掘状況



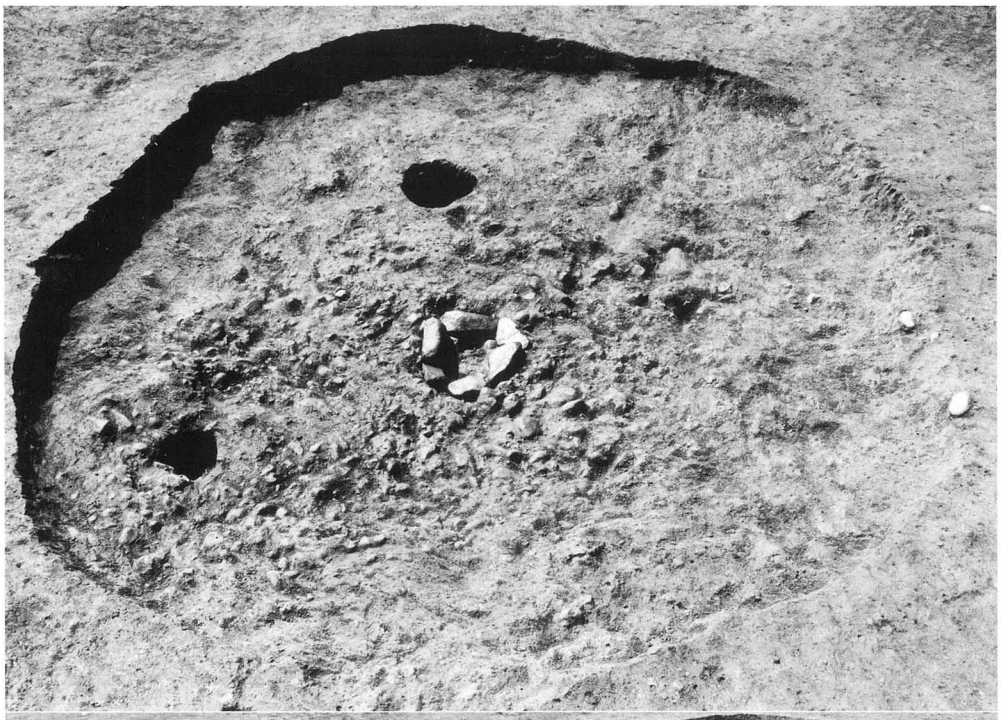
15号住居跡
遺物出土状況



15号住居跡
15003出土状況

15号住居跡
15021出土状況

15号住居跡
炉跡検出状況

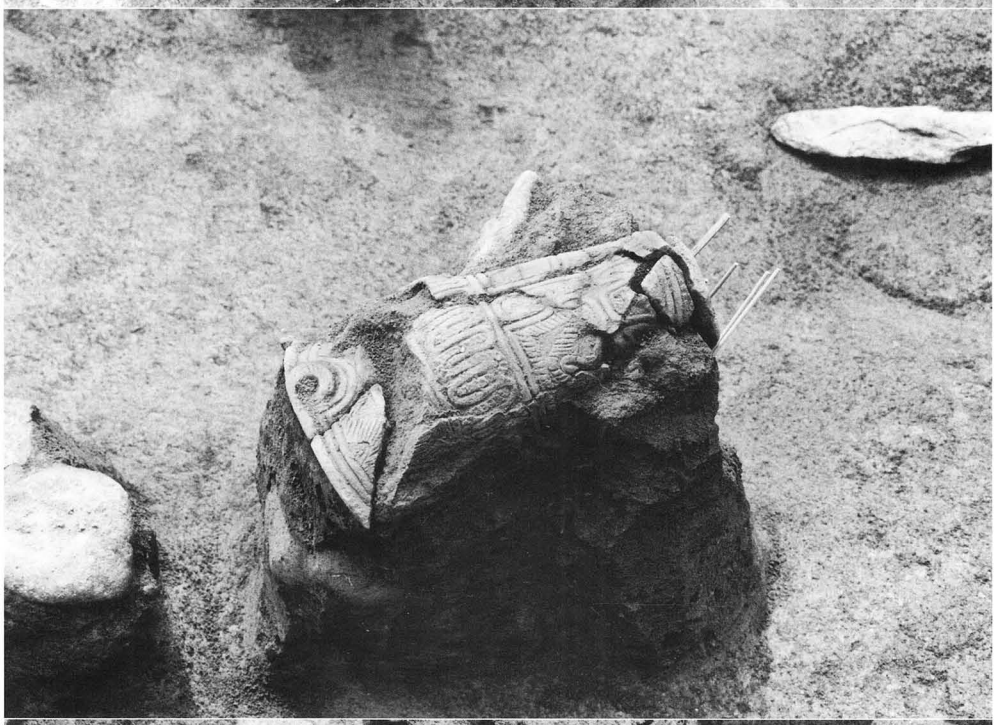


15号住居跡
完掘状況

16号住居跡
遺物出土状況

16号住居跡
16015、16020
出土状況

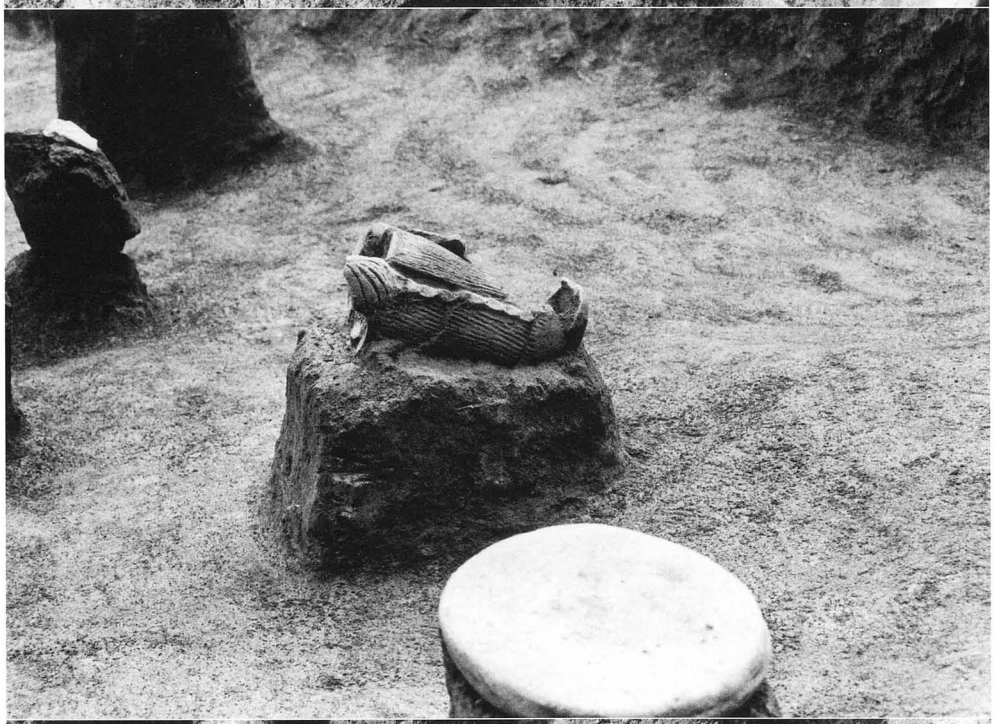
16号住居跡
16018出土状況



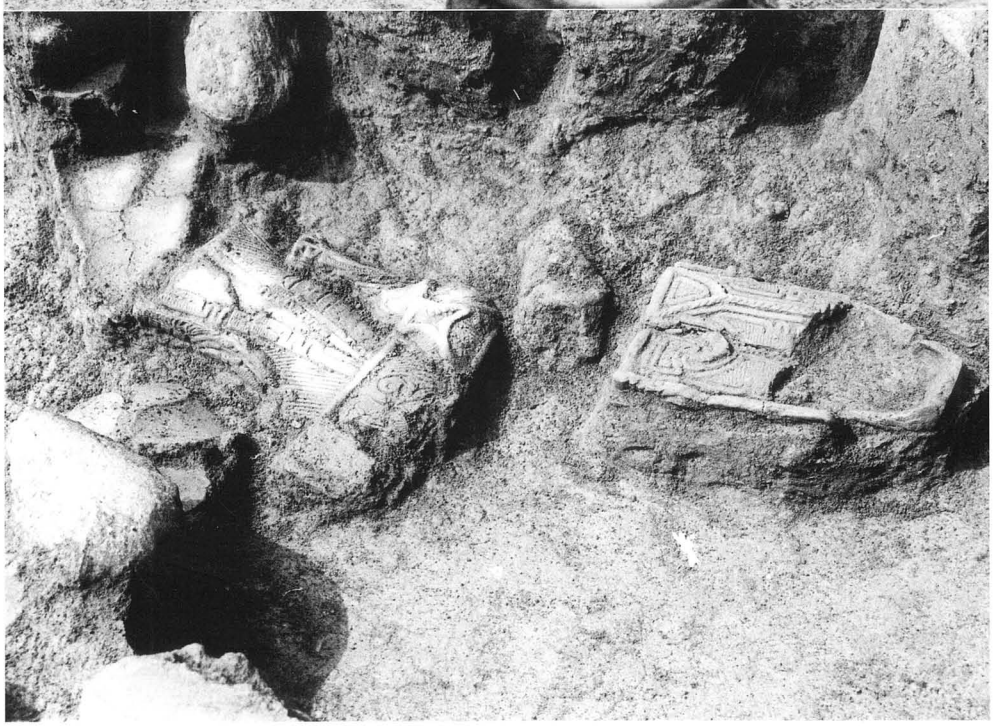
16号住居跡
16016出土状況

16号住居跡
16006、16037
出土状況

16号住居跡
16004、16074他
出土状況



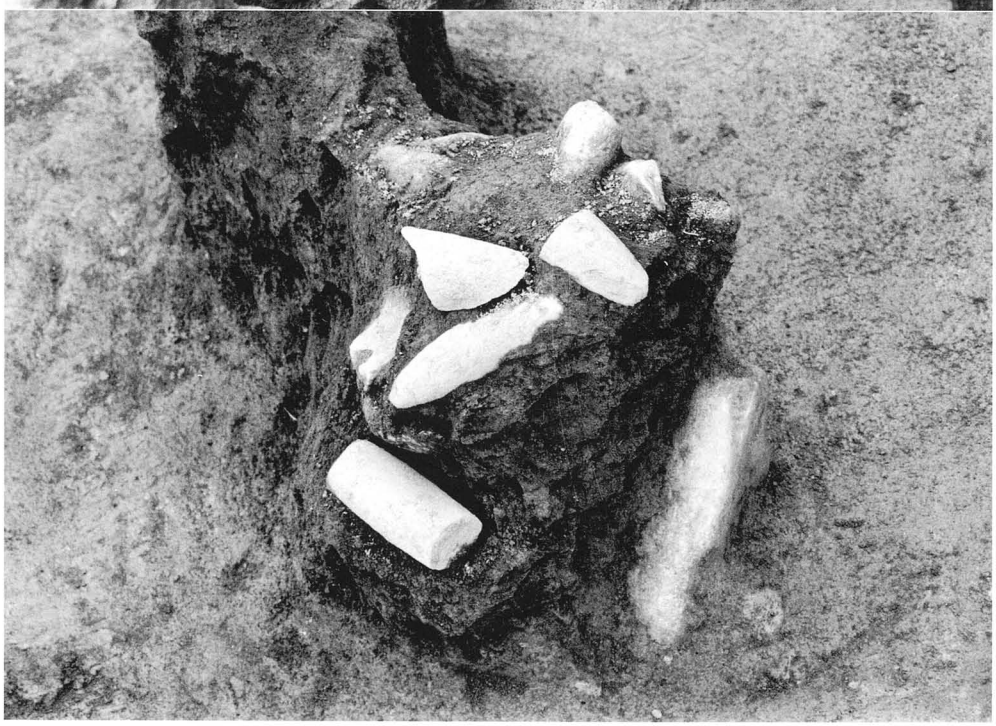
16号住居跡
16033、16067
出土状況



16号住居跡
16012、16019
出土状況

16号住居跡
16070、16081
出土状況

16号住居跡
16034、16035
16084出土状況



16住磨製石斧
出土状況

16号住居跡
09040出土状況

16号住居跡
16006、16007
16010、16012他
出土状況

16号住居跡
遺物出土状況

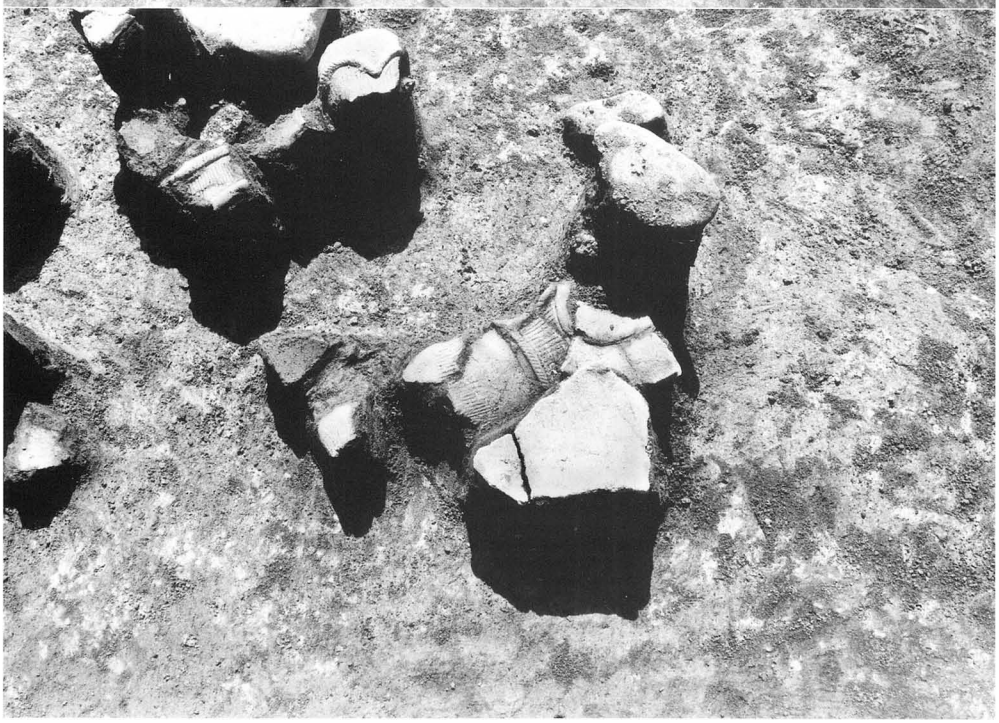
16号住居跡
炉跡検出状況

16号住居跡
完掘状況

17号住居跡
17001出土状況

17号住居跡
完掘状況

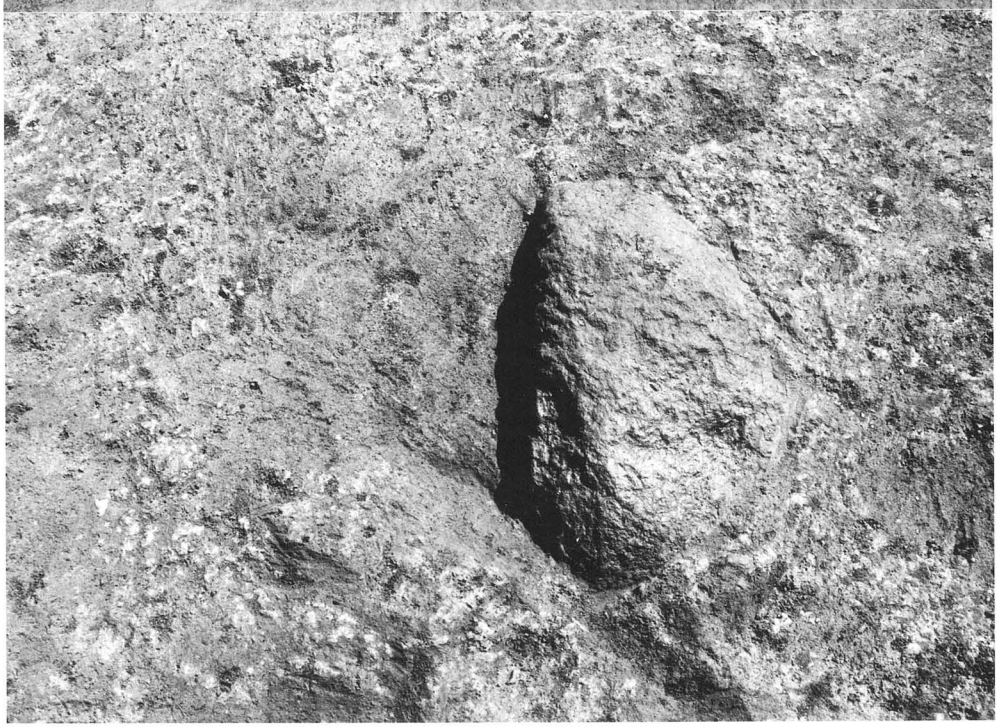
18号住居跡
完掘状況



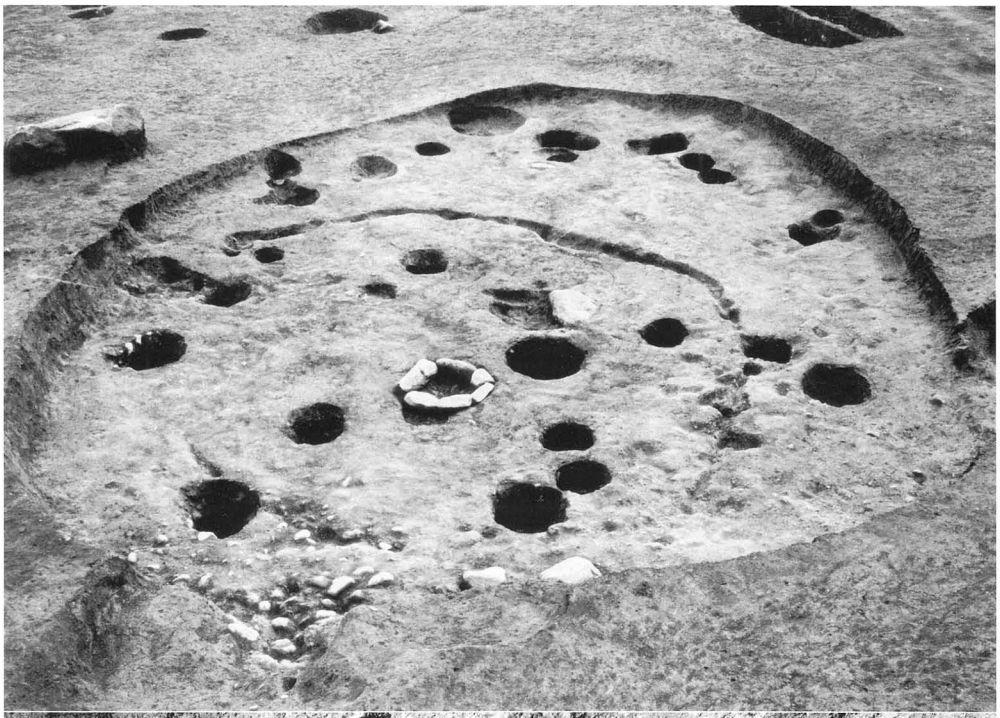
19号住居跡
19002出土状況

19号住居跡
19001、19004
01014出土状況

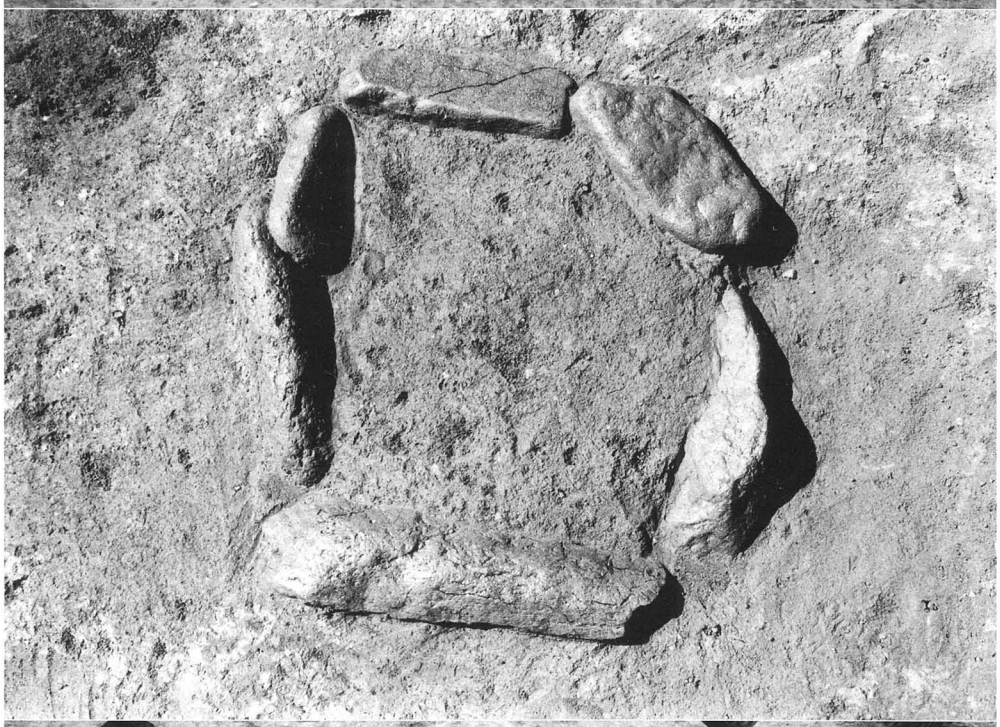
19号住居跡
19010、19011
出土状況



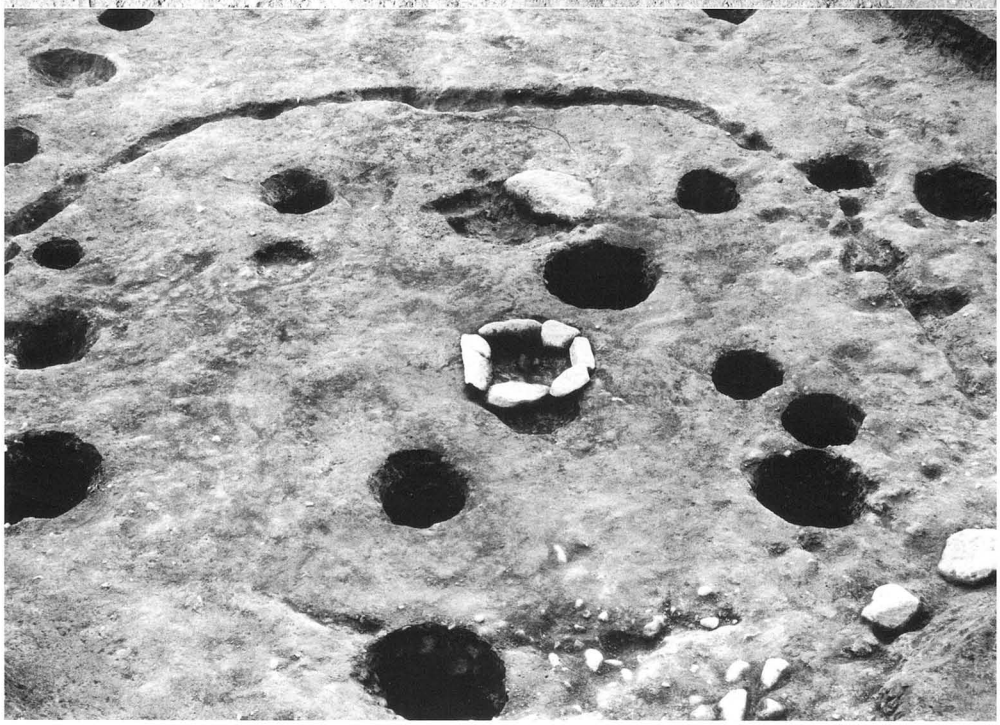
19号住居跡
炉跡検出状況



19・20号住居跡
完掘状況

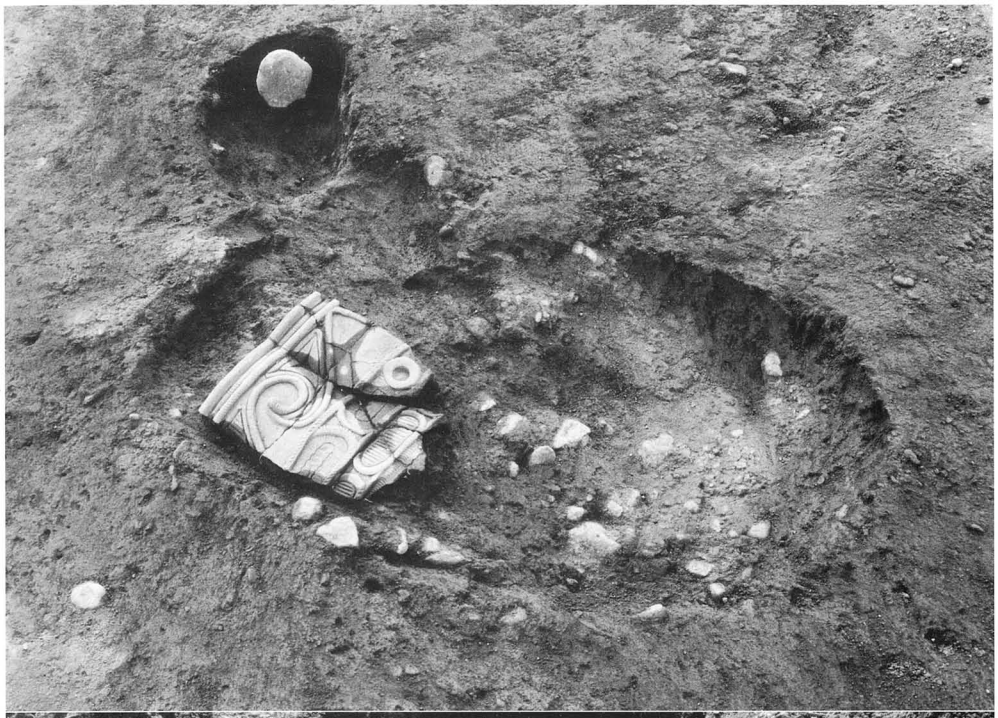


20号住居跡
炉跡検出状況

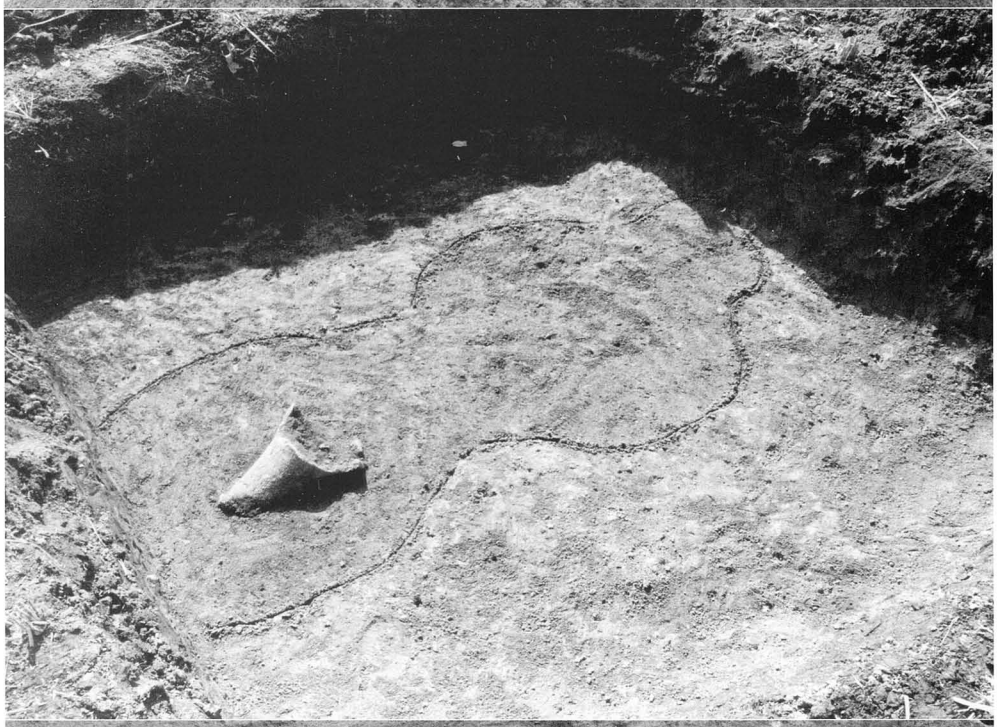


20号住居跡
完掘状況

図版38

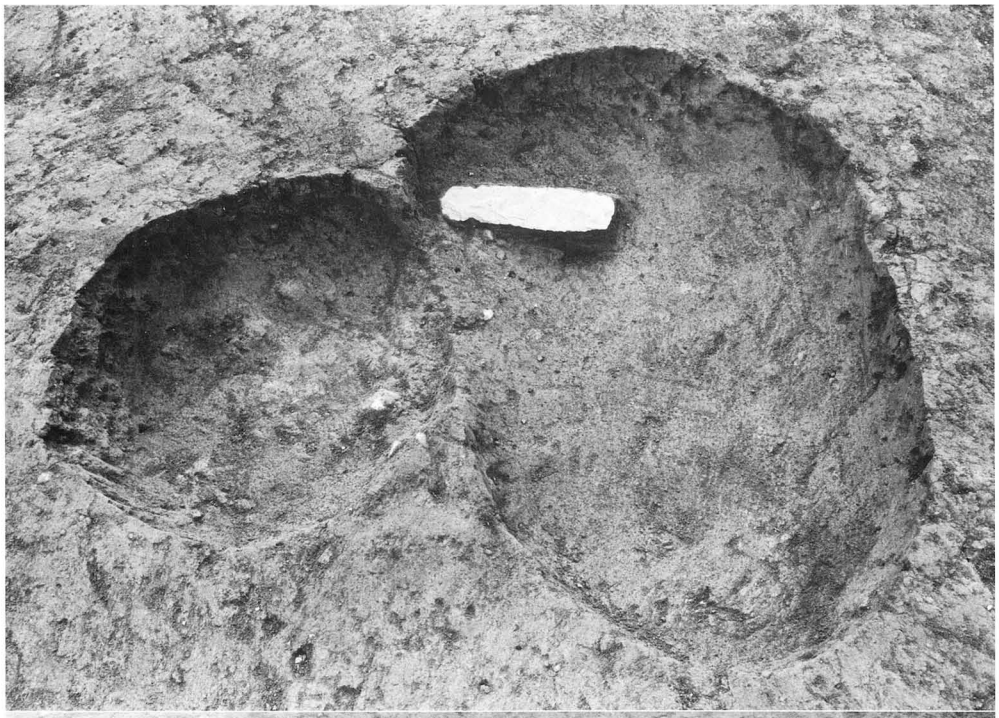


67号土坑



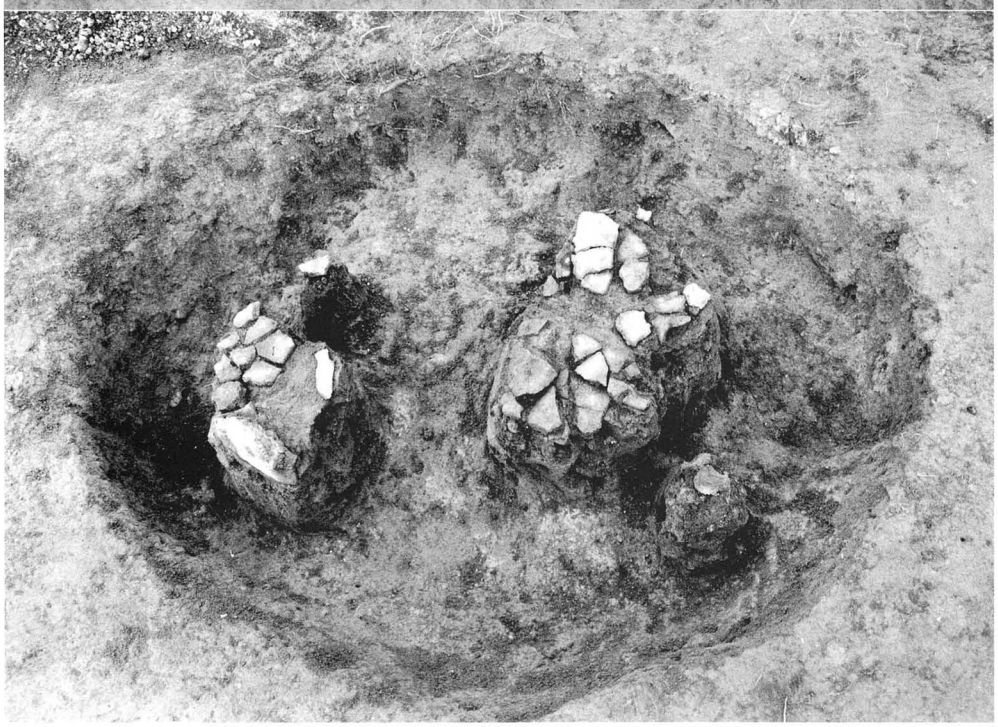
68号土坑

72号土坑



74号土坑

76、77、78号土坑



125号土坑

152号土坑

155号土坑

156号土坑

161号土坑

165号土坑

167号土坑

図版42

169号土坑

170号土坑

171号土坑

1号土坑

160号土坑

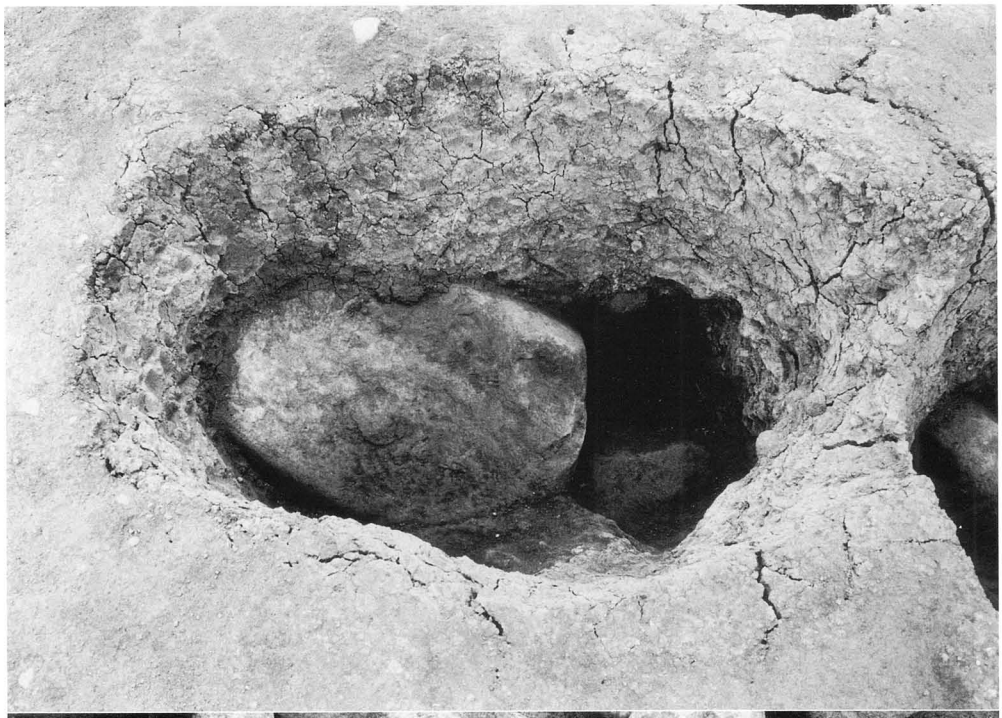
160号土坑（0056）

図版44

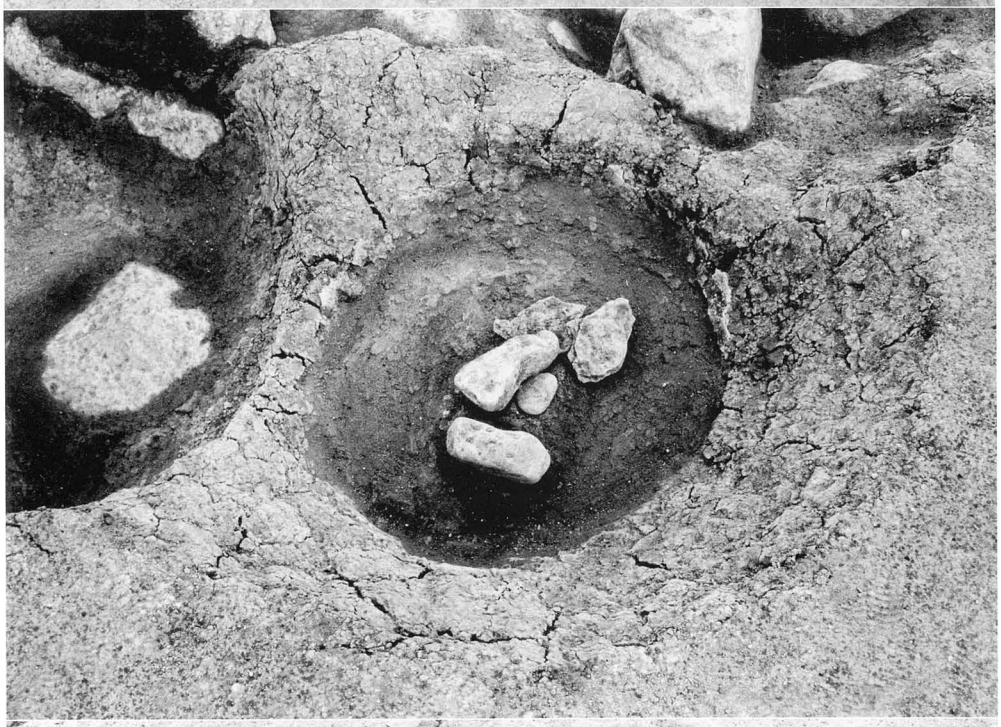
164号土坑

164号土坑

17号土坑



21、22号土坑



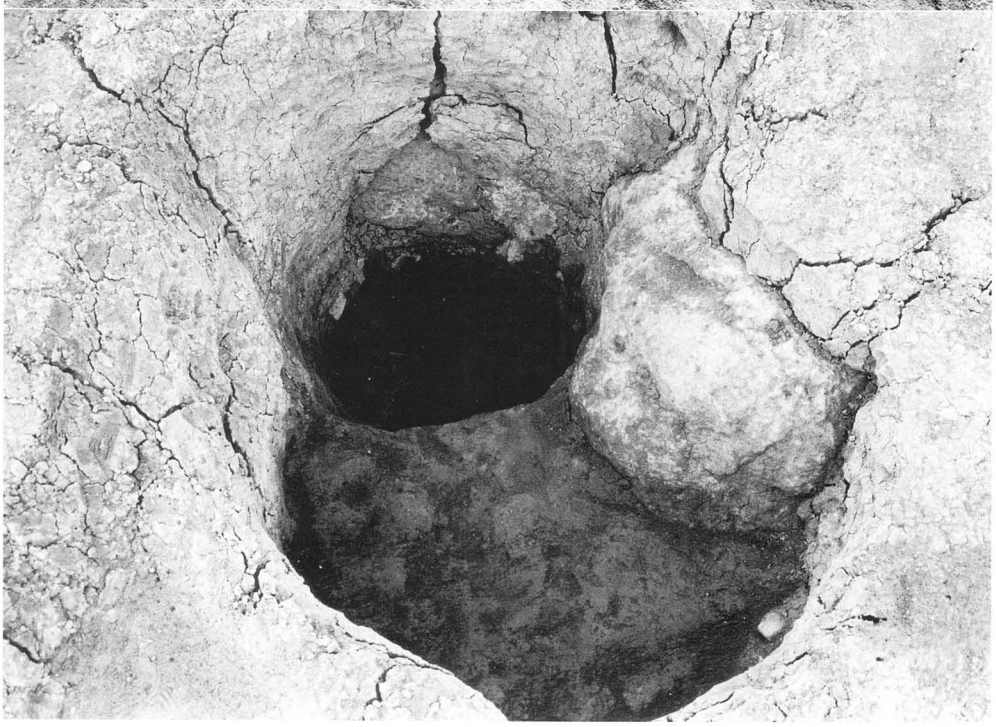
35号土坑

37、45号土坑

図版46

38号土坑

39号土坑



41、42号土坑

101号土坑（上面）

101号土坑（底面）

116号土坑

図版48

117号土坑

作業風景

作業風景

01001

01002

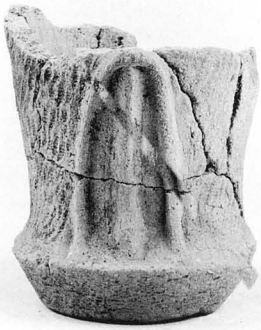
01003

01004

01005

01006

01008



01009

01010

01011

01012

01013

01014

01015

01016

01017

01018

01019

02001

02003

02004

02005

02006

02009

02010

02011

02014

02016

02017

02019

02022

02023

03001

03003

03006

03008

03009

03011

03012

03013

03014

03015

03018

03020

03021

03033

03035

03044

04001

04003

04004

04005

04006

04007

04008

04009

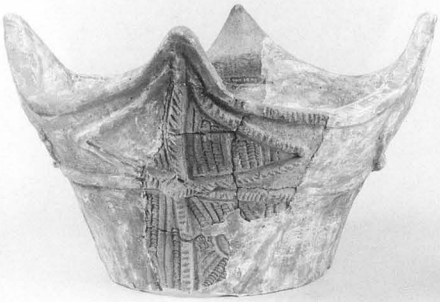
04010

04011

05001

05002

06001



06002

06005

06006

06007

07001

07002

07003

07007

07010

08001

08002

08004

08005

08006

08009

08011

08015

09001

09002

09003

09004

09005

09006

09007

09008

09009

09009

09009

09010

09011

09012

09013

09014

09015

09016

09018

09019

09020

09021

09022

09027

09032

10001

10002

11001

12001

12003

12005

12006

12007

13005

13009

14001

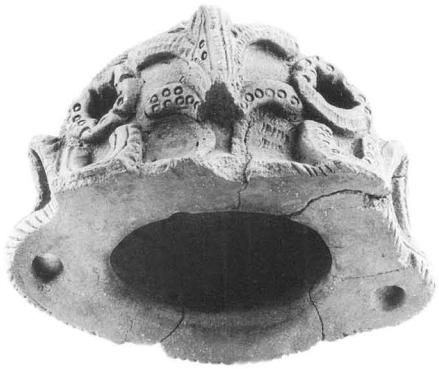
14002

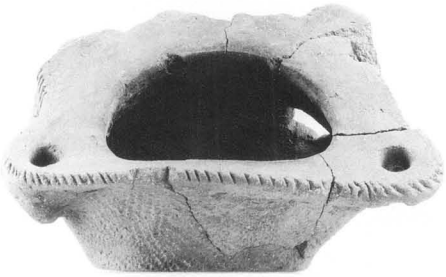
14003

14004

14006

14007





14008

15001

15003

15008

15013

15018

16001

16002

16003

16004

16006

16007

16005

16009

16007

16008

16010

16011

16012

16013

16014

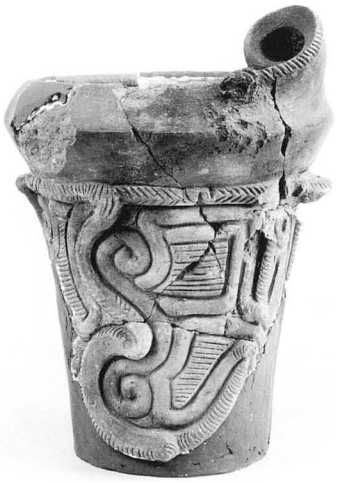
16015

16016

16017

16018

16019



16020

16021

16022

16023

16024

16025

16028

16029

16030

16031

16032

16033

16034

16035

16036

16037

16038

16039

16042

16046

16047

16053

16067

16070

16074

16076

16077

16078

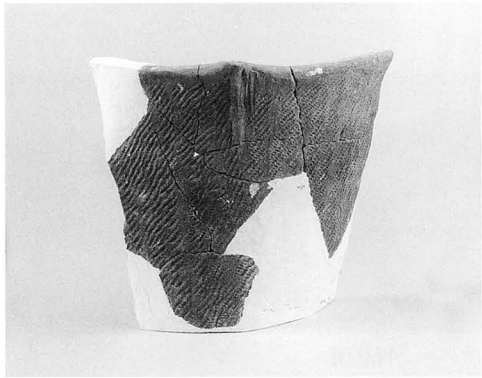
16080

16081

17001

17002

16084



17004

17006

18001

19001

19002

19003

19010

19011

0014

0015

0018

0019

0020

0021

0026

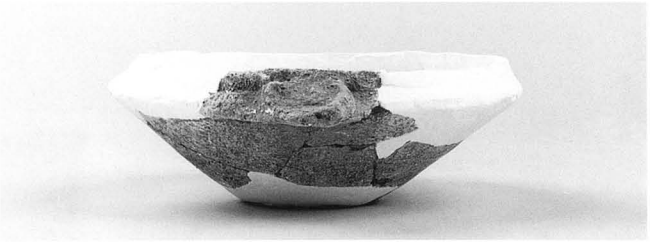
0031

0032

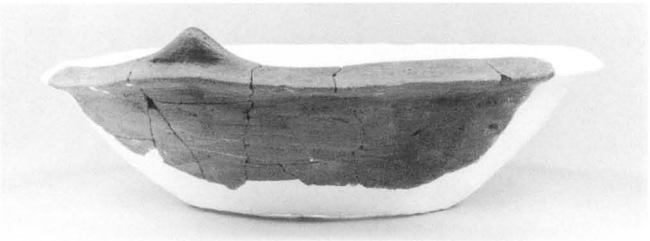
0034

0036

0037



0039



0040

0041

0042

0055

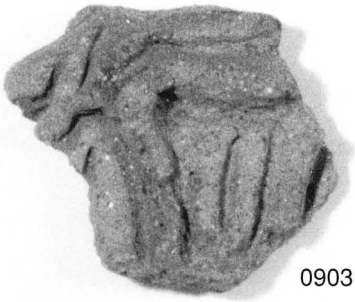
0056

0057

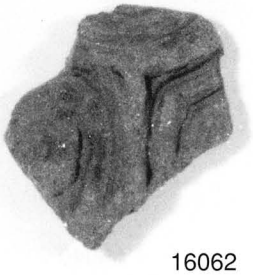
0051

03043

16061



09031



16062

16063

03053

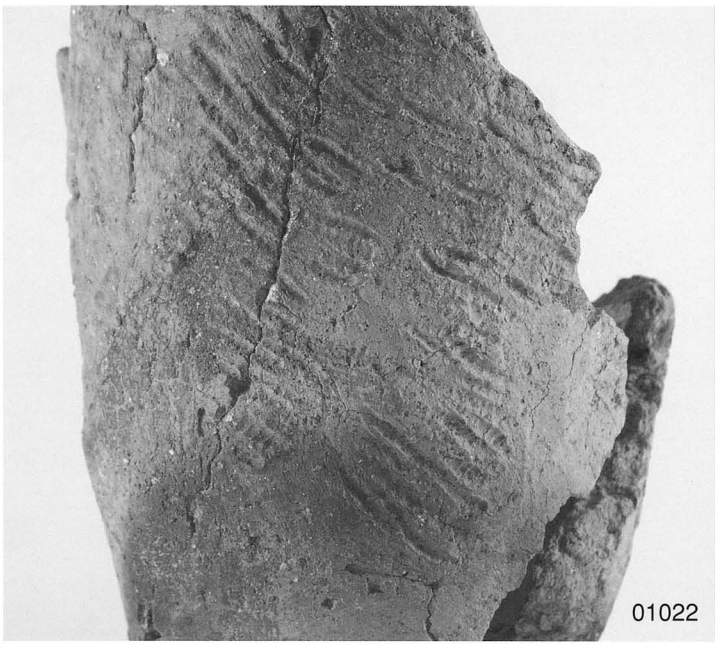
04019

09040

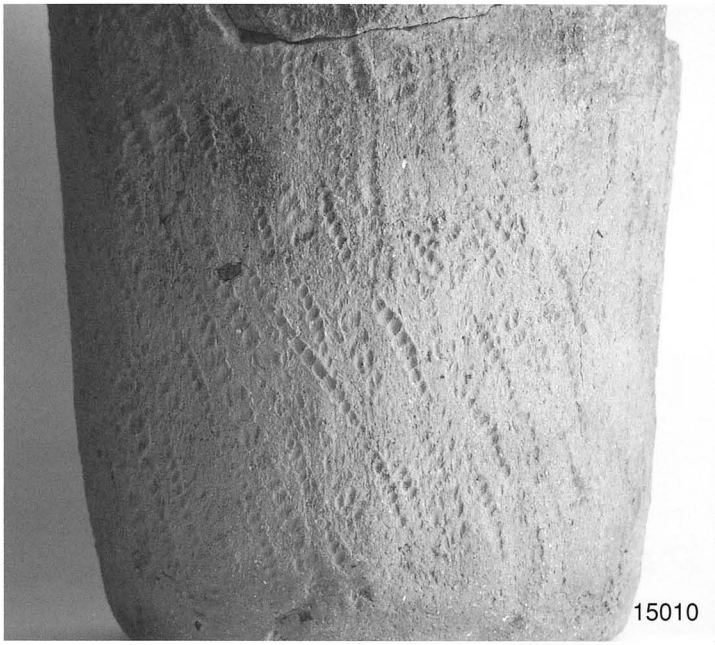
15021

16099

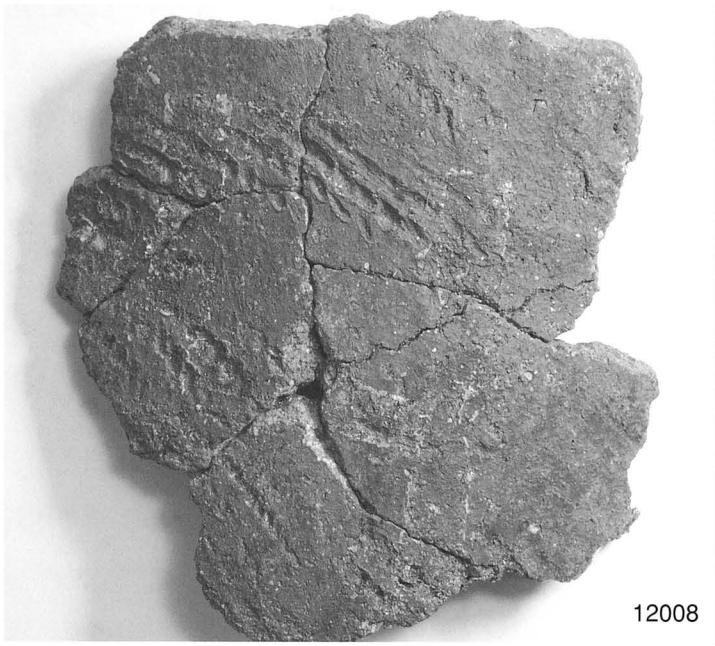
0054


01022

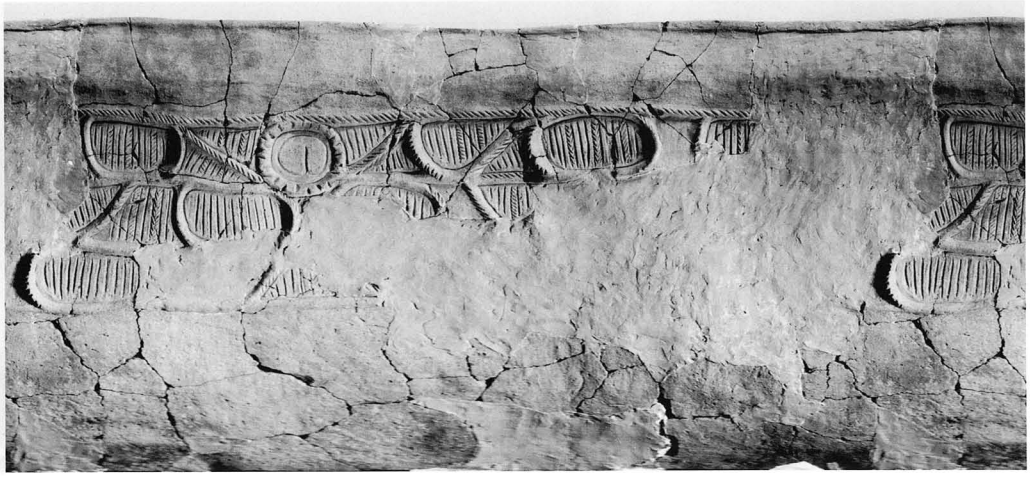
3段直前段反撚　ＬＬＲ


15010

付加条縄文　R{L{R R L

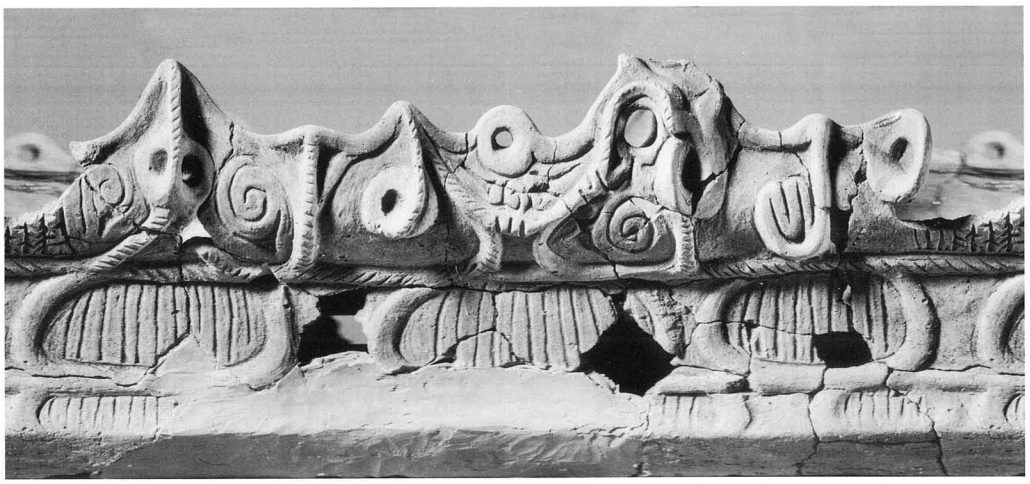

12008

付加条縄文
RL＋L巻き付け

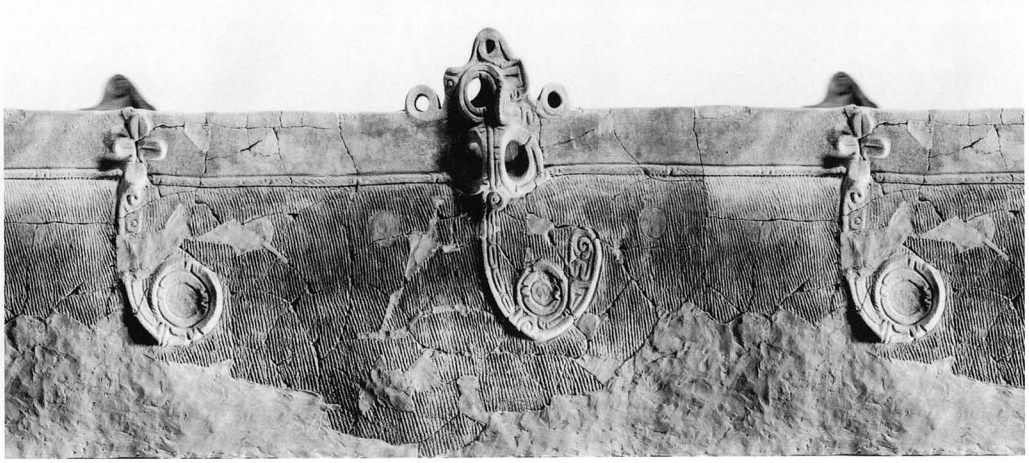


01001

01005



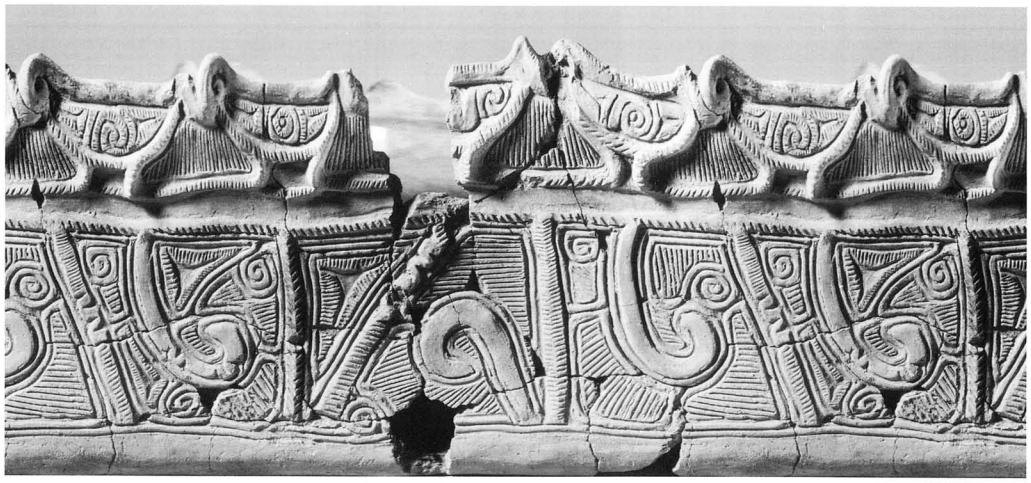
01010



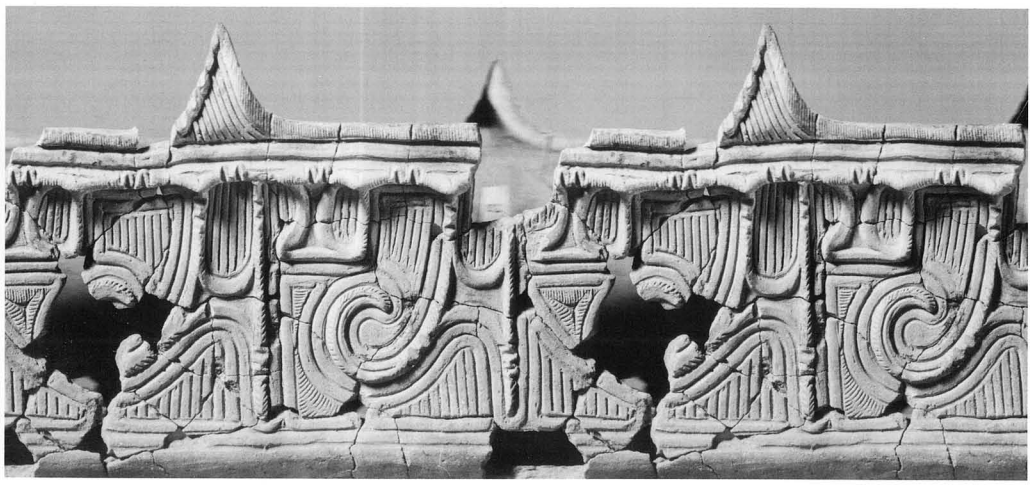
03008

08001

09001

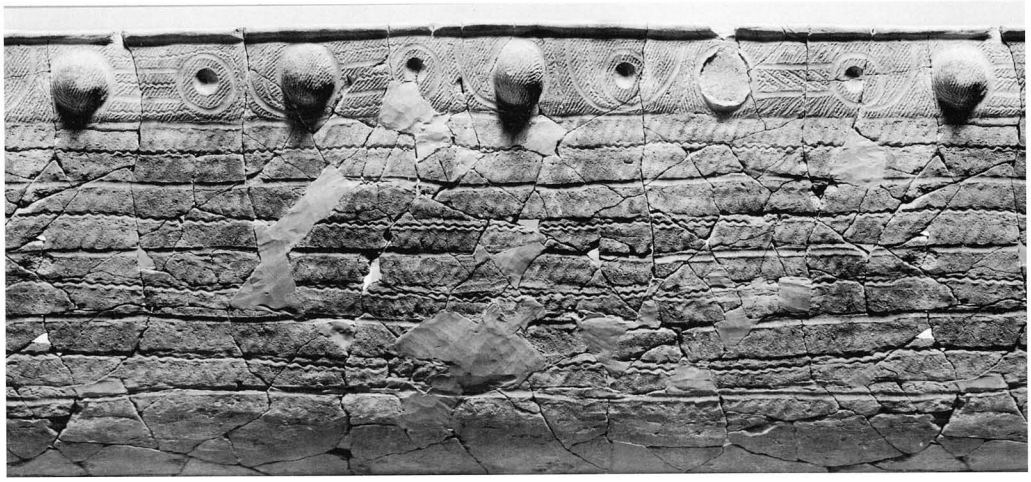


09002

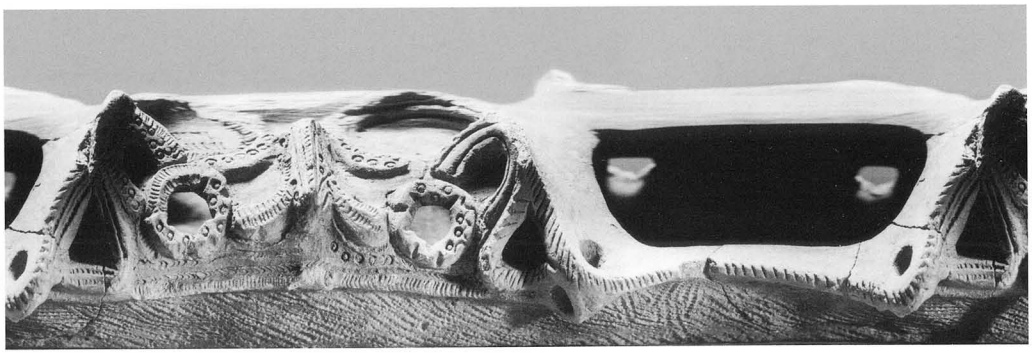


09014

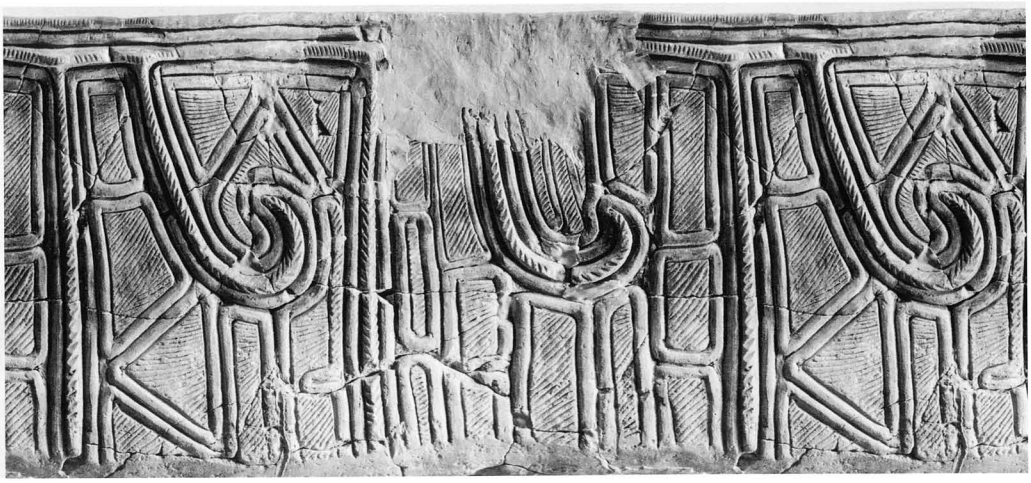
09015



12001

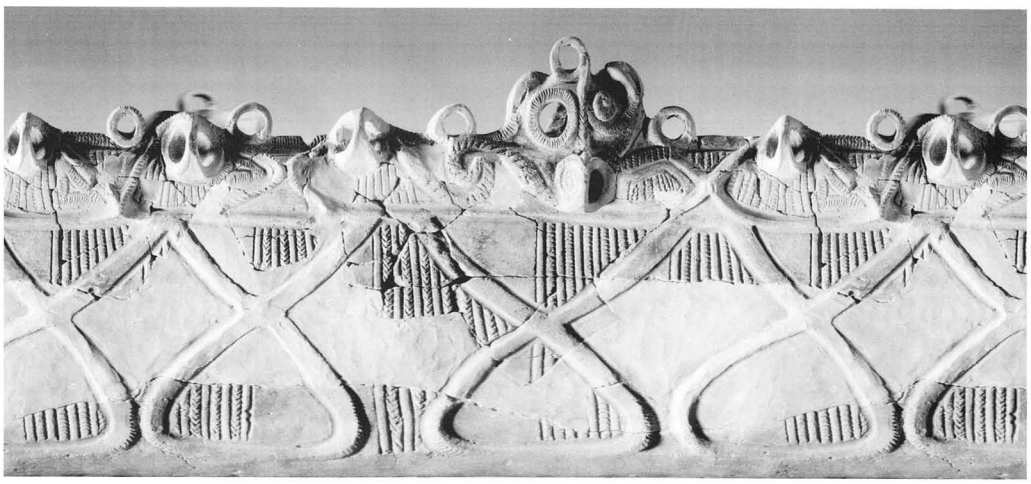


14008



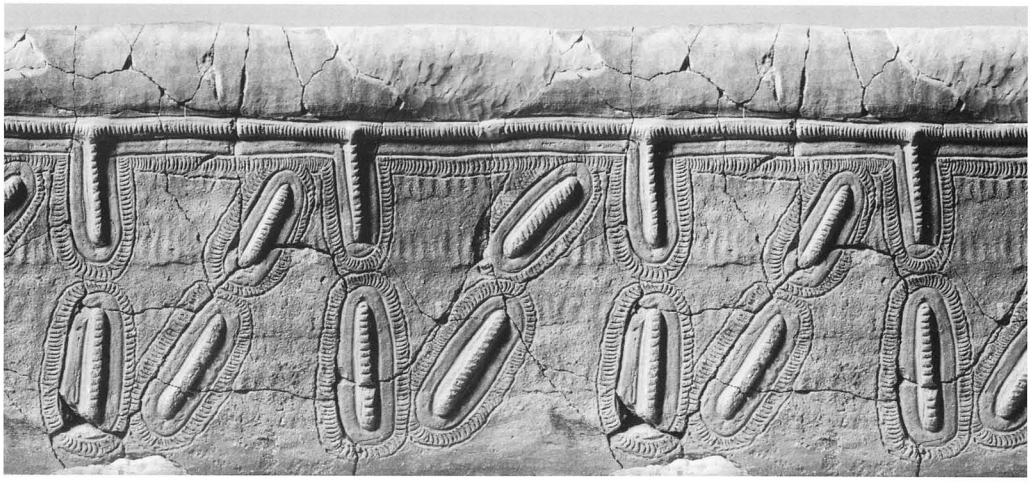
16006

16007

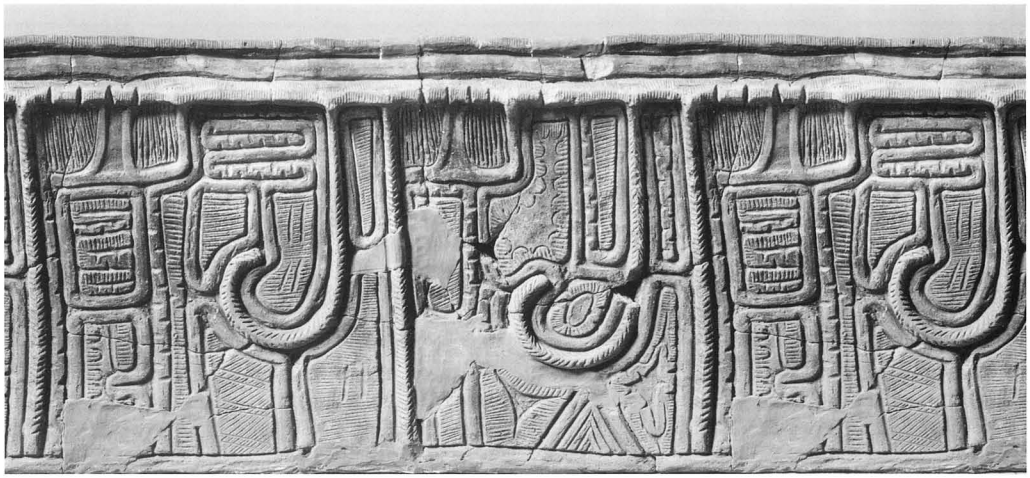


16012

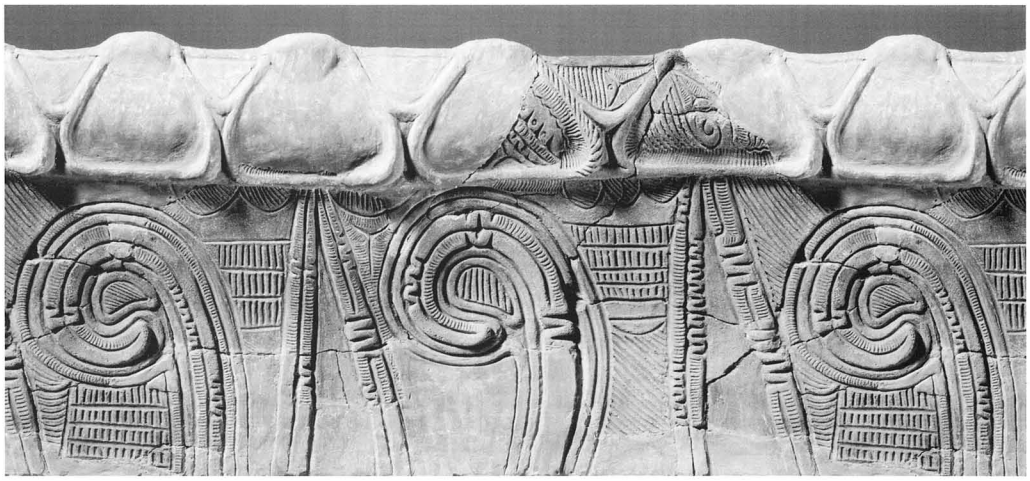
16015



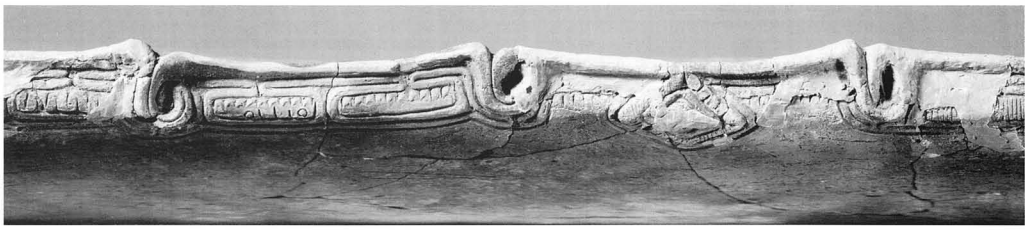
16016



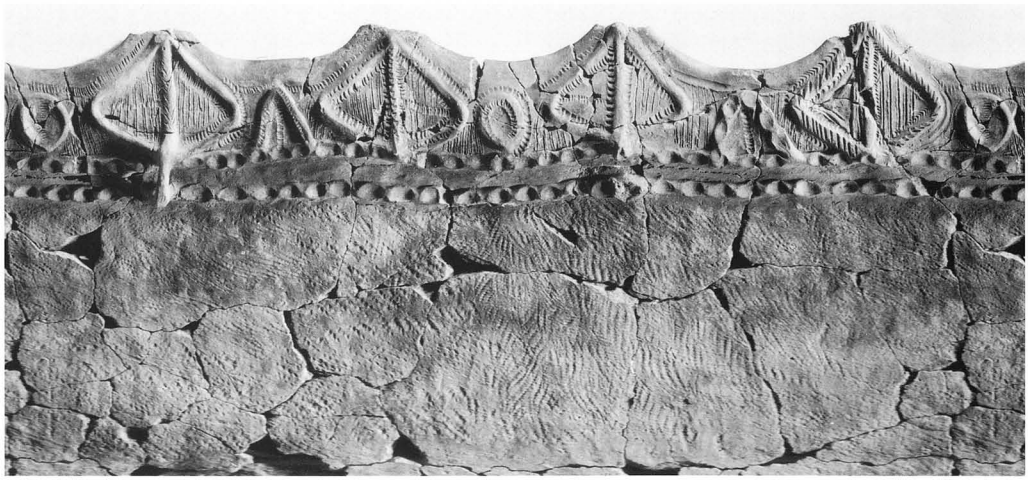
16018



16019



16074



0036

報告書抄録

ふりがな		こべいしだい４いせきⅡ		
書名		古林第４遺跡Ⅱ		
副書名		平成４年度埋蔵文化財発掘調査報告		
シリーズ		大泉村埋蔵文化財調査報告書　16集		
著者氏名		伊藤公明		
発行者		大泉村教育委員会		
編集機関		大泉村教育委員会		
所在地		〒409−1502　山梨県北巨摩郡大泉村谷戸3025　Tel 0551−38−3115		
印刷所		ほおずき書籍（株）		
発行日		平成14年３月31日		
古林第４遺跡		所在地　山梨県北巨摩郡大泉村西井出2466番地他		
		1／25,000地図名・位置・標高	谷戸	北緯35°51’　東経138°24’　標高870m
概要	調査面積	4,458m		
	調査期間	平成４年７月１日～平成４年９月27日		
	主な時代	縄文時代中期中葉		
	主な遺構	縄文時代中期中葉　住居跡20軒　土坑178基　ピット約60基		
	主な遺物	縄文土器　石器　土偶　石製垂飾　陶磁器　古銭		
	特記事項	縄文時代中期馬蹄形集落　ヒスイ製品		

大泉村埋蔵文化財調査報告書　16集

古林第４遺跡Ⅱ

平成４年度埋蔵文化財発掘調査報告

平成14年３月31日　発行

発　行　大泉村教育委員会

印　刷　ほおずき書籍株式会社
〒381−0012 長野県長野市柳原2133−5
電話　(026)244-0235(代)